

令和6年度
中野区子どもと子育て家庭の実態調査

報 告 書

令和7年2月
中野区

目 次

第1章 調査概要.....	3
1 調査目的.....	3
2 調査方法等.....	3
3 回収状況等.....	4
4 集計方法.....	4
5 生活困難の分類方法.....	5
6 報告書の見方.....	6
第2章 生活困窮の状況	9
1 家計の状況.....	9
(1) 食料を買えなかった経験	9
(2) 衣類を買えなかった経験	12
(3) 公共料金等の滞納経験	15
(4) 物品の所有状況	22
(5) 家計の収支状況	23
2 子どもの生活水準.....	30
(1) 子どもの所有物の欠如	30
(2) 子どもの体験への支出	35
(3) 子どもへの支出	62
第3章 保護者の状況	101
1 保護者の就労状況.....	101
(1) 父母の就労状況	101
(2) 共働きの状況	109
2 親子の時間.....	112
(1) 親子での時間	112
(2) 将来についての会話.....	116
3 相談相手.....	117
4 支援サービスの利用状況・認知状況・利用意向	120
(1) 支援サービスの利用状況	120
(2) 支援サービスの非認知による不利用.....	129
(3) 保護者の支援サービス利用意向	138
5 相談窓口の利用状況・認知状況	146
(1) 相談窓口の利用状況.....	146
(2) 相談したことがない理由	152

第4章 児童・生徒の回答からみた子どもの状況.....	159
1 ふだんの生活について	159
（1）平日の放課後・休日の午後に過ごす人.....	159
（2）平日の放課後に過ごす場所.....	160
（3）休日の午後に過ごす場所	165
（4）一番ほっとできる居場所	166
（5）困っていることや悩みごとの相談相手.....	167
（6）家事負担	169
2 学校のことや勉強のことについて	170
（1）学校の授業についての主観的評価	170
（2）授業の理解度・わからなくなった時期.....	171
（3）勉強がわからないときに教えてもらう人.....	174
（4）学習環境の欠如の状況	175
（5）どこまで教育を受けさせたいか、どこまで教育を受けたいか.....	177
3 ふだん考えていることについて	178
（1）思いや気持ち	178
（2）経験について.....	182
（3）使ってみたい場所	184
第5章 子どもと子育て家庭からみた中野区の環境について	189
1 地域や環境について	189
（1）移動や交通環境について	189
（2）住宅環境について	197
（3）健康や医療環境について	201
（4）商業環境について	204
（5）安全や安心について.....	209
（6）保育や子育てサービス環境について.....	213
（7）教育・学習環境について	216
（8）遊び・憩いの環境について.....	222
（9）地域環境（コミュニティ）について.....	228
2 中野区について	232
（1）中野区への定住意向.....	232
（2）他者への推奨度	233
（3）中野区への好感度	234
（4）中学生・高校生のための居場所となる施設への興味	235
（5）「中野区子どもの権利に関する条例」の認知度	236
（6）「中野区子ども相談室（ポカコロ）」の認知度.....	237

第1章 調査概要

第1章 調査概要

1 調査目的

中野区在住の子育て家庭の保護者及び子どもに対してアンケート調査を行い、子育て家庭の生活実態を把握・分析する。

2 調査方法等

(1) 調査対象	令和6年7月1日時点において0歳から14歳（中学3年生）にあたる就学前児童、小学生及び中学生の保護者18,750世帯。 小学4～6年生の児童及び中学1～3年生の生徒7,500人。
(2) 調査方法	郵送配布、郵送・インターネット回収
(3) 調査期間	令和6年9月5日（木）～9月26日（木）

調査対象詳細			
年齢		保護者	子ども
乳幼児	0歳	1,250	
	1歳	1,250	
	2歳	1,250	
	3歳	1,250	
	4歳	1,250	
	5歳	1,250	
小学1年生	6歳	1,250	
小学2年生	7歳	1,250	
小学3年生	8歳	1,250	
小学4年生	9歳	1,250	1,250
小学5年生	10歳	1,250	1,250
小学6年生	11歳	1,250	1,250
中学1年生	12歳	1,250	1,250
中学2年生	13歳	1,250	1,250
中学3年生	14歳	1,250	1,250
合 計		18,750	7,500

3 回収状況等

保護者

調査区分	発送数	回収数	回収率
未就学児	7,500	3,615	48.2%
小学校低学年（小学生①）	3,750	1,661	44.3%
小学校高学年（小学生②）	3,750	1,249	33.3%
中学生	3,750	1,250	33.3%
合 計	18,750	7,775	41.5%

子ども（児童・生徒本人）

調査区分	発送数	回収数	回収率
小学4～6年生（小学生）	3,750	910	24.3%
中学1～3年生（中学生）	3,750	911	24.3%
合 計	7,500	1,821	24.3%

親子マッチング

調査区分	保護者 回収数	子ども 回収数	マッチング数 (A)	マッチング率 = (A) / 発送数
小学生	1,249	910	865	23.1%
中学生	1,250	911	877	23.4%

4 集計方法

- （1）本報告書において、掲載しているクロス集計（生活困難度別・世帯タイプ別）の図表には、 χ^2 乗検定によって分布が統計的に有意であるかを検定している。その結果、1%水準で有意である場合（***）、5%水準で有意である場合（**）、10%水準で有意である場合（*）、有意でない場合（×）を図表名に表記している。
- （2）世帯タイプは、保護者票の子どもと父親、母親、祖父母の同居の有無で分類をしているため、各制度や公的統計の定義とは必ずしも一致しない。
- （3）生活困難度は、①低所得、②家計の逼迫、③子どもの体験や所有物の欠如の3つの要素から分類し、2つ以上の要素にあてはまる場合（困窮層）、いずれか1つにあてはまる場合（周辺層）、いずれの要素にも該当しない場合（一般層）としている。

5 生活困難の分類方法

①低所得
厚生労働省「令和5年度国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯 世帯所得の中央値（405万円）÷ $\sqrt{\text{平均世帯人数（2.23）}} \times 50\% = 135.6$ 万円

②家計の逼迫
経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった経験、食料・衣類を買えなかった経験などの7項目のうち、1項目以上該当
1 電話料金（携帯・スマートフォン含む） 2 電気料金 3 ガス料金 4 水道料金 5 家賃 6 家族が必要とする食料を買えないこと 7 家族が必要とする衣類を買えないこと

③子どもの体験や所有物の欠如
経済的な理由で、子どもの体験や所有物などに関する16項目のうち、3項目以上欠如している
1 海水浴に行く 2 博物館・科学館・美術館などに行く 3 山や川など自然豊かな場所に行く 4 キャンプやバーベキューに行く 5 スポーツ観戦や劇場に行く 6 遊園地やテーマパークに行く 7 毎月お小遣いを渡す 8 毎年新しい洋服・靴を買う 9 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる 10 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう） 11 お誕生日のお祝いをする 12 1年に1回くらい家族旅行に行く 13 クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる 14 子どもの年齢に合った本 15 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ 16 子どもが自宅で宿題をすることができる場所

生活困難層の割合（全体）

		未就学児 保護者	小学生① 保護者	小学生②		中学生	
				保護者	子ども	保護者	子ども
生活困難層※		11.2%	10.9%	11.4%	11.2%	14.3%	14.4%
	困窮層	3.2%	3.4%	2.5%	2.8%	5.5%	5.8%
	周辺層	8.0%	7.4%	8.9%	8.4%	8.8%	8.6%
一般層		88.8%	89.1%	88.6%	88.8%	85.7%	85.6%

※ 生活困難層の割合は「困窮層」と「周辺層」の人数を加算後、算出したため、構成比の合計とは一致しない場合がある。

生活困難層の分布【世帯タイプ別】

		年齢層	ふたり親 (2世代)	ふたり親 (3世代)	ひとり親 (2世代)	ひとり親 (3世代)
		未就学児	3,319	141	122	27
		小学生①	1,451	104	83	21
		小学生②	1,036	93	93	23
		中学生	1,019	102	105	21
生活困難層	困窮層	未就学児	78(2.7%)	3(0.1%)	12(0.4%)	1(0.0%)
		小学生①	29(2.1%)	3(0.2%)	12(0.9%)	4(0.3%)
		小学生②	10(1.0%)	1(0.1%)	14(1.4%)	－ (－)
		中学生	34(3.4%)	5(0.5%)	14(1.4%)	2(0.2%)
	周辺層	未就学児	206(7.0%)	6(0.2%)	18(0.6%)	5(0.2%)
		小学生①	77(5.5%)	10(0.7%)	11(0.8%)	6(0.4%)
		小学生②	57(5.7%)	11(1.1%)	15(1.5%)	6(0.6%)
		中学生	64(6.4%)	5(0.5%)	16(1.6%)	3(0.3%)
一般層		未就学児	2,436(83.0%)	98(3.3%)	61(2.1%)	12(0.4%)
		小学生①	1,131(81.0%)	70(5.0%)	35(2.5%)	8(0.6%)
		小学生②	764(75.9%)	61(6.1%)	53(5.3%)	15(1.5%)
		中学生	715(71.7%)	71(7.1%)	55(5.5%)	13(1.3%)

6 報告書の見方

- (1) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。
- (5) クロス集計において、回答が0件(0.0%)の場合、グラフ中で省略している場合がある。
- (6) クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していない。よって「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合がある。また、分析軸となる項目の回答者数が少ない場合、グラフ化していない場合がある。
- (7) クロス分析において、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている。

統計の数値を考察するにあたり、本報告書では次の表現を用いている。

(例)	(表現)
80.1～80.9%	⇒ 約8割
81.0～82.9%	⇒ 8割強
83.0～86.9%	⇒ 8割台半ば
87.0～88.9%	⇒ 9割弱
89.0～89.9%	⇒ 約9割

第2章 生活困窮の状況

第2章 生活困窮の状況

1 家計の状況

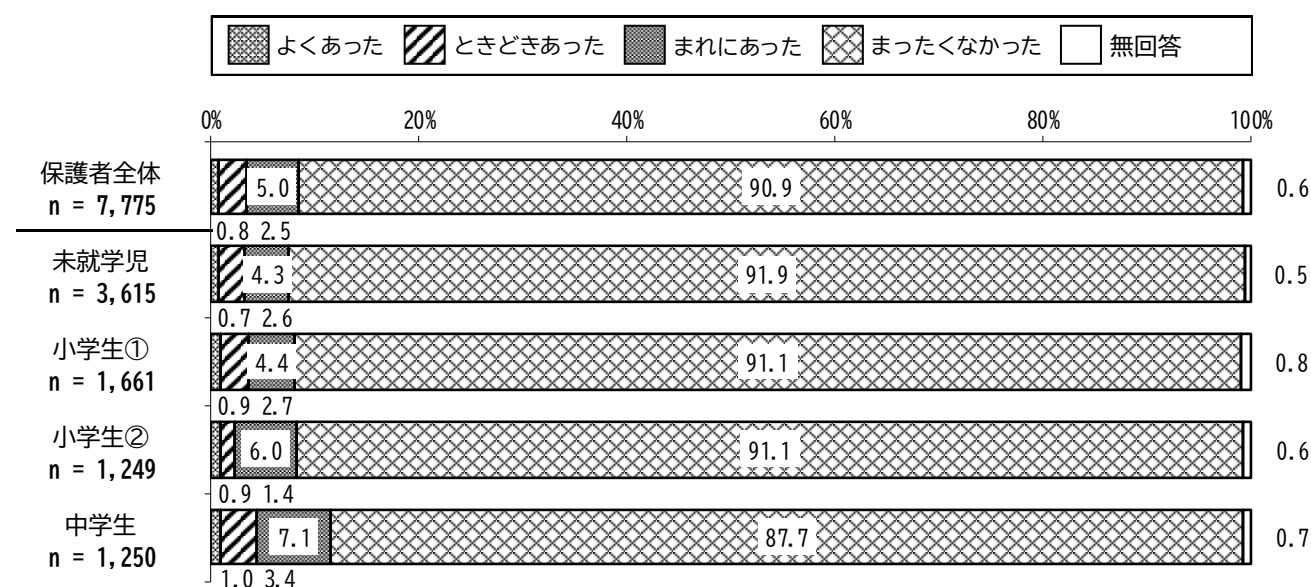
(1) 食料を買えなかった経験

あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(1つに○)

保護者全体では「まったくなかった」が90.9%となっている。「よくあった」が0.8%、「ときどきあった」が2.5%、「まれにあった」が5.0%となっている。

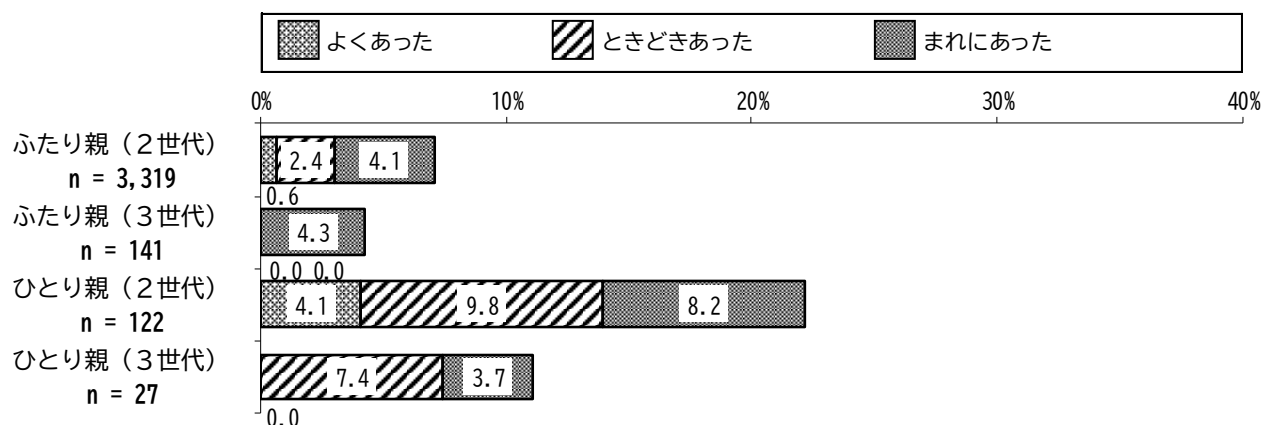
子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者>食料を買えなかった経験【子どもの年齢層別】

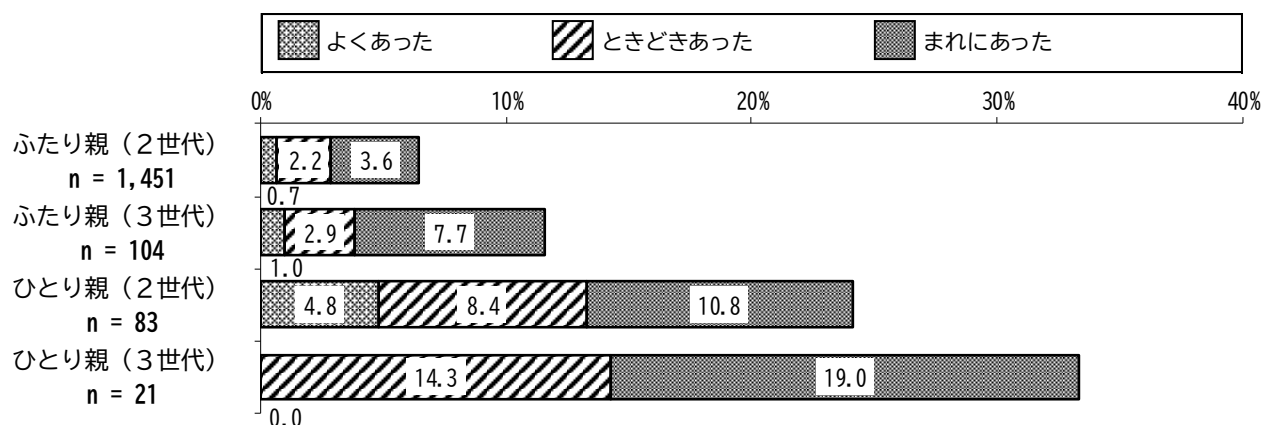


「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の回答を〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」及び「まれにあった」を合計した割合は、〔小学生②〕の3世代を除き、【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生①〕の【ひとり親（3世代）】が33.3%と、【ふたり親（3世代）】(11.6%)よりも21.7ポイント高くなっている。

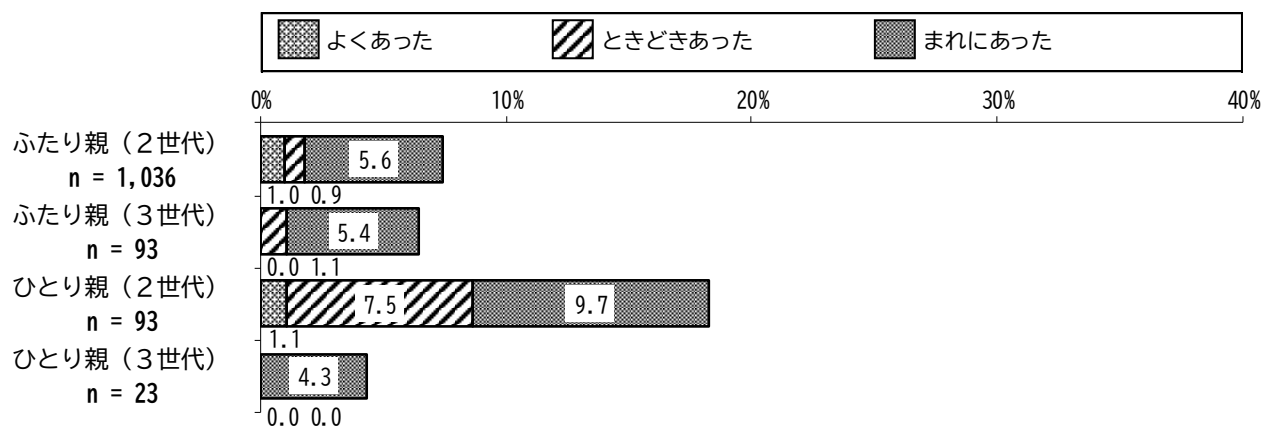
<保護者> 食料を買えなかった経験【世帯タイプ別】未就学児 (***)



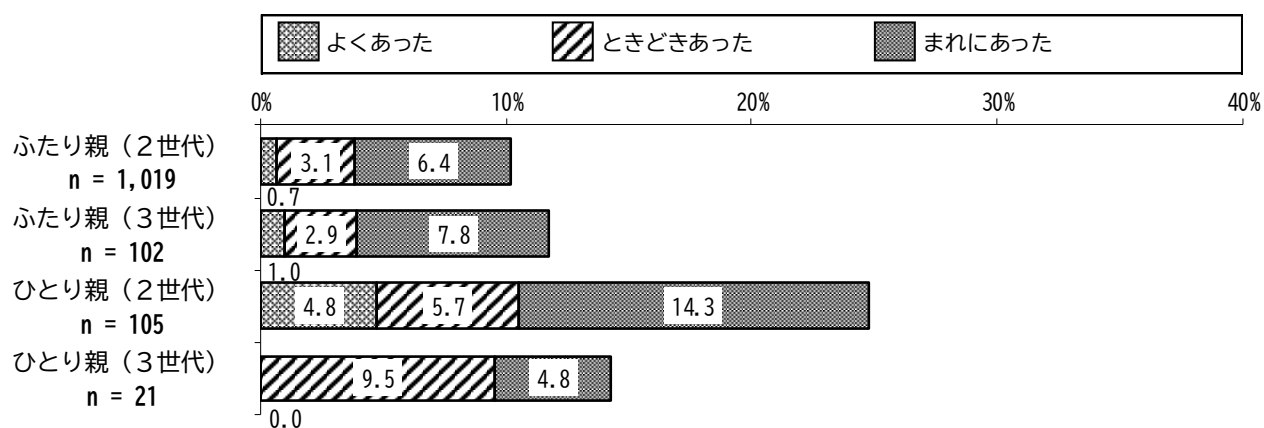
<保護者> 食料を買えなかった経験【世帯タイプ別】小学生① (***)



<保護者> 食料を買えなかった経験【世帯タイプ別】小学生② (***)

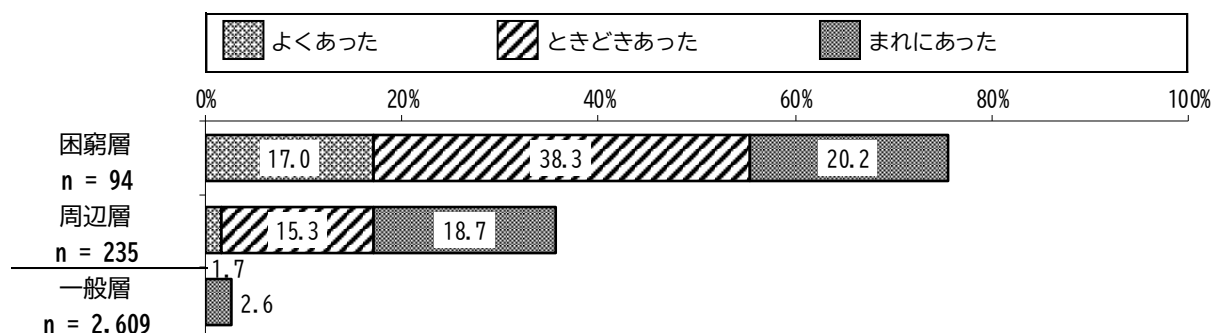


<保護者> 食料を買えなかった経験【世帯タイプ別】中学生 (***)

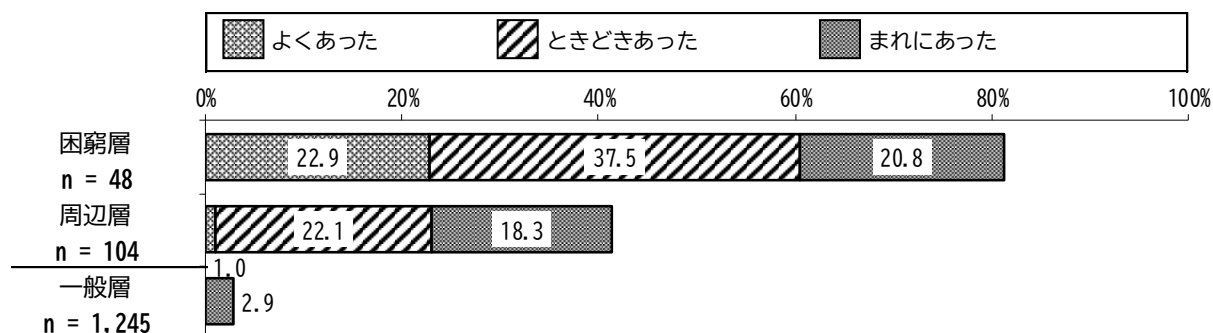


「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の回答を〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」及び「まれにあった」を合計した割合は、すべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔中学生〕の【困窮層】が 92.7%と、【周辺層】(37.5%) よりも 55.2 ポイント高くなっている。

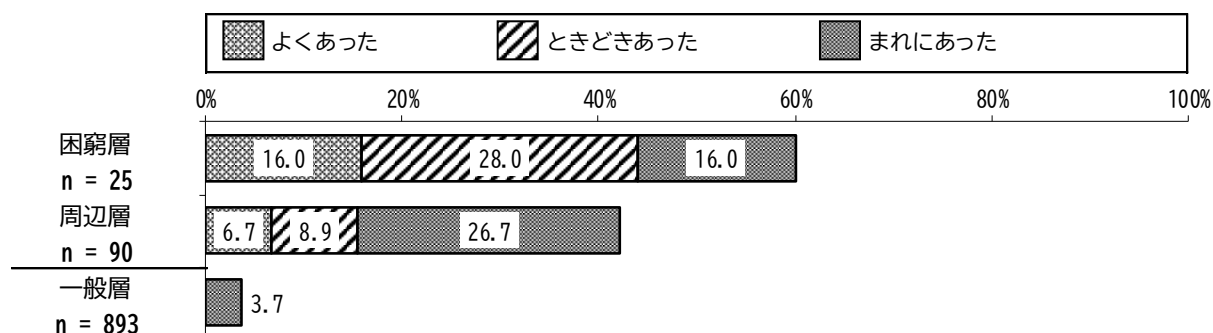
<保護者>食料を買えなかった経験【生活困難度別】未就学児 (***)



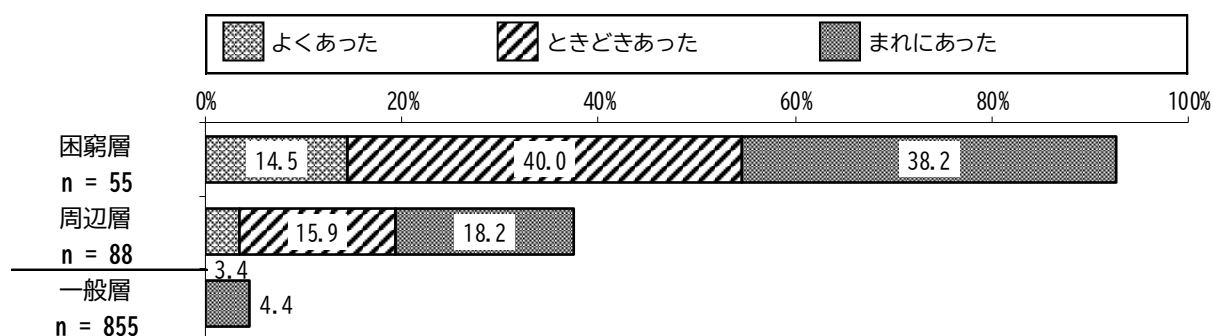
<保護者>食料を買えなかった経験【生活困難度別】小学生① (***)



<保護者>食料を買えなかった経験【生活困難度別】小学生② (***)



<保護者>食料を買えなかった経験【生活困難度別】中学生 (***)



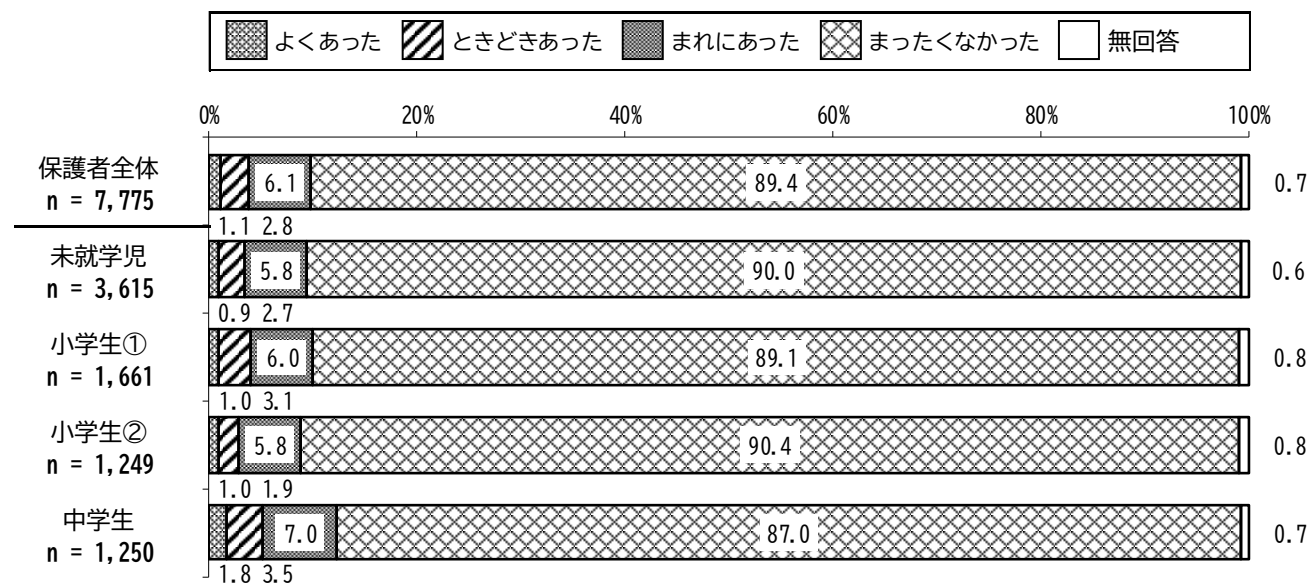
（２）衣類を買えなかった経験

あなたのご家庭では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。（１つに○）

保護者全体では「まったくなかった」が89.4%となっている。一方、「よくあった」が1.1%、「ときどきあった」が2.8%、「まれにあった」が6.1%となっている。

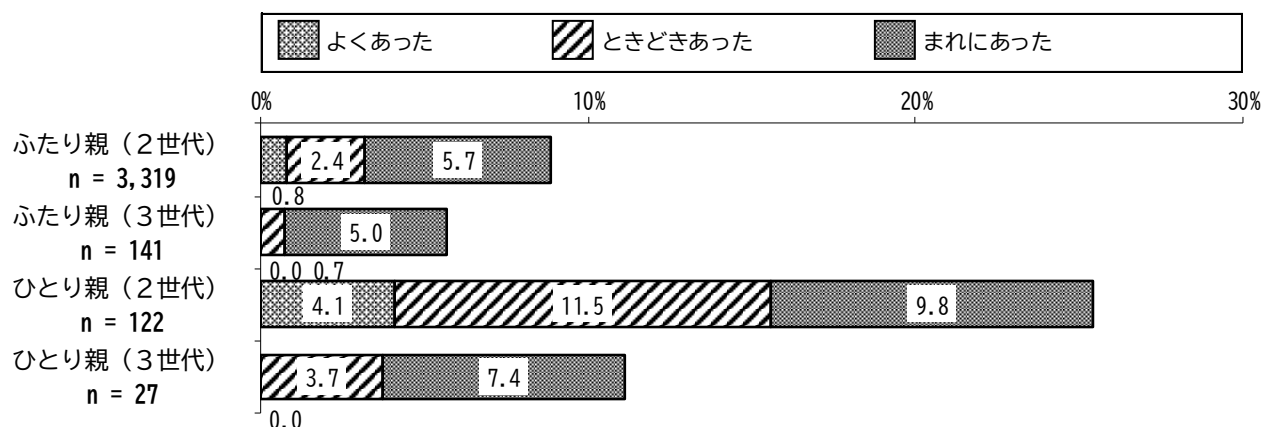
子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者>衣類を買えなかった経験【子どもの年齢層別】

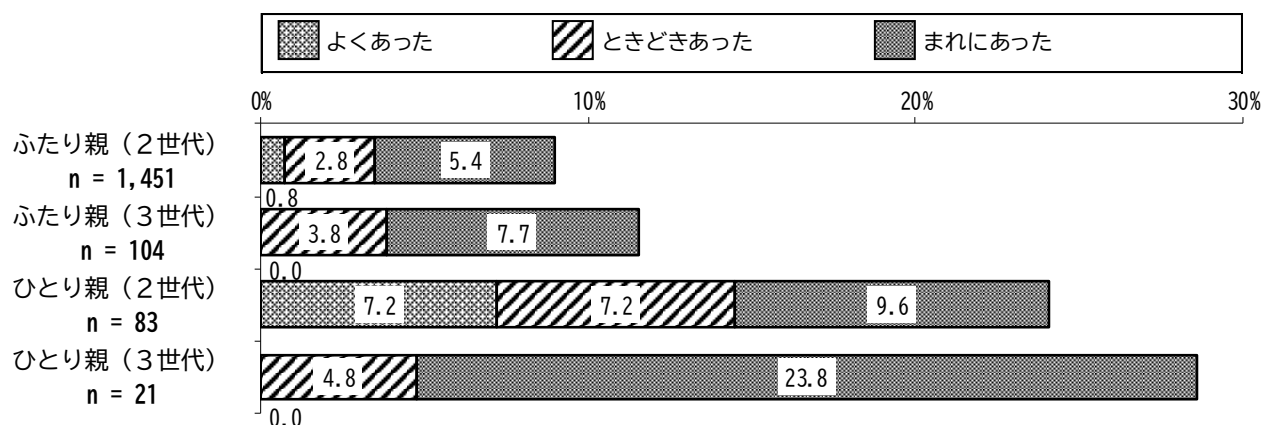


「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の回答を〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」及び「まれにあった」を合計した割合は、すべての年齢層で【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生①〕の【ひとり親（３世代）】が28.6%と、【ふたり親（３世代）】（11.5%）よりも17.1ポイント、〔未就学児〕の【ひとり親（２世代）】が25.4%と、【ふたり親（２世代）】（8.9%）よりも16.5ポイント高くなっている。

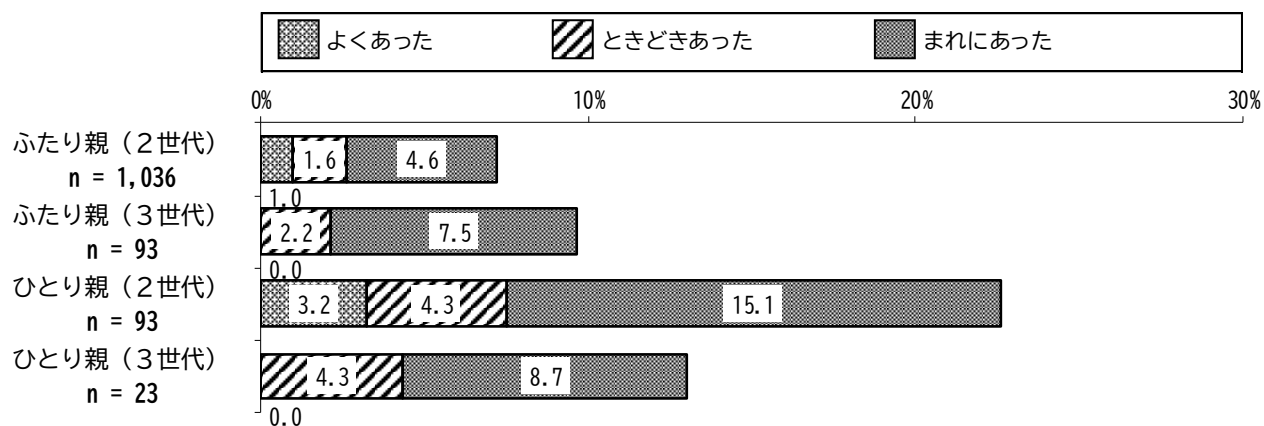
<保護者>衣類を買えなかった経験【世帯タイプ別】未就学児 (***)



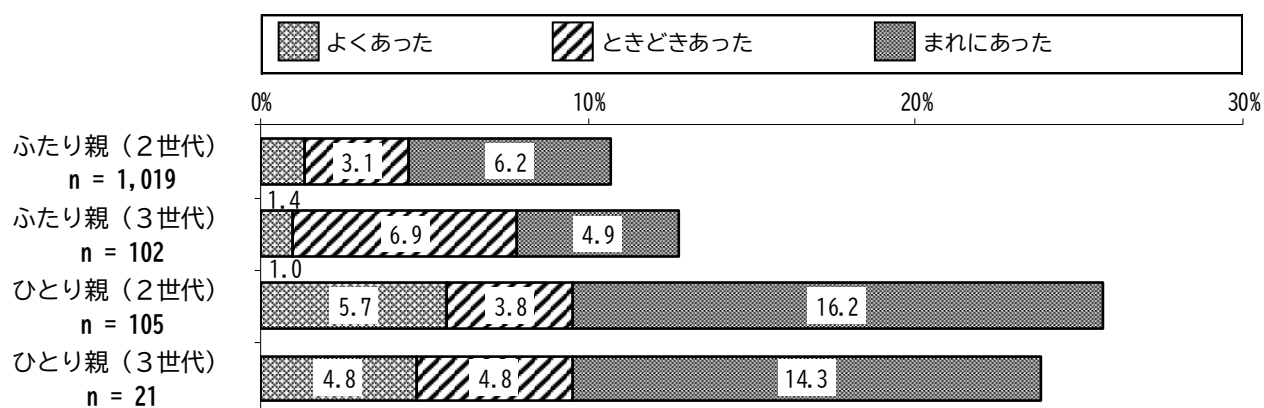
<保護者>衣類を買えなかった経験【世帯タイプ別】小学生① (***)



<保護者>衣類を買えなかった経験【世帯タイプ別】小学生② (***)

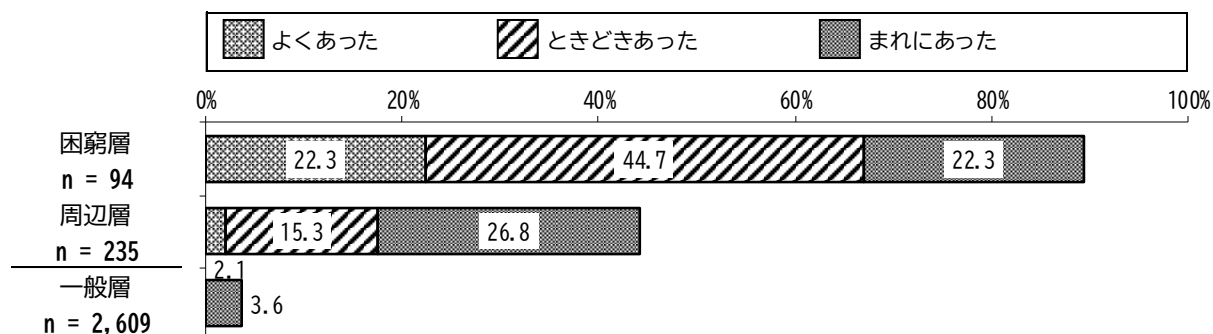


<保護者>衣類を買えなかった経験【世帯タイプ別】中学生 (***)

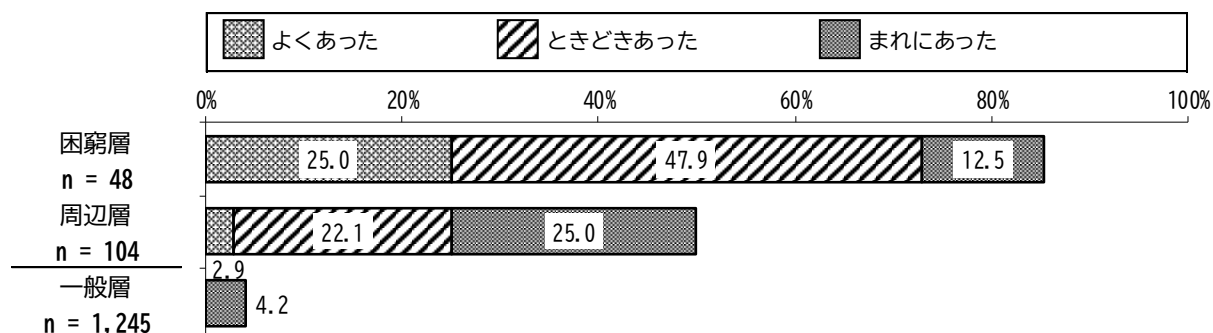


「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の回答を〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」及び「まれにあった」を合計した割合は、すべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔未就学児〕の【困窮層】が 89.3%と、【周辺層】（44.2%）よりも 45.1 ポイント、〔中学生〕の【困窮層】が 89.1%と、【周辺層】（44.2%）よりも 44.9 ポイント高くなっている。

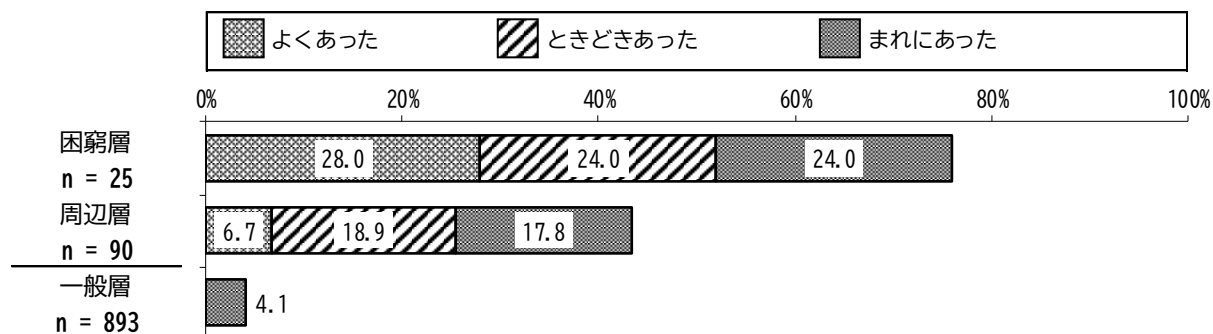
<保護者>衣類を買えなかった経験【生活困難度別】未就学児（***）



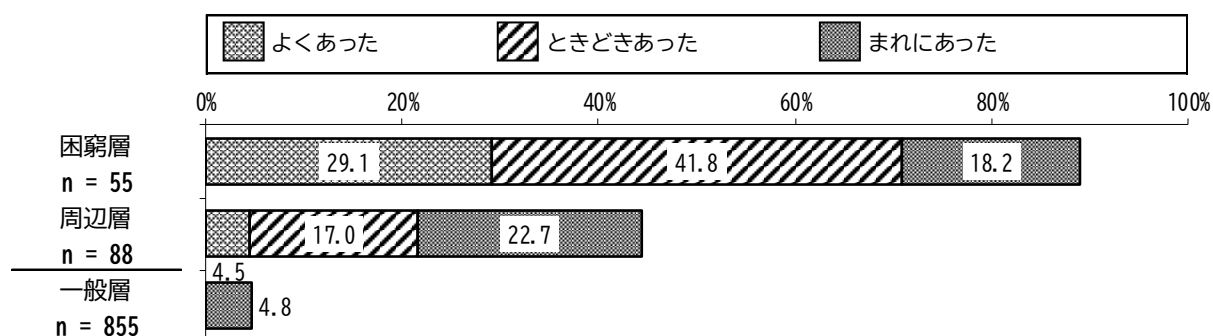
<保護者>衣類を買えなかった経験【生活困難度別】小学生①（***）



<保護者>衣類を買えなかった経験【生活困難度別】小学生②（***）



<保護者>衣類を買えなかった経験【生活困難度別】中学生（***）



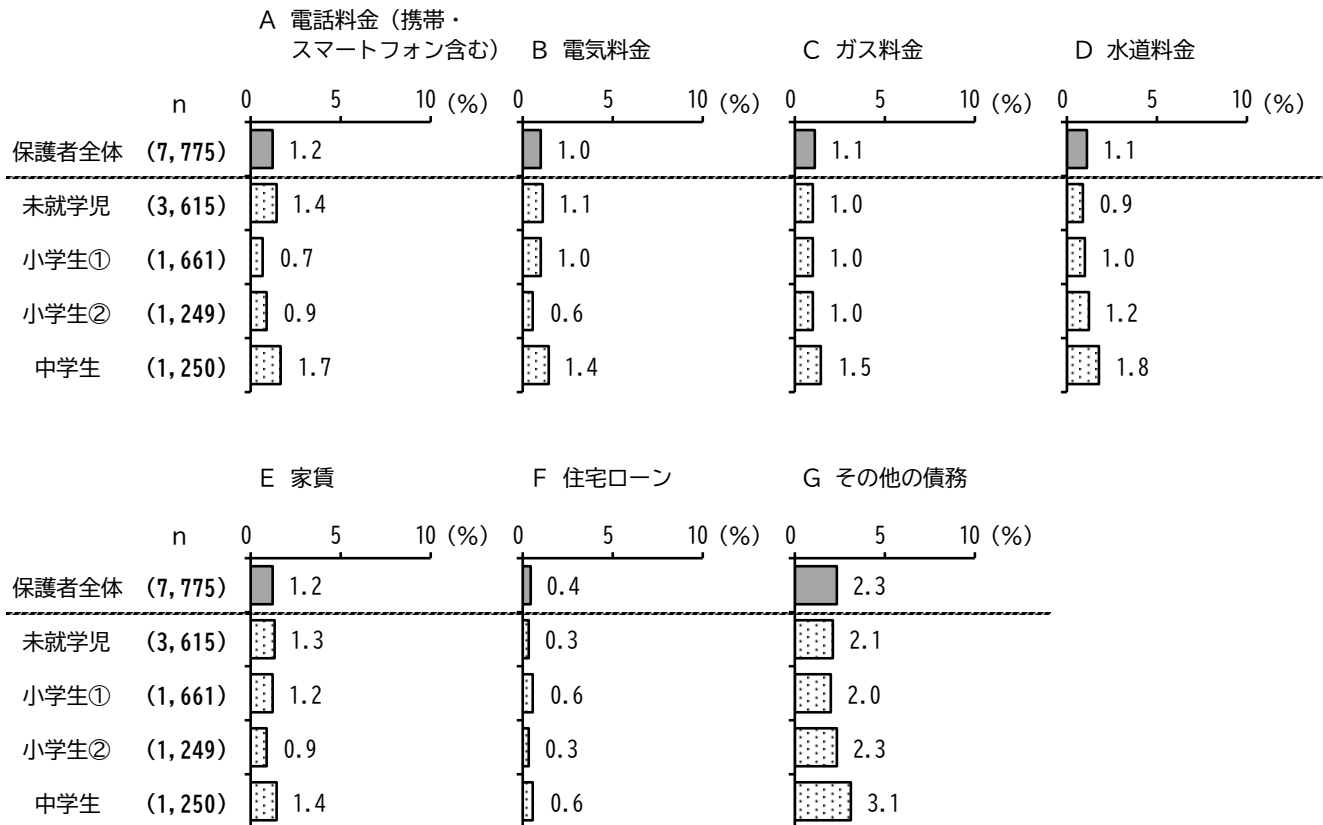
(3) 公共料金等の滞納経験

過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(それぞれ1つに○)

「あった」の回答を比べると、保護者全体では[A 電話料金(携帯・スマートフォン含む)]が1.2%、[E 家賃]が1.2%、[C ガス料金]が1.1%、[D 水道料金]が1.1%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

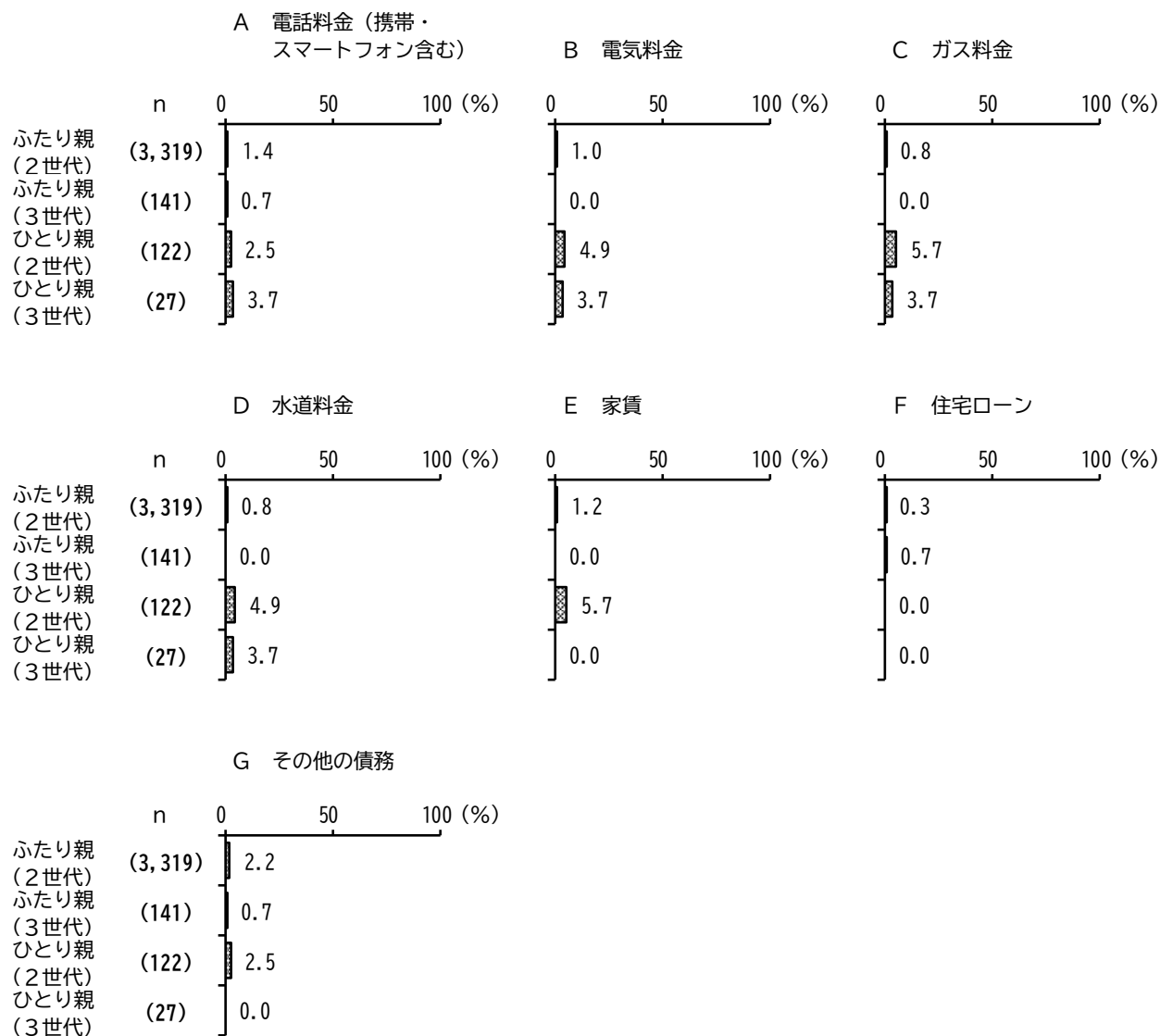
<保護者> 公共料金等の滞納経験【子どもの年齢層別】



〔未就学児〕において「あった」の回答を世帯タイプ別にみると、おおむね【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、【ひとり親（2世代）】は〔電気料金〕が4.9%、〔ガス料金〕が5.7%、〔水道料金〕が4.9%、〔家賃〕が5.7%と他の区分に比べ、高くなっている。

<保護者>公共料金等の滞納経験【世帯タイプ別】未就学児

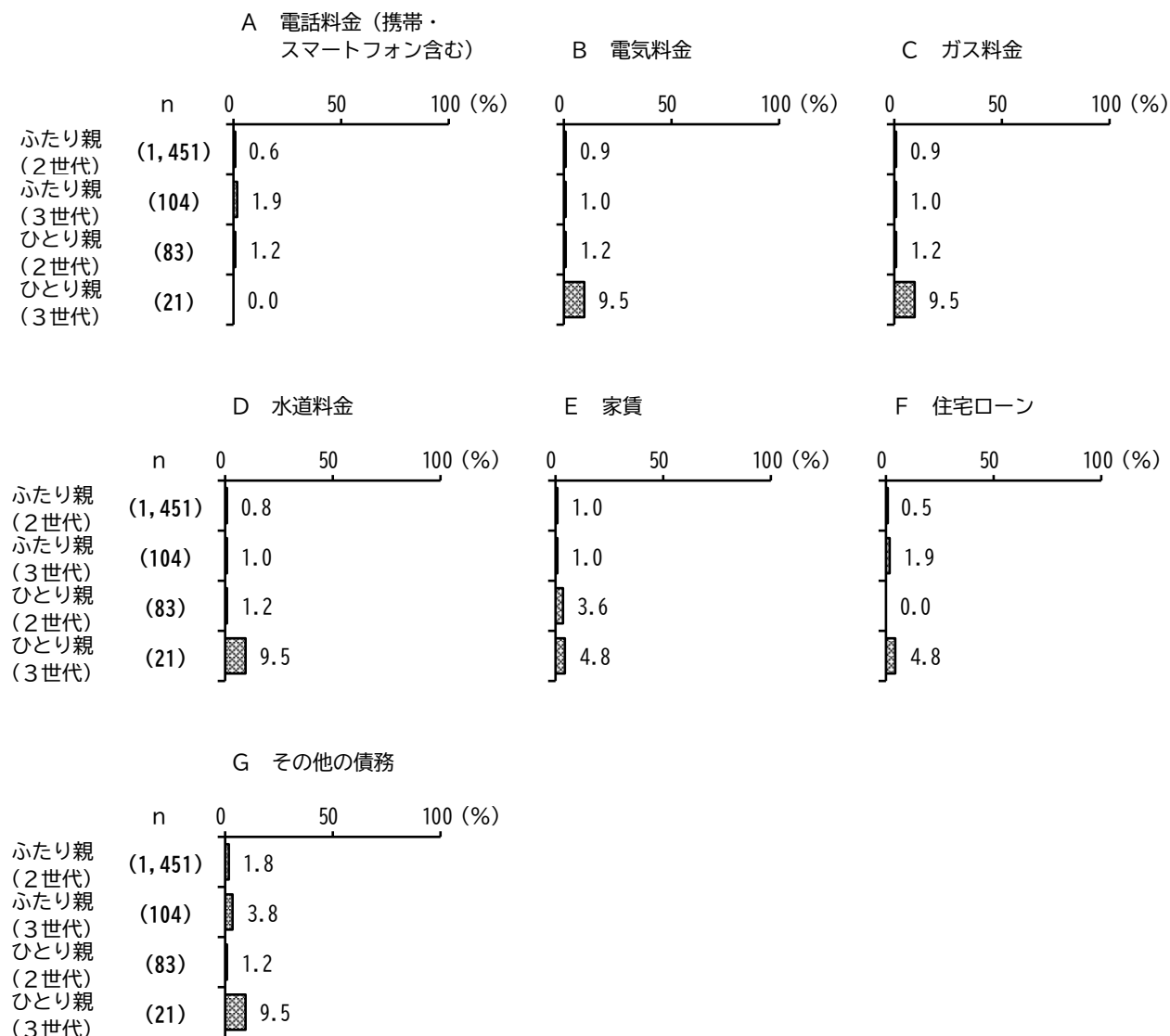
(A (×) B (***) C (***) D (***) E (***) F (×) G (×))



〔小学生①〕において「あった」の回答を世帯タイプ別にみると、【ひとり親（3世代）】は〔電気料金〕が9.5%、〔ガス料金〕が9.5%、〔水道料金〕が9.5%、〔その他の債務〕が9.5%と他の区分に比べ、高くなっている。

<保護者>公共料金等の滞納経験【世帯タイプ別】小学生①

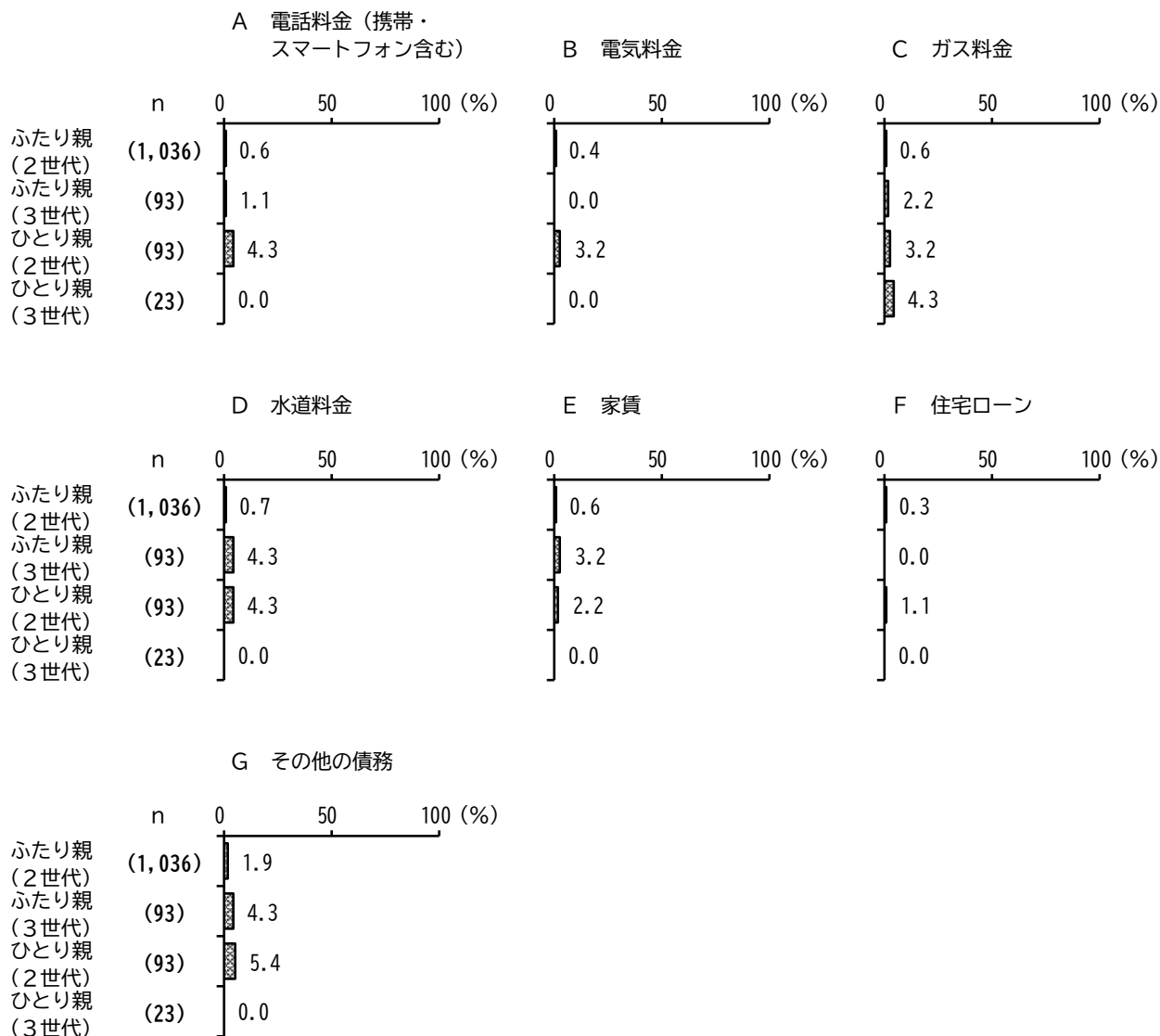
(A (×) B (***) C (***) D (***) E (***) F (***) G (***))



〔小学生②〕において「あった」の回答を世帯タイプ別にみると、【ひとり親（2世代）】は〔電話料金（携帯・スマートフォン含む）〕が4.3%、〔電気料金〕が3.2%と他の区分に比べ、高くなっている。〔水道料金〕は【ふたり親（3世代）】及び【ひとり親（2世代）】がともに4.3%と他の区分に比べ、高くなっている。

<保護者>公共料金等の滞納経験【世帯タイプ別】小学生②

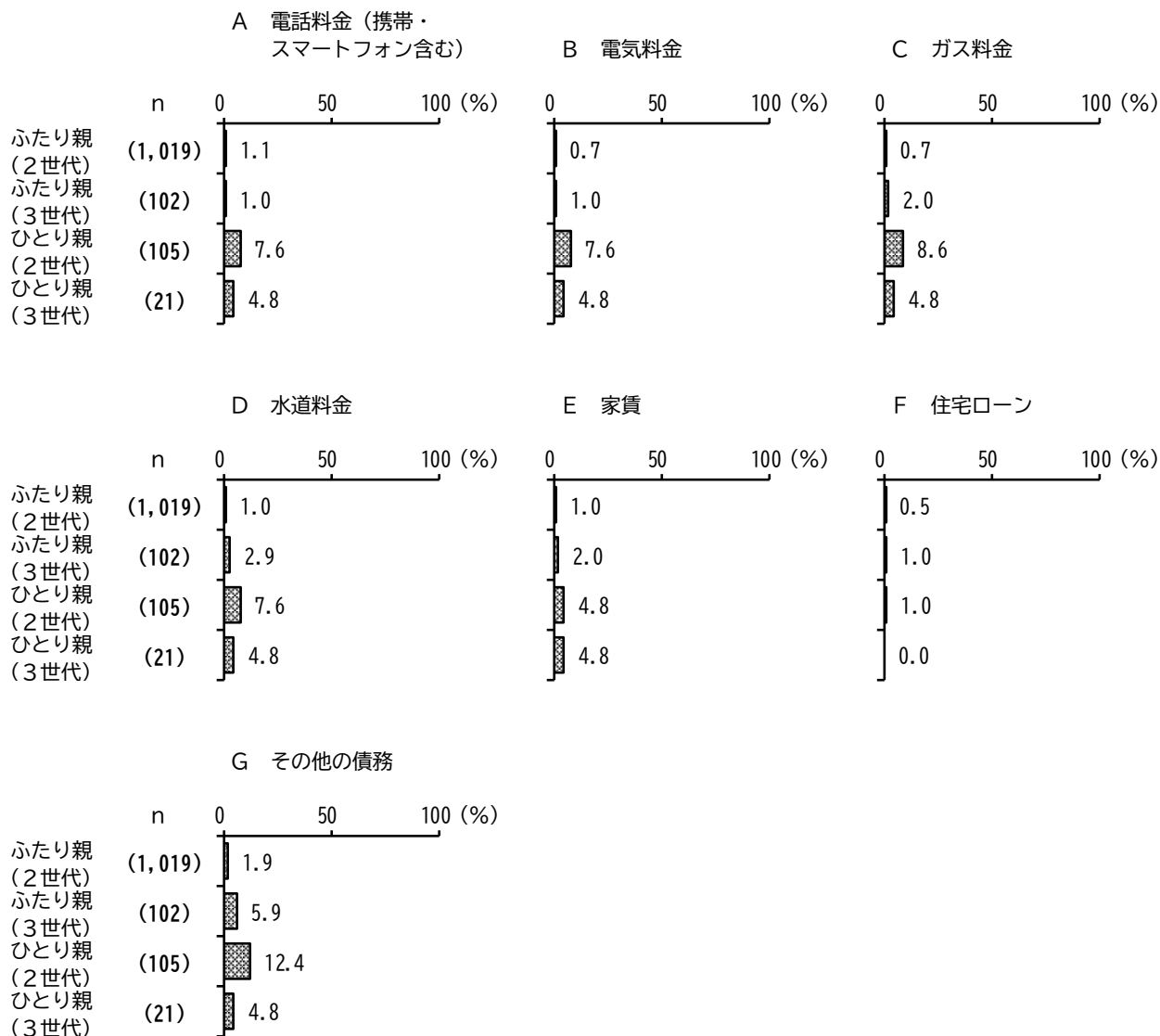
(A (**)) B (**)) C (*) D (***) E (***) F (***) G (***)



〔中学生〕において「あった」の回答を世帯タイプ別にみると、おおむね【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、【ひとり親（2世代）】は〔電話料金（携帯・スマートフォン含む）〕が7.6%、〔電気料金〕が7.6%、〔ガス料金〕が8.6%、〔水道料金〕が7.6%と他の区分に比べ、高くなっている。

<保護者>公共料金等の滞納経験【世帯タイプ別】中学生

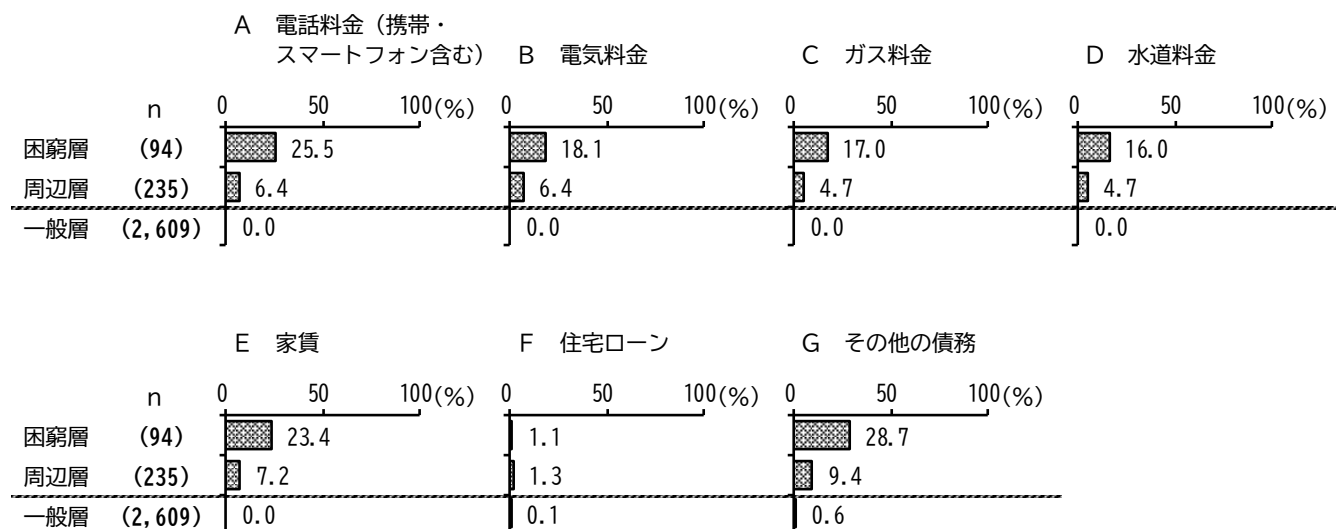
(A (***) B (***) C (***) D (***) E (***) F (***) G (***))



〔未就学児〕において「あった」の回答を生活困難度別にみると、〔住宅ローン〕を除き【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔電話料金（携帯・スマートフォン含む）〕は【困窮層】が25.5%と、【周辺層】（6.4%）よりも 19.1 ポイント、〔家賃〕は【困窮層】が 23.4%と、【周辺層】（7.2%）よりも 16.2 ポイント高くなっている。

<保護者> 公共料金等の滞納経験【生活困難度別】未就学児

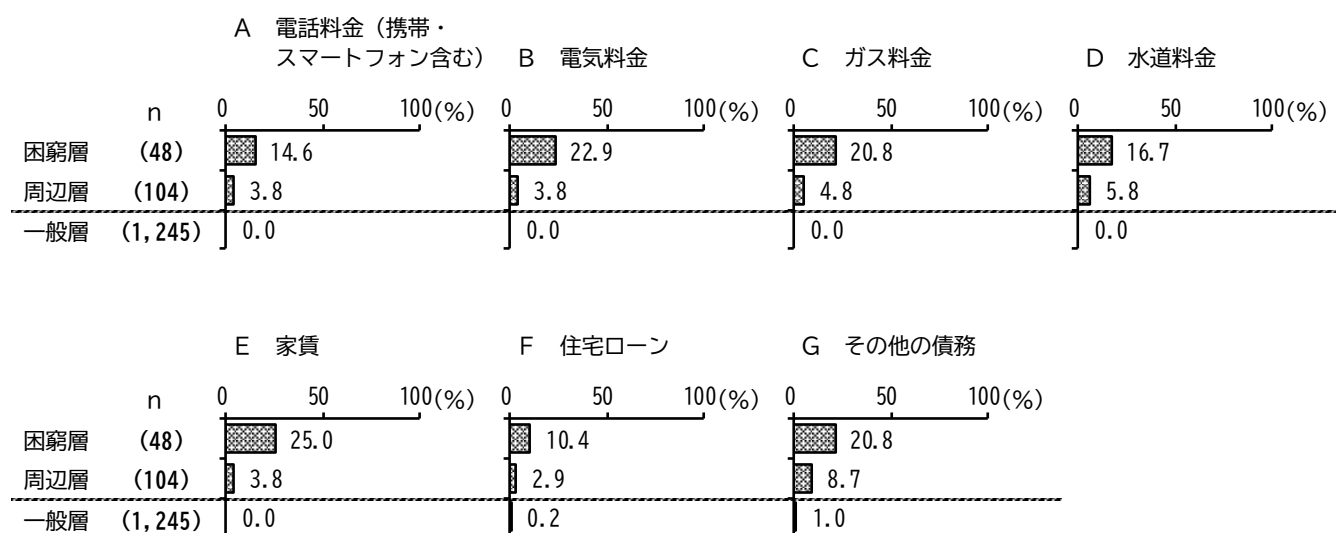
(A (***) B (***) C (***) D (***) E (***) F (***) G (***))



〔小学生①〕において「あった」の回答を生活困難度別にみると、すべての項目で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔家賃〕は【困窮層】が 25.0%と、【周辺層】（3.8%）よりも 21.2 ポイント、〔電気料金〕は【困窮層】が 22.9%と、【周辺層】（3.8%）よりも 19.1 ポイント高くなっている。

<保護者> 公共料金等の滞納経験【生活困難度別】小学生①

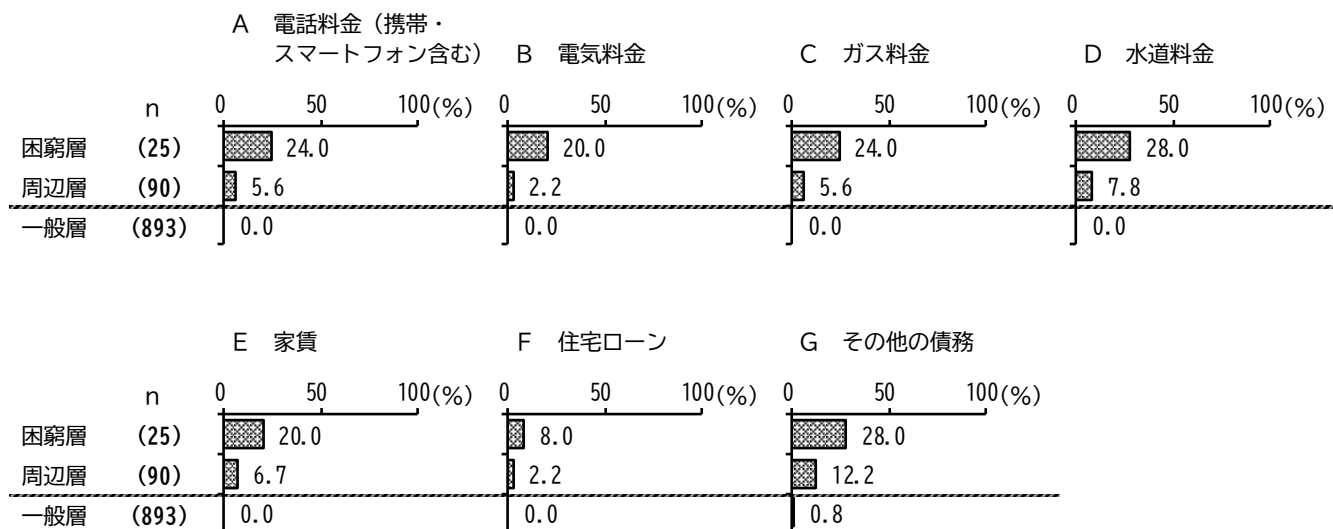
(A (***) B (***) C (***) D (***) E (***) F (***) G (***))



〔小学生②〕において「あった」の回答を生活困難度別にみると、すべての項目で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔水道料金〕は【困窮層】が28.0%と、【周辺層】(7.8%)よりも20.2ポイント高くなっている。

<保護者>公共料金等の滞納経験【生活困難度別】小学生②

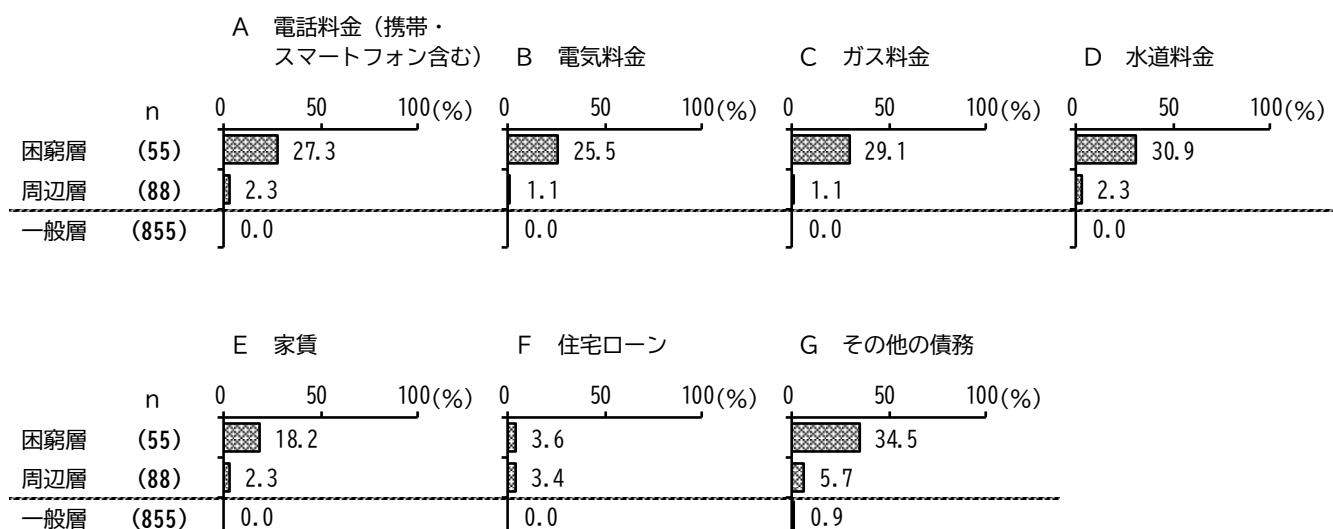
(A (***) B (***) C (***) D (***) E (***) F (***) G (***))



〔中学生〕において「あった」の回答を生活困難度別にみると、すべての項目で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔水道料金〕は【困窮層】が30.9%と、【周辺層】(2.3%)よりも28.6ポイント、〔ガス料金〕は【困窮層】が29.1%と、【周辺層】(1.1%)よりも28.0ポイント高くなっている。

<保護者>公共料金等の滞納経験【生活困難度別】中学生

(A (***) B (***) C (***) D (***) E (***) F (***) G (***))



(4) 物品の所有状況

次のうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。(〇はいくつでも)

保護者全体では「あてはまるものはない」が 58.4%となっている。一方、「自家用車」が 23.3%、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が 7.5%、「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」が 5.1%、「月に一度の友だちや家族との外食」が 3.5%、「インターネットにつながるパソコン」が 3.4%となっている。

子どもの年齢層別にみると、「急な出費のための貯金（5万円以上）」は子どもの年齢層が高くなるほど、その割合が高くなり【中学生】が 10.3%となっている。「自家用車」は【未就学児】が 26.3%と他の区分に比べ、高くなっている。

＜保護者＞家庭における物品が欠如している割合【子どもの年齢層別】

n	保護者全体 (7,775)	未就学児 (3,615)	小学生① (1,661)	小学生② (1,249)	中学生 (1,250)
自家用車	23.3%	26.3%	23.1%	18.3%	19.8%
急な出費のための貯金（5万円以上）	7.5%	6.7%	6.9%	7.9%	10.3%
子どもが自宅で宿題をすることができる場所	5.1%	5.0%	6.0%	4.2%	5.3%
月に一度の友だちや家族との外食	3.5%	2.8%	3.1%	4.2%	5.4%
インターネットにつながるパソコン	3.4%	3.4%	3.9%	2.8%	3.6%
子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	2.9%	4.5%	1.7%	0.8%	1.9%
子どもの年齢に合った本	1.8%	1.7%	2.0%	1.1%	2.8%
テレビ	0.8%	0.9%	0.8%	0.5%	1.2%
電話（固定電話・携帯電話を含む）	0.8%	1.0%	0.7%	0.6%	0.7%
インターネットに接続できる環境（有線、無線（Wi-Fi等を含む））	0.6%	0.7%	0.5%	0.6%	0.6%
エアコン	0.5%	0.5%	0.3%	0.6%	0.7%
暖房器具	0.5%	0.5%	0.5%	0.4%	0.6%
洗濯機	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.6%
冷蔵庫	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%
あてはまるものはない	58.4%	55.6%	60.9%	62.8%	58.8%
無回答	10.7%	10.8%	9.5%	11.8%	11.0%

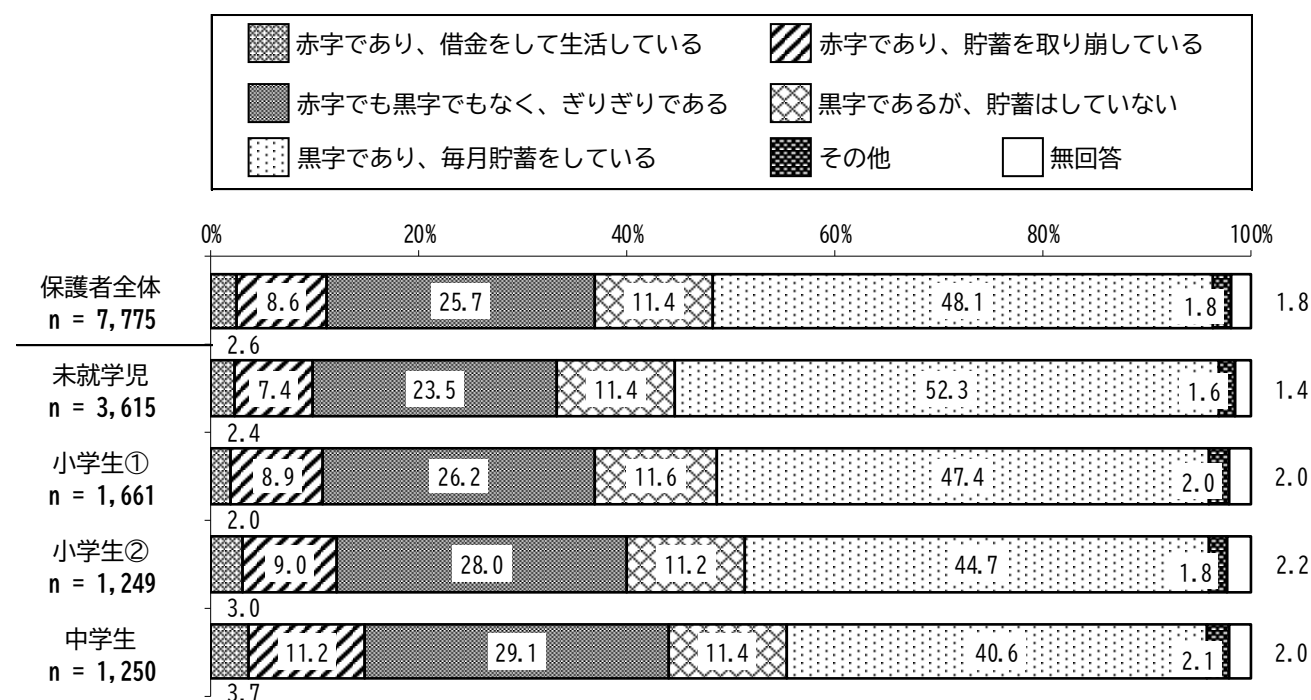
(5) 家計の収支状況

ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(1つに○)

保護者全体では「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が48.1%で最も高く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が25.7%、「黒字であるが、貯蓄はしていない」が11.4%となっている。「赤字であり、借金をして生活している」と「赤字であり、貯蓄を取り崩している」を合わせた『赤字』が11.2%となっている。

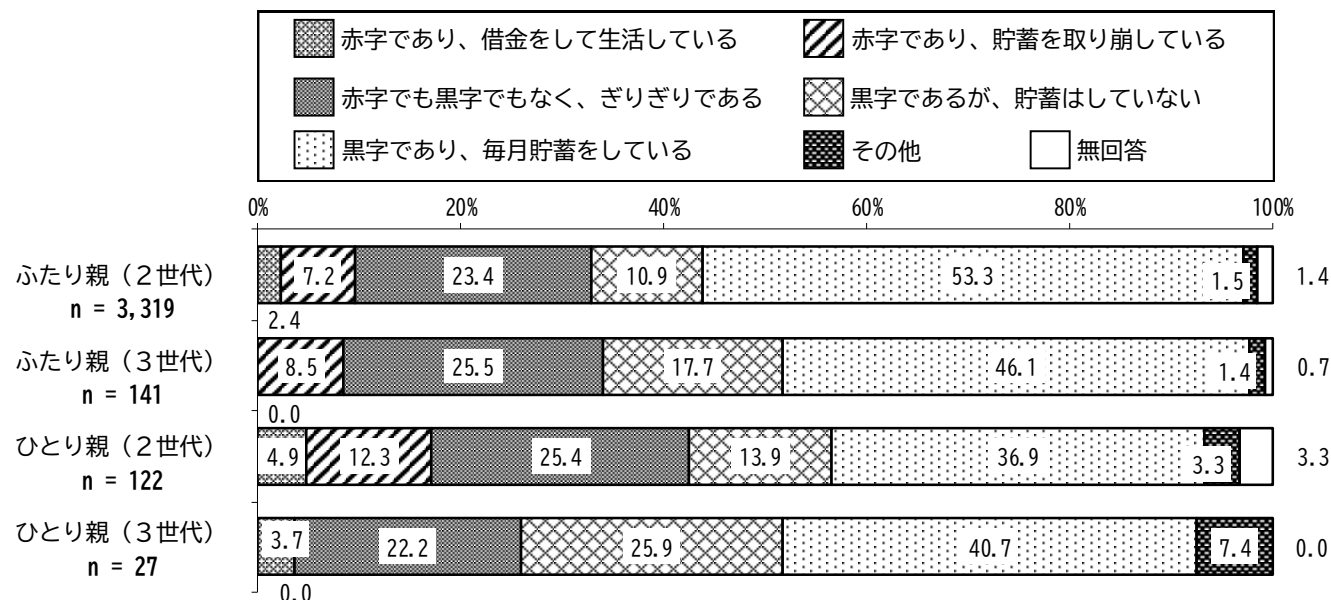
子どもの年齢層別にみると、『赤字』は子どもの年齢層が高くなるほど、その割合が高くなり【中学生】が14.9%となっている。

<保護者>家計の収支状況【子どもの年齢層別】



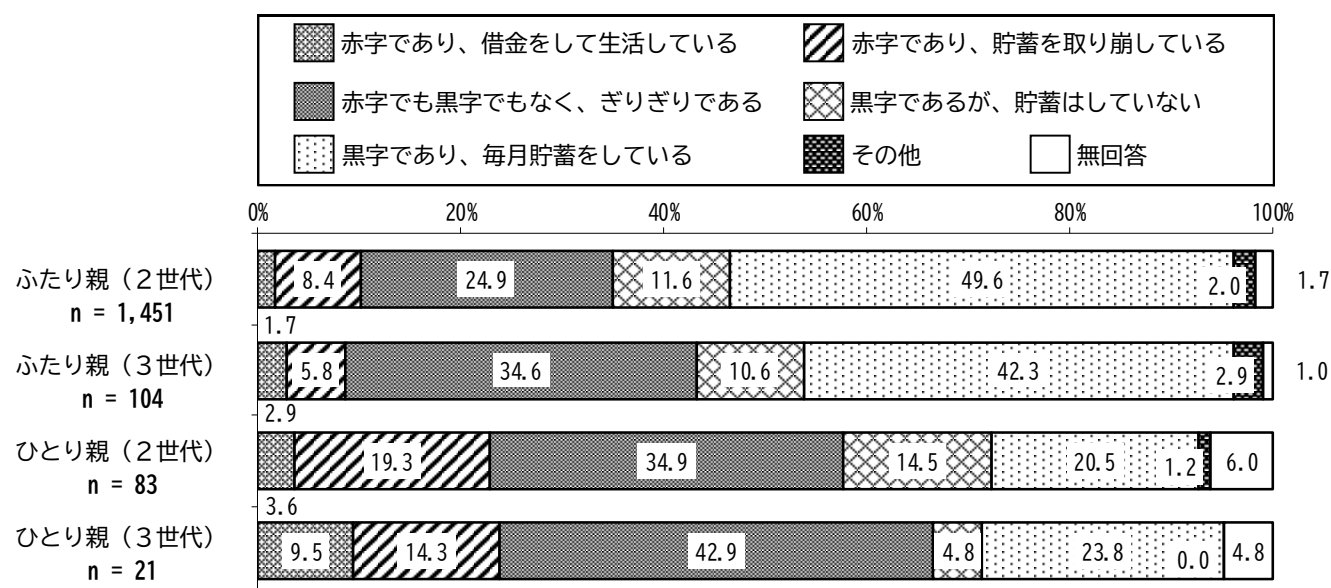
〔未就学児〕において世帯タイプ別にみると、「黒字であり、毎月貯蓄をしている」は【ふたり親】が【ひとり親】に比べ、高くなっている。特に、【ふたり親（2世代）】は 53.3%と他の区分に比べ、高くなっている。

<保護者>家計の収支状況【世帯タイプ別】未就学児 (***)



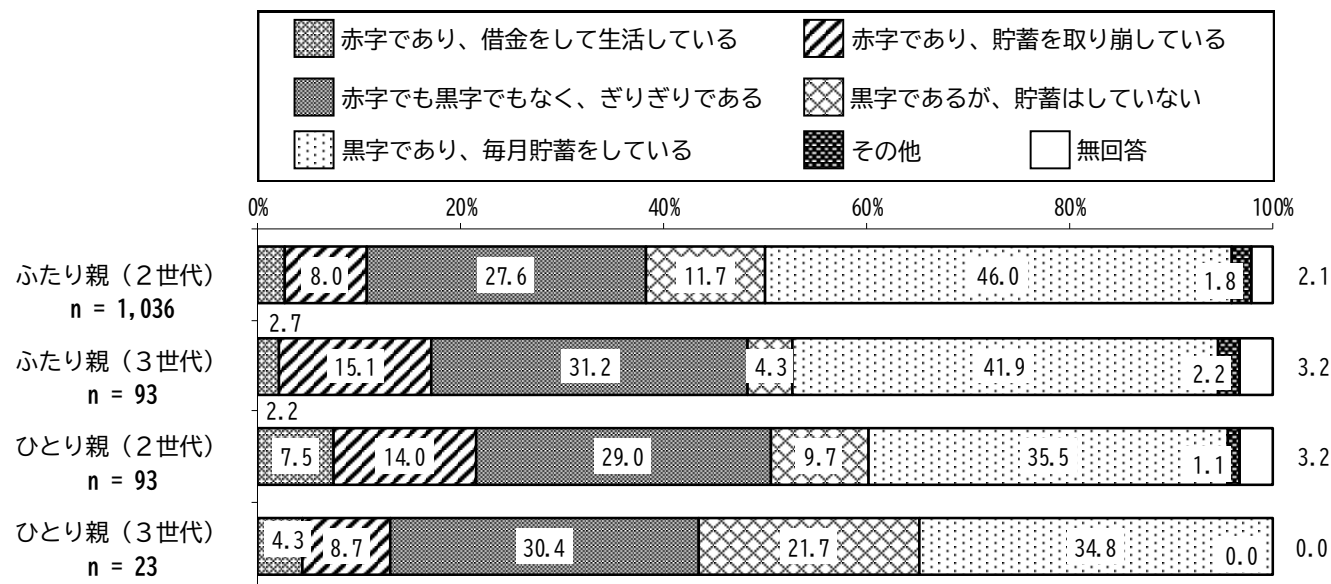
〔小学生①〕において世帯タイプ別にみると、『赤字』は【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、【ひとり親（2世代）】が 22.9%、【ひとり親（3世代）】が 23.8%と他の区分に比べ、高くなっている。

<保護者>家計の収支状況【世帯タイプ別】小学生① (***)



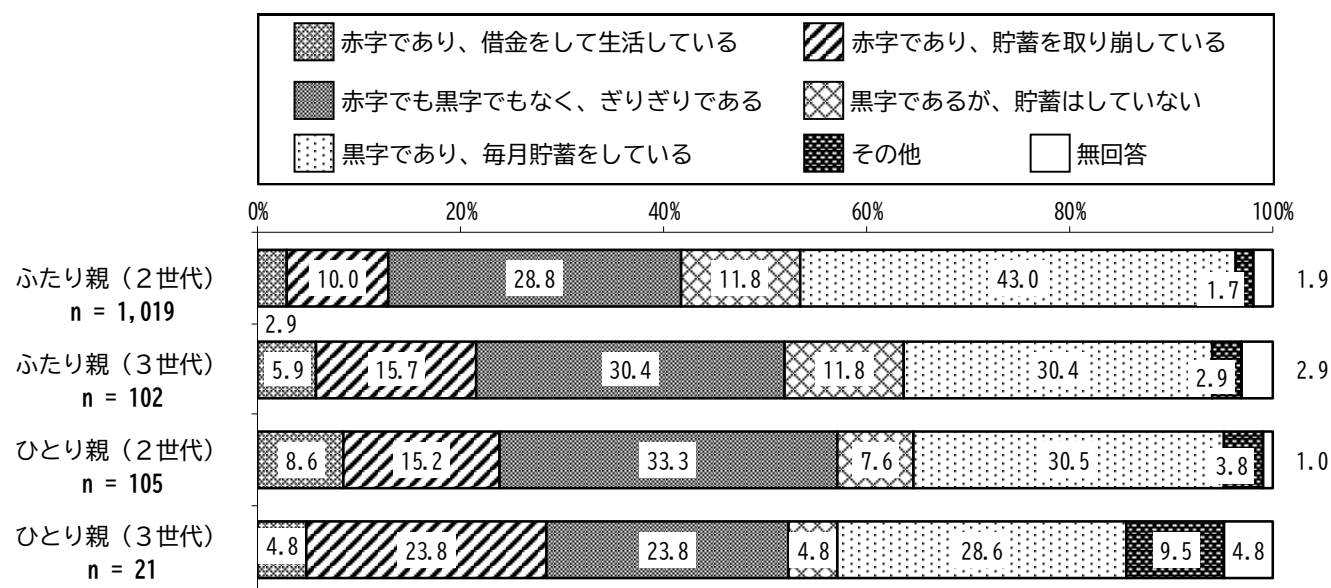
〔小学生②〕において世帯タイプ別にみると、「黒字であり、毎月貯蓄をしている」は【ふたり親】が【ひとり親】に比べ、高くなっている。特に、【ふたり親（2世代）】は46.0%と他の区分に比べ、高くなっている。

<保護者>家計の収支状況【世帯タイプ別】小学生②（**）



〔中学生〕において世帯タイプ別にみると、『赤字』は【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、【ひとり親（3世代）】が28.6%と他の区分に比べ、高くなっている。

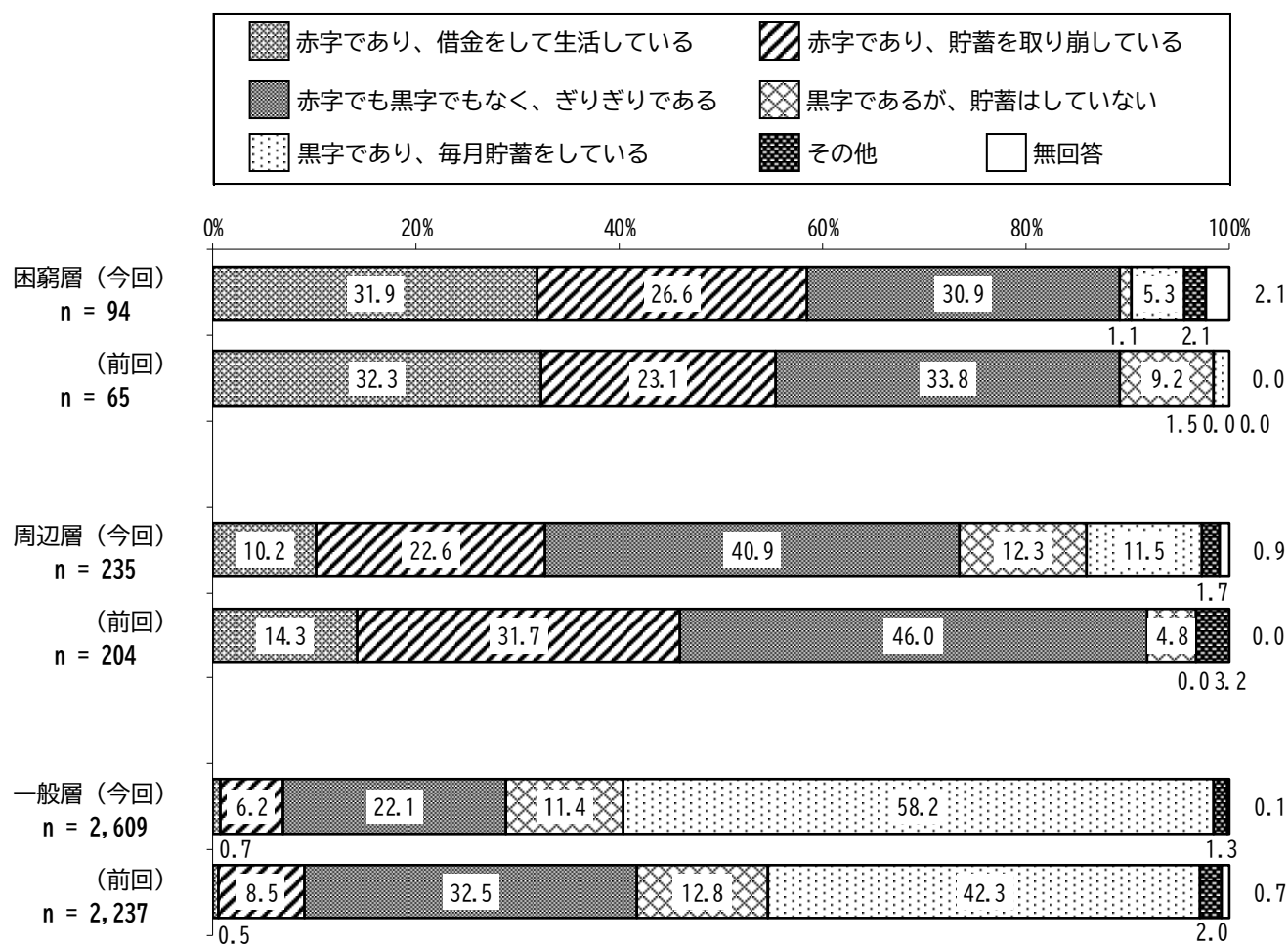
<保護者>家計の収支状況【世帯タイプ別】中学生（***）



〔未就学児〕において生活困難度別にみると、『赤字』は【困窮層】が 58.5%と他の区分に比べ、高くなっている。

前回と比べると、「黒字であり、毎月貯蓄をしている」は【一般層】が 58.2%と、前回（42.3%）から 15.9 ポイント増加している。

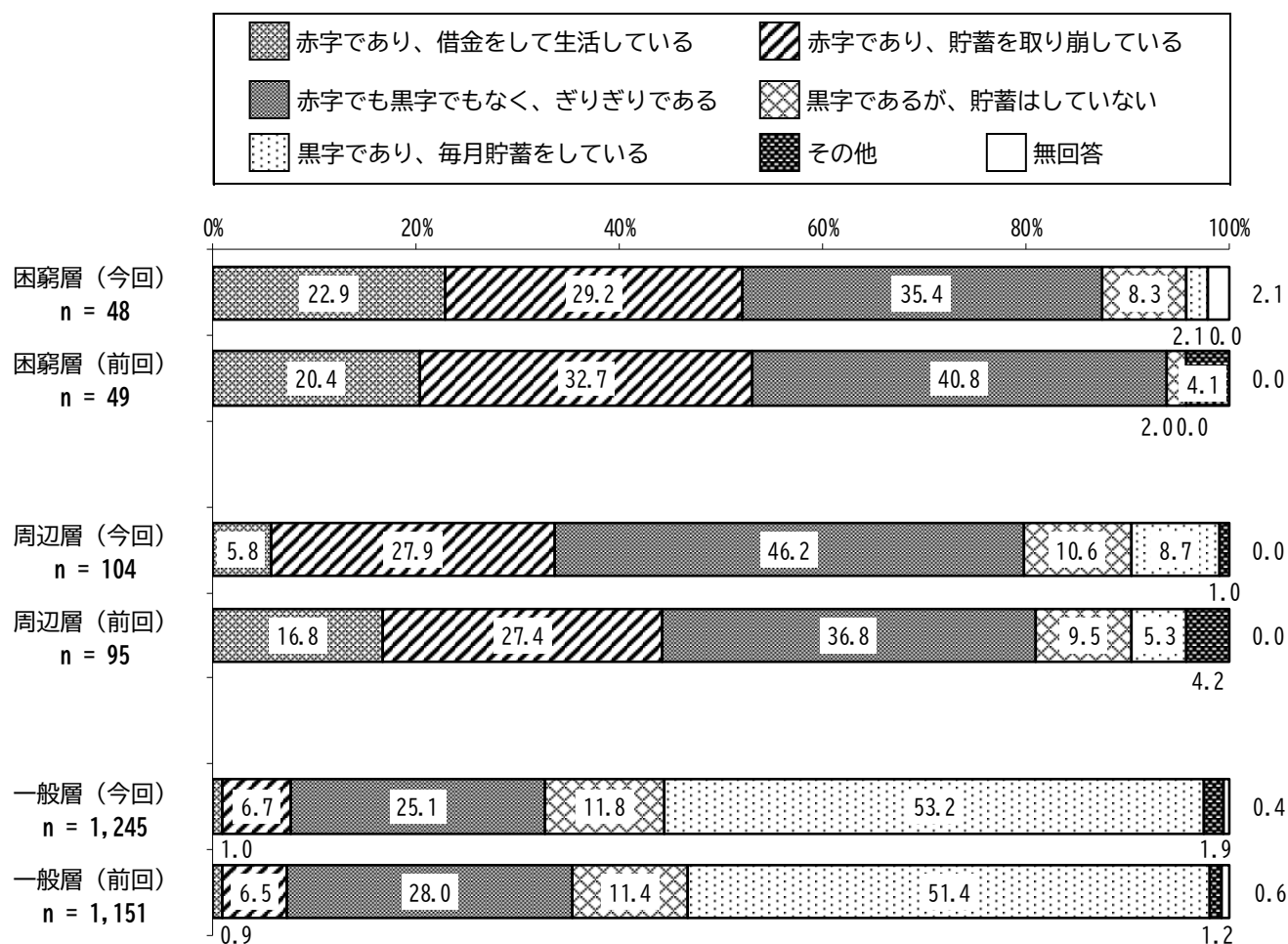
<保護者>家計の収支状況【生活困難度別】未就学児（**） ※前回との比較



〔小学生①〕において生活困難度別にみると、『赤字』は【困窮層】が 52.1%と他の区分に比べ、高くなっている。

前回と比べると、「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」は【周辺層】が 46.2%と、前回（36.8%）から 9.4 ポイント増加している。

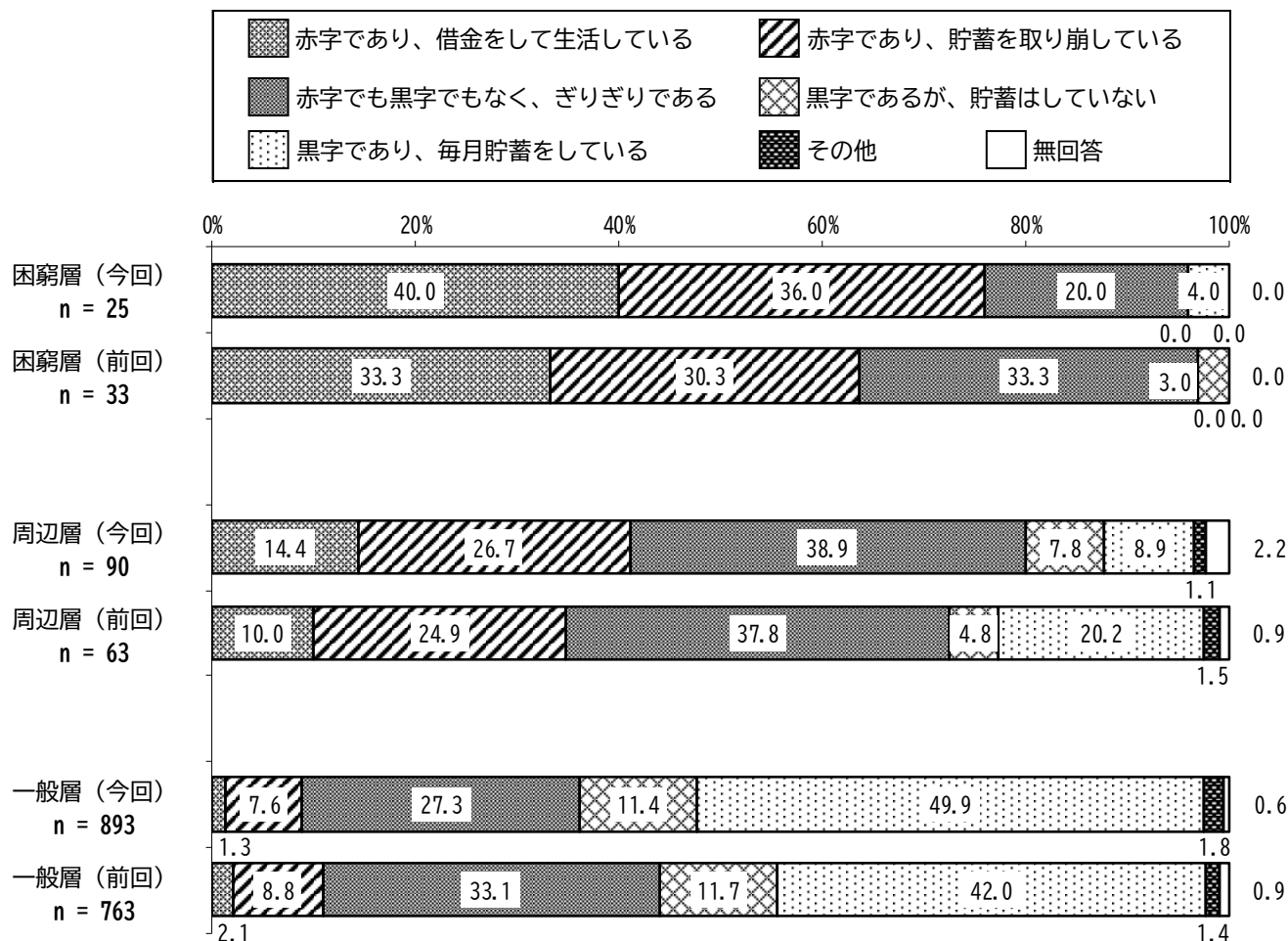
<保護者>家計の収支状況【生活困難度別】小学生①（***） ※前回との比較



〔小学生②〕において生活困難度別にみると、『赤字』は【困窮層】が 76.0%と他の区分に比べ、高くなっている。

前回と比べると、【困窮層】は『赤字』が 76.0%と、前回 (63.6%) から 12.4 ポイント増加している一方、「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が 20.0%と、前回 (33.3%) から 13.3 ポイント減少している。

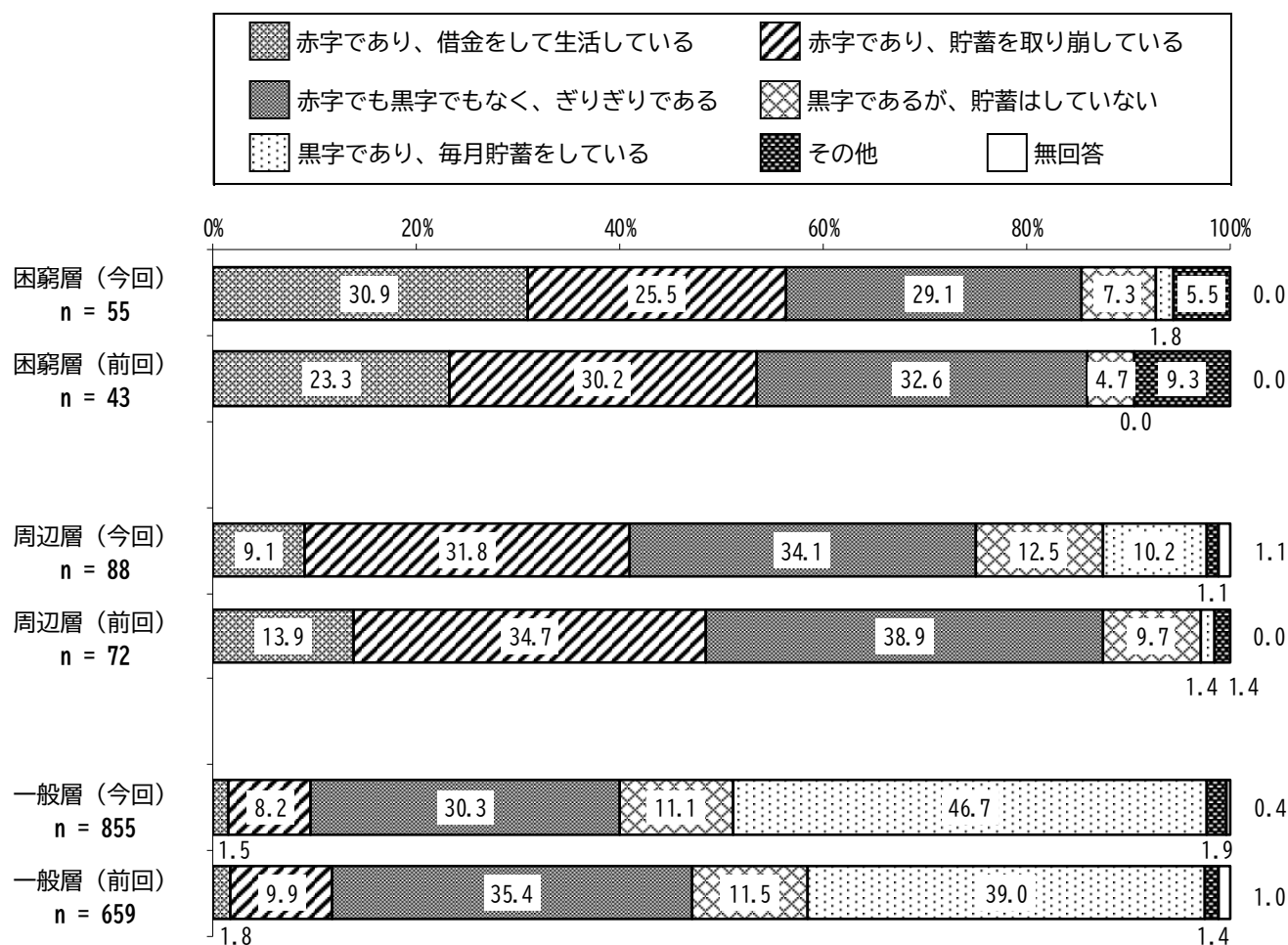
<保護者>家計の収支状況【生活困難度別】小学生② (***) ※前回との比較



〔中学生〕において生活困難度別にみると、『赤字』は【困窮層】が 56.4%、【周辺層】が 40.9%と【一般層】(9.7%) に比べ、高くなっている。

前回と比べると、「黒字であり、毎月貯蓄をしている」は【周辺層】が 10.2%と、前回 (1.4%) から 8.8 ポイント増加している。

<保護者>家計の収支状況【生活困難度別】中学生 (***) ※前回との比較



2 子どもの生活水準

(1) 子どもの所有物の欠如

あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。(それぞれ1つに○)

項目ごとに「ある」「ない(ほしい)」「ない(ほしくない)」をたずねた。回答から「欲しいが、持っていない」割合を算出(=「ない(ほしい)」人数/(「ある」人数+「ない(ほしい)」人数)×100)した。

※例) 小学生の[A 自分だけの本]は、「ない(ほしい)」55人/(「ある」746人+「ない(ほしい)」55人)×100=6.9%となる。

〔小学生〕では〔O 携帯音楽プレーヤーなど〕が57.8%で最も高く、次いで〔B 子ども部屋(きょうだいと使っている場合もふくみます)〕が36.0%、〔N 携帯電話、スマートフォン〕が28.3%、〔C (自宅で)インターネットにつながるパソコン〕が26.1%、〔F 自分専用の勉強机〕が24.5%と続いている。

前回と比べると、〔B 子ども部屋(きょうだいと使っている場合もふくみます)〕が36.0%と、前回(31.4%)から4.6ポイント増加している。一方、〔L 友だちが着ているのと同じような服〕が6.7%と、前回(10.9%)から4.2ポイント減少している。

〔中学生〕では〔O 携帯音楽プレーヤーなど〕が28.3%で最も高く、次いで〔B 子ども部屋(きょうだいと使っている場合もふくみます)〕が24.5%、〔C (自宅で)インターネットにつながるパソコン〕が19.2%、〔F 自分専用の勉強机〕が12.1%と続いている。

前回と比べると、〔N 携帯電話、スマートフォン〕が5.2%と、前回(11.4%)から6.2ポイント減少している。

<保護者>子どもの所有物の欠如(「欲しいが、持っていない」割合)

【子どもの年齢層別】前回調査との比較

	小学生		中学生	
	今回	前回	今回	前回
n	(910)	(1,075)	(911)	(942)
A 自分だけの本(学校の教科書やマンガはのぞく)	6.9%	5.5%	4.4%	3.2%
B 子ども部屋(きょうだいと使っている場合もふくみます)	36.0%	31.4%	24.5%	22.3%
C (自宅で)インターネットにつながるパソコン	26.1%	24.1%	19.2%	19.3%
D (自宅で)インターネットにつなげる環境(有線、無線(Wi-Fiなどをふくむ))	3.5%	-	2.0%	-
E 自宅で宿題をすることができる場所	4.2%	4.7%	4.3%	5.1%
F 自分専用の勉強机	24.5%	24.0%	12.1%	11.4%
G スポーツ用品(野球のグローブや、サッカーボールなど)	4.6%	4.9%	3.8%	3.6%
H ゲーム機	9.8%	13.1%	9.0%	6.5%
I たいていの友だちが持っているおもちゃ	10.7%	13.9%	7.2%	9.2%
J 自転車	3.6%	2.9%	5.7%	4.8%
K おやつや、ちょっとしたおもちゃをかうおこづかい	11.3%	11.0%	7.2%	8.7%
L 友だちが着ているのと同じような服	6.7%	10.9%	6.9%	7.3%
M 2足以上のサイズのあった靴	4.9%	4.8%	4.4%	4.6%
N 携帯電話、スマートフォン	28.3%	31.1%	5.2%	11.4%
O 携帯音楽プレーヤーなど	57.8%	60.5%	28.3%	29.7%

〔小学生〕において「欲しいが、持っていない」割合を世帯タイプ別にみると、【ひとり親（3世代）】は〔J 自転車〕が31.3%、〔K おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい〕が26.7%と他の区分に比べ、高くなっている。〔O 携帯音楽プレーヤーなど〕は【ふたり親（3世代）】が74.2%と他の区分に比べ、高くなっている一方、【ひとり親（3世代）】が42.9%と他の区分に比べ、低くなっている。

子どもの所有物の欠如（「欲しいが、持っていない」割合）

【世帯タイプ別】小学生

(A (×) B (×) C (×) D (×) E (***) F (×) G (×) H (×)

I (×) J (***) K (×) L (×) M (*) N (×) O (×))

区分	小学生			
	ふたり親 (2世代)	ふたり親 (3世代)	ひとり親 (2世代)	ひとり親 (3世代)
n	(713)	(62)	(70)	(16)
A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）	7.5%	1.9%	7.0%	7.1%
B 子ども部屋（きょうだいと使っている場合もふくみます）	33.9%	49.1%	43.1%	33.3%
C （自宅で）インターネットにつながるパソコン	26.0%	29.1%	24.1%	36.4%
D （自宅で）インターネットにつなげる環境（有線、無線(Wi-Fiなどをふくむ))	3.5%	3.3%	1.5%	6.7%
E 自宅で宿題をすることができる場所	3.9%	3.4%	10.3%	0.0%
F 自分専用の勉強机	23.1%	24.1%	39.3%	20.0%
G スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）	4.0%	6.3%	8.9%	0.0%
H ゲーム機	9.3%	11.7%	10.8%	6.7%
I たいていの友だちが持っているおもちゃ	9.8%	7.5%	15.5%	20.0%
J 自転車	2.9%	0.0%	6.3%	31.3%
K おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい	10.6%	11.9%	14.1%	26.7%
L 友だちが着ているのと同じような服	6.5%	5.9%	6.1%	8.3%
M 2足以上のサイズのあった靴	4.1%	5.1%	11.5%	7.7%
N 携帯電話、スマートフォン	28.7%	31.0%	21.2%	37.5%
O 携帯音楽プレーヤーなど	56.7%	74.2%	64.9%	42.9%

〔中学生〕において「欲しいが、持っていない」割合を世帯タイプ別にみると、〔F 自分専用の勉強机〕は【ひとり親(2世代)】が 27.9%と他の区分に比べ、高くなっている。〔C (自宅) インターネットにつながるパソコン〕は【ひとり親(3世代)】が 33.3%と他の区分に比べ、高くなっている。

子どもの所有物の欠如（「欲しいが、持っていない」割合）

【世帯タイプ別】中学生

(A (×) B (***) C (***) D (***) E (×) F (***) G (×) H (×)

I (×) J (*) K (×) L (×) M (×) N (×) O (×))

区分	中学生			
	ふたり親 (2世代)	ふたり親 (3世代)	ひとり親 (2世代)	ひとり親 (3世代)
n	(719)	(68)	(74)	(15)
A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）	4.3%	4.9%	8.1%	0.0%
B 子ども部屋（きょうだいと使っている場合もふくみます）	21.6%	34.4%	35.4%	35.7%
C (自宅) インターネットにつながるパソコン	17.0%	18.9%	27.5%	33.3%
D (自宅) インターネットにつなげる環境(有線、無線(Wi-Fiなどをふくむ))	1.7%	3.1%	2.8%	6.7%
E 自宅で宿題をすることができる場所	3.8%	3.0%	8.3%	6.7%
F 自分専用の勉強机	10.8%	12.7%	27.9%	7.7%
G スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）	3.4%	4.5%	7.0%	0.0%
H ゲーム機	8.4%	10.3%	11.9%	0.0%
I たいていの友だちが持っているおもちゃ	7.2%	3.7%	11.3%	8.3%
J 自転車	5.4%	1.6%	13.6%	0.0%
K おやつや、ちょっとしたおもちゃをかうおこづかい	6.2%	7.6%	11.1%	13.3%
L 友だちが着ているのと同じような服	6.7%	5.2%	5.4%	15.4%
M 2足以上のサイズのあった靴	4.1%	3.1%	5.9%	0.0%
N 携帯電話、スマートフォン	4.5%	7.5%	6.9%	6.7%
O 携帯音楽プレーヤーなど	28.6%	22.5%	27.9%	25.0%

〔小学生〕において「欲しいが、持っていない」割合を生活困難度別にみると、すべての項目で【困窮層】が【周辺層】、【一般層】に比べ、高くなっている。特に、〔B 子ども部屋（きょうだいと使っている場合もふくみます）〕は【困窮層】が 82.4%、〔I たいていの友だちが持っているおもちゃ〕は【困窮層】が 42.9%と他の区分に比べ、高くなっている。

子どもの所有物の欠如（「欲しいが、持っていない」割合）

【生活困難度別】小学生

(A (***) B (***) C (×) D (***) E (***) F (***) G (***) H (**)

I (***) J (***) K (***) L (***) M (***) N (×) O (*))

区分	小学生		
	困窮層	周辺層	一般層
n	(19)	(58)	(610)
A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）	23.1%	8.9%	6.4%
B 子ども部屋（きょうだいと使っている場合もふくみます）	82.4%	61.5%	31.1%
C （自宅で）インターネットにつながるパソコン	53.8%	32.6%	25.7%
D （自宅で）インターネットにつなげる環境（有線、無線(Wi-Fiなどをふくむ)）	23.5%	3.5%	2.7%
E 自宅で宿題をすることができる場所	26.3%	16.7%	2.2%
F 自分専用の勉強机	47.1%	42.9%	22.8%
G スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）	26.7%	7.5%	3.6%
H ゲーム機	25.0%	16.4%	9.1%
I たいていの友だちが持っているおもちゃ	42.9%	8.9%	9.5%
J 自転車	23.5%	9.4%	2.9%
K おやつや、ちょっとしたおもちゃをかうおこづかい	38.9%	30.2%	9.9%
L 友だちが着ているのと同じような服	27.3%	10.5%	6.1%
M 2足以上のサイズのあった靴	33.3%	9.8%	3.2%
N 携帯電話、スマートフォン	41.2%	26.8%	27.1%
O 携帯音楽プレーヤーなど	78.6%	53.6%	56.7%

〔中学生〕において「欲しいが、持っていない」割合を生活困難度別にみると、〔O 携帯音楽プレーヤーなど〕は【困窮層】が 50.0%、【周辺層】が 41.7%と【一般層】(27.5%)に比べ、高くなっている。〔C (自宅で) インターネットにつながるパソコン〕は【困窮層】が 35.5%と他の区分に比べ、高くなっている。

子どもの所有物の欠如（「欲しいが、持っていない」割合）

【生活困難度別】中学生

(A (×) B (***) C (** D (***) E (**) F (×) G (***) H (×)

I (***) J (***) K (***) L (×) M (***) N (×) O (*))

区分 n	中学生		
	困窮層 (40)	周辺層 (59)	一般層 (587)
A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）	12.1%	5.8%	4.0%
B 子ども部屋（きょうだいと使っている場合もふくみます）	39.4%	33.9%	22.9%
C (自宅で) インターネットにつながるパソコン	35.5%	23.5%	16.7%
D (自宅で) インターネットにつなげる環境（有線、無線（Wi-Fiなどをふくむ））	2.6%	3.4%	1.7%
E 自宅で宿題をすることができる場所	10.5%	5.3%	3.6%
F 自分専用の勉強机	24.3%	17.9%	11.3%
G スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）	18.5%	4.5%	2.2%
H ゲーム機	13.9%	16.4%	7.6%
I たいていの友だちが持っているおもちゃ	23.1%	11.9%	5.8%
J 自転車	15.8%	10.0%	4.6%
K おやつや、ちょっとしたおもちゃをかうおこづかい	21.6%	7.0%	5.5%
L 友だちが着ているのと同じような服	7.4%	12.8%	6.2%
M 2足以上のサイズのあった靴	13.9%	9.1%	3.6%
N 携帯電話、スマートフォン	10.3%	8.6%	4.3%
O 携帯音楽プレーヤーなど	50.0%	41.7%	27.5%

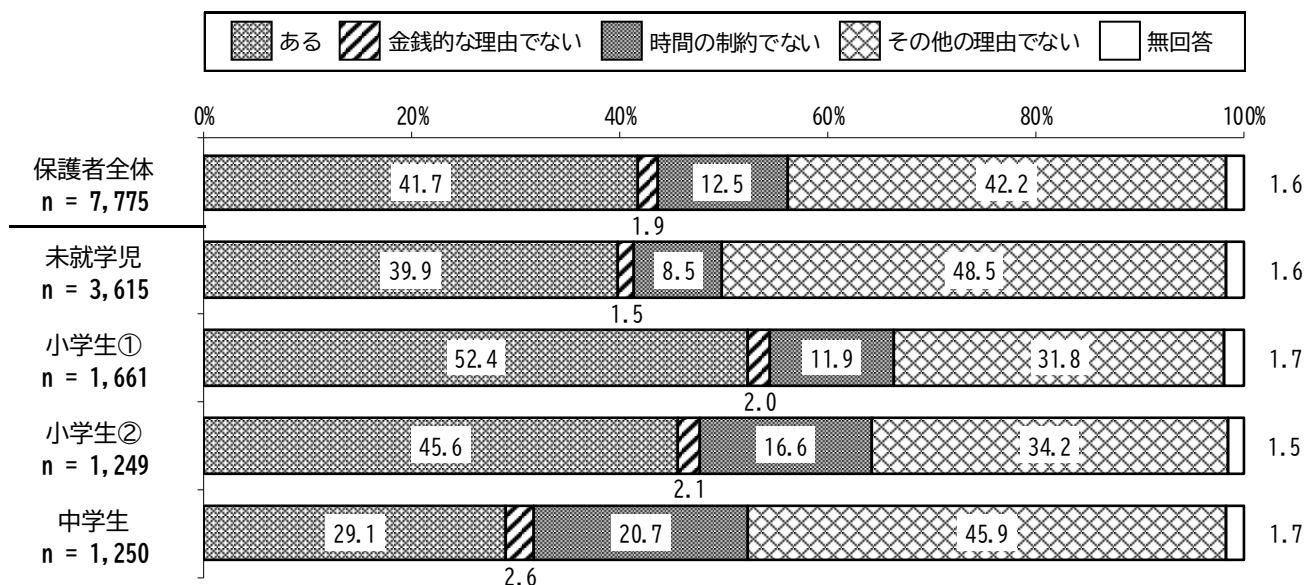
(2) 子どもの体験への支出

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。
(それぞれ1つに○)

〔A 海水浴に行く〕について、保護者全体では「ある」が41.7%となっている。一方、「その他の理由でない」が42.2%、「金銭的な理由でない」が1.9%となっている。

子どもの年齢層別にみると、「ある」は【小学生①】が52.4%と他の区分に比べ、高くなっている。

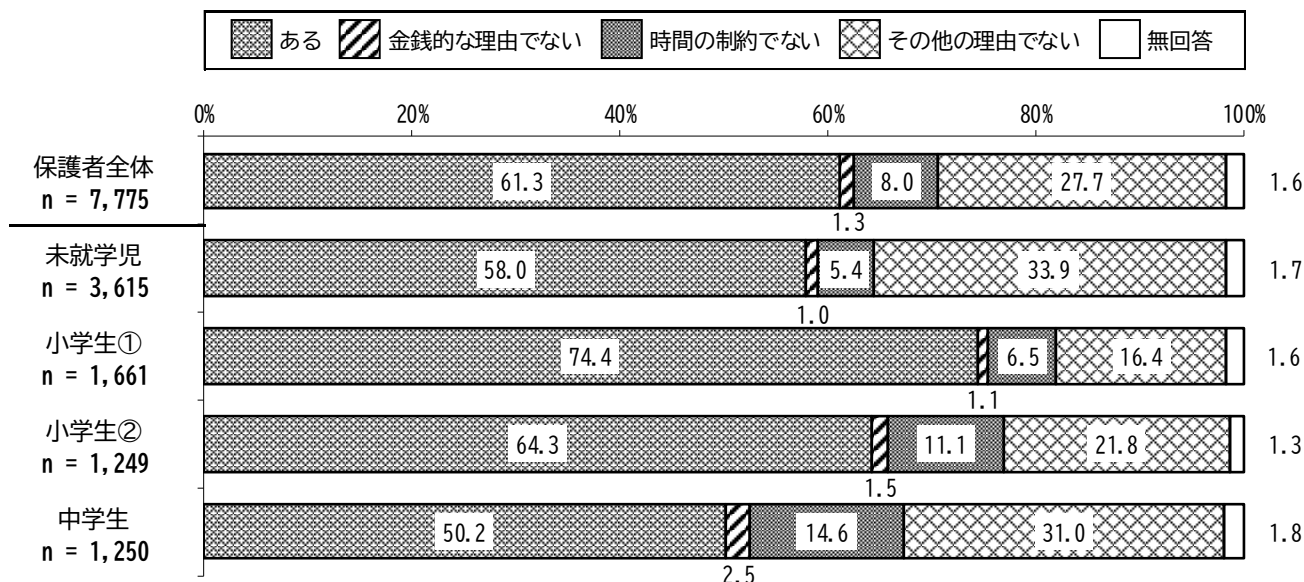
<保護者>子どもの体験への支出〔A 海水浴に行く〕【子どもの年齢層別】



〔B 博物館・科学館・美術館などに行く〕について、保護者全体では「ある」が61.3%となっている。一方、「その他の理由でない」が27.7%、「金銭的な理由でない」が1.3%となっている。

子どもの年齢層別にみると、「ある」は【小学生①】が74.4%と他の区分に比べ、高くなっている。

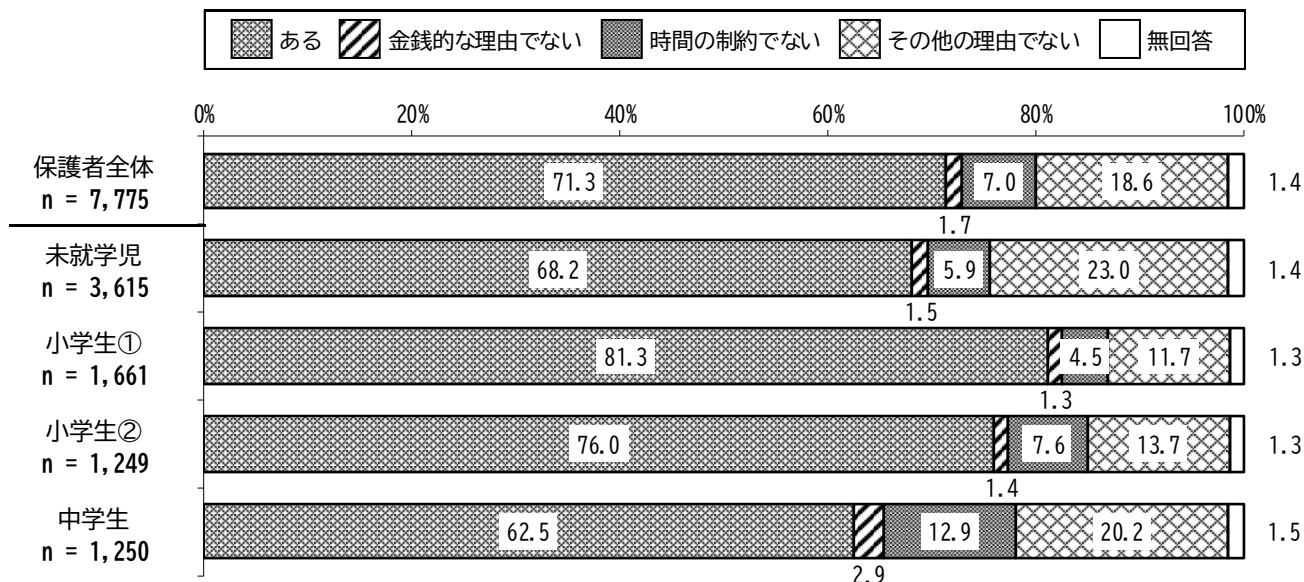
<保護者>子どもの体験への支出〔B 博物館・科学館・美術館などに行く〕【子どもの年齢層別】



〔C 山や川など自然豊かな場所に行く〕について、保護者全体では「ある」が71.3%となっている。一方、「金銭的な理由でない」が1.7%となっている。

子どもの年齢層別にみると、「ある」は【小学生①】が81.3%と他の区分に比べ、高くなっている。

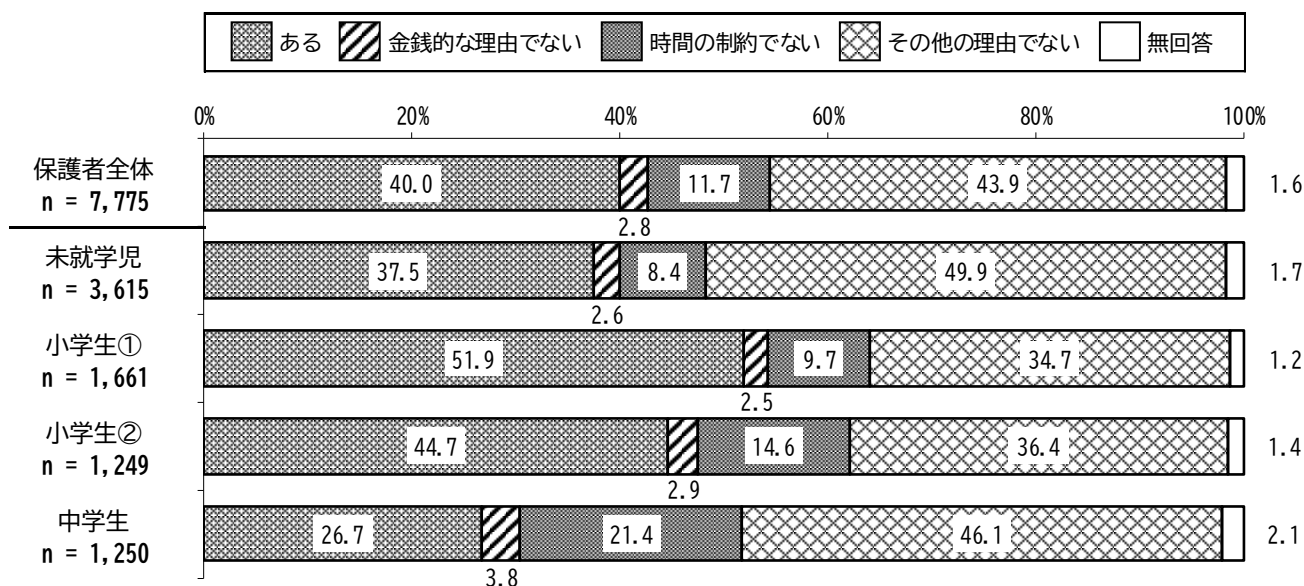
<保護者>子どもの体験への支出〔C 山や川など自然豊かな場所に行く〕【子どもの年齢層別】



〔D キャンプやバーベキューに行く〕について、保護者全体では「ある」が40.0%となっている。一方、「その他の理由でない」が43.9%、「金銭的な理由でない」が2.8%となっている。

子どもの年齢層別にみると、「ある」は【小学生①】が51.9%と他の区分に比べ、高くなっている。

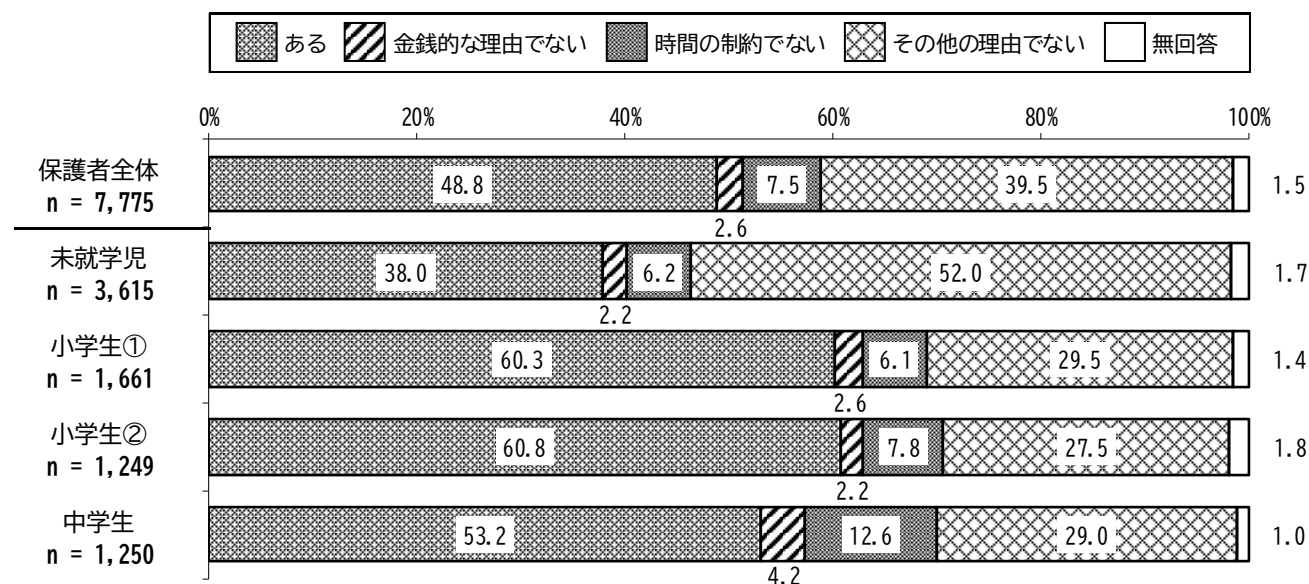
<保護者>子どもの体験への支出〔D キャンプやバーベキューに行く〕【子どもの年齢層別】



〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕について、保護者全体では「ある」が48.8%となっている。一方、「その他の理由でない」が39.5%、「金銭的な理由でない」が2.6%となっている。

子どもの年齢層別にみると、「その他の理由でない」は【未就学児】が52.0%と他の区分に比べ、高くなっている。

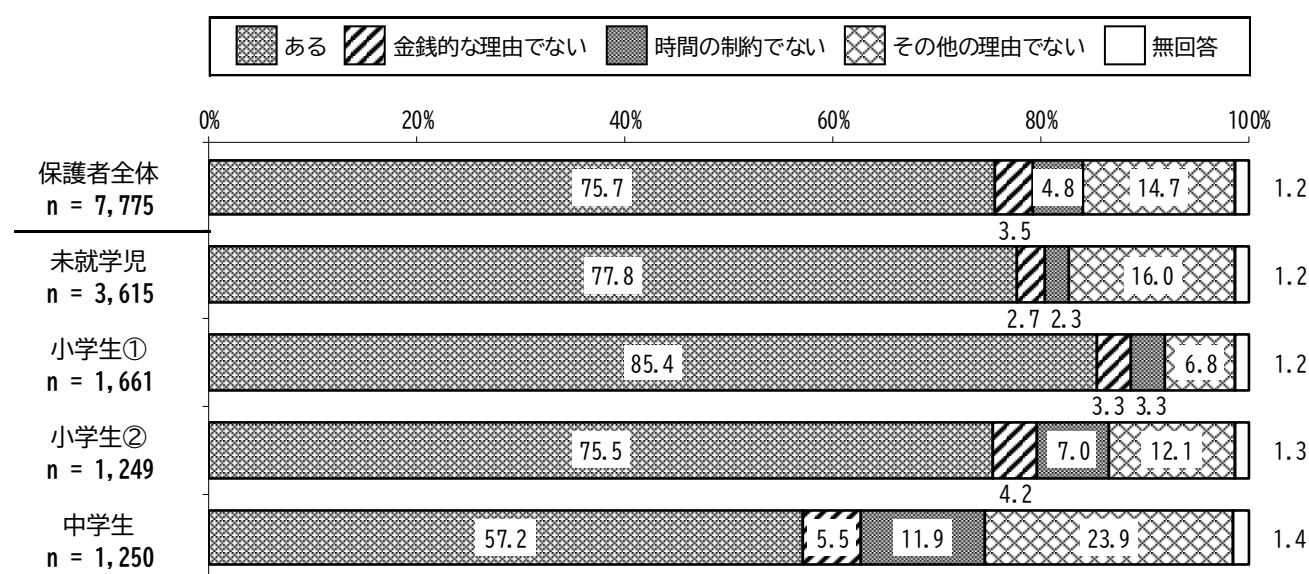
＜保護者＞子どもの体験への支出〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕【子どもの年齢層別】



〔F 遊園地やテーマパークに行く〕について、保護者全体では「ある」が75.7%となっている。一方、「金銭的な理由でない」が3.5%となっている。

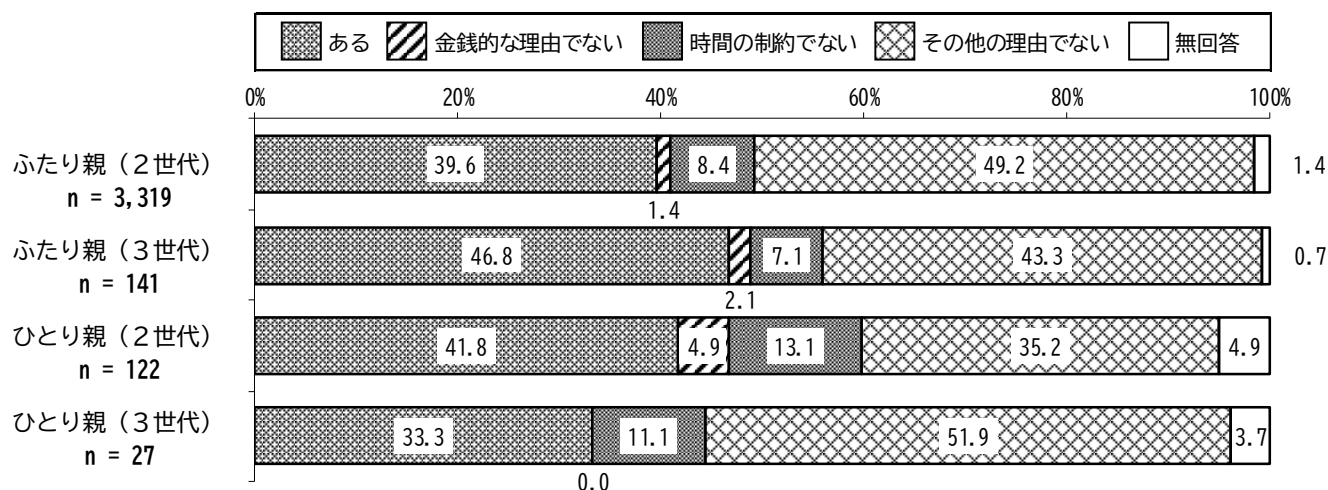
子どもの年齢層別にみると、「ある」は【小学生①】が85.4%と他の区分に比べ、高くなっている。

＜保護者＞子どもの体験への支出〔F 遊園地やテーマパークに行く〕【子どもの年齢層別】

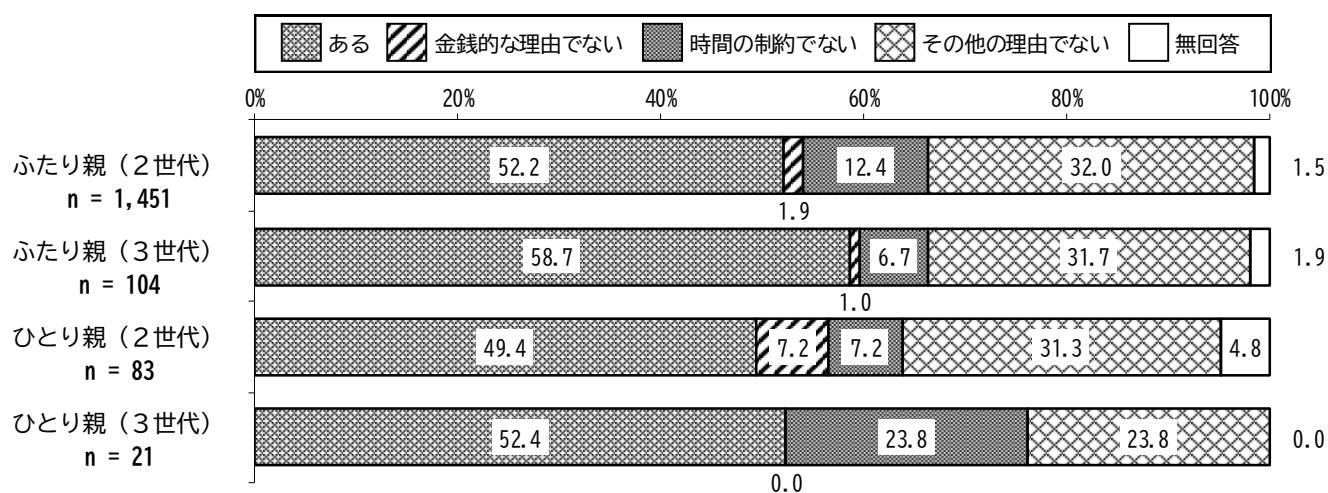


〔A 海水浴に行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「金銭的な理由でない」の割合はすべての年齢層で【ひとり親（2世代）】が最も高く、特に、〔小学生②〕の【ひとり親（2世代）】が8.6%と、【ふたり親（2世代）】（1.6%）よりも7.0ポイント高くなっている。

<保護者>子どもの体験への支出〔A 海水浴に行く〕【世帯タイプ別】
未就学児（***）

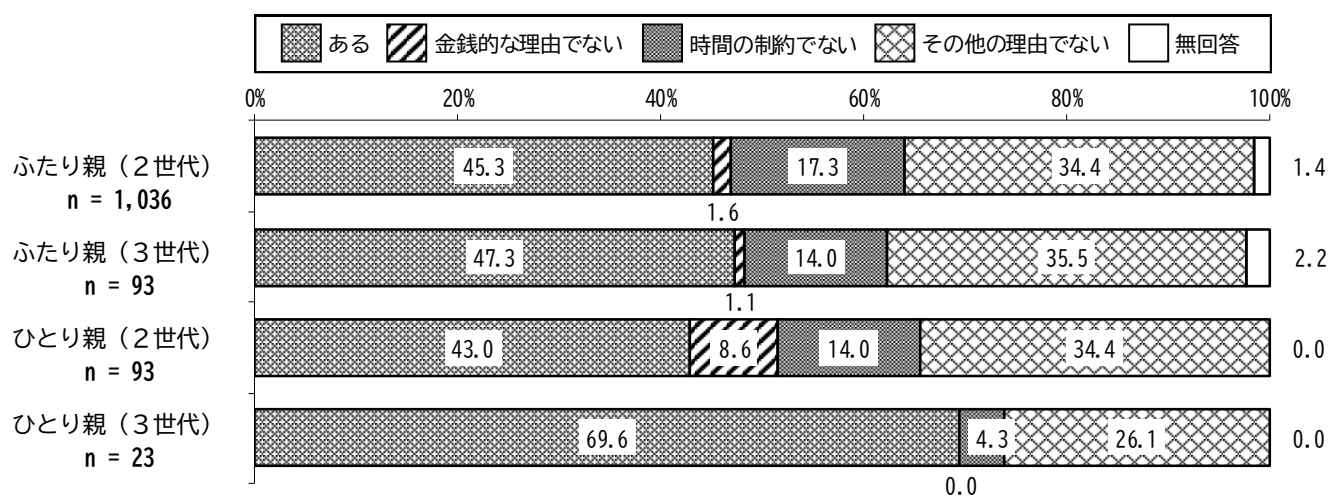


<保護者>子どもの体験への支出〔A 海水浴に行く〕【世帯タイプ別】
小学生①（**）



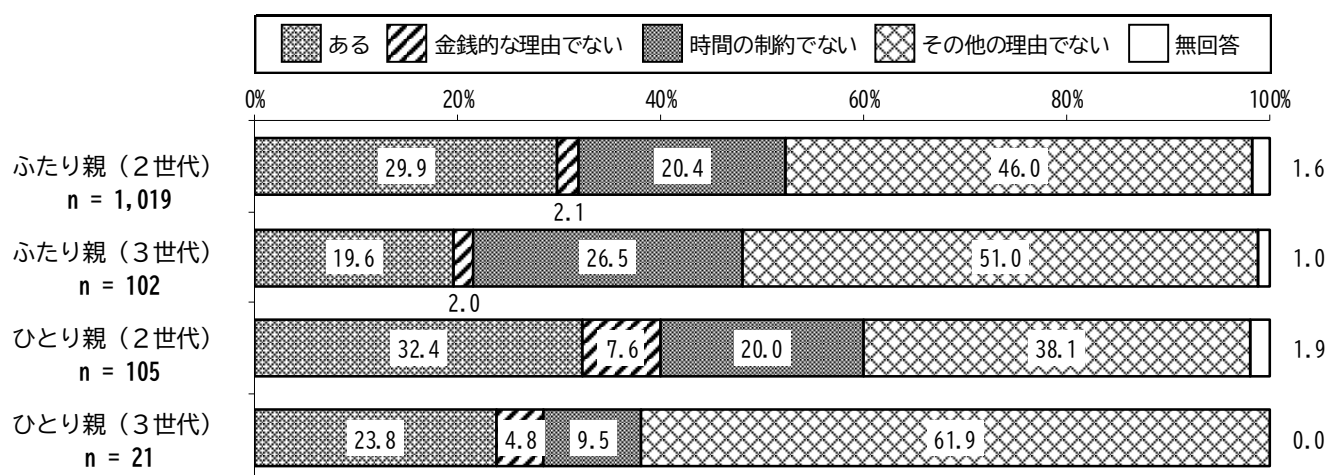
<保護者>子どもの体験への支出【A 海水浴に行く】【世帯タイプ別】

小学生② (***)



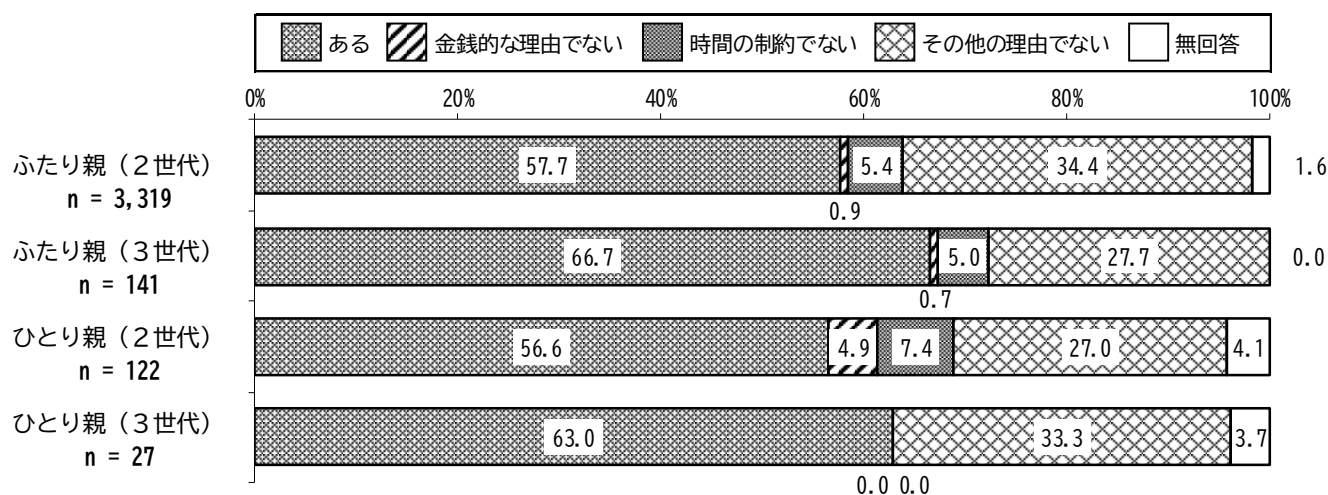
<保護者>子どもの体験への支出【A 海水浴に行く】【世帯タイプ別】

中学生 (***)

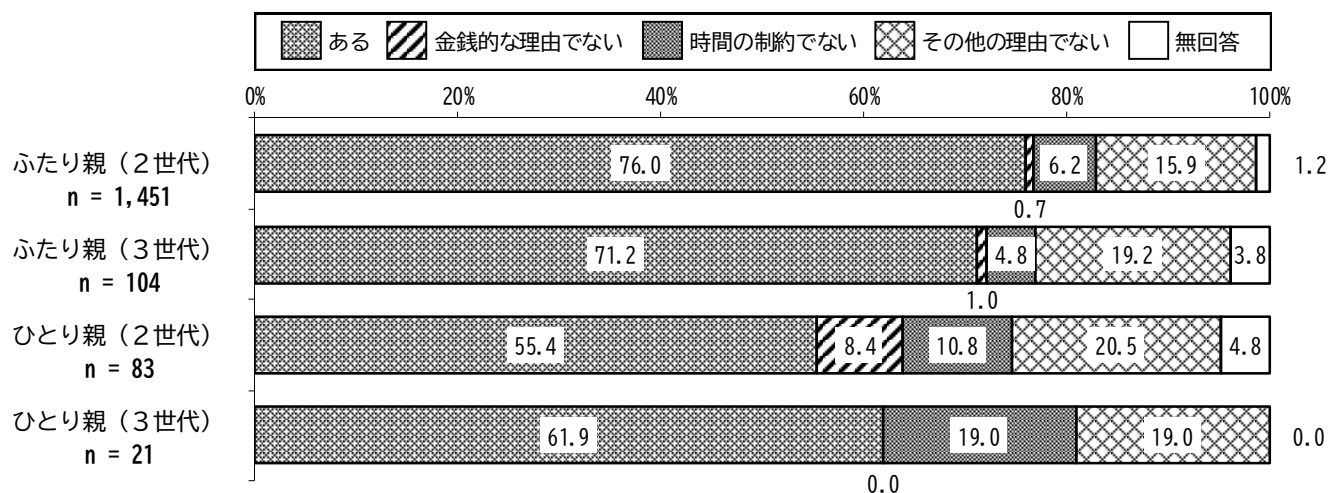


〔B 博物館・科学館・美術館などに行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「金銭的な理由でない」の割合はすべての年齢層で【ひとり親（2世代）】が最も高く、特に、〔小学生①〕の【ひとり親（2世代）】が8.4%と、【ふたり親（2世代）】（0.7%）よりも7.7ポイント高くなっている。

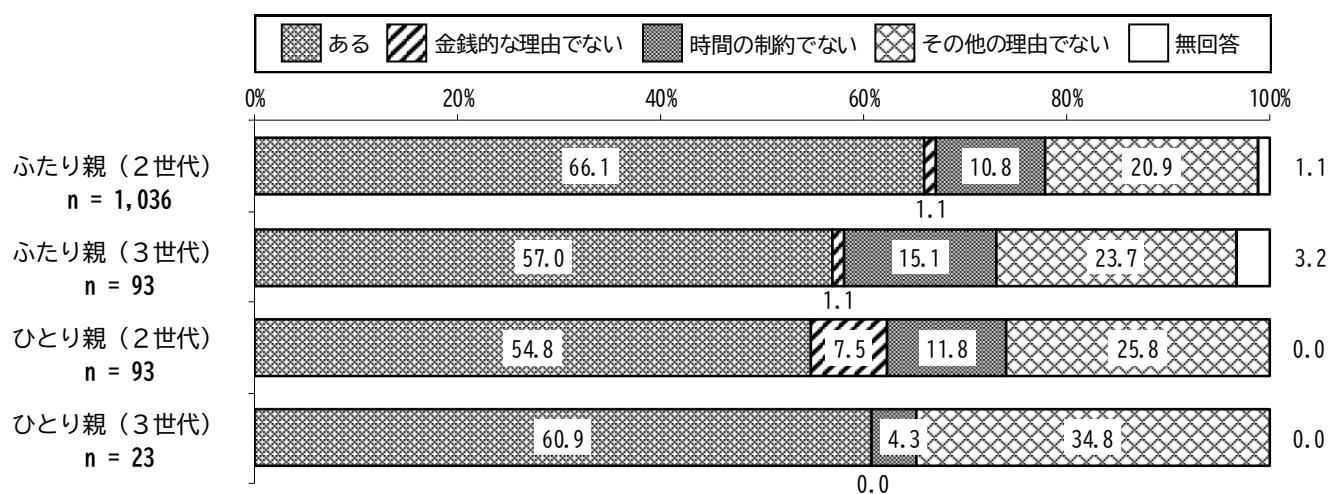
<保護者>子どもの体験への支出〔B 博物館・科学館・美術館などに行く〕【世帯タイプ別】
未就学児 (***)



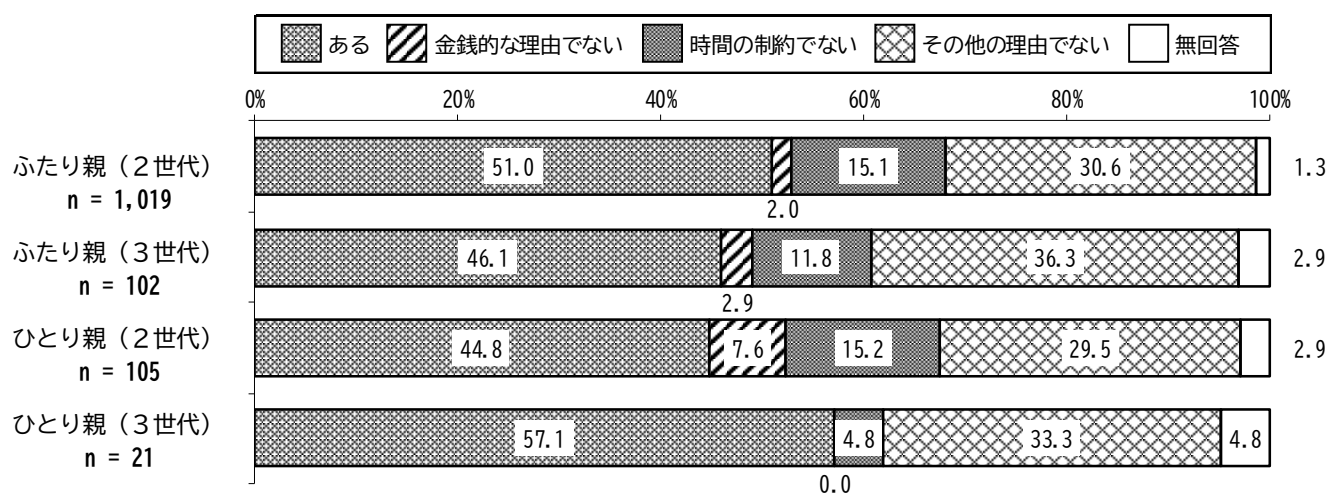
<保護者>子どもの体験への支出〔B 博物館・科学館・美術館などに行く〕【世帯タイプ別】
小学生① (***)



<保護者> 子どもの体験への支出【B 博物館・科学館・美術館などに行く】【世帯タイプ別】
小学生② (***)

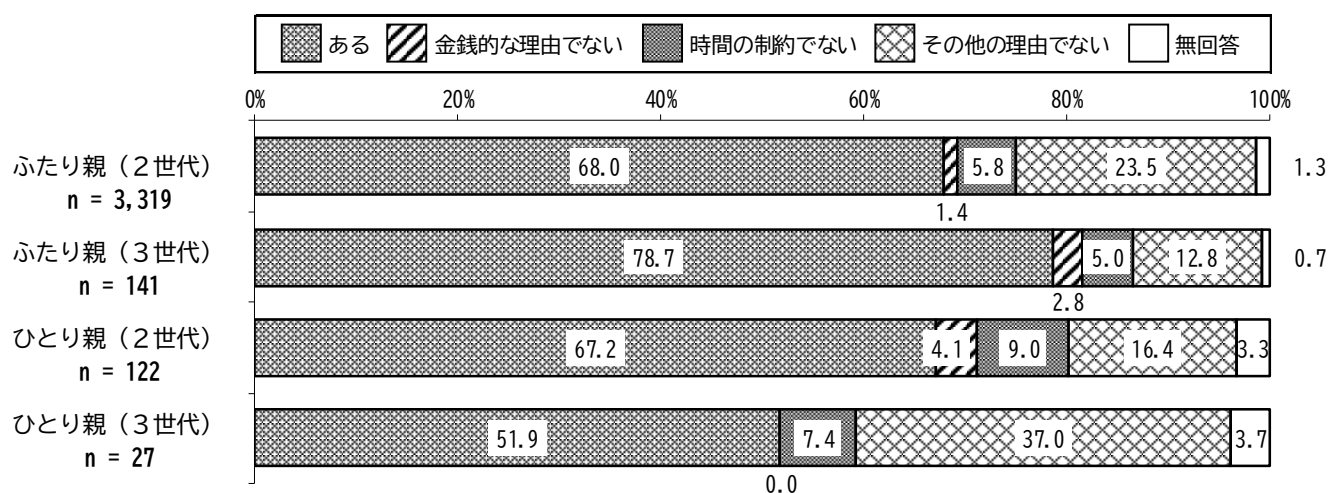


<保護者> 子どもの体験への支出【B 博物館・科学館・美術館などに行く】【世帯タイプ別】
中学生 (**)

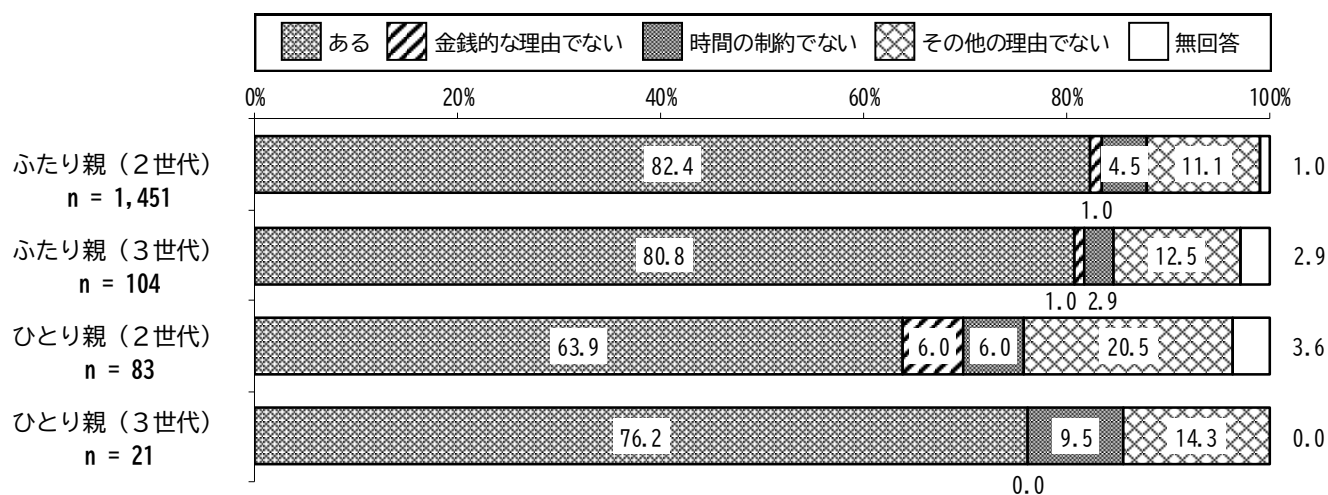


〔C 山や川など自然豊かな場所に行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「金銭的な理由でない」の割合はすべての年齢層で【ひとり親（2世代）】が最も高く、特に、〔小学生②〕の【ひとり親（2世代）】が7.5%と、【ふたり親（2世代）】（1.0%）よりも6.5ポイント、〔中学生〕の【ひとり親（2世代）】が8.6%と、【ふたり親（2世代）】（2.4%）よりも6.2ポイント高くなっている。

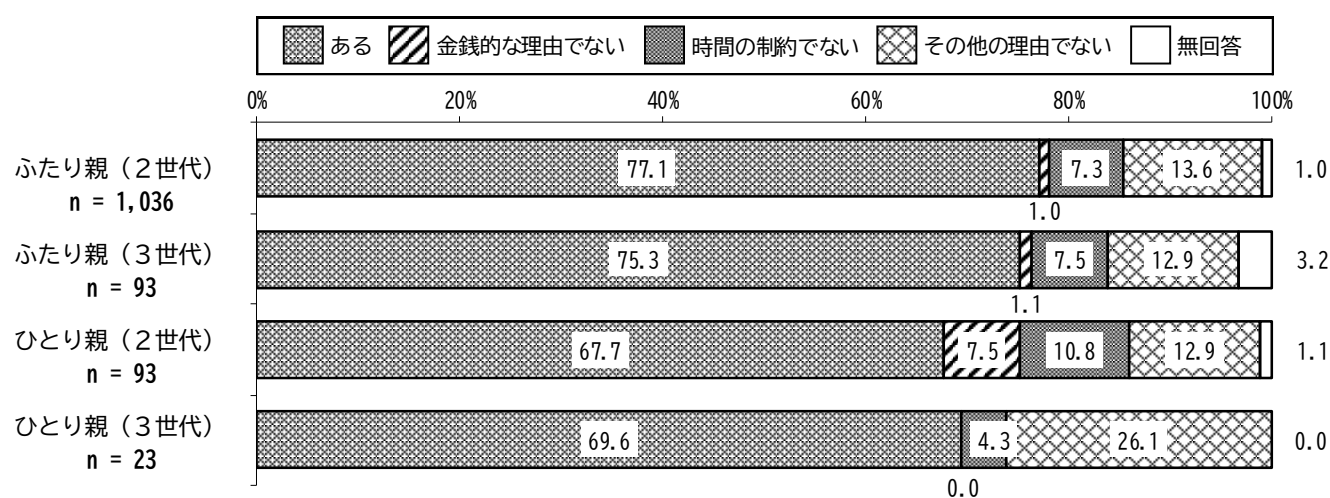
<保護者>子どもの体験への支出〔C 山や川など自然豊かな場所に行く〕【世帯タイプ別】
未就学児（***）



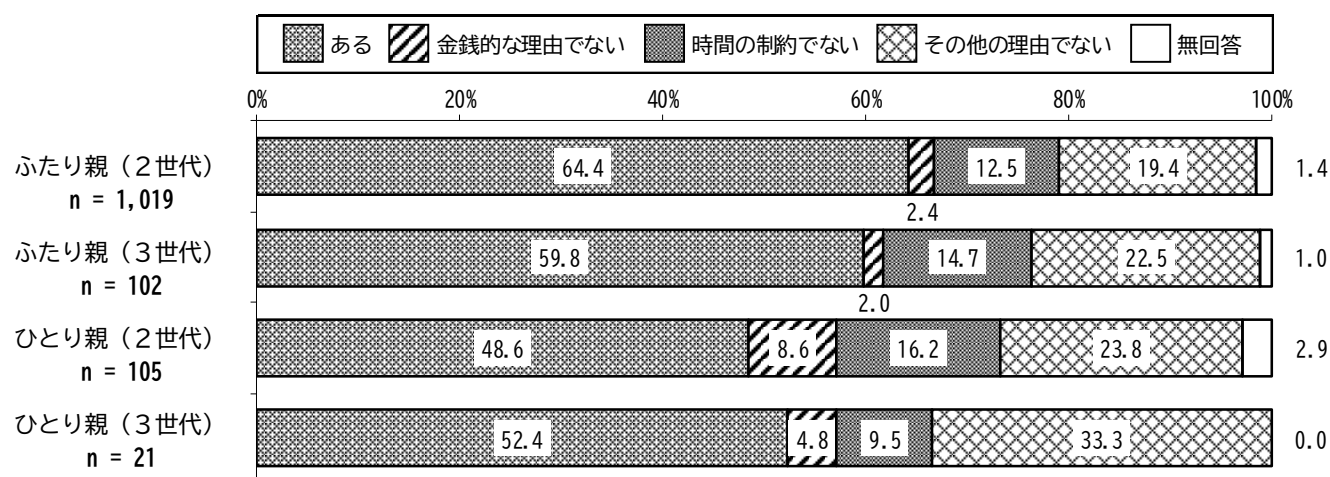
<保護者>子どもの体験への支出〔C 山や川など自然豊かな場所に行く〕【世帯タイプ別】
小学生①（***）



<保護者>子どもの体験への支出【C 山や川など自然豊かな場所に行く】【世帯タイプ別】
小学生② (***)

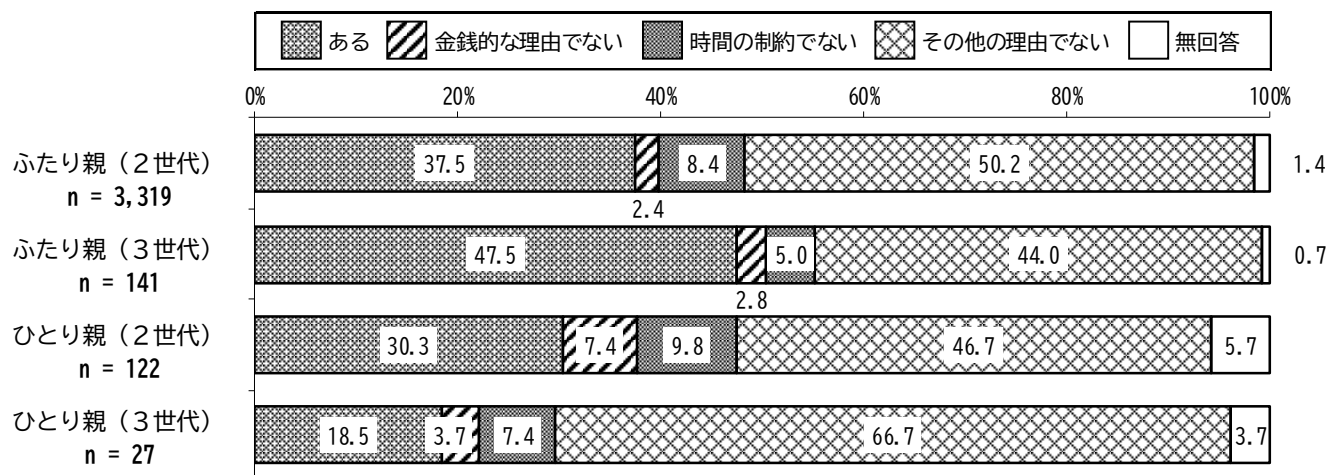


<保護者>子どもの体験への支出【C 山や川など自然豊かな場所に行く】【世帯タイプ別】
中学生 (***)

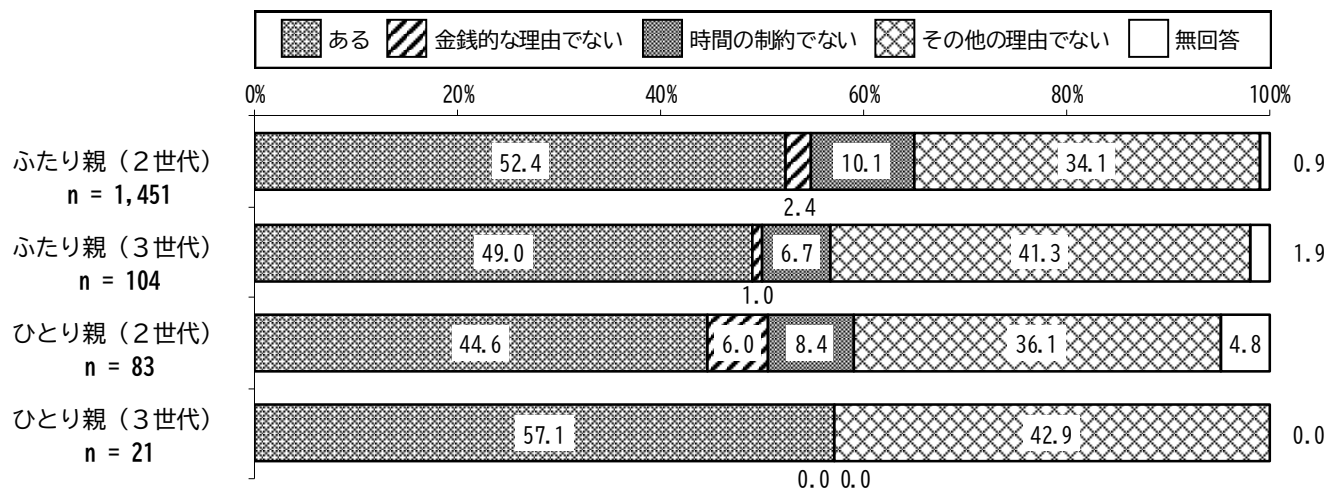


〔D キャンプやバーベキューに行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「金銭的な理由でない」の割合はすべての年齢層で【ひとり親（2世代）】が最も高く、特に、〔中学生〕の【ひとり親（2世代）】が11.4%と、【ふたり親（2世代）】（3.0%）よりも8.4ポイント高くなっている。

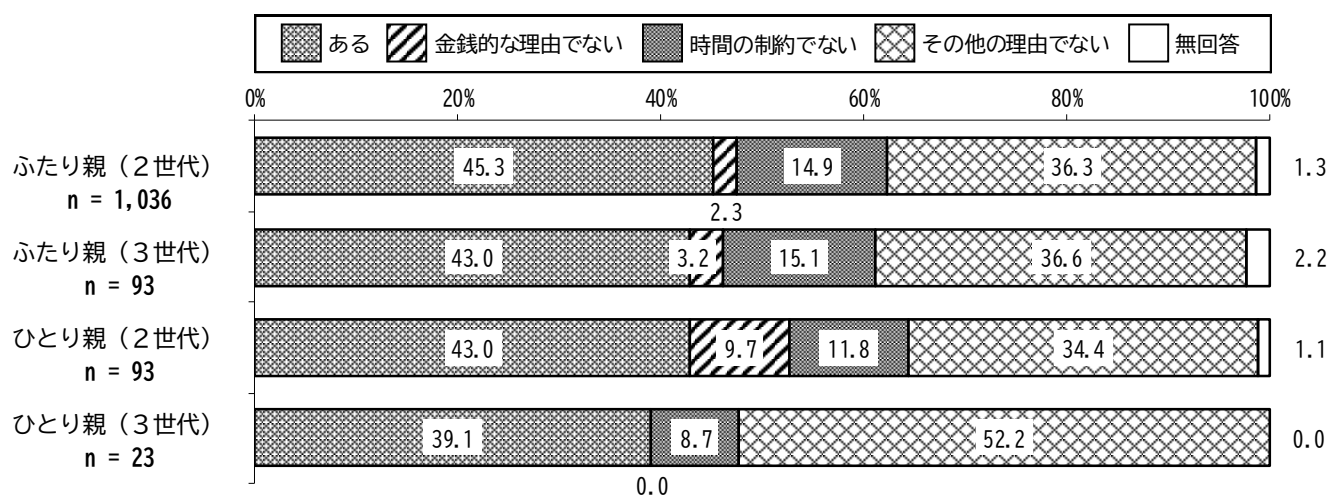
＜保護者＞子どもの体験への支出〔D キャンプやバーベキューに行く〕【世帯タイプ別】
未就学児（***）



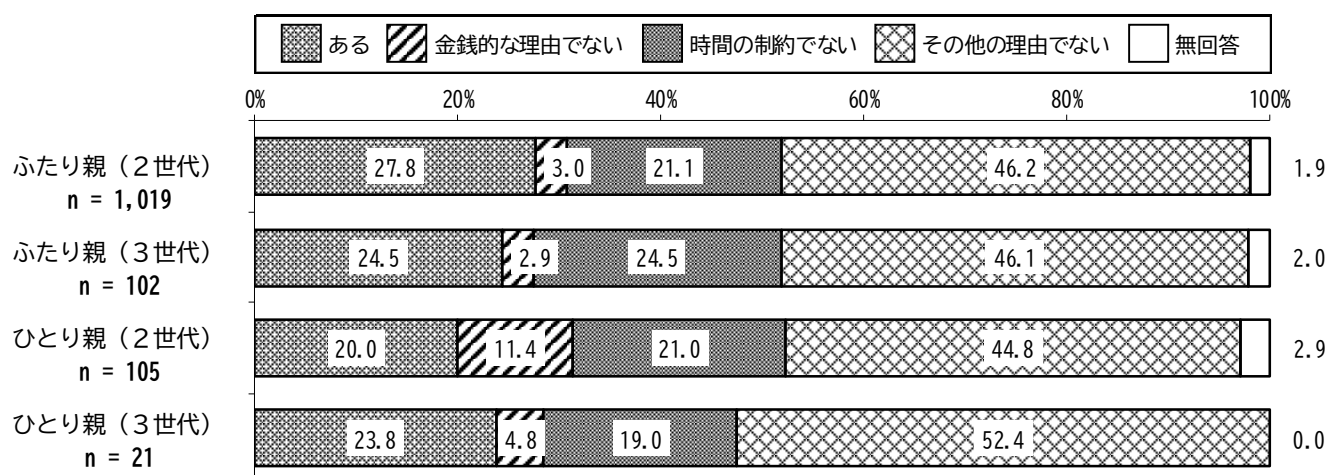
＜保護者＞子どもの体験への支出〔D キャンプやバーベキューに行く〕【世帯タイプ別】
小学生①（×）



<保護者>子どもの体験への支出【D キャンプやバーベキューに行く】【世帯タイプ別】
小学生② (**)

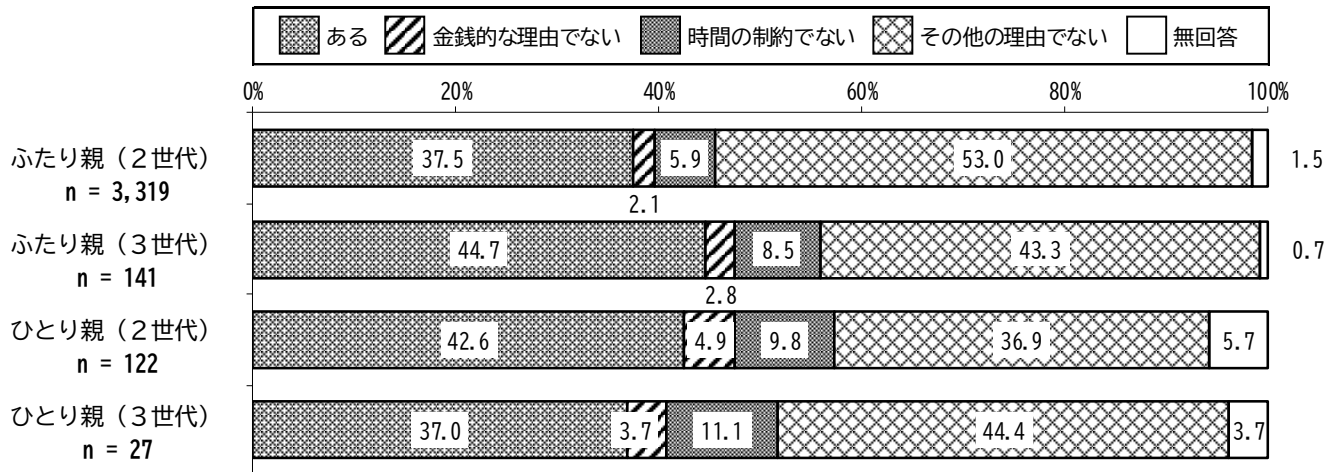


<保護者>子どもの体験への支出【D キャンプやバーベキューに行く】【世帯タイプ別】
中学生 (**)

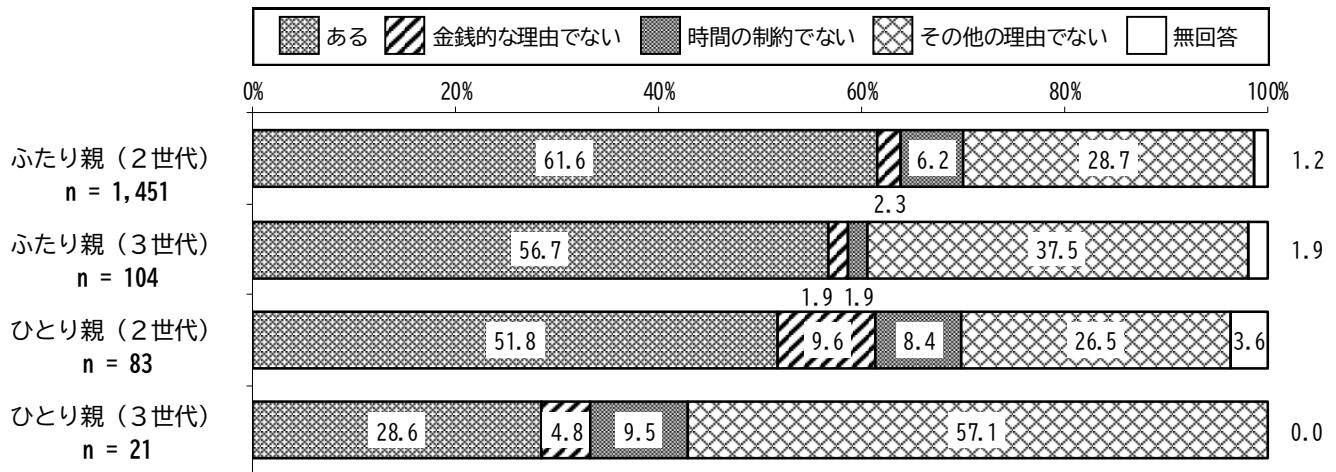


〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「金銭的な理由でない」の割合はすべての年齢層で【ひとり親（2世代）】が最も高く、特に、〔小学生①〕の【ひとり親（2世代）】が9.6%と、【ふたり親（2世代）】（2.3%）よりも7.3ポイント高くなっている。

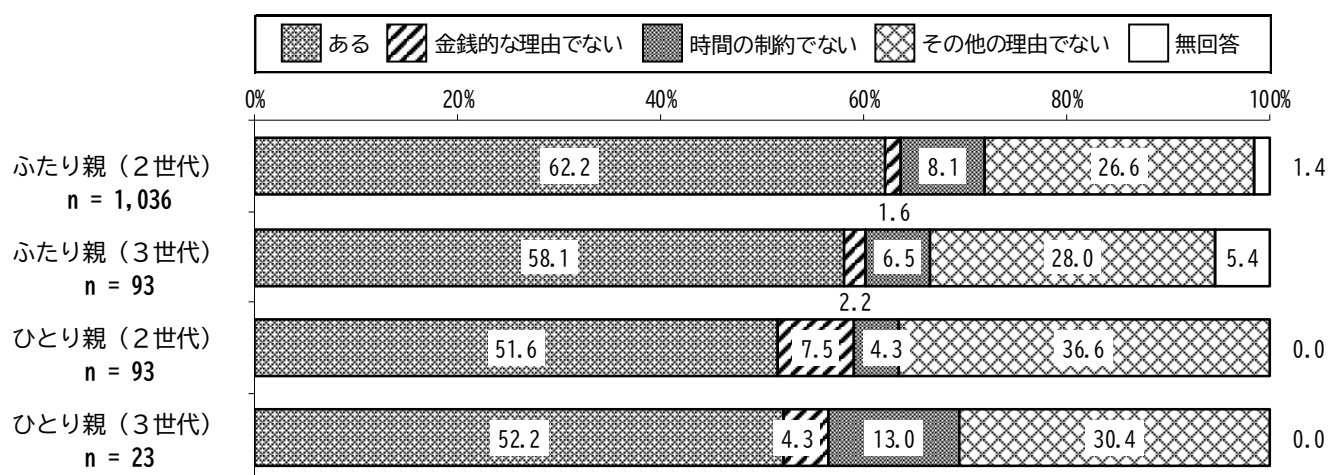
＜保護者＞子どもの体験への支出〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕【世帯タイプ別】
未就学児（**）



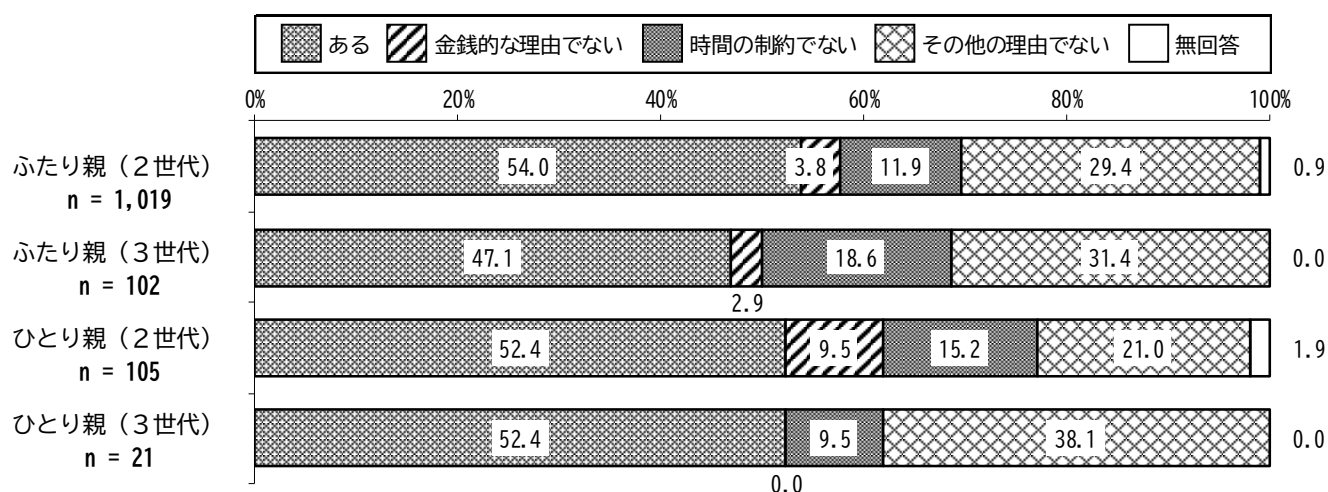
＜保護者＞子どもの体験への支出〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕【世帯タイプ別】
小学生①（***）



＜保護者＞子どもの体験への支出〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕【世帯タイプ別】
小学生②（**）

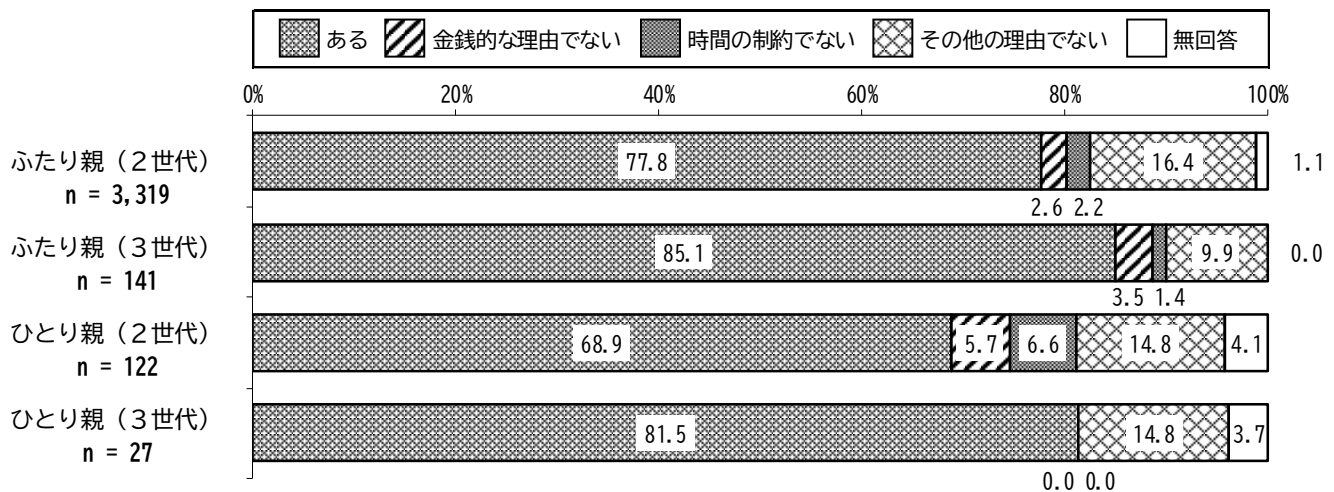


＜保護者＞子どもの体験への支出〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕【世帯タイプ別】
中学生（**）

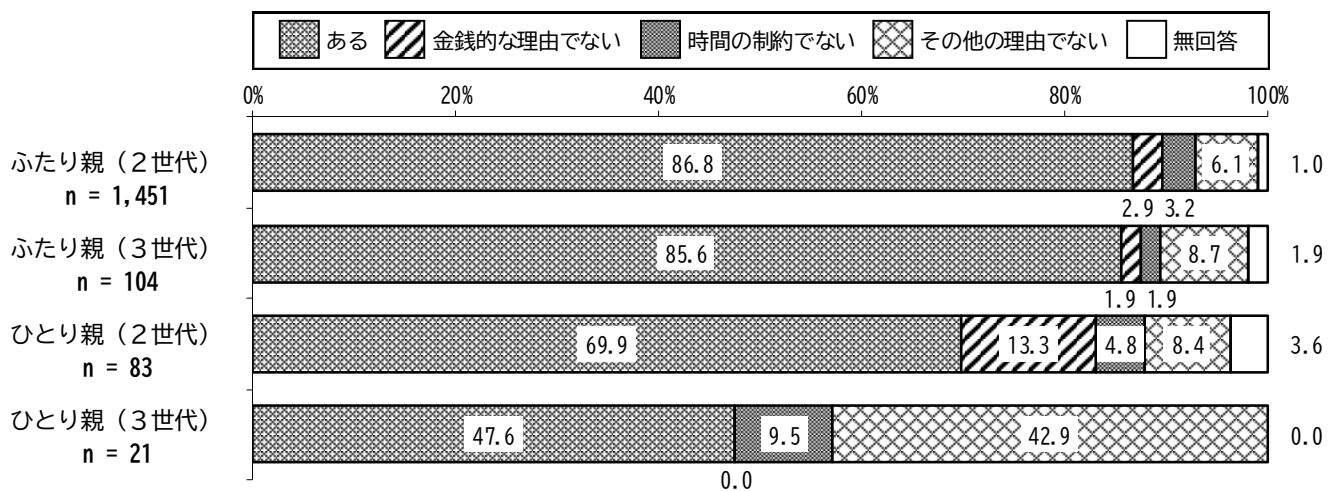


〔F 遊園地やテーマパークに行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「金銭的な理由でない」の割合はすべての年齢層で【ひとり親（2世代）】が最も高く、特に、〔小学生①〕の【ひとり親（2世代）】が13.3%と、【ふたり親（2世代）】（2.9%）よりも10.4ポイント、〔小学生②〕の【ひとり親（2世代）】が14.0%と、【ふたり親（2世代）】（3.6%）よりも10.4ポイント高くなっている。

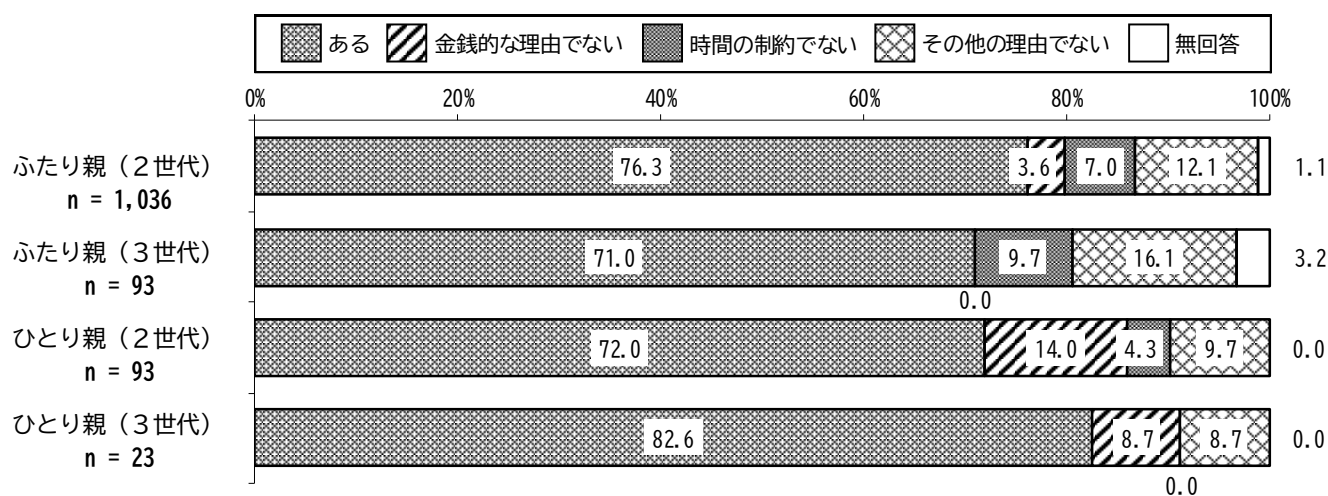
＜保護者＞子どもの体験への支出〔F 遊園地やテーマパークに行く〕【世帯タイプ別】
未就学児（***）



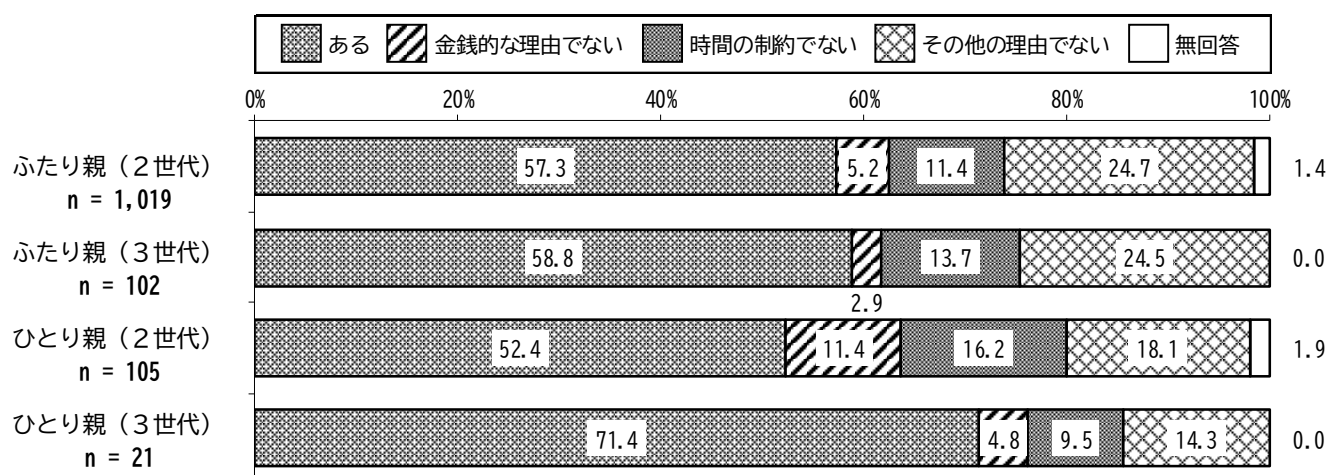
＜保護者＞子どもの体験への支出〔F 遊園地やテーマパークに行く〕【世帯タイプ別】
小学生①（***）



<保護者>子どもの体験への支出【F 遊園地やテーマパークに行く】【世帯タイプ別】
小学生② (***)



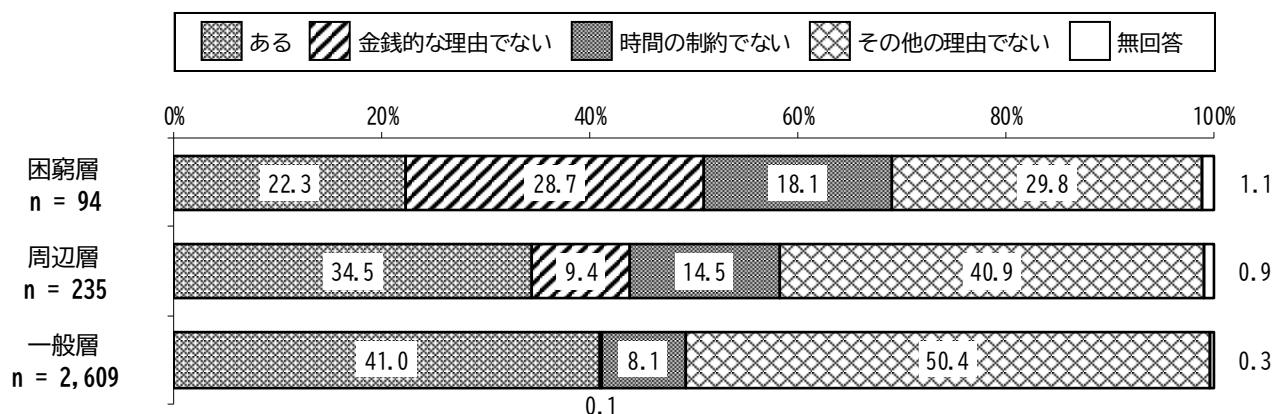
<保護者>子どもの体験への支出【F 遊園地やテーマパークに行く】【世帯タイプ別】
中学生 (×)



〔A 海水浴に行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「金銭的な理由でない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生②〕の【困窮層】が40.0%と、【周辺層】（10.0%）よりも30.0ポイント高くなっている。

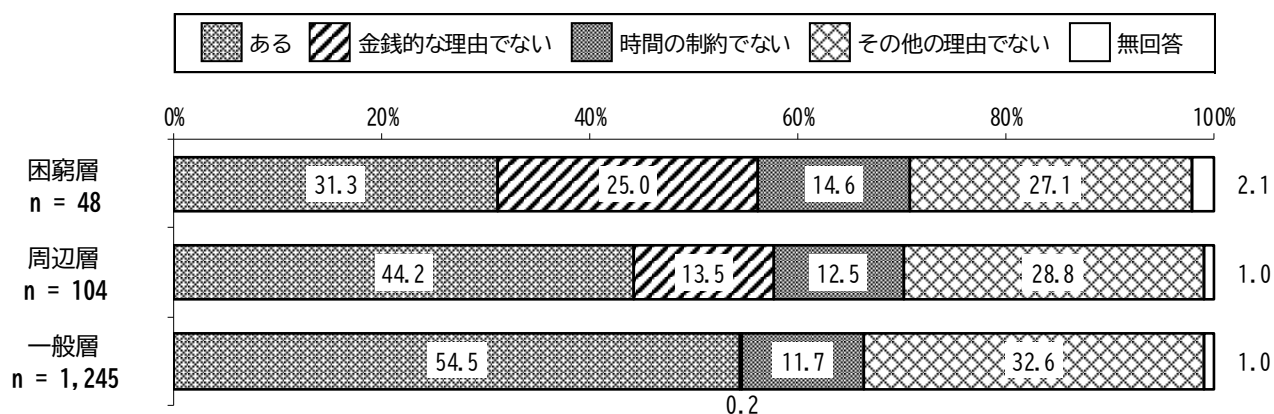
<保護者>子どもの体験への支出〔A 海水浴に行く〕【生活困難度別】

未就学児 (***)



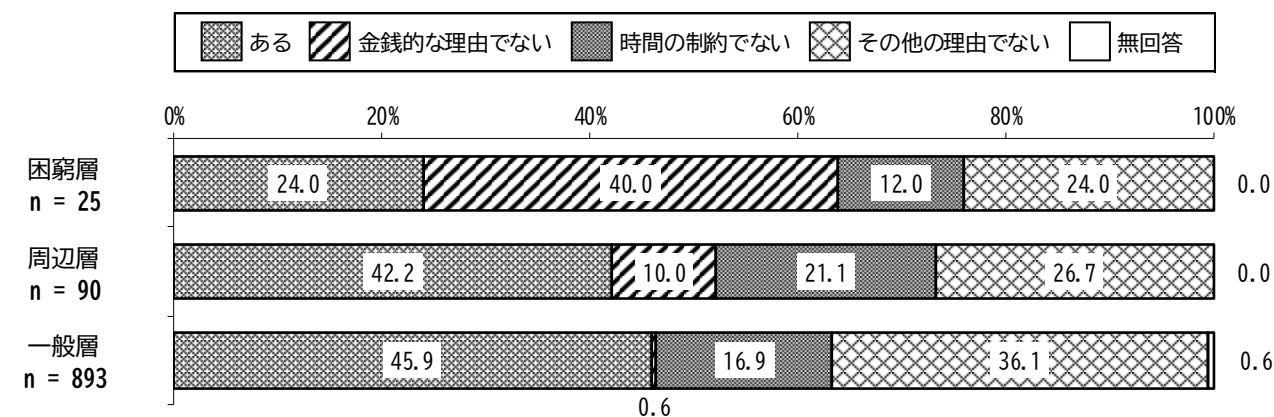
<保護者>子どもの体験への支出〔A 海水浴に行く〕【生活困難度別】

小学生① (***)



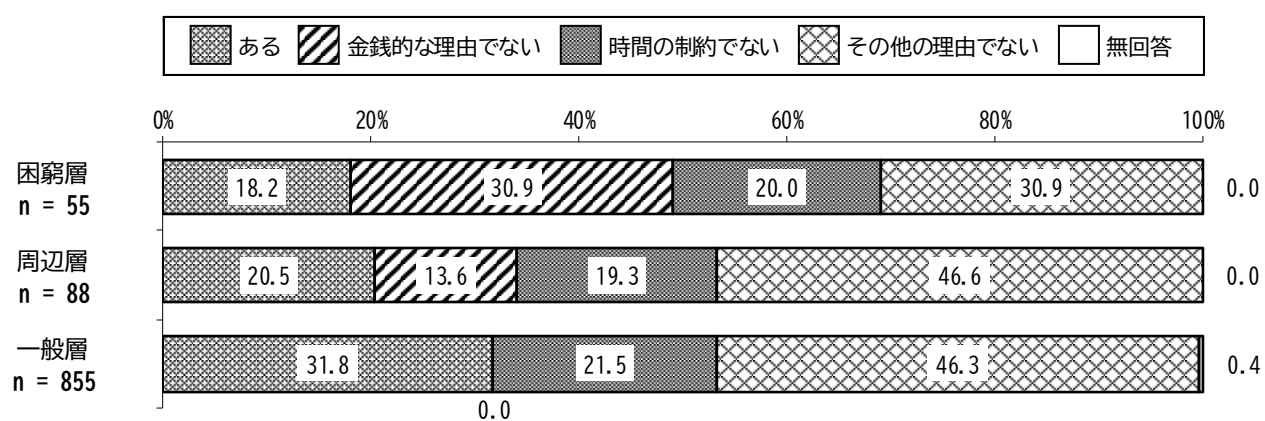
<保護者>子どもの体験への支出〔A 海水浴に行く〕【生活困難度別】

小学生② (***)



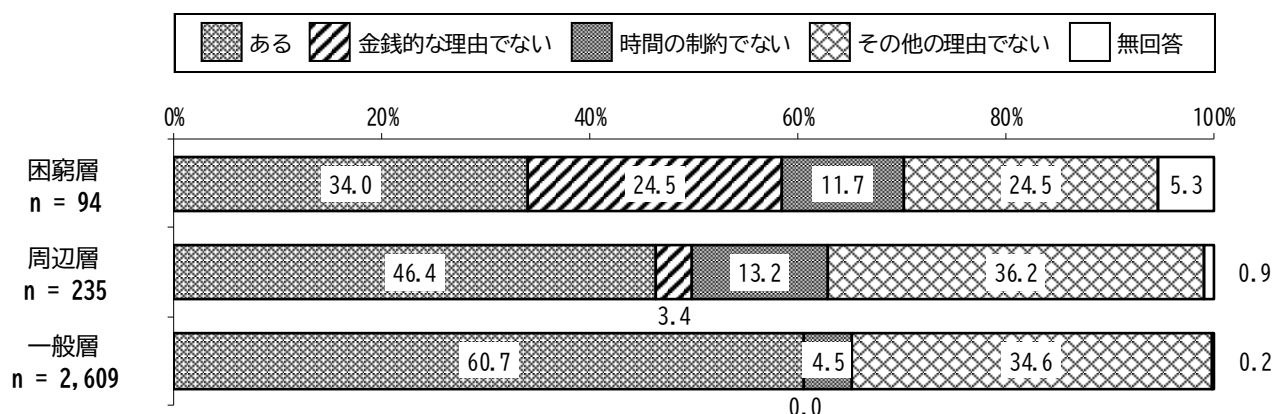
<保護者>子どもの体験への支出【A 海水浴に行く】【生活困難度別】

中学生 (***)

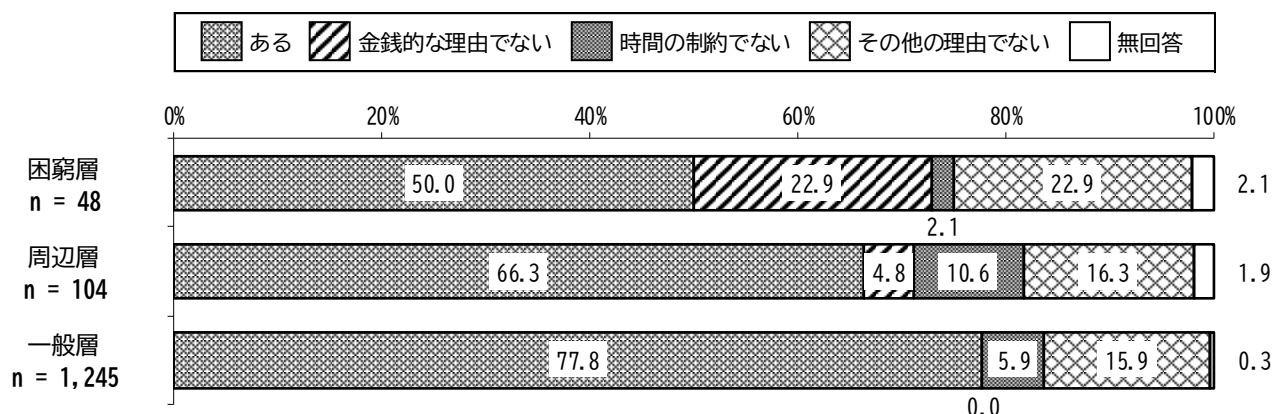


〔B 博物館・科学館・美術館などに行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「金銭的な理由でない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔中学生〕の【困窮層】が34.5%と、【周辺層】(8.0%)よりも26.5ポイント、〔小学生②〕の【困窮層】が36.0%と、【周辺層】(10.0%)よりも26.0ポイント高くなっている。

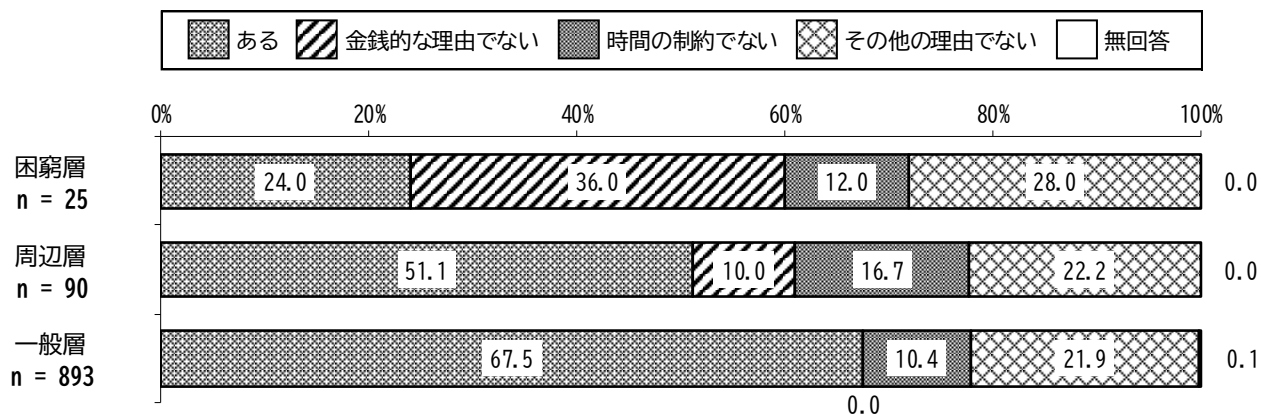
<保護者>子どもの体験への支出〔B 博物館・科学館・美術館などに行く〕【生活困難度別】
未就学児 (***)



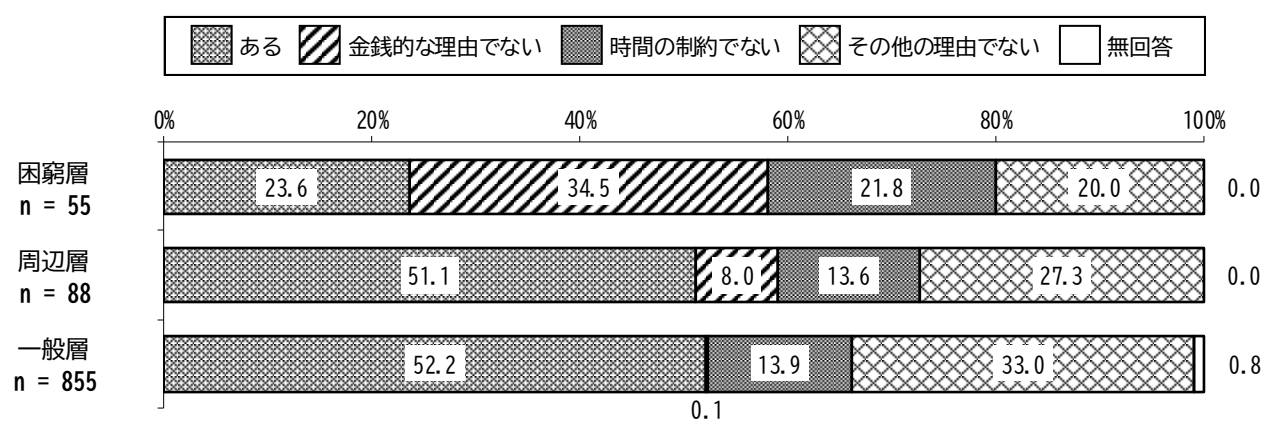
<保護者>子どもの体験への支出〔B 博物館・科学館・美術館などに行く〕【生活困難度別】
小学生① (***)



<保護者>子どもの体験への支出〔B 博物館・科学館・美術館などに行く〕【生活困難度別】
小学生② (***)

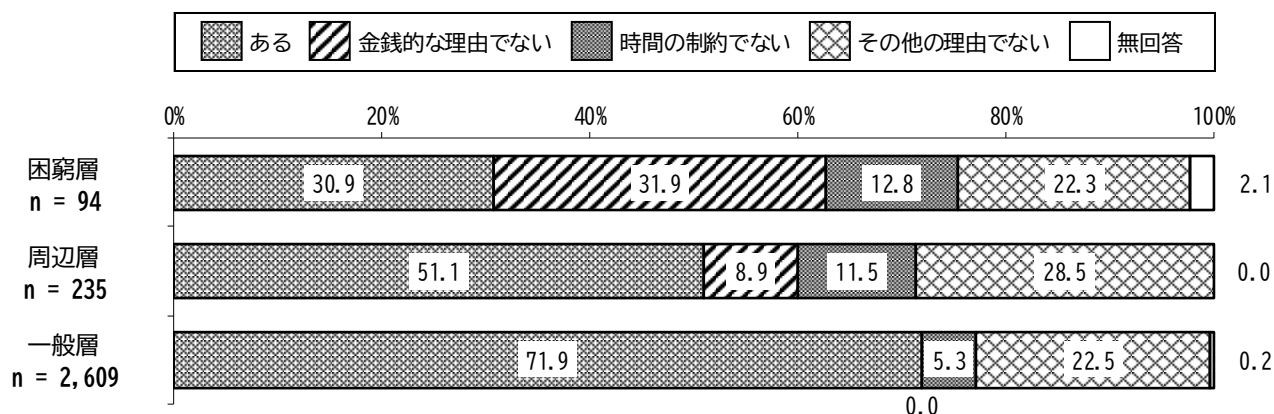


<保護者>子どもの体験への支出〔B 博物館・科学館・美術館などに行く〕【生活困難度別】
中学生 (***)

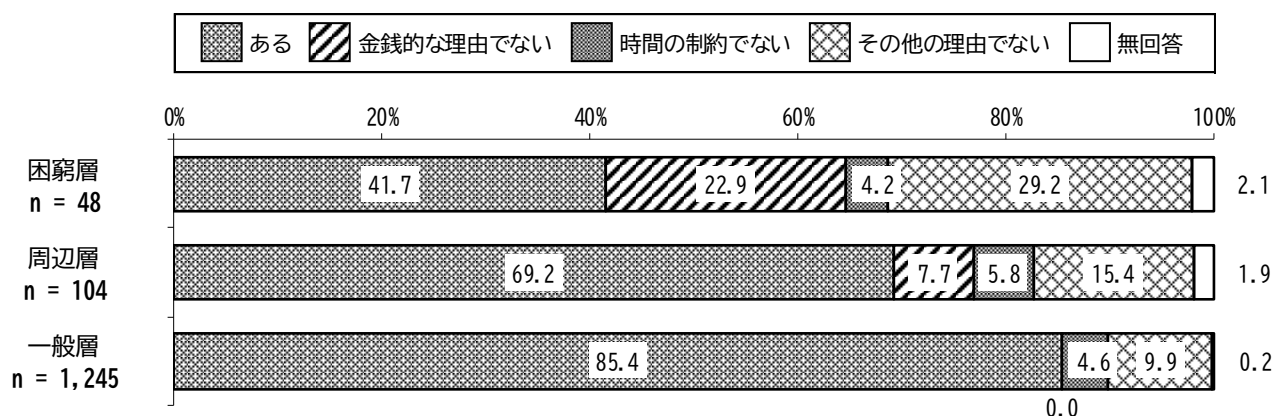


〔C 山や川など自然豊かな場所に行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「金銭的な理由でない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生②〕の【困窮層】が36.0%と、【周辺層】（10.0%）よりも26.0ポイント高くなっている。

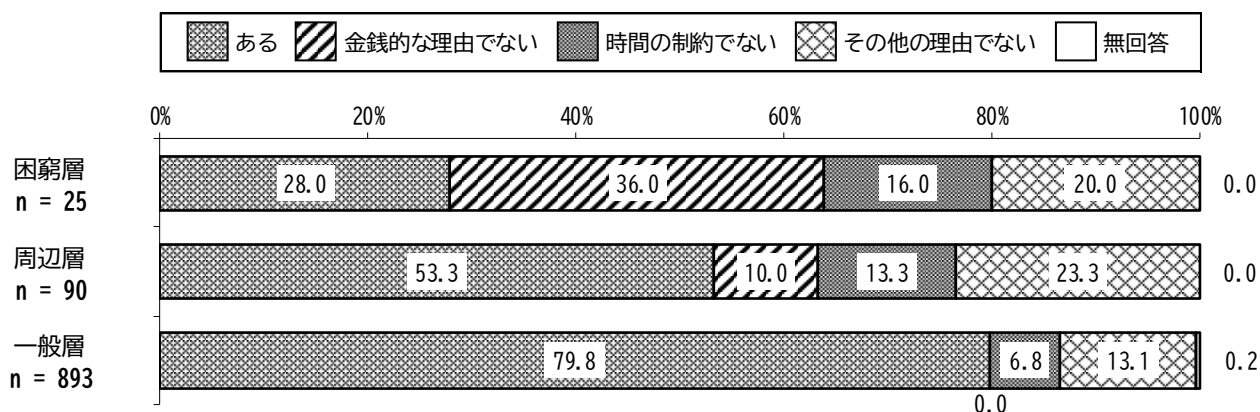
<保護者>子どもの体験への支出〔C 山や川など自然豊かな場所に行く〕【生活困難度別】
未就学児（***）



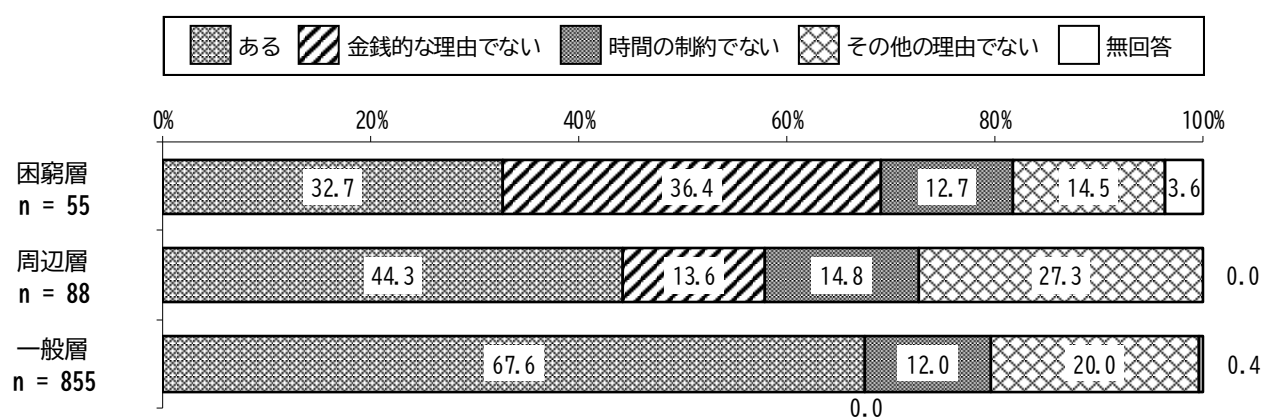
<保護者>子どもの体験への支出〔C 山や川など自然豊かな場所に行く〕【生活困難度別】
小学生①（***）



<保護者>子どもの体験への支出〔C 山や川など自然豊かな場所に行く〕【生活困難度別】
小学生②（***）

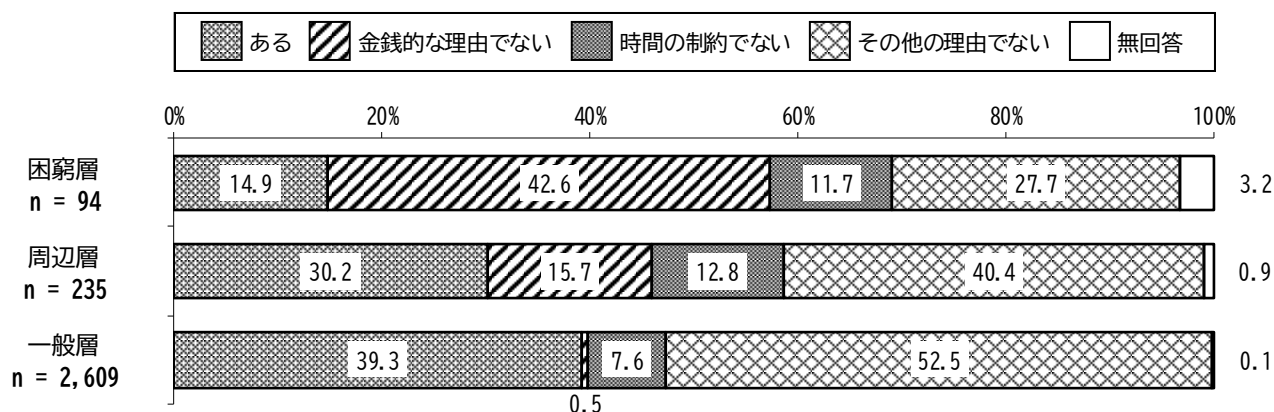


<保護者>子どもの体験への支出〔C 山や川など自然豊かな場所に行く〕【生活困難度別】
中学生 (***)

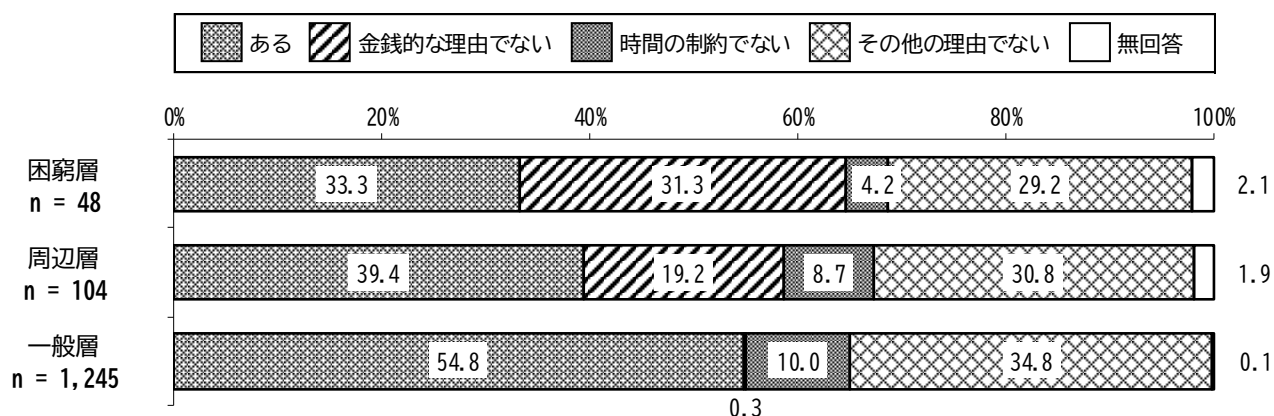


〔D キャンプやバーベキューに行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「金銭的な理由でない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔中学生〕の【困窮層】が49.1%と、【周辺層】（15.9%）よりも33.2ポイント高くなっている。

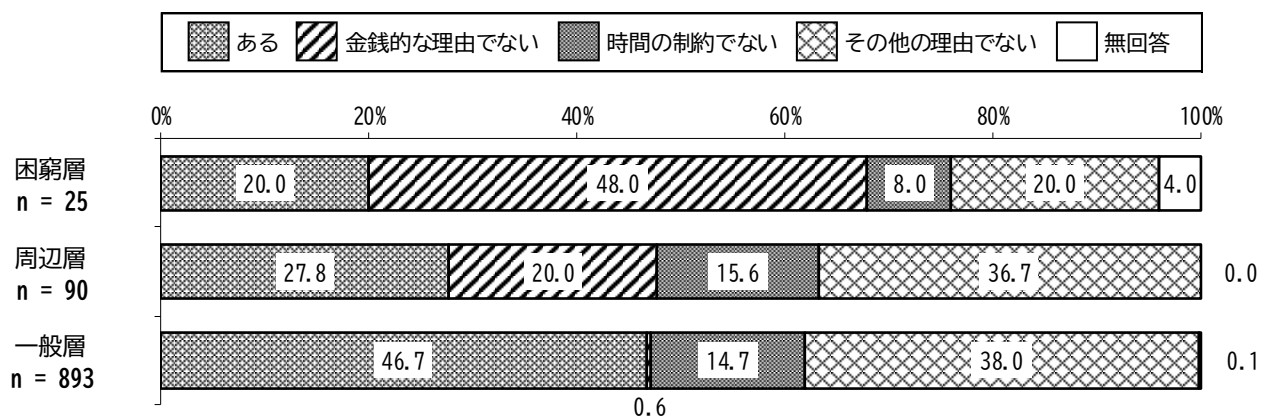
**<保護者>子どもの体験への支出〔D キャンプやバーベキューに行く〕【生活困難度別】
未就学児（***）**



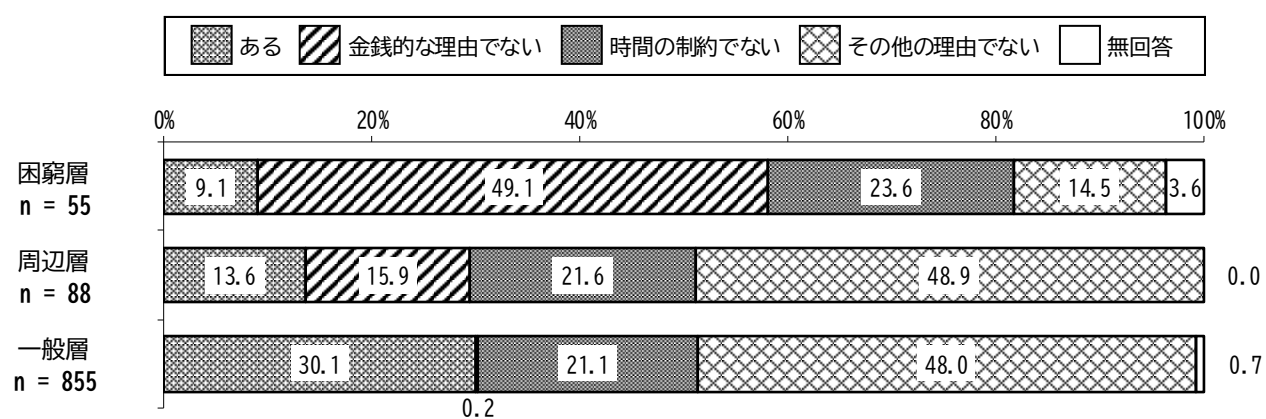
**<保護者>子どもの体験への支出〔D キャンプやバーベキューに行く〕【生活困難度別】
小学生①（***）**



**<保護者>子どもの体験への支出〔D キャンプやバーベキューに行く〕【生活困難度別】
小学生②（***）**

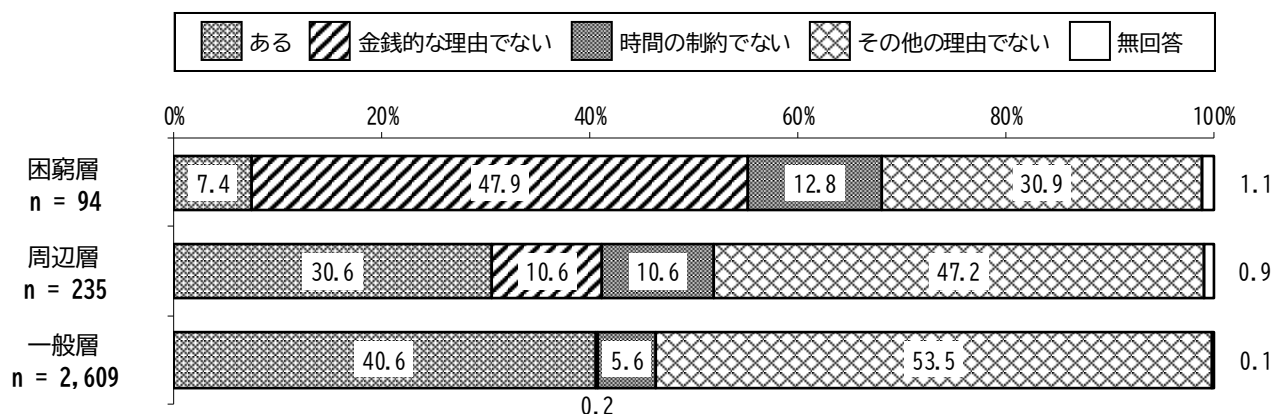


<保護者>子どもの体験への支出【D キャンプやバーベキューに行く】【生活困難度別】
中学生 (***)

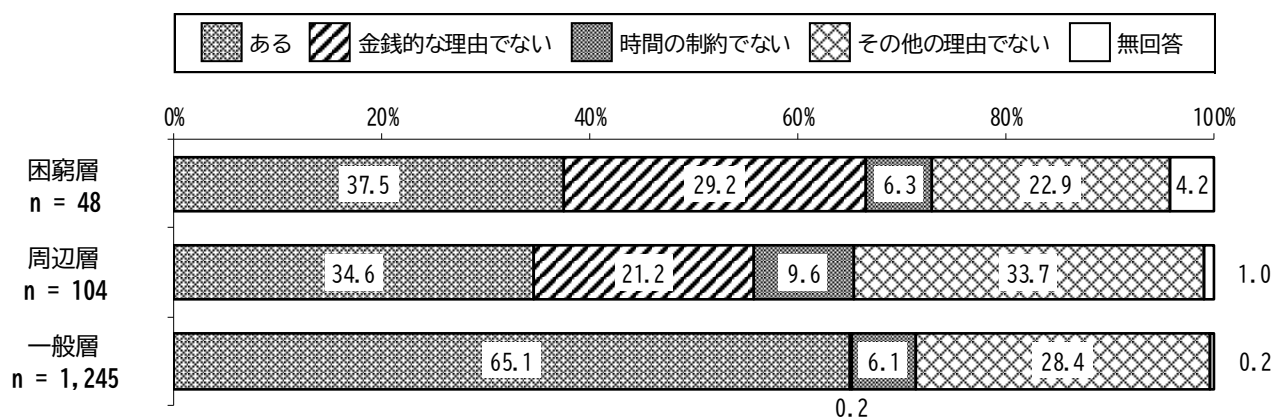


〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「金銭的な理由でない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔未就学児〕の【困窮層】が47.9%と、【周辺層】（10.6%）よりも37.3ポイント高くなっている。

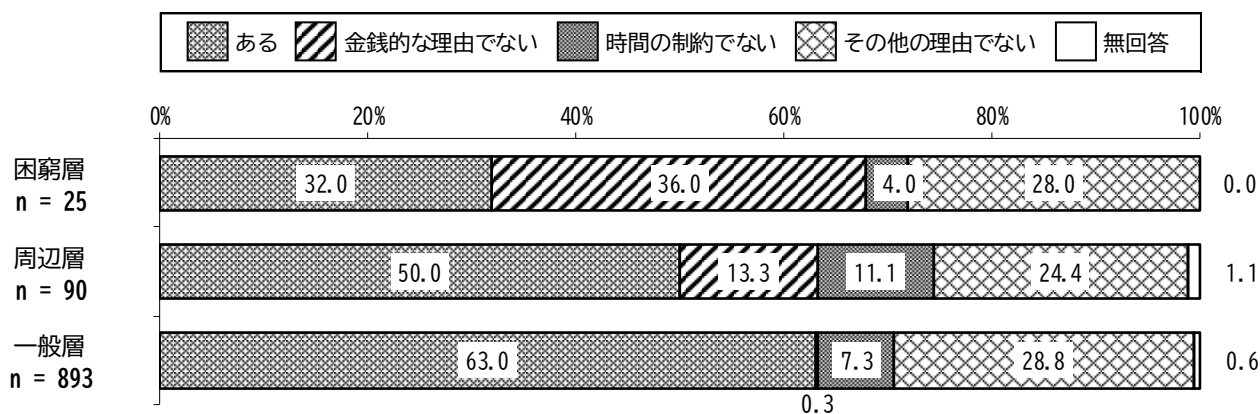
＜保護者＞子どもの体験への支出〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕【生活困難度別】
未就学児（***）



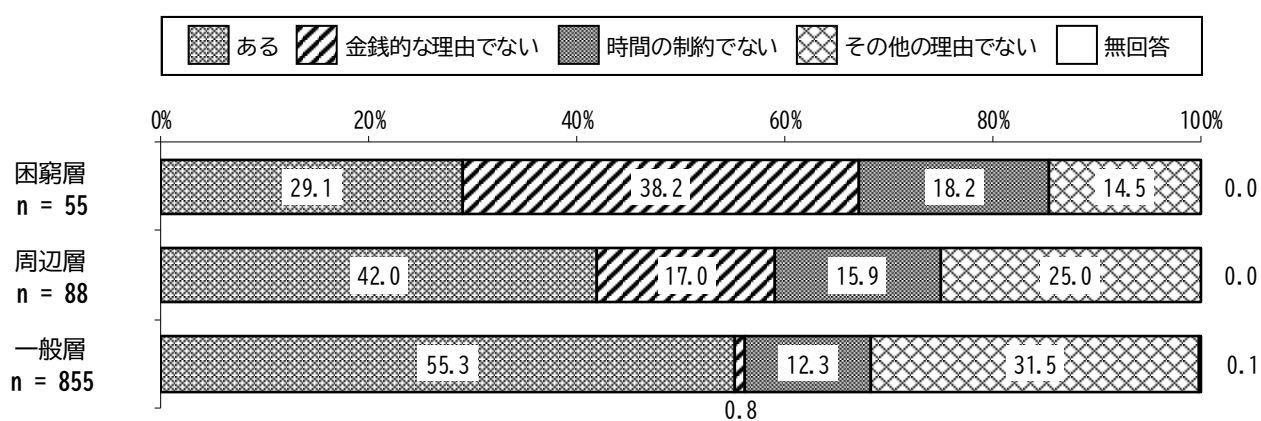
＜保護者＞子どもの体験への支出〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕【生活困難度別】
小学生①（***）



＜保護者＞子どもの体験への支出〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕【生活困難度別】
小学生②（***）

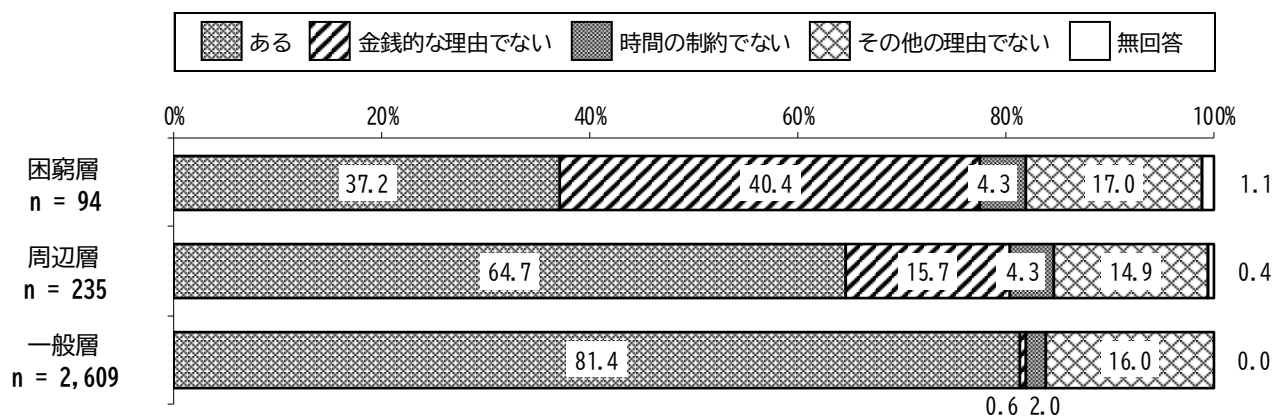


＜保護者＞子どもの体験への支出〔E スポーツ観戦や劇場に行く〕【生活困難度別】
中学生（***）

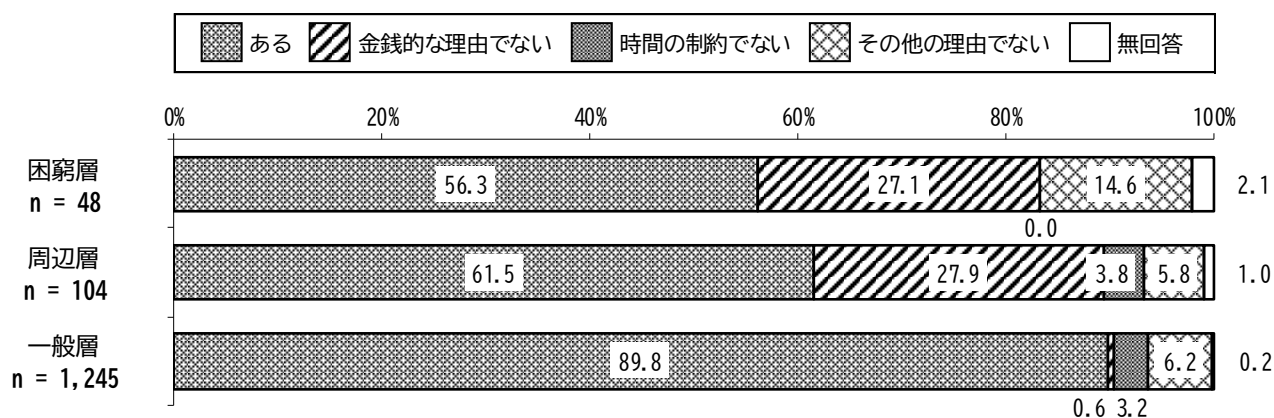


〔F 遊園地やテーマパークに行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「金銭的な理由でない」の割合は〔小学生①〕を除き、【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔中学生〕の【困窮層】が56.4%と、【周辺層】(21.6%)よりも34.8ポイント高くなっている。

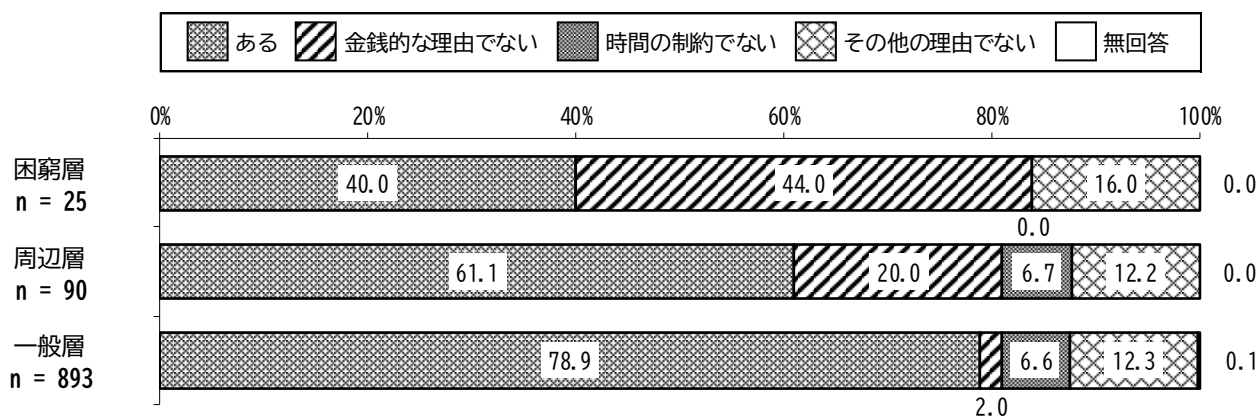
＜保護者＞子どもの体験への支出〔F 遊園地やテーマパークに行く〕【生活困難度別】
未就学児 (***)



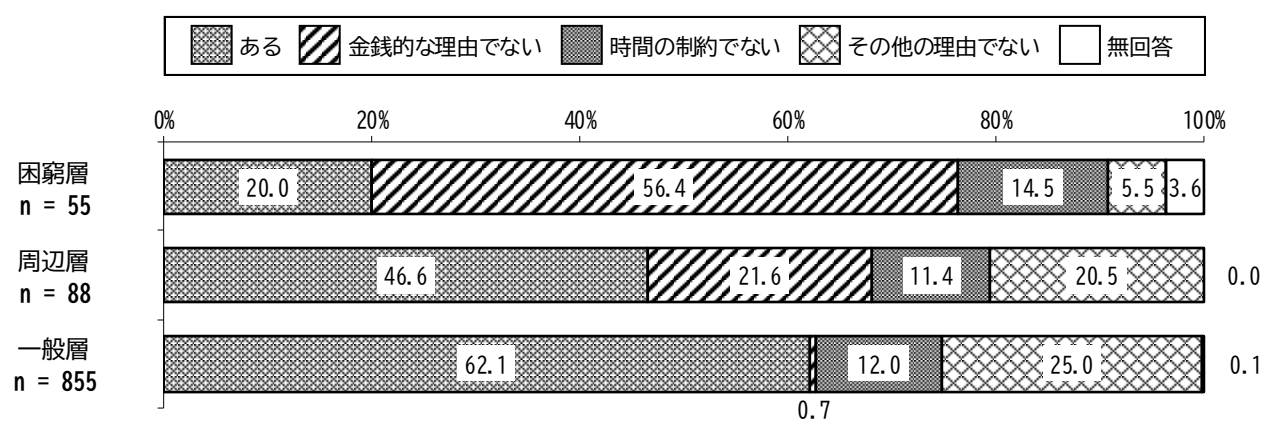
＜保護者＞子どもの体験への支出〔F 遊園地やテーマパークに行く〕【生活困難度別】
小学生① (***)



＜保護者＞子どもの体験への支出〔F 遊園地やテーマパークに行く〕【生活困難度別】
小学生② (***)



<保護者>子どもの体験への支出〔F 遊園地やテーマパークに行く〕【生活困難度別】
中学生（***）



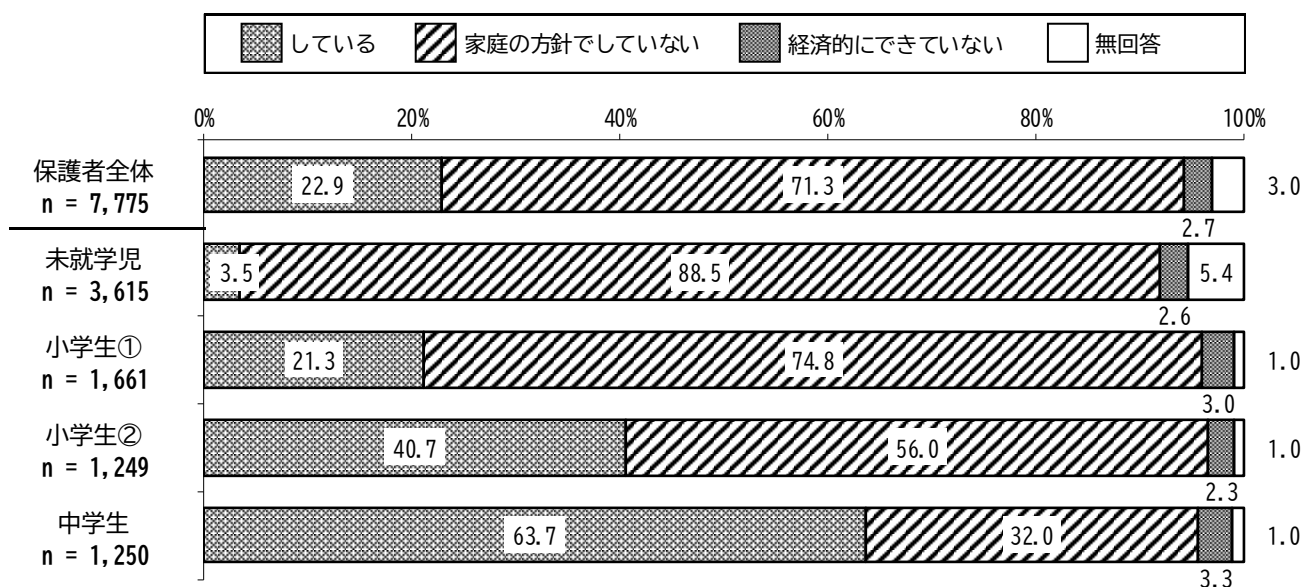
(3) 子どもへの支出

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1. している」「2. 家庭の方針でしていない」「3. 経済的にできていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。
(それぞれ1つに○)

〔A 毎月お小遣いを渡す〕について、保護者全体では「家庭の方針でしていない」が71.3%となっている。一方、「経済的にできていない」が2.7%となっている。

子どもの年齢層別にみると、子どもの年齢層が高くなるほど、「している」の割合が高くなり【中学生】が63.7%となっている。

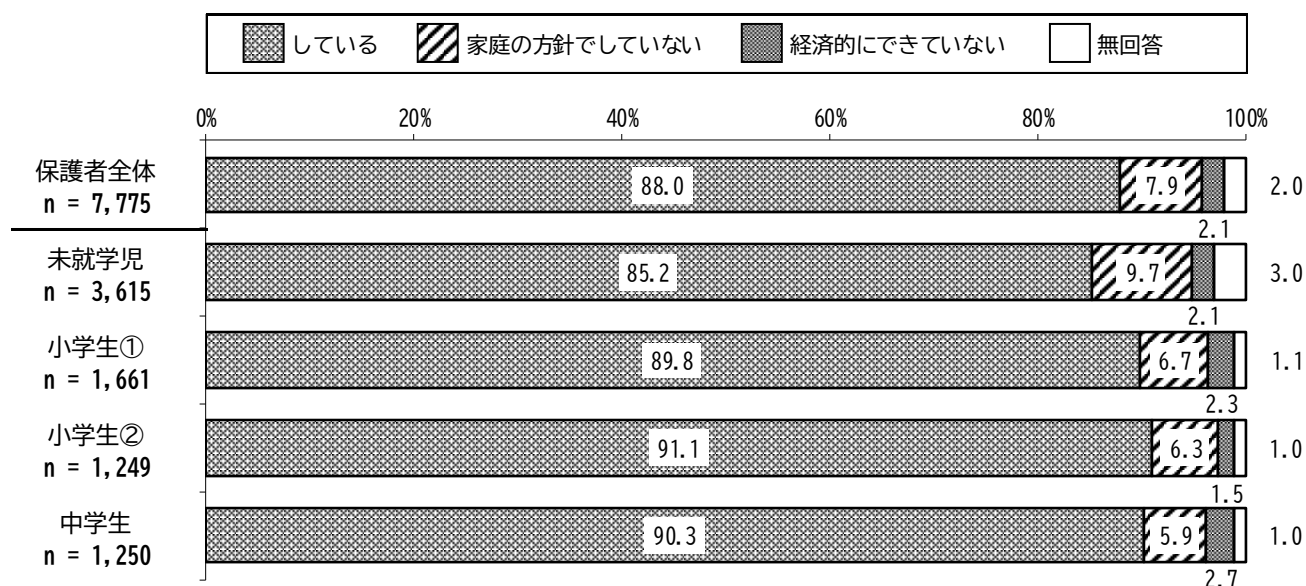
<保護者>子どもへの支出〔A 毎月お小遣いを渡す〕【子どもの年齢層別】



〔B 毎年新しい洋服・靴を買う〕について、保護者全体では「している」が 88.0%となっている。一方、「経済的にできていない」が 2.1%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

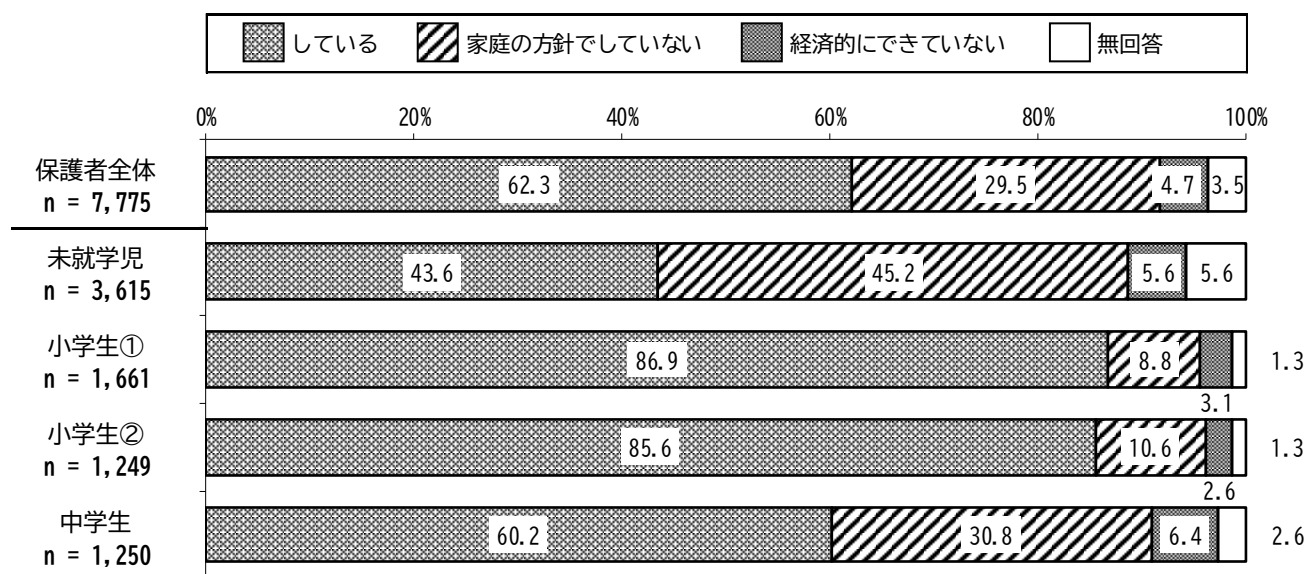
<保護者>子どもへの支出〔B 毎年新しい洋服・靴を買う〕【子どもの年齢層別】



〔C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる〕について、保護者全体では「している」が 62.3%となっている。一方、「家庭の方針でしていない」が 29.5%、「経済的にできていない」が 4.7%となっている。

子どもの年齢層別にみると、「している」は【小学生①】が 86.9%、【小学生②】が 85.6%と他の区分に比べ、高くなっている。

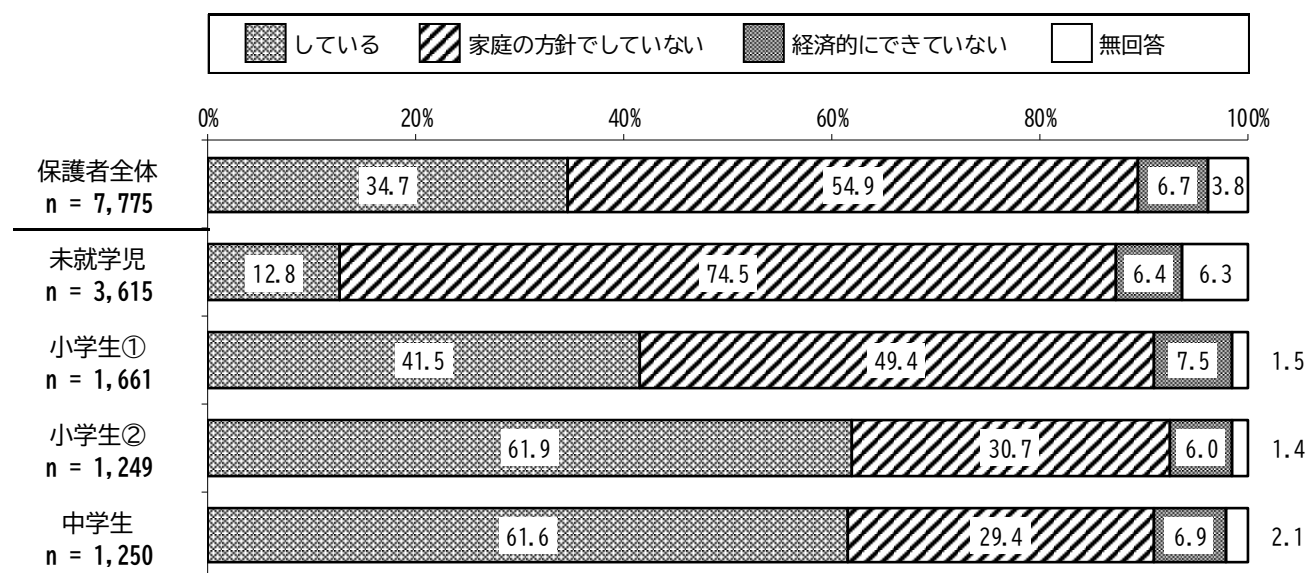
<保護者>子どもへの支出〔C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる〕【子どもの年齢層別】



〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕について、保護者全体では「している」が34.7%となっている。一方、「家庭の方針でしていない」が54.9%、「経済的にできていない」が6.7%となっている。

子どもの年齢層別にみると、「している」は【小学生②】が61.9%、【中学生】が61.6%と他の区分に比べ、高くなっている。

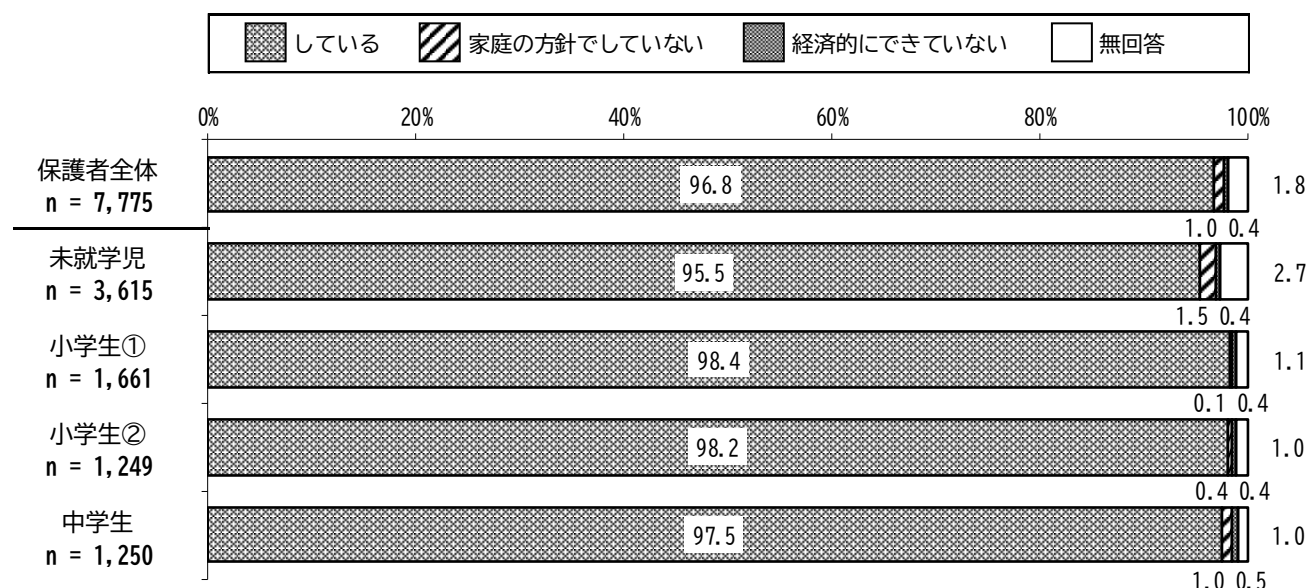
<保護者>子どもへの支出〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕【子どもの年齢層別】



〔E お誕生日のお祝いをする〕について、保護者全体では「している」が96.8%となっている。一方、「経済的にできていない」が0.4%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

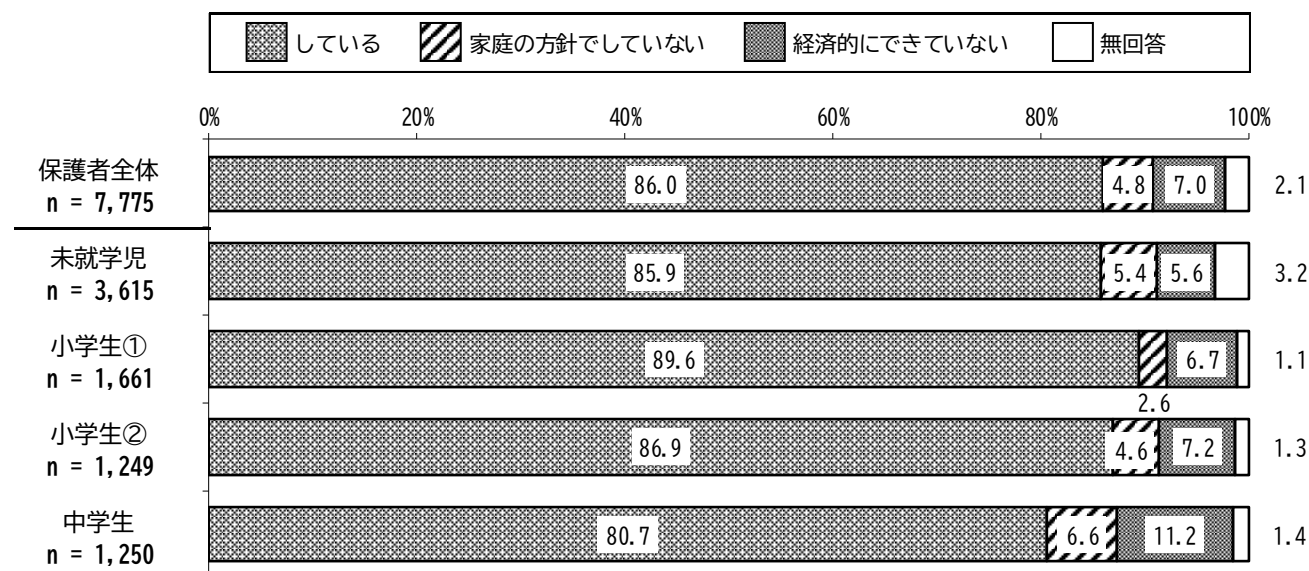
<保護者>子どもへの支出〔E お誕生日のお祝いをする〕【子どもの年齢層別】



〔F 1年に1回くらい家族旅行に行く〕について、保護者全体では「している」が86.0%となっている。一方、「経済的にできていない」が7.0%となっている。

子どもの年齢層が高くなるほど、「経済的にできていない」の割合が高くなり【中学生】が11.2%となっている。

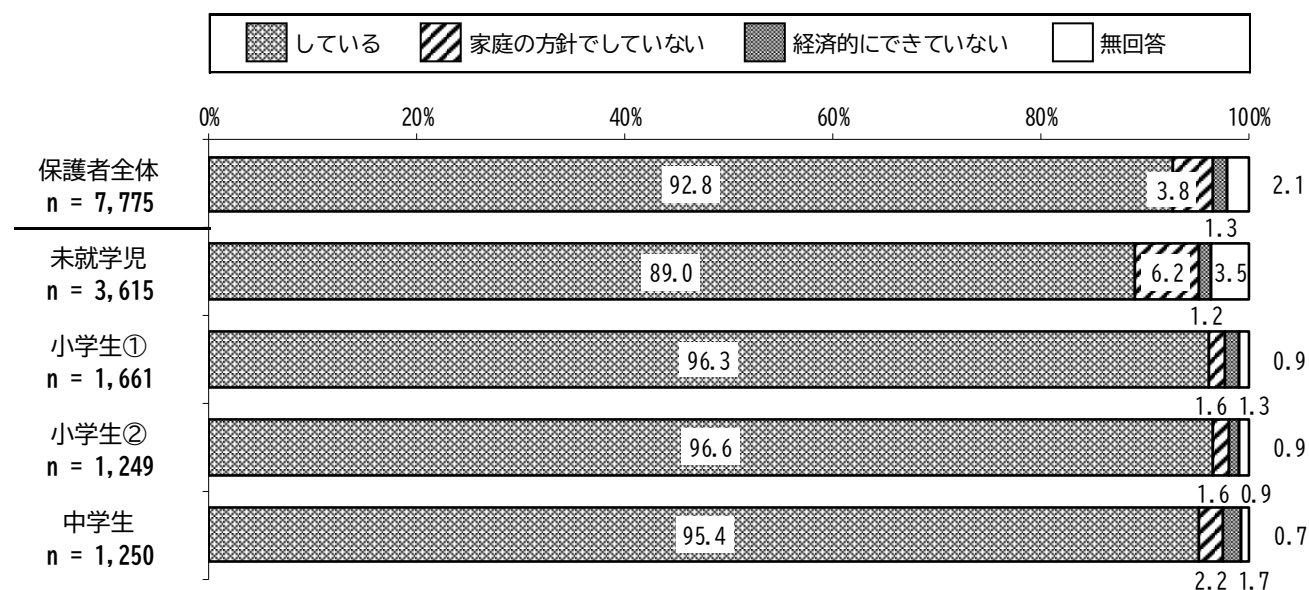
<保護者>子どもへの支出〔F 1年に1回くらい家族旅行に行く〕【子どもの年齢層別】



〔G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕について、保護者全体では「している」が92.8%となっている。一方、「経済的にできていない」が1.3%となっている。

子どもの年齢層別にみると、「家庭の方針でしていない」は【未就学児】が6.2%と他の区分に比べ、高くなっている。

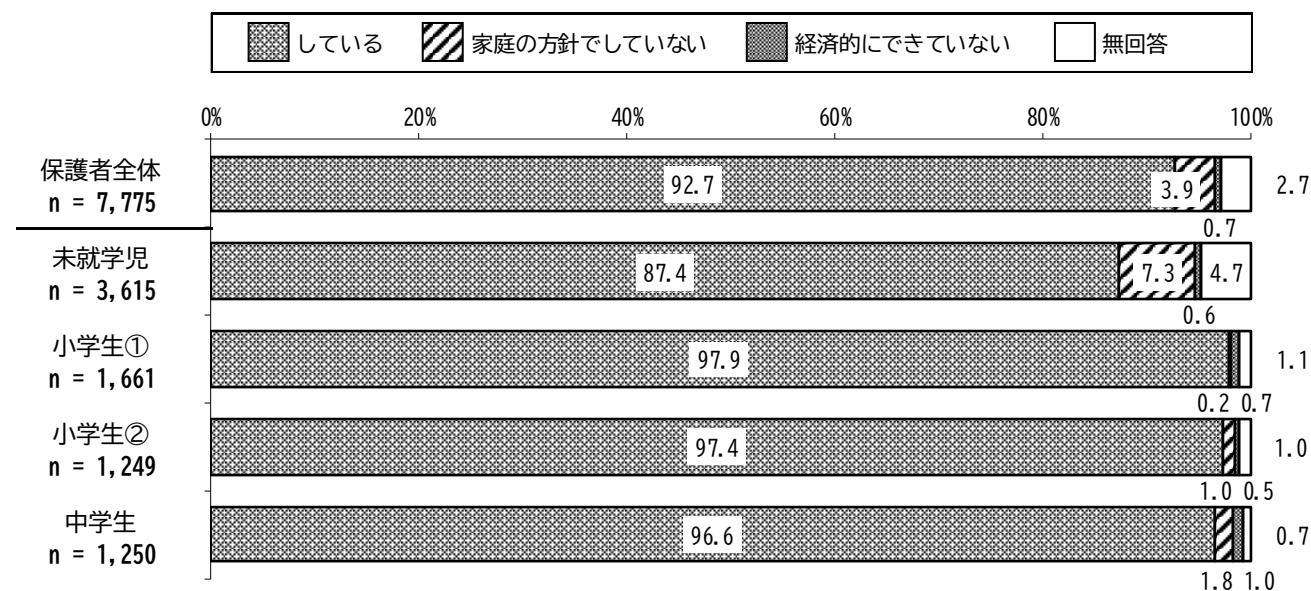
<保護者>子どもへの支出〔G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕【子どもの年齢層別】



〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕について、保護者全体では「している」が 92.7%となっている。一方、「経済的にできていない」が 0.7%となっている。

子どもの年齢層別にみると、「家庭の方針でしていない」は【未就学児】が 7.3%と他の区分に比べ、高くなっている。

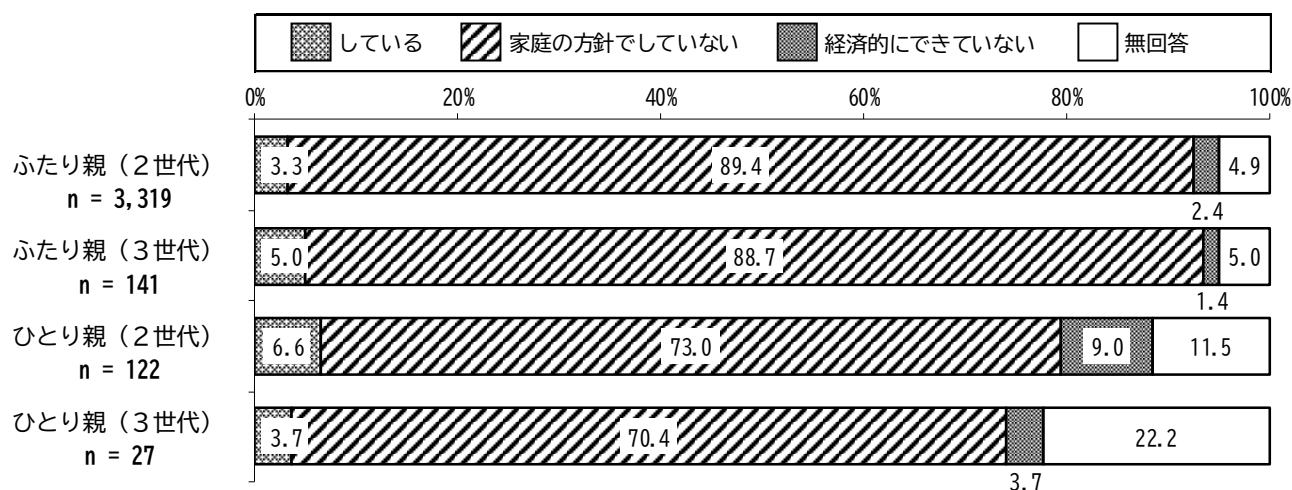
<保護者>子どもへの支出〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕【子どもの年齢層別】



〔A 毎月お小遣いを渡す〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「経済的にできていない」の割合は〔小学生②〕の3世代を除き、【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生②〕の【ひとり親（2世代）】が12.9%と、【ふたり親（2世代）】（1.5%）よりも11.4ポイント高くなっている。

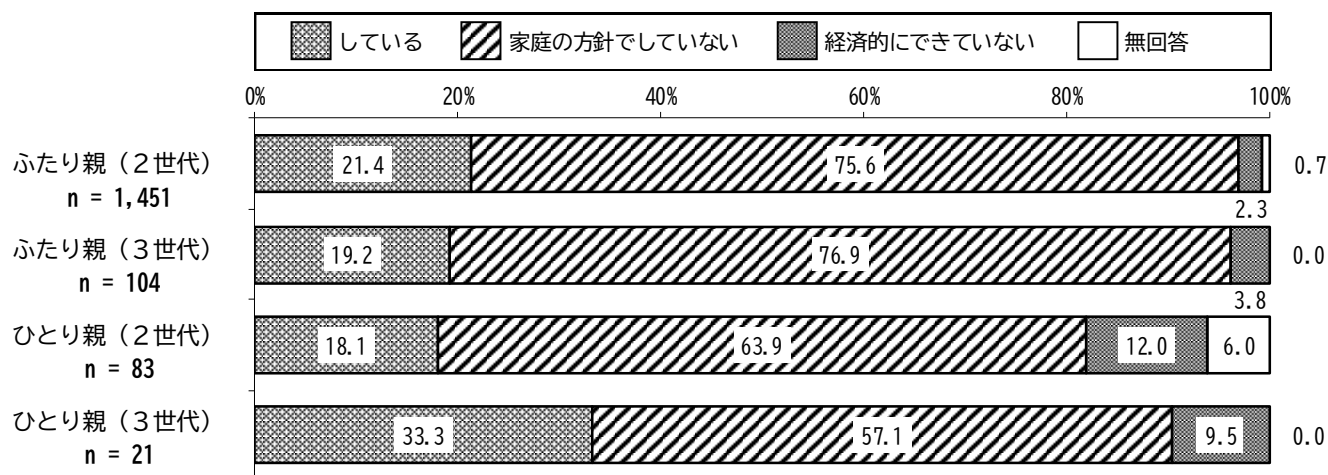
<保護者>子どもへの支出〔A 毎月お小遣いを渡す〕【世帯タイプ別】

未就学児 (***)



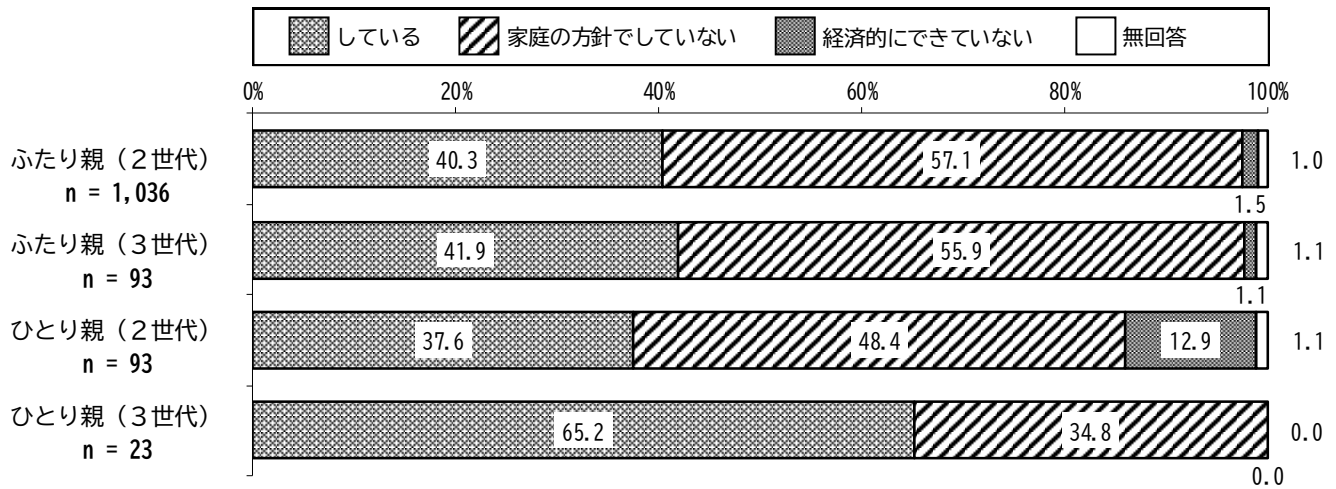
<保護者>子どもへの支出〔A 毎月お小遣いを渡す〕【世帯タイプ別】

小学生① (***)



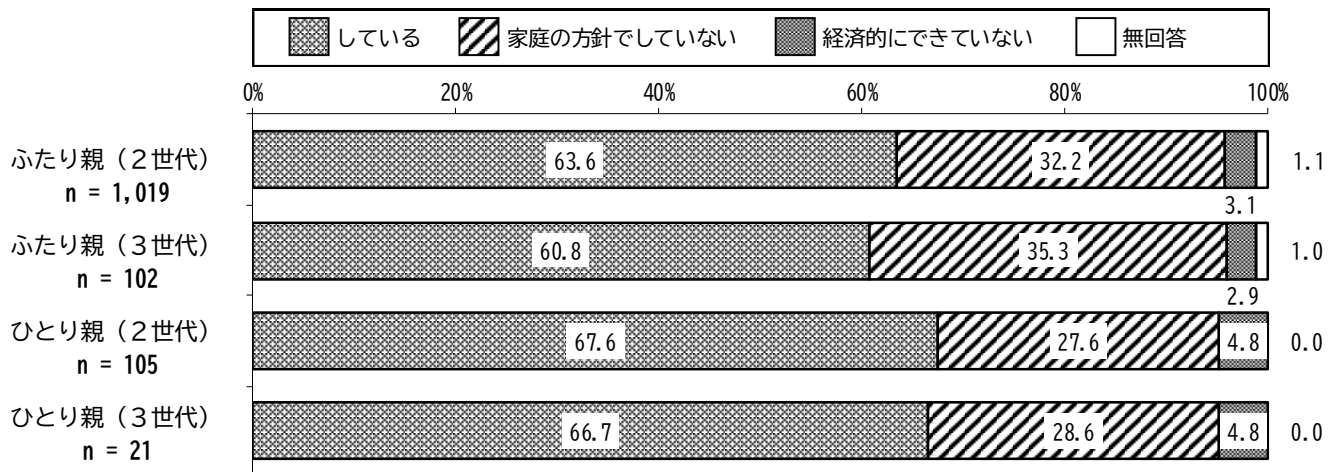
<保護者>子どもへの支出【A 毎月お小遣いを渡す】【世帯タイプ別】

小学生② (***)



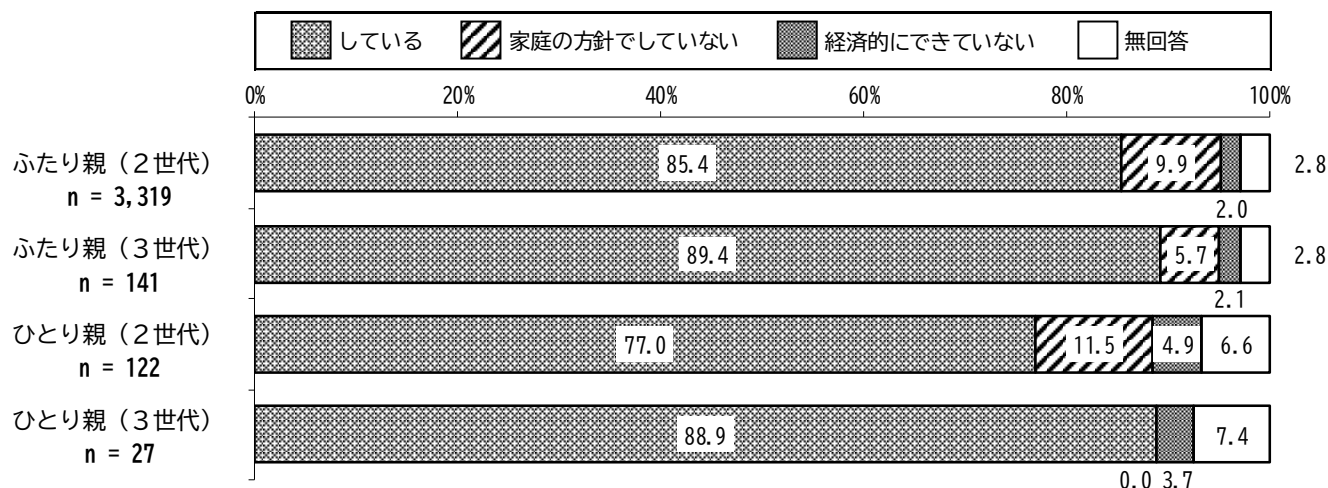
<保護者>子どもへの支出【A 毎月お小遣いを渡す】【世帯タイプ別】

中学生 (×)

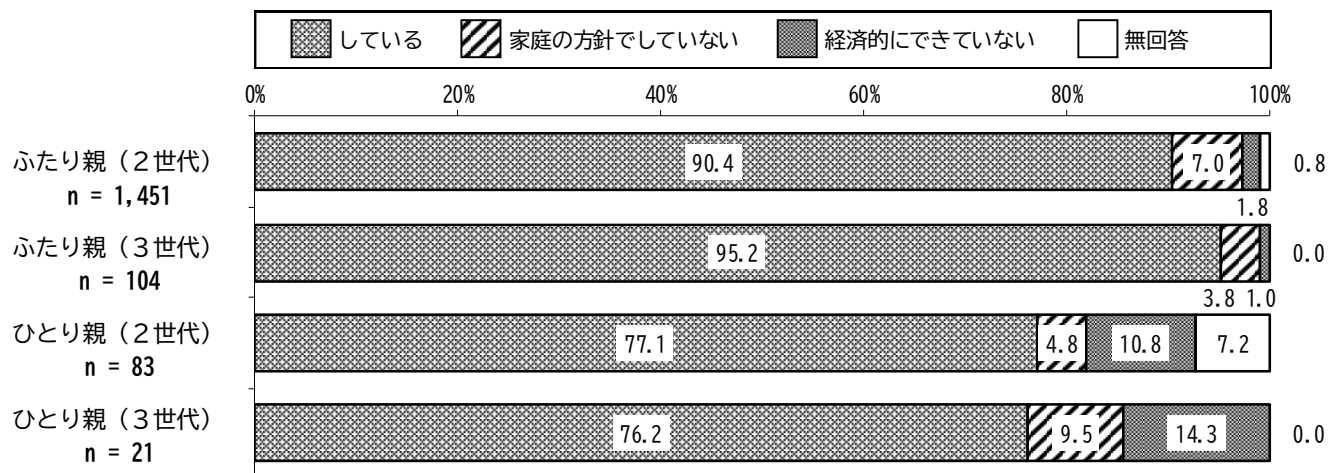


〔B 毎年新しい洋服・靴を買う〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「している」の割合はすべての年齢層で、【ふたり親】が【ひとり親】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生①〕の【ふたり親（3世代）】が95.2%と、【ひとり親（3世代）】（76.2%）よりも19.0ポイント高くなっている。

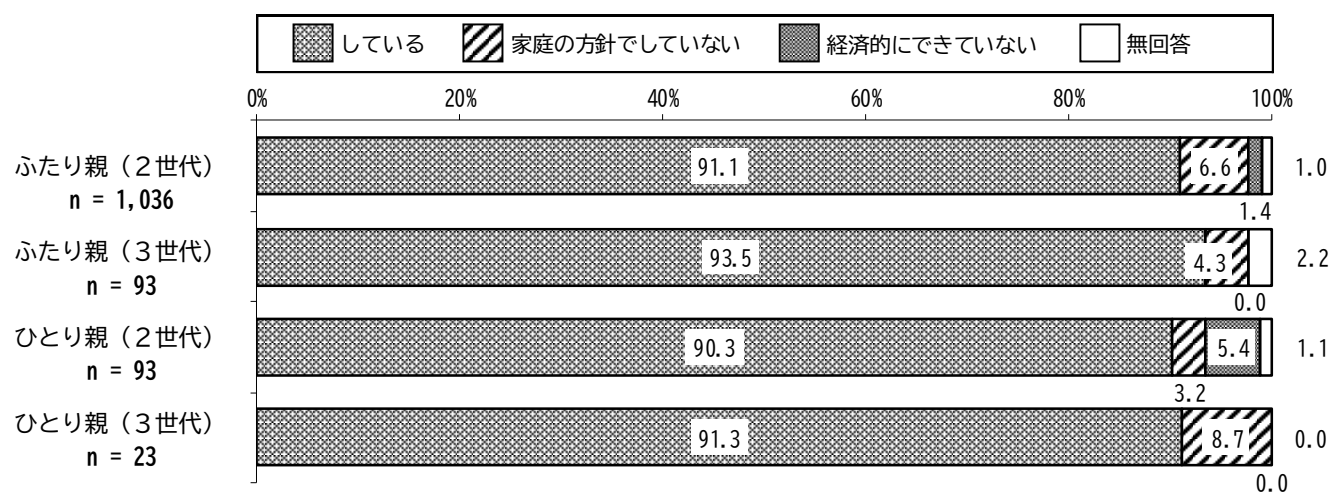
＜保護者＞子どもへの支出〔B 毎年新しい洋服・靴を買う〕【世帯タイプ別】
未就学児（*）



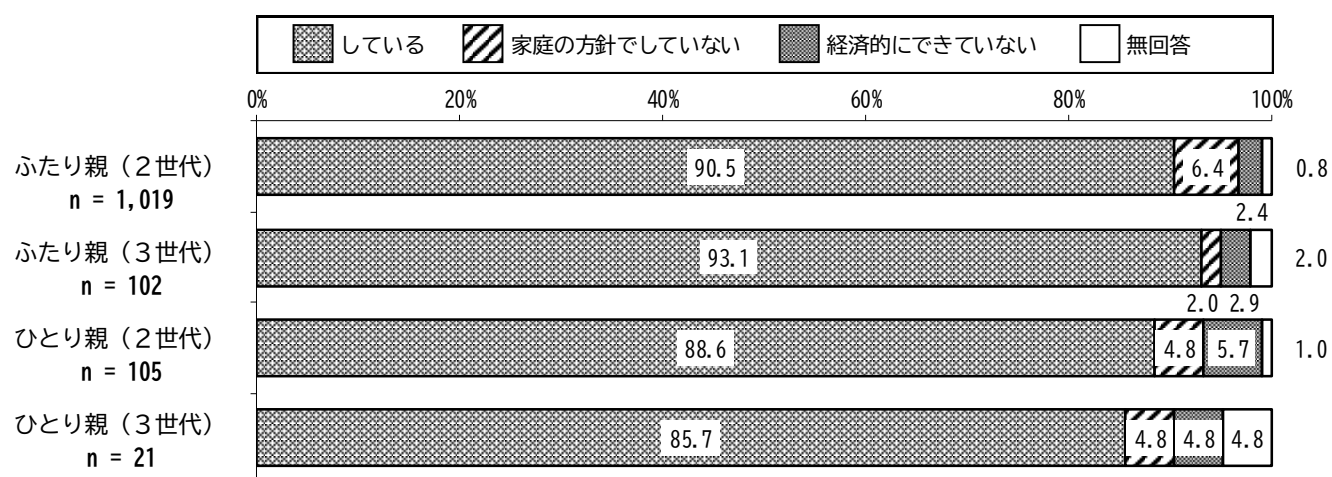
＜保護者＞子どもへの支出〔B 毎年新しい洋服・靴を買う〕【世帯タイプ別】
小学生①（***）



<保護者>子どもへの支出【B 毎年新しい洋服・靴を買う】【世帯タイプ別】
小学生②（**）

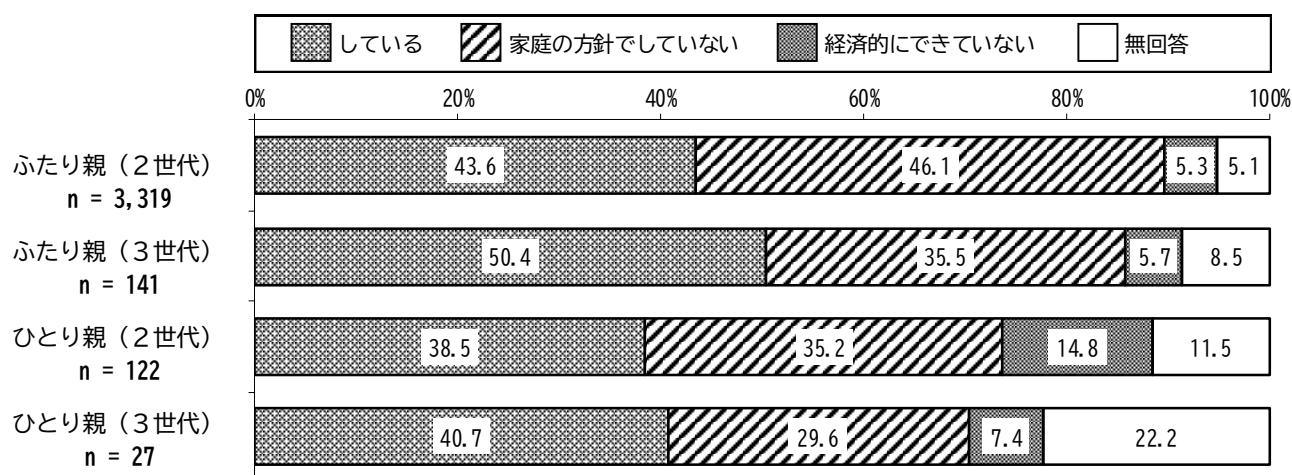


<保護者>子どもへの支出【B 毎年新しい洋服・靴を買う】【世帯タイプ別】
中学生（×）

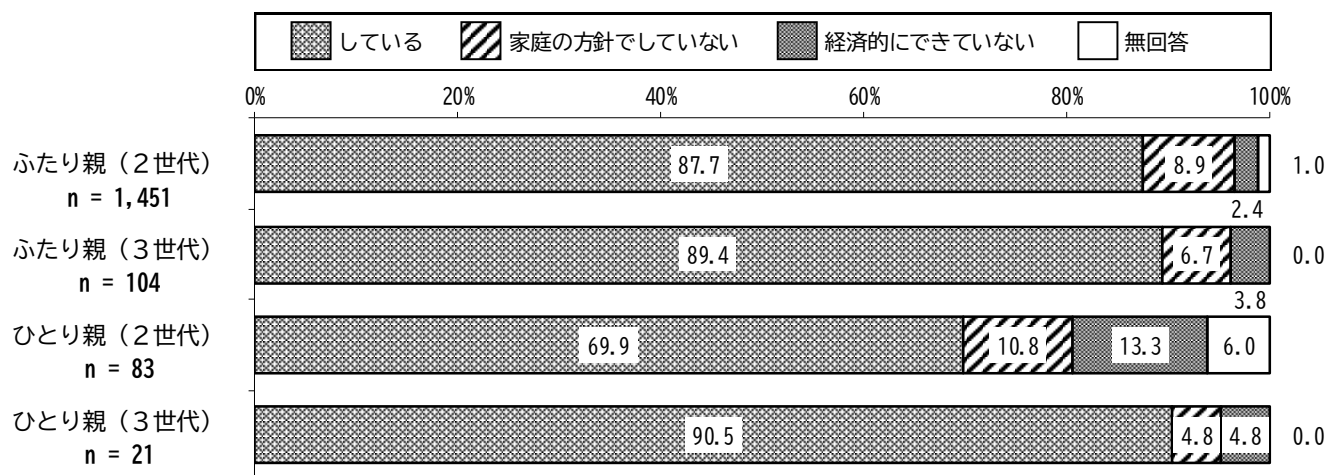


〔C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「経済的にできていない」の割合は〔中学生〕の3世代を除き、【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、〔中学生〕の【ひとり親（2世代）】が16.2%と、【ふたり親（2世代）】（5.3%）よりも10.9ポイント高くなっている。

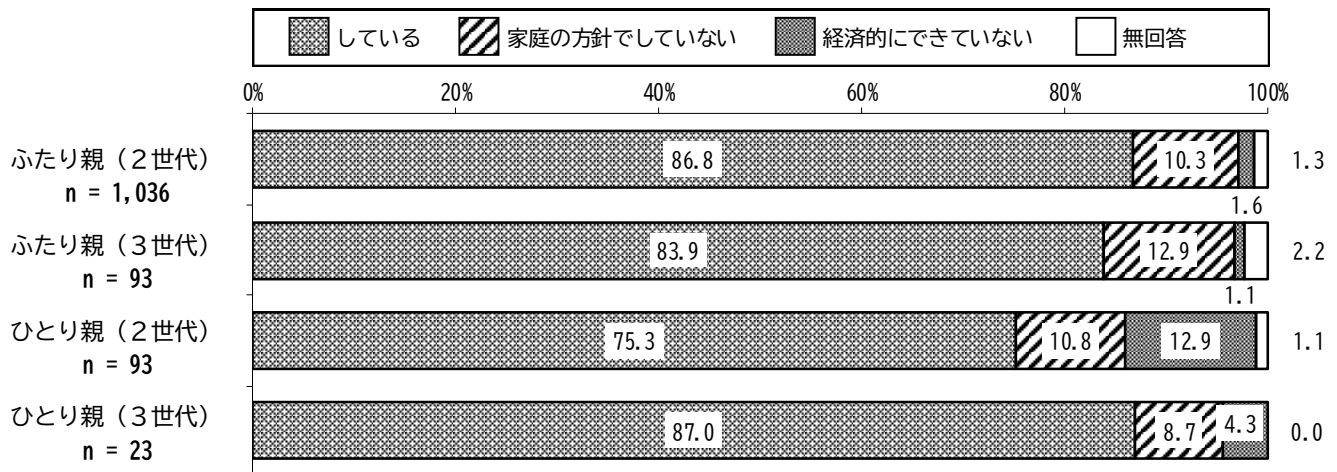
＜保護者＞子どもへの支出〔C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる〕【世帯タイプ別】
未就学児（***）



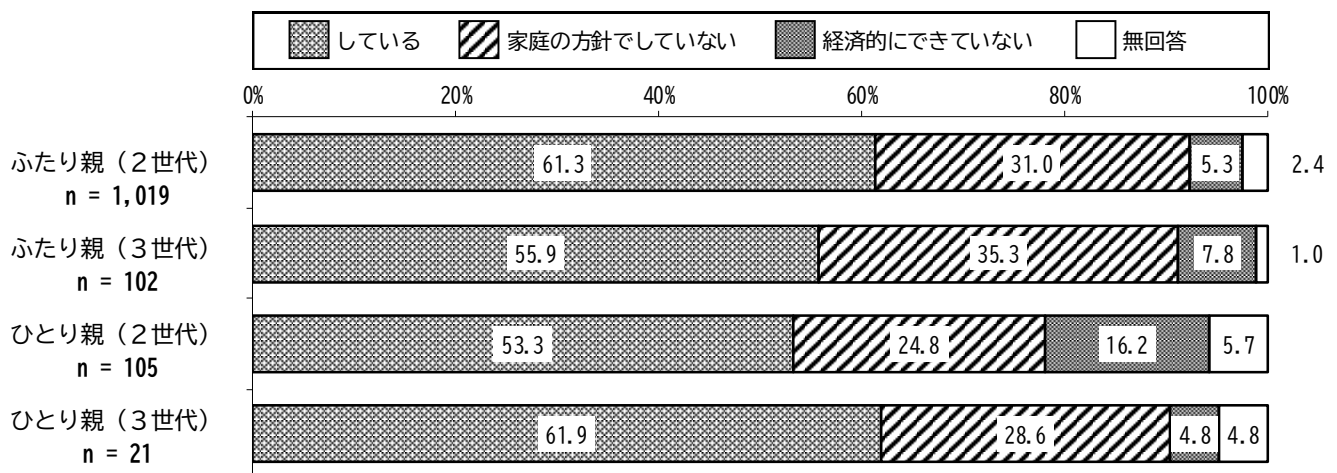
＜保護者＞子どもへの支出〔C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる〕【世帯タイプ別】
小学生①（***）



<保護者>子どもへの支出【C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる】【世帯タイプ別】
小学生② (***)

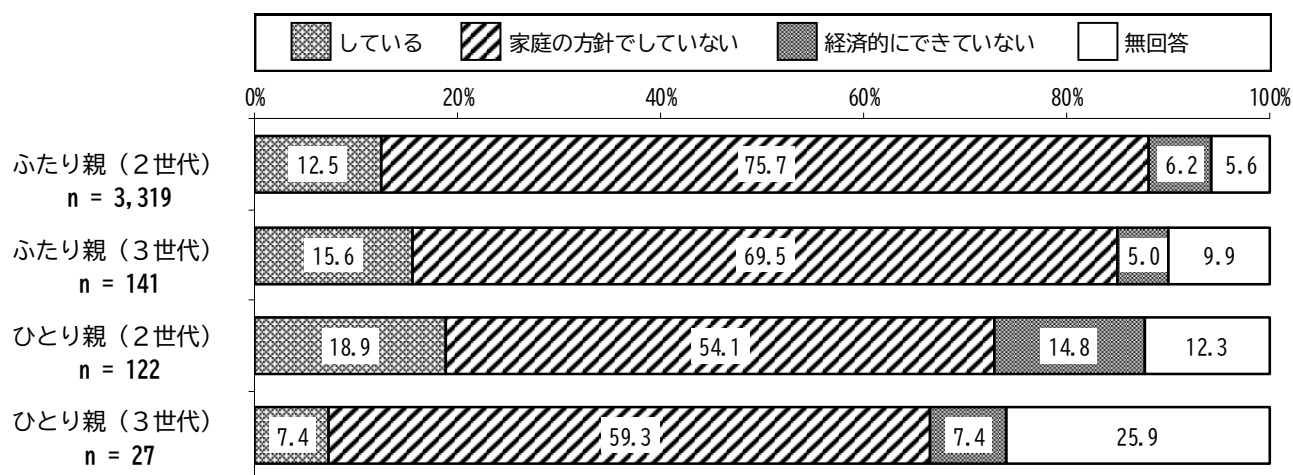


<保護者>子どもへの支出【C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる】【世帯タイプ別】
中学生 (***)

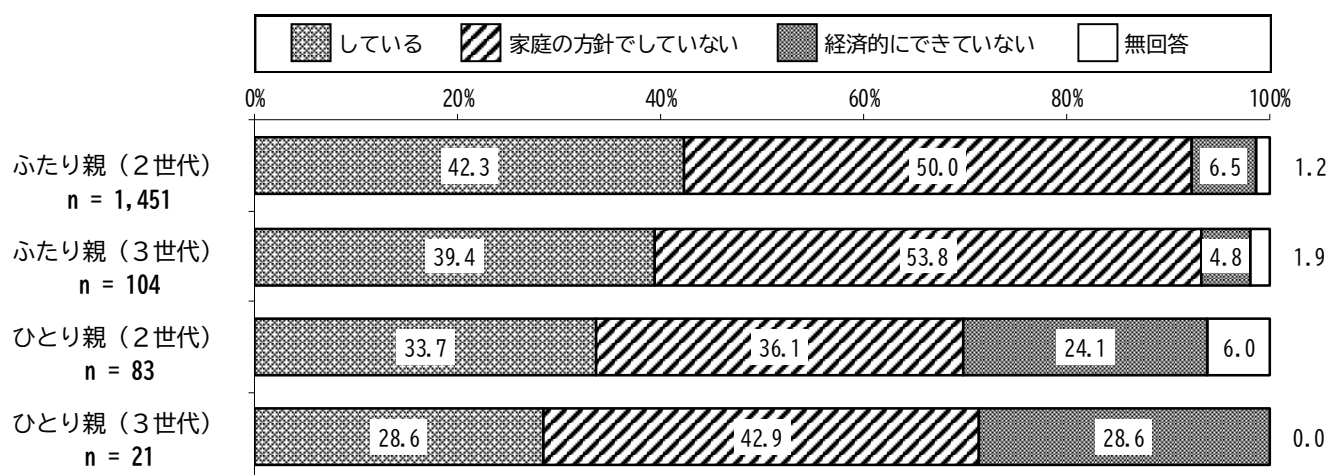


〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「経済的にできていない」は〔小学生①〕の【ひとり親（3世代）】が28.6%、【ひとり親（2世代）】が24.1%と他の区分に比べ、高くなっている。

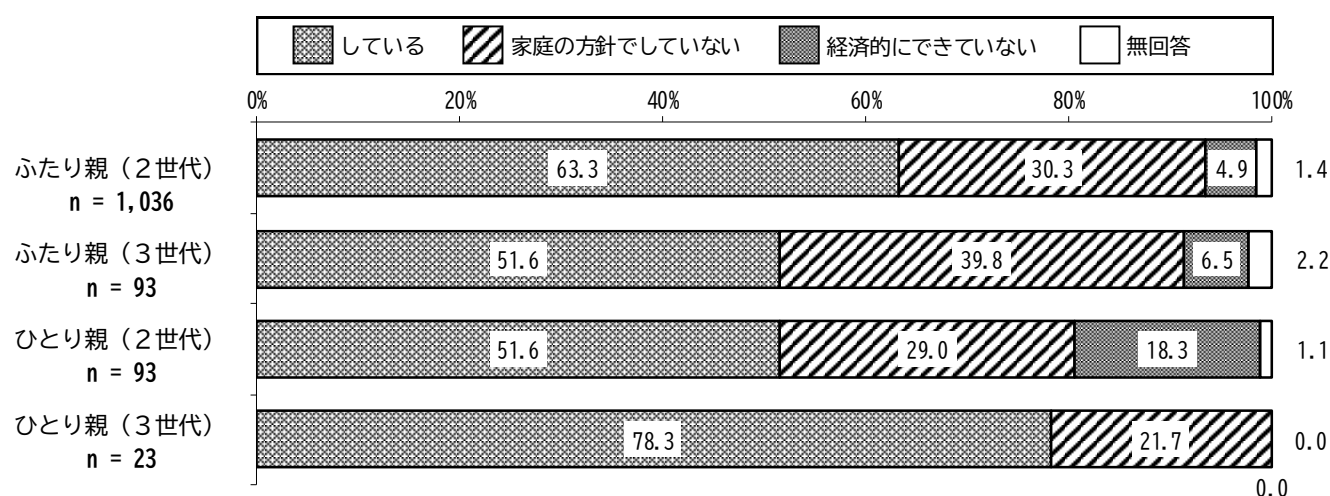
<保護者>子どもへの支出〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕【世帯タイプ別】
未就学児（***）



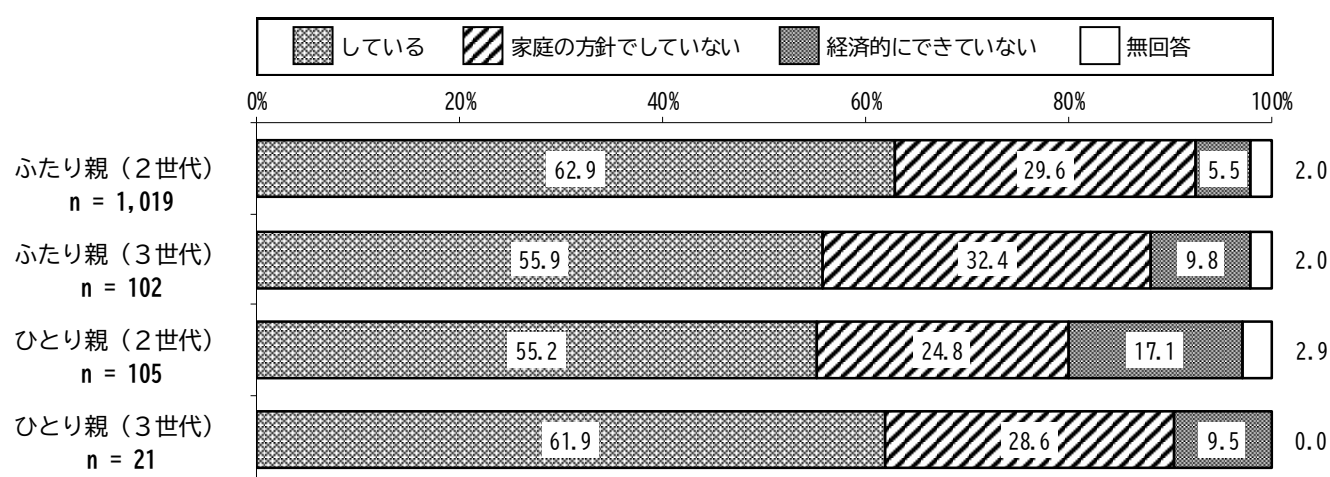
<保護者>子どもへの支出〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕【世帯タイプ別】
小学生①（***）



<保護者>子どもへの支出〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕【世帯タイプ別】
小学生② (***)



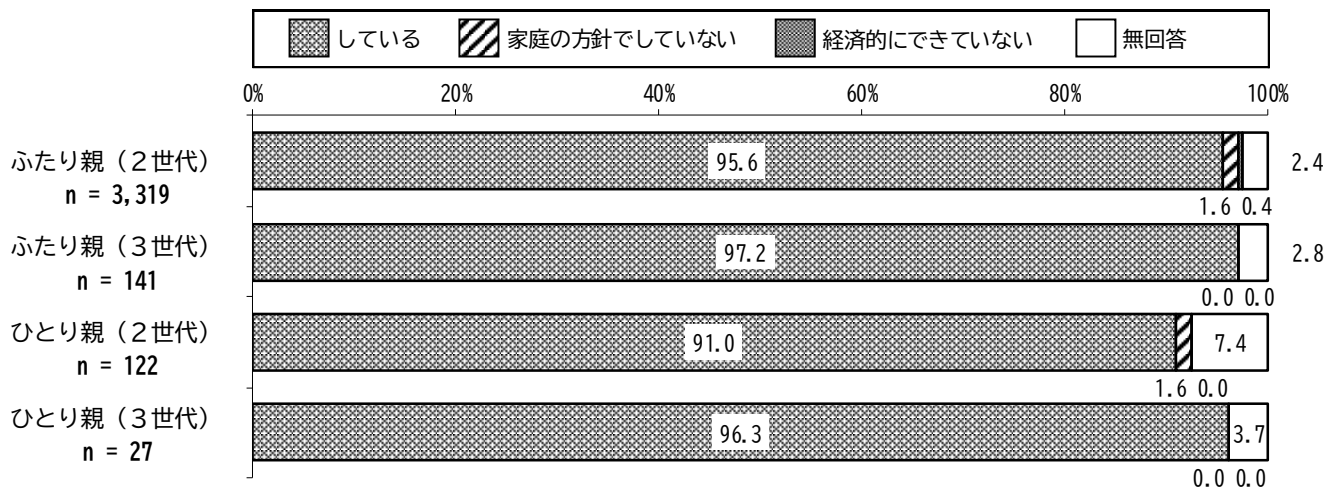
<保護者>子どもへの支出〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕【世帯タイプ別】
中学生 (***)



〔E お誕生日のお祝いをする〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、子どもの年齢層・世帯タイプによる大きな差はみられない。

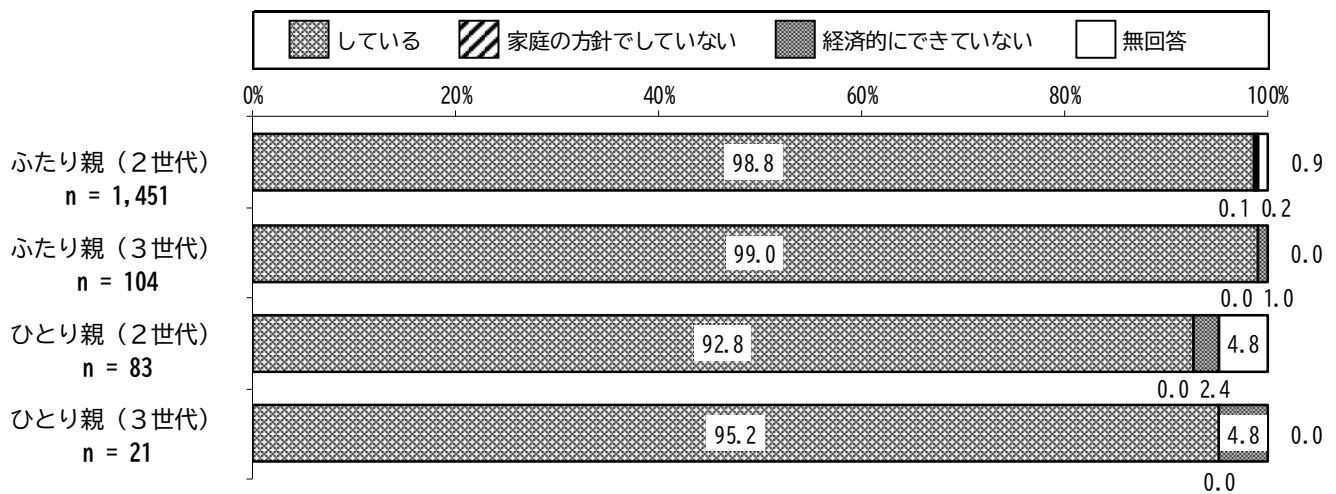
<保護者>子どもへの支出〔E お誕生日のお祝いをする〕【世帯タイプ別】

未就学児（×）



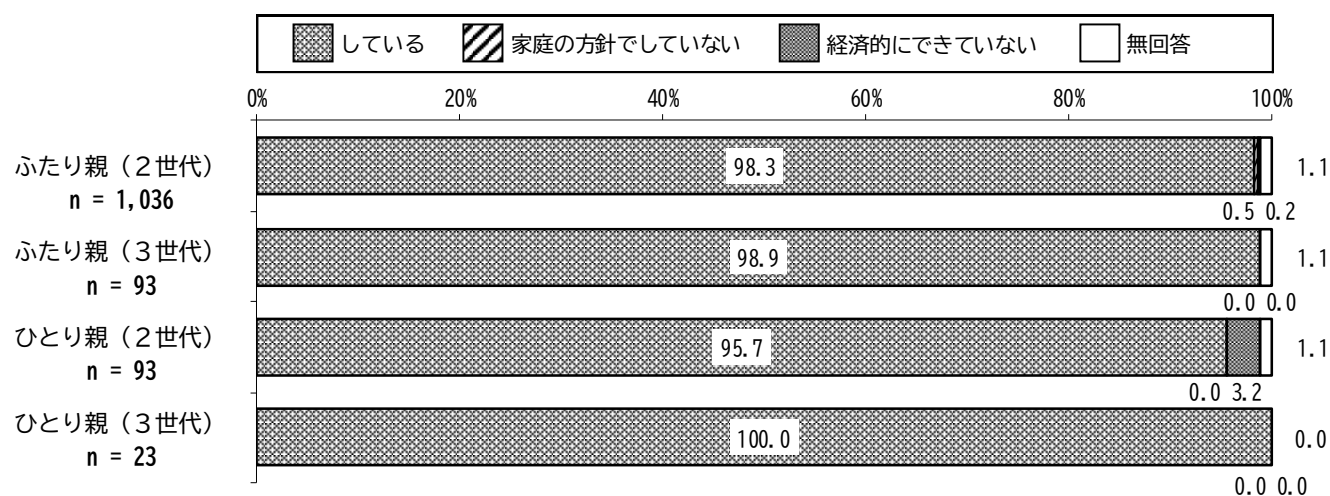
<保護者>子どもへの支出〔E お誕生日のお祝いをする〕【世帯タイプ別】

小学生①（***）



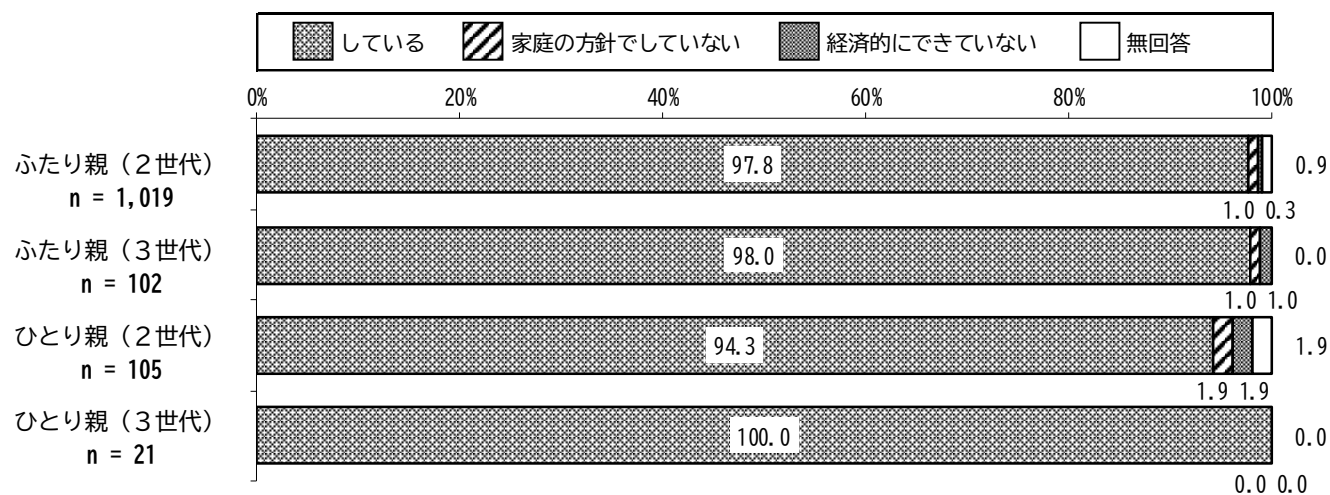
<保護者>子どもへの支出【E お誕生日のお祝いをする】【世帯タイプ別】

小学生② (***)



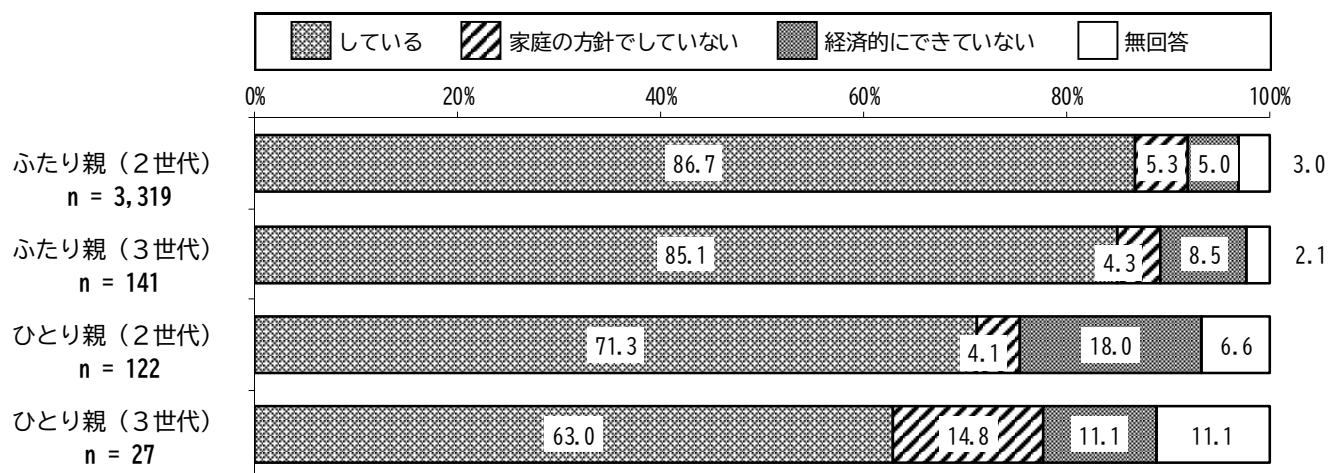
<保護者>子どもへの支出【E お誕生日のお祝いをする】【世帯タイプ別】

中学生 (×)

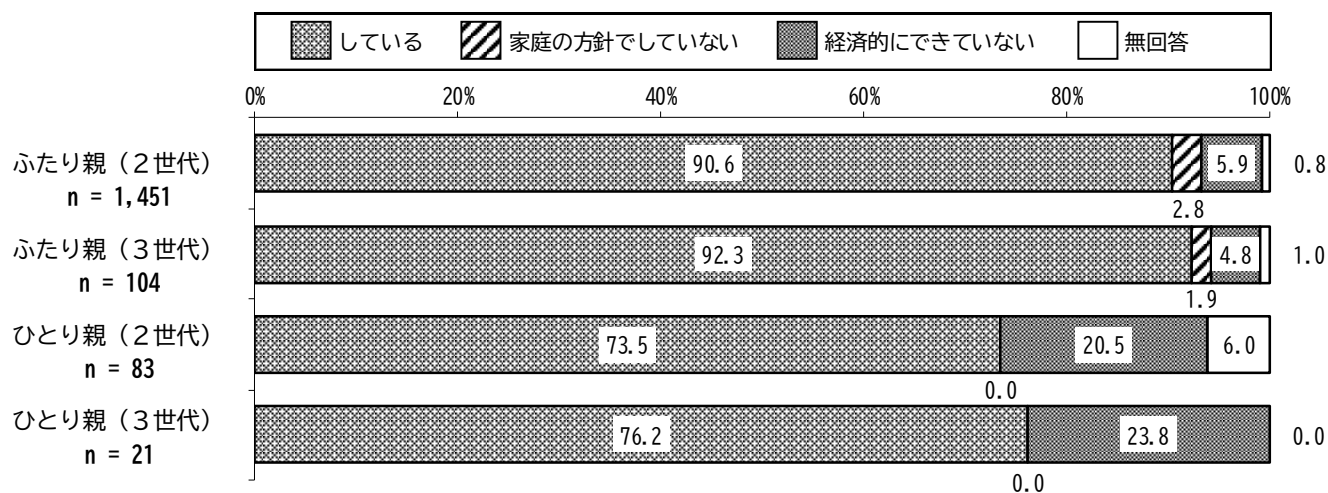


〔F 1年に1回くらい家族旅行に行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「経済的にできていない」の割合はすべての年齢層で【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生①〕の【ひとり親（3世代）】が23.8%と、【ふたり親（3世代）】（4.8%）よりも19.0ポイント高くなっている。

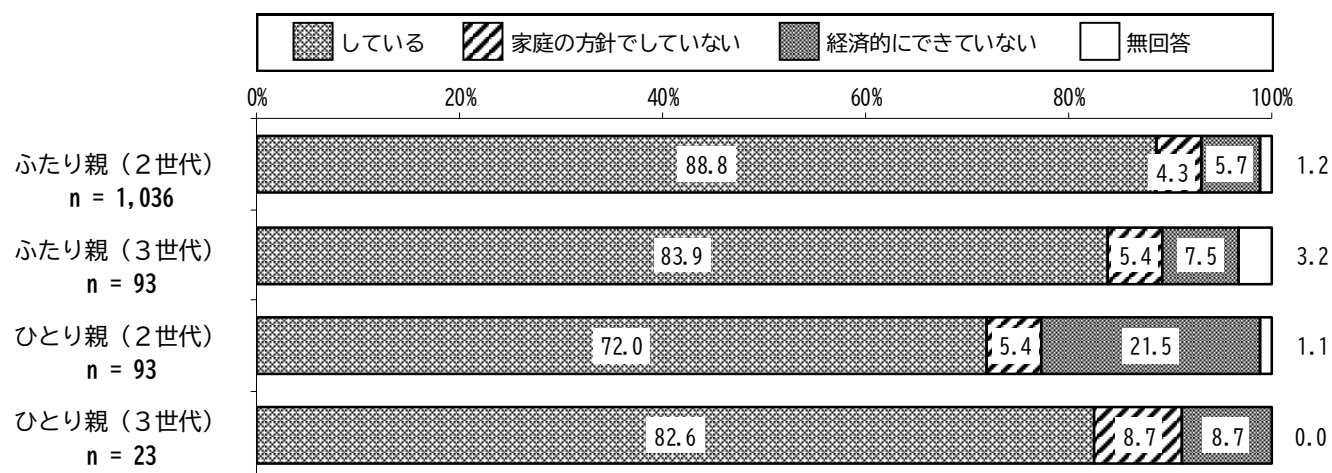
＜保護者＞子どもへの支出〔F 1年に1回くらい家族旅行に行く〕【世帯タイプ別】
未就学児（***）



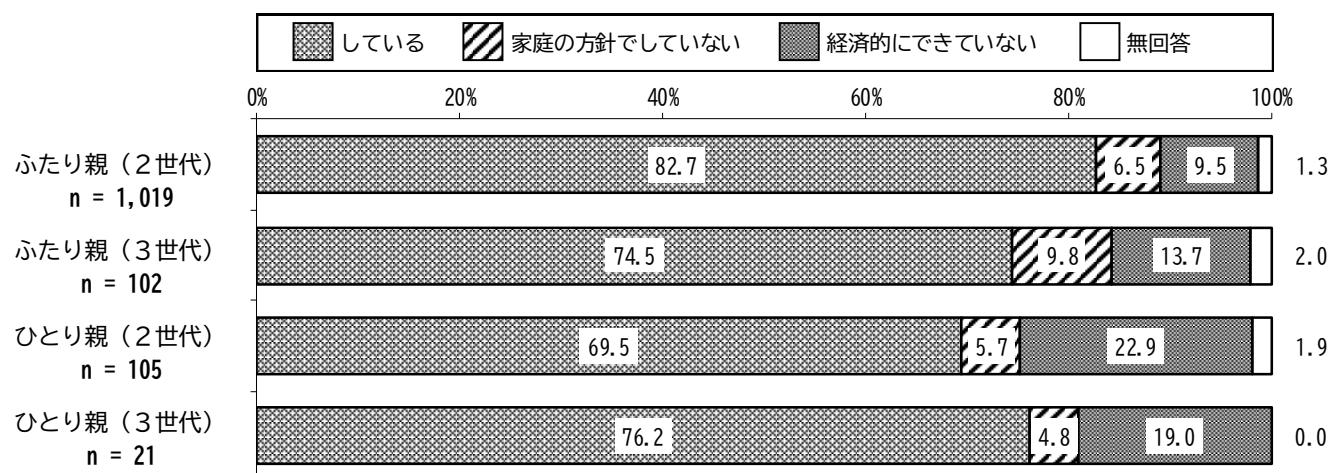
＜保護者＞子どもへの支出〔F 1年に1回くらい家族旅行に行く〕【世帯タイプ別】
小学生①（***）



**<保護者>子どもへの支出【F 1年に1回くらい家族旅行に行く】【世帯タイプ別】
小学生② (***)**

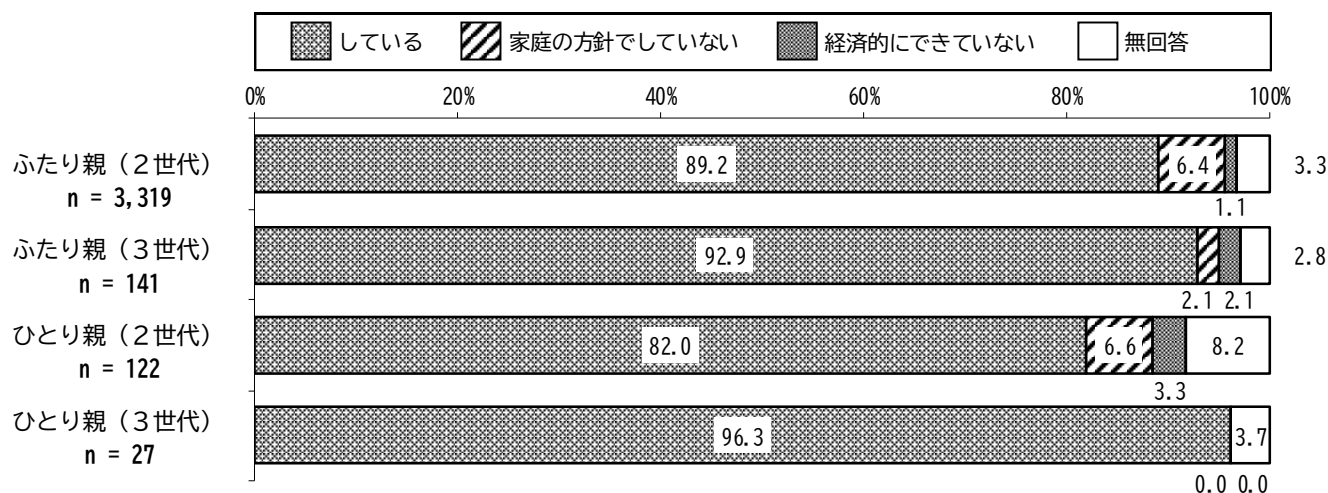


**<保護者>子どもへの支出【F 1年に1回くらい家族旅行に行く】【世帯タイプ別】
中学生 (***)**

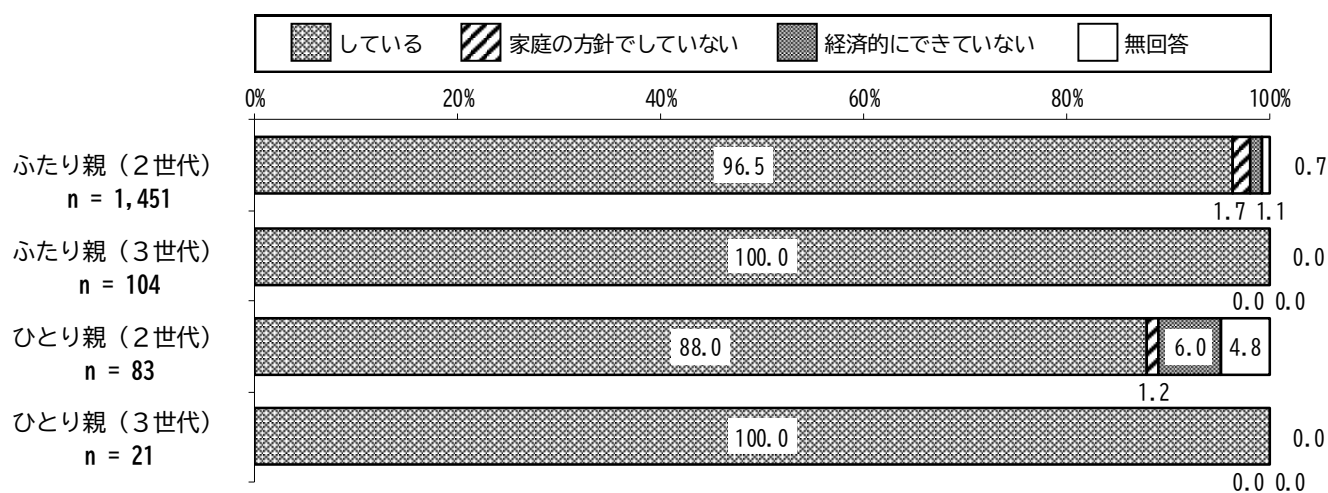


〔G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「家庭の方針でしていない」は〔未就学児〕の【ひとり親（2世代）】が6.6%、【ふたり親（2世代）】が6.4%と他の区分に比べ、高くなっている。

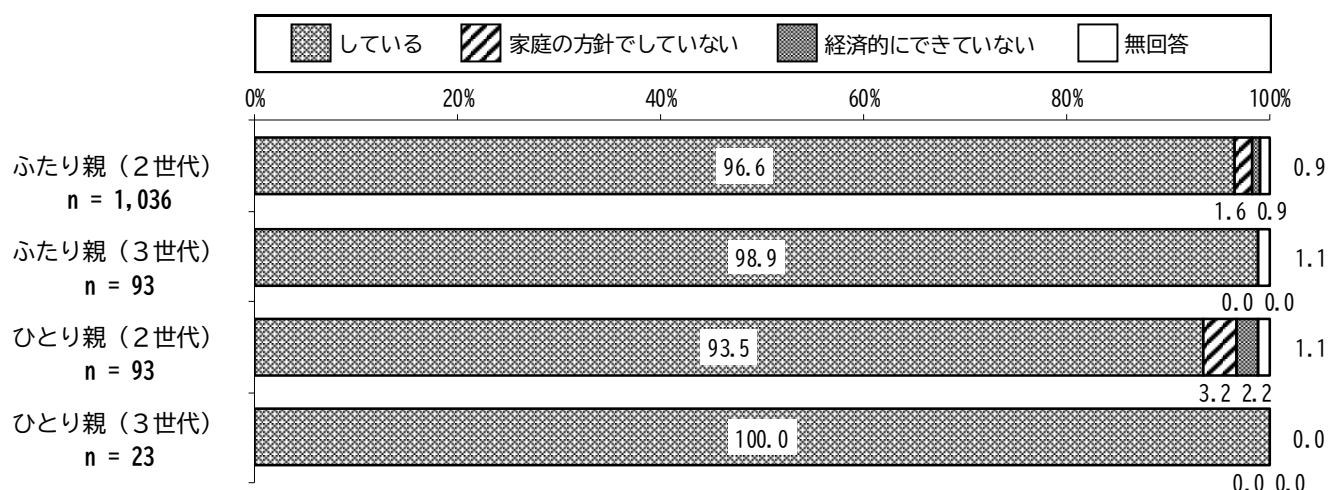
<保護者>子どもへの支出〔G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕【世帯タイプ別】
未就学児（*）



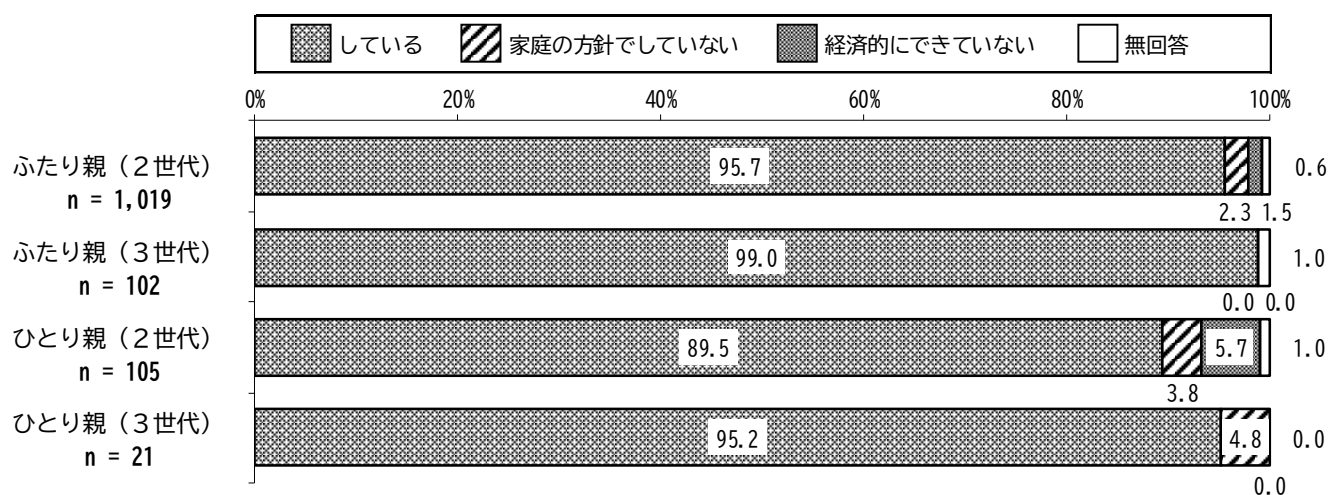
<保護者>子どもへの支出〔G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕【世帯タイプ別】
小学生①（***）



<保護者>子どもへの支出【G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる】【世帯タイプ別】
小学生②（×）

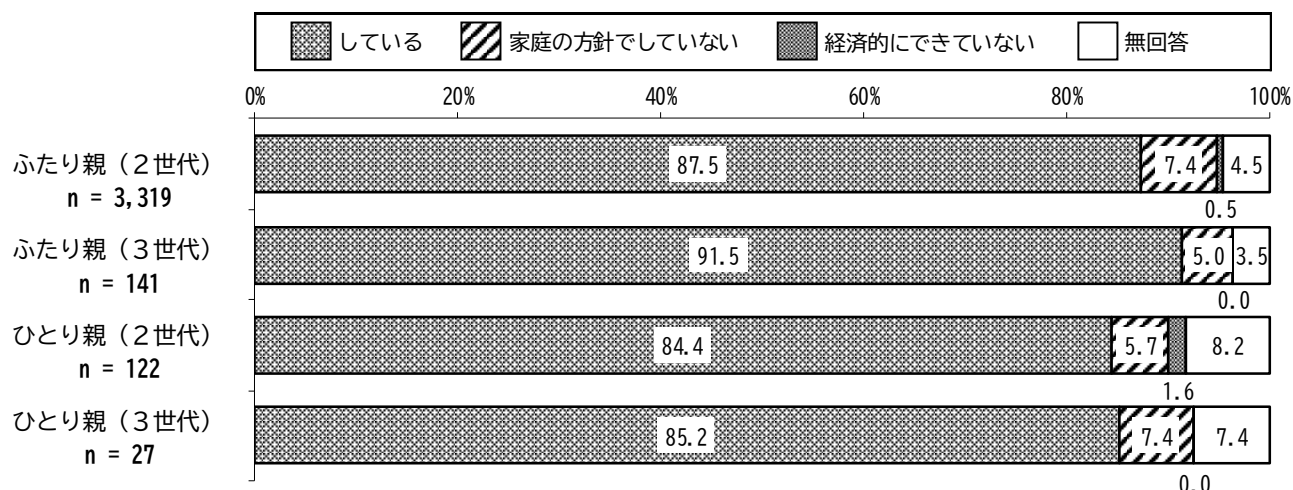


<保護者>子どもへの支出【G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる】【世帯タイプ別】
中学生（***）

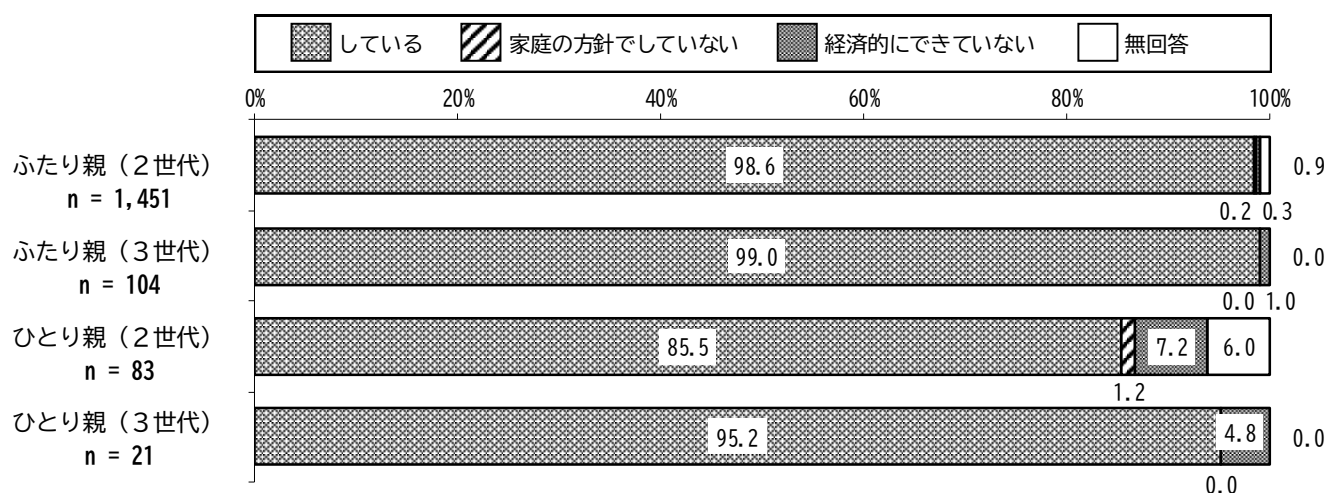


〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「経済的にできていない」は〔小学生①〕の【ひとり親（2世代）】が7.2%と他の区分に比べ、高くなっている。

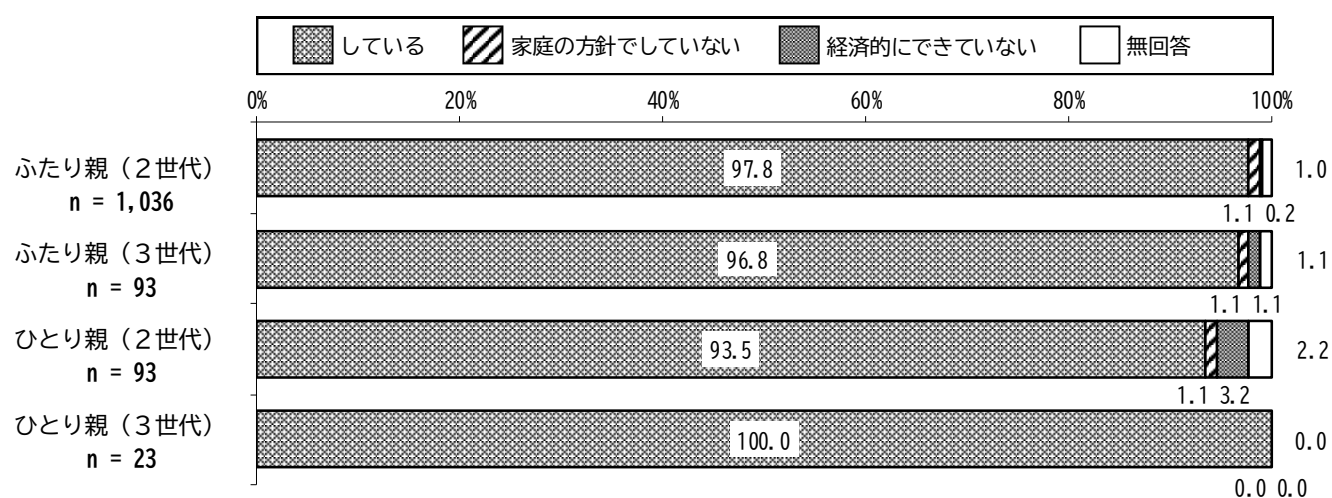
＜保護者＞子どもへの支出〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕【世帯タイプ別】
未就学児（×）



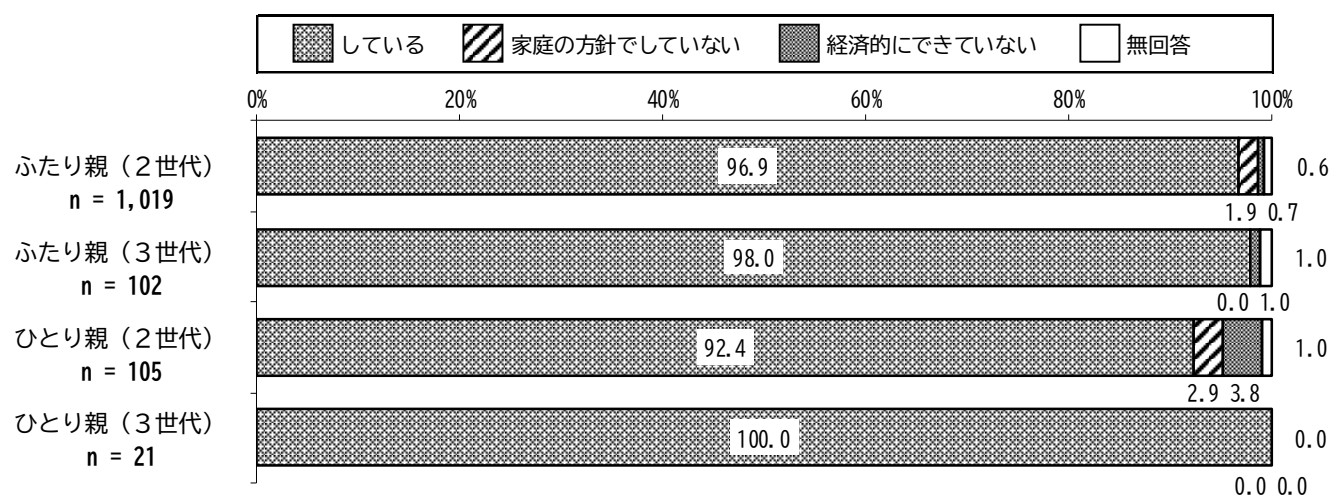
＜保護者＞子どもへの支出〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕【世帯タイプ別】
小学生①（***）



<保護者>子どもへの支出〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕【世帯タイプ別】
小学生② (***)

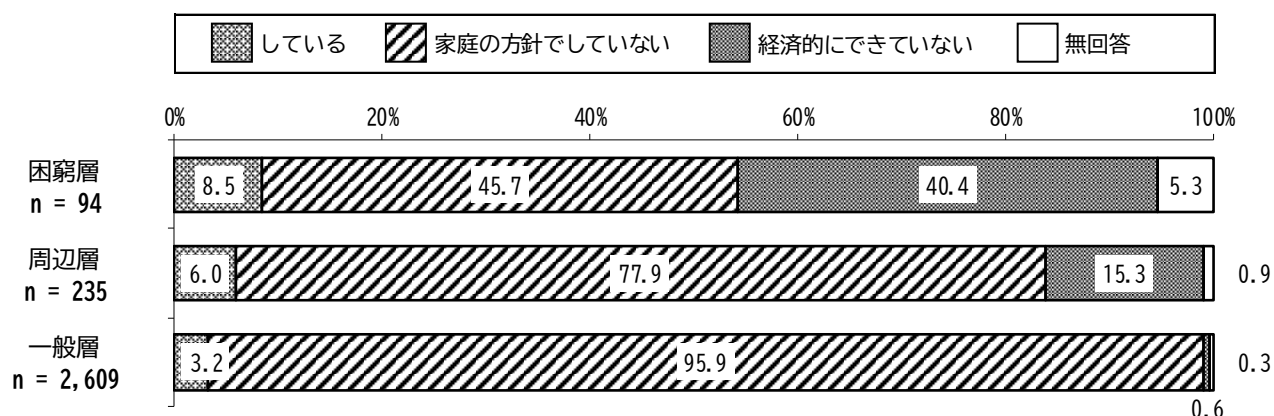


<保護者>子どもへの支出〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕【世帯タイプ別】
中学生 (**)

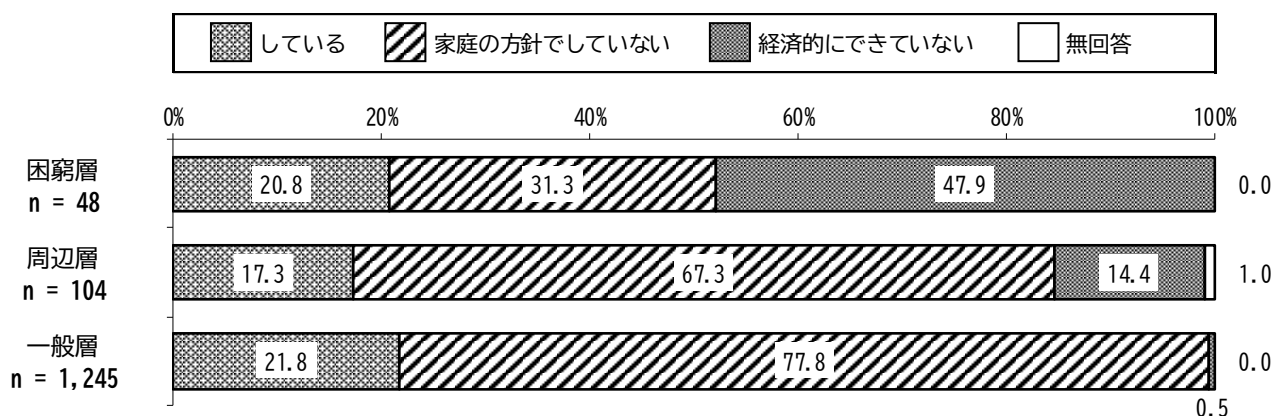


〔A 毎月お小遣いを渡す〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「経済的にできていない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生②〕の【困窮層】が52.0%と、【周辺層】（8.9%）よりも43.1ポイント高くなっている。

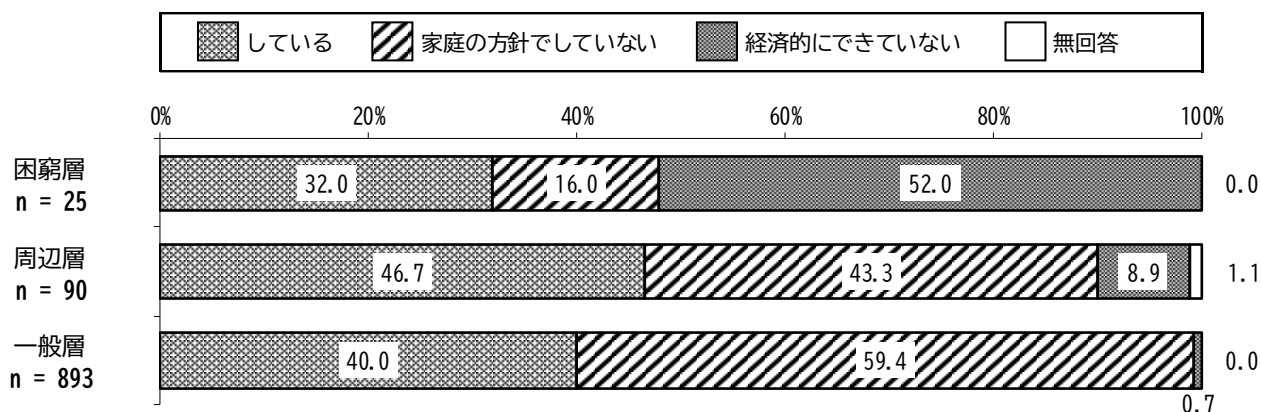
＜保護者＞子どもへの支出〔A 毎月お小遣いを渡す〕【生活困難度別】
未就学児（***）



＜保護者＞子どもへの支出〔A 毎月お小遣いを渡す〕【生活困難度別】
小学生①（***）

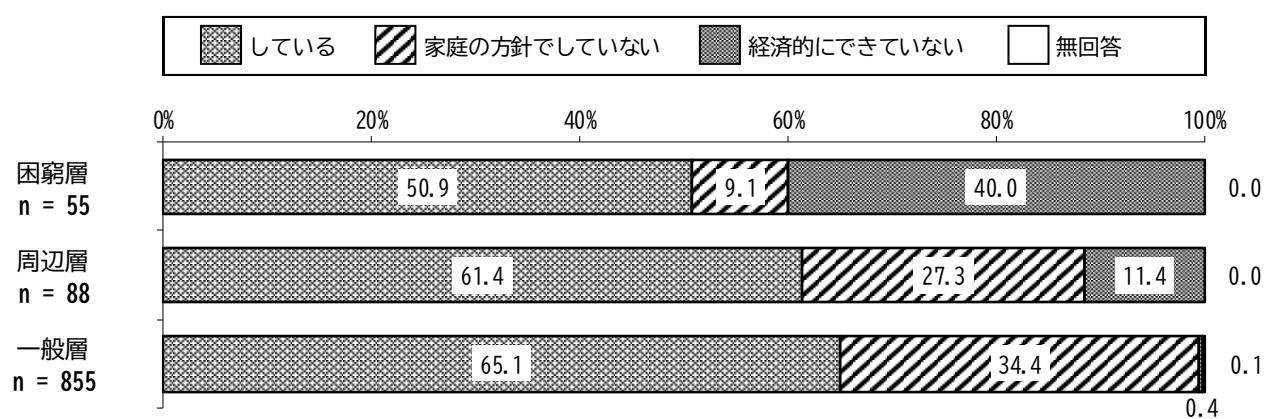


＜保護者＞子どもへの支出〔A 毎月お小遣いを渡す〕【生活困難度別】
小学生②（***）



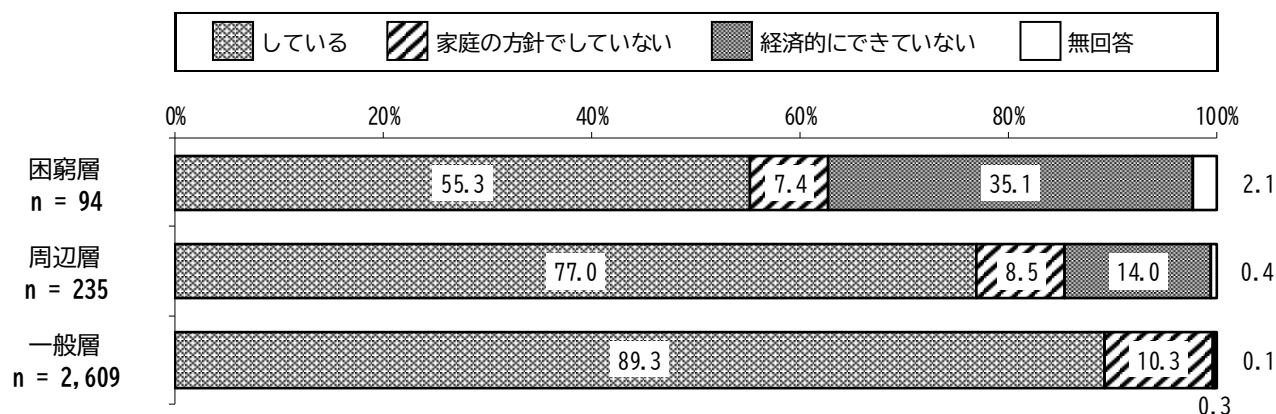
<保護者>子どもへの支出〔A 毎月お小遣いを渡す〕【生活困難度別】

中学生 (***)

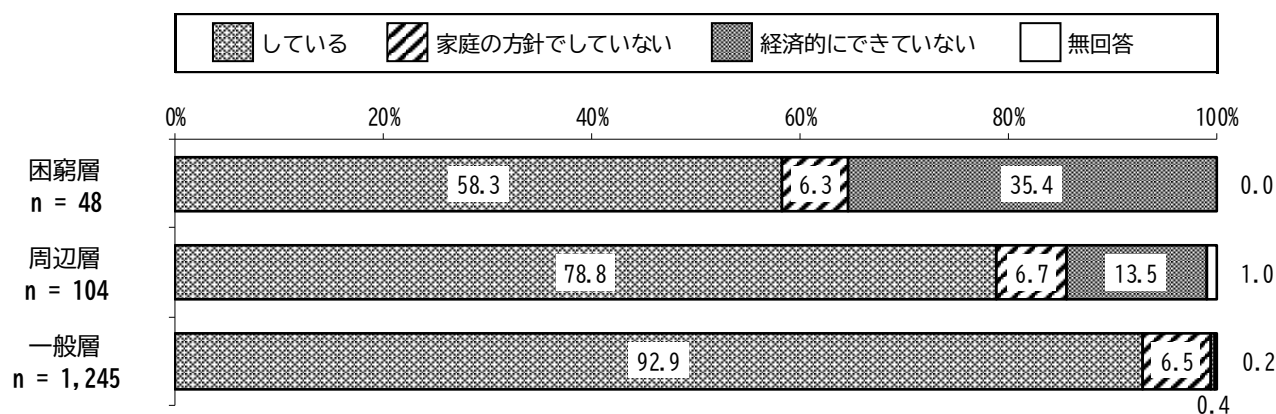


〔B 毎年新しい洋服・靴を買う〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「経済的にできていない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生②〕の【困窮層】が44.0%と、【周辺層】(5.6%)よりも38.4ポイント高くなっている。

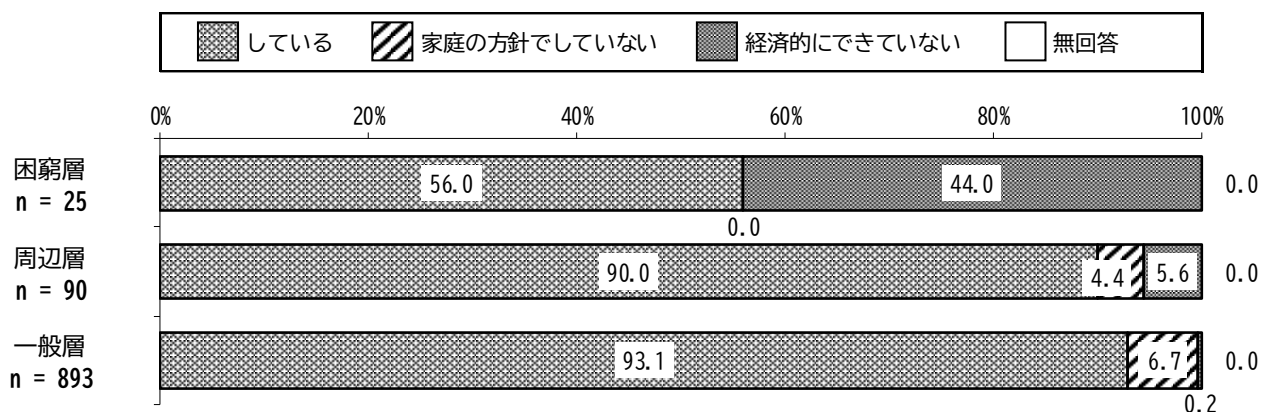
＜保護者＞子どもへの支出〔B 毎年新しい洋服・靴を買う〕【生活困難度別】
未就学児 (***)



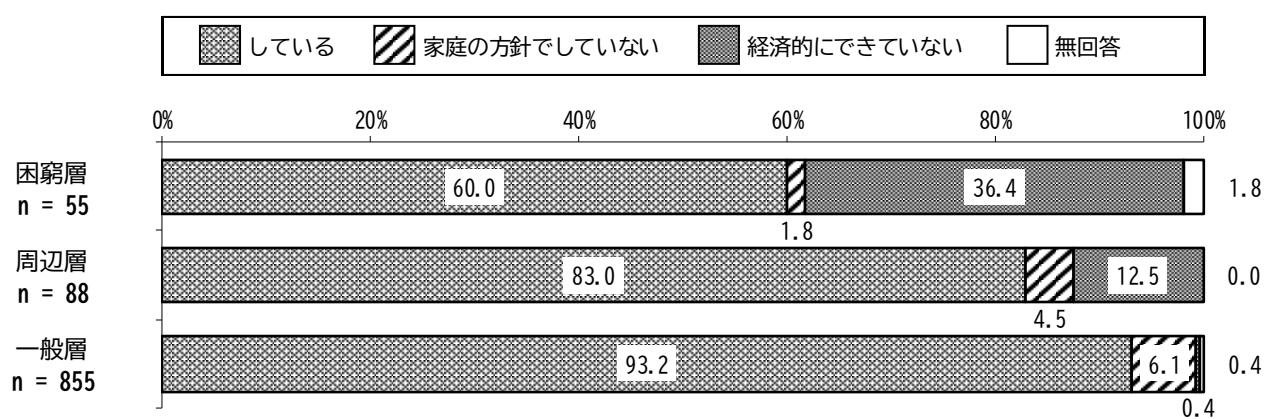
＜保護者＞子どもへの支出〔B 毎年新しい洋服・靴を買う〕【生活困難度別】
小学生① (***)



＜保護者＞子どもへの支出〔B 毎年新しい洋服・靴を買う〕【生活困難度別】
小学生② (***)

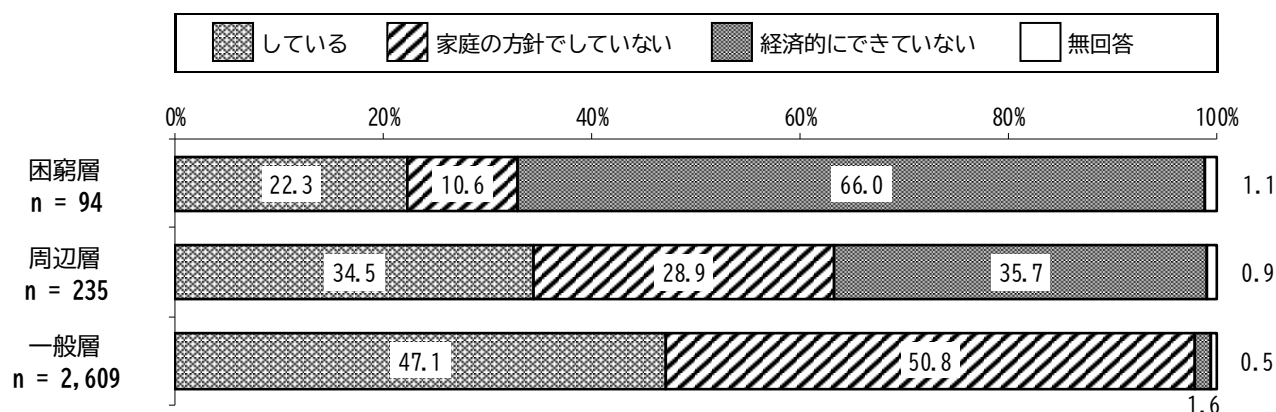


<保護者>子どもへの支出〔B 毎年新しい洋服・靴を買う〕【生活困難度別】
中学生 (***)

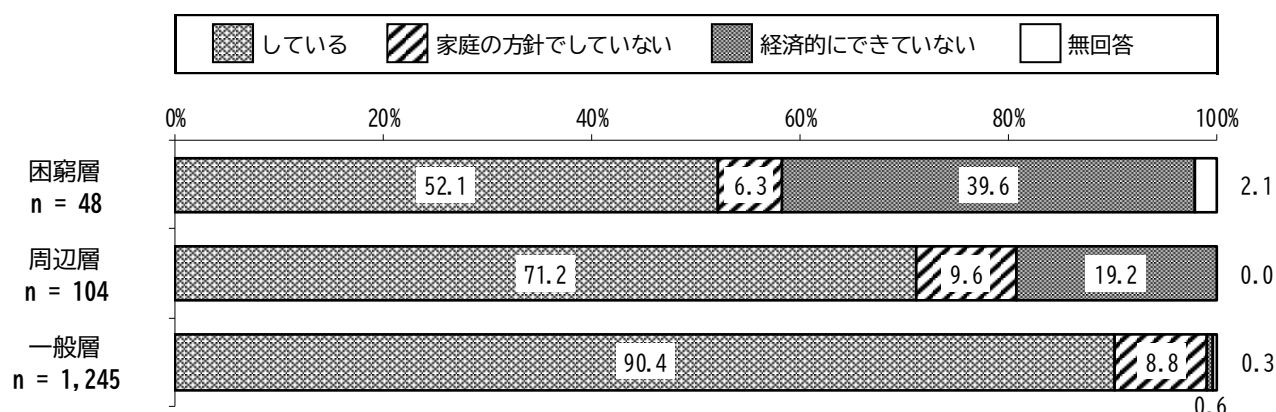


〔C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「経済的にできていない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔未就学児〕の【困窮層】が 66.0%と、【周辺層】（35.7%）よりも 30.3 ポイント高くなっている。

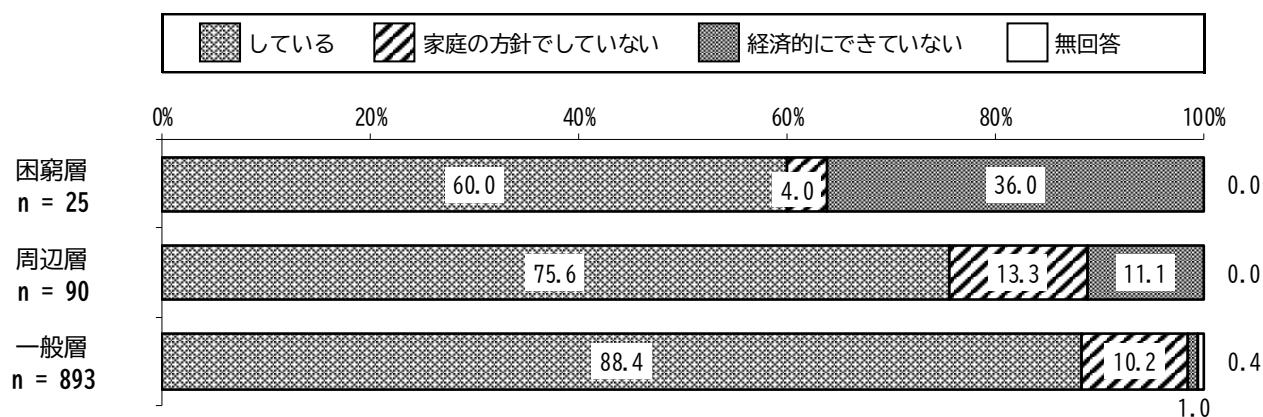
＜保護者＞子どもへの支出〔C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる〕【生活困難度別】
未就学児（***）



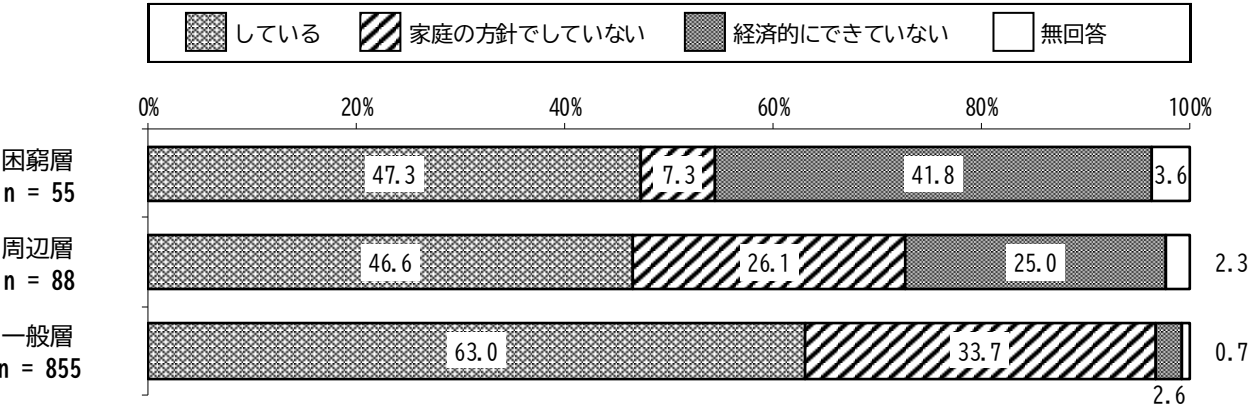
＜保護者＞子どもへの支出〔C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる〕【生活困難度別】
小学生①（***）



＜保護者＞子どもへの支出〔C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる〕【生活困難度別】
小学生②（***）

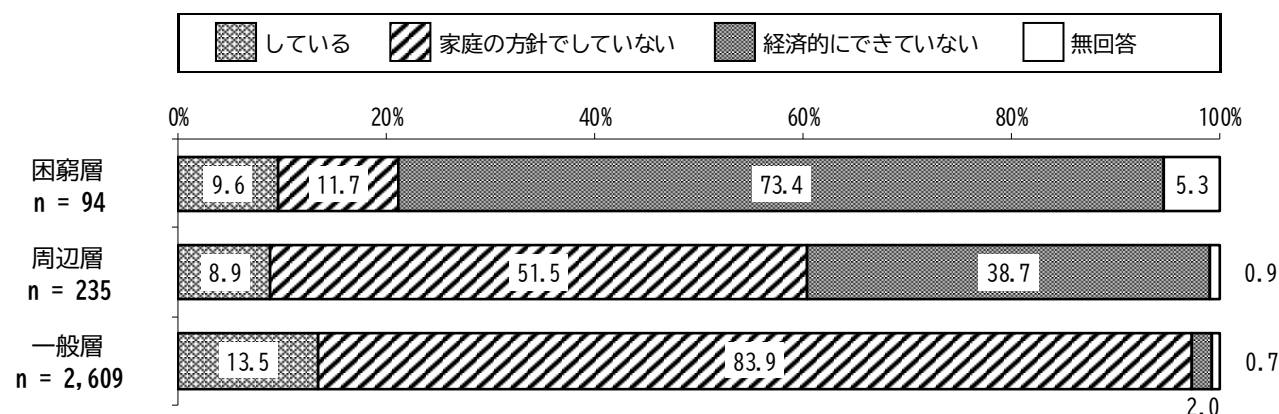


<保護者>子どもへの支出〔C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる〕【生活困難度別】
 中学生（***）

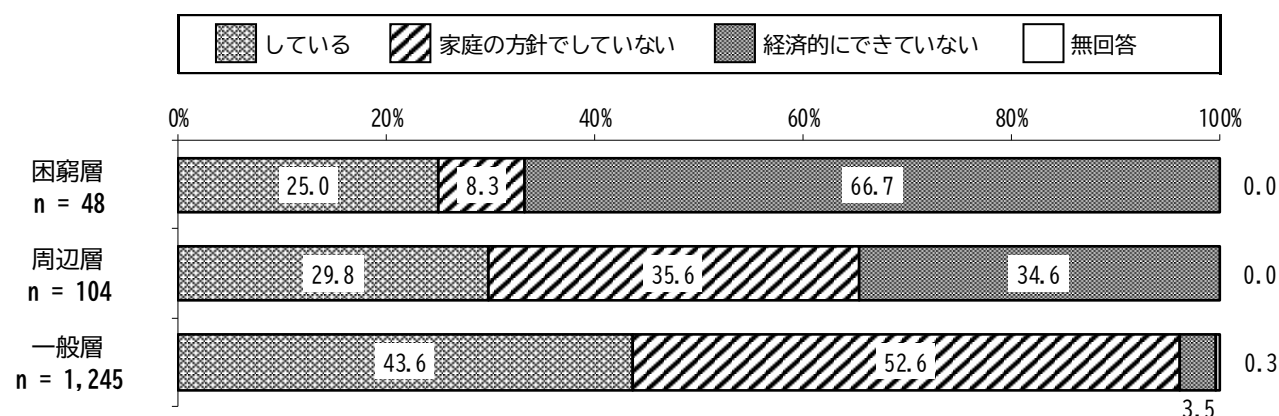


〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「経済的にできていない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生②〕の【困窮層】が72.0%と、【周辺層】（23.3%）よりも48.7ポイント高くなっている。

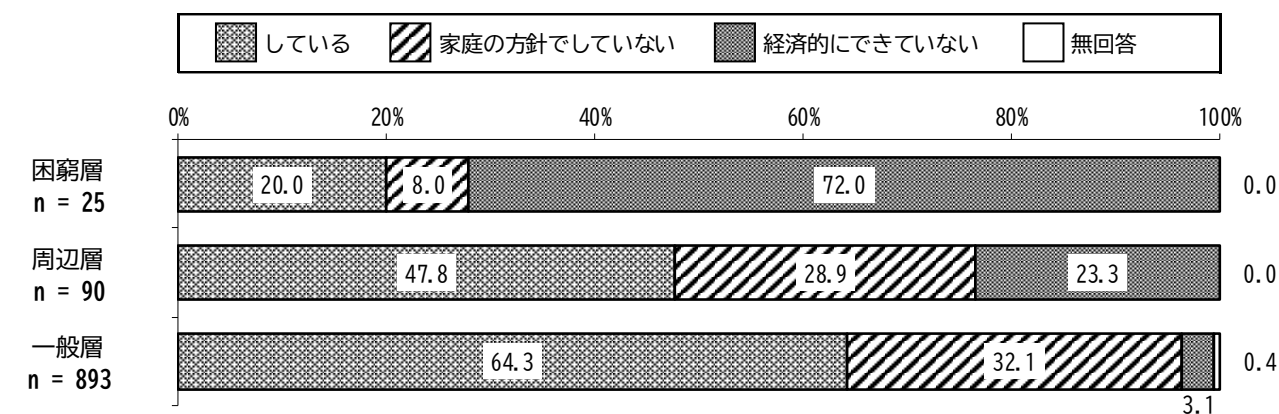
<保護者>子どもへの支出〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕【生活困難度別】
未就学児 (***)



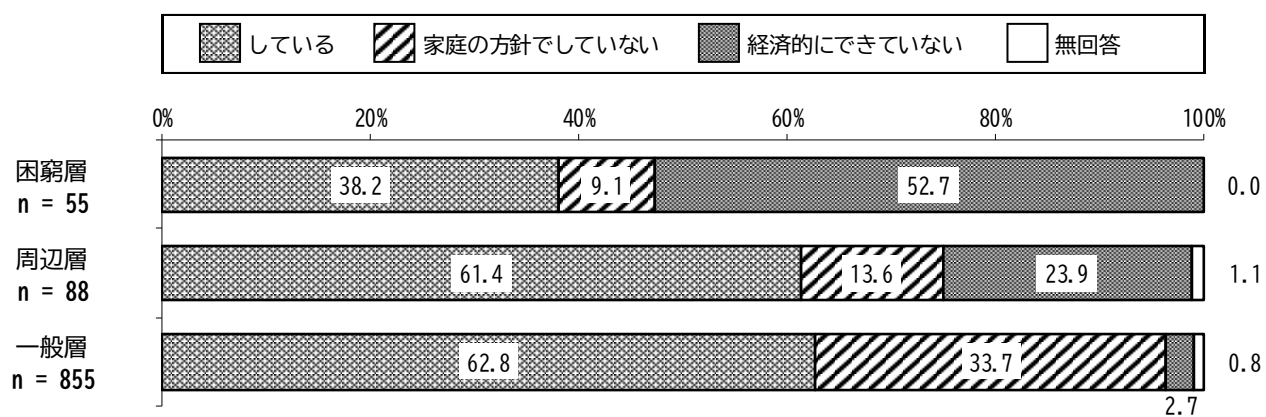
<保護者>子どもへの支出〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕【生活困難度別】
小学生① (***)



<保護者>子どもへの支出〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕【生活困難度別】
小学生② (***)



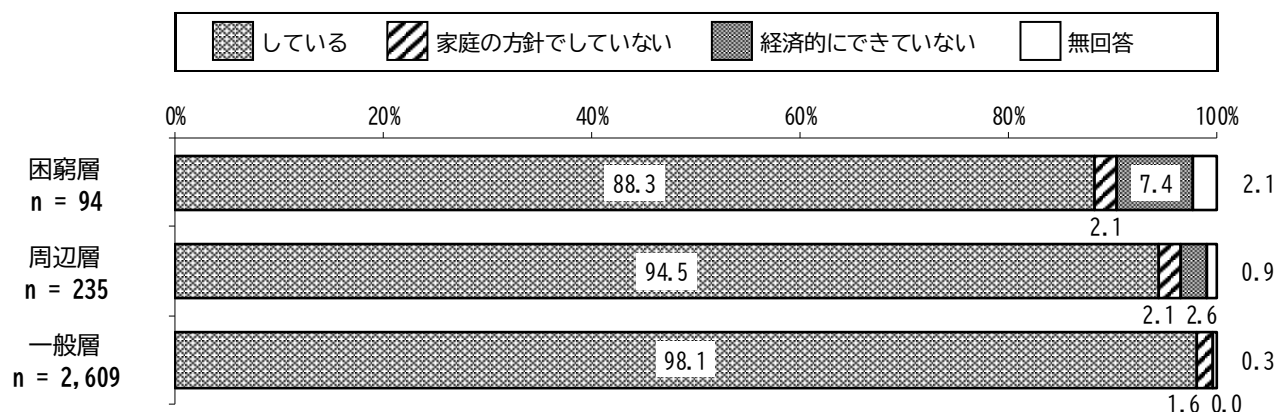
<保護者>子どもへの支出〔D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）〕【生活困難度別】
中学生（***）



〔E お誕生日のお祝いをする〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「経済的にできていない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生②〕の【困窮層】が20.0%と、【周辺層】(0.0%)よりも20.0ポイント高くなっている。

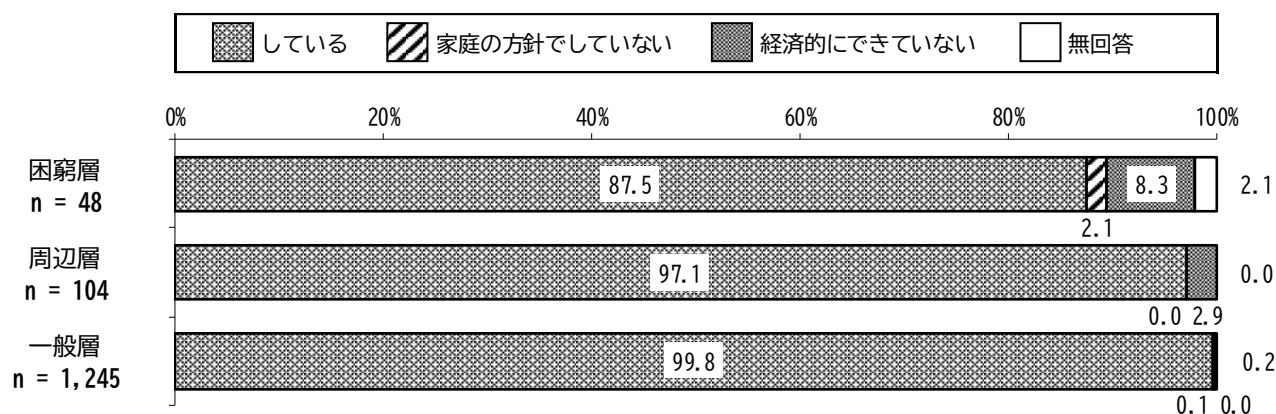
<保護者>子どもへの支出〔E お誕生日のお祝いをする〕【生活困難度別】

未就学児 (***)



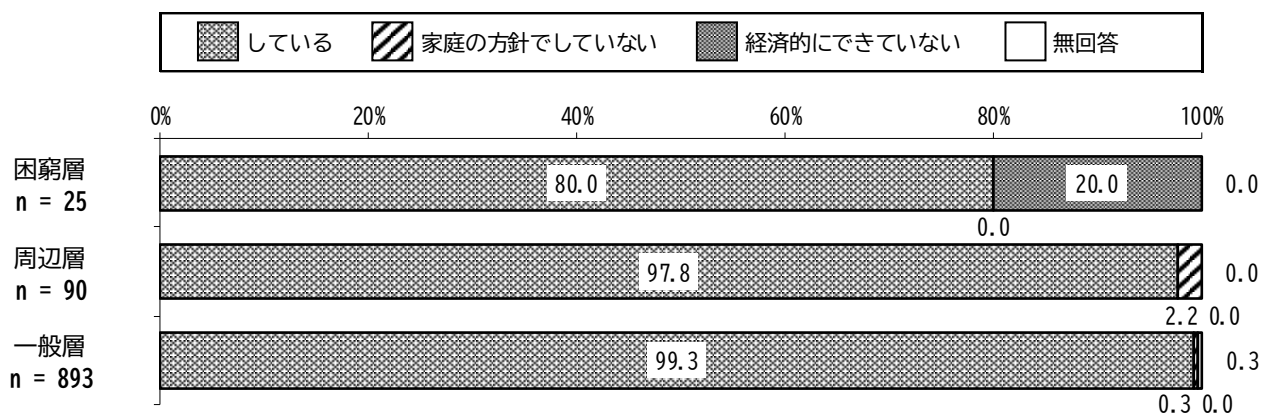
<保護者>子どもへの支出〔E お誕生日のお祝いをする〕【生活困難度別】

小学生① (***)



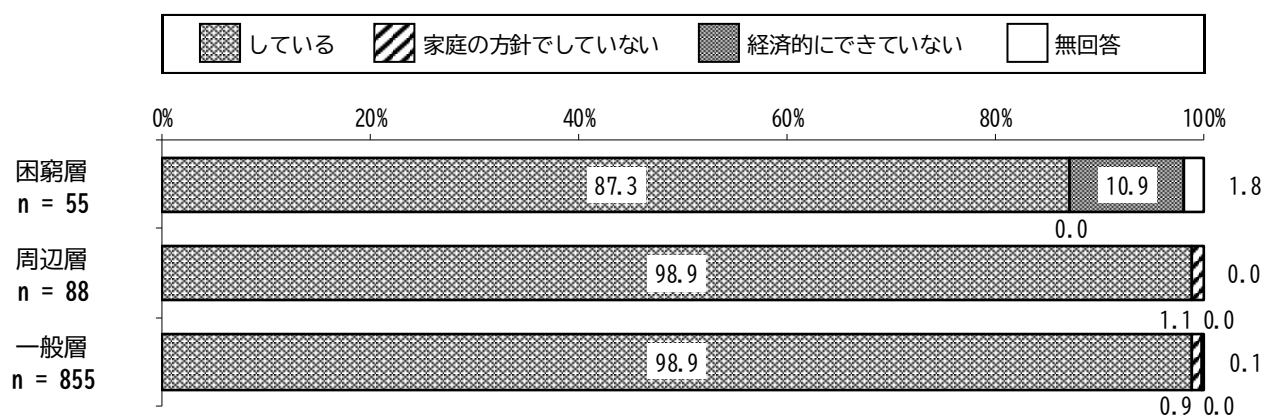
<保護者>子どもへの支出〔E お誕生日のお祝いをする〕【生活困難度別】

小学生② (***)



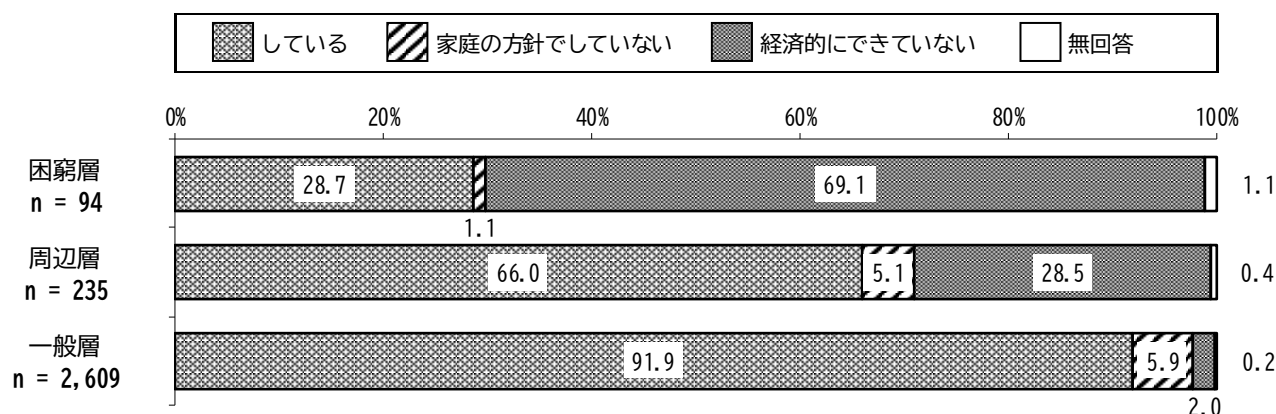
<保護者>子どもへの支出【E お誕生日のお祝いをする】【生活困難度別】

中学生 (***)

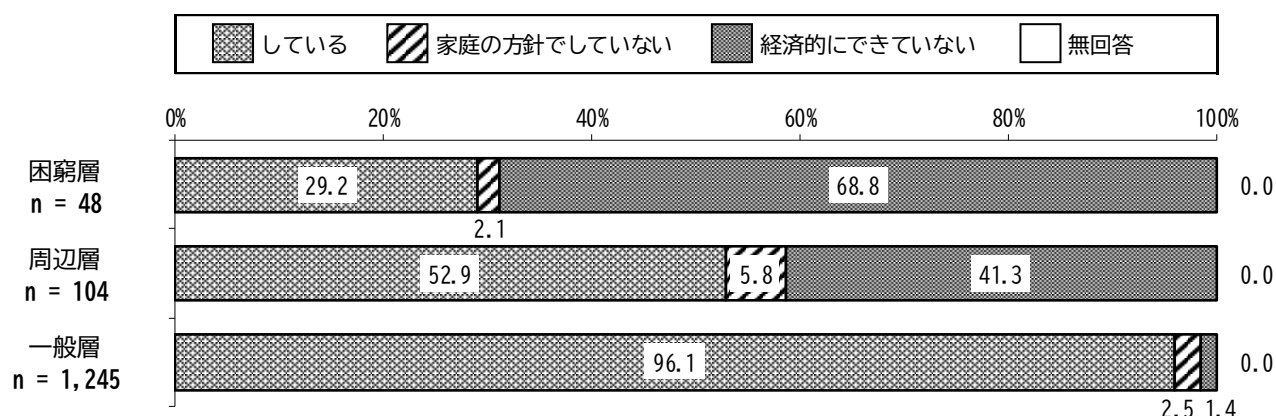


〔F 1年に1回くらい家族旅行に行く〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「経済的にできていない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔未就学児〕の【困窮層】が69.1%と、【周辺層】（28.5%）よりも40.6ポイント高くなっている。

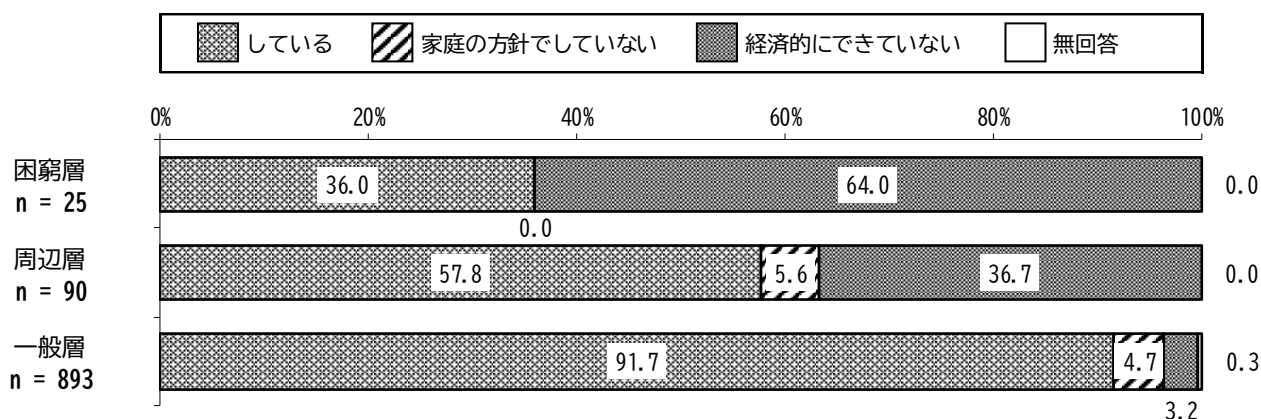
＜保護者＞子どもへの支出〔F 1年に1回くらい家族旅行に行く〕【生活困難度別】
未就学児 (***)



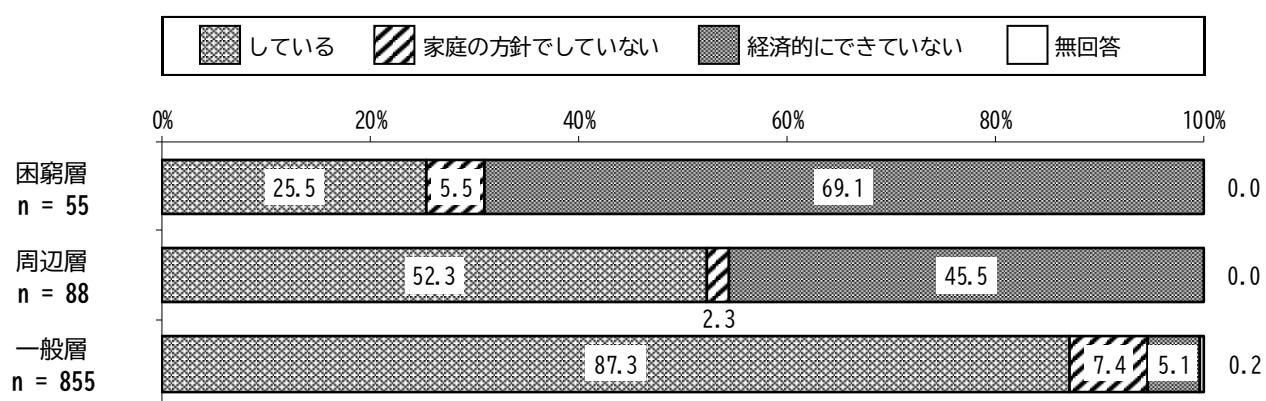
＜保護者＞子どもへの支出〔F 1年に1回くらい家族旅行に行く〕【生活困難度別】
小学生① (***)



＜保護者＞子どもへの支出〔F 1年に1回くらい家族旅行に行く〕【生活困難度別】
小学生② (***)

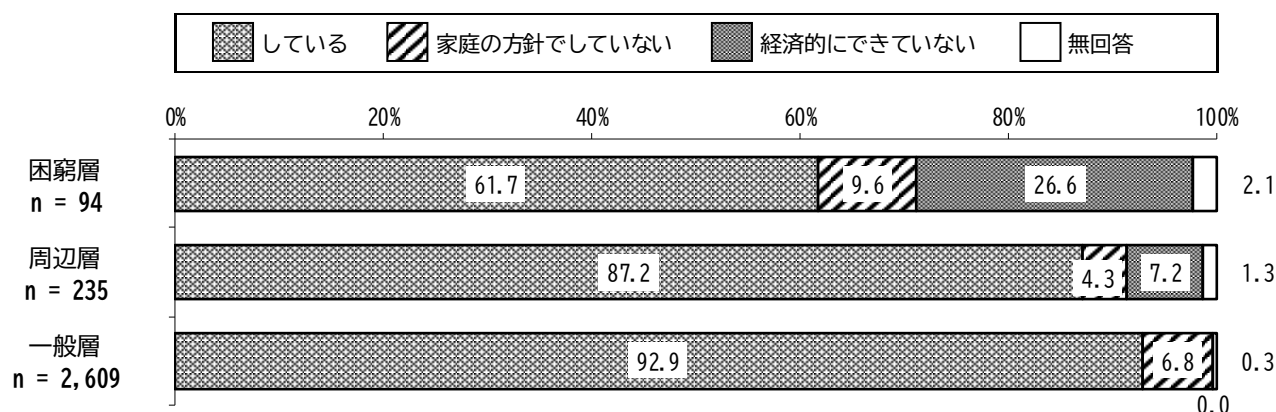


<保護者>子どもへの支出〔F 1年に1回くらい家族旅行に行く〕【生活困難度別】
中学生 (***)

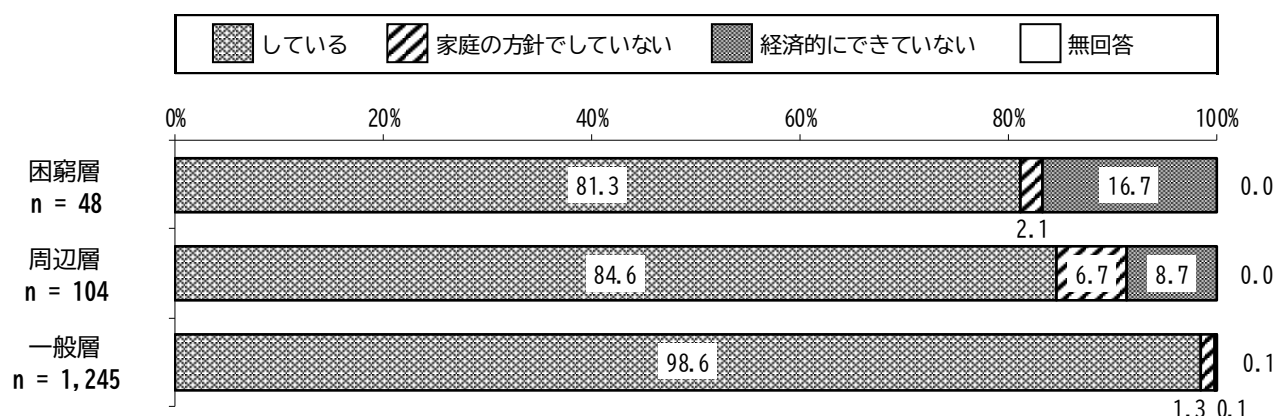


〔G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「経済的にできていない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔中学生〕の【困窮層】が27.3%と、【周辺層】（4.5%）よりも22.8ポイント高くなっている。

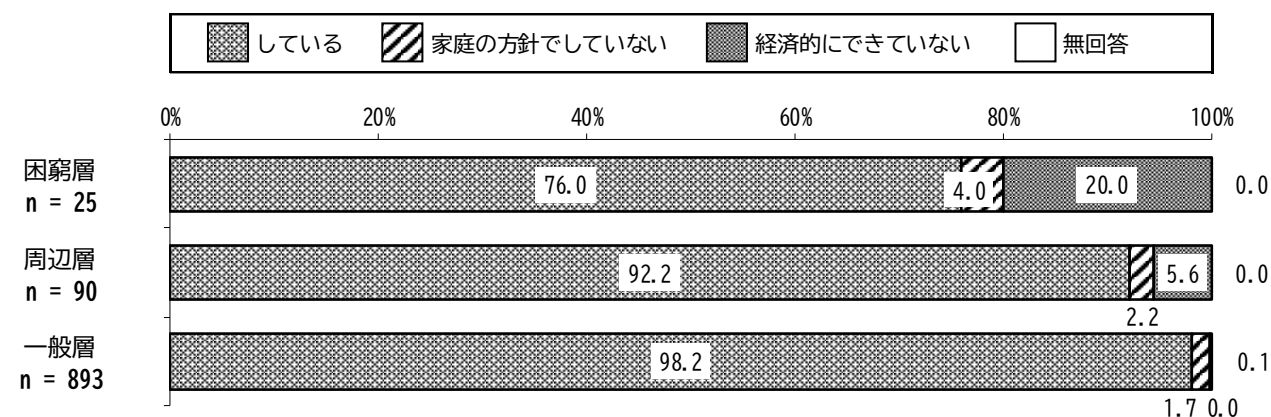
<保護者>子どもへの支出〔G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕【生活困難度別】
未就学児 (***)



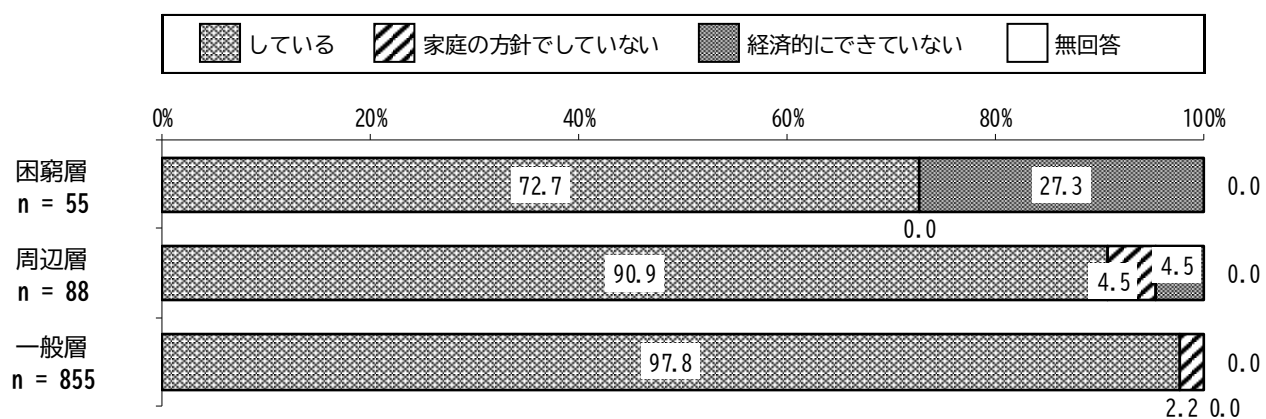
<保護者>子どもへの支出〔G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕【生活困難度別】
小学生① (***)



<保護者>子どもへの支出〔G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕【生活困難度別】
小学生② (***)

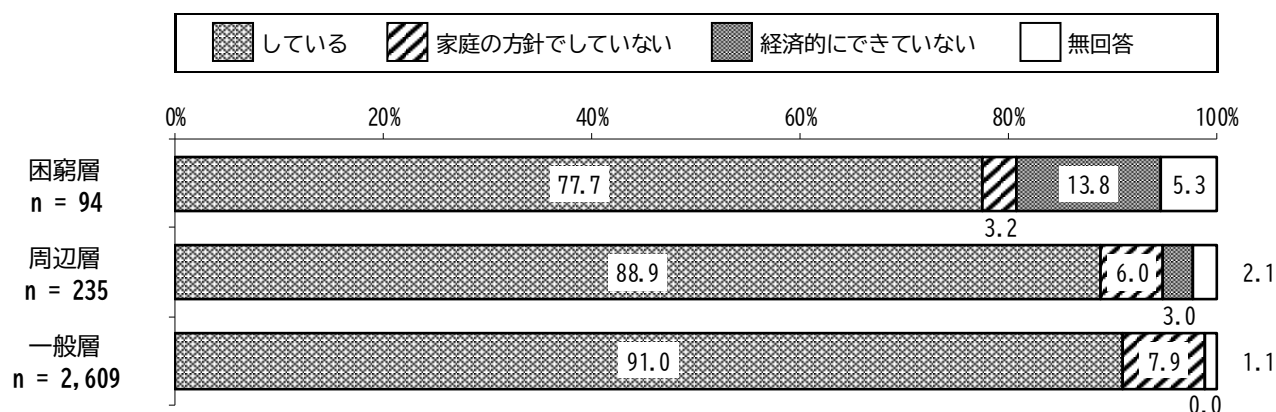


<保護者>子どもへの支出〔G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕【生活困難度別】
中学生 (***)

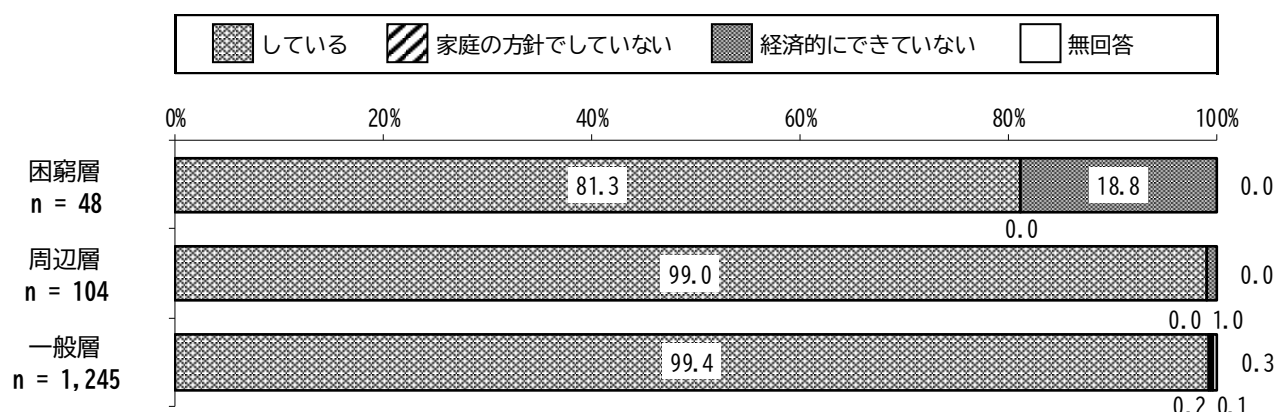


〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕について、〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「経済的にできていない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生①〕の【困窮層】が18.8%と、【周辺層】(1.0%)よりも17.8ポイント、〔中学生〕の【困窮層】が18.2%と、【周辺層】(1.1%)よりも17.1ポイント高くなっている。

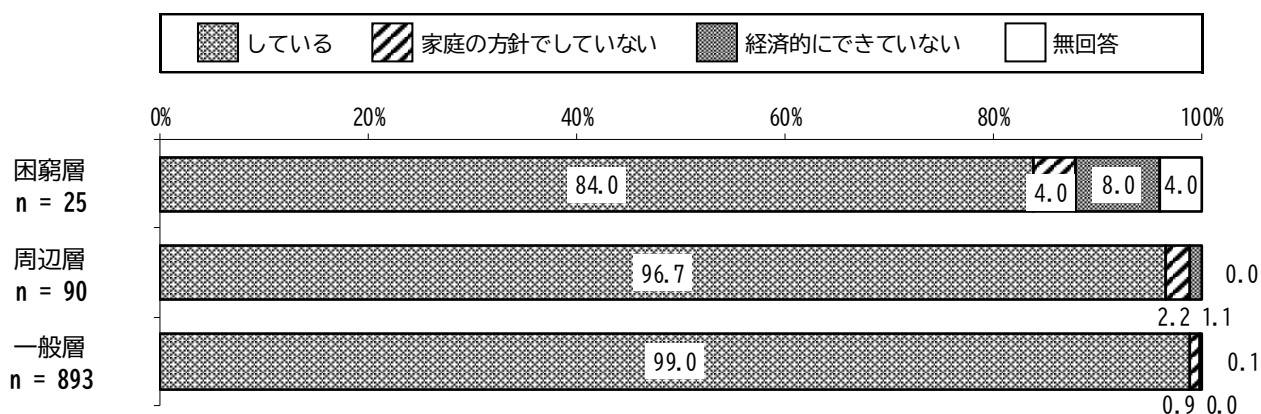
＜保護者＞子どもへの支出〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕【生活困難度別】
未就学児 (***)



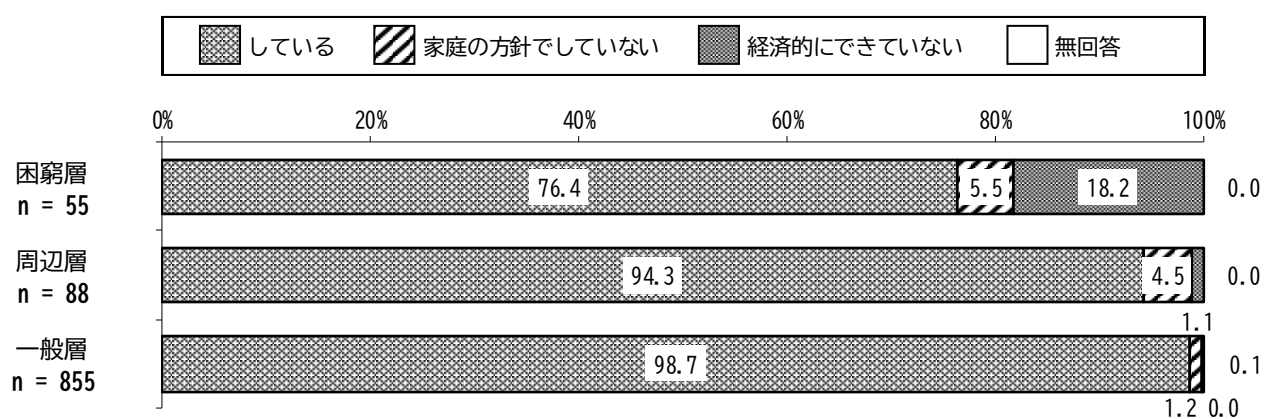
＜保護者＞子どもへの支出〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕【生活困難度別】
小学生① (***)



＜保護者＞子どもへの支出〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕【生活困難度別】
小学生② (***)



<保護者>子どもへの支出〔H 子どもの学校行事などへ親が参加する〕【生活困難度別】
中学生 (***)



第3章 保護者の状況

第3章 保護者の状況

※「会社役員」と「民間企業の正社員」と「公務員などの正職員」と「団体職員」を合わせた値を『正規社員』、「契約社員・派遣社員・嘱託社員」と「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」を合わせた値を『非正規社員』、「自営業（家族従業者を含む）」と「自由業」と「その他の働き方をしている」と「個人業務請負」を合わせた値を『自営・自由業』、「専業主婦・主夫」と「学生」と「引退（退職）」と「その他の無職」を合わせた値を『無職』、「わからない」と無回答を合わせた値を『無回答』と表記する。

1 保護者の就労状況

（１）父母の就労状況

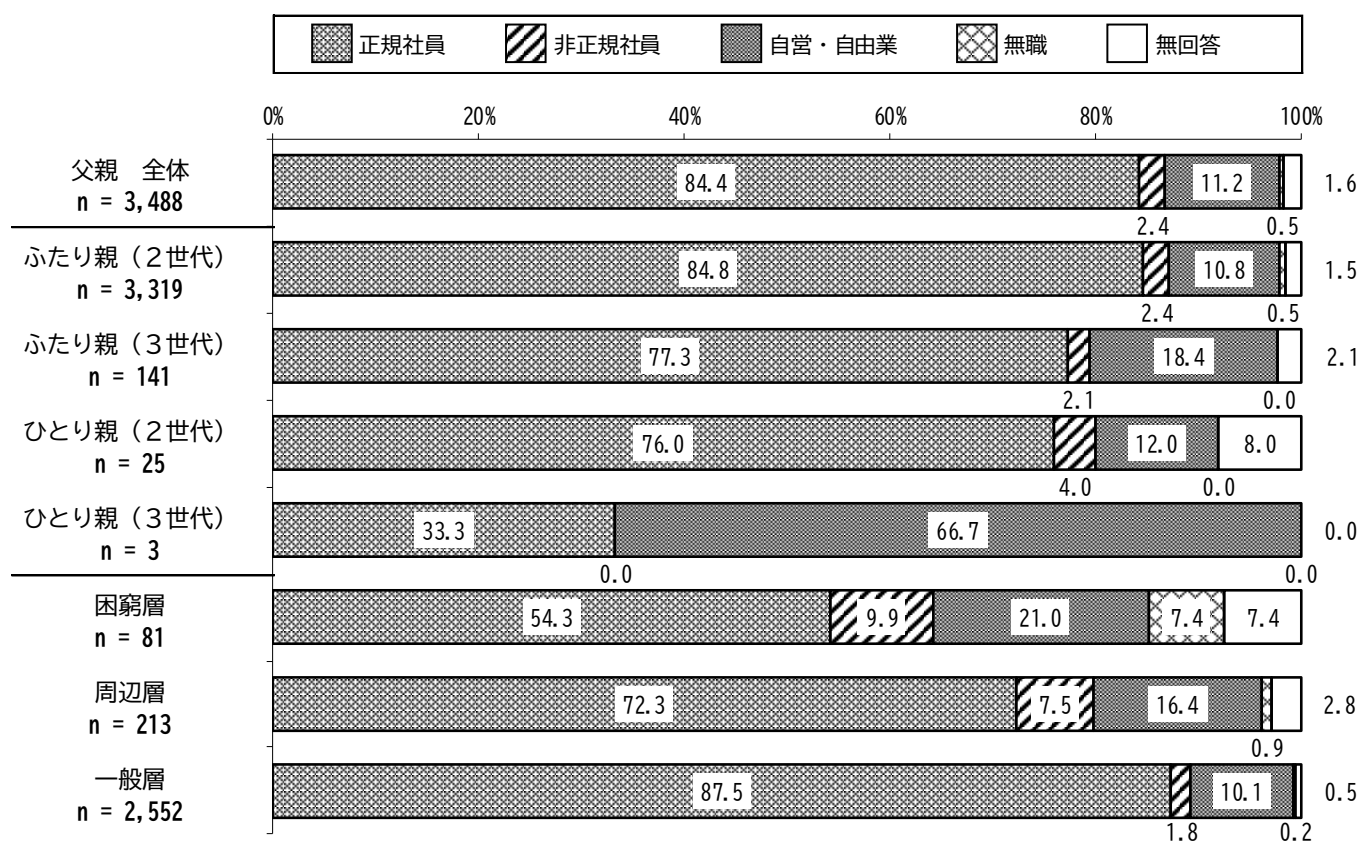
お子さんのお母さまとお父さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。（それぞれ、当てはまる番号1つを枠内に回答してください）お母さま、お父さまがいらっしゃらない場合、空欄にしてください。

父親の就労状況について、〔未就学児〕では『正規社員』が84.4%となっている。

世帯タイプ別でみると、『自営・自由業』は【ふたり親（3世代）】が18.4%と他の区分に比べ、高くなっている。

生活困難度別でみると、『正規社員』は【周辺層】が72.3%と、【困窮層】（54.3%）よりも18.0ポイント高くなっている。

<保護者> 父親の就労状況【世帯タイプ別、生活困難度別】未就学児

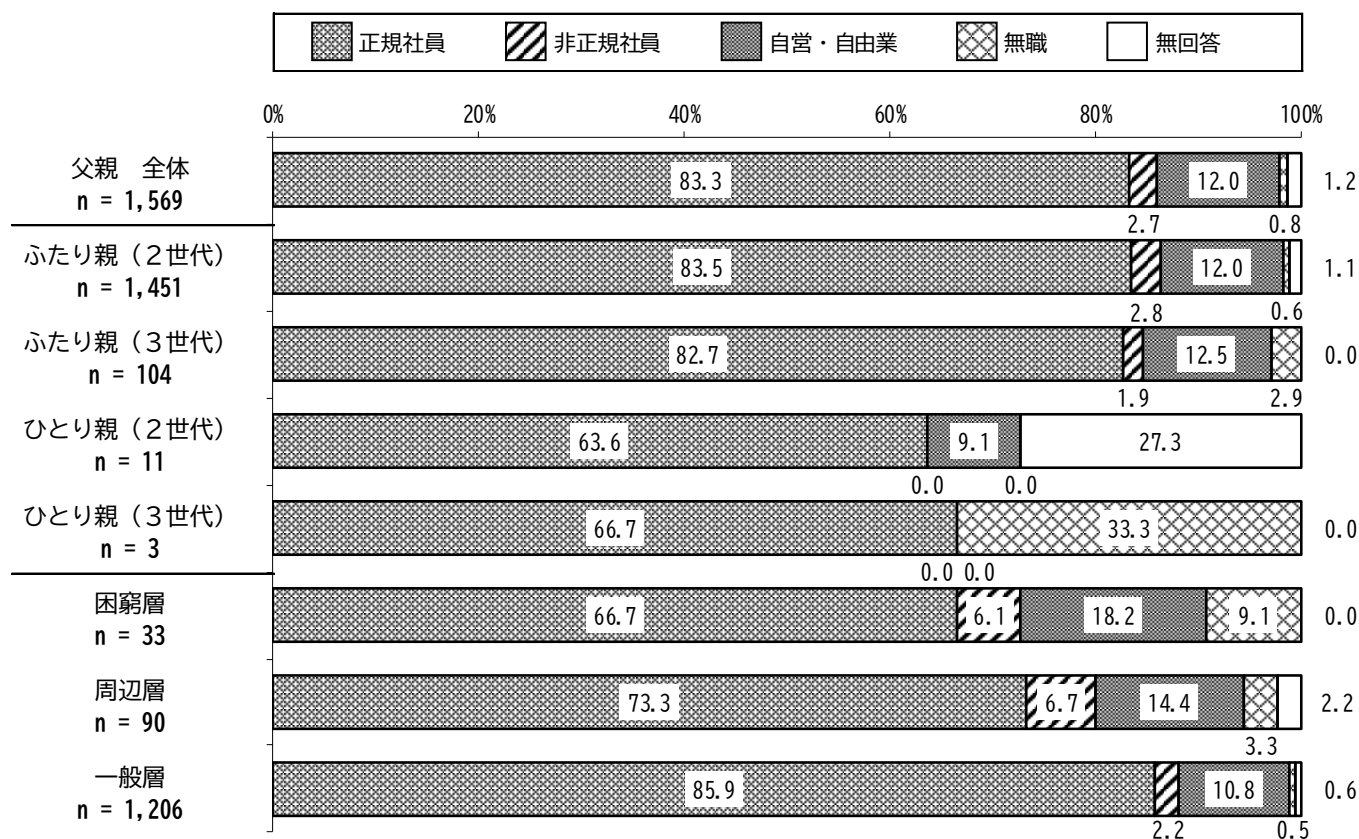


父親の就労状況について、〔小学生①〕では『正規社員』が83.3%となっている。

世帯タイプ別でみると、【2世代】と【3世代】による大きな差はみられない。

生活困難度別でみると、『正規社員』は【周辺層】が73.3%と、【困窮層】(66.7%)よりも6.6ポイント高くなっている。

<保護者>父親の就労状況【世帯タイプ別、生活困難度別】小学生①

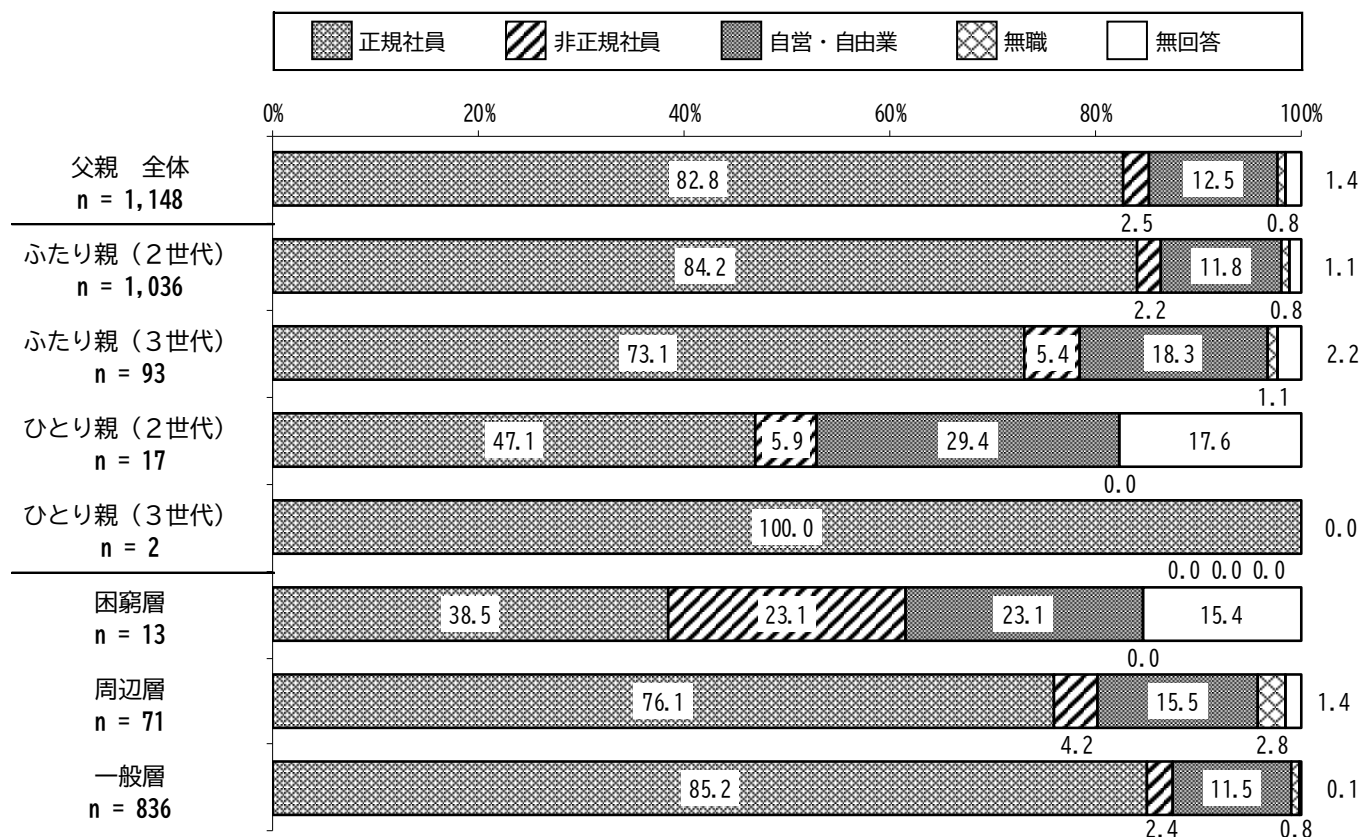


父親の就労状況について、〔小学生②〕では『正規社員』が82.8%となっている。

世帯タイプ別でみると、『正規社員』は【ふたり親（2世代）】が84.2%と、【ふたり親（3世代）】（73.1%）よりも11.1ポイント高くなっている。

生活困難度別でみると、『正規社員』は【周辺層】が76.1%と、【困窮層】（38.5%）よりも37.6ポイント高くなっている。

<保護者>父親の就労状況【世帯タイプ別、生活困難度別】小学生②

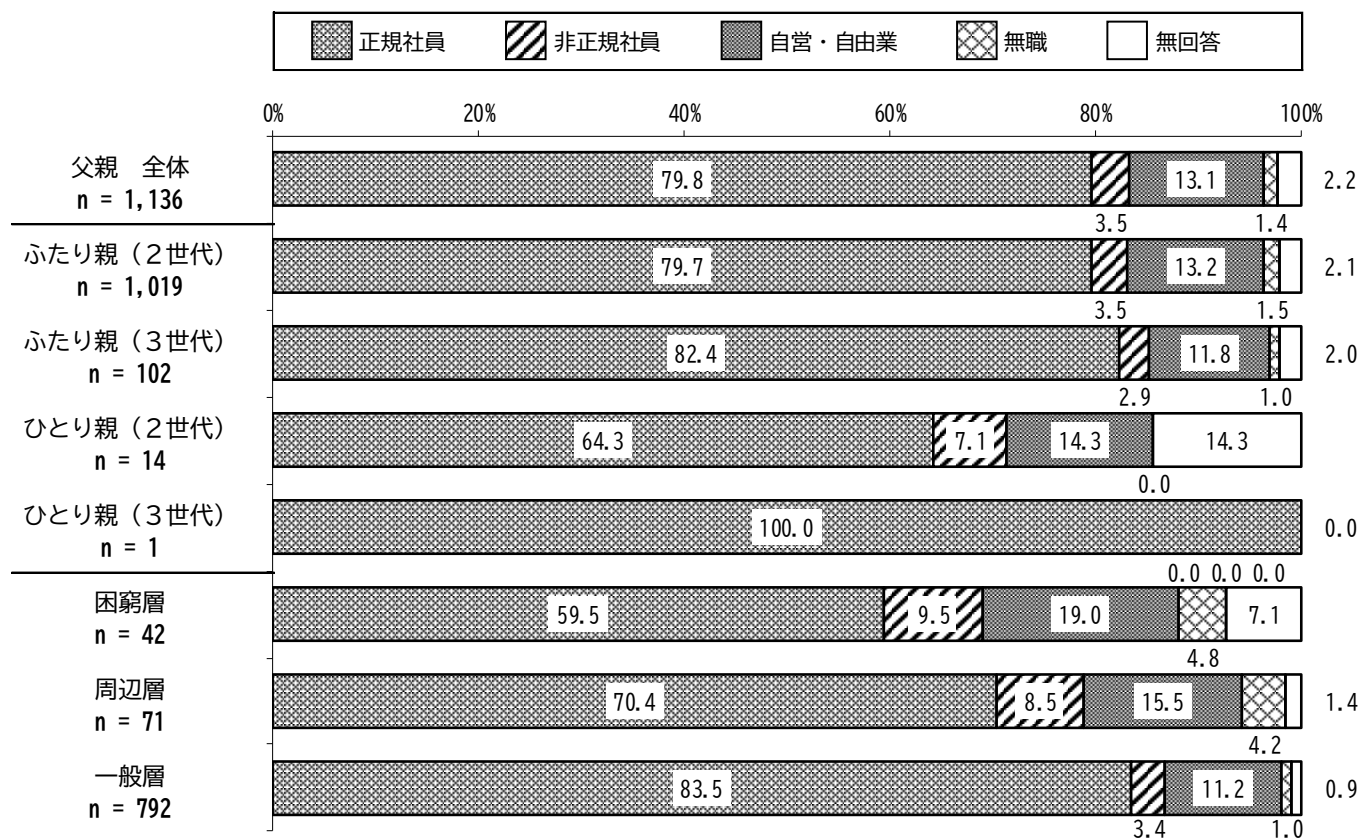


父親の就労状況について、〔中学生〕では『正規社員』が79.8%となっている。

世帯タイプ別でみると、『正規社員』は【ふたり親（3世代）】と【ふたり親（2世代）】に大きな差はみられない。

生活困難度別でみると、『正規社員』は【周辺層】が70.4%と、【困窮層】（59.5%）よりも10.9ポイント高くなっている。

<保護者> 父親の就労状況【世帯タイプ別、生活困難度別】中学生

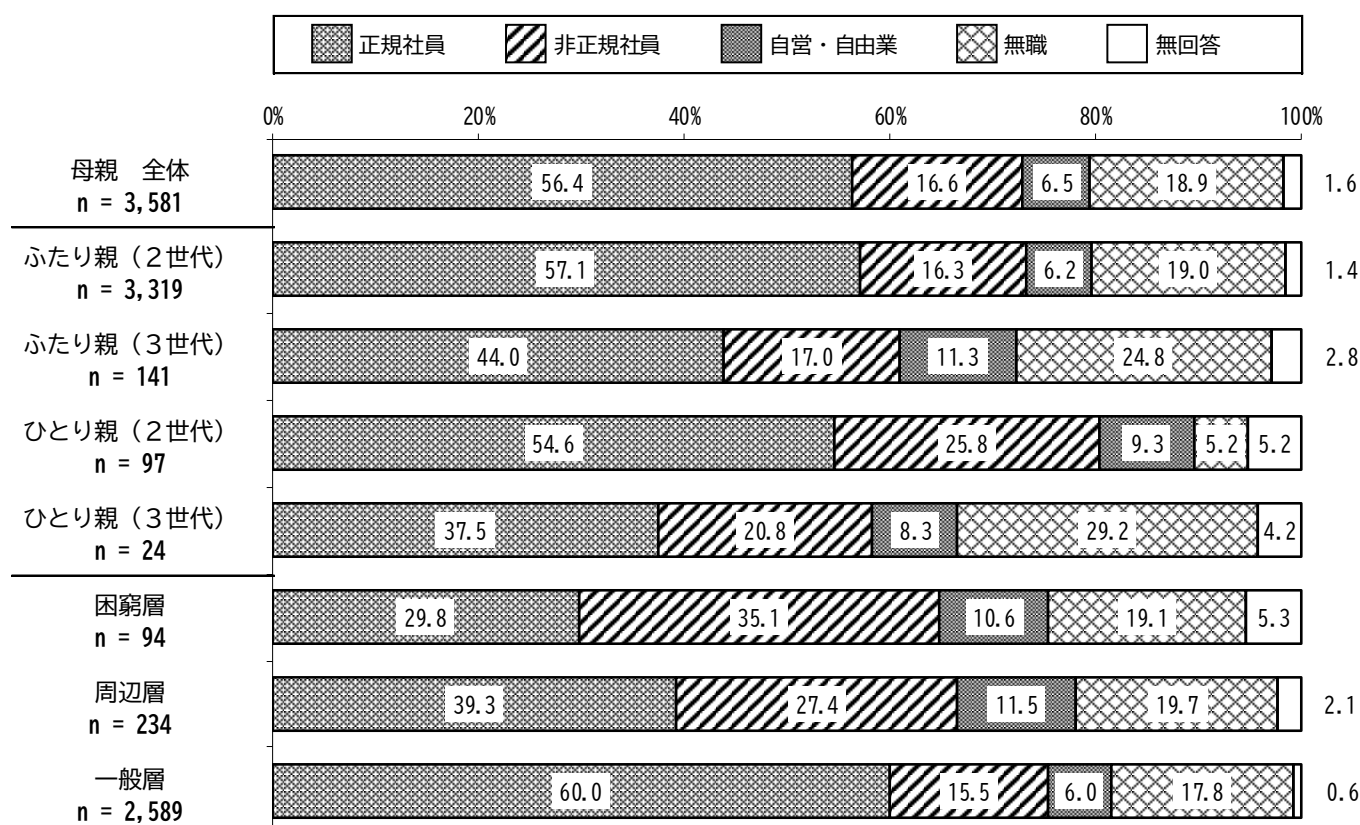


母親の就労状況について、〔未就学児〕では『正規社員』が56.4%で最も高く、次いで『無職』が18.9%、『非正規社員』が16.6%となっている。

世帯タイプ別でみると、『正規社員』は【ふたり親】が【ひとり親】に比べ、高くなっている。特に、【ふたり親（3世代）】が44.0%と、【ひとり親（3世代）】（37.5%）よりも6.5ポイント高くなっている。

生活困難度別でみると、『正規社員』は【周辺層】が39.3%と、【困窮層】（29.8%）よりも9.5ポイント高くなっている。

<保護者> 母親の就労状況【世帯タイプ別、生活困難度別】未就学児

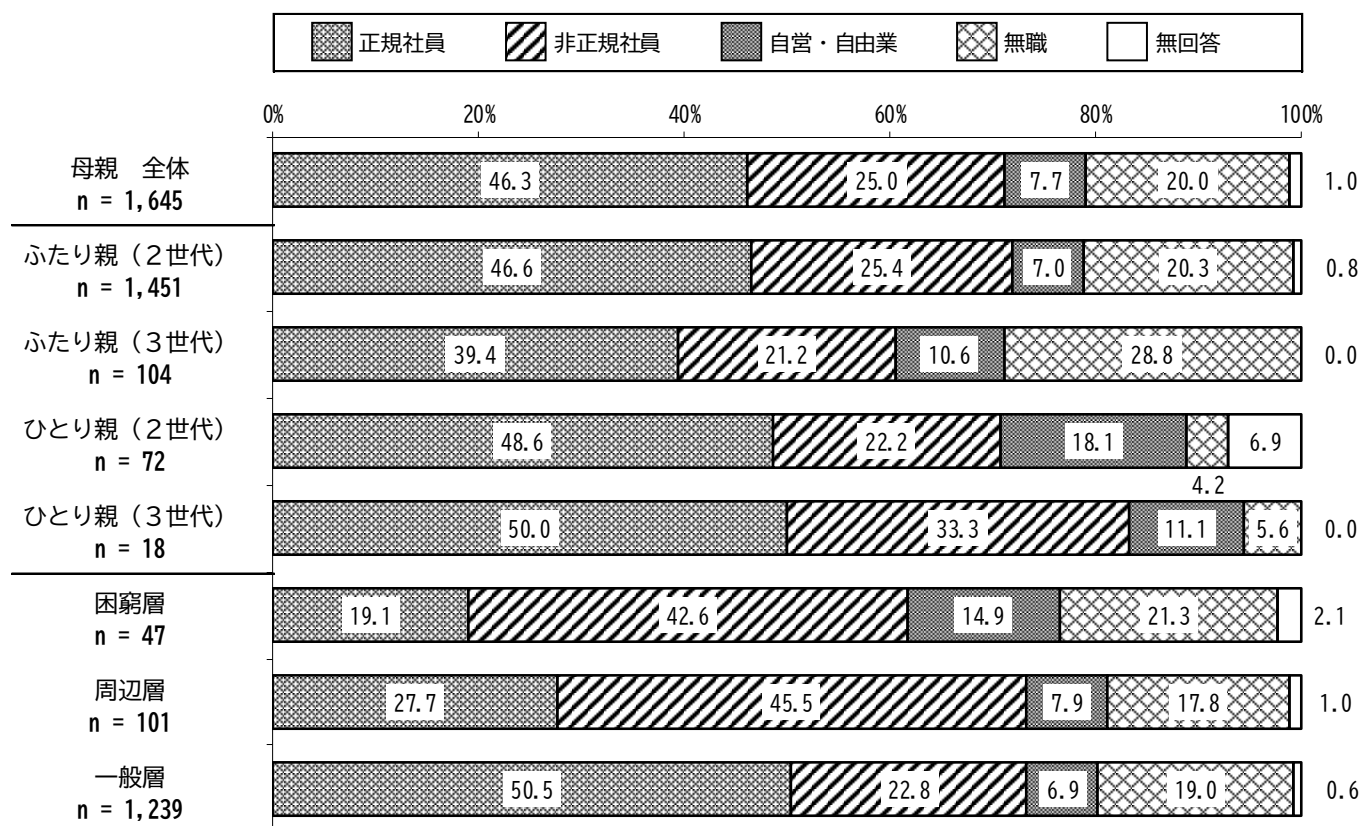


母親の就労状況について、〔小学生①〕では『正規社員』が 46.3%で最も高く、次いで『非正規社員』が 25.0%、『無職』が 20.0%となっている。

世帯タイプ別でみると、『正規社員』は【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、【ひとり親（3世代）】が 50.0%と、【ふたり親（3世代）】（39.4%）よりも 10.6 ポイント高くなっている。

生活困難度別でみると、『正規社員』は【周辺層】が 27.7%と、【困窮層】（19.1%）よりも 8.6 ポイント高くなっている。

<保護者> 母親の就労状況【世帯タイプ別、生活困難度別】小学生①

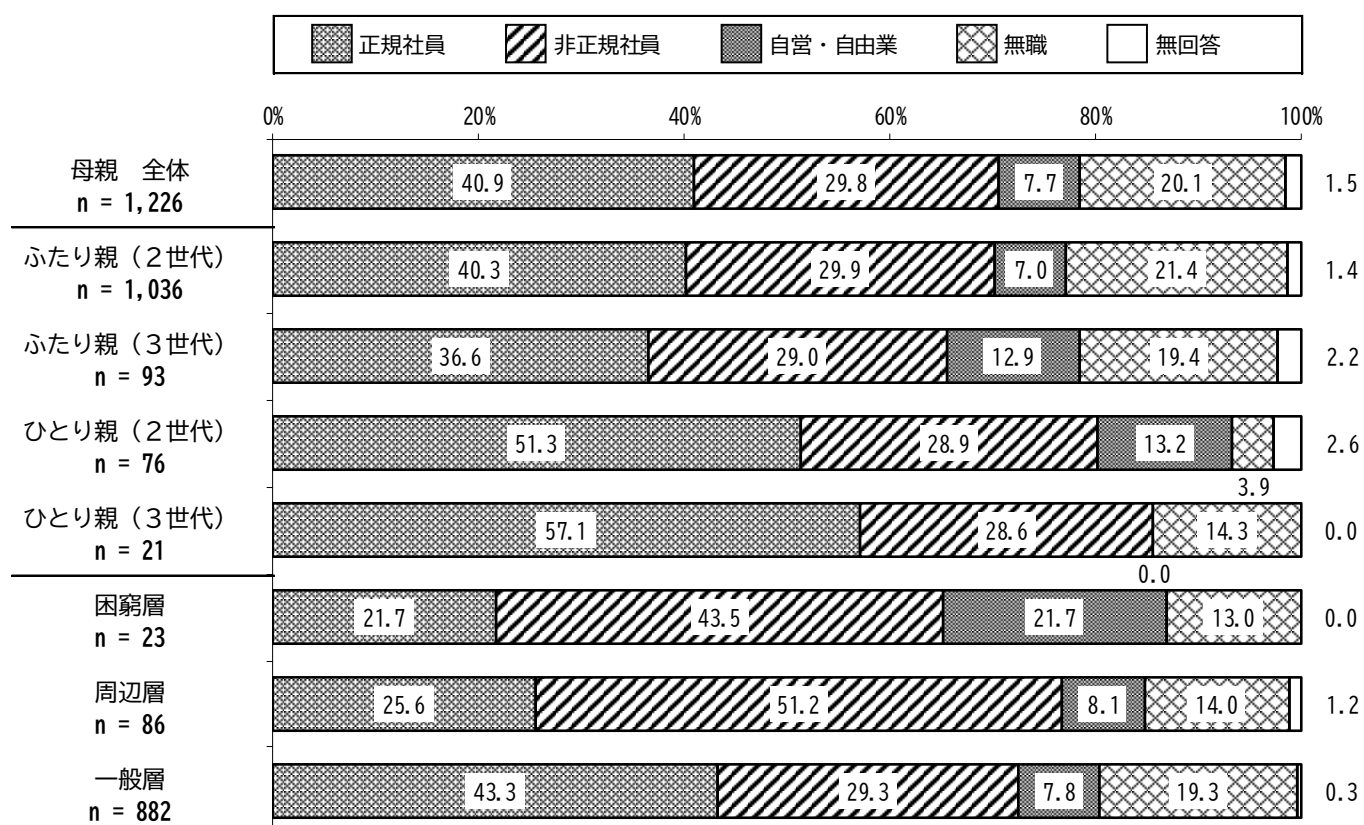


母親の就労状況について、〔小学生②〕では『正規社員』が40.9%で最も高く、次いで『非正規社員』が29.8%、『無職』が20.1%となっている。

世帯タイプ別でみると、『正規社員』は【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、【ひとり親（3世代）】が57.1%と、【ふたり親（3世代）】（36.6%）よりも20.5ポイント高くなっている。

生活困難度別でみると、『自営・自由業』は【困窮層】が21.7%と、【周辺層】（8.1%）よりも13.6ポイント高くなっている。

<保護者> 母親の就労状況【世帯タイプ別、生活困難度別】小学生②

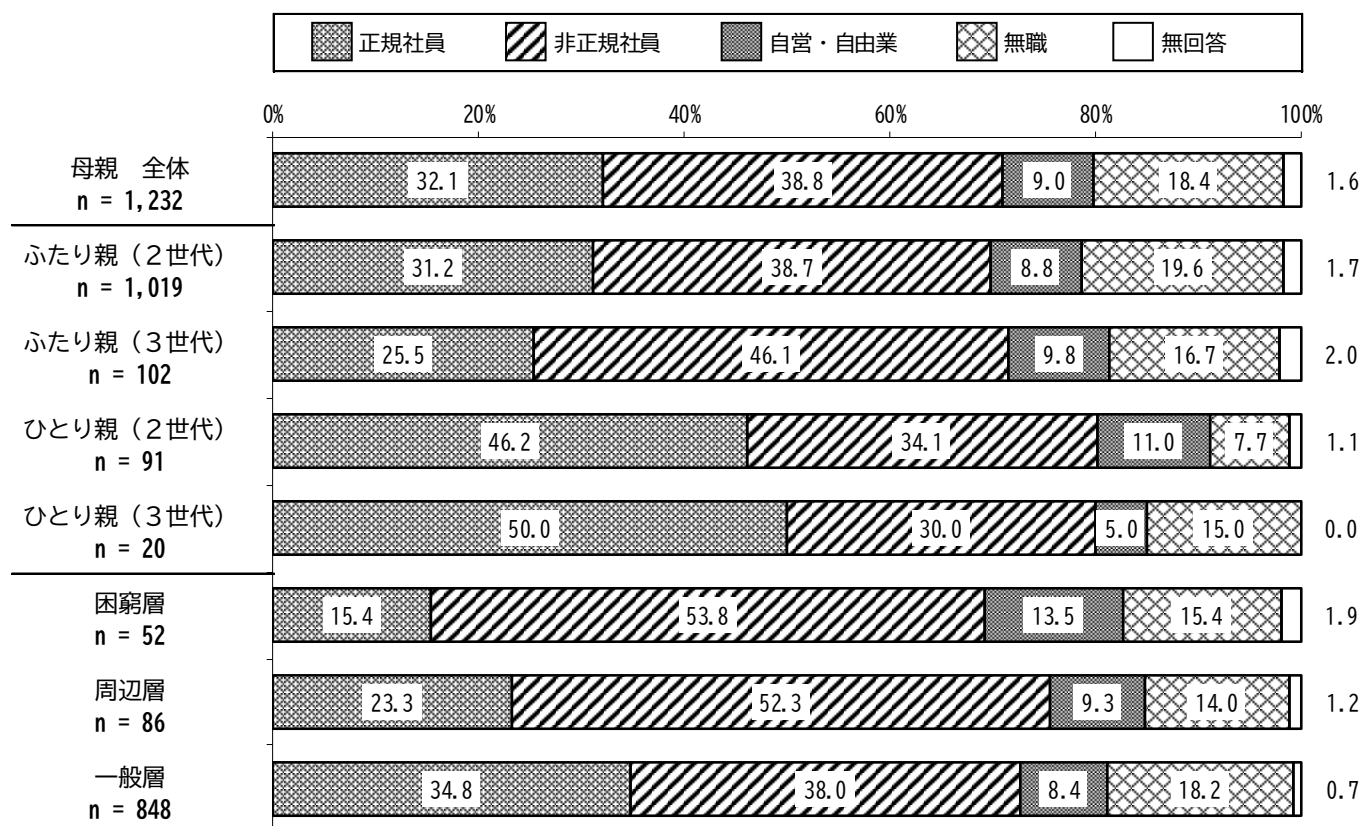


母親の就労状況について、〔中学生〕では『非正規社員』が 38.8%で最も高く、次いで『正規社員』が 32.1%、『無職』が 18.4%となっている。

世帯タイプ別でみると、『正規社員』は【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、【ひとり親（3世代）】が 50.0%と、【ふたり親（3世代）】（25.5%）よりも 24.5 ポイント高くなっている。

生活困難度別でみると、『正規社員』は【周辺層】が 23.3%と、【困窮層】（15.4%）よりも 7.9 ポイント高くなっている。

<保護者> 母親の就労状況【世帯タイプ別、生活困難度別】中学生



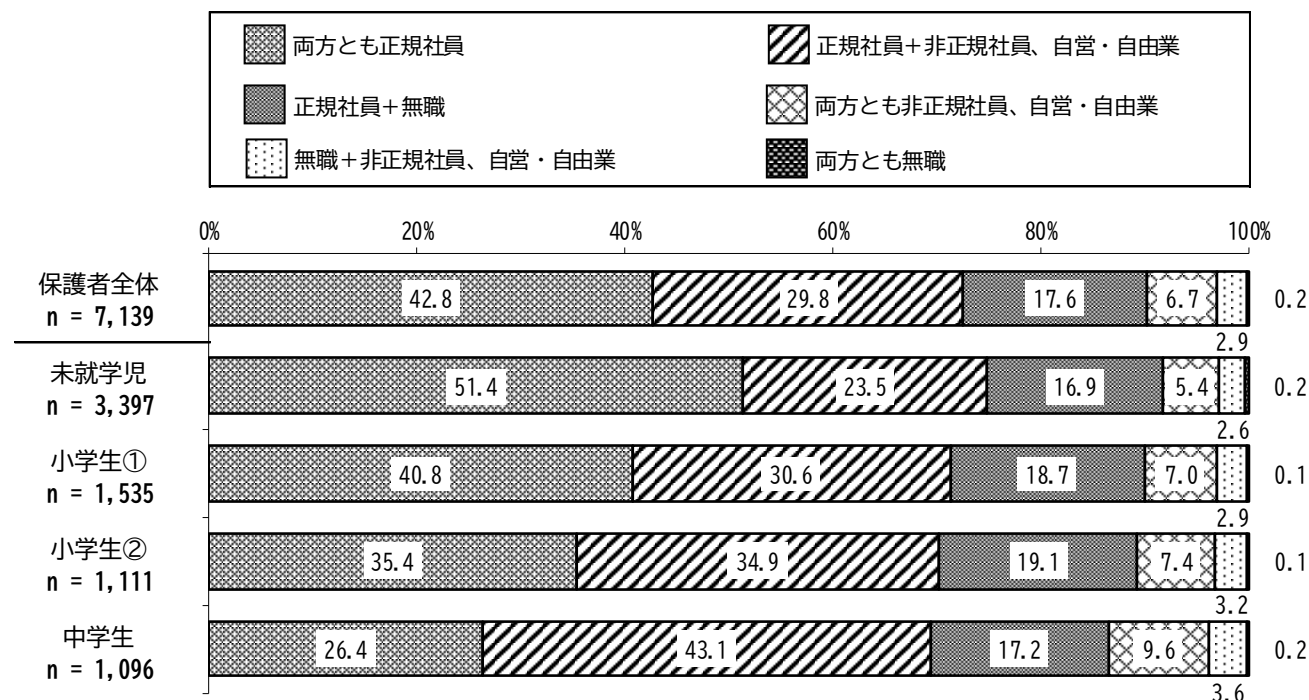
(2) 共働きの状況

2人親世帯に限り父母の就労状況から共働きの状況を集計した。

保護者全体では『両方とも正規社員』が42.8%で最も高く、次いで『正規社員+非正規社員、自営・自由業』が29.8%、『正規社員+無職』が17.6%となっている。

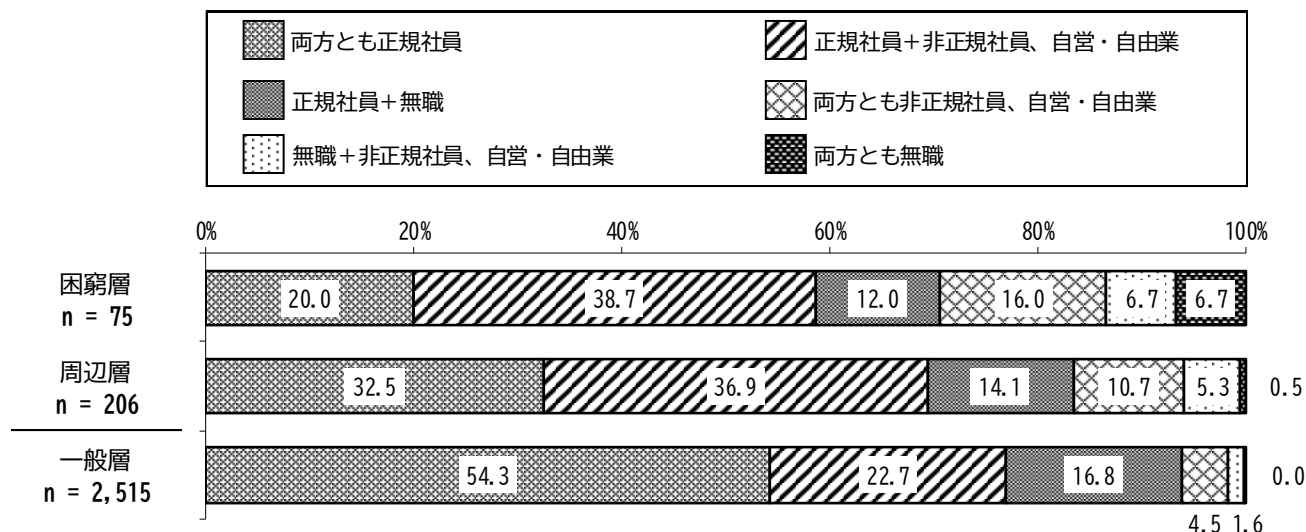
『両方とも正規社員』は子どもの年齢層が低くなるほど、その割合が高くなり【未就学児】が51.4%となっている。一方、『正規社員+非正規社員、自営・自由業』は子どもの年齢層が高くなるほど、その割合が高くなり【中学生】が43.1%となっている。

<保護者> 共働きの状況【子どもの年齢層別】



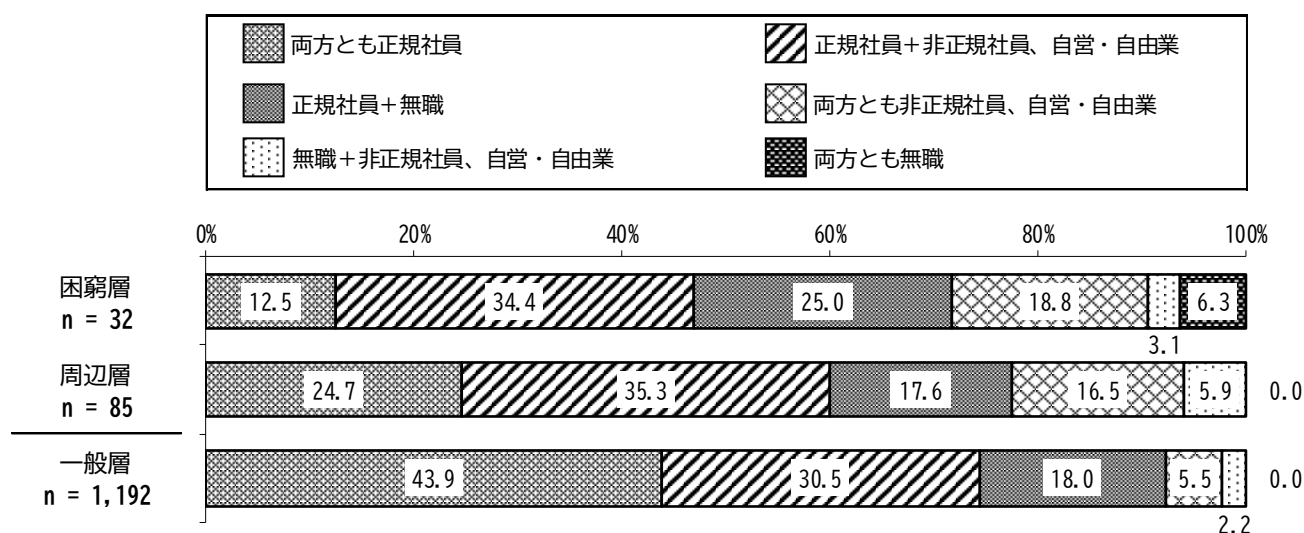
〔未就学児〕について、生活困難度別でみると、『両方とも正規社員』は【周辺層】が 32.5%と、【困窮層】(20.0%) よりも 12.5 ポイント高くなっている。一方、『両方とも無職』は【困窮層】が 6.7%と、【周辺層】(0.5%) よりも 6.2 ポイント高くなっている。

<保護者>共働きの状況【生活困難度別】未就学児



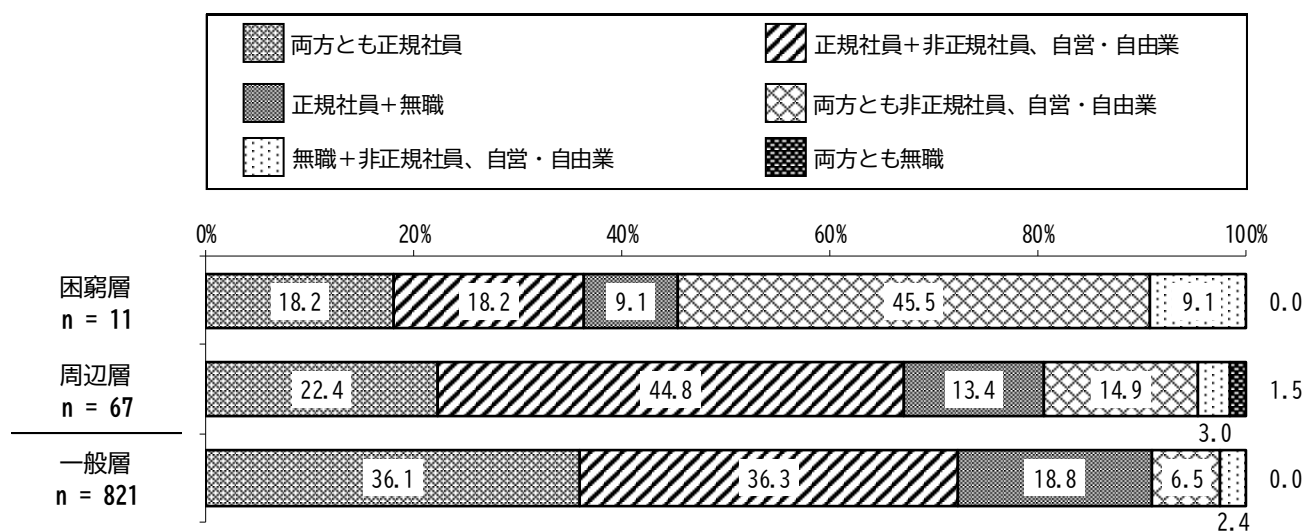
〔小学生①〕について、生活困難度別でみると、『両方とも正規社員』は【周辺層】が 24.7%と、【困窮層】(12.5%) よりも 12.2 ポイント高くなっている。一方、『両方とも無職』は【困窮層】が 6.3%と、【周辺層】(0.0%) よりも 6.3 ポイント高くなっている。

<保護者>共働きの状況【生活困難度別】小学生①



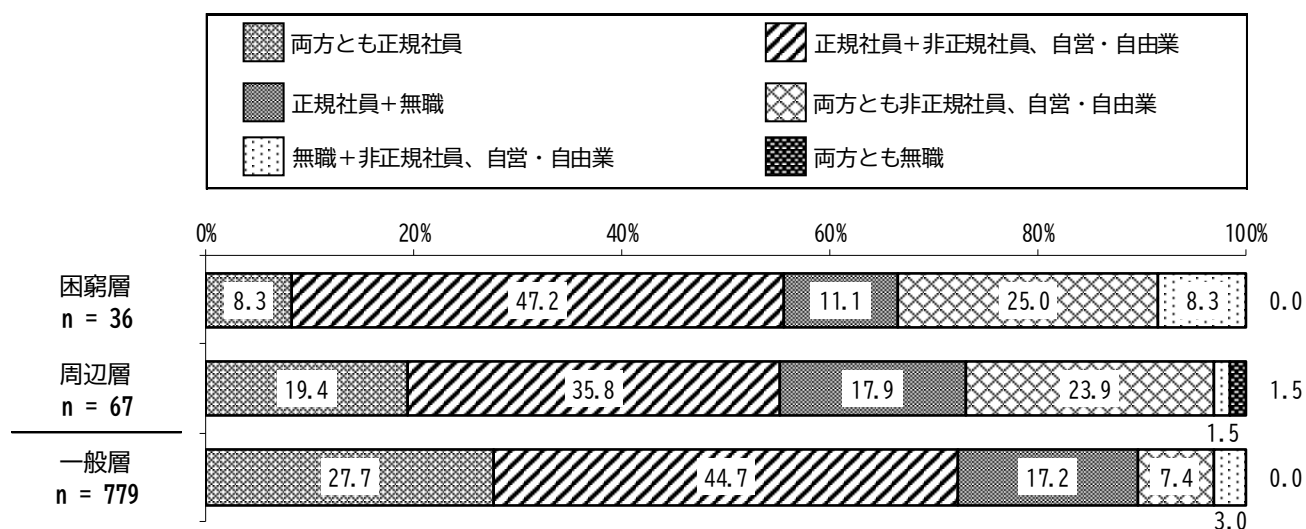
〔小学生②〕について、生活困難度別でみると、『両方とも非正規社員、自営・自由業』は【困窮層】が45.5%と、【周辺層】(14.9%)よりも30.6ポイント高くなっている。

<保護者>共働きの状況【生活困難度別】小学生②



〔中学生〕について、生活困難度別でみると、『正規社員+非正規社員、自営・自由業』は【困窮層】が47.2%と、【周辺層】(35.8%)よりも11.4ポイント高くなっている。『両方とも正規社員』は【周辺層】が19.4%と、【困窮層】(8.3%)よりも11.1ポイント高くなっている。

<保護者>共働きの状況【生活困難度別】中学生



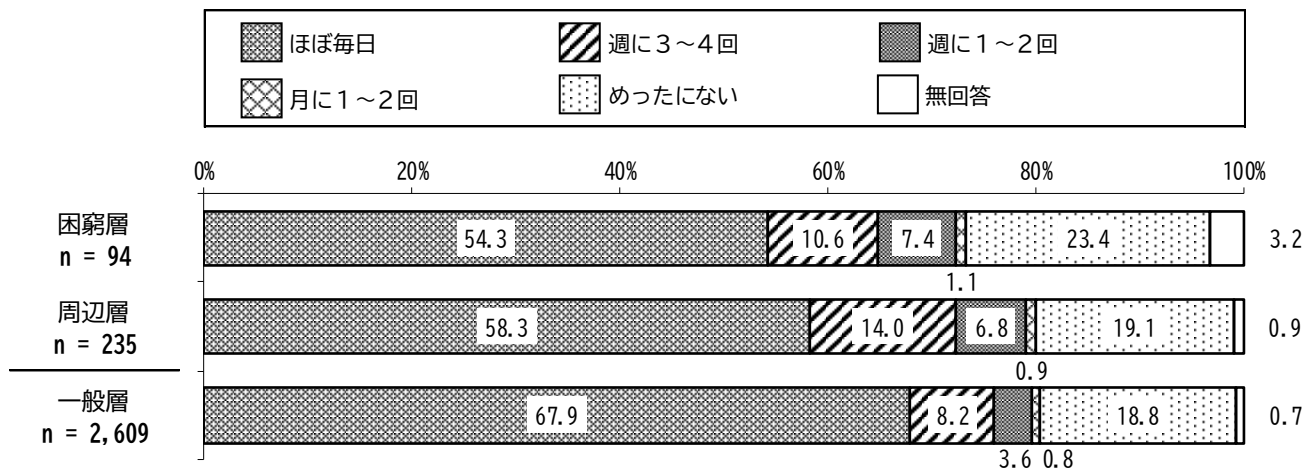
2 親子の時間

(1) 親子での時間

あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(それぞれ1つに○)

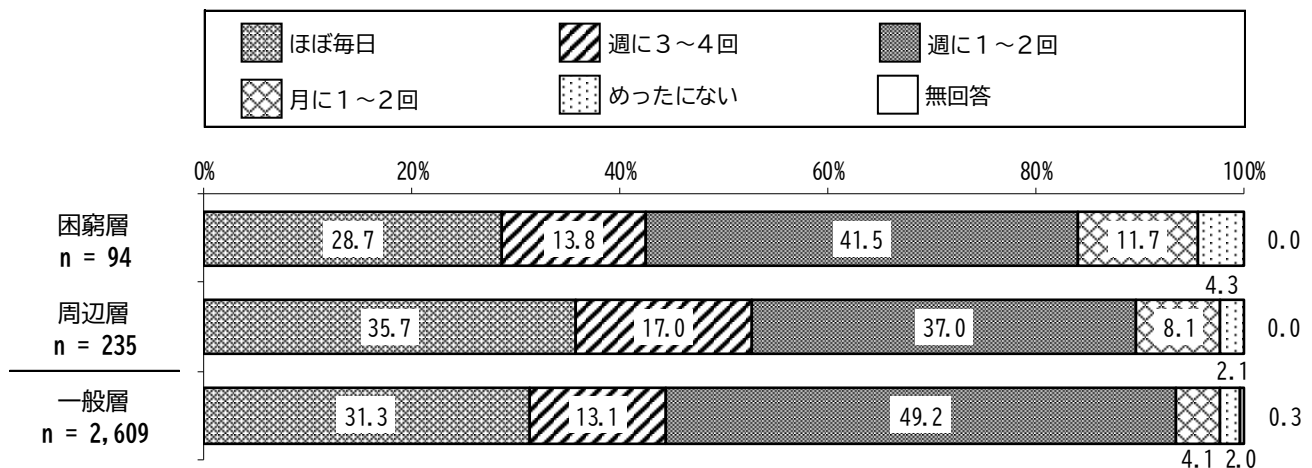
〔お子さんと保育園・幼稚園等での話をする〕について、〔未就学児〕を生活困難度別にみると、「めったにない」は【困窮層】が23.4%と、【周辺層】(19.1%)よりも4.3ポイント高くなっている。

<保護者> 〔お子さんと保育園・幼稚園等での話をする〕【生活困難度別】未就学児 (***)



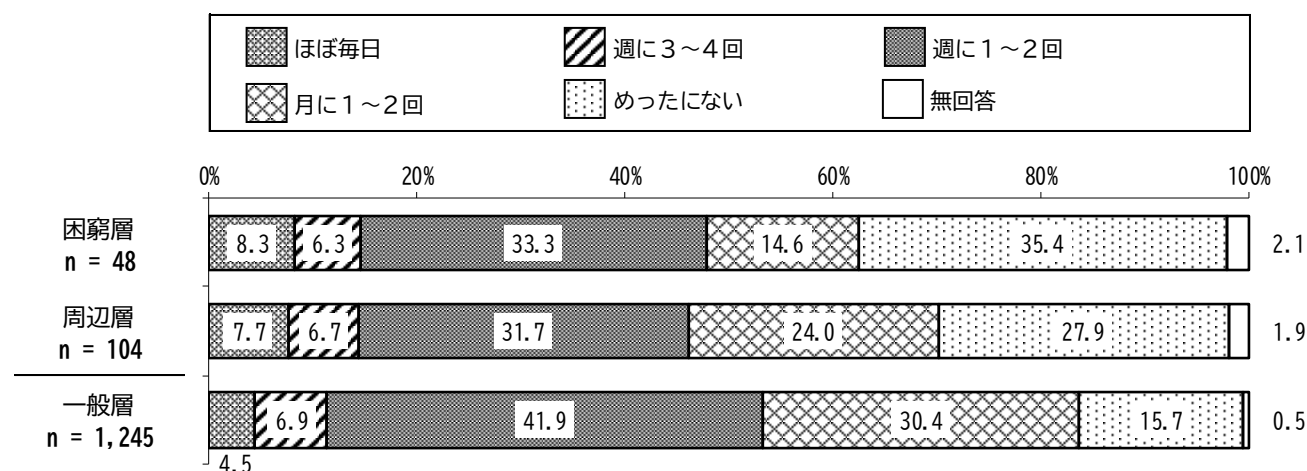
〔お子さんと一緒に外出をする〕について、〔未就学児〕を生活困難度別にみると、「ほぼ毎日」は【周辺層】が35.7%と、【困窮層】(28.7%)よりも7.0ポイント高くなっている。

<保護者> 〔お子さんと一緒に外出をする〕【生活困難度別】未就学児 (***)



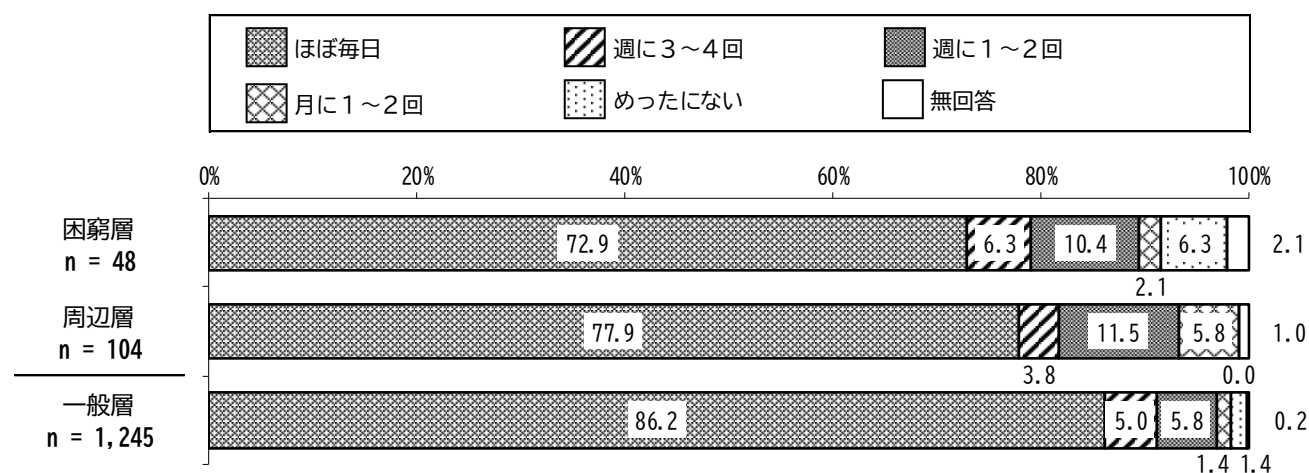
「お子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）」について、「小学生①」を生活困難度別にみると、「月に1～2回」は【周辺層】が24.0%と、【困窮層】（14.6%）よりも9.4ポイント高くなっている。

<保護者> 「お子さんとからだを動かして遊ぶ」【生活困難度別】小学生① (***)



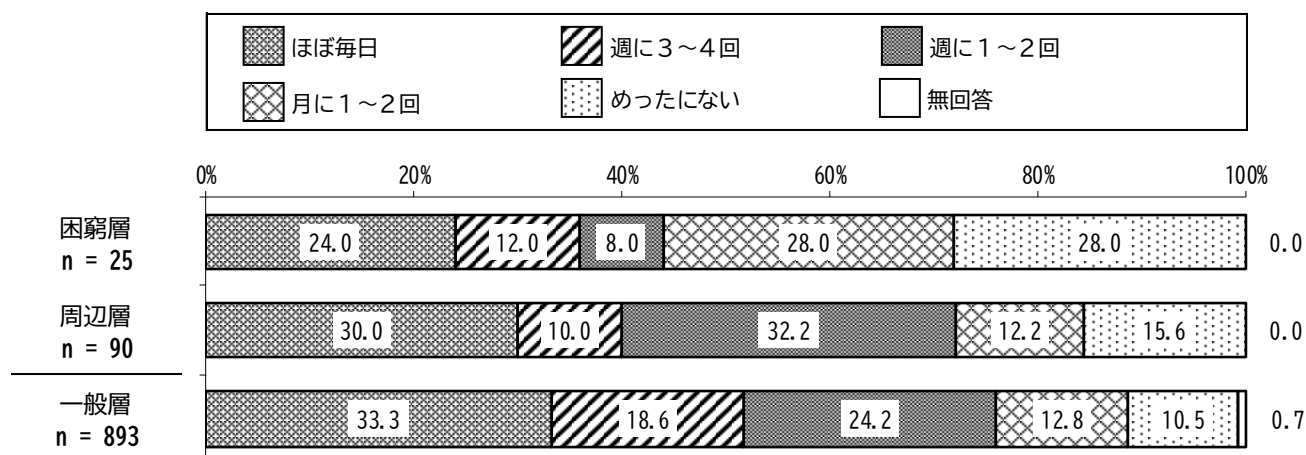
「その他、お子さんの面倒をみたり、一緒に過ごす」について、「小学生①」を生活困難度別にみると、「めったにない」は【困窮層】が6.3%と、【周辺層】（0.0%）よりも6.3ポイント高くなっている。

<保護者> 「その他、お子さんの面倒をみたり、一緒に過ごす」【生活困難度別】小学生① (***)



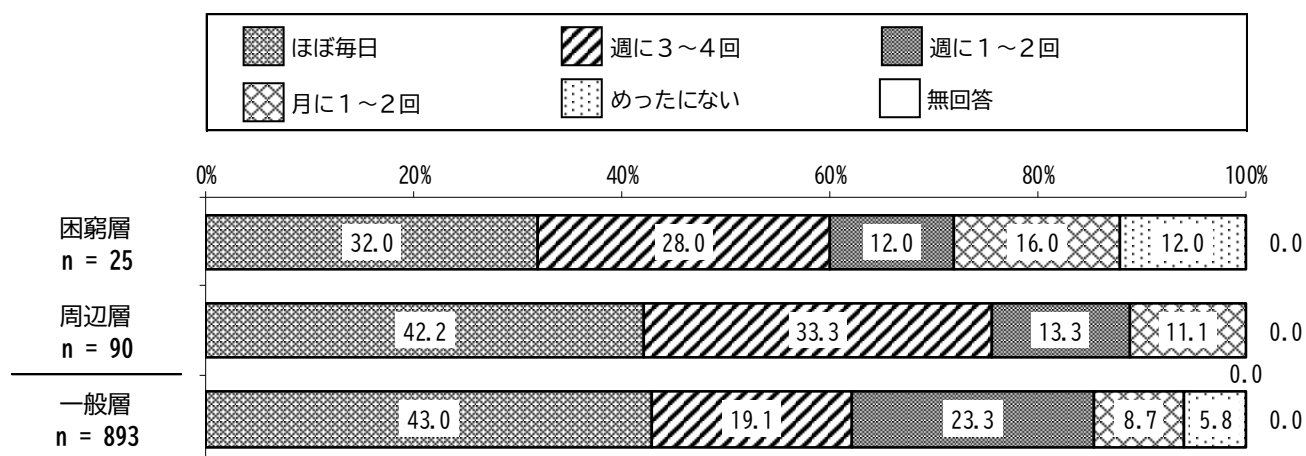
「お子さんの勉強をみる」について、「小学生②」を生活困難度別にみると、「週に1～2回」は【周辺層】が32.2%と、【困窮層】（8.0%）よりも24.2ポイント高くなっている。

<保護者>「お子さんの勉強をみる」【生活困難度別】小学生② (***)



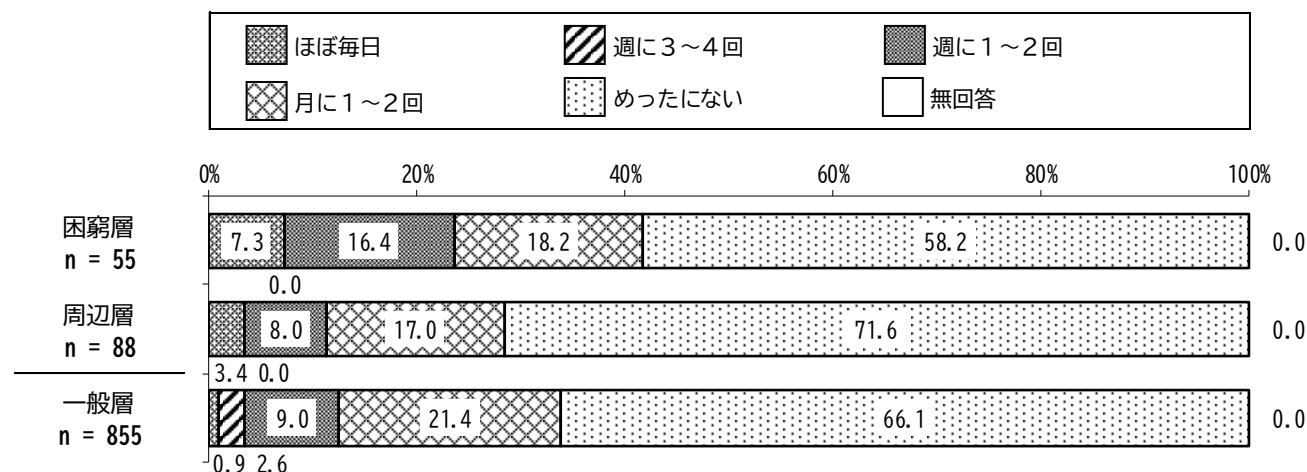
「お子さんとテレビ番組や動画を見る」について、「小学生②」を生活困難度別にみると、「めったにない」は【困窮層】が12.0%と、【周辺層】（0.0%）よりも12.0ポイント高くなっている。

<保護者>「お子さんとテレビ番組や動画を見る」【生活困難度別】小学生② (***)



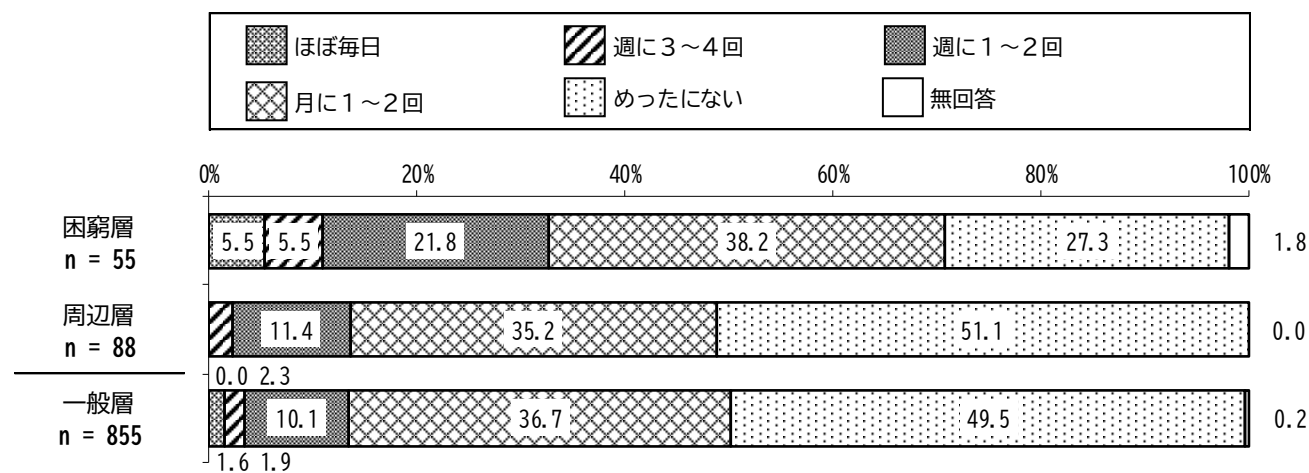
〔お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）〕について、〔中学生〕を生活困難度別にみると、「めったにない」は【周辺層】が71.6%と、【困窮層】（58.2%）よりも13.4ポイント高くなっている。

<保護者> 〔お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ〕【生活困難度別】中学生（***）



〔お子さんと一緒に料理をする〕について、〔中学生〕を生活困難度別にみると、「めったにない」は【周辺層】が51.1%と、【困窮層】（27.3%）よりも23.8ポイント高くなっている。

<保護者> 〔お子さんと一緒に料理をする〕【生活困難度別】中学生（***）



(2) 将来についての会話

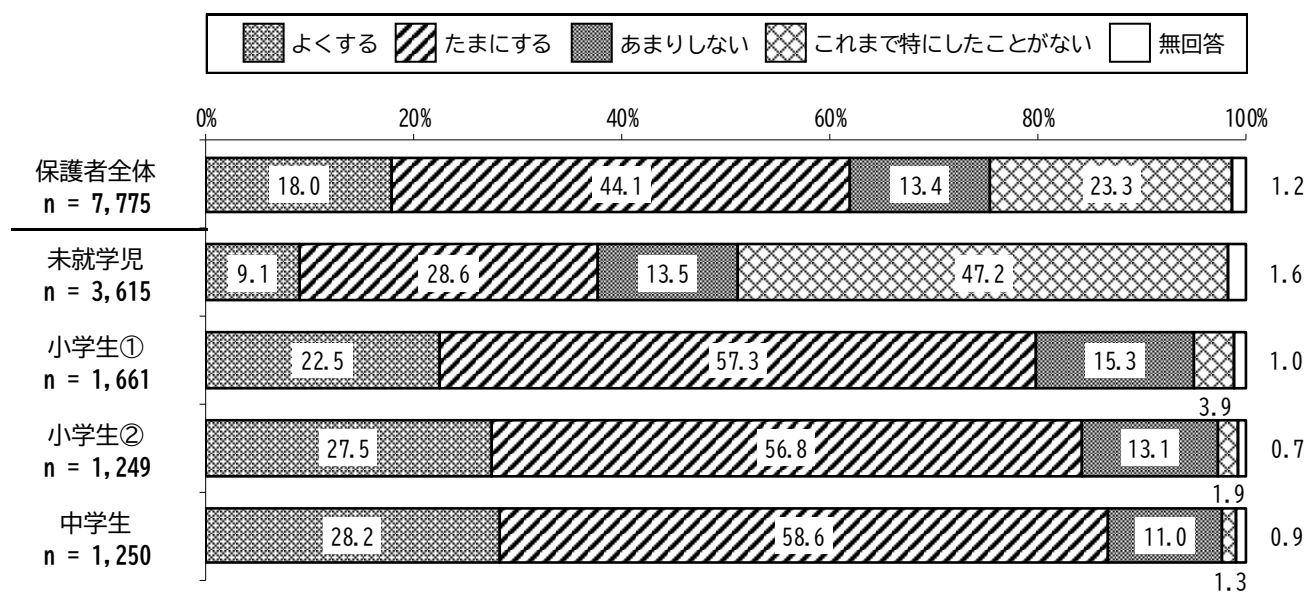
※「よくする」と「たまにする」を合わせた値を『する』と表記する。

あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話すことがありますか。（1つに○）

全体では「たまにする」が44.1%で最も高く、次いで「これまで特にしたことがない」が23.3%、「よくする」が18.0%、「あまりしない」が13.4%となっている。また、『する』が62.1%となっている。

『する』は子どもの年齢層が高くなるほど、その割合が高くなり【中学生】が86.8%となっている。

<保護者> 将来についての会話【子どもの年齢層別】



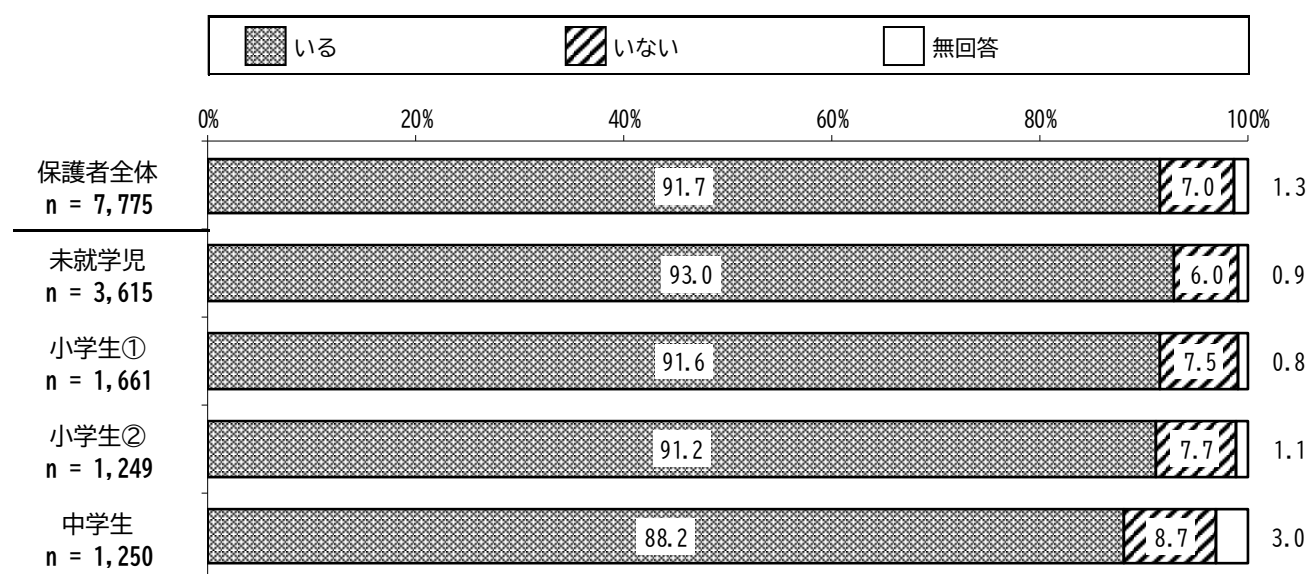
3 相談相手

あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（1つに○）

全体では「いる」が91.7%となっている。

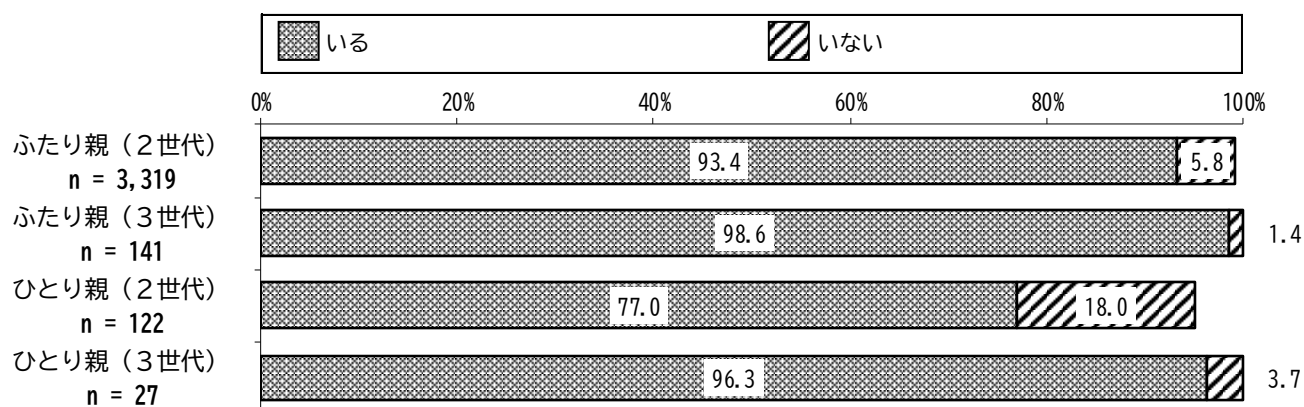
「いない」は子どもの年齢層が高くなるほど、その割合が高くなり【中学生】が8.7%となっている。

<保護者>相談相手の有無【子どもの年齢層別】

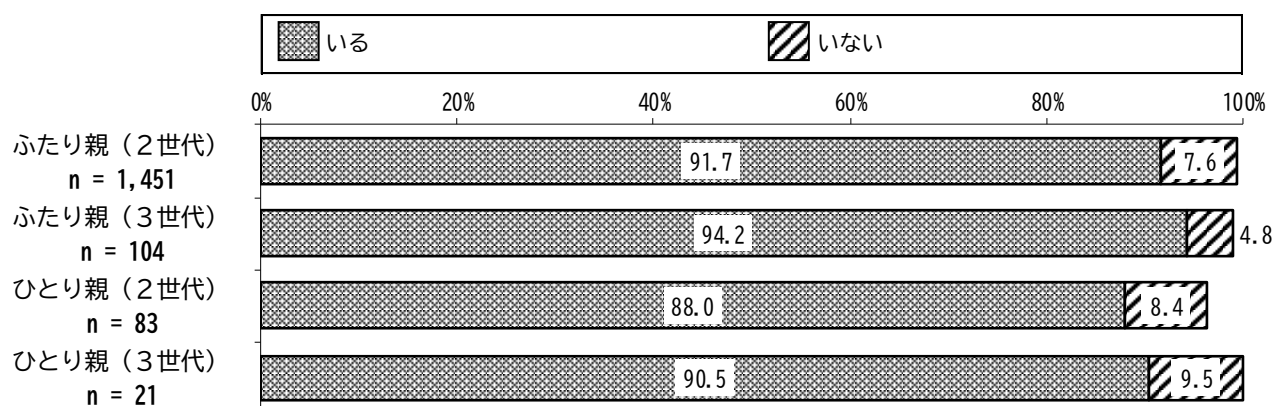


「いる」「いない」の回答を〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「いない」の割合は〔小学生②〕〔中学生〕の3世代を除き、【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、〔未就学児〕の【ひとり親（2世代）】が18.0%と、【ふたり親（2世代）】（5.8%）よりも12.2ポイント高くなっている。

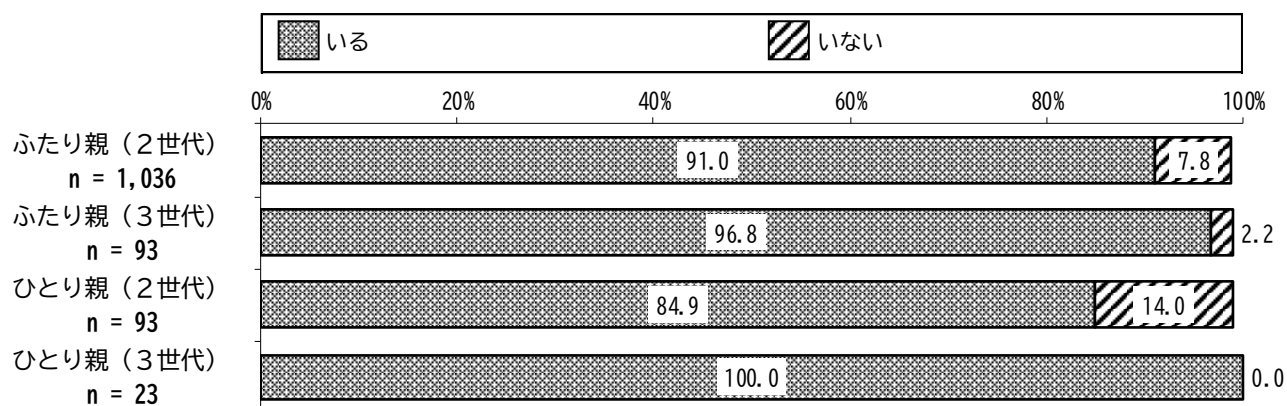
<保護者>相談相手の有無【世帯タイプ別】未就学児 (***)



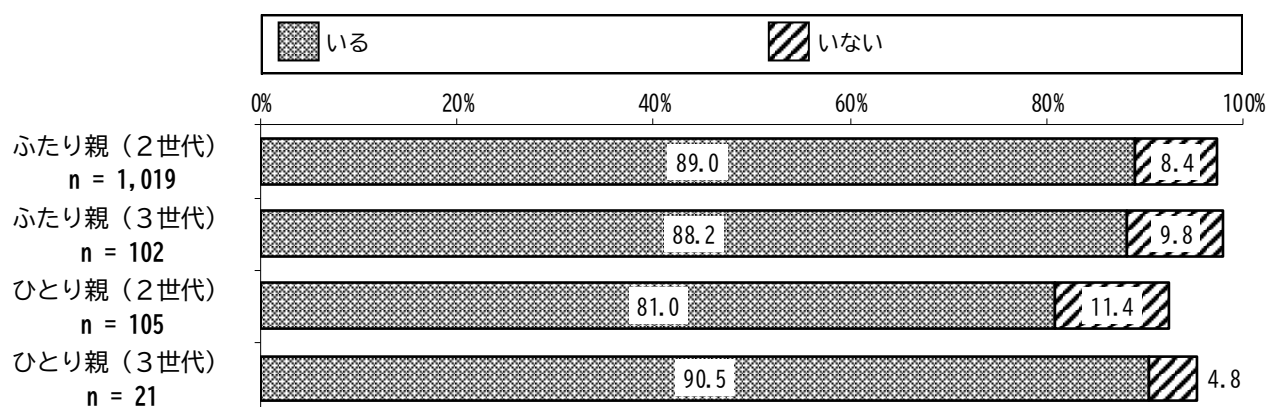
<保護者>相談相手の有無【世帯タイプ別】小学生① (×)



<保護者>相談相手の有無【世帯タイプ別】小学生② (**)

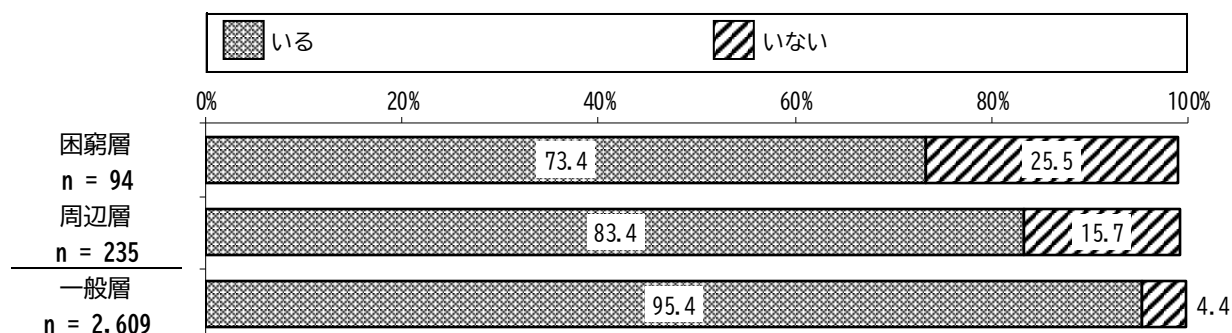


<保護者>相談相手の有無【世帯タイプ別】中学生 (×)

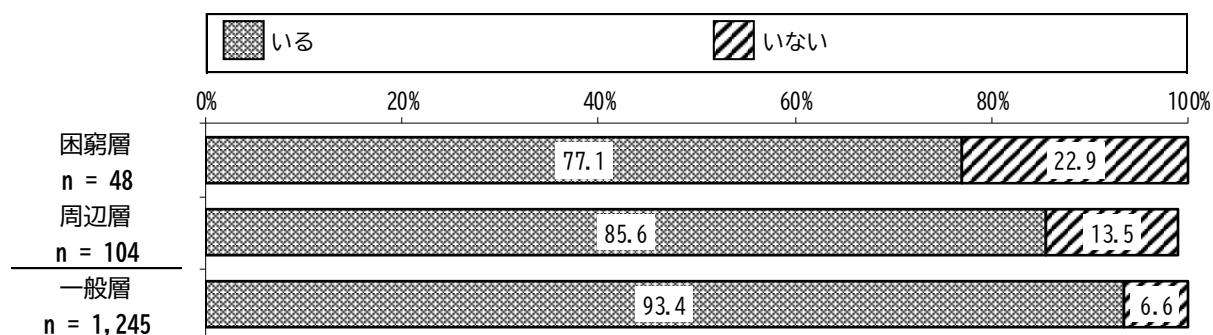


「いる」「いない」の回答を〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、「いない」の割合はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔中学生〕の【困窮層】が34.5%と、【周辺層】(11.4%)よりも23.1ポイント高くなっている。

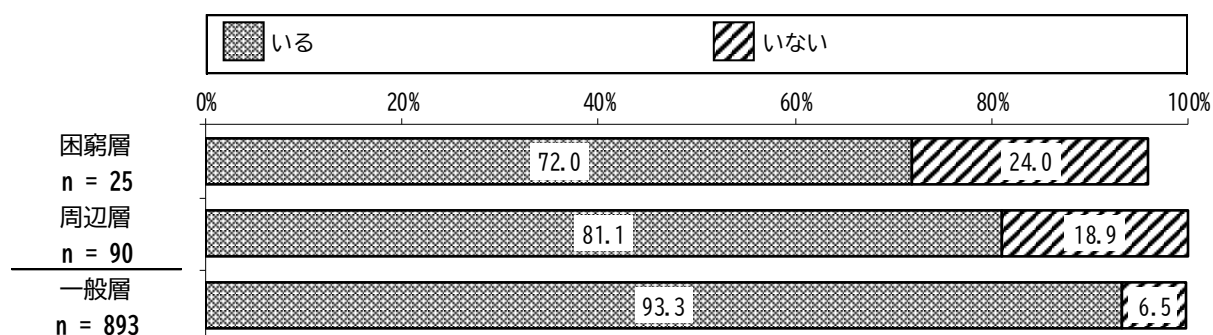
<保護者>相談相手の有無【生活困難度別】未就学児 (***)



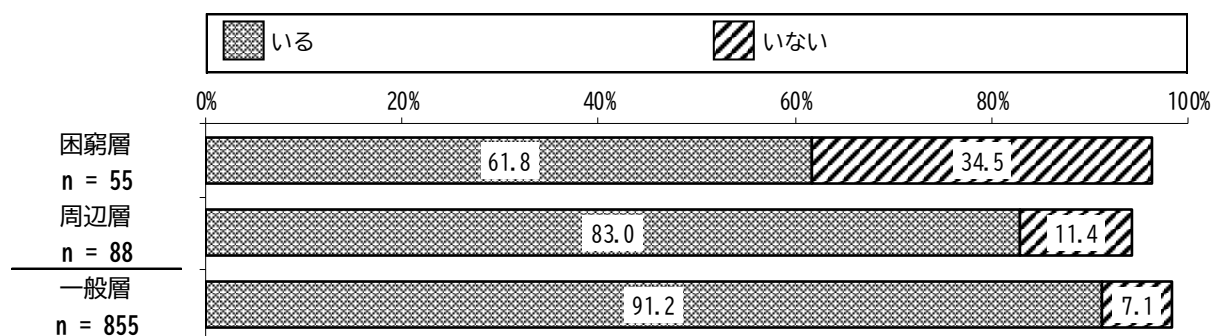
<保護者>相談相手の有無【生活困難度別】小学生① (***)



<保護者>相談相手の有無【生活困難度別】小学生② (***)



<保護者>相談相手の有無【生活困難度別】中学生 (***)



4 支援サービスの利用状況・認知状況・利用意向

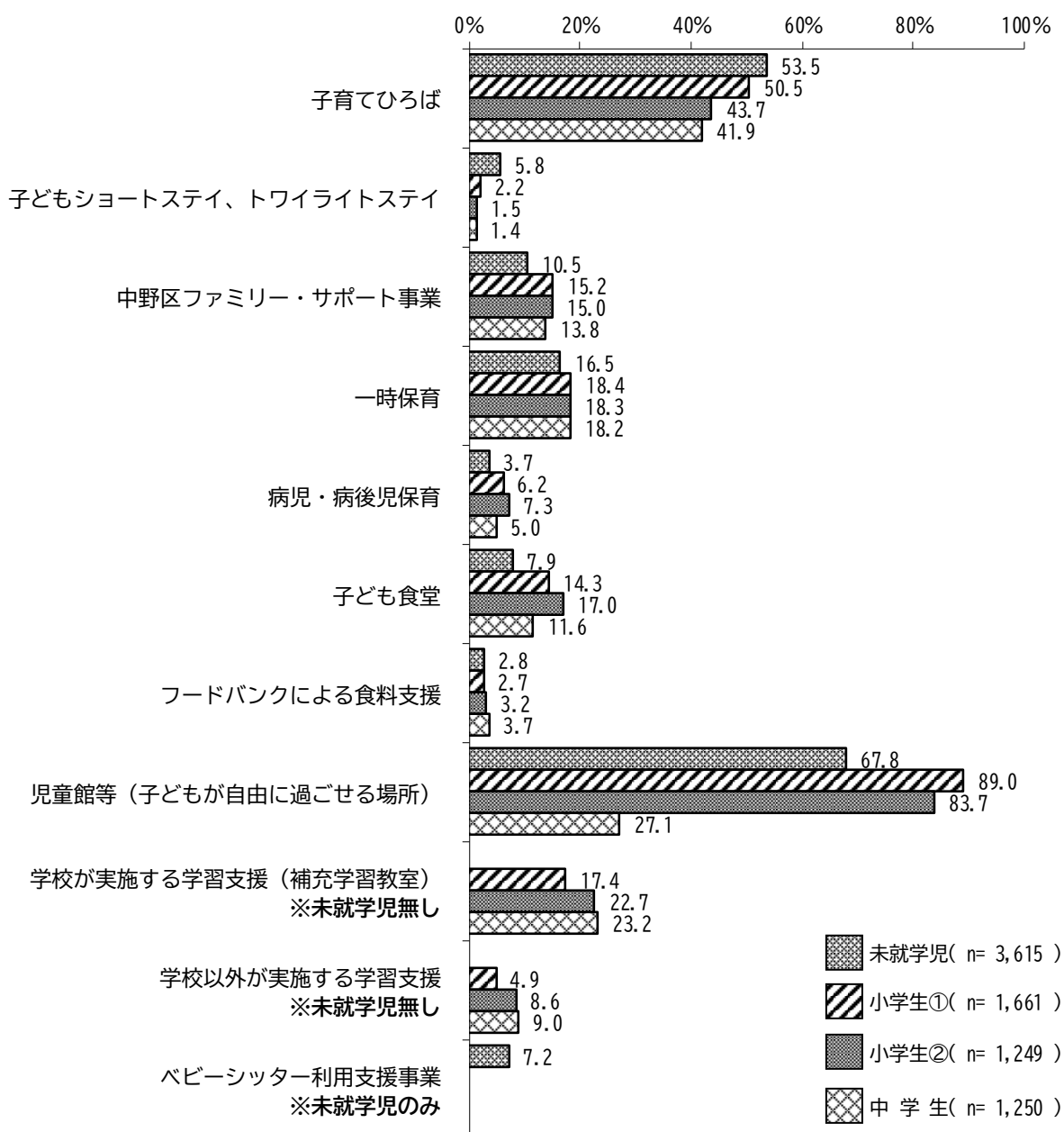
(1) 支援サービスの利用状況

封筒の宛名のお子さんについて、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

※「利用したことある」をその支援サービスの“利用率”として比較

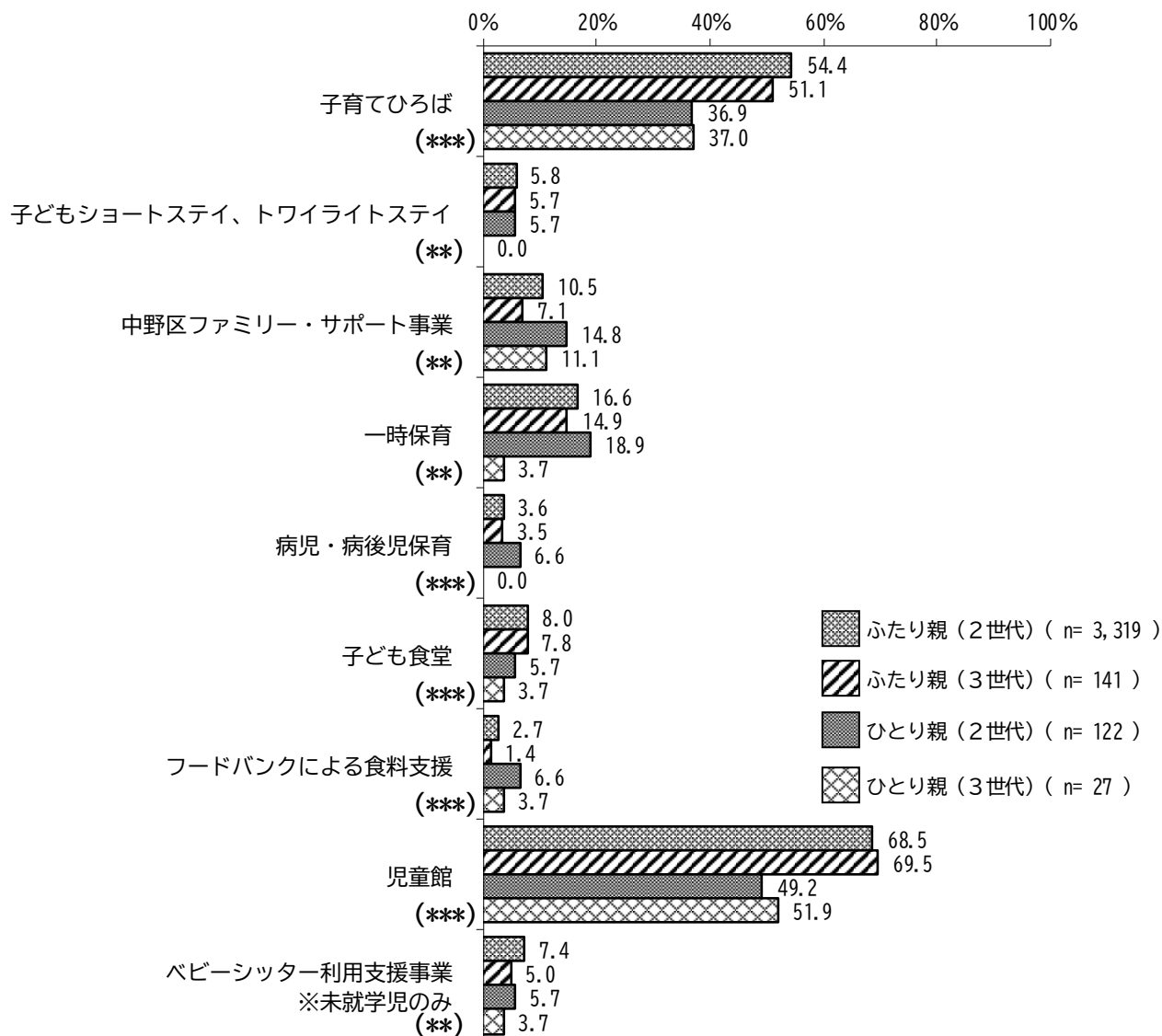
子どもの年齢層別にみると、[子育てひろば] は子どもの年齢層が低くなるほど、利用率が高くなり【未就学児】が 53.5%となっている。[児童館等] は【小学生①】が 89.0%、【小学生②】が 83.7%と高くなっている一方、【中学生】が 27.1%と低くなっている。

<保護者>支援サービスの利用率【子どもの年齢層別】

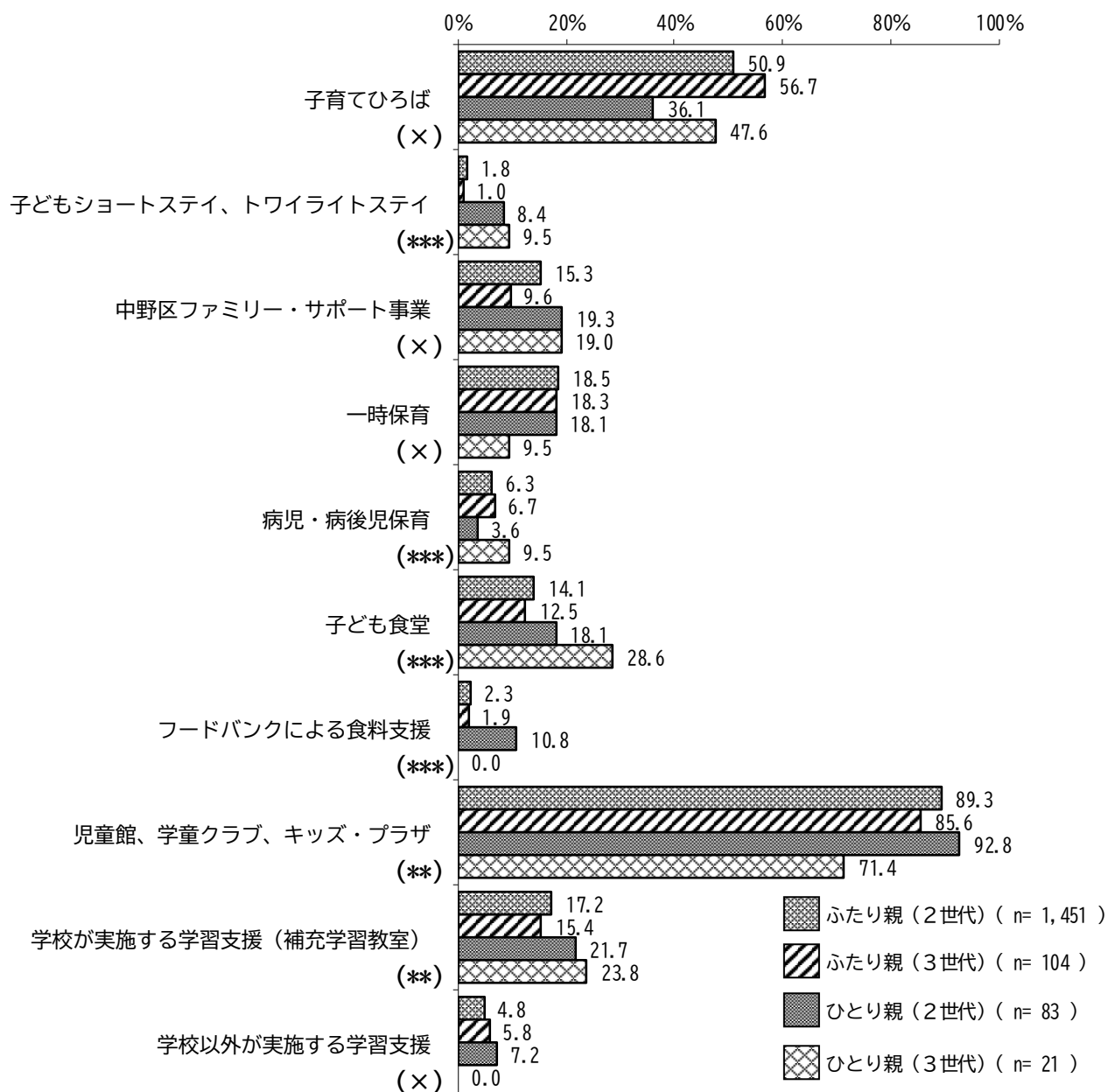


支援サービスの利用率を〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、〔子育てひろば〕の利用率は【ふたり親】が【ひとり親】に比べ、高くなっている。特に、〔中学生〕の【ふたり親（3世代）】が43.1%と、【ひとり親（3世代）】（14.3%）よりも28.8ポイント高くなっている。

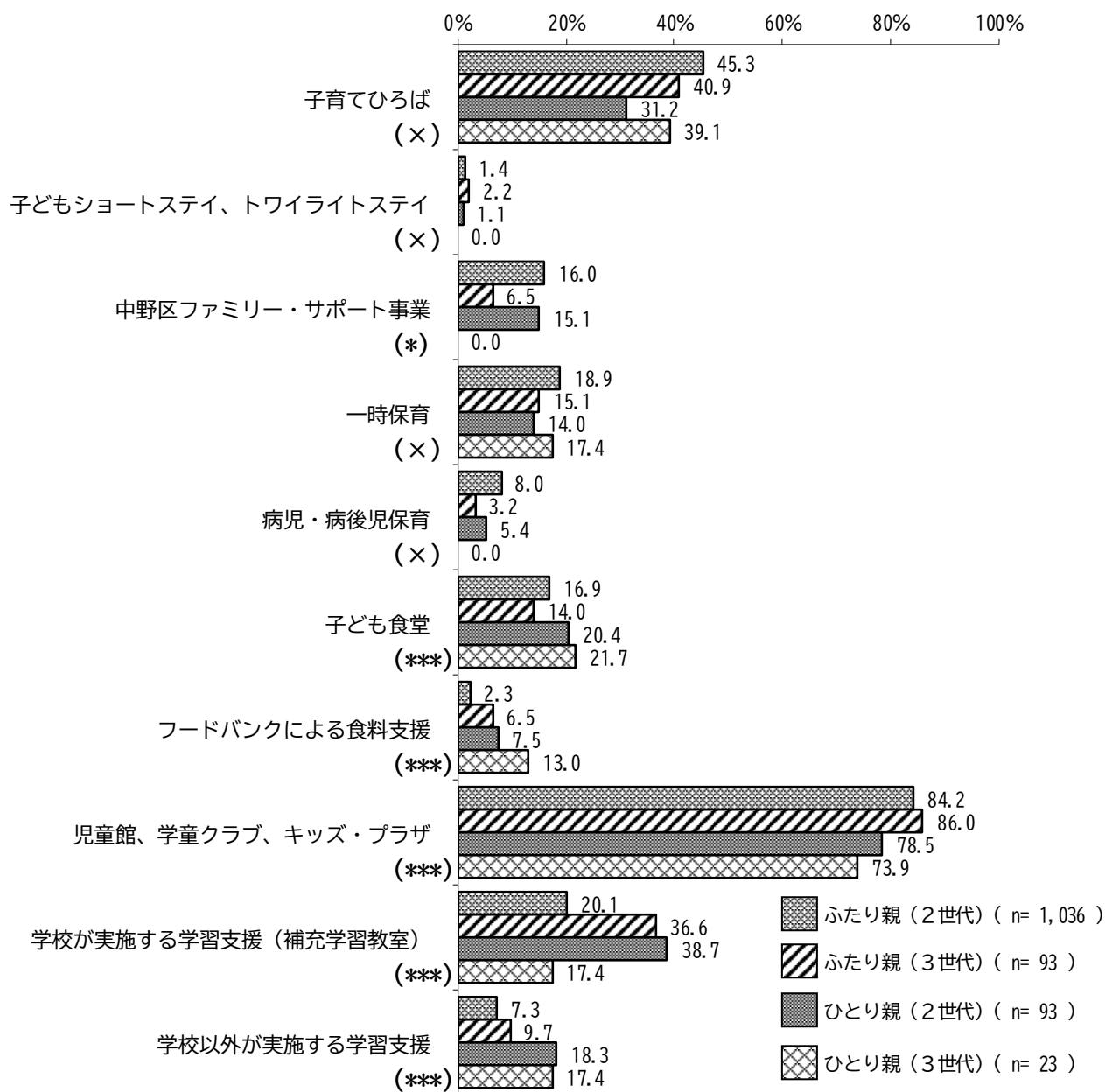
＜保護者＞支援サービスの利用率【世帯タイプ別】未就学児



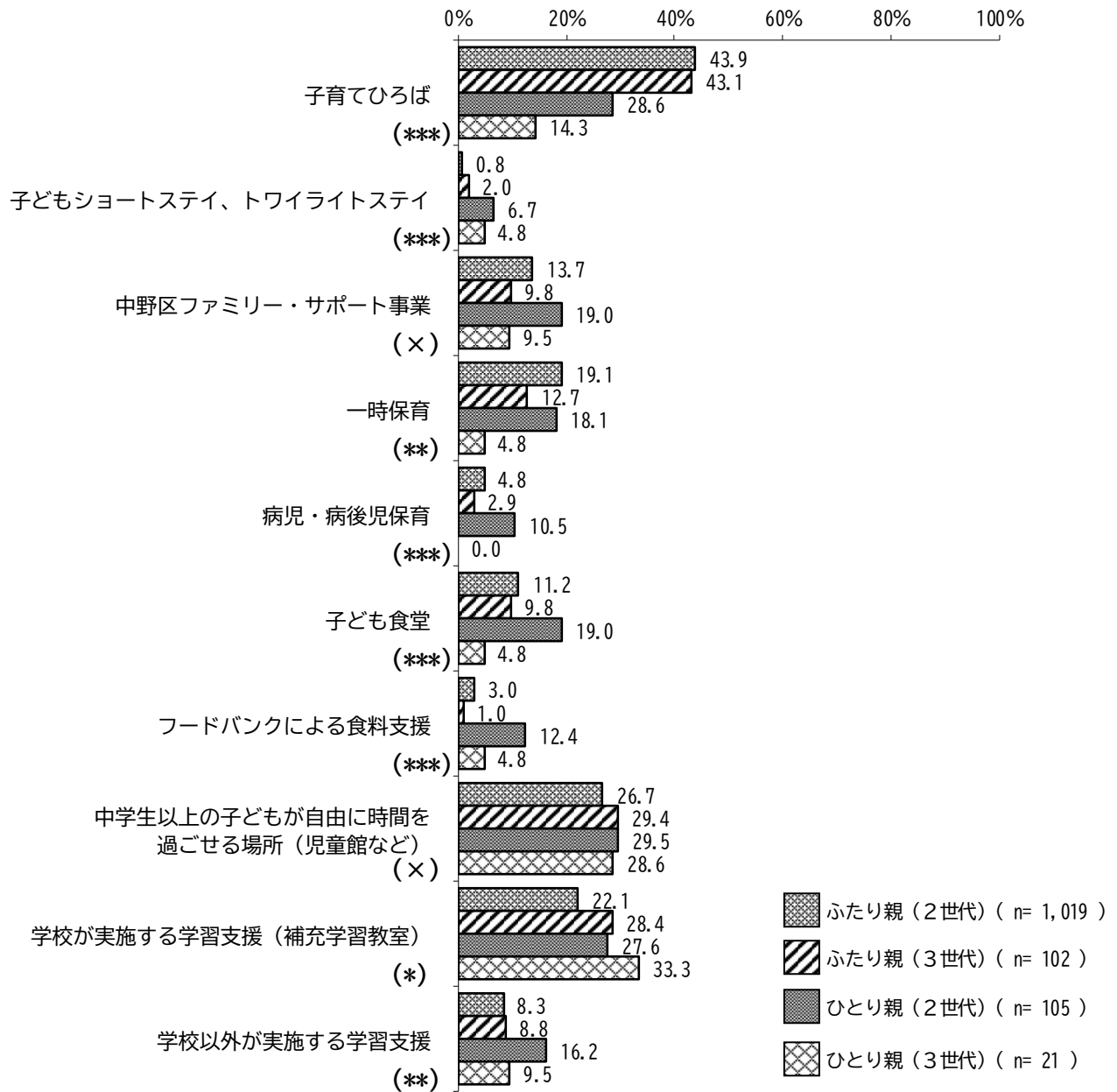
<保護者>支援サービスの利用率【世帯タイプ別】小学生①



＜保護者＞支援サービスの利用率【世帯タイプ別】小学生②

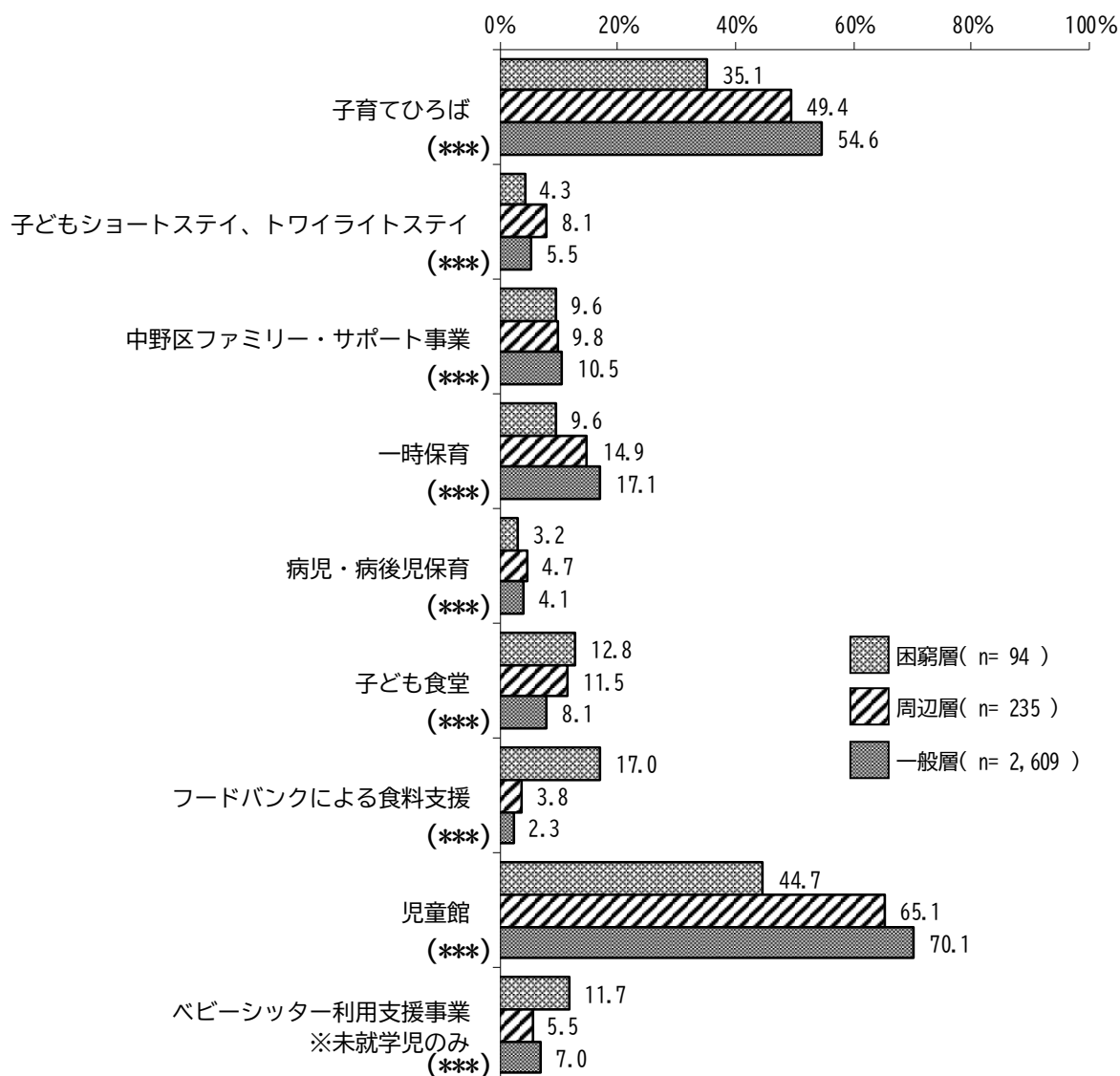


<保護者>支援サービスの利用率【世帯タイプ別】中学生

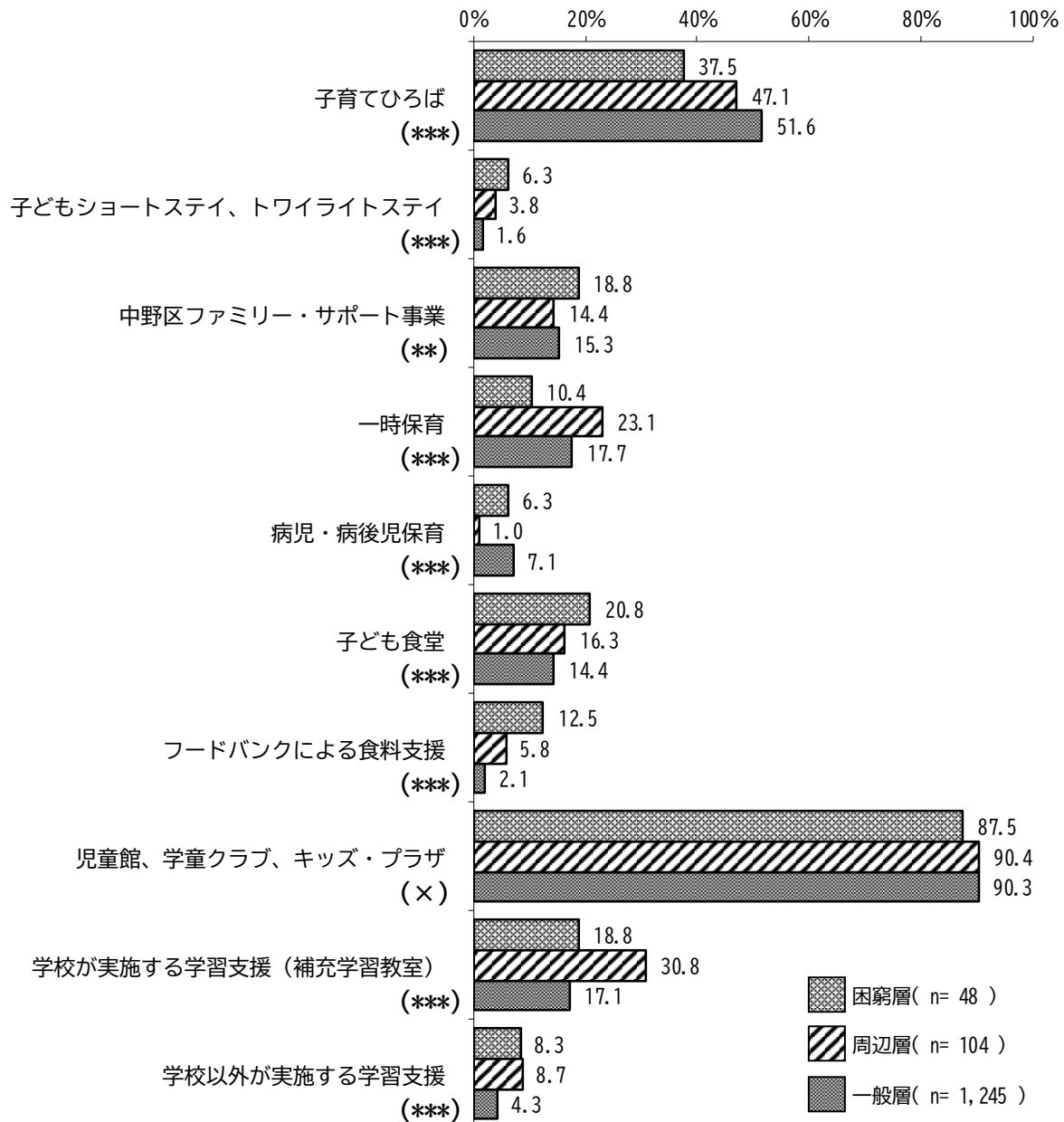


支援サービスの利用率を「子どもの年齢層」ごとに、生活困難度別にみると、「子育てひろば」の利用率はすべての年齢層で【周辺層】が【困窮層】に比べ、高くなっている。特に、「小学生②」の【周辺層】が45.6%と、【困窮層】(24.0%)よりも21.6ポイント高くなっている。「フードバンクによる食料支援」の利用率はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、「中学生」の【困窮層】が23.6%と、【周辺層】(9.1%)よりも14.5ポイント高くなっている。

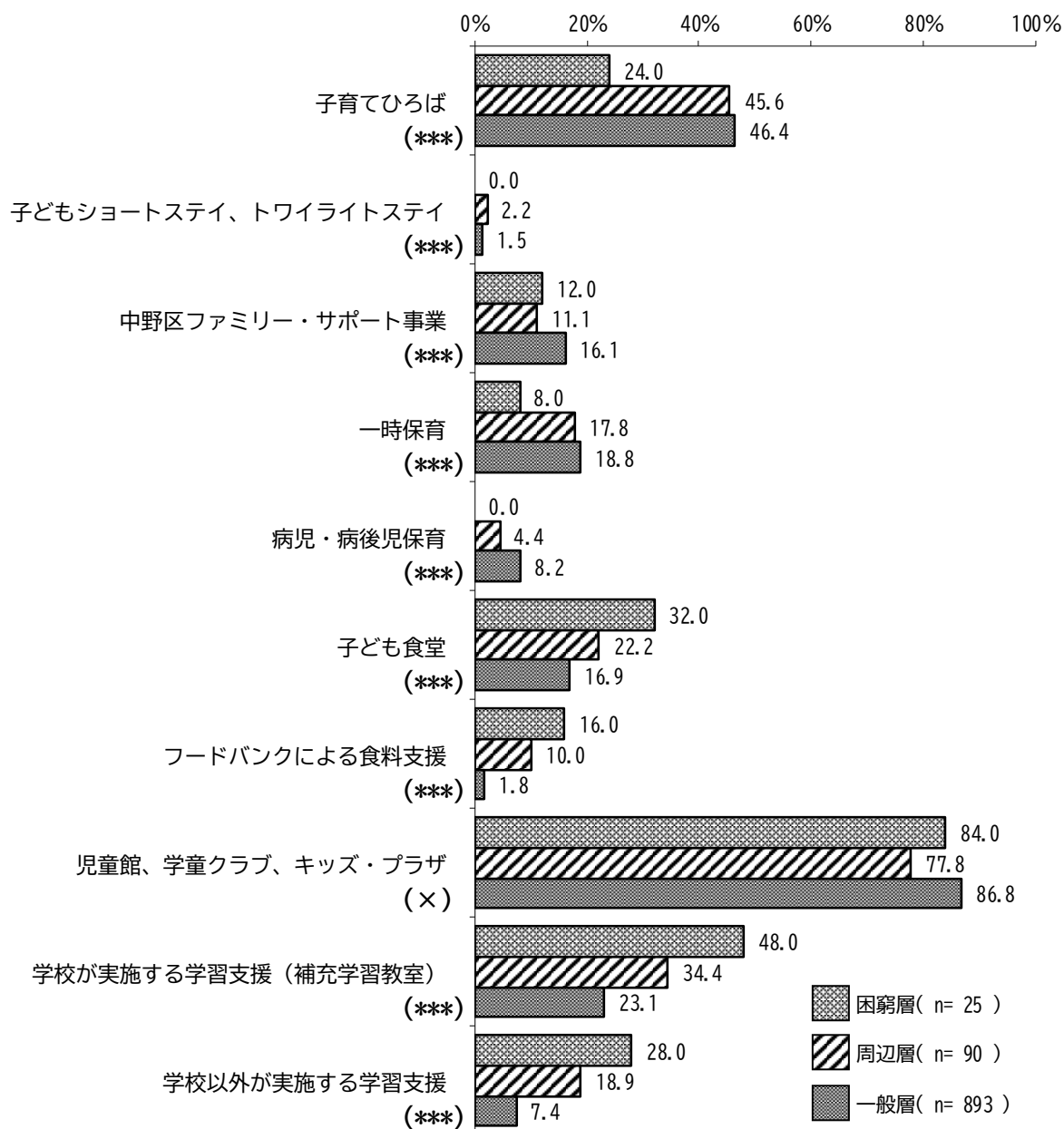
＜保護者＞支援サービスの利用率【生活困難度別】未就学児



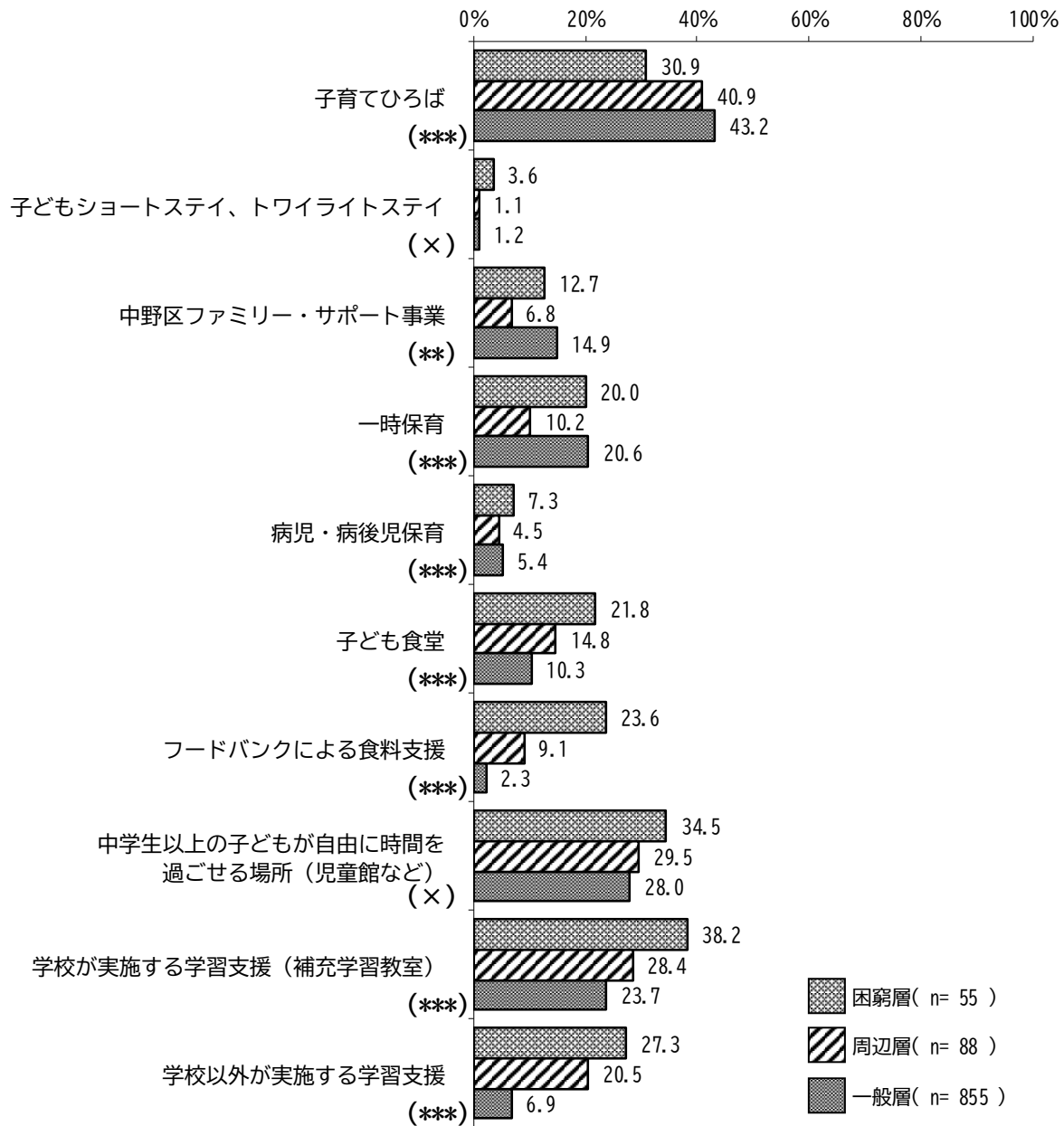
<保護者>支援サービスの利用率【生活困難度別】小学生①



＜保護者＞支援サービスの利用率【生活困難度別】小学生②



<保護者>支援サービスの利用率【生活困難度別】中学生 (***)



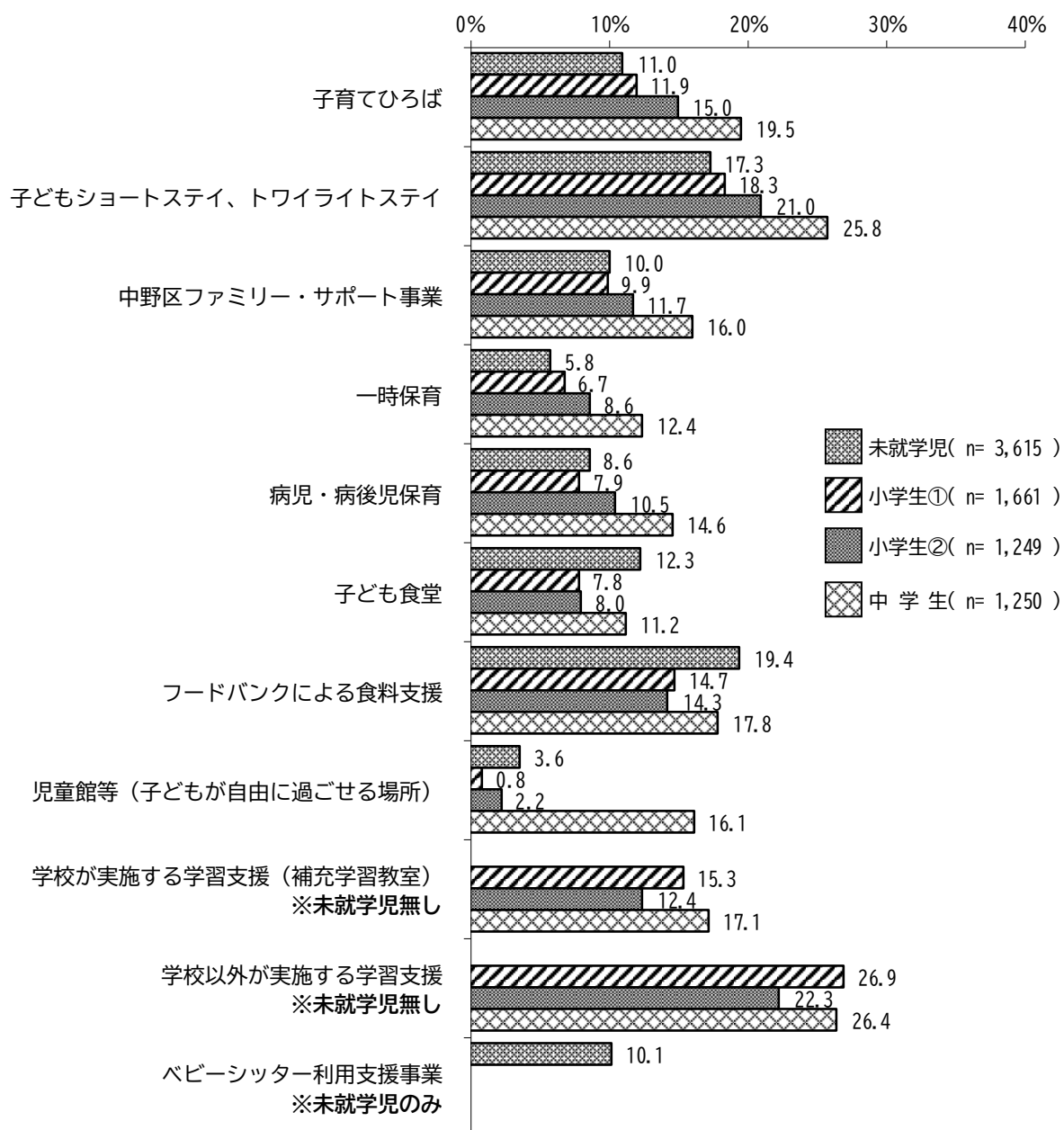
(2) 支援サービスの非認知による不利用

封筒の宛名のお子さんについて、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

※『利用したことがない』うち、「制度等について全く知らなかった」をその支援サービスの“非認知による不利用率”として比較

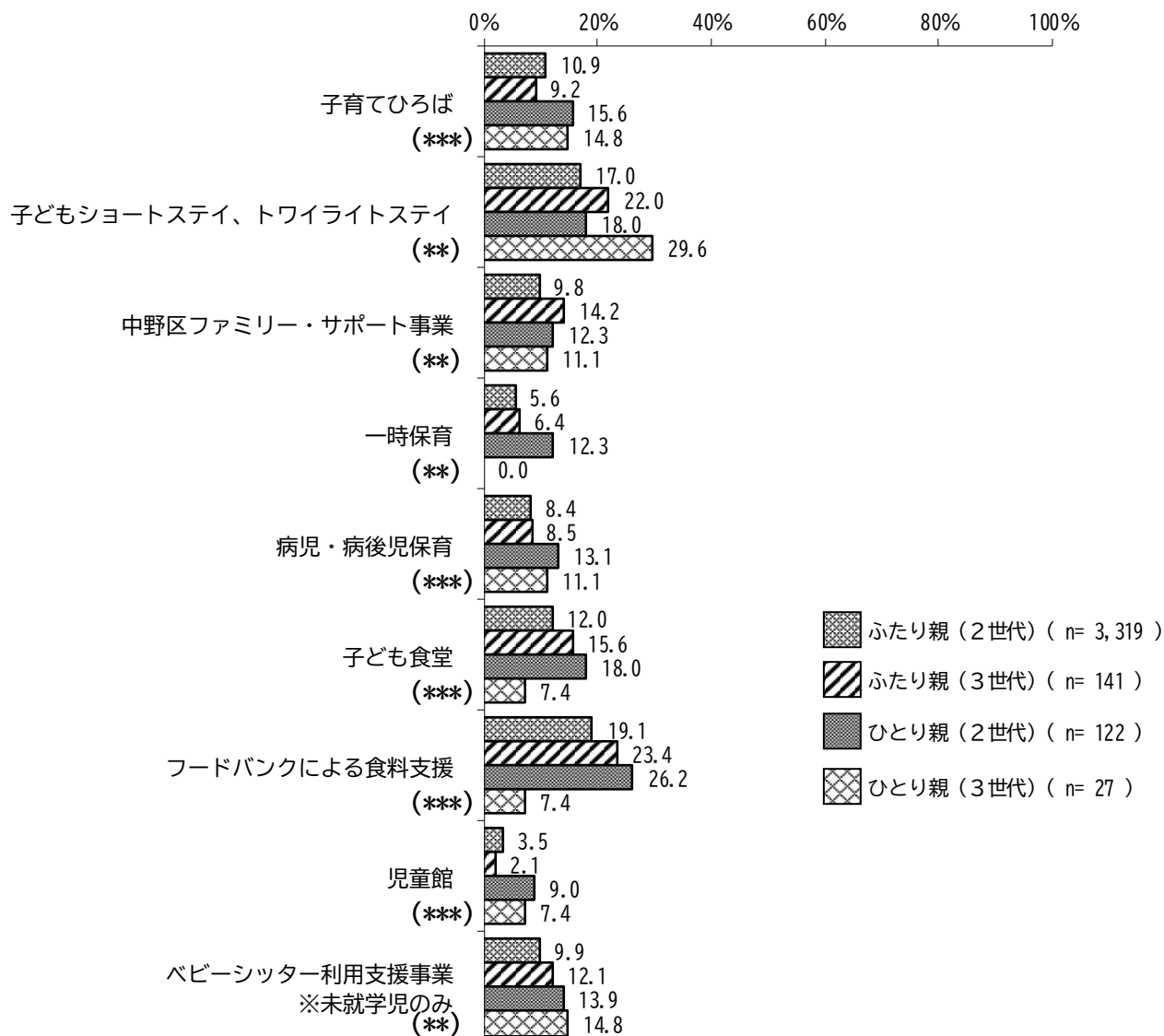
子どもの年齢層別にみると、[子育てひろば]、[子どもショートステイ、トワイライトステイ]及び[一時保育]は子どもの年齢層が高くなるほど、その割合が高くなっている。

<保護者>支援サービスの非認知による不利用率【子どもの年齢層別】

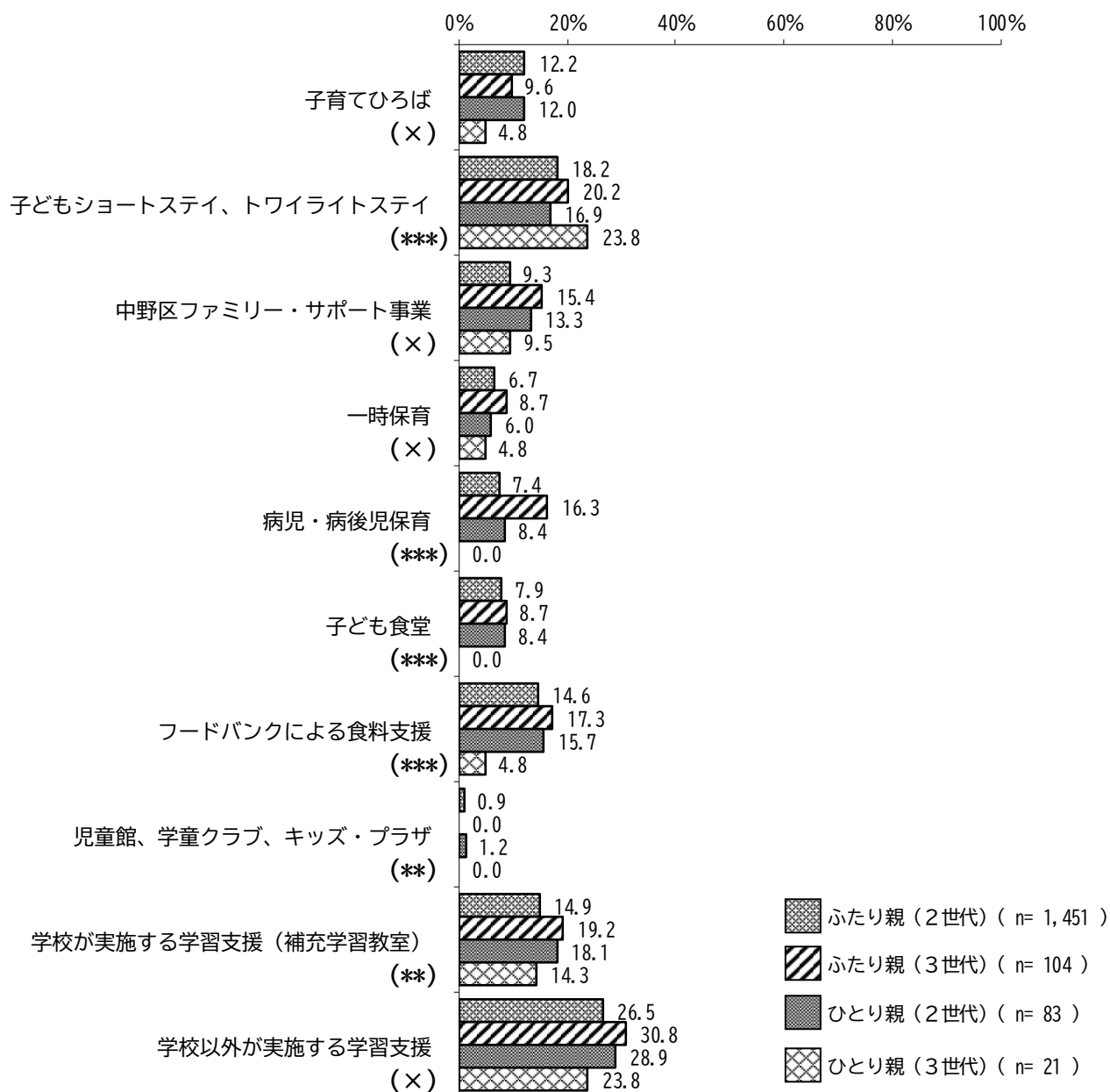


支援サービスの非認知による不利用率を〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、〔子育てひろば〕は【2世代】が【3世代】に比べ、高くなっている。特に、〔中学生〕の【ひとり親（2世代）】が23.8%と、【ひとり親（3世代）】（9.5%）よりも14.3ポイント高くなっている。

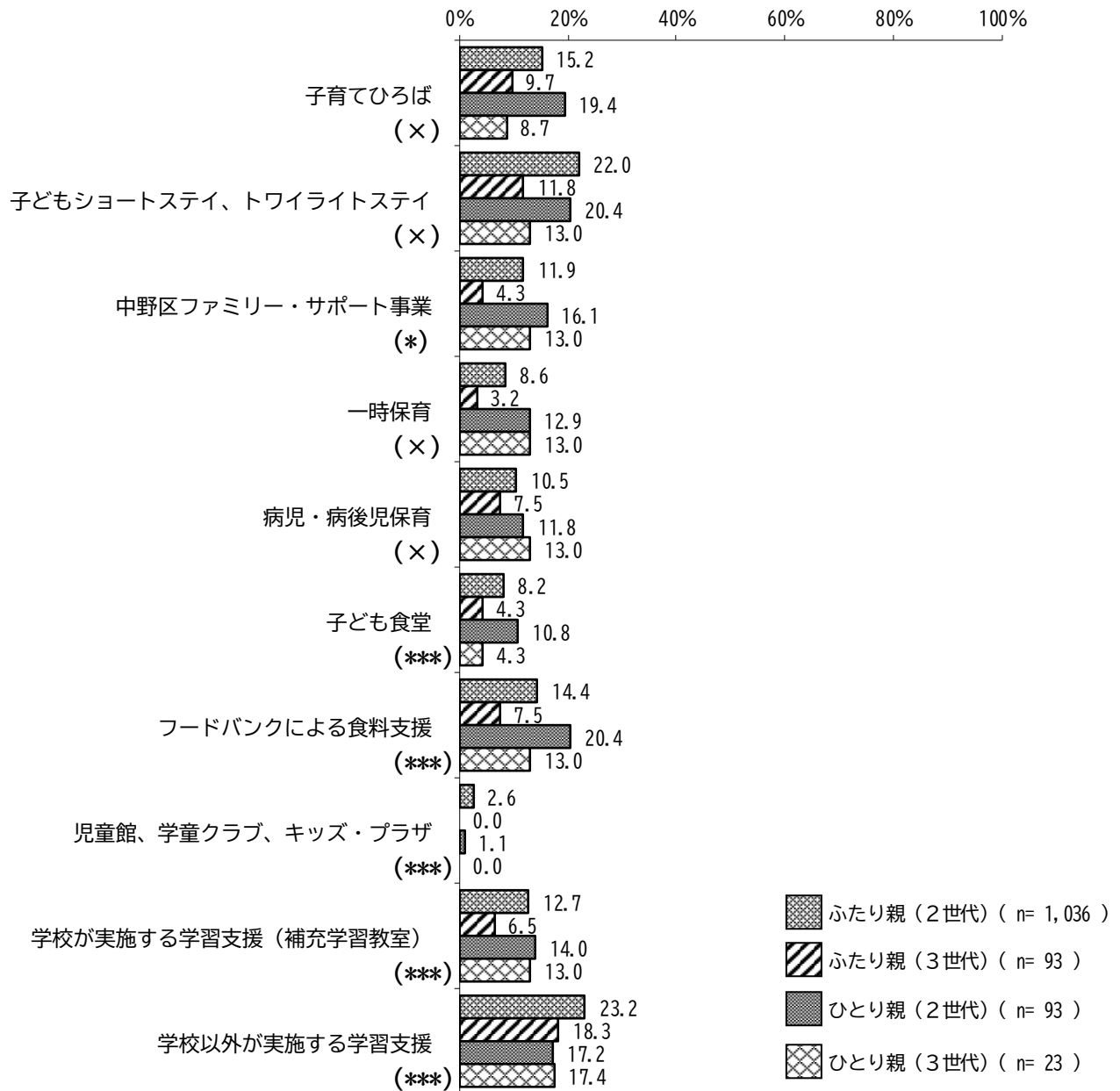
<保護者>支援サービスの非認知による不利用率【世帯タイプ別】未就学児



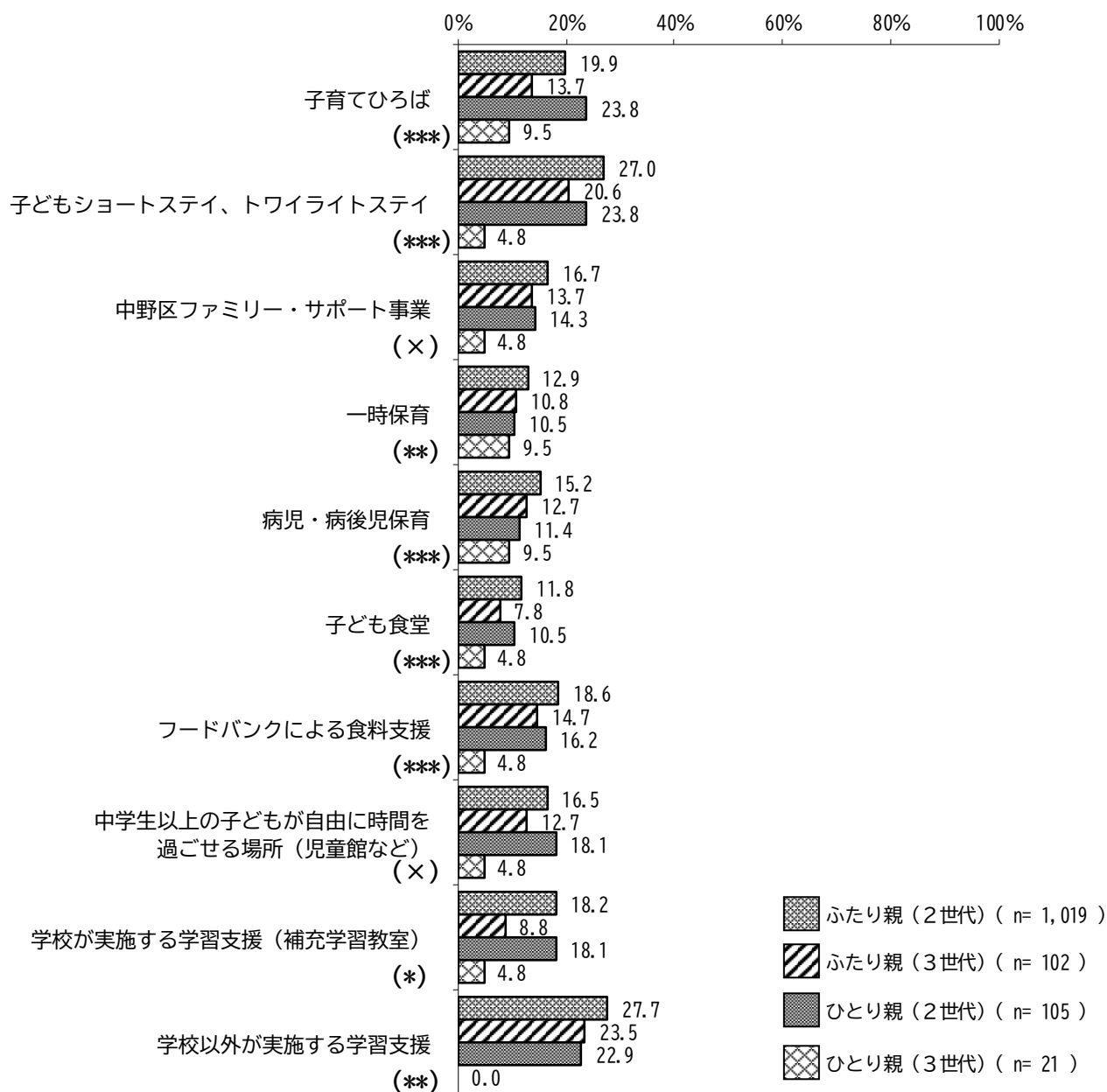
＜保護者＞支援サービスの非認知による不利用率【世帯タイプ別】小学生①



<保護者>支援サービスの非認知による不利用率【世帯タイプ別】小学生②

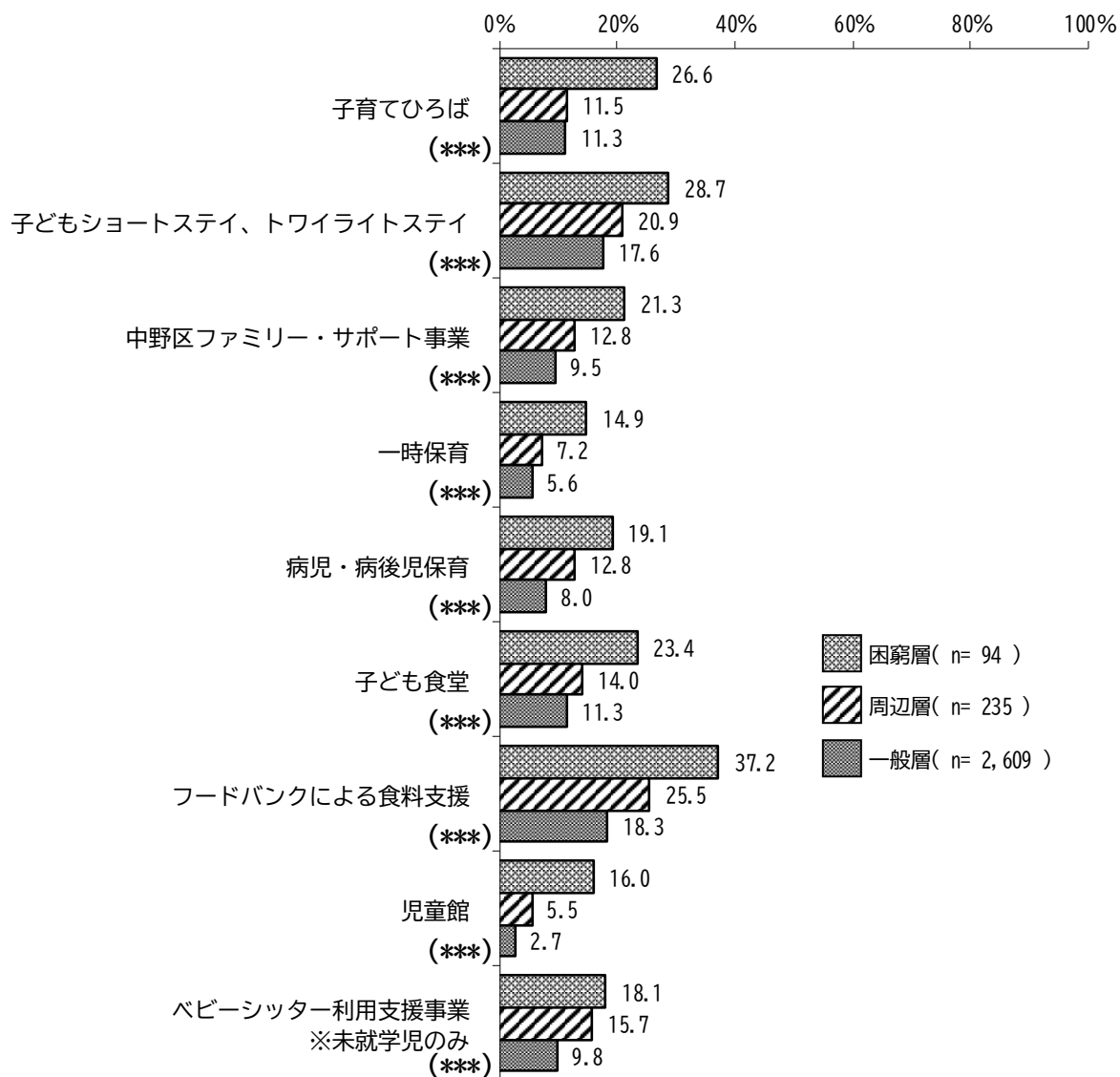


＜保護者＞支援サービスの非認知による不利用率【世帯タイプ別】中学生

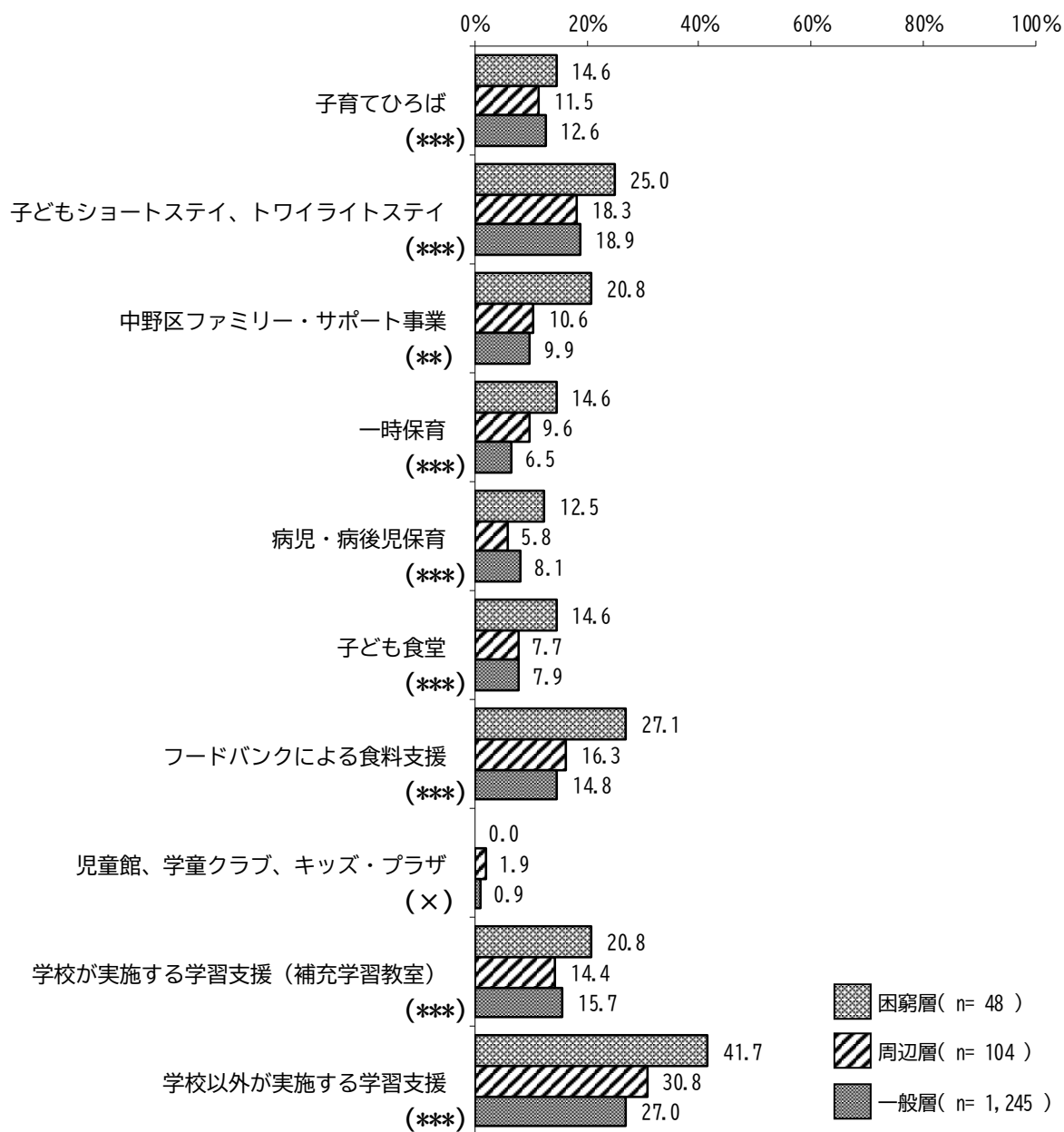


支援サービスの非認知による不利用率を〔子どもの年齢層〕ごとに、生活困難度別にみると、〔小学生①〕の〔児童館、学童クラブ、キッズ・プラザ〕と〔中学生〕の〔学校以外が実施する学習支援〕を除き、【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生②〕の〔中野区ファミリー・サポート事業〕は【困窮層】が36.0%と、【周辺層】（8.9%）よりも27.1ポイント高くなっている。

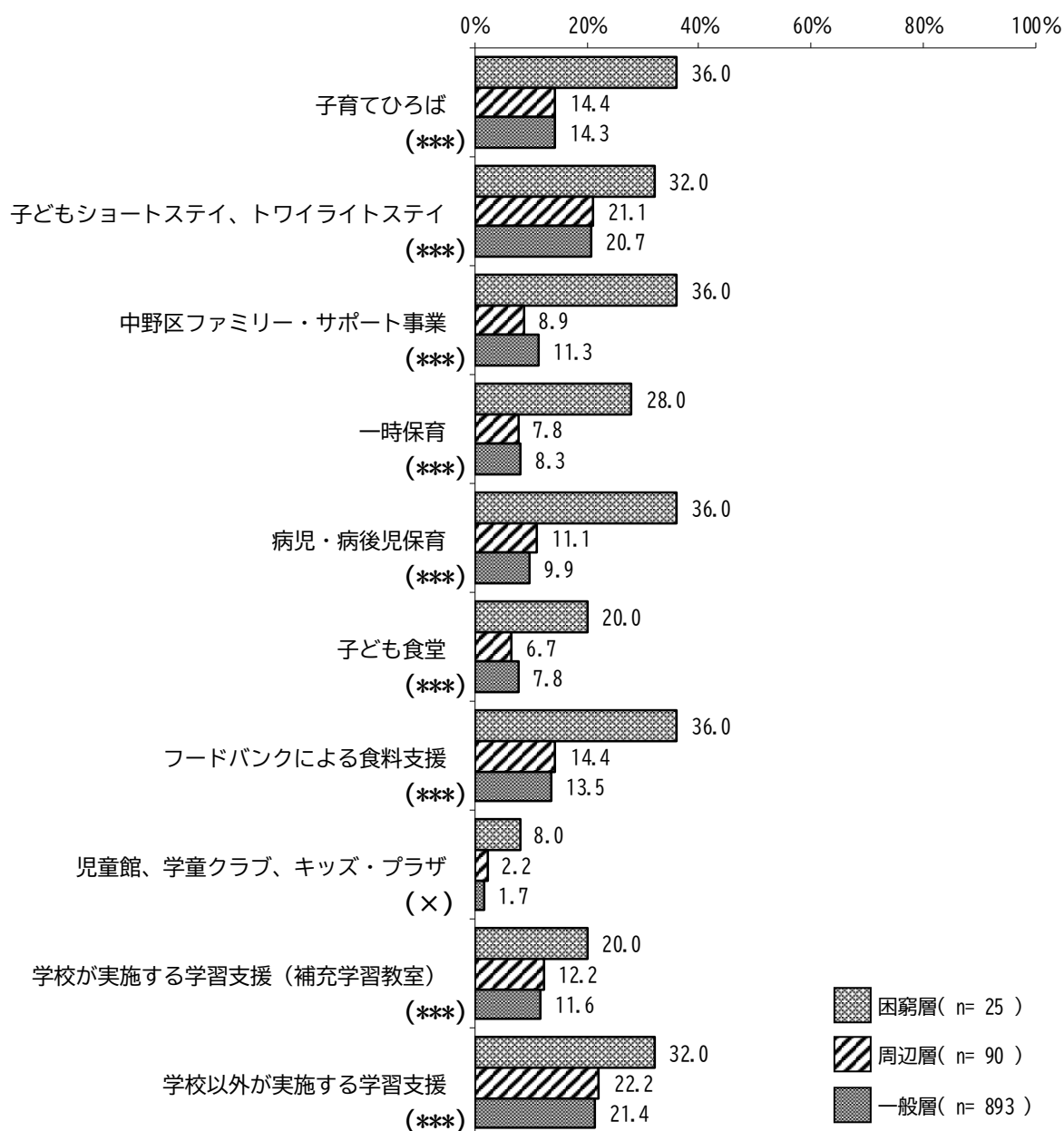
<保護者>支援サービスの非認知による不利用率【生活困難度別】未就学児



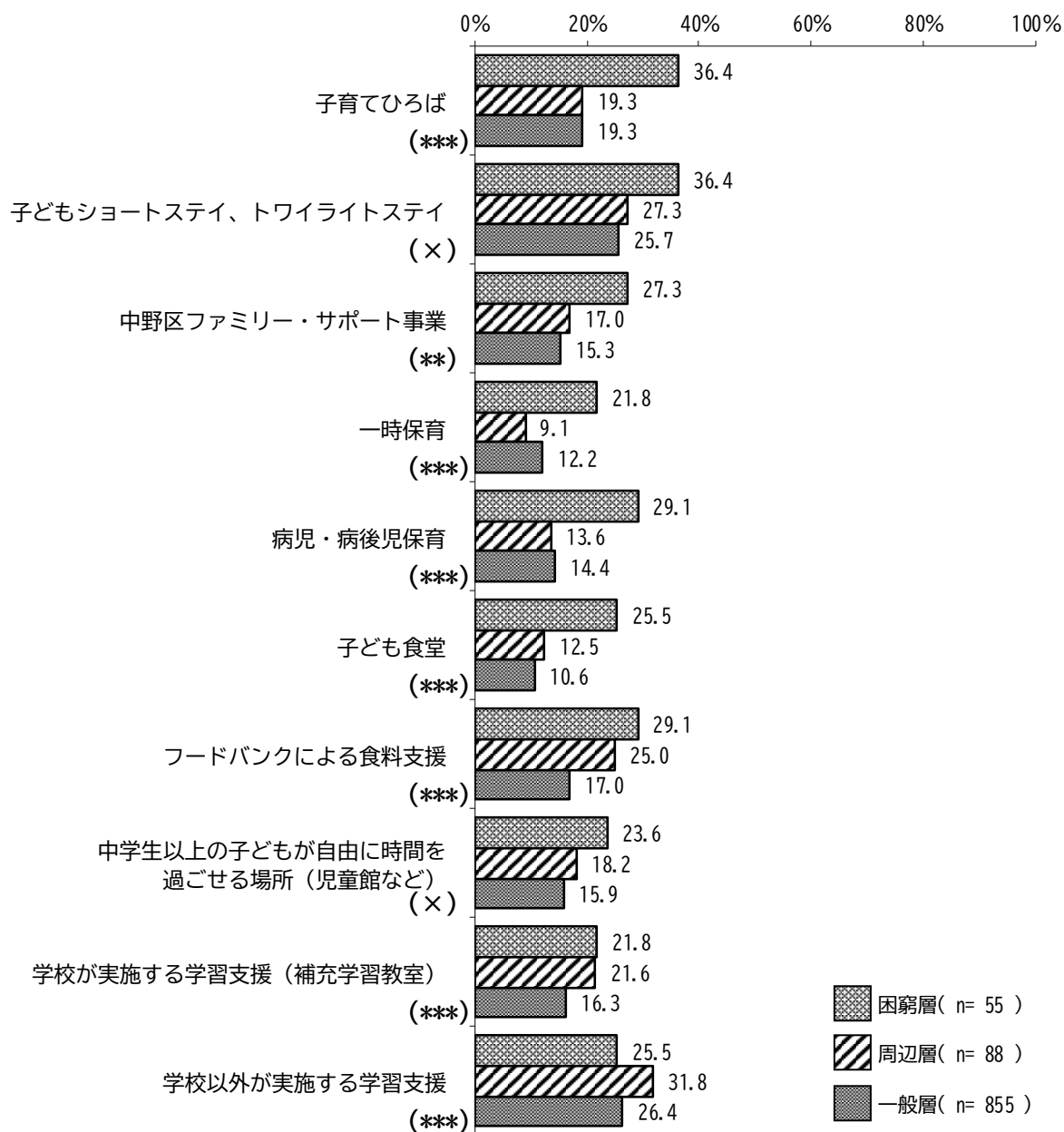
＜保護者＞支援サービスの非認知による不利用率【生活困難度別】小学生①



<保護者>支援サービスの非認知による不利用率【生活困難度別】小学生② (***)



<保護者>支援サービスの非認知による不利用率【生活困難度別】中学生 (***)

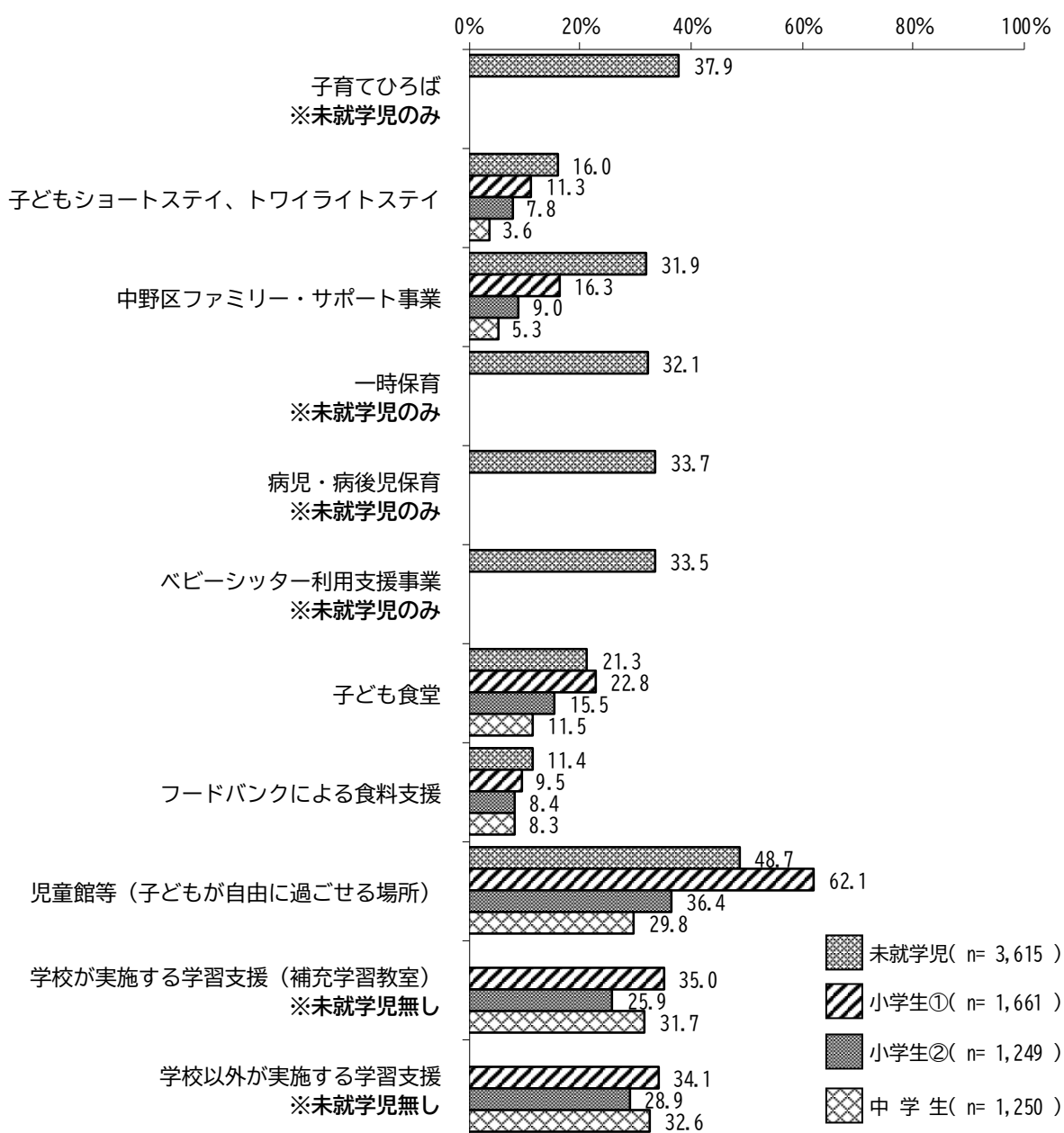


(3) 保護者の支援サービス利用意向

現在、下記の支援制度等を利用することに興味がありますか。(〇はいくつでも)

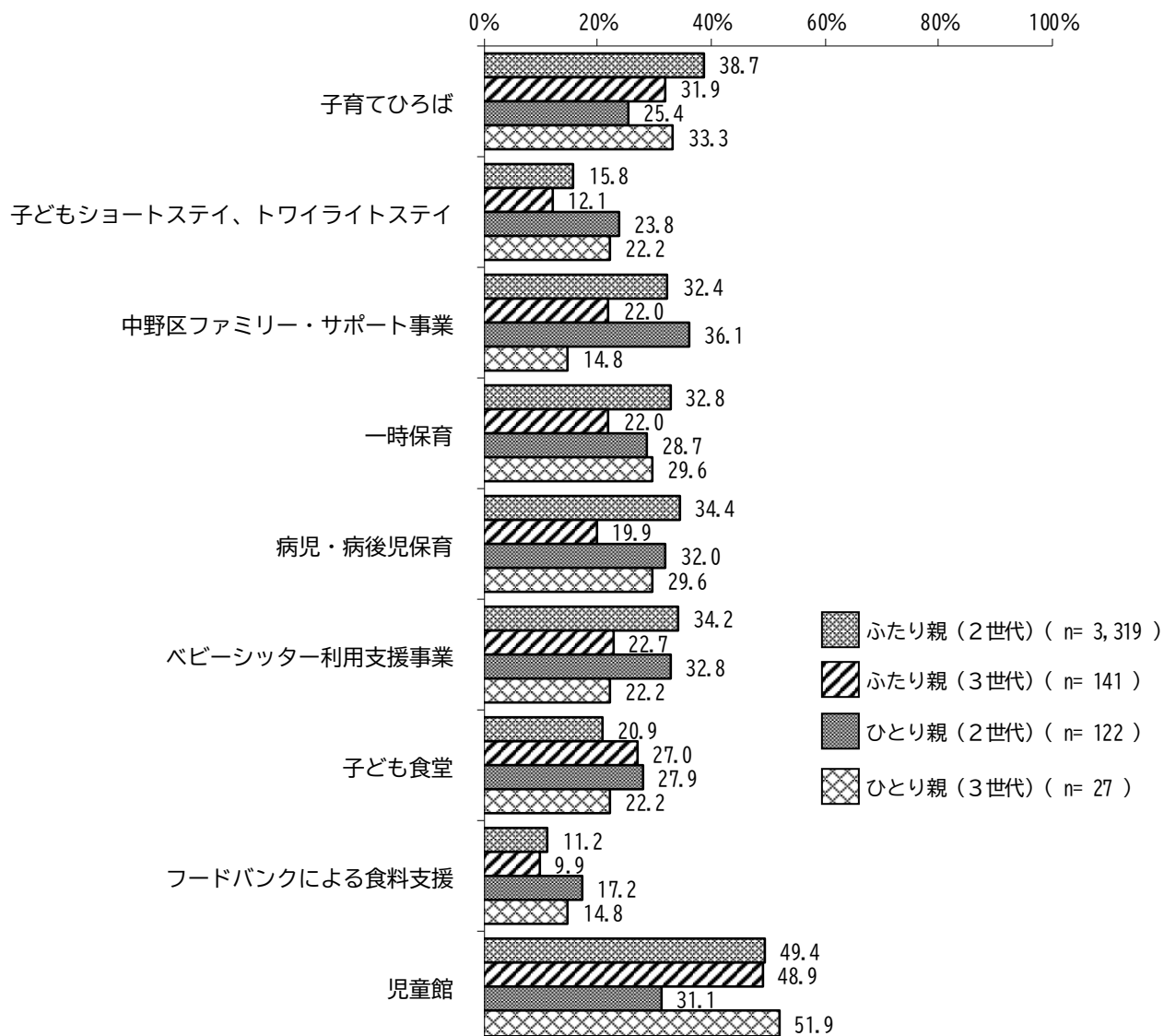
子どもの年齢層別にみると、「児童館等」は【小学生①】が 62.1%と他の区分に比べ、高くなっている。「子どもショートステイ、トワイライトステイ」及び「中野区ファミリー・サポート事業」は子どもの年齢層が低くなるほど、その割合が高くなり【未就学児】がそれぞれ 16.0%、31.9%となっている。

<保護者>保護者の支援サービス利用意向【子どもの年齢層別】

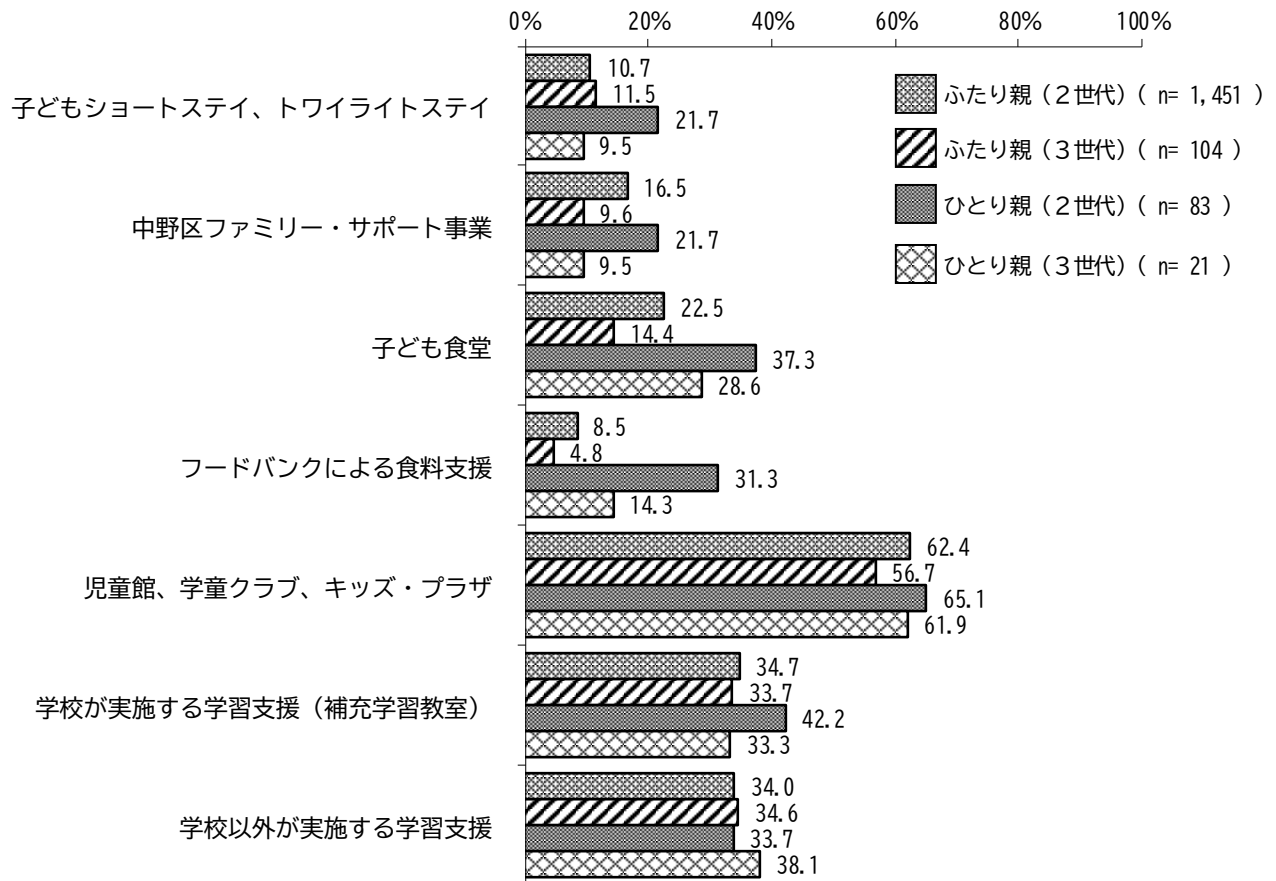


支援サービスの利用意向を〔子どもの年齢層〕ごとに、世帯タイプ別にみると、「フードバンクによる食料支援」は【ひとり親】が【ふたり親】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生①〕の【ひとり親（２世代）】が31.3%と、【ふたり親（２世代）】（8.5%）よりも22.8ポイント高くなっている。

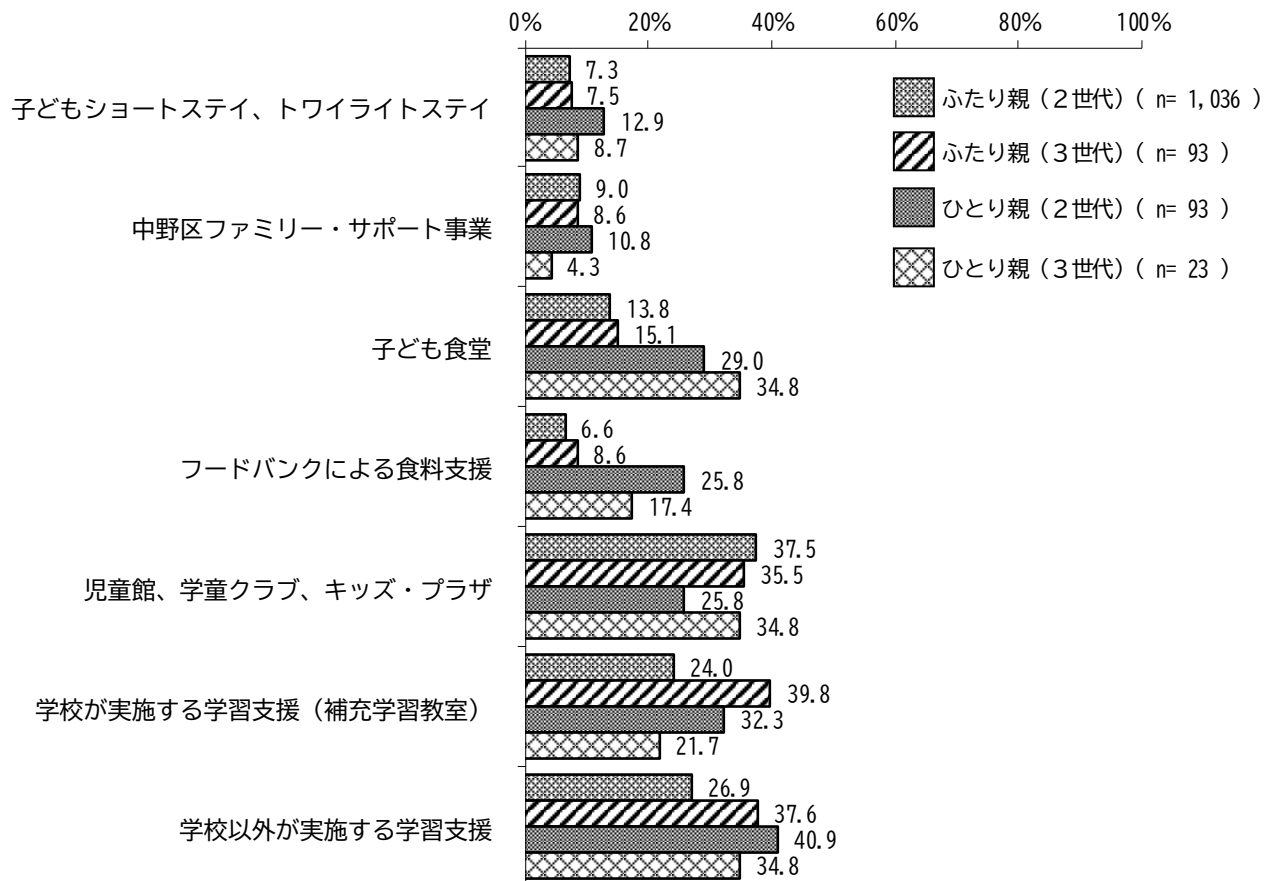
<保護者>保護者の支援サービス利用意向【世帯タイプ別】未就学児（***）



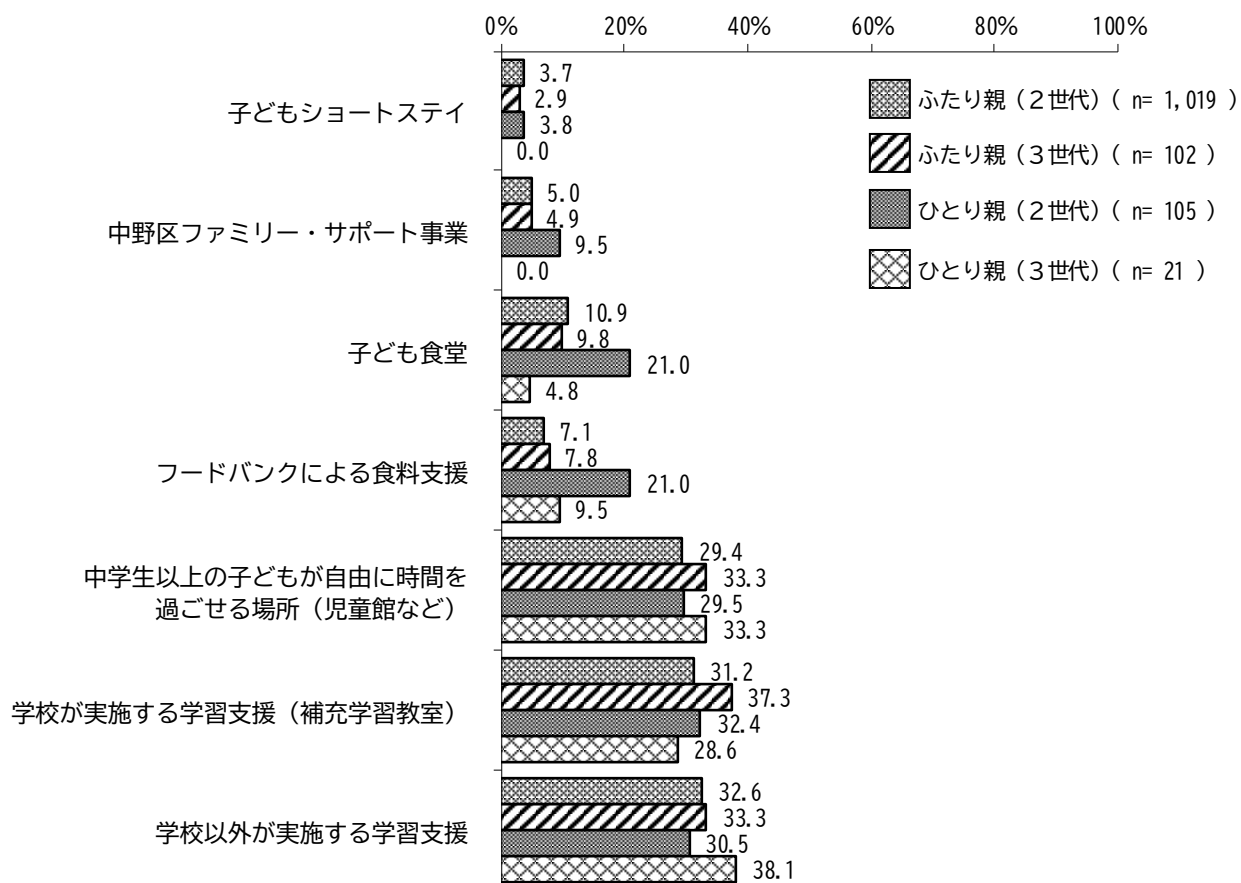
<保護者>保護者の支援サービス利用意向【世帯タイプ別】小学生① (***)



<保護者>保護者の支援サービス利用意向【世帯タイプ別】小学生② (***)

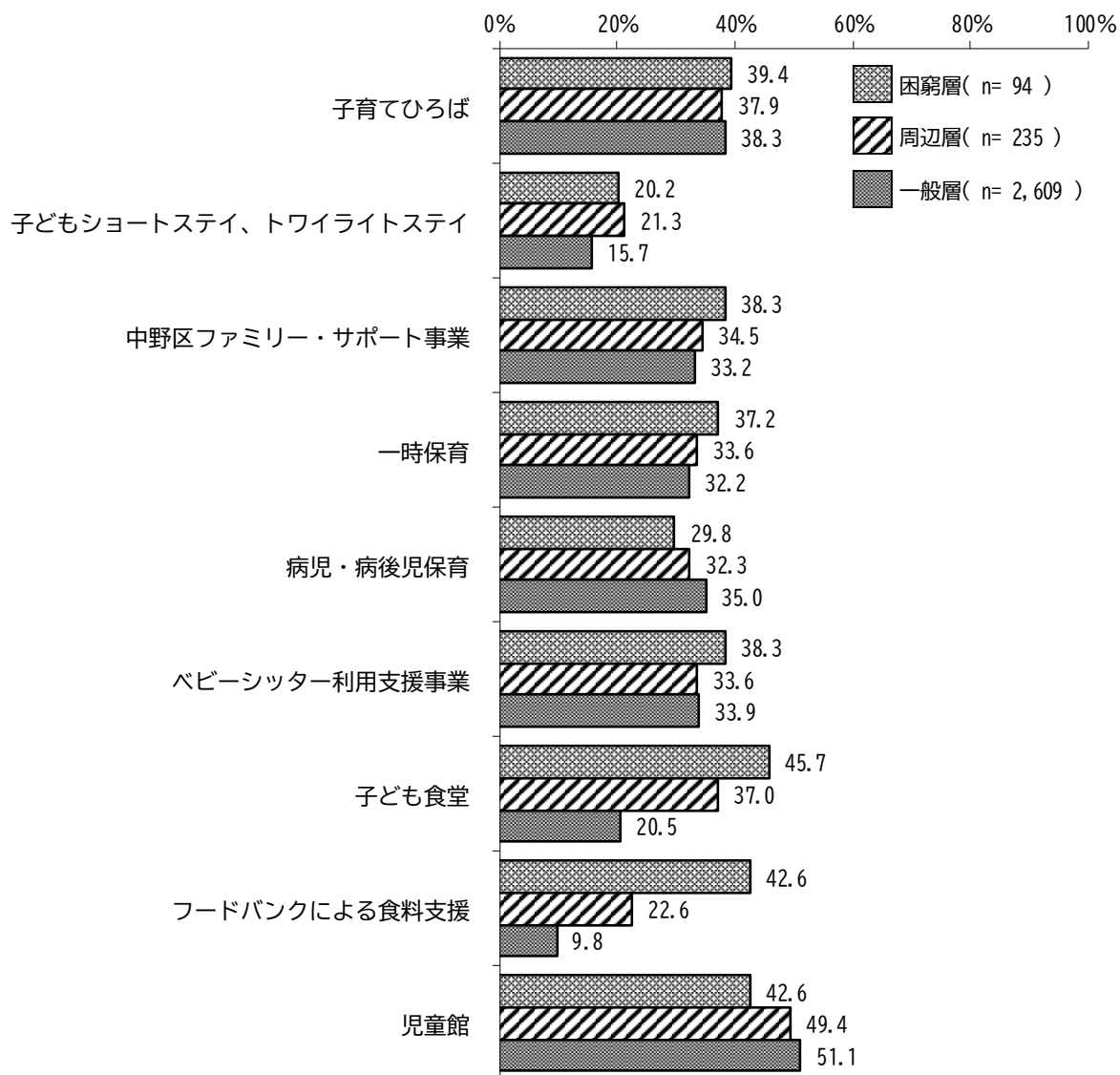


<保護者>保護者の支援サービス利用意向【世帯タイプ別】中学生（***）

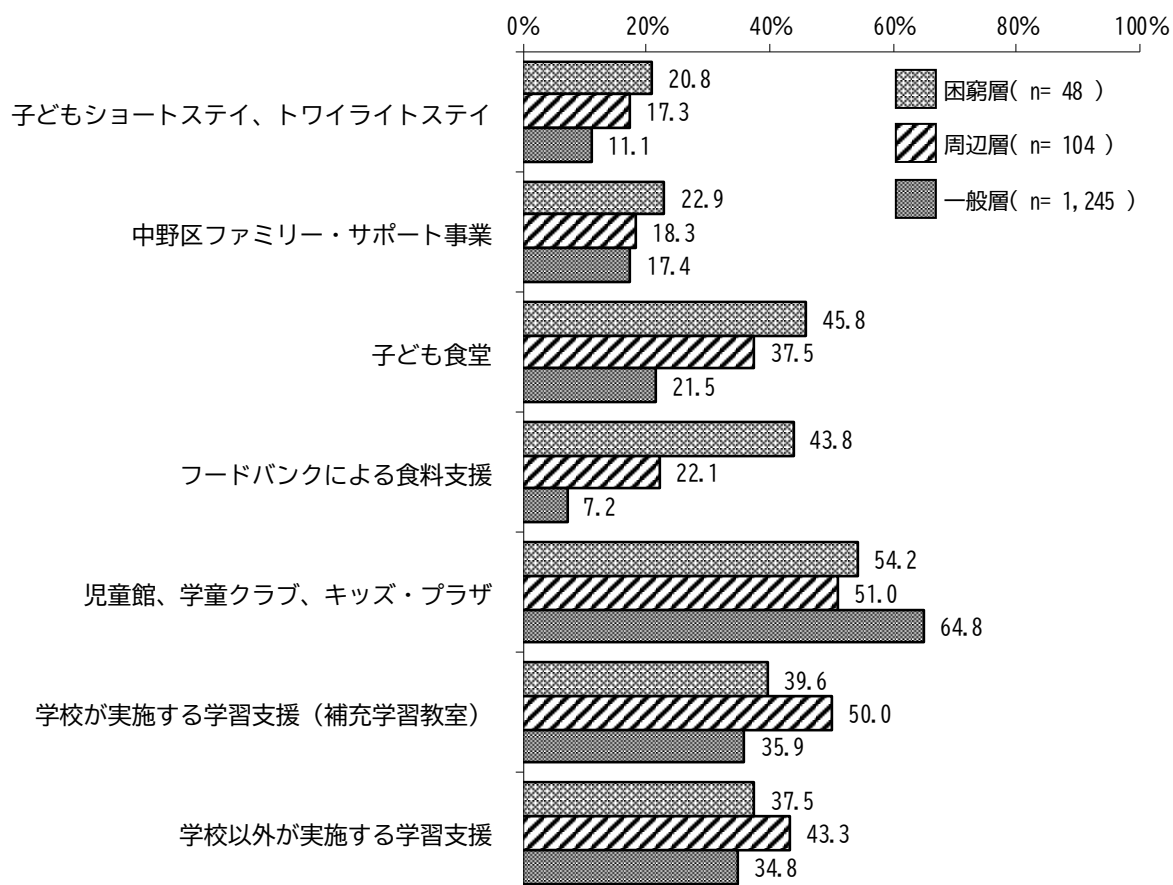


支援サービスの利用意向を「子どもの年齢層」ごとに、生活困難度別にみると、「中野区ファミリー・サポート事業」、「子ども食堂」及び「フードバンクによる食料支援」はすべての年齢層で【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、「小学生②」の「子ども食堂」は【困窮層】が 60.0%と、【周辺層】（33.3%）よりも 26.7 ポイント高くなっている。

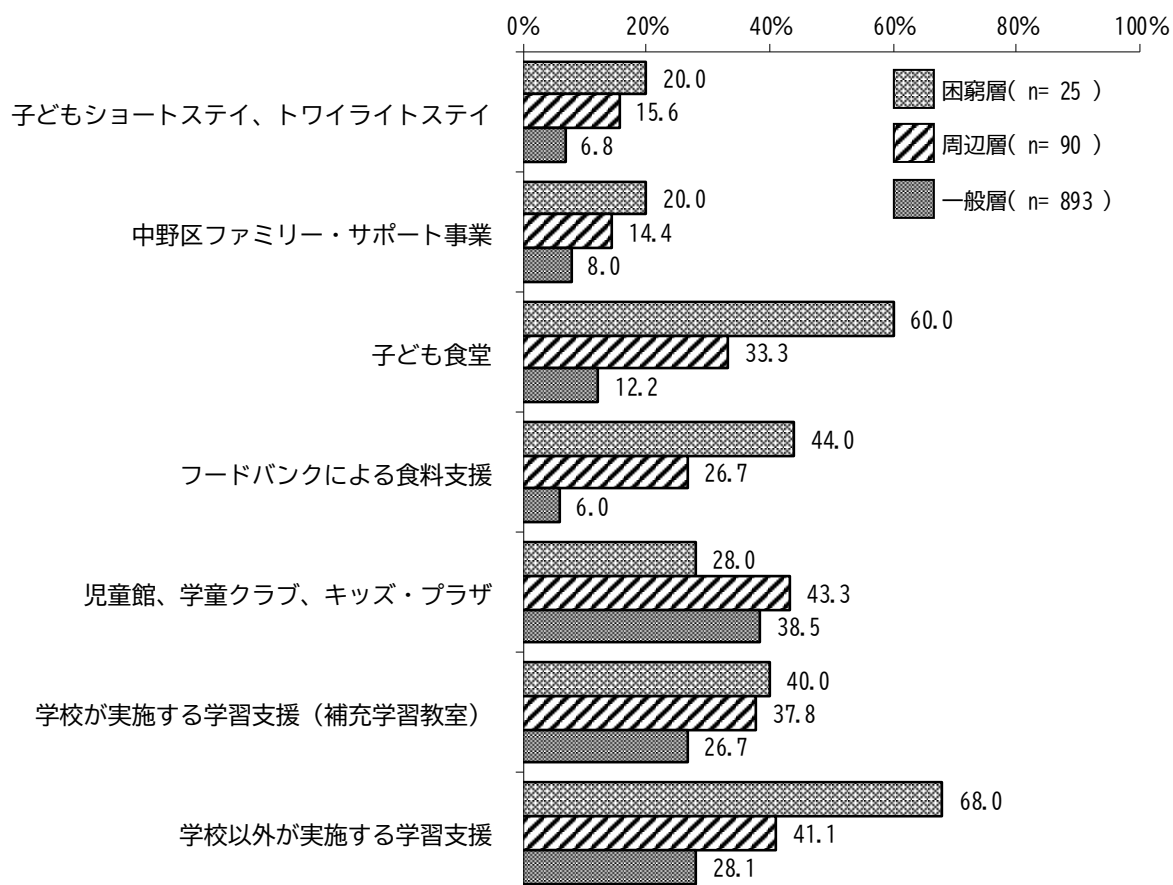
<保護者>保護者の支援サービス利用意向【生活困難度別】未就学児（***）



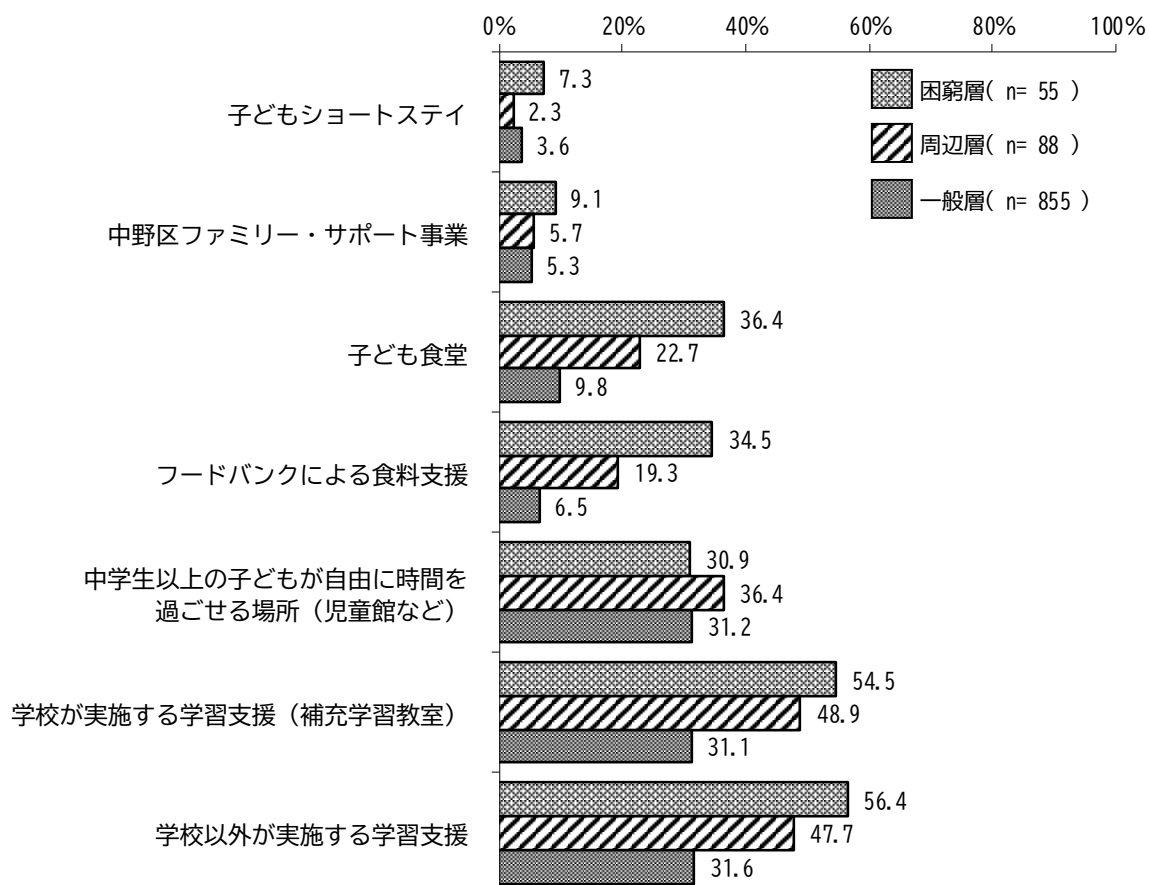
<保護者>保護者の支援サービス利用意向【生活困難度別】小学生① (***)



<保護者>保護者の支援サービス利用意向【生活困難度別】小学生② (***)



<保護者>保護者の支援サービス利用意向【生活困難度別】中学生（***）



5 相談窓口の利用状況・認知状況

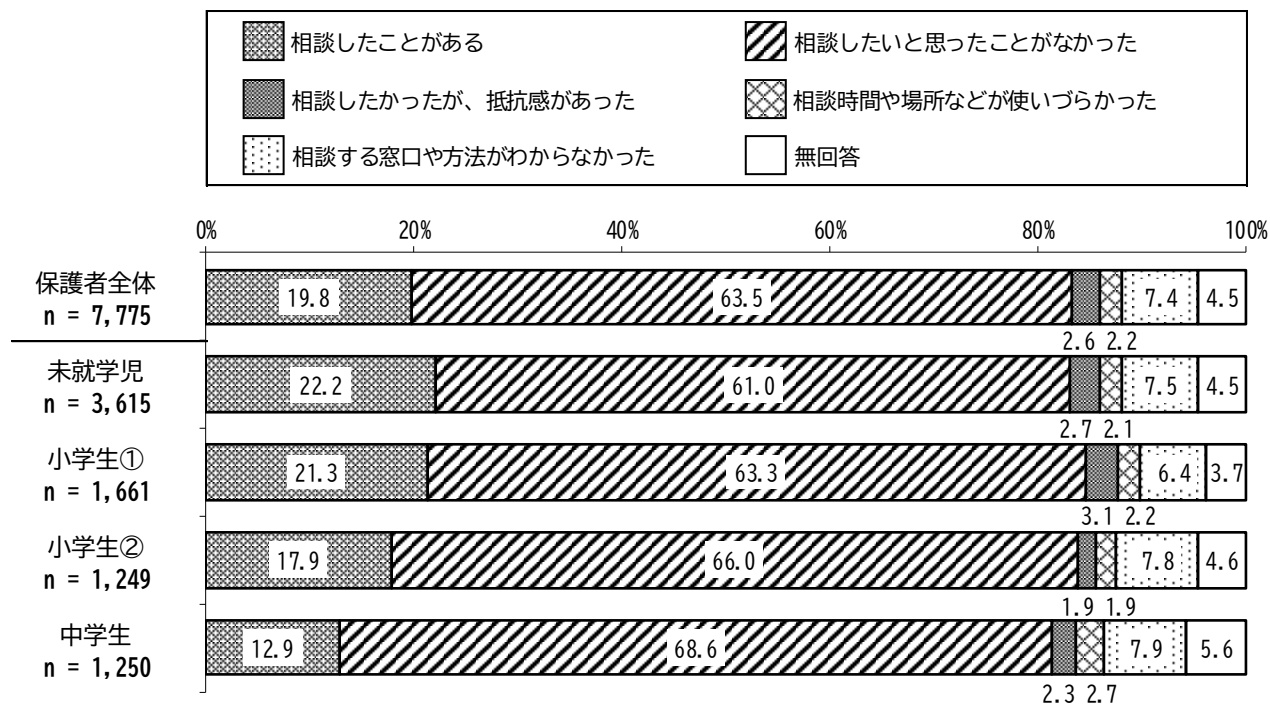
(1) 相談窓口の利用状況

あなたは、これまで困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

〔子ども総合窓口（区役所3階）〕について、保護者全体では「相談したいと思ったことがなかった」が63.5%、「相談したことがある」が19.8%となっている。

子どもの年齢層でみると、「相談したことがある」は子どもの年齢層が低くなるほど、その割合が高くなり【未就学児】が22.2%となっている。

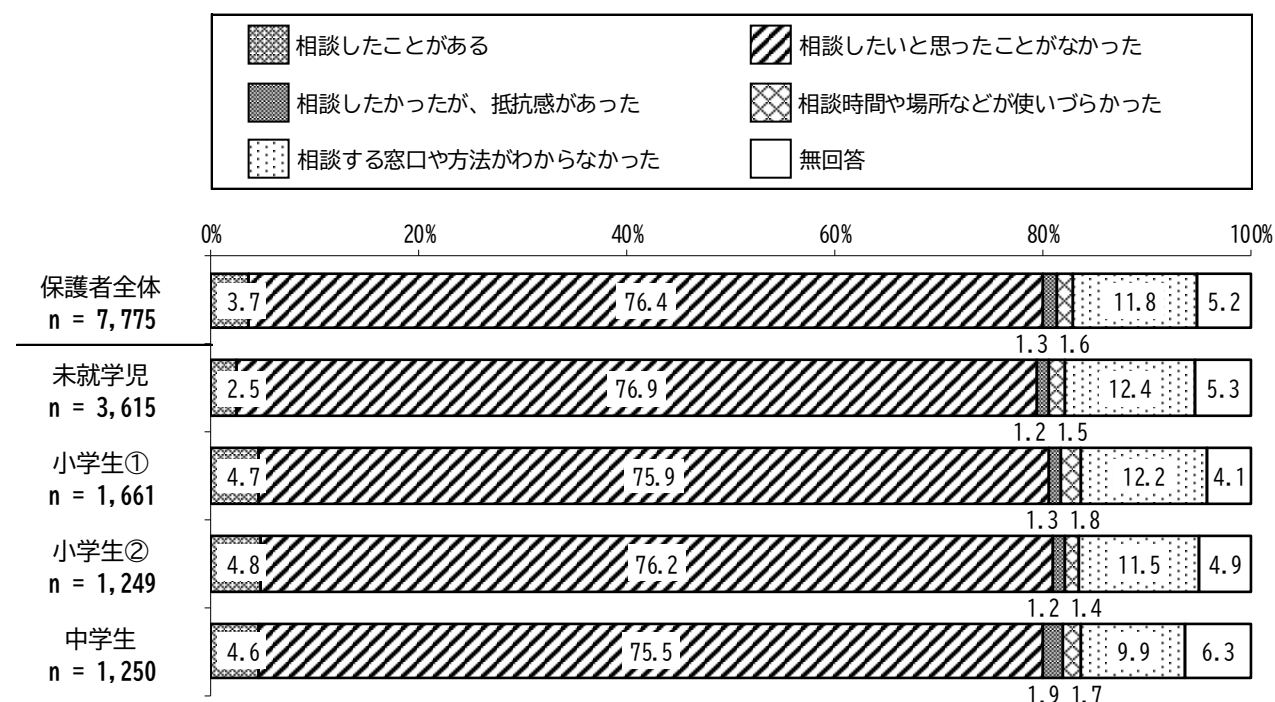
<保護者>〔子ども総合窓口（区役所3階）〕【子どもの年齢層別】



〔子ども・若者支援センター（みらいステップなかの）〕について、保護者全体では「相談したいと思ったことがなかった」が76.4%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

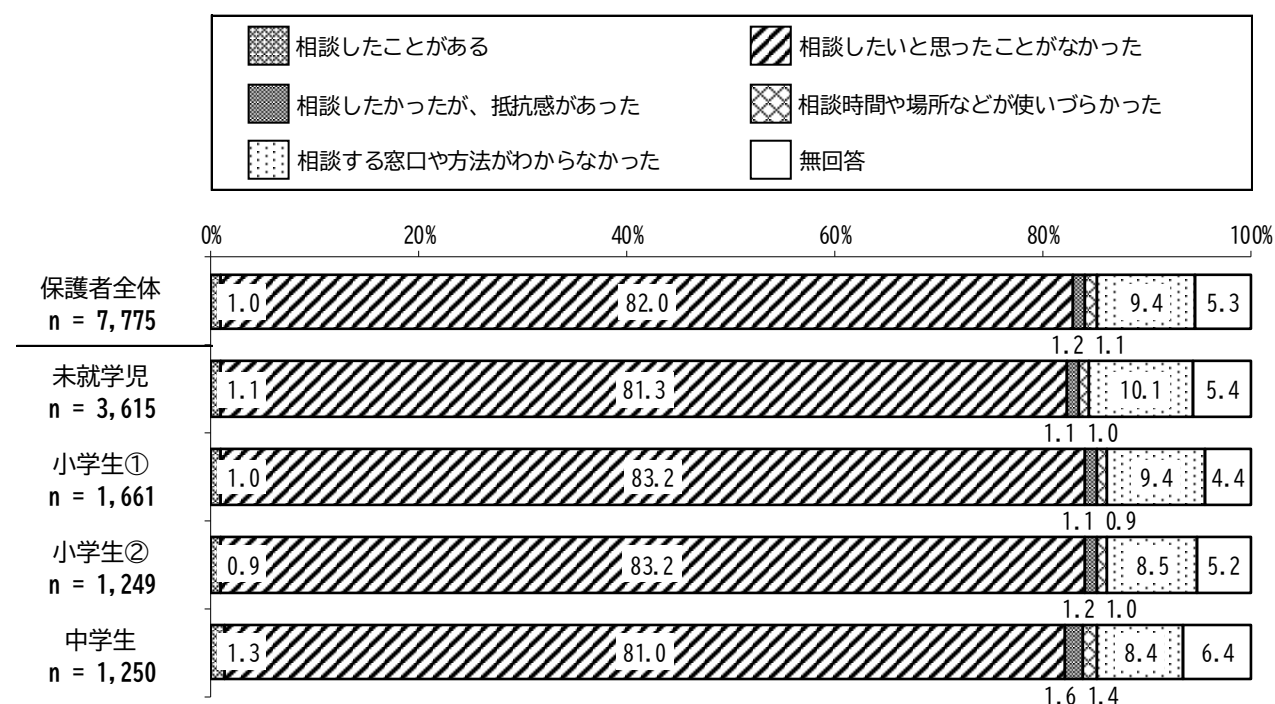
<保護者>〔子ども・若者支援センター（みらいステップなかの）〕【子どもの年齢層別】



〔生活援護課（区役所4階生活相談窓口）〕について、保護者全体では「相談したいと思ったことがなかった」が82.0%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

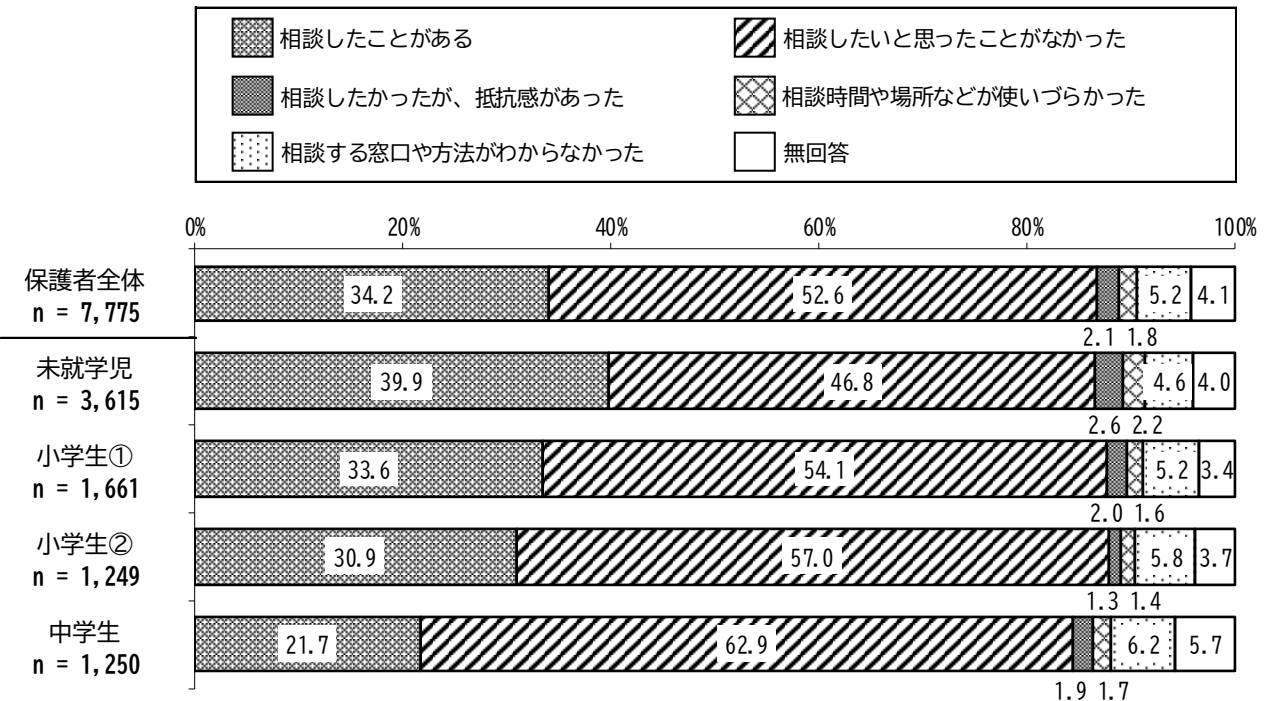
<保護者>〔生活援護課（区役所4階生活相談窓口）〕【子どもの年齢層別】



「すこやか福祉センター」について、保護者全体では「相談したいと思ったことがなかった」が 52.6%、「相談したことがある」が 34.2%となっている。

子どもの年齢層でみると、「相談したことがある」は子どもの年齢層が低くなるほど、その割合が高くなり【未就学児】が 39.9%となっている。

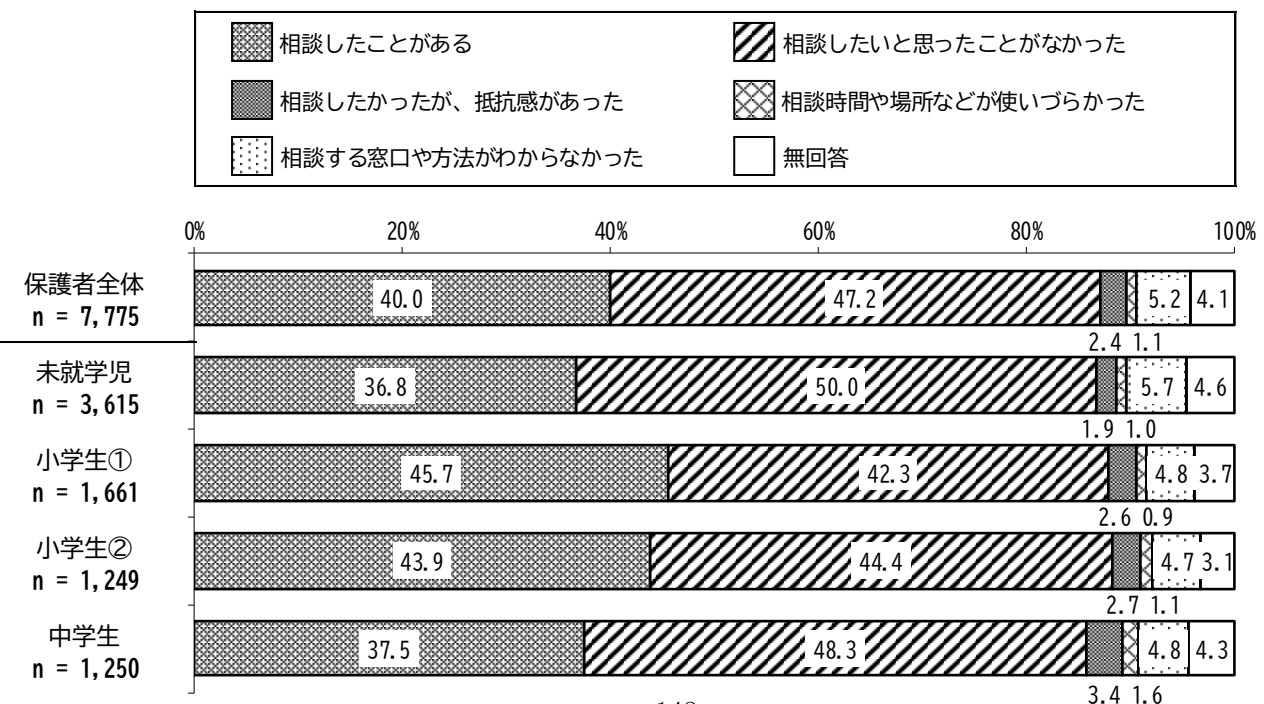
＜保護者＞「すこやか福祉センター」【子どもの年齢層別】



「学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど」について、保護者全体では「相談したいと思ったことがなかった」が 47.2%、「相談したことがある」が 40.0%となっている。

子どもの年齢層でみると、「相談したことがある」は【小学生①】が 45.7%と他の区分に比べ、高くなっている。

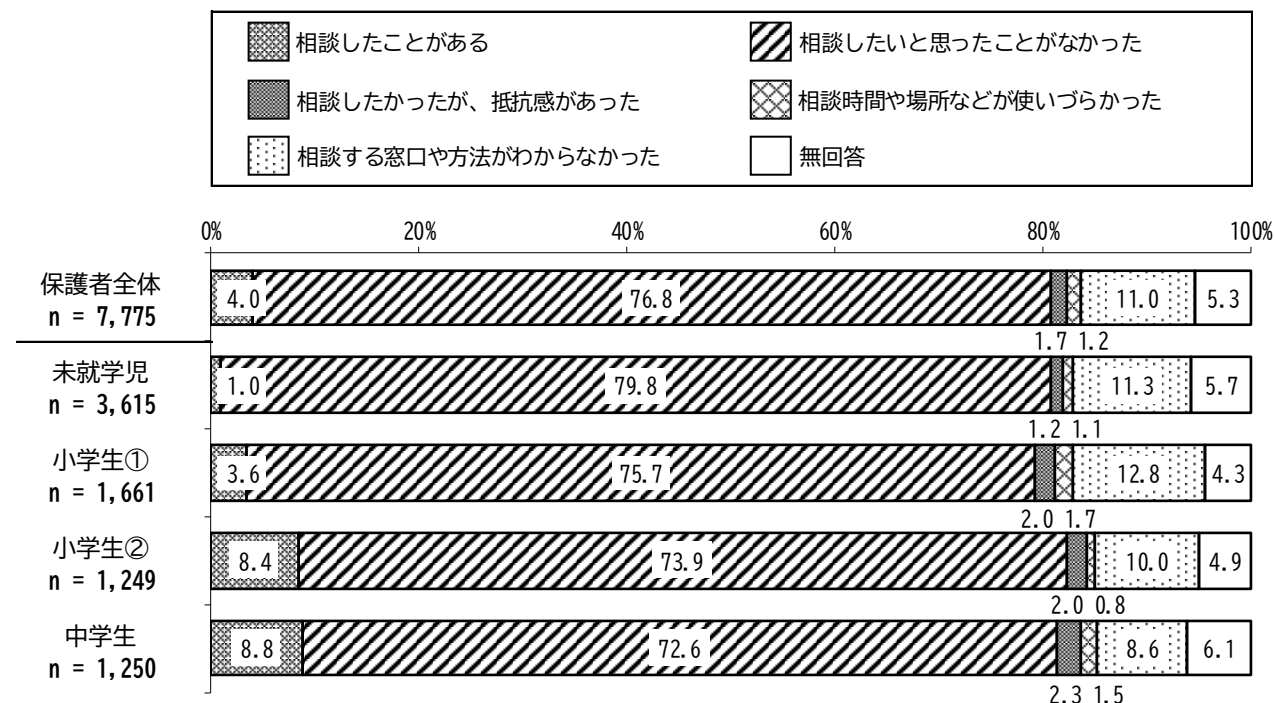
＜保護者＞「学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど」【子どもの年齢層別】



「教育センター（教育相談室）」について、保護者全体では「相談したいと思ったことがなかった」が76.8%となっている。

子どもの年齢層でみると、「相談したことがある」は子どもの年齢層が高くなるほど、その割合が高くなり【小学生②】が8.4%、【中学生】が8.8%となっている。

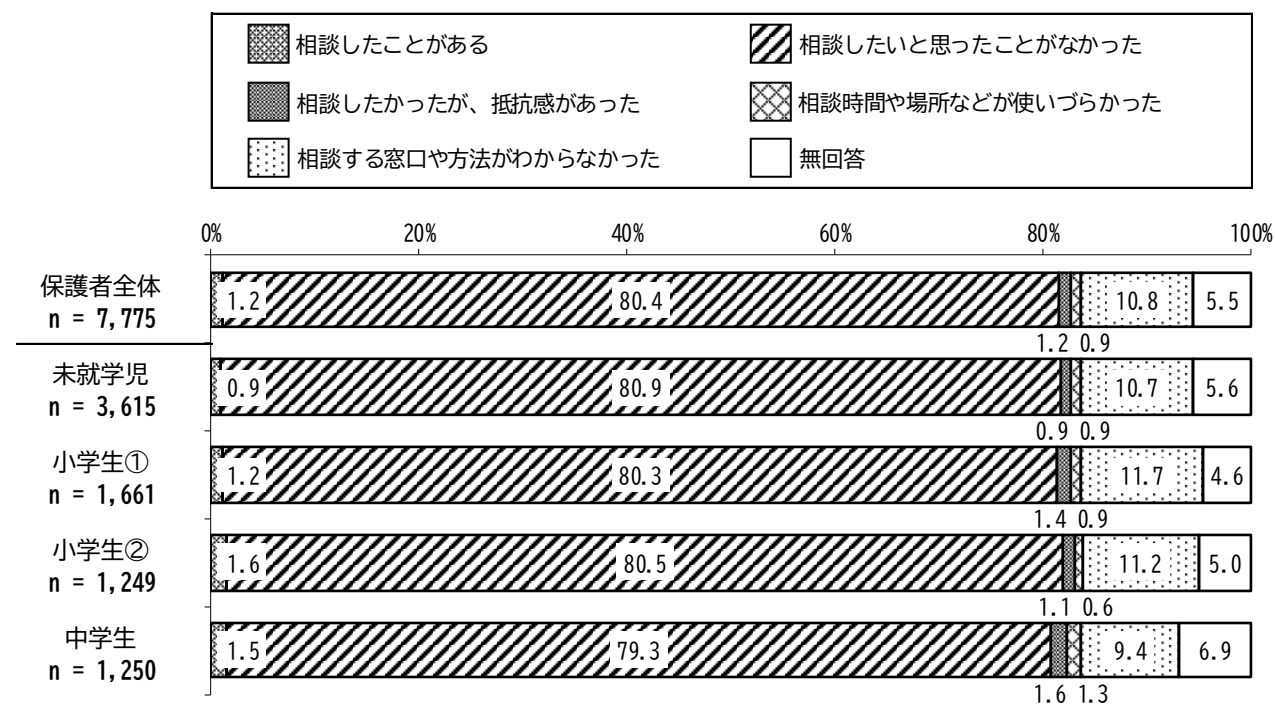
<保護者>【教育センター（教育相談室）】【子どもの年齢層別】



「民生委員・児童委員」について、保護者全体では「相談したいと思ったことがなかった」が80.4%となっている。

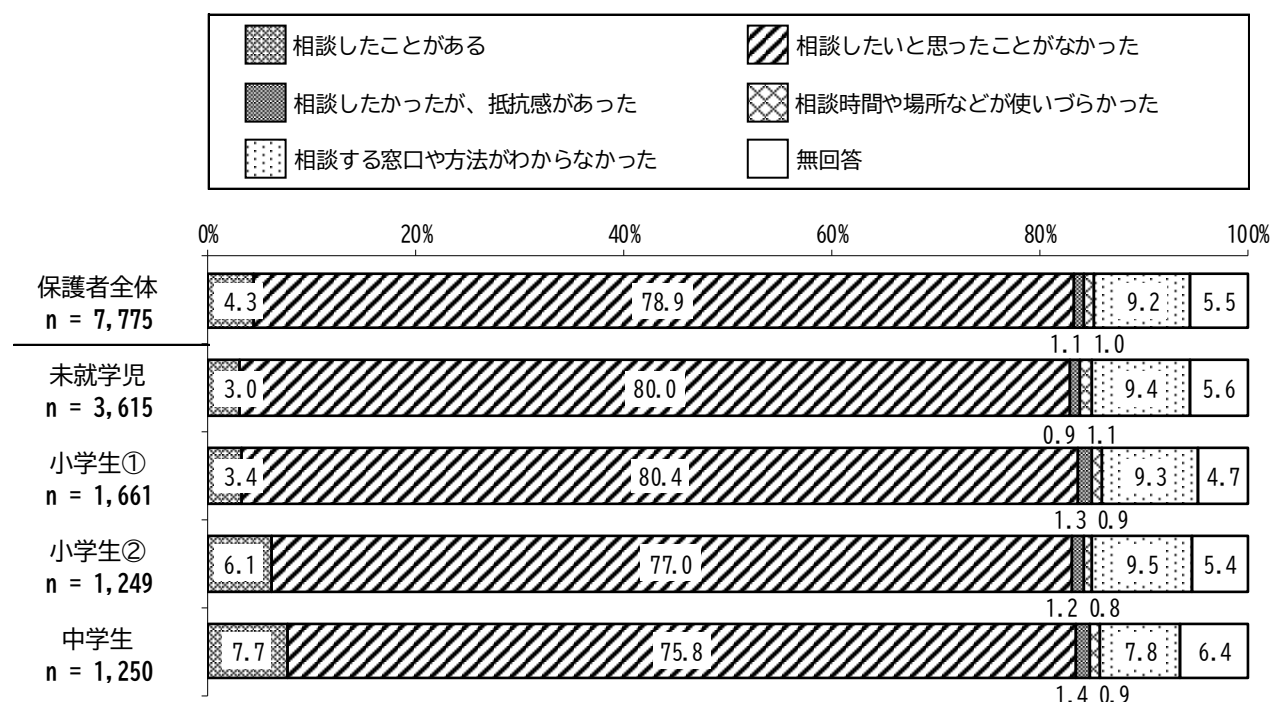
子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者>【民生委員・児童委員】【子どもの年齢層別】



【保健所】について、保護者全体では「相談したいと思ったことがなかった」が78.9%となっている。
 子どもの年齢層でみると、「相談したことがある」は子どもの年齢層が高くなるほど、その割合が高くなり【中学生】が7.7%となっている。

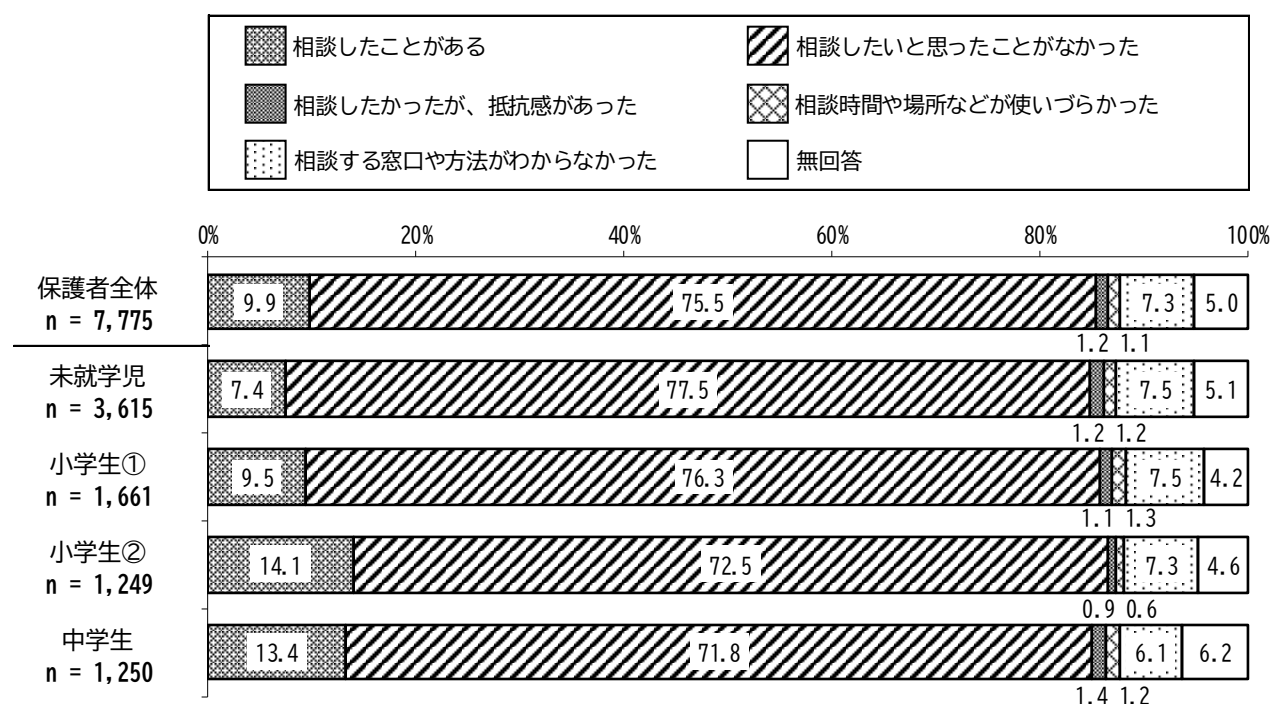
<保護者>【保健所】【子どもの年齢層別】



【ハローワーク】について、保護者全体では「相談したいと思ったことがなかった」が75.5%となっている。

子どもの年齢層でみると、「相談したことがある」は【小学生②】が14.1%と他の区分に比べ、高くなっている。

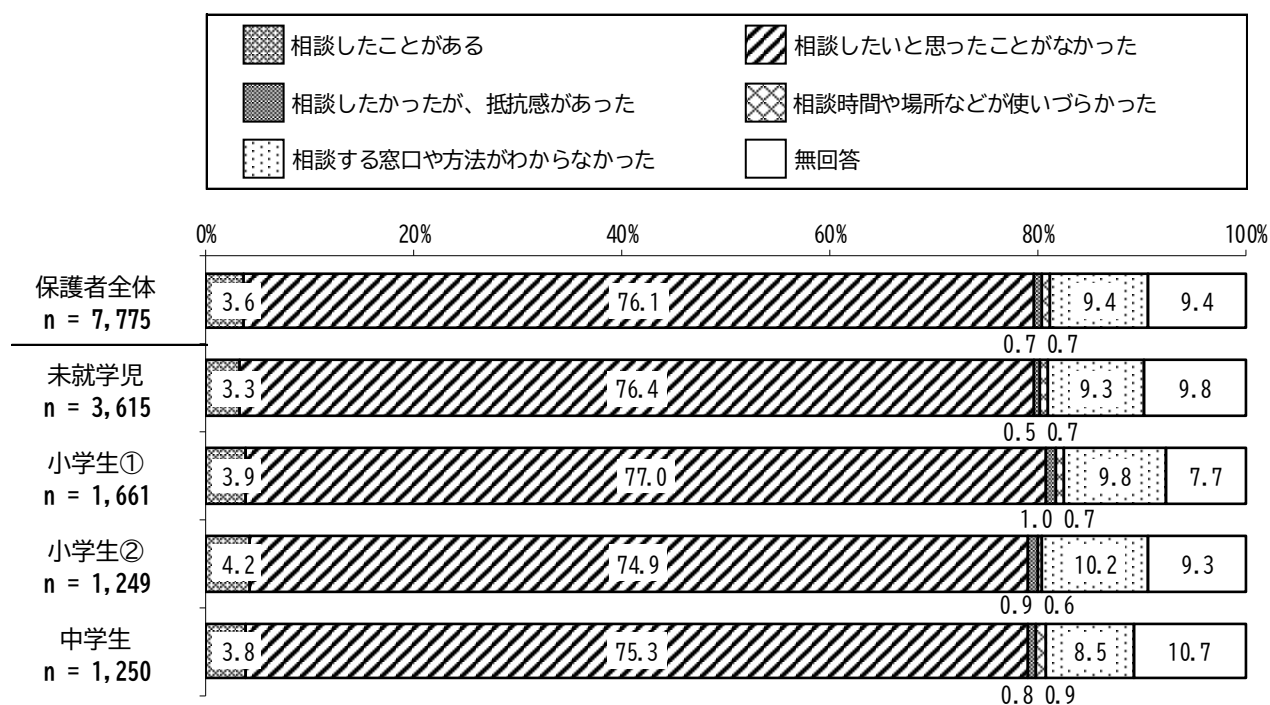
<保護者>【ハローワーク】【子どもの年齢層別】



〔上記以外の公的機関〕について、保護者全体では「相談したいと思ったことがなかった」が 76.1%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者>〔上記以外の公的機関〕【子どもの年齢層別】



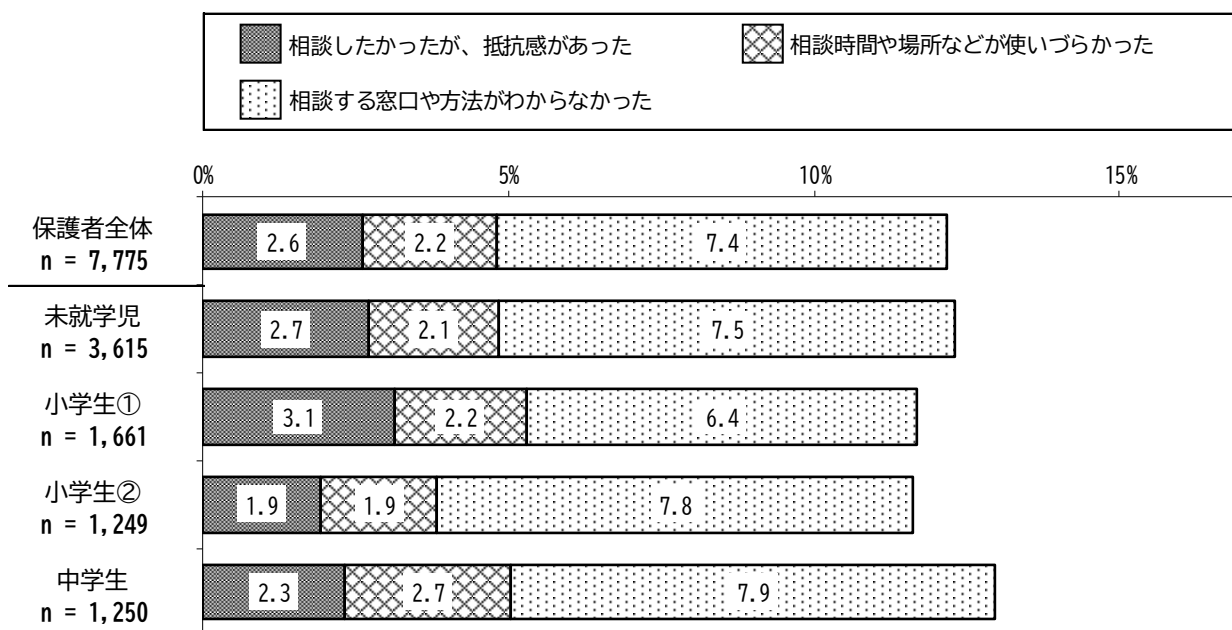
(2) 相談したことがない理由

あなたは、これまで困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

※『相談したことがない』うち、「相談したかったが、抵抗感があった」「相談時間や場所などが使いづらかった」「相談する窓口や方法がわからなかった」を比較

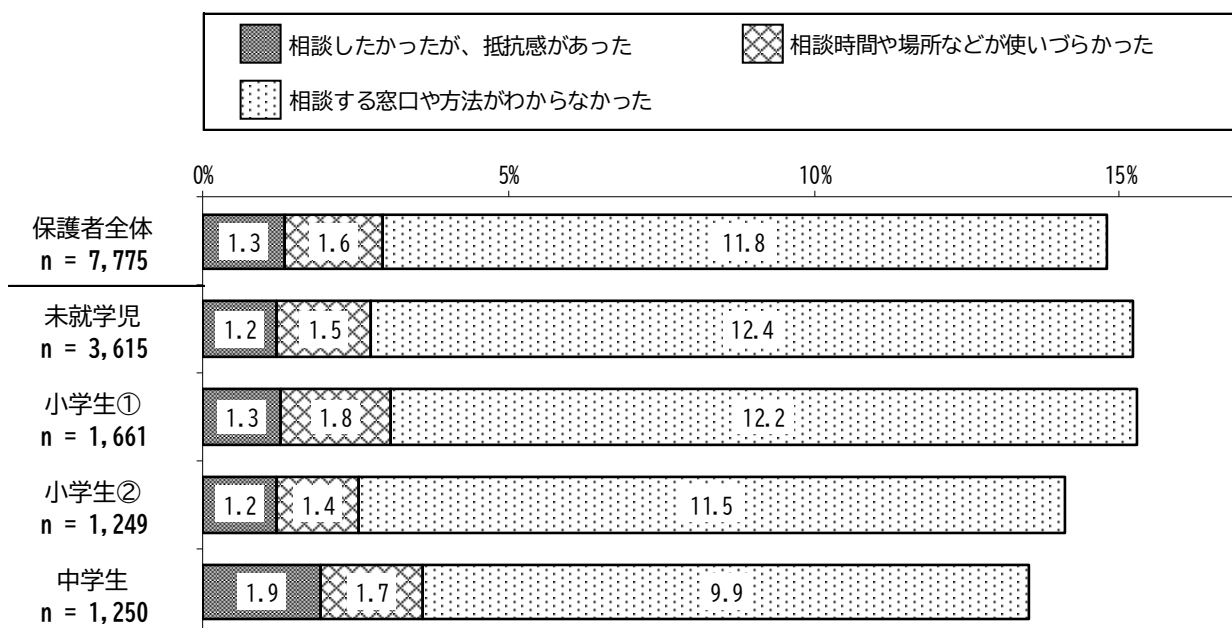
〔子ども総合窓口（区役所3階）〕について、子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者>〔子ども総合窓口（区役所3階）〕【子どもの年齢層別】



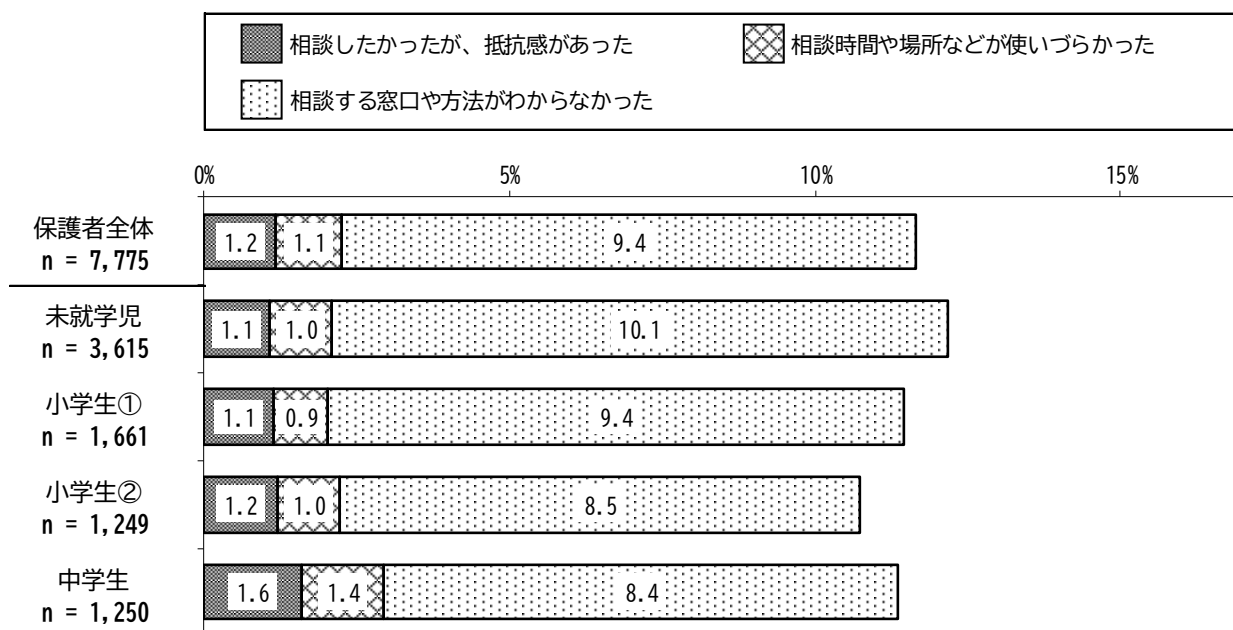
〔子ども・若者支援センター（みらいステップなかの）〕について、子どもの年齢層別にみると、「相談する窓口や方法がわからなかった」は【中学生】が9.9%と他の区分に比べ、低くなっている。

<保護者>〔子ども・若者支援センター（みらいステップなかの）〕【子どもの年齢層別】



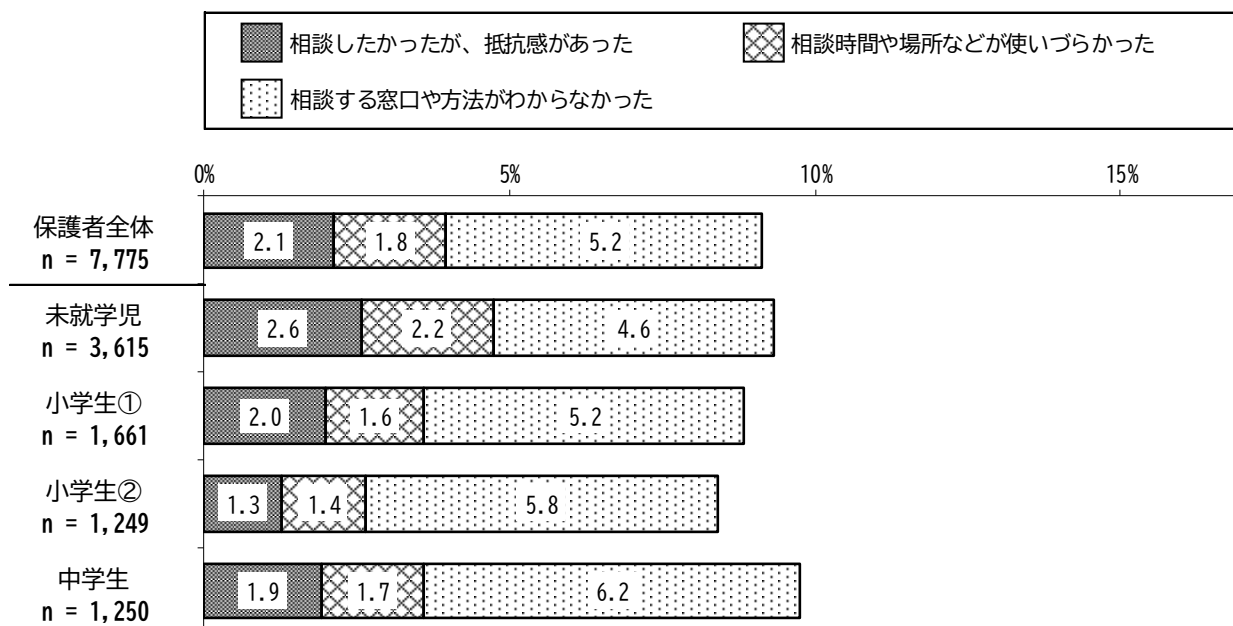
〔生活援護課（区役所4階生活相談窓口）〕について、子どもの年齢層別にみると、「相談する窓口や方法がわからなかった」は【中学生】が8.4%と他の区分に比べ、低くなっている。

<保護者> 〔生活援護課（区役所4階生活相談窓口）〕【子どもの年齢層別】



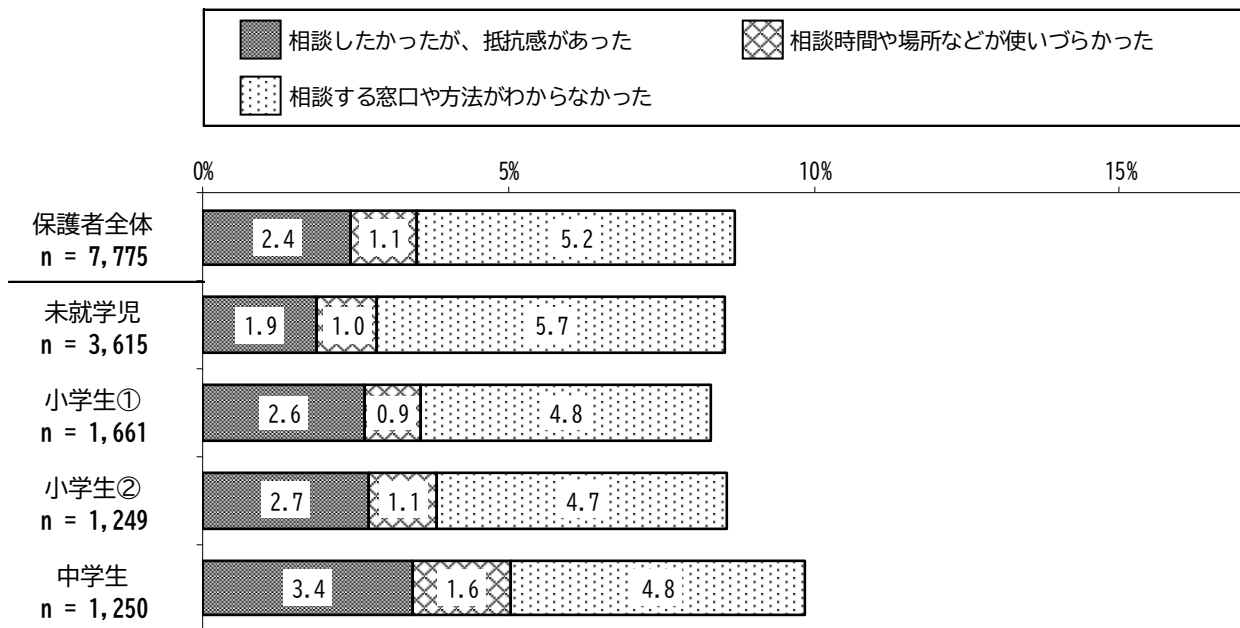
〔すこやか福祉センター〕について、子どもの年齢層別にみると、「相談する窓口や方法がわからなかった」は【中学生】が6.2%と他の区分に比べ、高くなっている。

<保護者> 〔すこやか福祉センター〕【子どもの年齢層別】



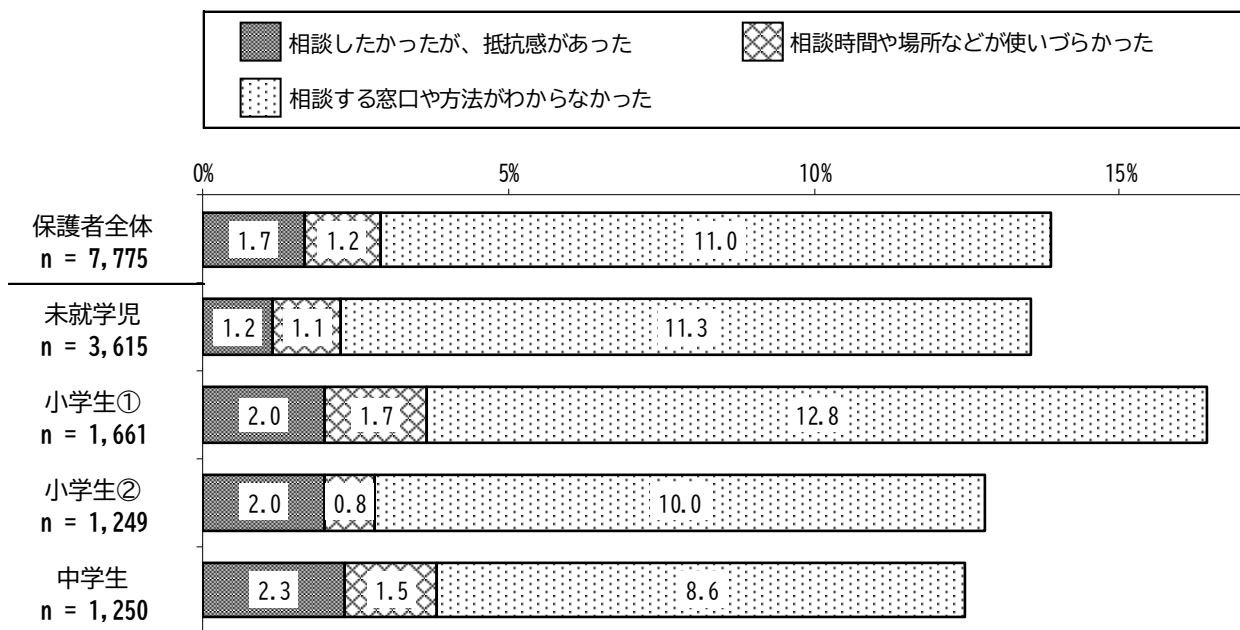
〔学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど〕について、子どもの年齢層別にみると、「相談したかったが、抵抗感があった」は【中学生】が3.4%と他の区分に比べ、高くなっている。

<保護者>〔学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど〕【子どもの年齢層別】



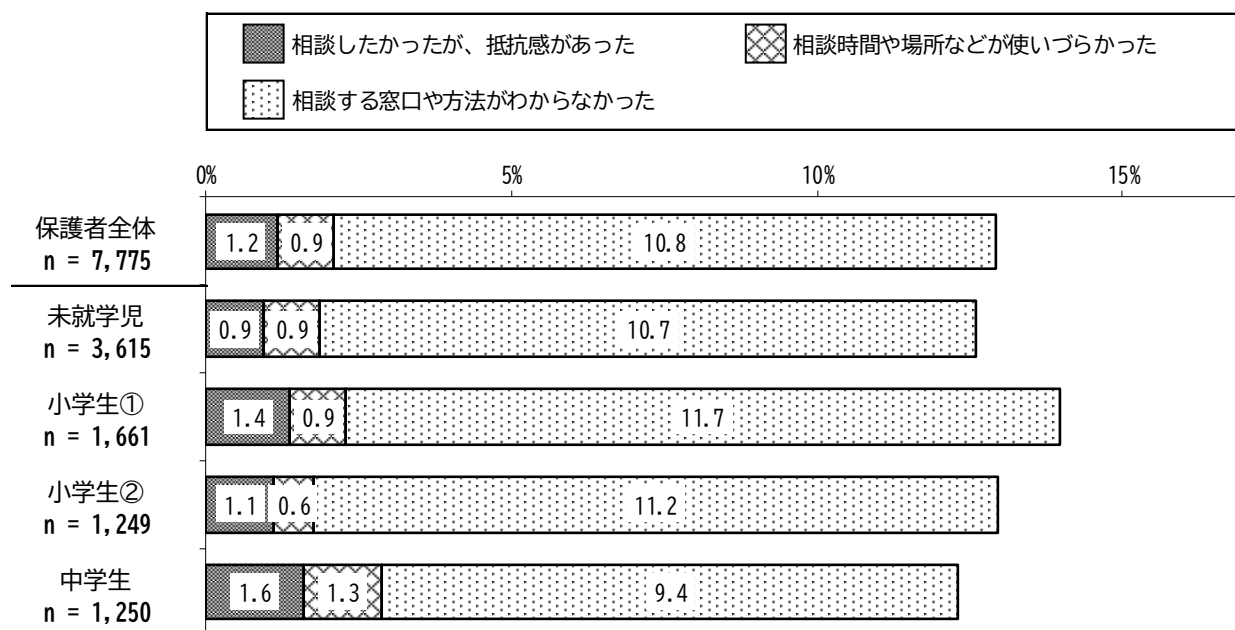
〔教育センター（教育相談室）〕について、子どもの年齢層別にみると、「相談する窓口や方法がわからなかった」は【小学生①】が12.8%と他の区分に比べ、高く、【中学生】が8.6%と他の区分に比べ、低くなっている。

<保護者>〔教育センター（教育相談室）〕【子どもの年齢層別】



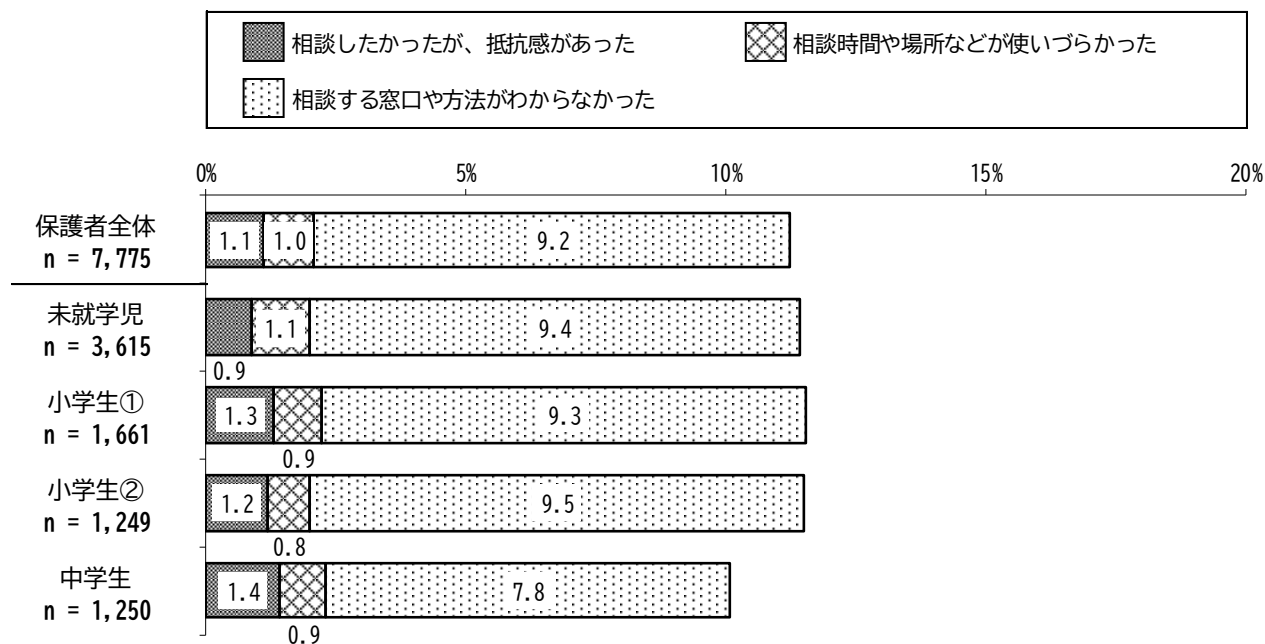
〔民生委員・児童委員〕について、子どもの年齢層別にみると、「相談する窓口や方法がわからなかった」は【中学生】が9.4%と他の区分に比べ、低くなっている。

<保護者>〔民生委員・児童委員〕【子どもの年齢層別】



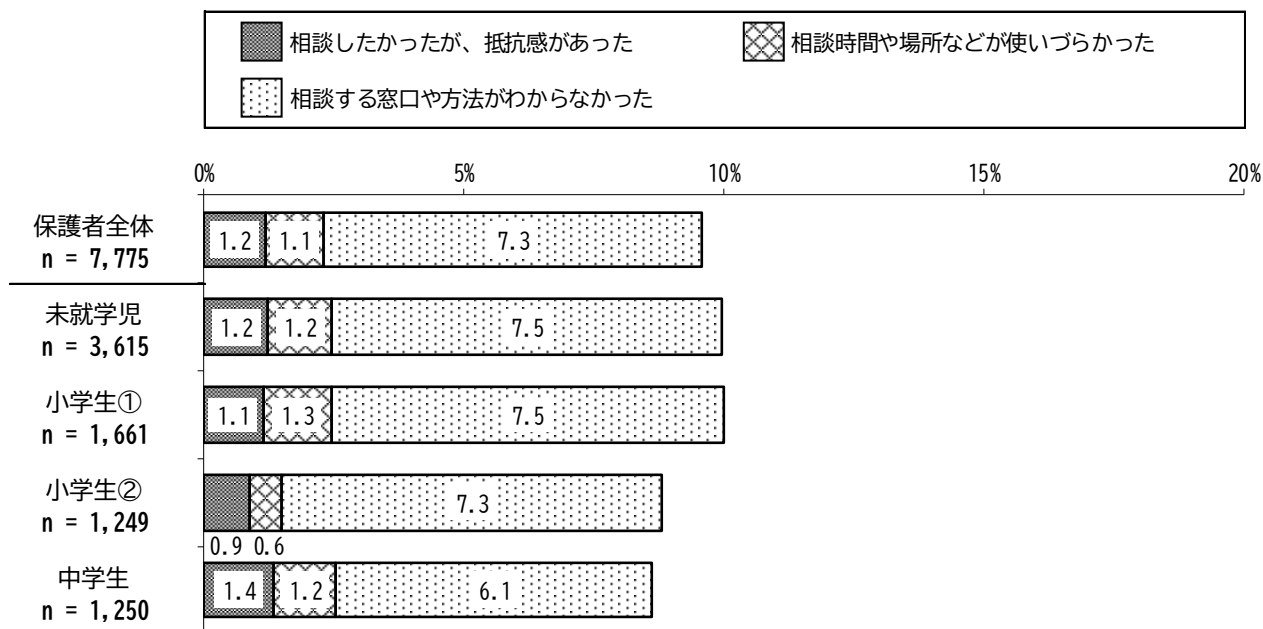
〔保健所〕について、子どもの年齢層別にみると、「相談する窓口や方法がわからなかった」は【中学生】が7.8%と他の区分に比べ、低くなっている。

<保護者>〔保健所〕【子どもの年齢層別】



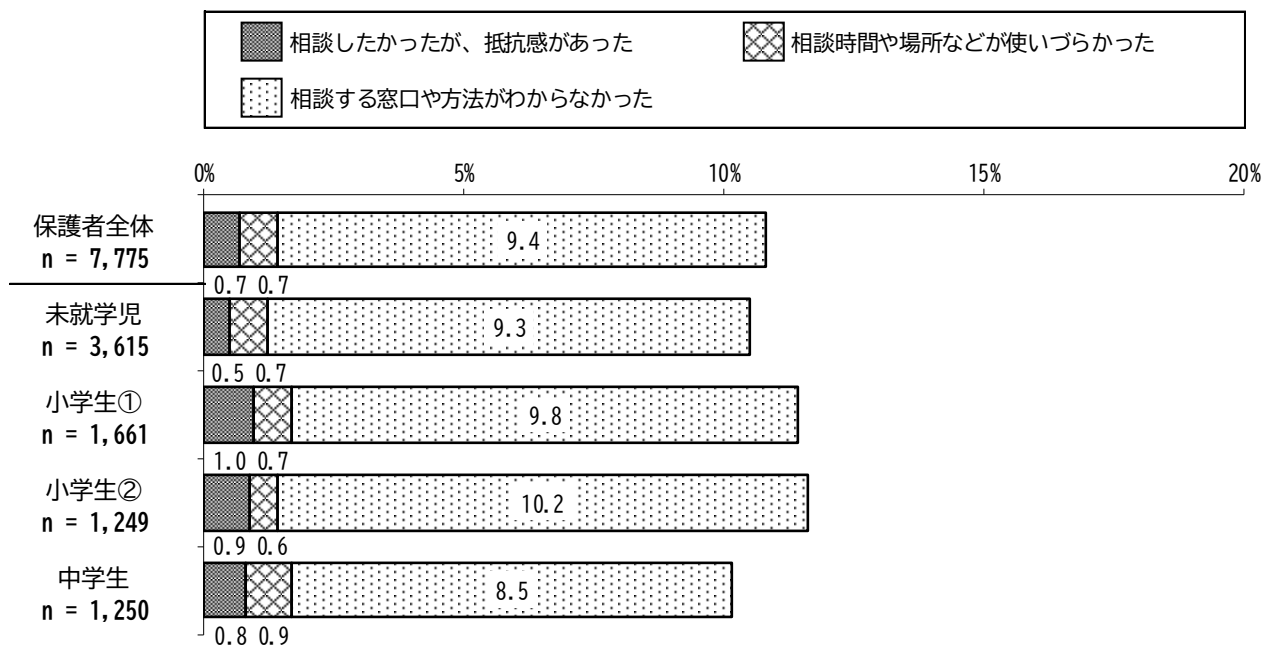
「ハローワーク」について、子どもの年齢層別にみると、「相談する窓口や方法がわからなかった」は【中学生】が6.1%と他の区分に比べ、低くなっている。

<保護者>【ハローワーク】【子どもの年齢層別】



「上記以外の公的機関」について、子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者>【上記以外の公的機関】【子どもの年齢層別】



第4章 児童・生徒の回答からみた子どもの状況

第4章 児童・生徒の回答からみた子どもの状況

1 ふだんの生活について

(1) 平日の放課後・休日の午後に過ごす人

あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、だれと過ごしますか。

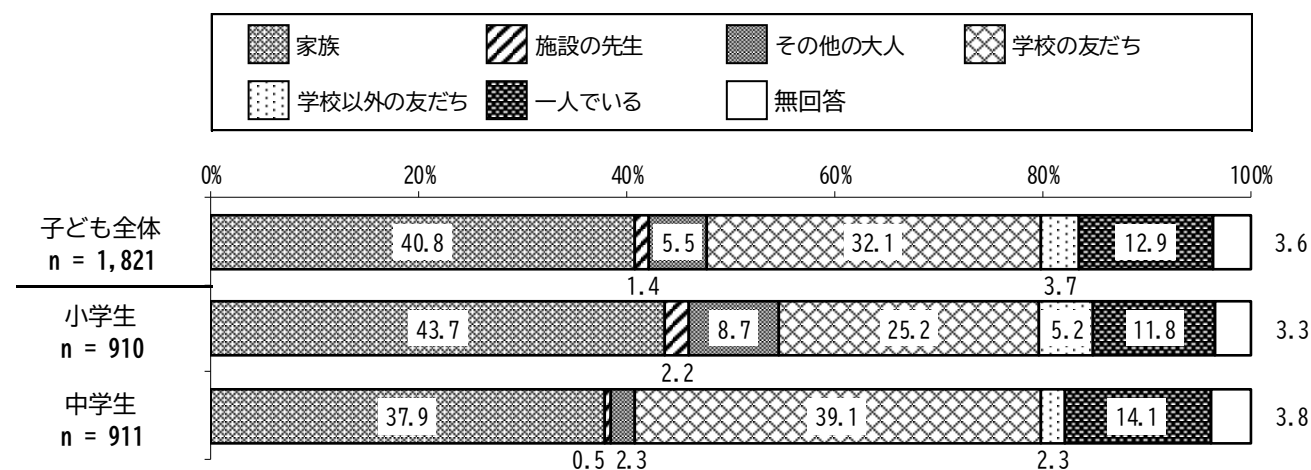
あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後、だれと過ごしますか。

一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（1つに○）

子ども全体では「家族」が40.8%で最も高く、次いで「学校の友だち」が32.1%となっている。

小学生、中学生別にみると、「学校の友だち」は【中学生】が39.1%と、【小学生】（25.2%）に比べ、13.9ポイント高くなっている。

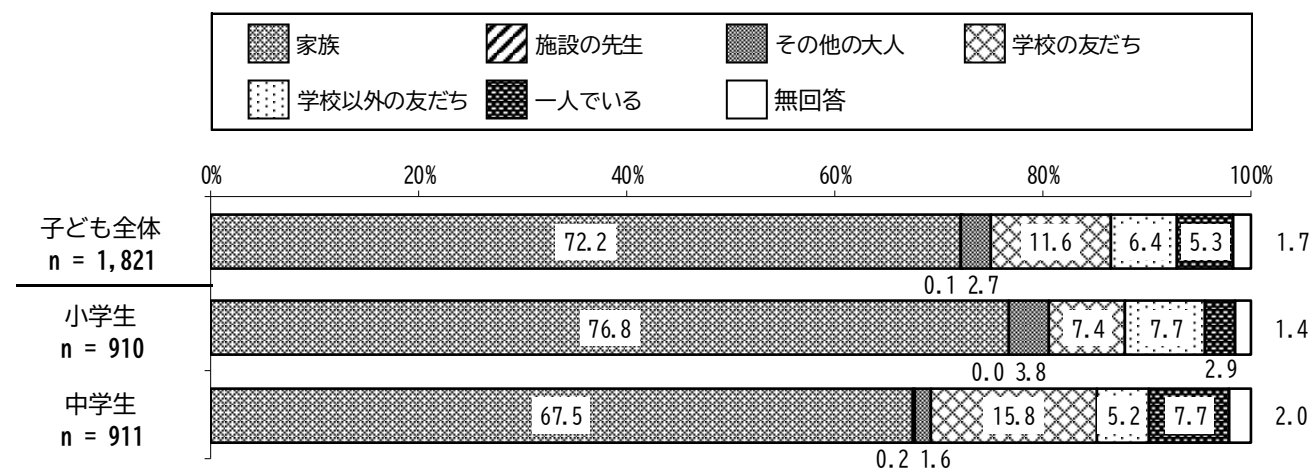
<子ども>平日の放課後に過ごす人



子ども全体では「家族」が72.2%で最も高くなっている。

小学生、中学生別にみると、「家族」は【小学生】が76.8%と、【中学生】（67.5%）に比べ、9.3ポイント高くなっている。

<子ども>休日の午後に過ごす人



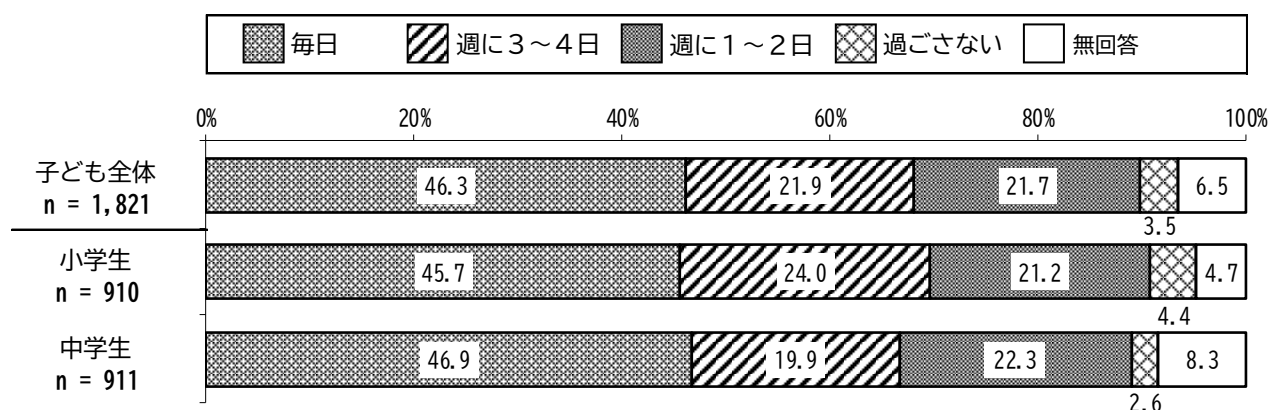
(2) 平日の放課後に過ごす場所

あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。
1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。（それぞれ1つに○）

〔A 自分の家〕について、子ども全体では「毎日」が46.3%で最も高く、次いで「週に3～4日」が21.9%、「週に1～2日」が21.7%となっている。

小学生、中学生別にみると、「週に3～4日」は【小学生】が24.0%と、【中学生】（19.9%）に比べ、4.1ポイント高くなっている。

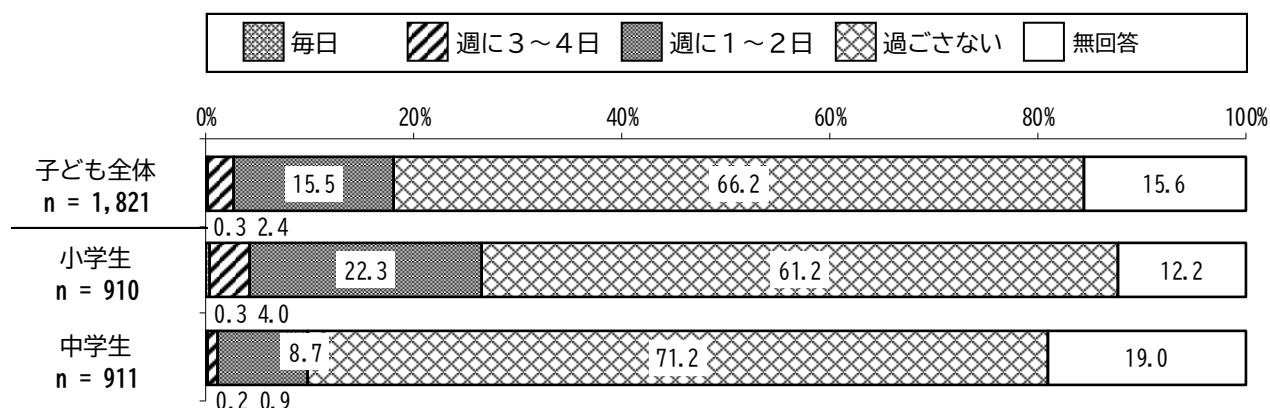
<子ども>〔A 自分の家〕



〔B 友だちの家〕について、子ども全体では「過ごさない」が66.2%で最も高く、次いで「週に1～2日」が15.5%となっている。

小学生、中学生別にみると、「週に1～2日」は【小学生】が22.3%と、【中学生】（8.7%）に比べ、13.6ポイント高くなっている。

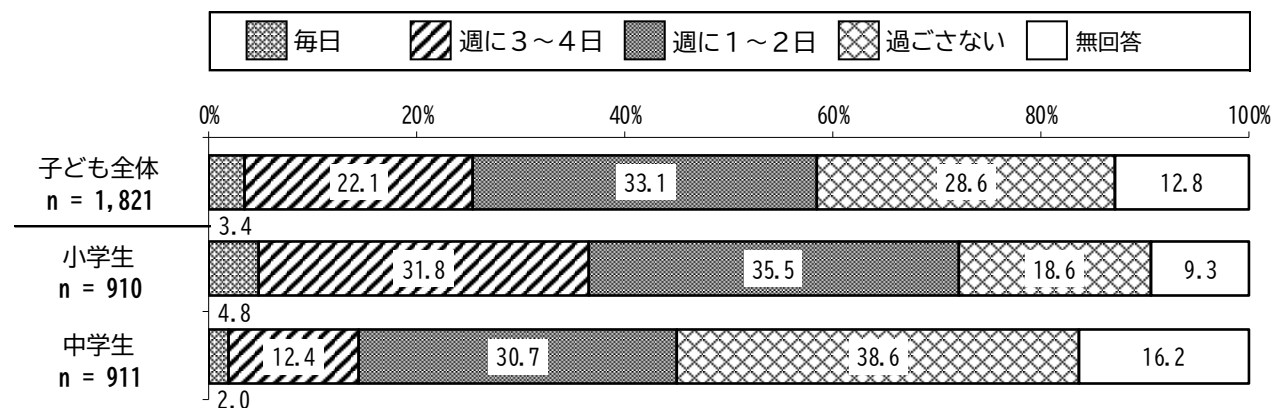
<子ども>〔B 友だちの家〕



〔C 塾や習い事〕について、子ども全体では「週に1～2日」が33.1%で最も高く、次いで「過ぎさない」が28.6%、「週に3～4日」が22.1%となっている。

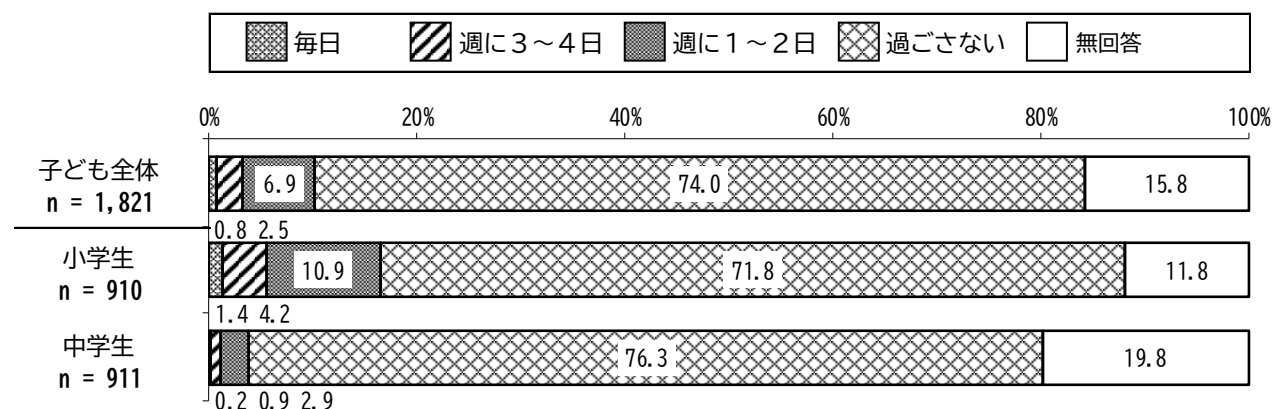
小学生、中学生別にみると、「週に3～4日」は【小学生】が31.8%と、【中学生】（12.4%）に比べ、19.4ポイント高くなっている。

<子ども>〔C 塾や習い事〕



〔D 児童館、学童クラブ（学校外）〕について、子ども全体では「過ぎさない」が74.0%となっている。小学生、中学生別にみると、「週に1～2日」は【小学生】が10.9%と、【中学生】（2.9%）に比べ、8.0ポイント高くなっている。

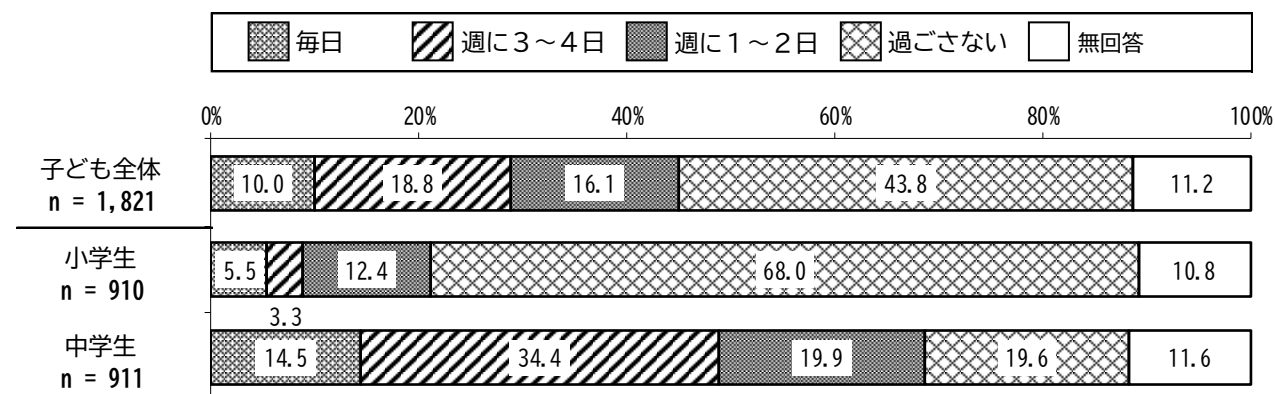
<子ども>〔D 児童館、学童クラブ（学校外）〕



〔E 学校（クラブ活動、部活動、キッズ・プラザ、学童クラブ（学校内）など）〕について、子ども全体では「過ぎさない」が43.8%で最も高くなっている。以下「週に3～4日」が18.8%、「週に1～2日」が16.1%、「毎日」が10.0%となっている。

小学生、中学生別にみると、「過ぎさない」は【小学生】が68.0%と、【中学生】（19.6%）に比べ、48.4ポイント高くなっている。

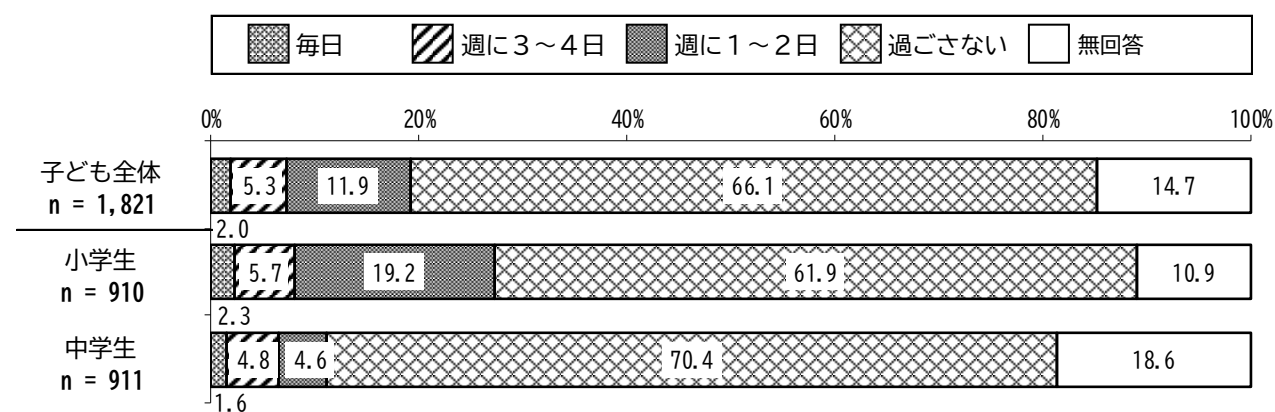
<子ども> 〔E 学校（クラブ活動、部活動、キッズ・プラザ、学童クラブ（学校内）など）〕



〔F スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）〕について、子ども全体では「過ぎさない」が66.1%で最も高くなっている。以下「週に1～2日」が11.9%となっている。

小学生、中学生別にみると、「週に1～2日」は【小学生】が19.2%と、【中学生】（4.6%）に比べ、14.6ポイント高くなっている。

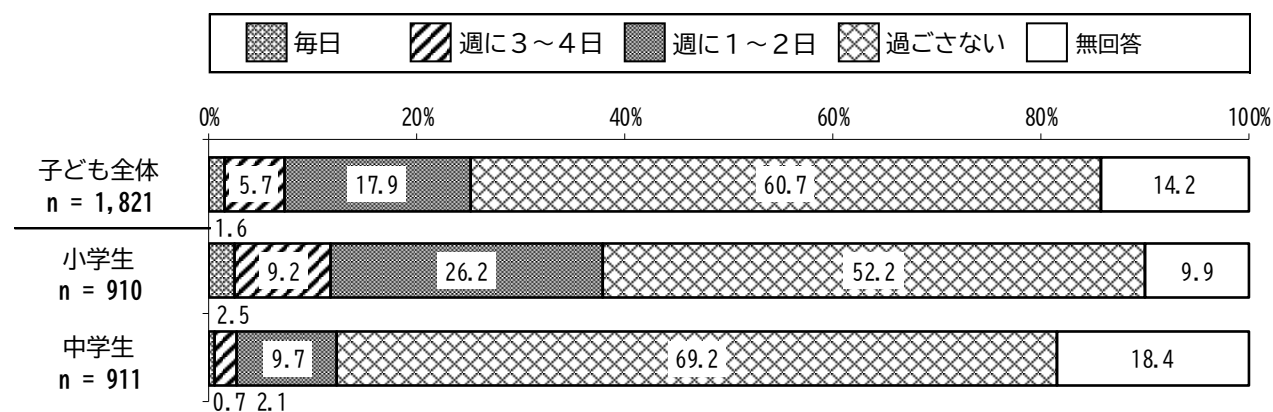
<子ども> 〔F スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）〕



〔G 公園〕について、子ども全体では「過ぎさない」が60.7%で最も高くなっている。以下「週に1～2日」が17.9%となっている。

小学生、中学生別にみると、「過ぎさない」は【中学生】が69.2%と、【小学生】(52.2%)に比べ、17.0ポイント高くなっている。

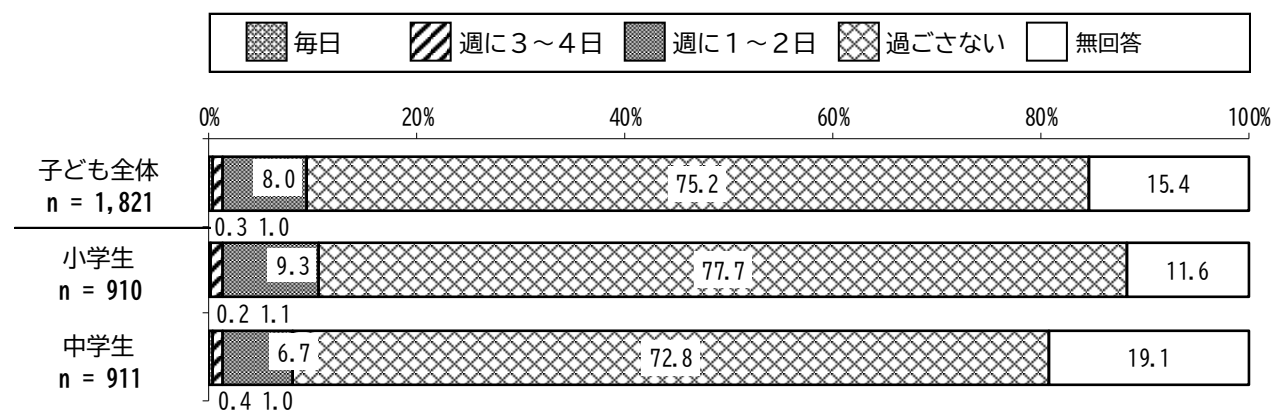
<子ども>〔G 公園〕



〔H 図書館〕について、子ども全体では「過ぎさない」が75.2%で最も高くなっている。

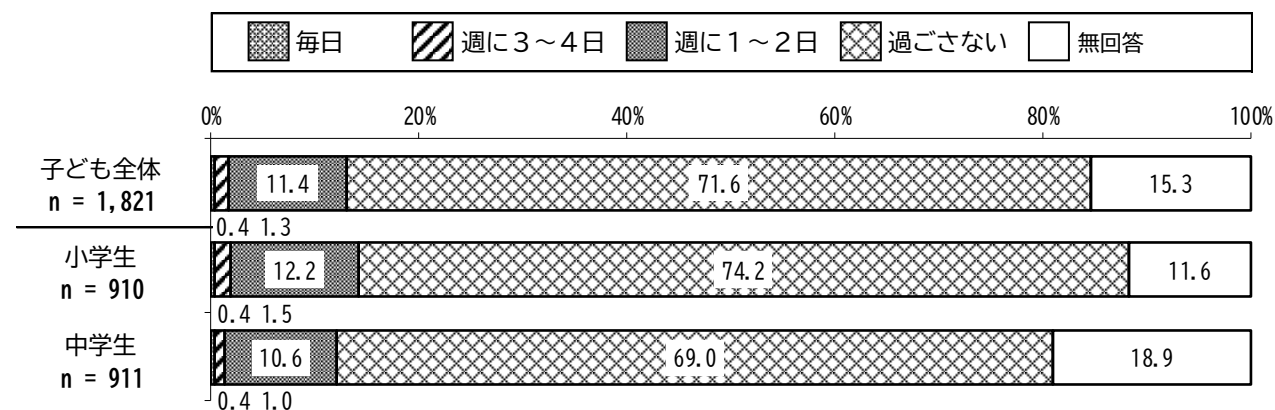
小学生、中学生別にみると、「過ぎさない」は【小学生】が77.7%と、【中学生】(72.8%)に比べ、4.9ポイント高くなっている。

<子ども>〔H 図書館〕



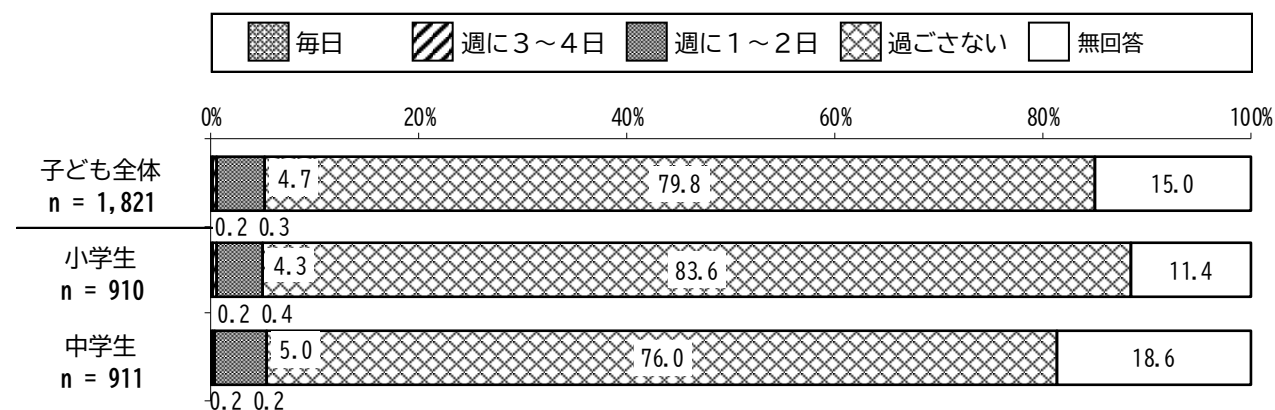
〔Ⅰ 商店街やショッピングモール〕について、子ども全体では「過ぎさない」が71.6%となっている。
小学生、中学生別にみると、「過ぎさない」は【小学生】が74.2%と、【中学生】(69.0%)に比べ、5.2ポイント高くなっている。

<子ども> 〔Ⅰ 商店街やショッピングモール〕



〔Ⅱ ゲームセンター〕について、子ども全体では「過ぎさない」が79.8%となっている。
小学生、中学生別にみると、「過ぎさない」は【小学生】が83.6%と、【中学生】(76.0%)に比べ、7.6ポイント高くなっている。

<子ども> 〔Ⅱ ゲームセンター〕



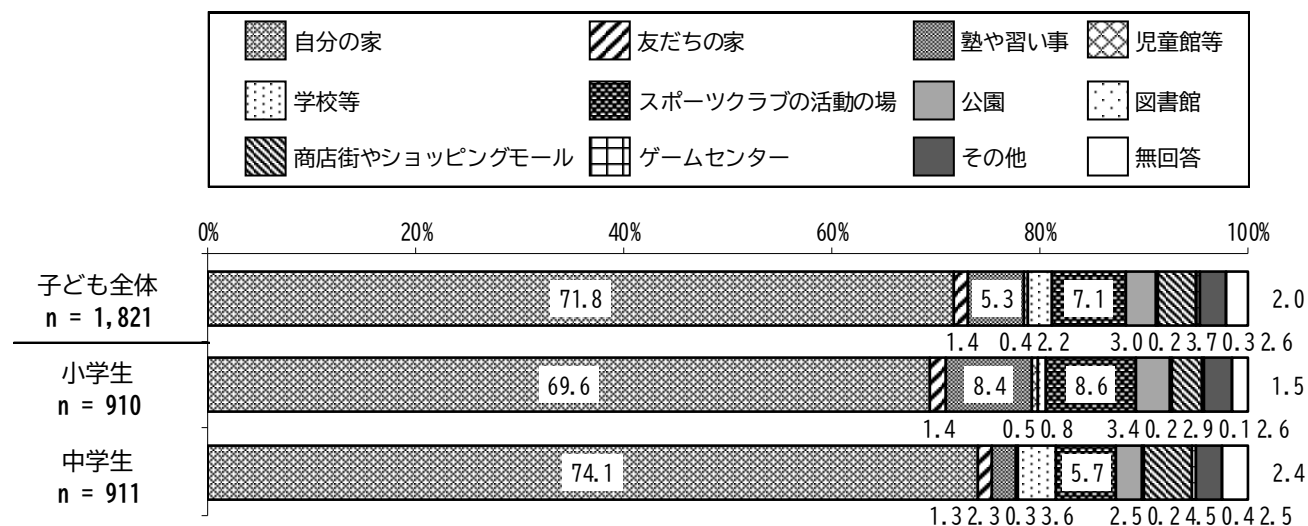
(3) 休日の午後に過ごす場所

あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。（1つに○）

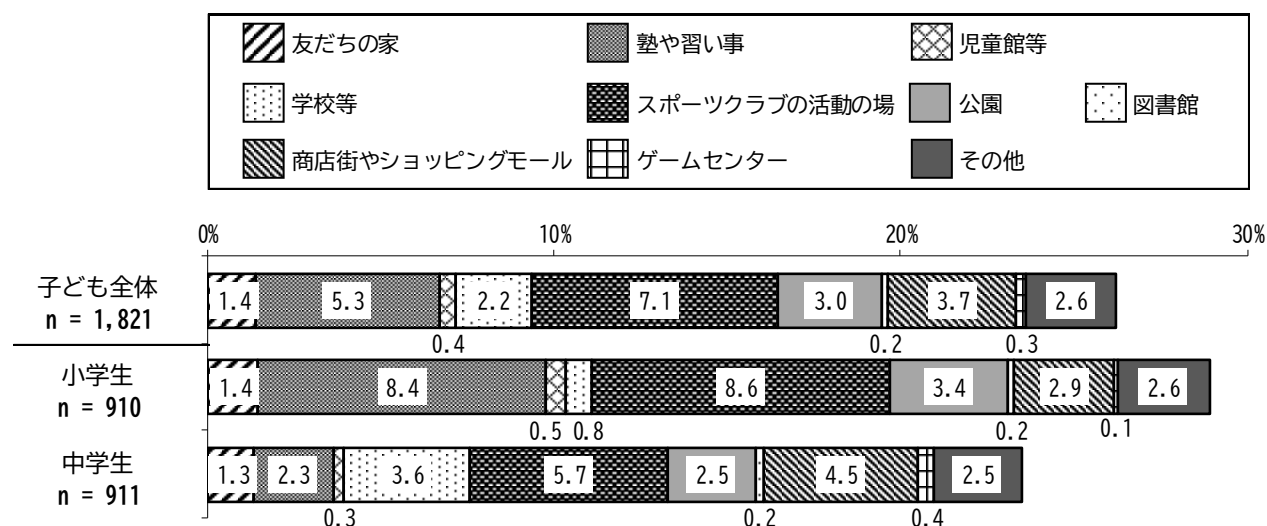
子ども全体では「自分の家」が71.8%となっている。

小学生、中学生別にみると、「塾や習い事」は【小学生】が8.4%と、【中学生】（2.3%）に比べ、6.1ポイント高くなっている。

<子ども> [休日の午後に過ごす場所]



<子ども> [休日の午後に過ごす場所（「自分の家」以外）]



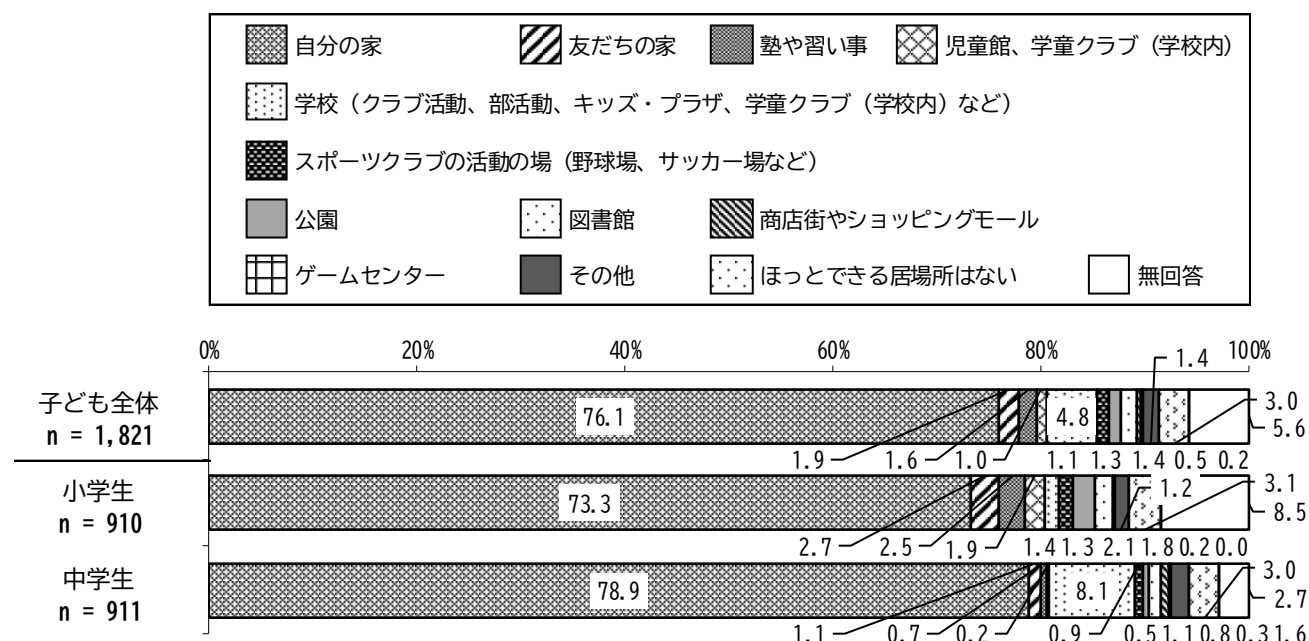
(4) 一番ほっとできる居場所

A～Kの場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。1つだけ選んで、その記号（A～K）をカッコの中に書いてください。ほっとできる居場所がない場合は、「X. ほっとできる居場所はない」に○をつけてください。

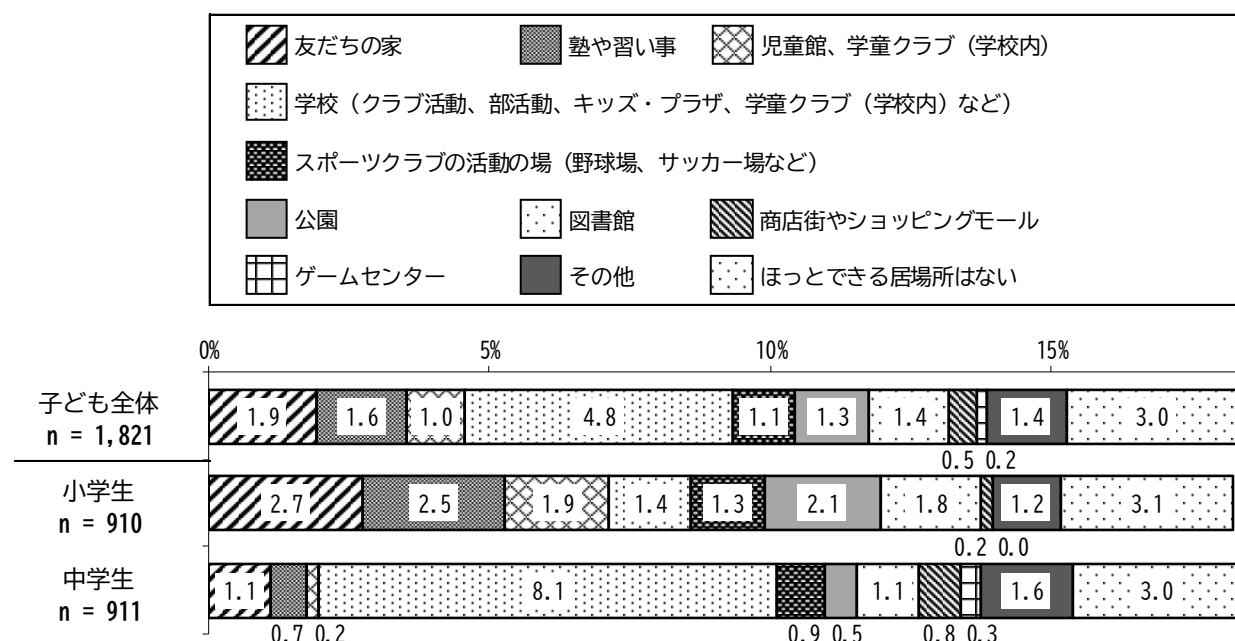
子ども全体では「自分の家」が76.1%となっている。

小学生、中学生別にみると、「学校（クラブ活動、部活動、キッズ・プラザ、学童クラブ（学校内）など）」は【中学生】が8.1%と、【小学生】（1.4%）に比べ、6.7ポイント高くなっている。

<子ども>一番ほっとできる居場所



<子ども>一番ほっとできる居場所（自分の家を除く）



(5) 困っていることや悩みごとの相談相手

※「よく話す」と「時々話す」を合わせた値を『話す』、

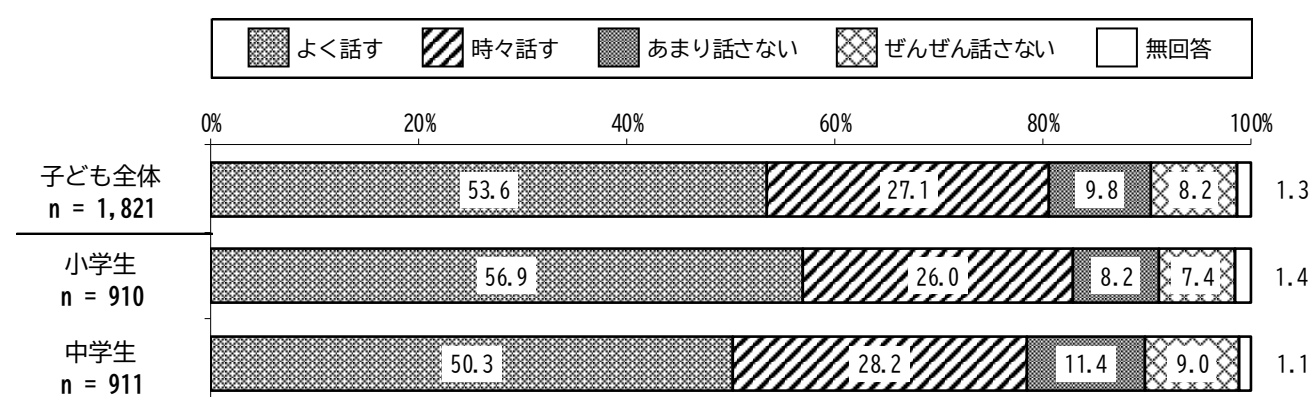
「ぜんぜん話さない」と「あまり話さない」を合わせた値を『話さない』と表記する。

あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、他の人にどれくらい話しますか。「1. よく話す」から「4. ぜんぜん話さない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。電話、メール、LINE も「話した」と考えて答えてください。(それぞれ1つに○)

〔家族（親）〕について、子ども全体では『話す』が80.7%となっている。

小学生、中学生別にみると、「よく話す」は【小学生】が56.9%と、【中学生】(50.3%)に比べ、6.6ポイント高くなっている。

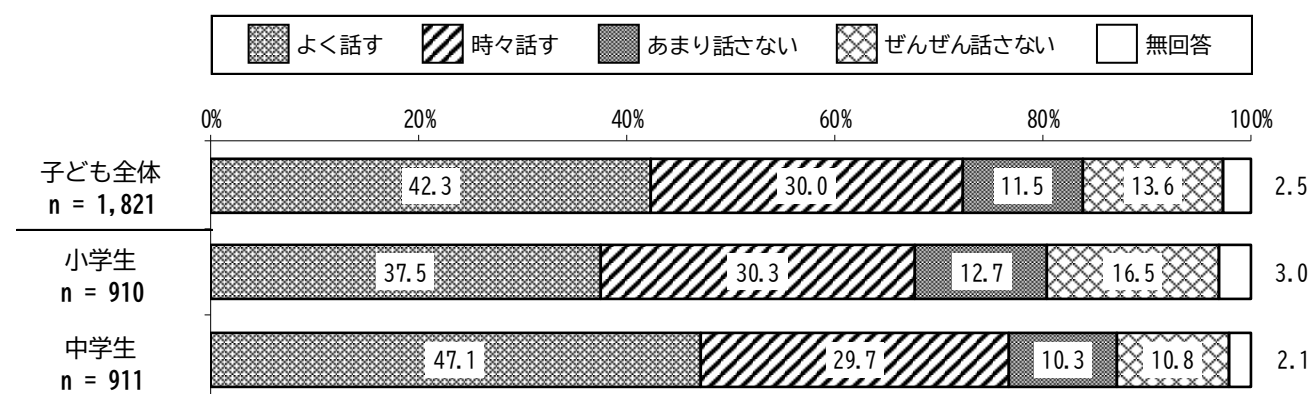
<子ども>〔家族（親）〕



〔友だち〕について、子ども全体では『話す』が72.3%となっている。

小学生、中学生別にみると、『話す』は【中学生】が76.8%と、【小学生】(67.8%)に比べ、9.0ポイント高くなっている。

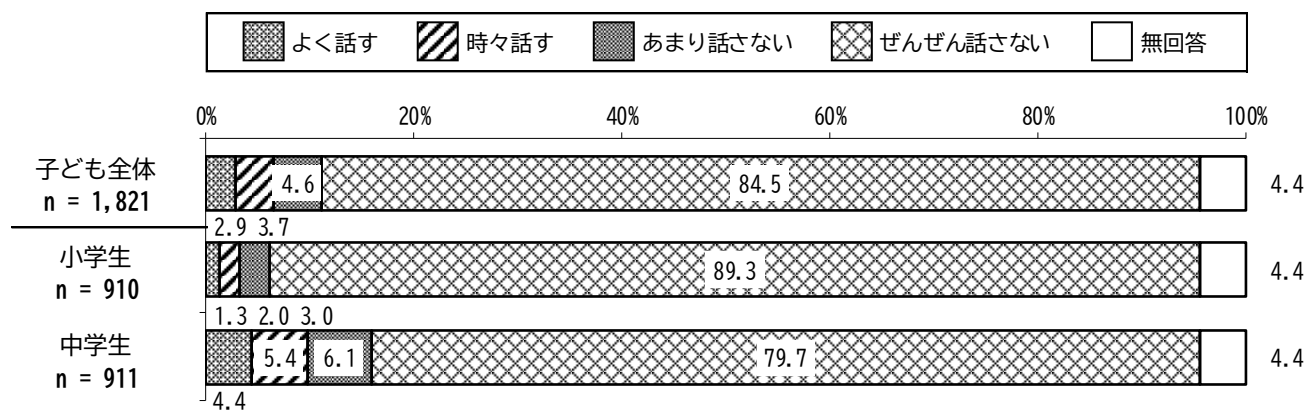
<子ども>〔友だち〕



「インターネットでの知り合い」について、子ども全体では『話さない』が89.1%となっている。

小学生、中学生別にみると、『話す』は【中学生】が9.8%と、【小学生】(3.3%)に比べ、6.5ポイント高くなっている。

<子ども> 「インターネットでの知り合い」



(6) 家事負担

※「毎日2時間以上」と「毎日1～2時間」を合わせた値を『毎日1時間以上』と表記する。

あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ1つに○)

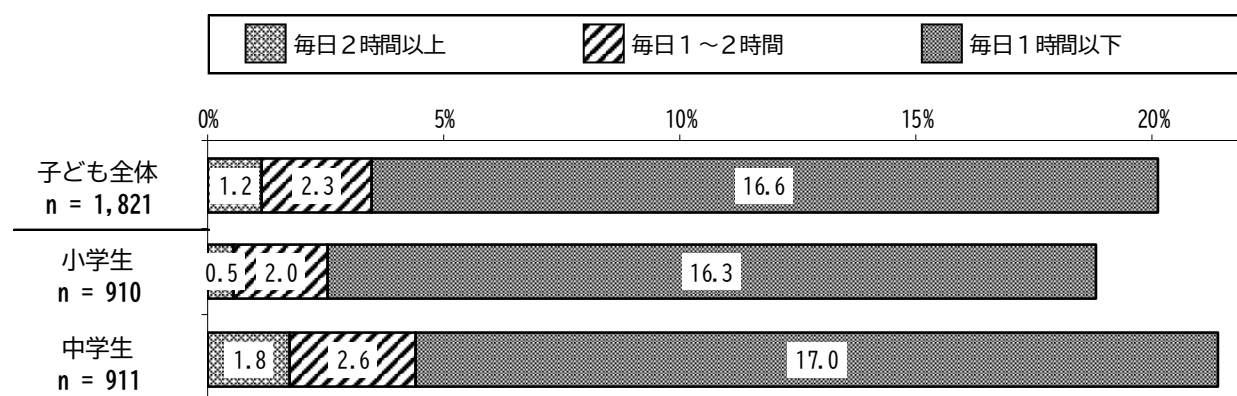
[家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)]

「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」を比較

子ども全体では「毎日2時間以上」が1.2%、「毎日1～2時間」が2.3%、「毎日1時間以下」が16.6%となっている。また、『毎日1時間以上』は3.5%となっている。

小学生、中学生別にみると、『毎日1時間以上』は【中学生】が4.4%と、【小学生】(2.5%)に比べ、1.9ポイント高くなっている。

<子ども>家事負担



2 学校のことや勉強のことについて

(1) 学校の授業についての主観的評価

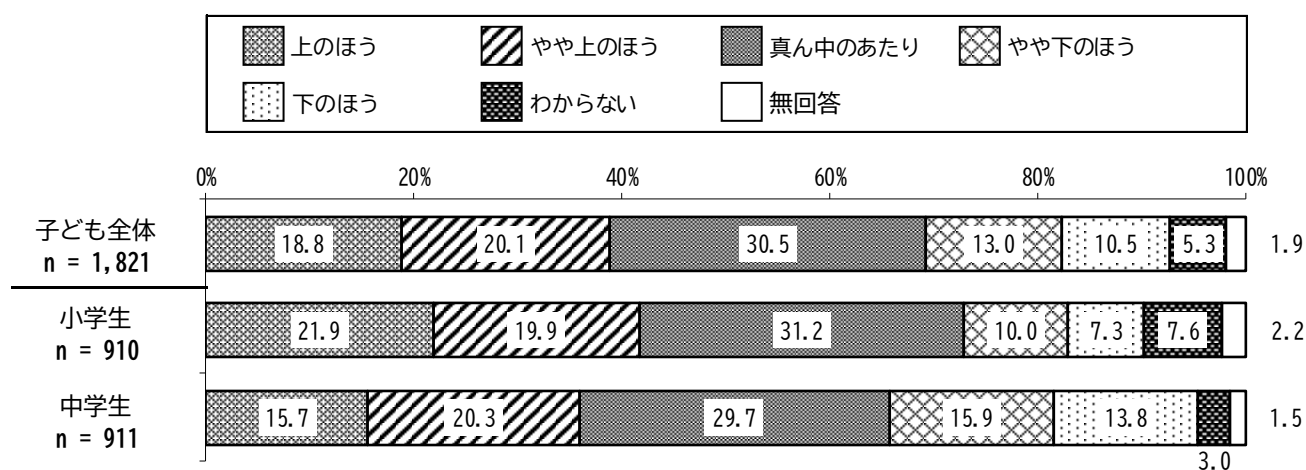
※「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた値を『上のほう』、
「下のほう」と「やや下のほう」を合わせた値を『下のほう』と表記する。

あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(1つに○)

子ども全体では「真ん中のあたり」が30.5%で最も高く、次いで「やや上のほう」が20.1%、「上のほう」が18.8%、「やや下のほう」が13.0%、「下のほう」が10.5%となっている。

小学生、中学生別にみると、『下のほう』は【中学生】が13.8%と、【小学生】(7.3%)に比べ、12.4ポイント高くなっている。

＜子ども＞学校の授業についての主観的評価



(2) 授業の理解度・わからなくなった時期

※「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた値を『わかる』、「ほとんどわからない」と「わからないことが多い」と「あまりわからない」を合わせた値を『わからない』と表記する。

あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(1つに○)

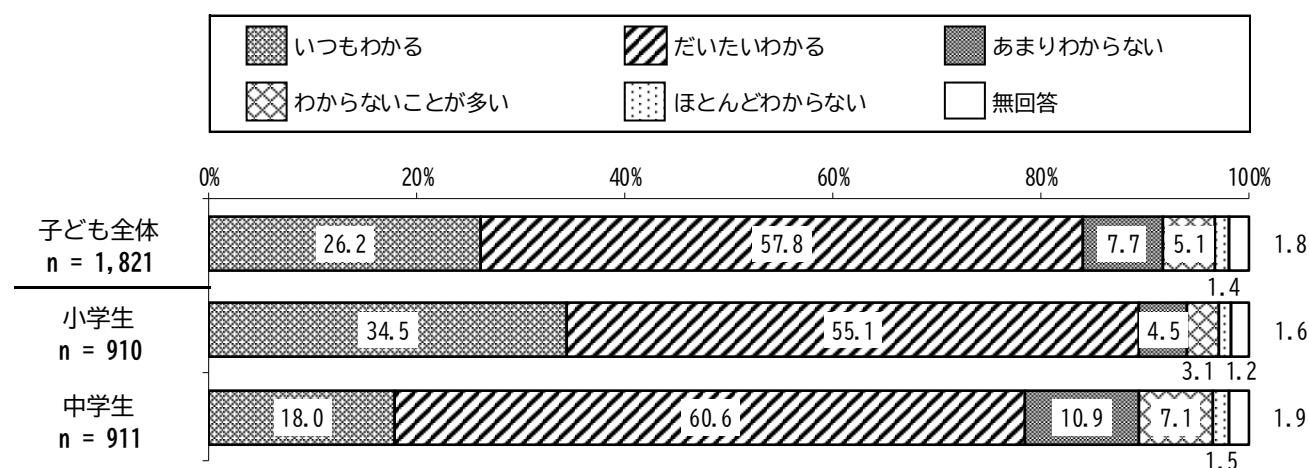
学校の授業が「4. わからないことが多い」または「5. ほとんどわからない」と答えた人におきします。

いつごろから、授業がわからなくなりましたか。(1つに○)

子ども全体では『わかる』が84.0%となっている。

小学生、中学生別にみると、『わからない』は【中学生】が19.5%と、【小学生】(8.8%)に比べ、10.7ポイント高くなっている。

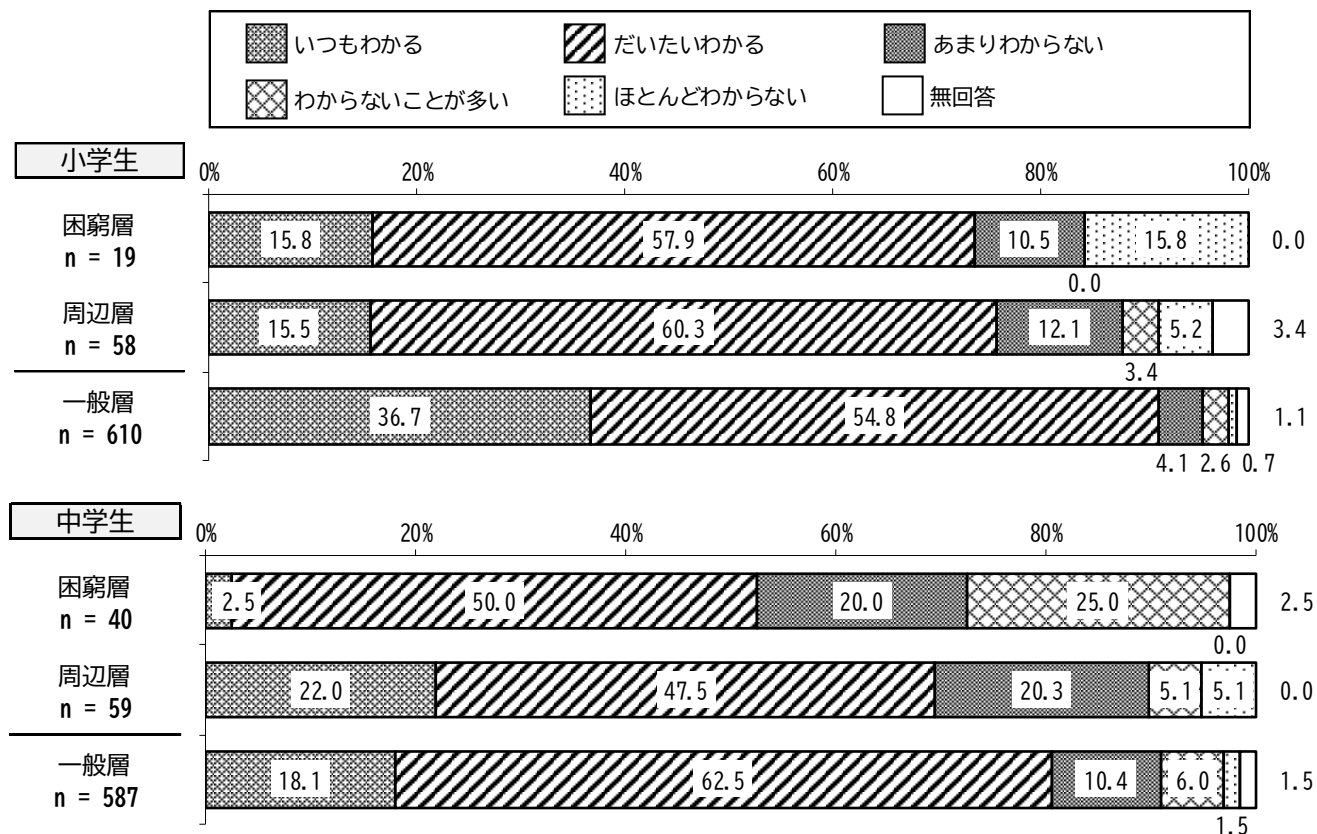
＜子ども＞授業の理解度



生活困難度別にみると、『わからない』の割合は小学生・中学生ともに【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔中学生〕の【困窮層】が 45.0%と、【周辺層】（30.5%）よりも 14.5 ポイント高くなっている。

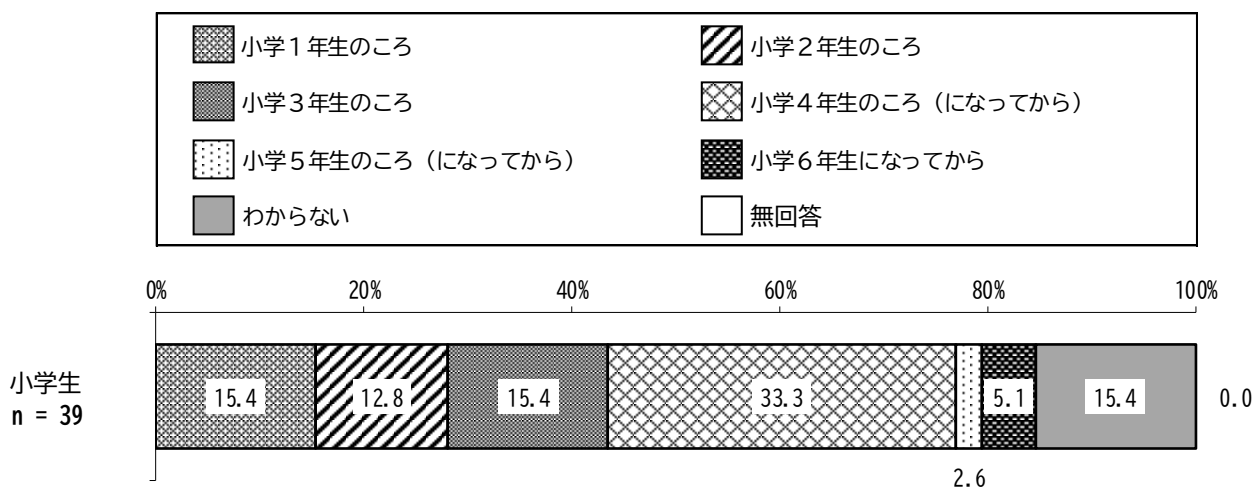
<子ども>授業の理解度【生活困難度別】

小学生 (***) 中学生 (***)



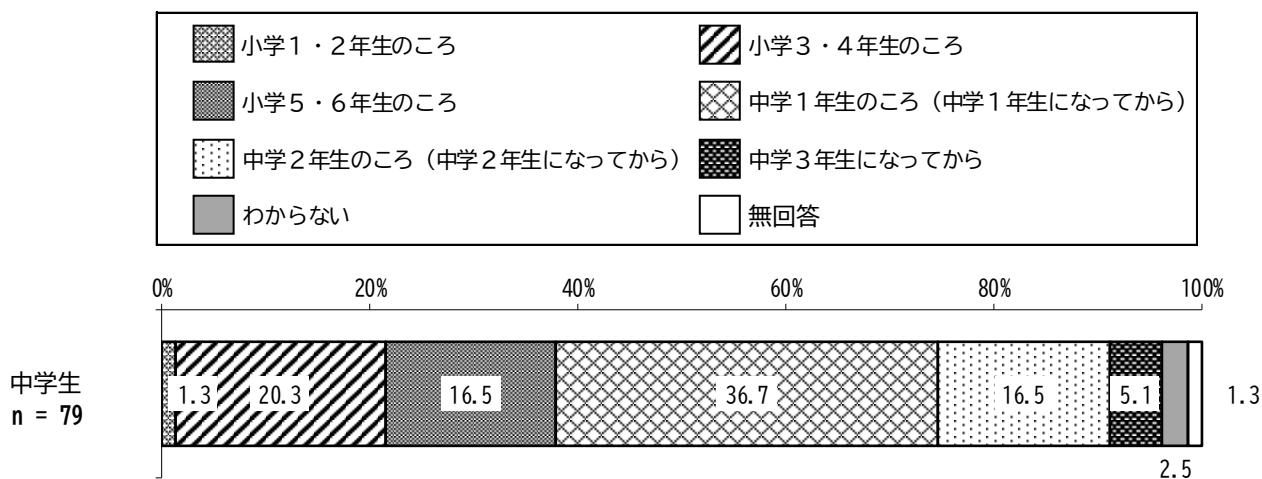
〔小学生〕では、高学年の入り口となる「小学4年生のころ（になってから）」が 33.3%で最も高くなっている。

<子ども>わからなくなった時期 小学生



〔中学生〕では、「中学1年生のころ（中学1年生になってから）」が 36.7%で最も高く、次いで「小学3・4年生のころ」が 20.3%、「小学5・6年生のころ」及び「中学2年生のころ（中学2年生になってから）」がともに 16.5%となっている。

<子ども>わからなくなった時期 中学生



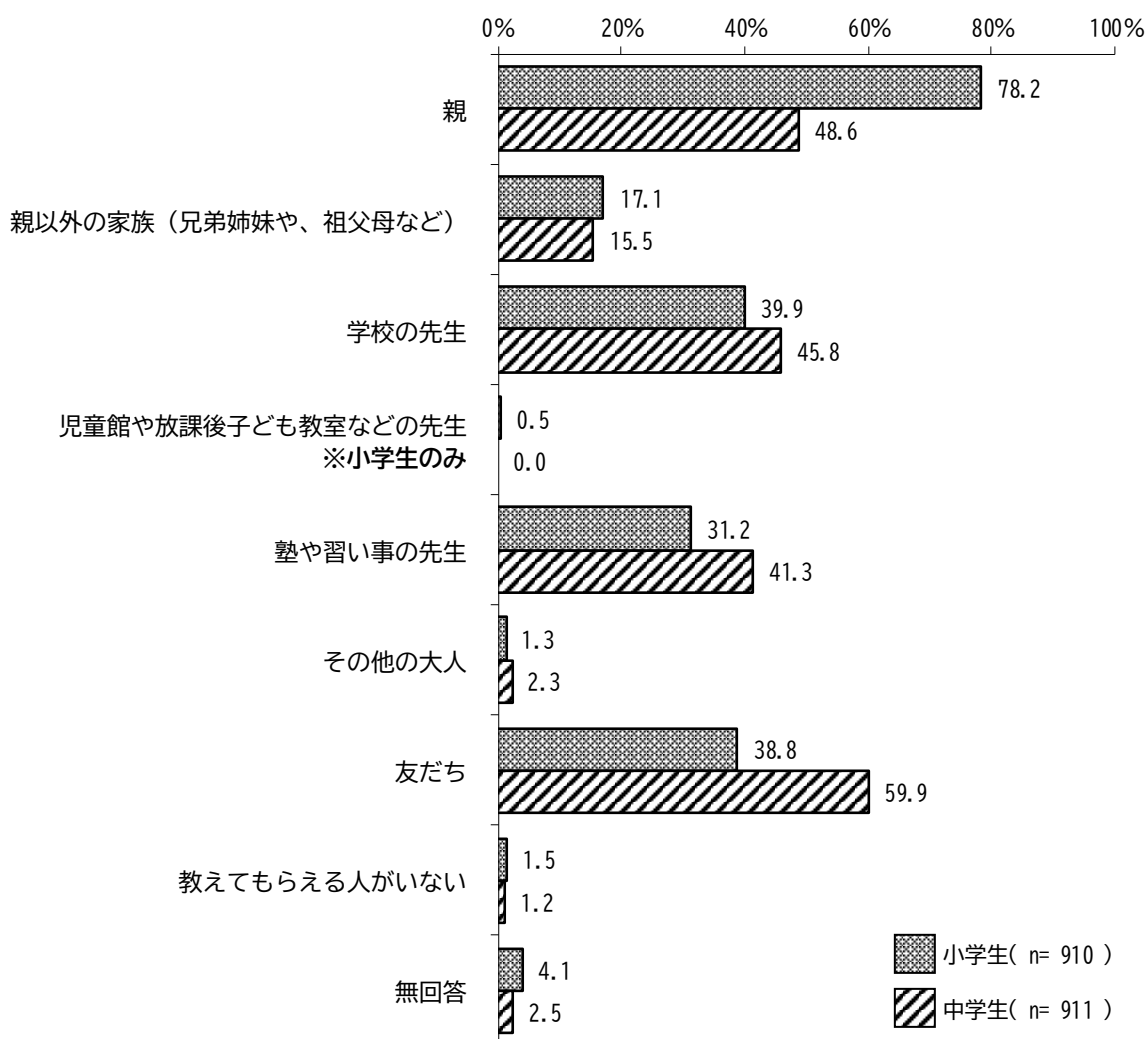
(3) 勉強がわからないときに教えてもらう人

勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか。(〇はいくつでも)

〔小学生〕では「親」が 78.2%で最も高くなっている。以下「学校の先生」が 39.9%、「友だち」が 38.8%、「塾や習い事の先生」が 31.2%となっている。一方、「教えてもらえる人がいない」が 1.5%となっている。

〔中学生〕では「友だち」が 59.9%で最も高く、次いで「親」が 48.6%、「学校の先生」が 45.8%、「塾や習い事の先生」が 41.3%となっている。一方、「教えてもらえる人がいない」が 1.2%となっている。

＜子ども＞勉強がわからないときに教えてもらう人



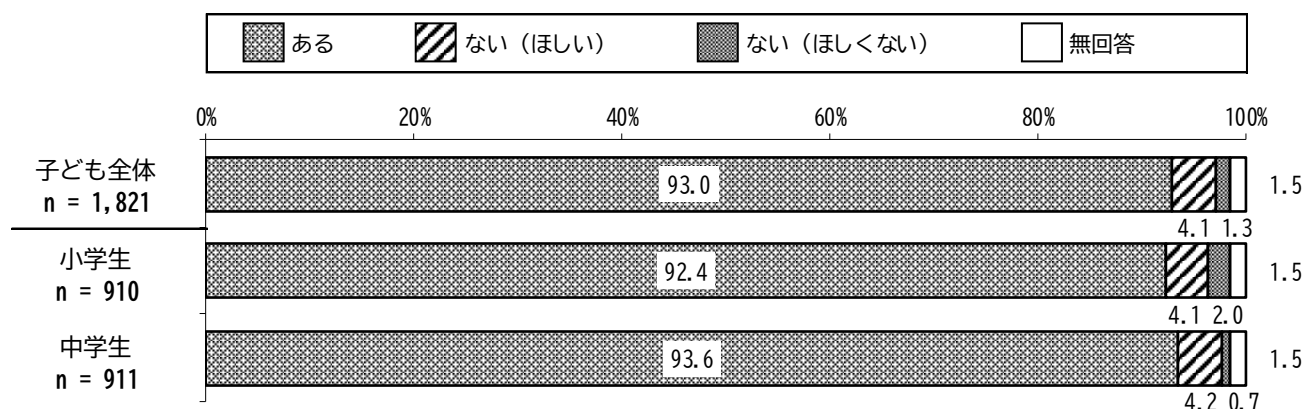
(4) 学習環境の欠如の状況

あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。

〔自宅で宿題をすることができる場所〕〔自分専用の勉強机〕

〔自宅で宿題をすることができる場所〕について、子ども全体では「ある」が93.0%となっている。小学生、中学生に大きな差はみられない。

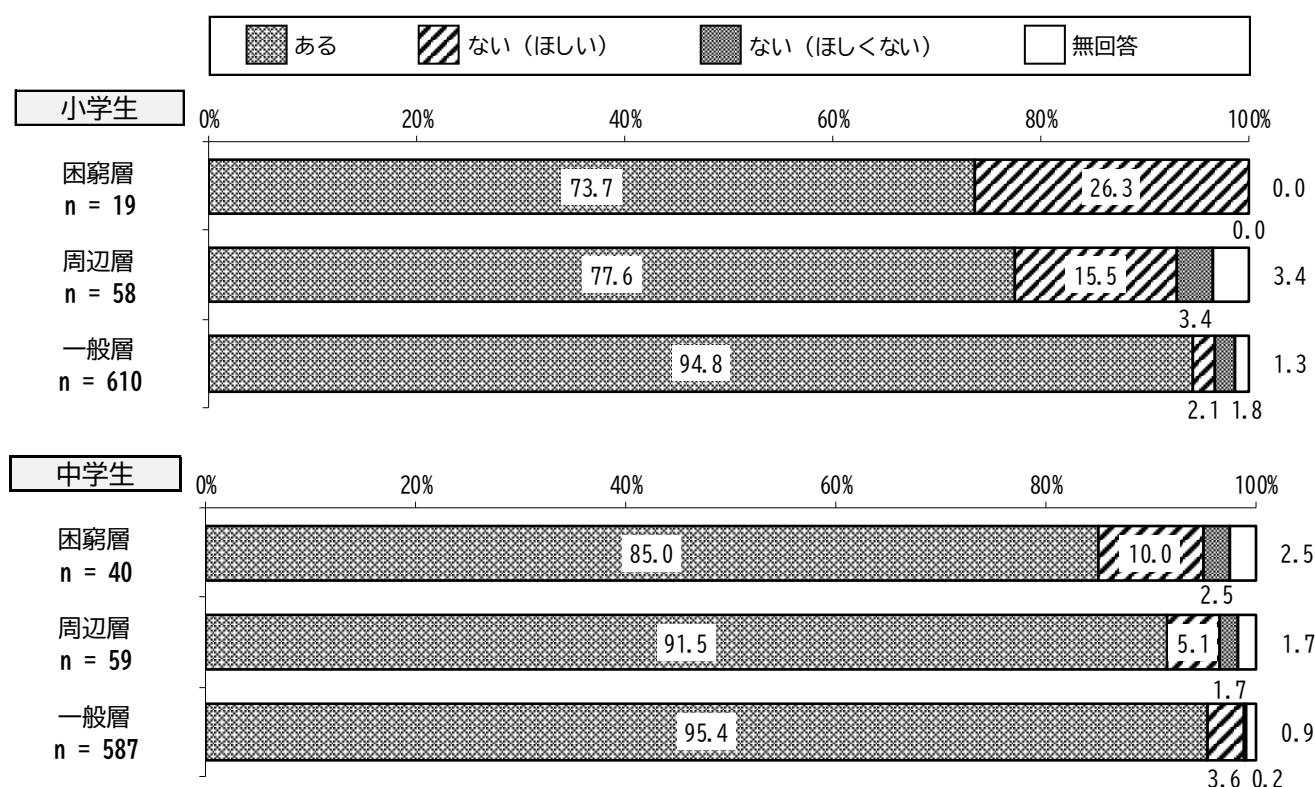
<子ども>学習環境の欠如〔自宅で宿題をすることができる場所〕



生活困難度別にみると、「ない(ほしい)」の割合は小学生・中学生ともに【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生〕の【困窮層】が26.3%と、【周辺層】(15.5%)よりも10.8ポイント高くなっている。

<子ども>学習環境の欠如〔自宅で宿題をすることができる場所〕【生活困難度別】

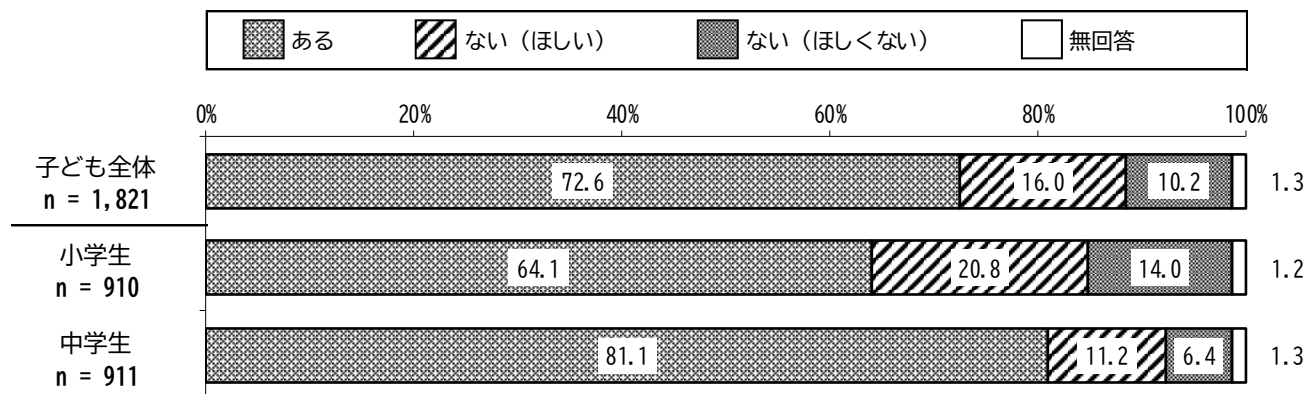
小学生 (***) 中学生 (**)



〔自分専用の勉強机〕について、子ども全体では「ある」が72.6%となっている。

小学生、中学生別にみると、「ない（ほしい）」は【小学生】が20.8%と、【中学生】（11.2%）に比べ、9.6ポイント高くなっている。

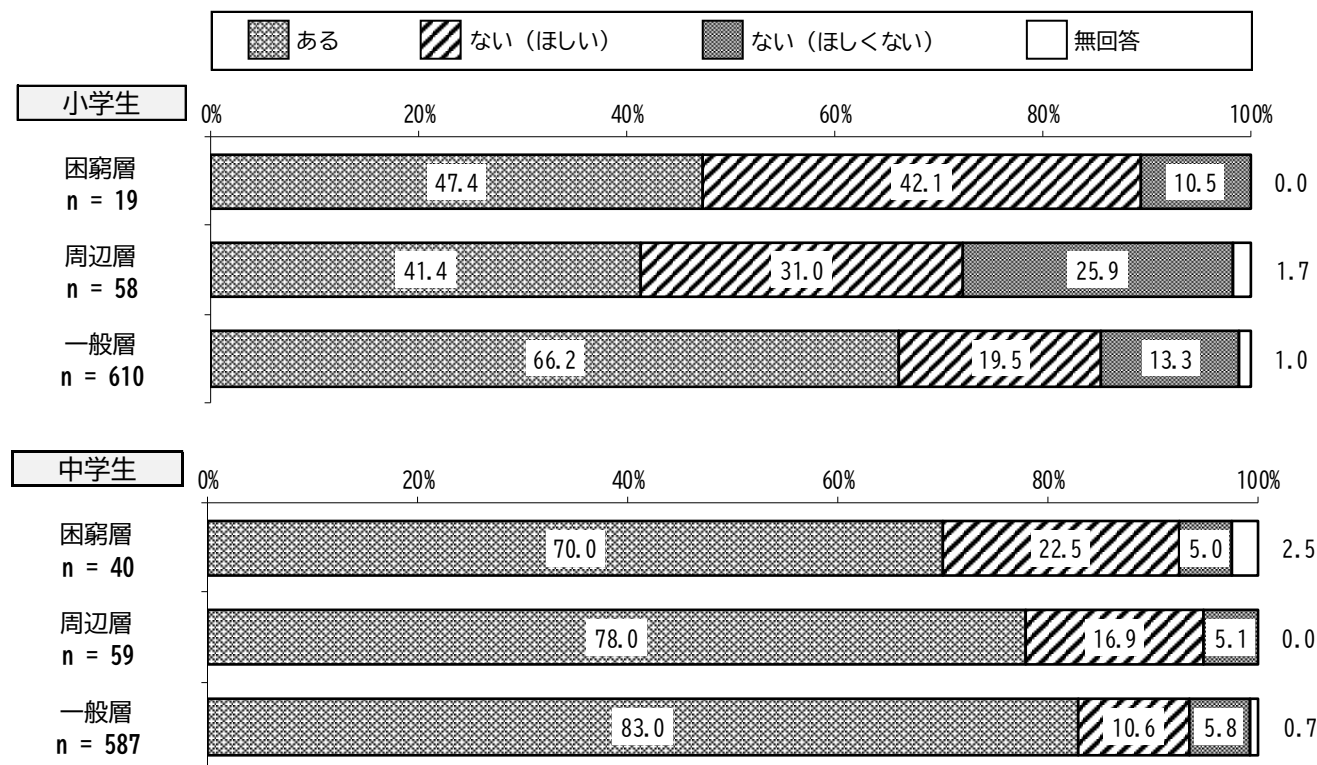
＜子ども＞学習環境の欠如〔自分専用の勉強机〕



生活困難度別にみると、「ない（ほしい）」の割合は小学生・中学生ともに【困窮層】が【周辺層】に比べ、高くなっている。特に、〔小学生〕の【困窮層】が42.1%と、【周辺層】（31.0%）よりも11.1ポイント高くなっている。

＜子ども＞学習環境の欠如〔自分専用の勉強机〕【生活困難度別】

小学生（**） 中学生（**）



(5) どこまで教育を受けさせたいか、どこまで教育を受けたいか

<保護者>お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(1つに○)

<子ども>あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。あなたの考えにもっとも近いものに○をつけてください。(1つに○)

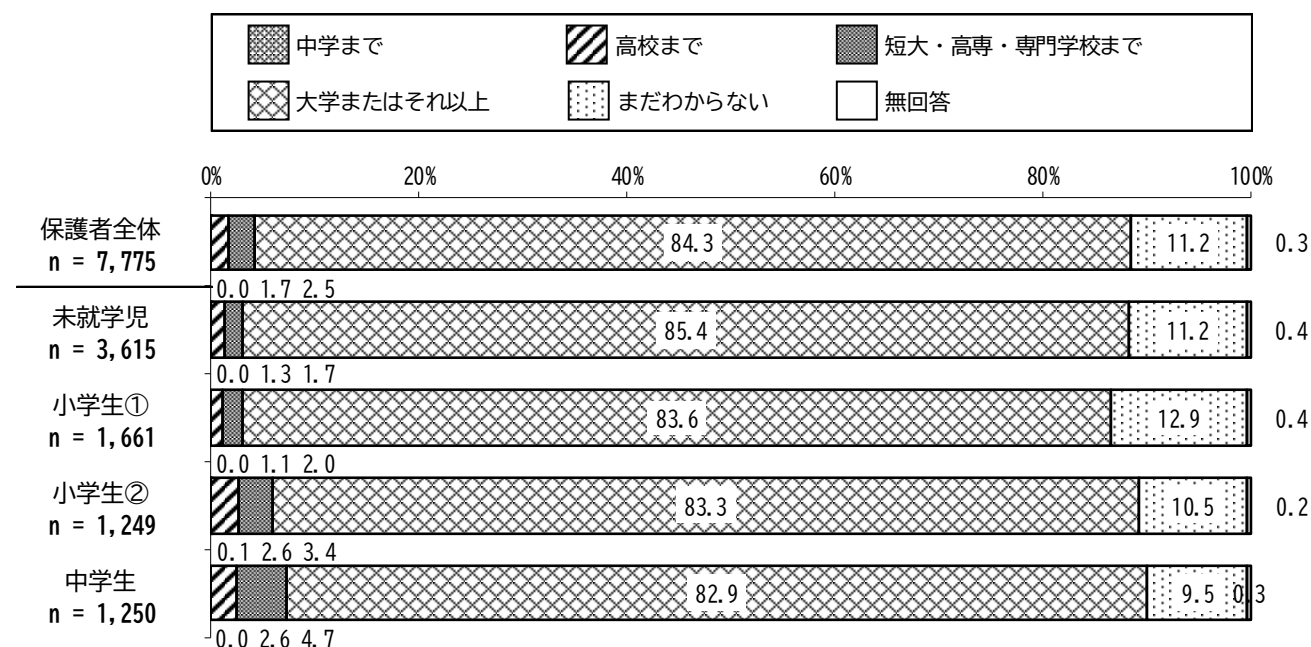
保護者全体では「大学またはそれ以上」が84.3%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

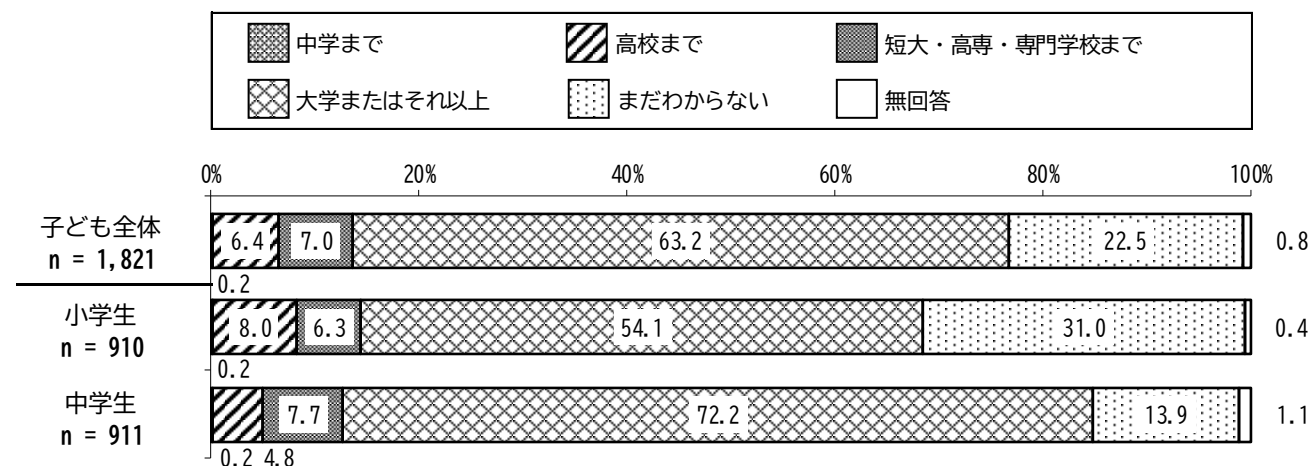
子ども全体では「大学またはそれ以上」が63.2%となっている。

小学生、中学生別にみると、「大学またはそれ以上」は【中学生】が72.2%と、【小学生】(54.1%)に比べ、18.1ポイント高くなっている。

<保護者>どこまで教育を受けさせたいか【子どもの年齢層別】



<子ども>どこまで教育を受けたいか



3 ふだん考えていることについて

(1) 思いや気持ち

※「とても思う」と「思う」を合わせた値を『思う』、

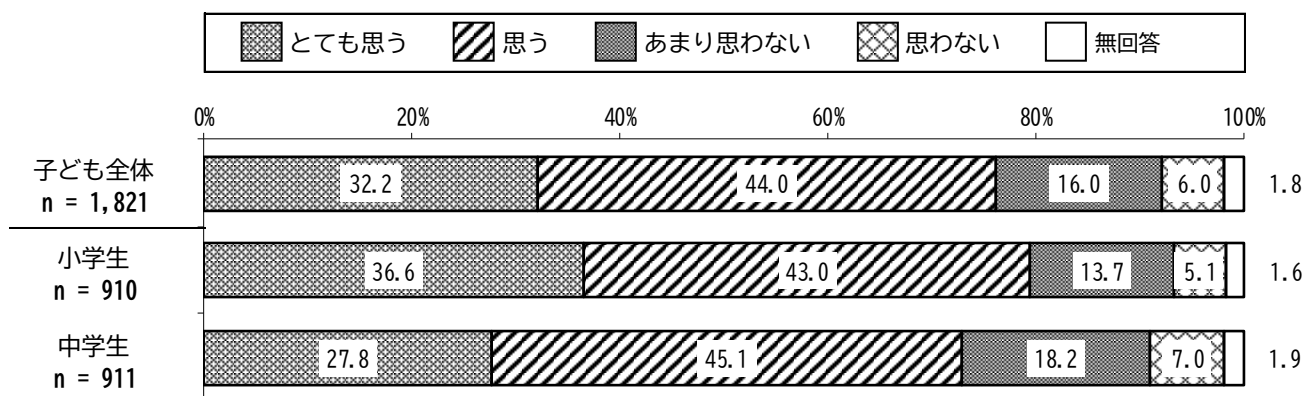
「思わない」と「あまり思わない」を合わせた値を『思わない』と表記する。

あなたの思いや気持ちについて、「1. とても思う」から「4. 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

〔A がんばれば、むくわれると思う〕について、子ども全体では『思う』が76.2%となっている。

小学生、中学生別にみると、『思う』は【小学生】が79.6%と、【中学生】(72.9%)に比べ、6.7ポイント高くなっている。

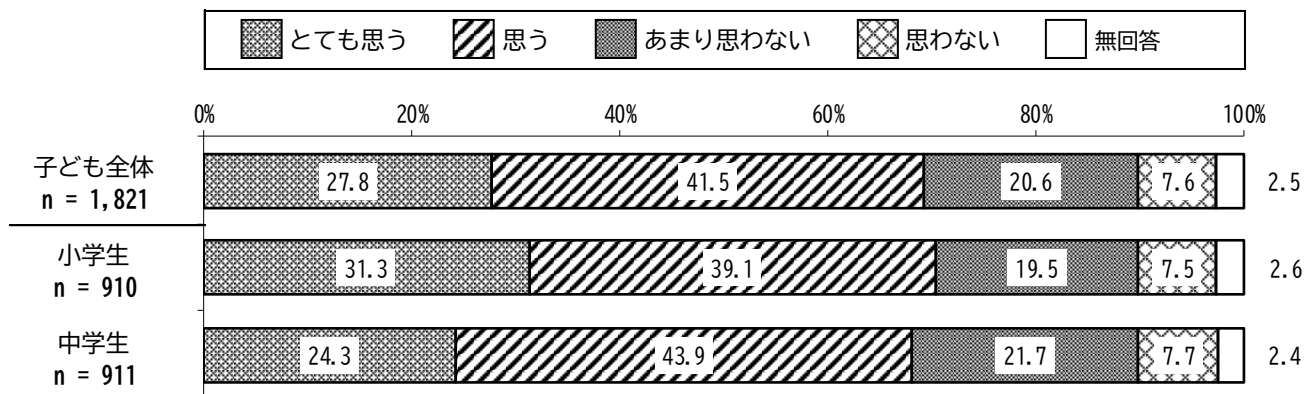
<子ども> 〔A がんばれば、むくわれると思う〕



〔B 自分は価値のある人間だと思う〕について、子ども全体では『思う』が69.3%となっている。

小学生、中学生別にみると、「とても思う」は【小学生】が31.3%と、【中学生】(24.3%)に比べ、7.0ポイント高くなっている。

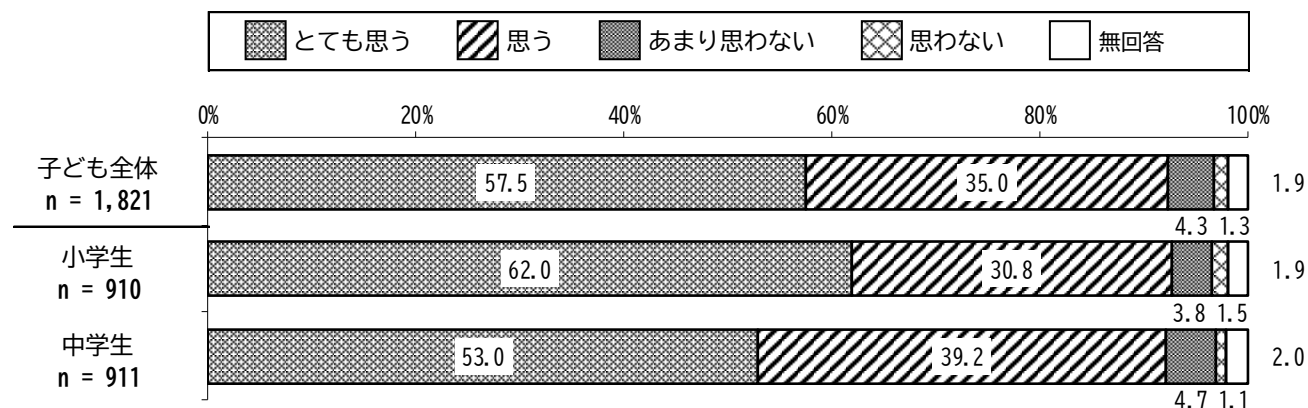
<子ども> 〔B 自分は価値のある人間だと思う〕



〔C 自分は家族に大切にされていると思う〕について、子ども全体では『思う』が 92.5%となっている。

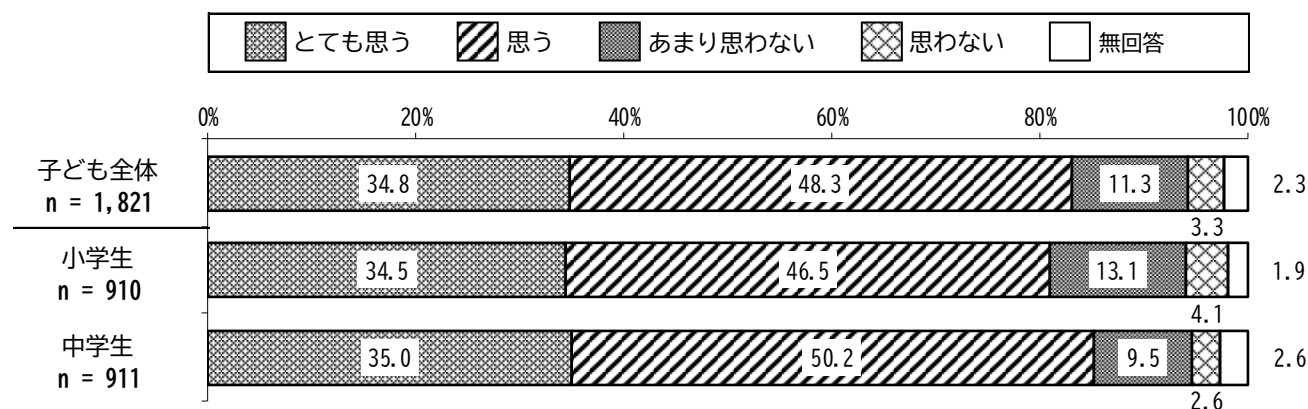
小学生、中学生別にみると、「とても思う」は【小学生】が 62.0%と、【中学生】(53.0%)に比べ、9.0ポイント高くなっている。

<子ども>〔C 自分は家族に大切にされていると思う〕



〔D 自分は友だちに好かれていると思う〕について、子ども全体では『思う』が 83.1%となっている。小学生、中学生別にみると、『思わない』は【小学生】が 17.2%と、【中学生】(12.1%)に比べ、5.1ポイント高くなっている。

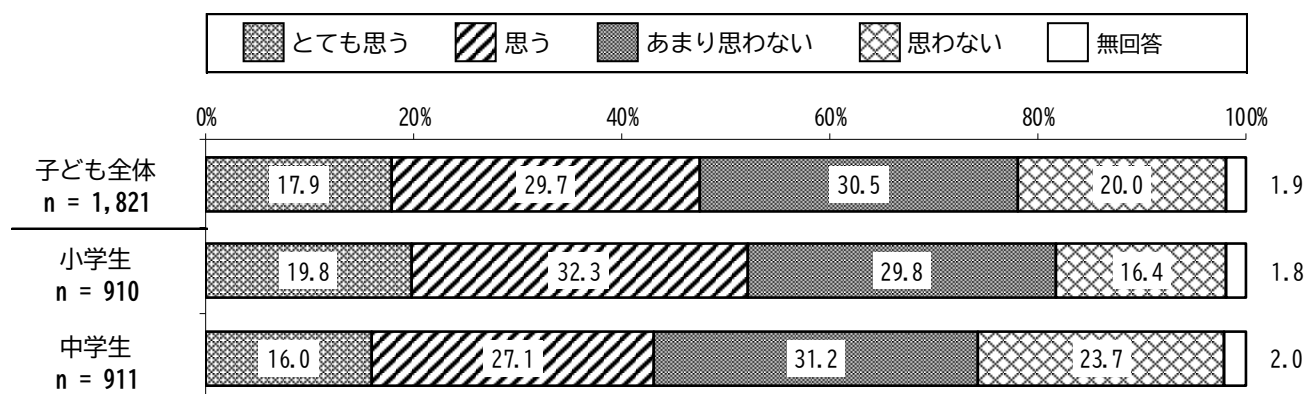
<子ども>〔D 自分は友だちに好かれていると思う〕



〔E 不安に感じることはないと思う〕について、子ども全体では『思う』が 47.6%、『思わない』が 50.5%となっている。

小学生、中学生別にみると、『思う』は【小学生】が 52.1%と、【中学生】(43.1%) に比べ、9.0 ポイント高くなっている。

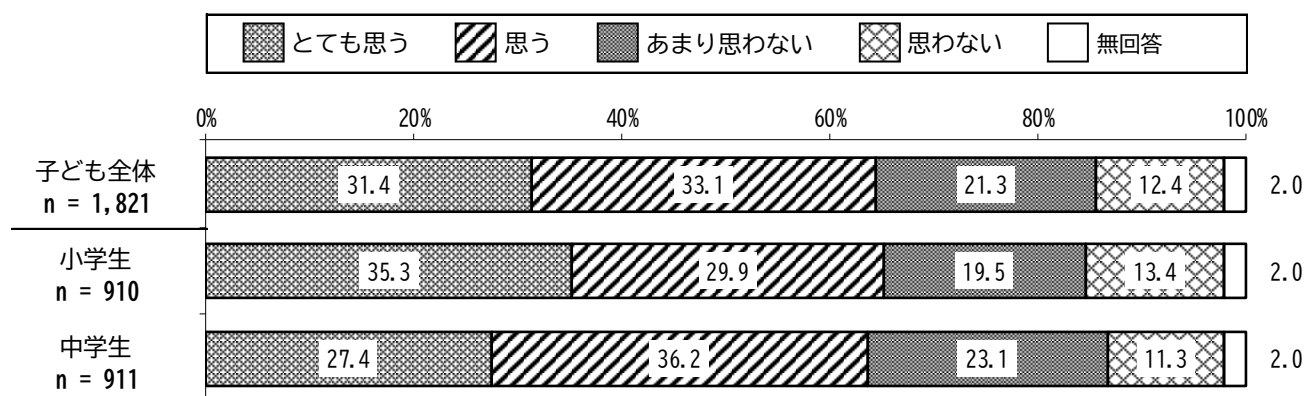
<子ども> 〔E 不安に感じることはないと思う〕



〔F 孤独を感じることはない〕について、子ども全体では『思う』が 64.5%、『思わない』が 33.7%となっている。

小学生、中学生別にみると、「とても思う」は【小学生】が 35.3%と、【中学生】(27.4%) に比べ、7.9 ポイント高くなっている。

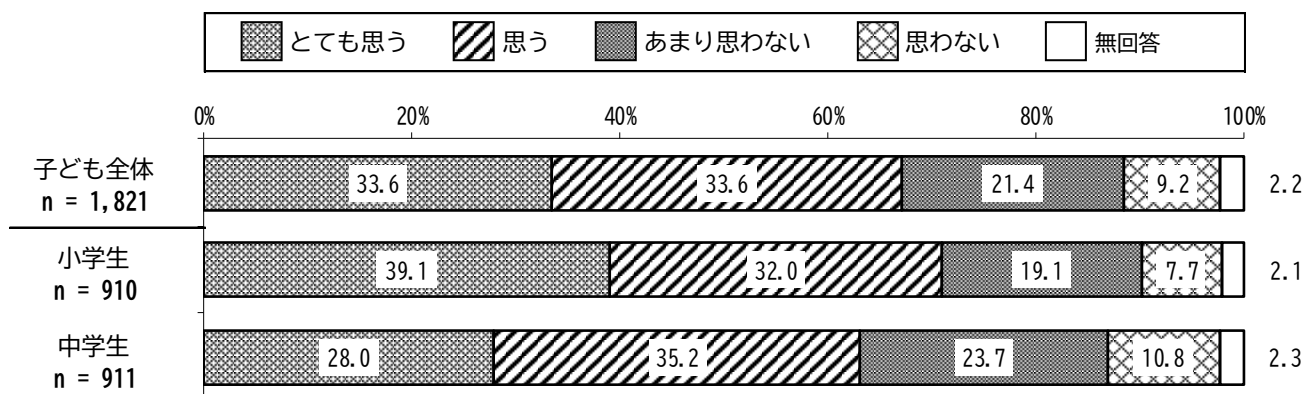
<子ども> 〔F 孤独を感じることはない〕



〔G 自分の将来が楽しみだ〕について、子ども全体では『思う』が67.2%となっている。

小学生、中学生別にみると、『思う』は【小学生】が71.1%と、【中学生】(63.2%)に比べ、7.9ポイント高くなっている。

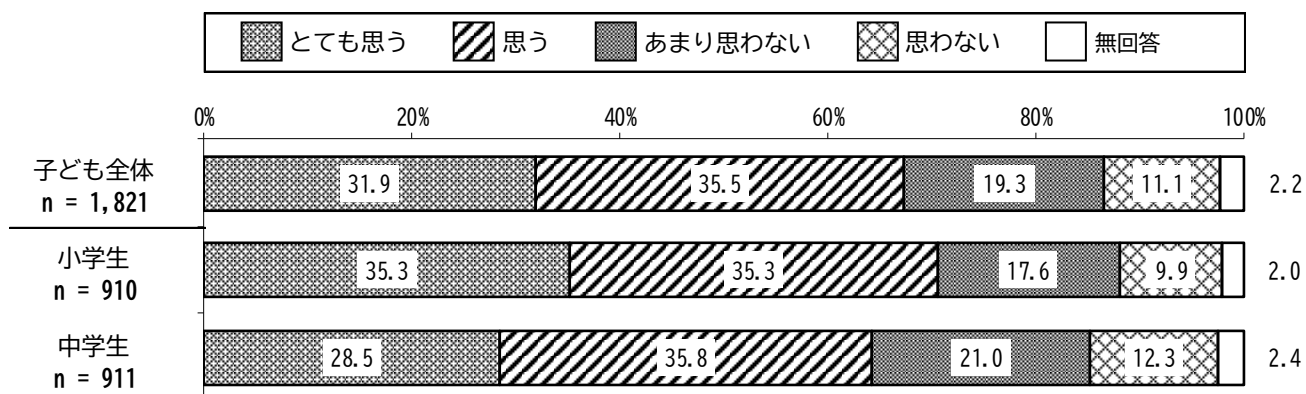
<子ども>〔G 自分の将来が楽しみだ〕



〔H 自分のことが好きだ〕について、子ども全体では『思う』が67.4%となっている。

小学生、中学生別にみると、『思う』は【小学生】が70.6%と、【中学生】(64.3%)に比べ、6.3ポイント高くなっている。

<子ども>〔H 自分のことが好きだ〕



(2) 経験について

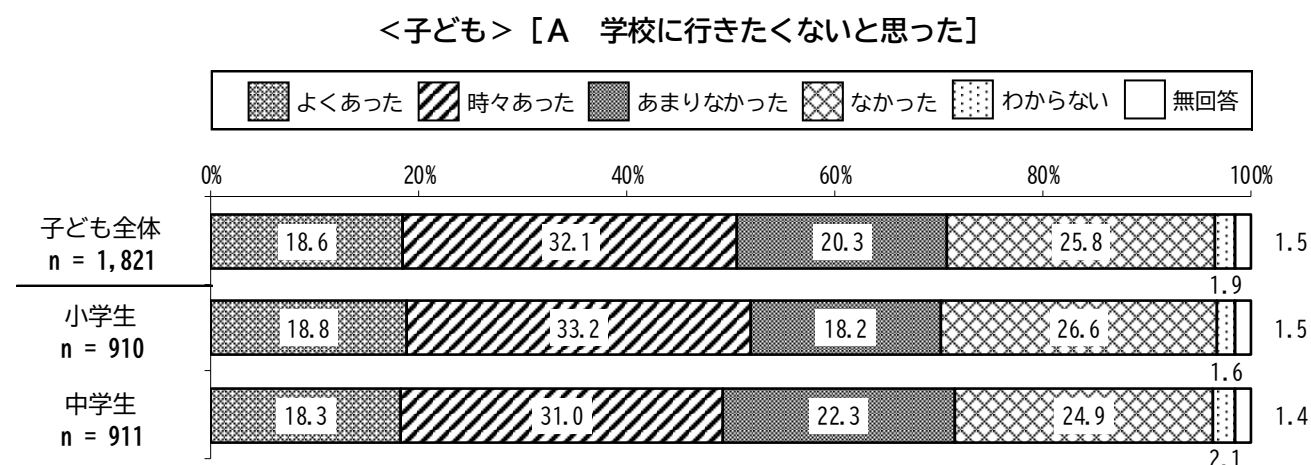
※「よくあった」と「時々あった」を合わせた値を『あった』、

「なかった」と「あまりなかった」を合わせた値を『なかった』と表記する。

あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。(それぞれ1つに○)

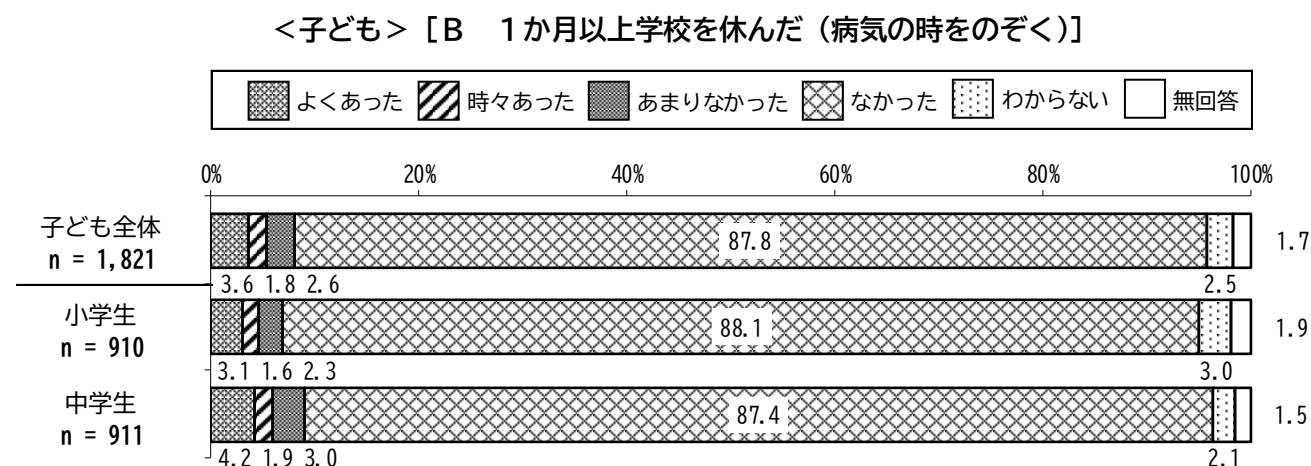
〔A 学校に行きたくないと思った〕について、子ども全体では『あった』が 50.7%、『なかった』が 46.1%となっている。

小学生、中学生別にみると、「あまりなかった」は【中学生】が 22.3%と、【小学生】(18.2%) に比べ、4.1 ポイント高くなっている。



〔B 1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)〕について、子ども全体では『なかった』が 90.4%となっている。

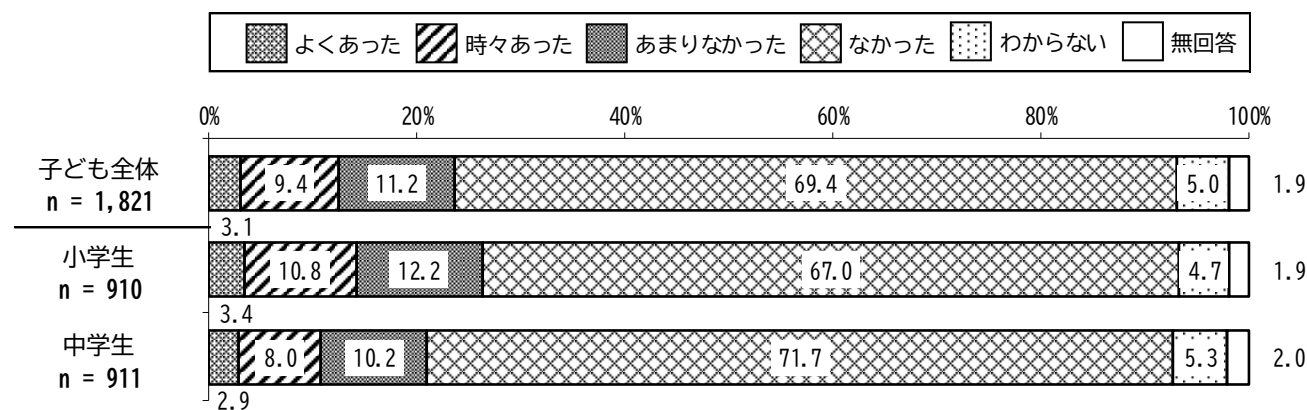
小学生、中学生に大きな差はみられない。



〔C いじめられた〕について、子ども全体では『なかった』が80.6%となっている。

小学生、中学生別にみると、「なかった」は【中学生】が71.7%と、【小学生】(67.0%)に比べ、4.7ポイント高くなっている。

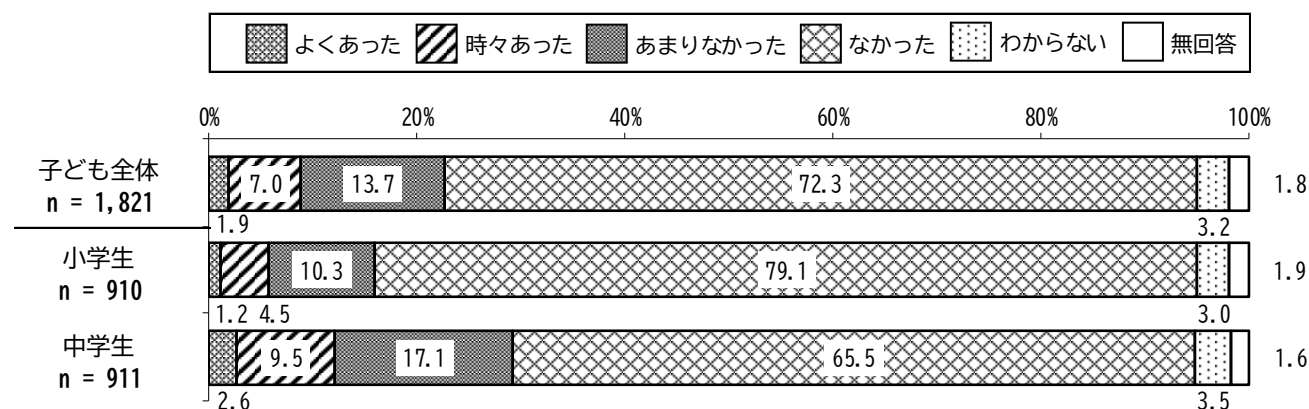
<子ども>〔C いじめられた〕



〔D 夜遅くまで子どもだけで過ごした〕について、子ども全体では『なかった』が86.0%となっている。

小学生、中学生別にみると、『なかった』は【小学生】が89.4%と、【中学生】(82.6%)に比べ、6.8ポイント高くなっている。

<子ども>〔D 夜遅くまで子どもだけで過ごした〕



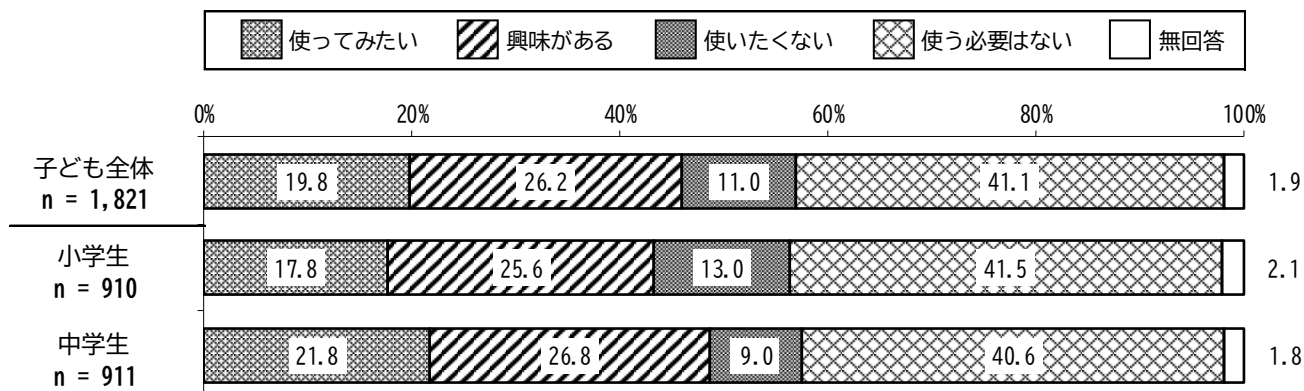
(3) 使ってみたい場所

あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(それぞれ1つに○)

〔A (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所〕について、子ども全体では「使ってみたい」が19.8%、「興味がある」が26.2%となっており、『利用意向』としては4割台半ばとなっている。

小学生、中学生別にみると、「使ってみたい」は【中学生】が21.8%と、【小学生】(17.8%)に比べ、4.0ポイント高くなっている。

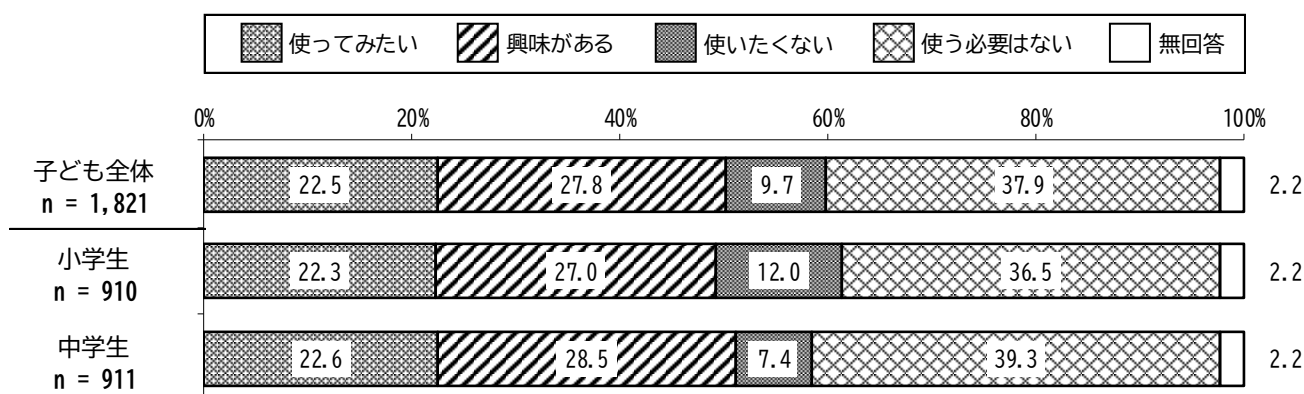
<子ども>〔A (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所〕



〔B (家以外で) 休日にいることができる場所〕について、子ども全体では「使ってみたい」が22.5%、「興味がある」が27.8%となっており、『利用意向』としては約5割となっている。

小学生、中学生別にみると、「使いたくない」は【小学生】が12.0%と、【中学生】(7.4%)に比べ、4.6ポイント高くなっている。

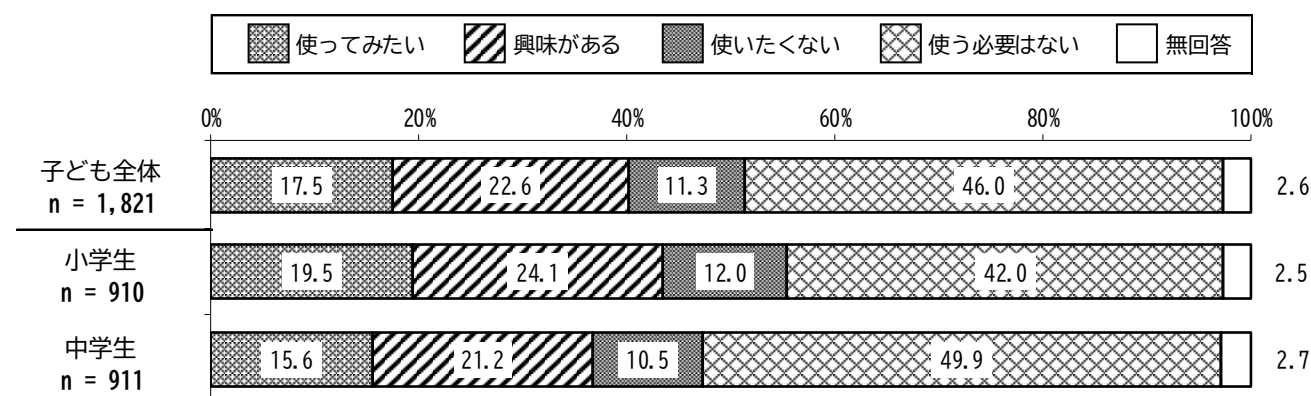
<子ども>〔B (家以外で) 休日にいることができる場所〕



〔C 家の人がない時、夕ごはんをみんなで食べることができる場所〕について、子ども全体では「使ってみたい」が 17.5%、「興味がある」が 22.6%となっており、『利用意向』としては約4割となっている。

小学生、中学生別にみると、「使ってみたい」は【小学生】が 19.5%と、【中学生】（15.6%）に比べ、3.9 ポイント高くなっている。

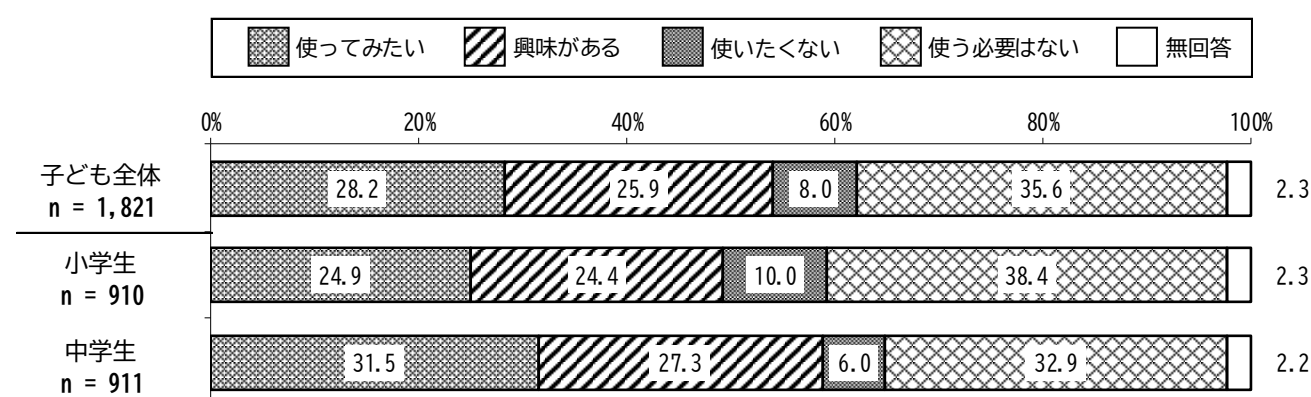
<子ども> 〔C 家の人がない時、夕ごはんをみんなで食べることができる場所〕



〔D 家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所〕について、子ども全体では「使ってみたい」が 28.2%、「興味がある」が 25.9%となっており、『利用意向』としては5割台半ばとなっている。

小学生、中学生別にみると、「使ってみたい」は【中学生】が 31.5%と、【小学生】（24.9%）に比べ、6.6 ポイント高くなっている。

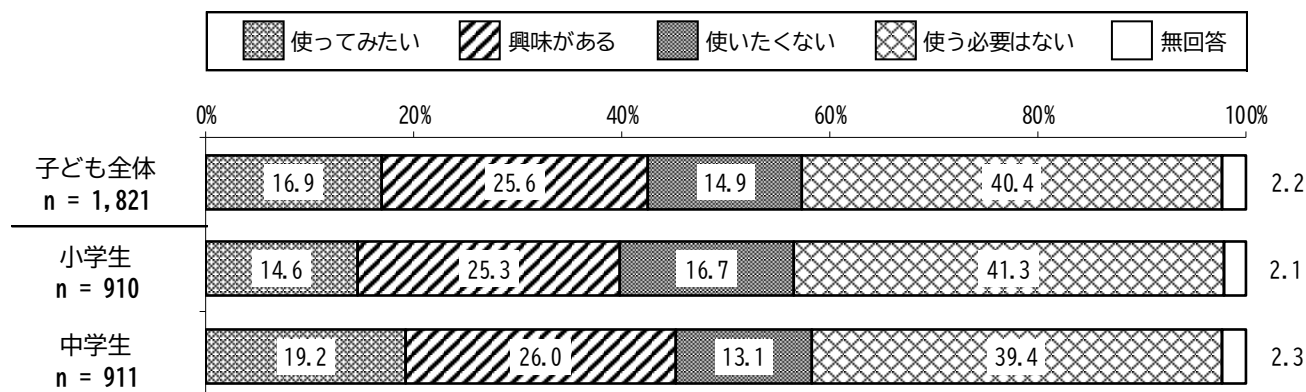
<子ども> 〔D 家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所〕



〔E 大学生のボランティアが、勉強を無料でみてる場所〕について、子ども全体では「使ってみたい」が16.9%、「興味がある」が25.6%となっており、『利用意向』としては4割強となっている。

小学生、中学生別にみると、「使ってみたい」は【中学生】が19.2%と、【小学生】（14.6%）に比べ、4.6ポイント高くなっている。

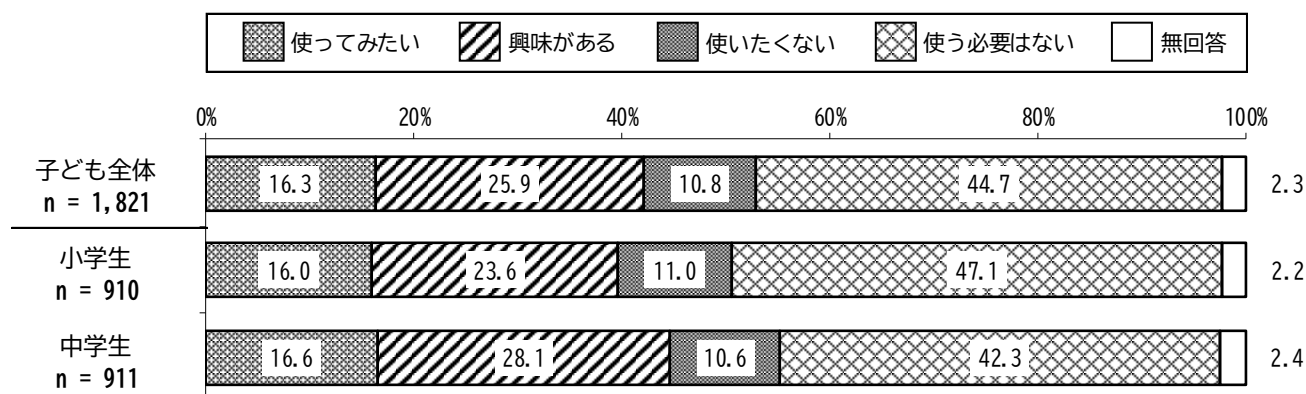
<子ども>〔E 大学生のボランティアが、勉強を無料でみてる場所〕



〔F （学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所〕について、子ども全体では「使ってみたい」が16.3%、「興味がある」が25.9%となっており、『利用意向』としては4割強となっている。

小学生、中学生別にみると、「興味がある」は【中学生】が28.1%と、【小学生】（23.6%）に比べ、4.5ポイント高くなっている。

<子ども>〔F （学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所〕



第5章

子どもと子育て家庭からみた中野区の環境について

第5章 子どもと子育て家庭からみた中野区的环境について

※「非常に（とても）満足」と「満足」と「やや満足」を合わせた値を『満足層』、
「非常に（とても）不満」と「不満」と「やや不満」を合わせた値を『不満層』と表記する。

1 地域や環境について

保護者

あなたは、中野区の地域や環境について、子育てをする（あなたとお子さんが生活する）上でどう感じていますか。それぞれの項目について、お答えください。（それぞれ1つに○）

子ども

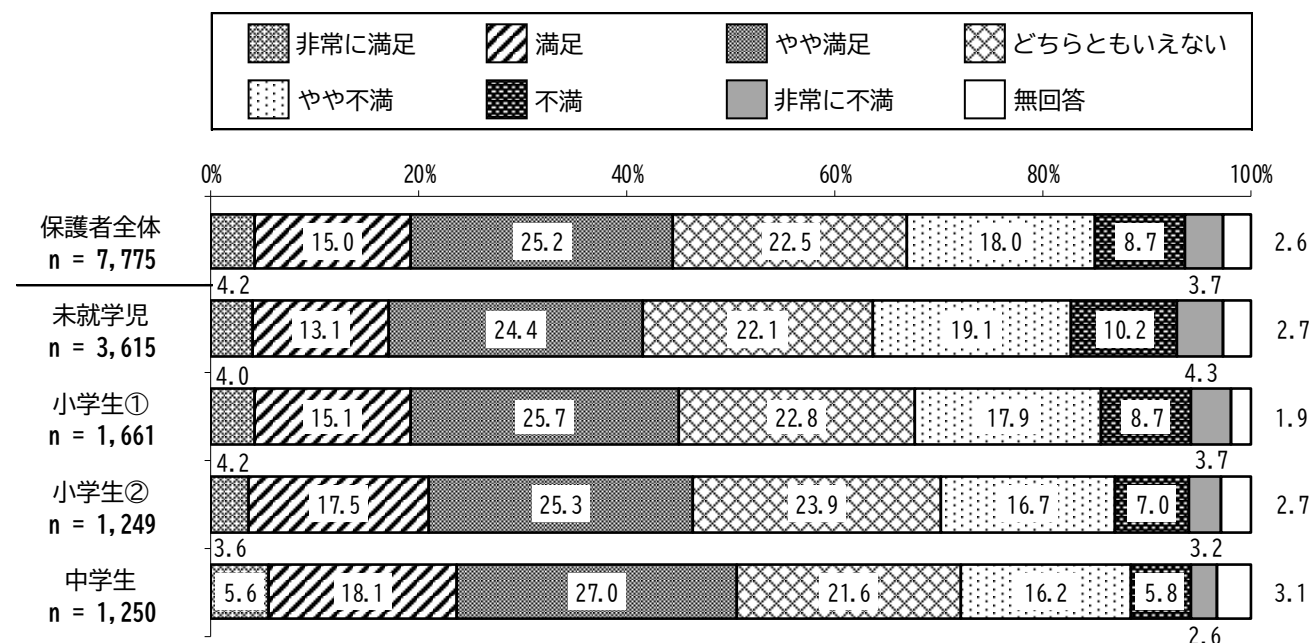
あなたは、中野区のまちについて、どう感じていますか。それぞれの項目について、お答えください。（それぞれ1つに○）

（1）移動や交通環境について

〔移動や交通環境の総合的な満足度〕について、保護者全体では『満足層』が44.4%、『不満層』が30.4%となっている。

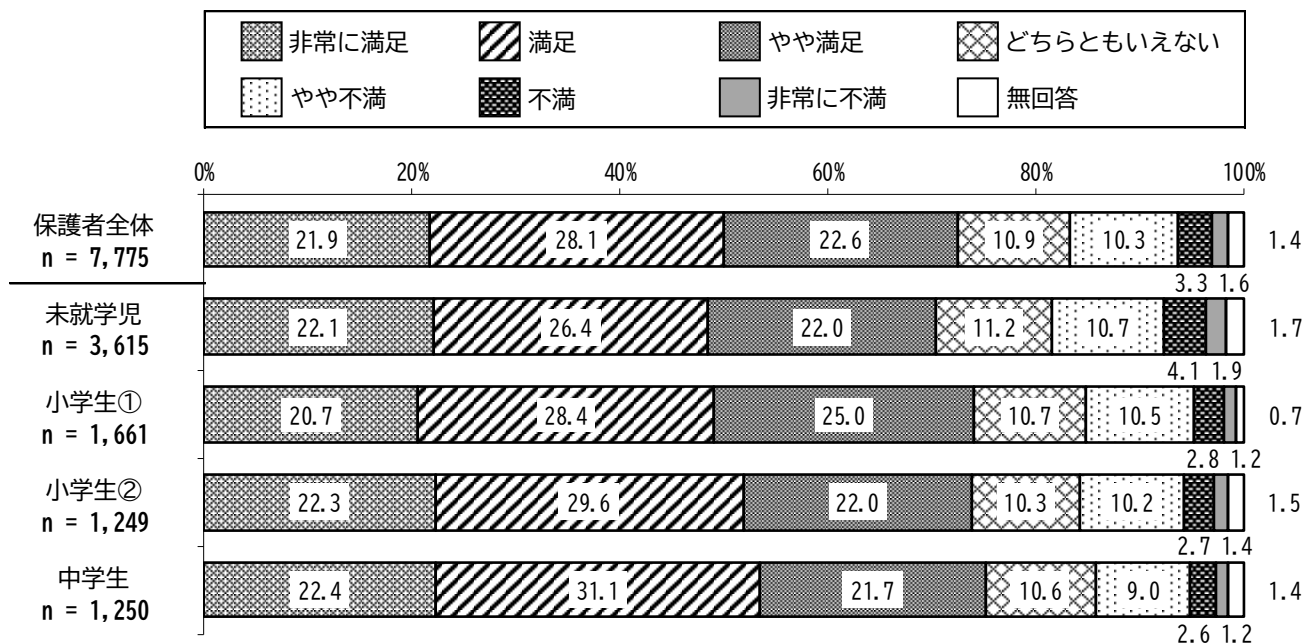
子どもの年齢層が高くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【中学生】が50.7%となっている。

<保護者>移動や交通環境の総合的な満足度【子どもの年齢層別】



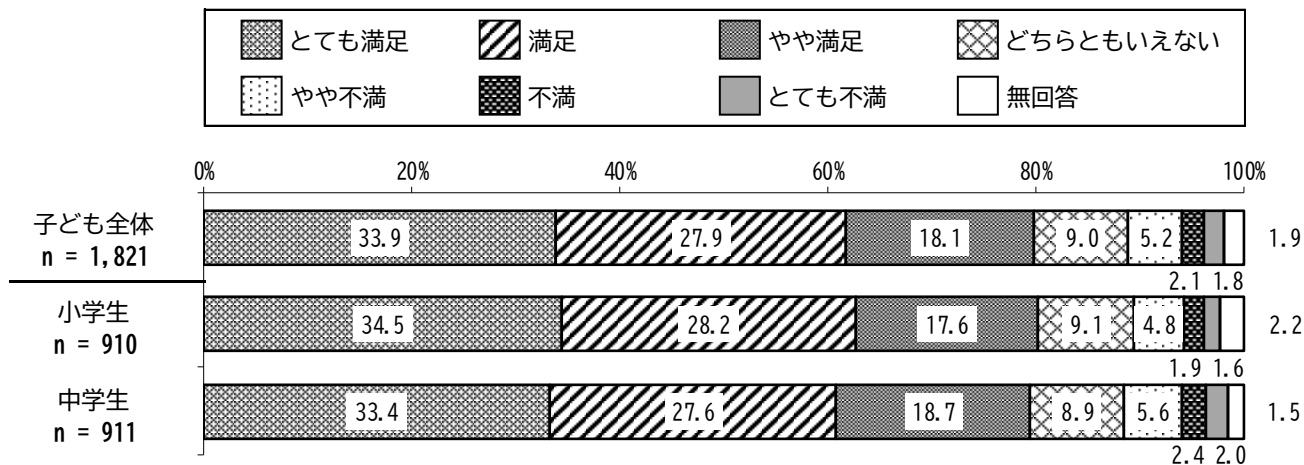
〔最寄り駅までの距離〕について、保護者全体では『満足層』が72.6%となっている。
 子どもの年齢層による大きな差はみられない。

＜保護者＞最寄り駅までの距離【子どもの年齢層別】



〔一番近い駅までの距離〕について、子ども全体では『満足層』が79.9%となっている。
 小学生、中学生に大きな差はみられない。

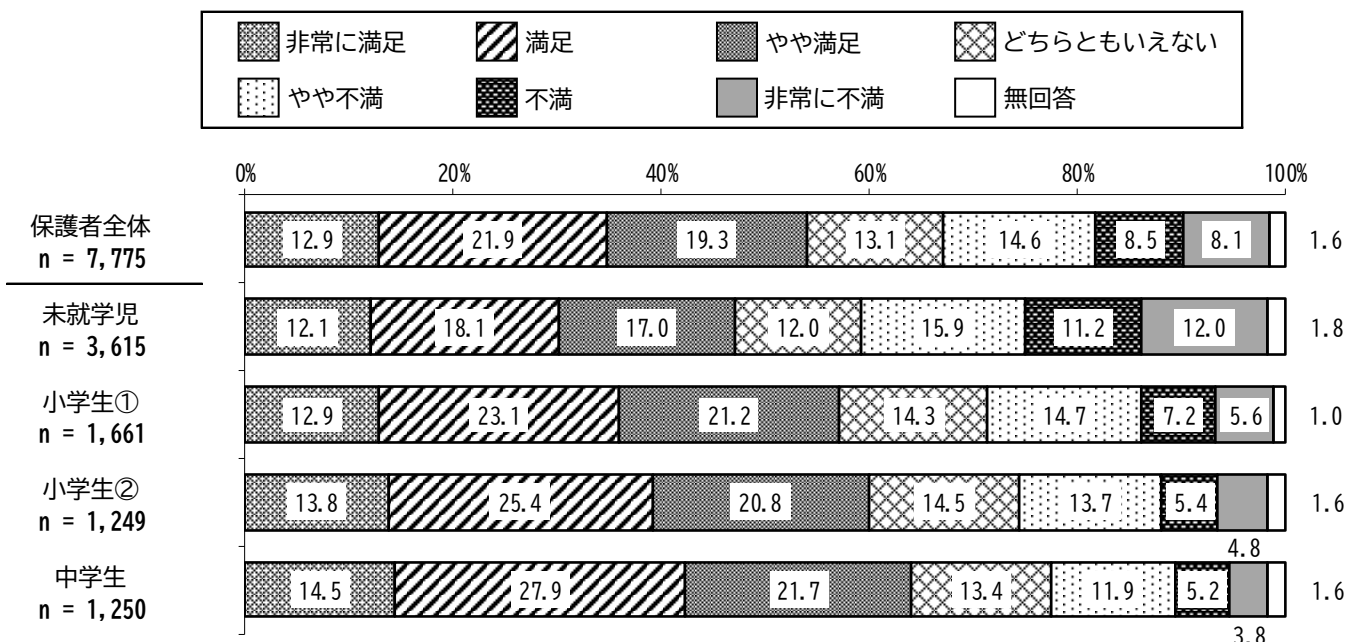
＜子ども＞一番近い駅までの距離



〔最寄り駅の駅舎の利用しやすさ〕について、保護者全体では『満足層』が54.1%、『不満層』が31.2%となっている。

子どもの年齢層が高くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【中学生】が64.1%となっている。

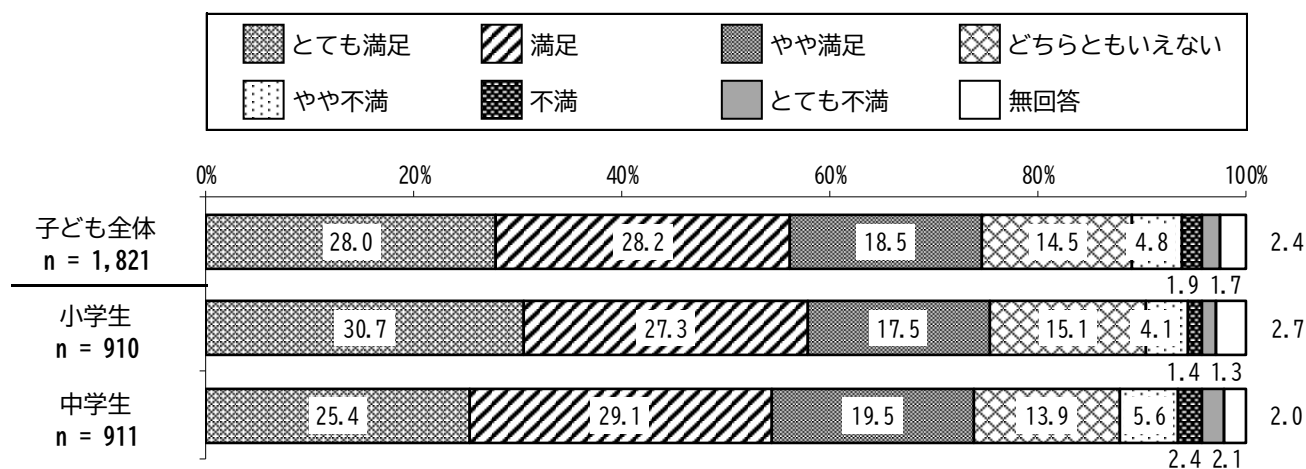
<保護者>最寄り駅の駅舎の利用しやすさ【子どもの年齢層別】



〔一番近い駅の駅舎（建物）の利用しやすさ〕について、子ども全体では『満足層』が74.7%となっている。

小学生、中学生別にみると、「とても満足」は【小学生】が30.7%と、【中学生】（25.4%）に比べ、5.3ポイント高くなっている。

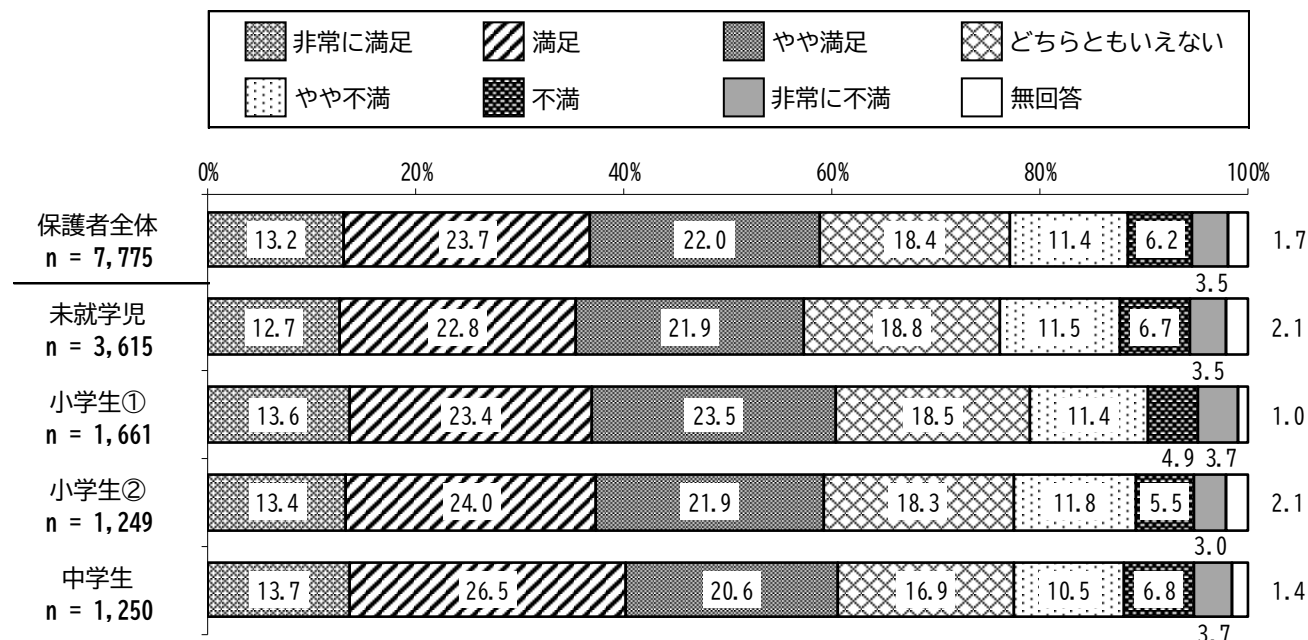
<子ども>一番近い駅の駅舎（建物）の利用しやすさ



「バスの利用しやすさ」について、保護者全体では『満足層』が58.9%、『不満層』が21.1%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

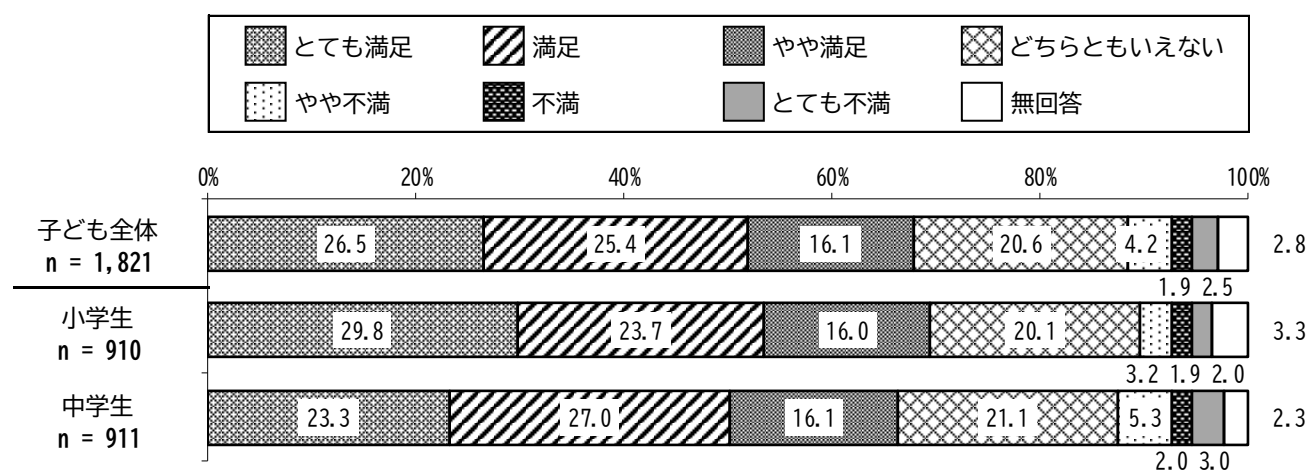
<保護者>バスの利用しやすさ【子どもの年齢層別】



「バスの利用しやすさ」について、子ども全体では『満足層』が68.0%となっている。

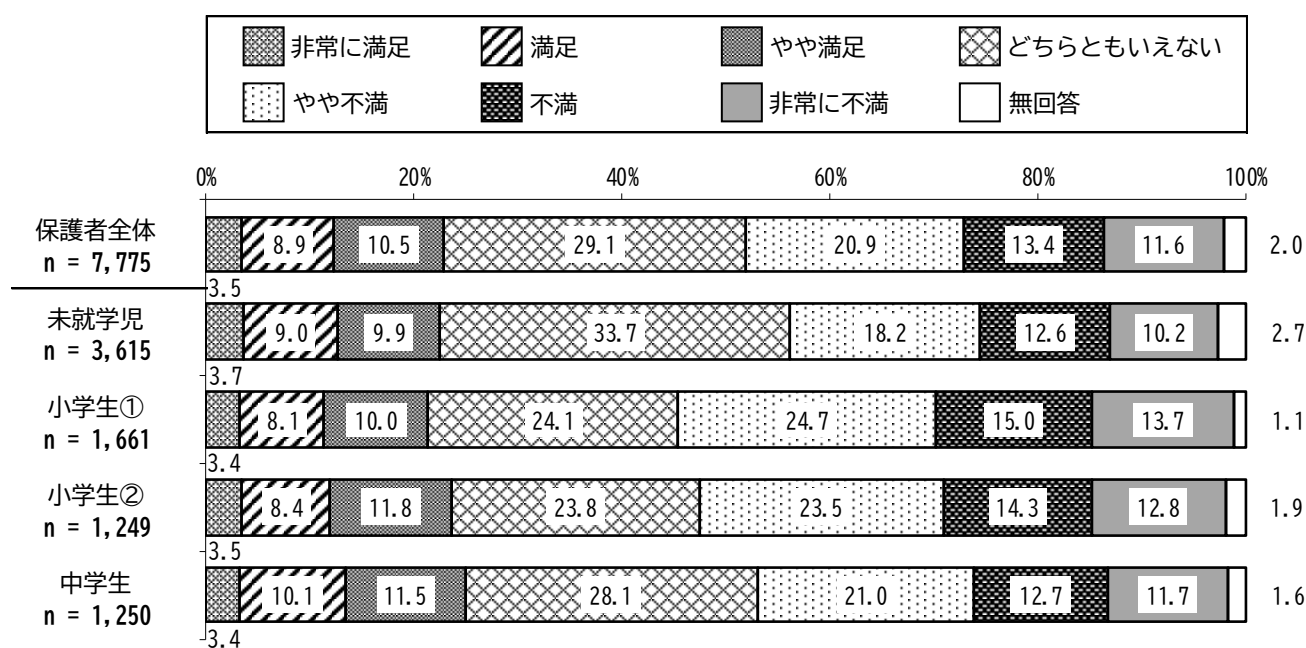
小学生、中学生別にみると、「とても満足」は【小学生】が29.8%と、【中学生】(23.3%)に比べ、6.5ポイント高くなっている。

<子ども>バスの利用しやすさ



〔自転車駐輪場の数〕について、保護者全体では『満足層』が22.9%、『不満層』が45.9%となっている。子どもの年齢層別にみると、『不満層』は【小学生①】が53.4%と他の区分に比べ、高くなっている。

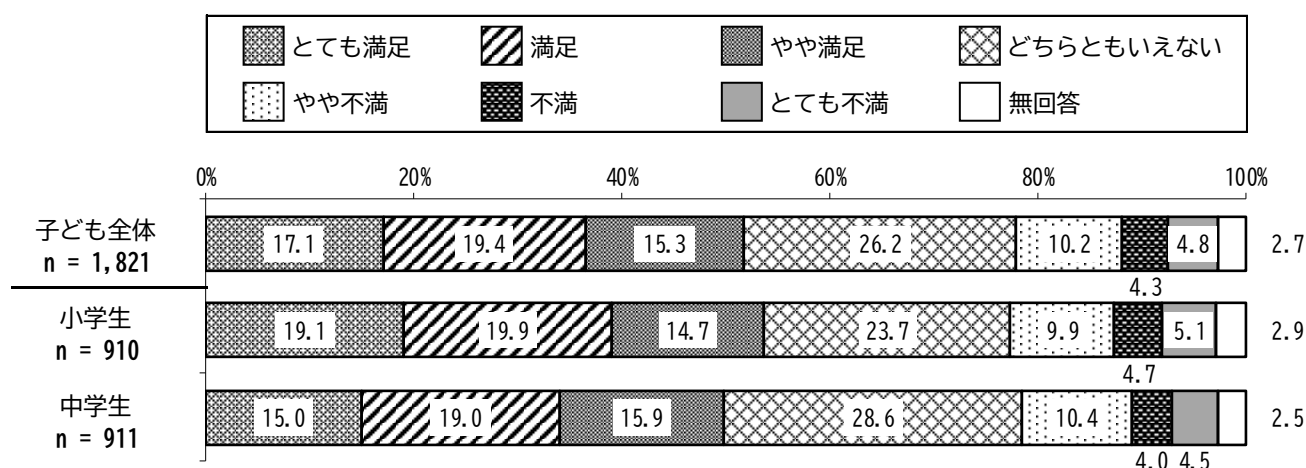
＜保護者＞自転車駐輪場の数【子どもの年齢層別】



〔自転車の駐輪場の数〕について、子ども全体では『満足層』が51.8%、『不満層』が19.3%となっている。

小学生、中学生別にみると、「どちらともいえない」は【中学生】が28.6%と、【小学生】（23.7%）に比べ、4.9ポイント高くなっている。

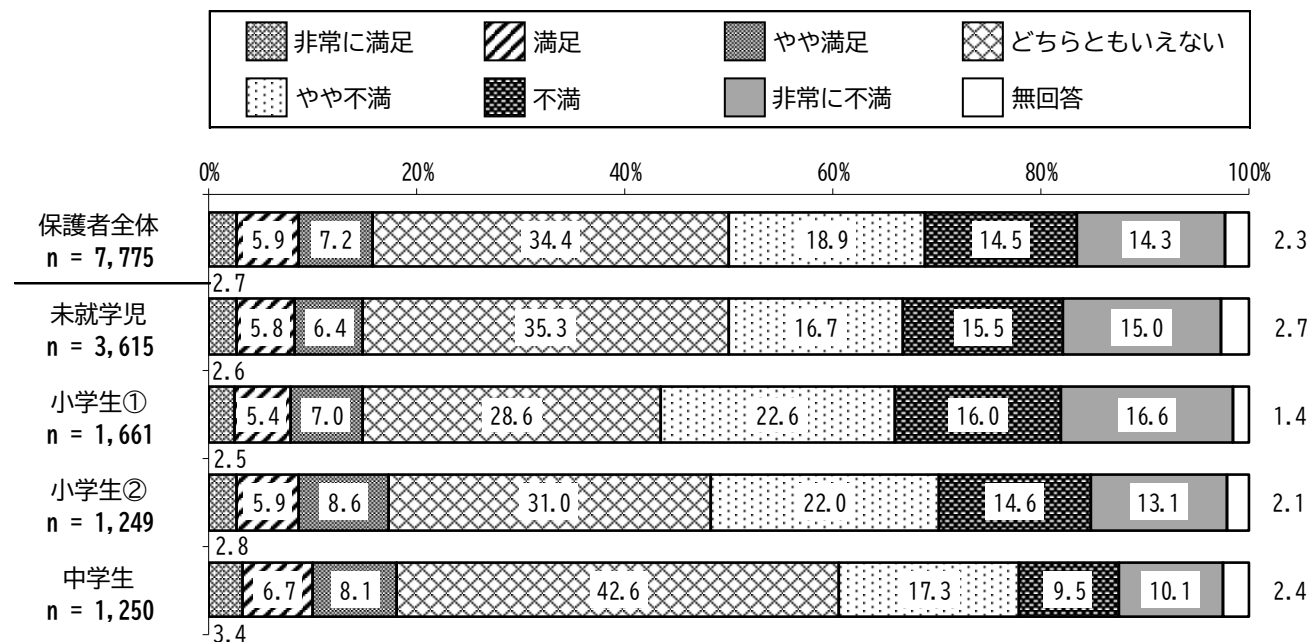
＜子ども＞自転車の駐輪場の数



〔幼児用座席付自転車が駐輪できるラックなどの整備状況〕について、保護者全体では『満足層』が15.8%、『不満層』が47.7%となっている。

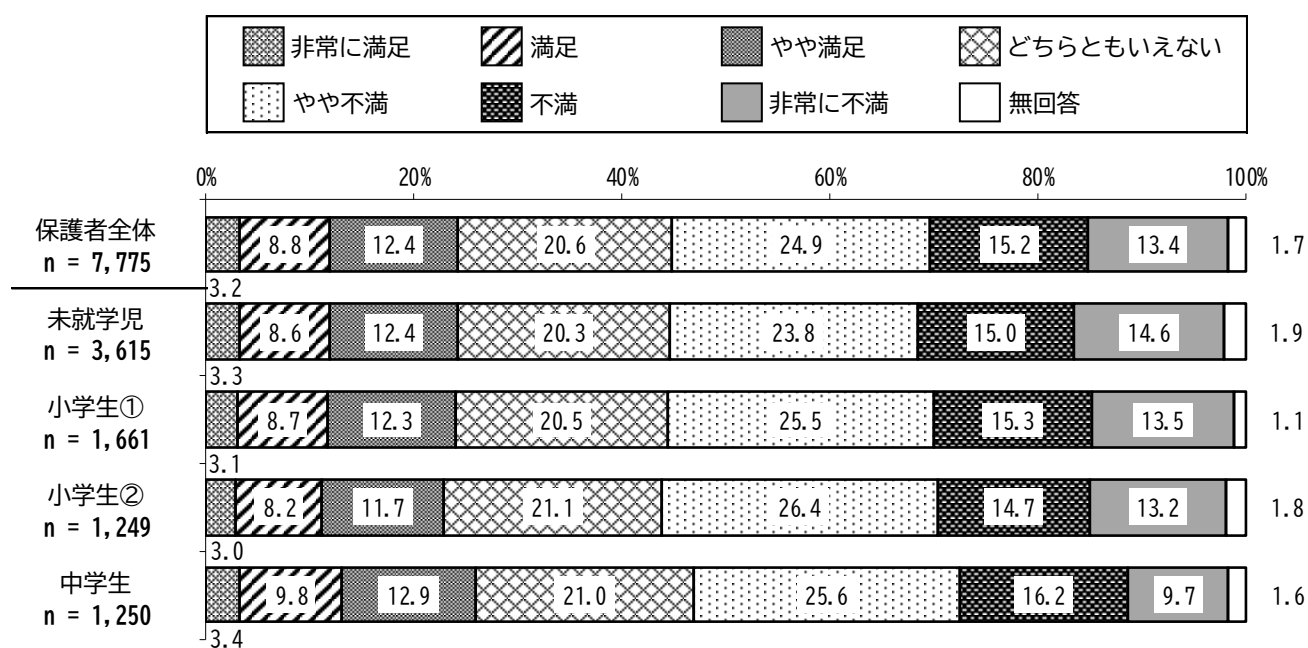
子どもの年齢層別にみると、『不満層』は【小学生①】が55.2%と他の区分に比べ、高くなっている。

<保護者> 幼児用座席付自転車駐輪できるラックなどの整備状況【子どもの年齢層別】



〔生活道路の道幅〕について、保護者全体では『満足層』が24.4%、『不満層』が53.5%となっている。子どもの年齢層による大きな差はみられない。

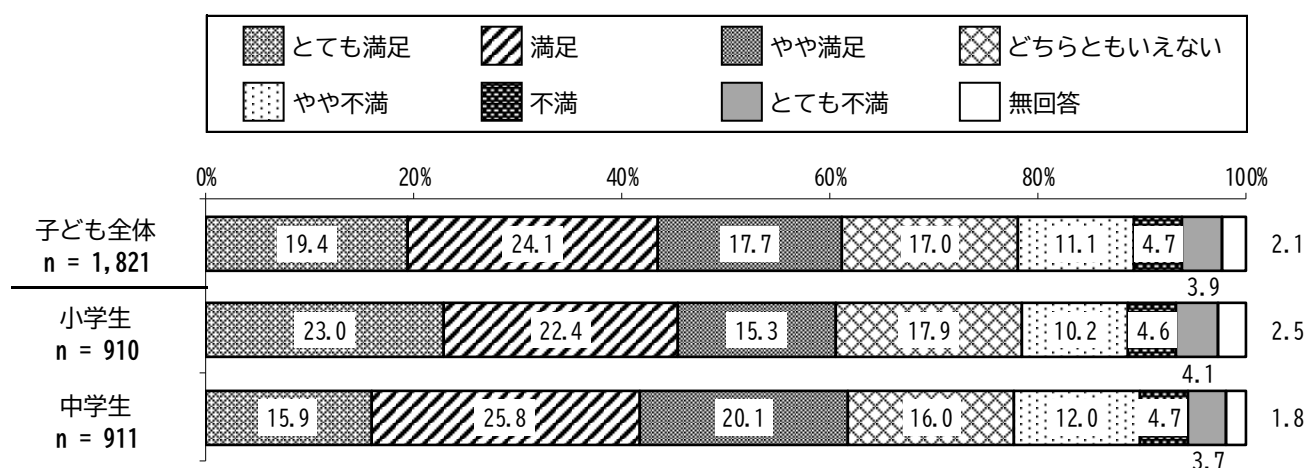
<保護者>生活道路の道幅【子どもの年齢層別】



〔いつも使っている道路の道幅〕について、子ども全体では『満足層』が61.2%、『不満層』が19.7%となっている。

小学生、中学生別にみると、「とても満足」は【小学生】が23.0%と、【中学生】(15.9%)に比べ、7.1ポイント高くなっている。

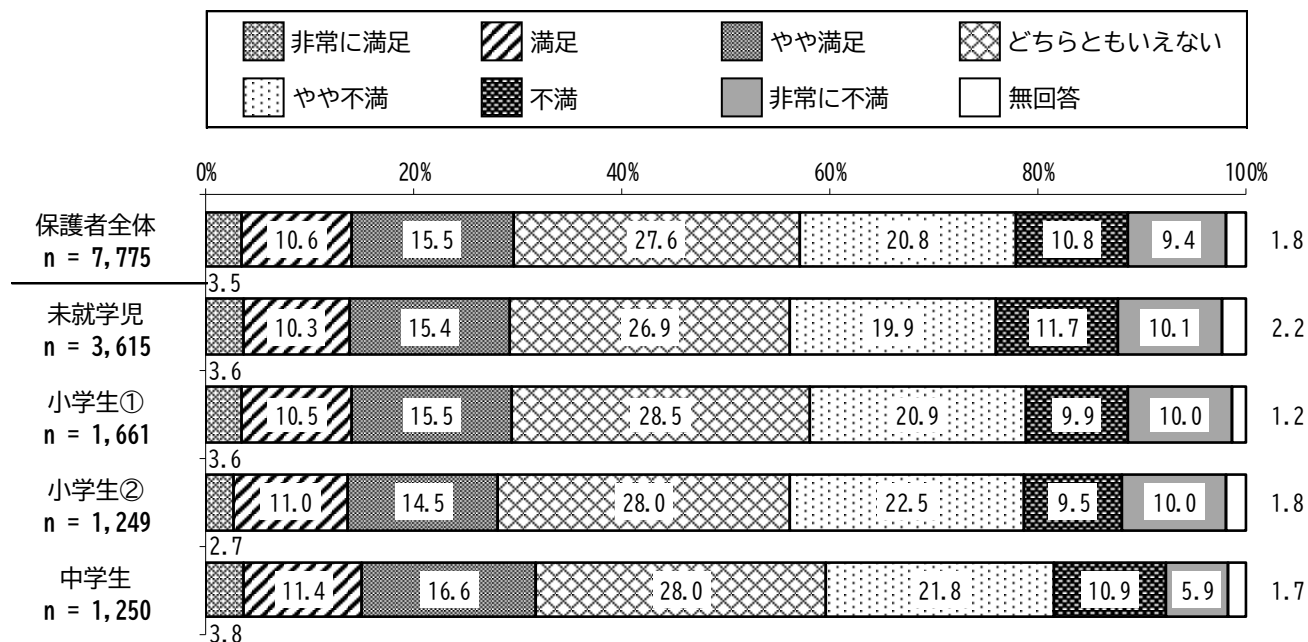
<子ども>いつも使っている道路の道幅



〔生活道路の舗装・段差〕について、保護者全体では『満足層』が29.6%、『不満層』が41.0%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

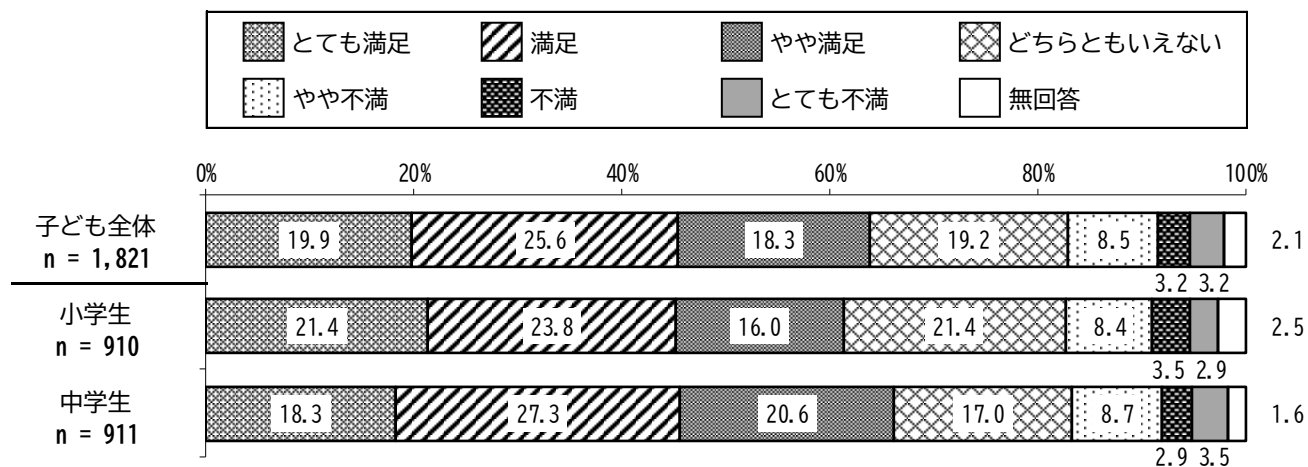
<保護者>生活道路の舗装・段差【子どもの年齢層別】



〔いつも使っている道路の舗装・段差〕について、子ども全体では『満足層』が63.8%、『不満層』が14.9%となっている。

小学生、中学生別にみると、『満足層』は【中学生】が66.2%と、【小学生】(61.2%)に比べ、5.0ポイント高くなっている。

<子ども>いつも使っている道路の舗装・段差

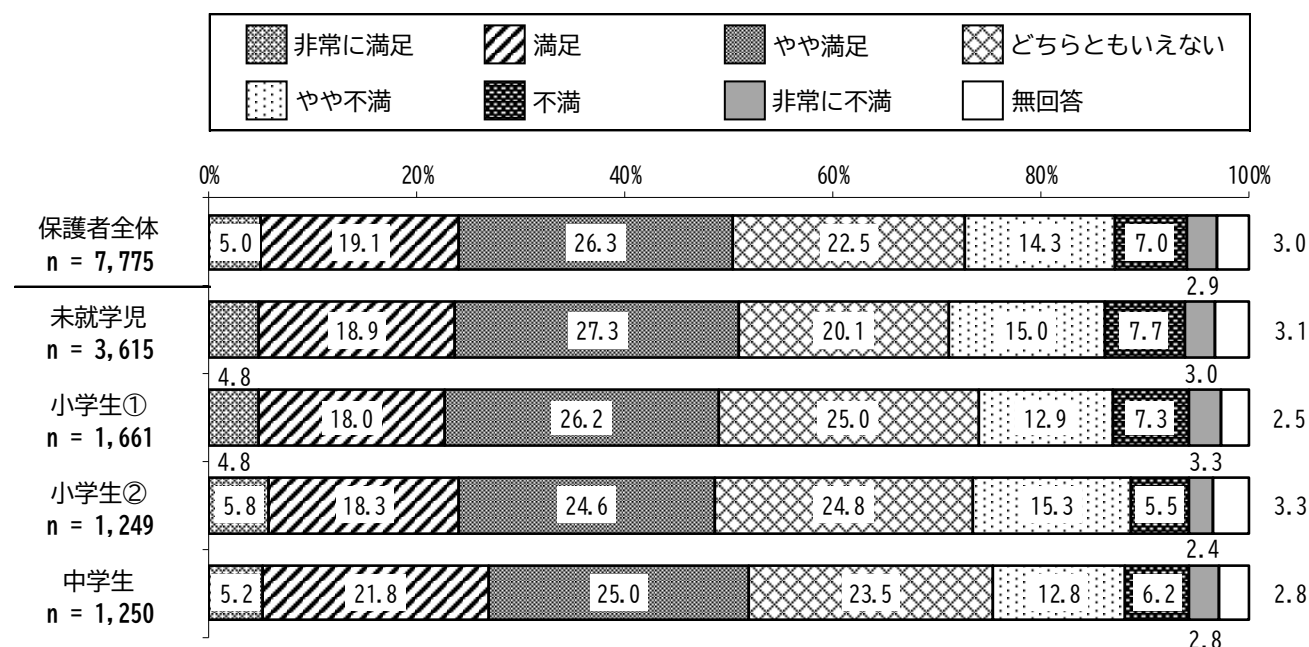


(2) 住宅環境について

〔住宅環境の総合的な満足度〕について、保護者全体では『満足層』が 50.4%、『不満層』が 24.2%となっている。

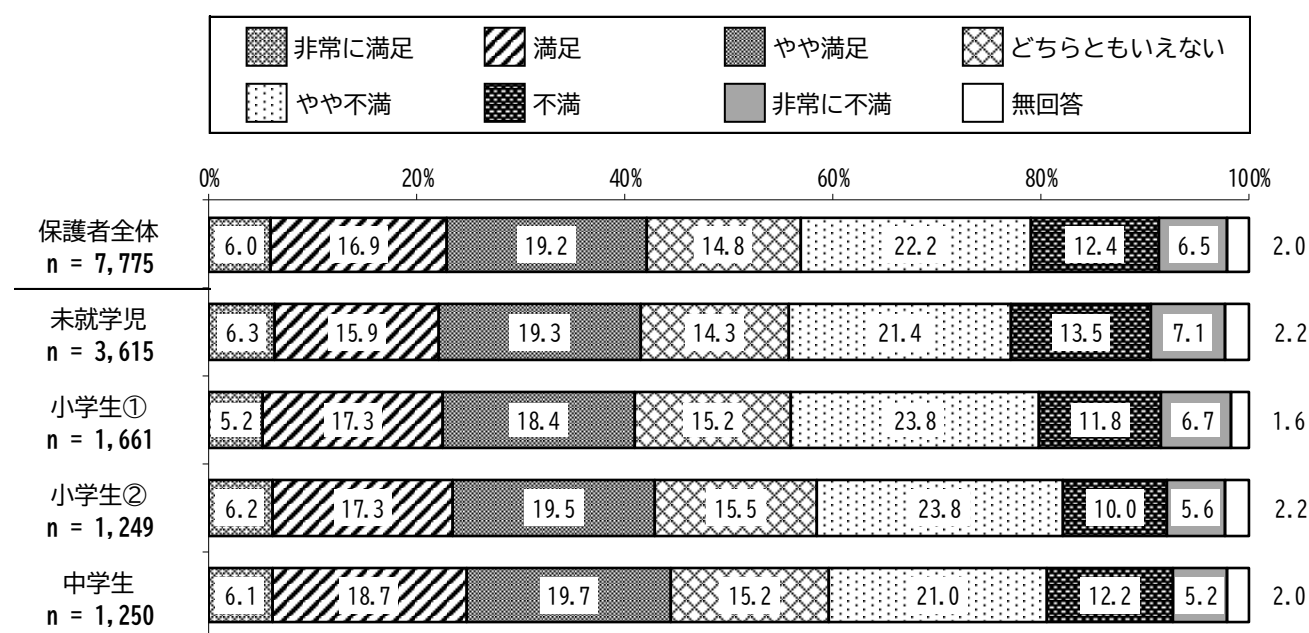
子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者> 住宅環境の総合的な満足度【子どもの年齢層別】



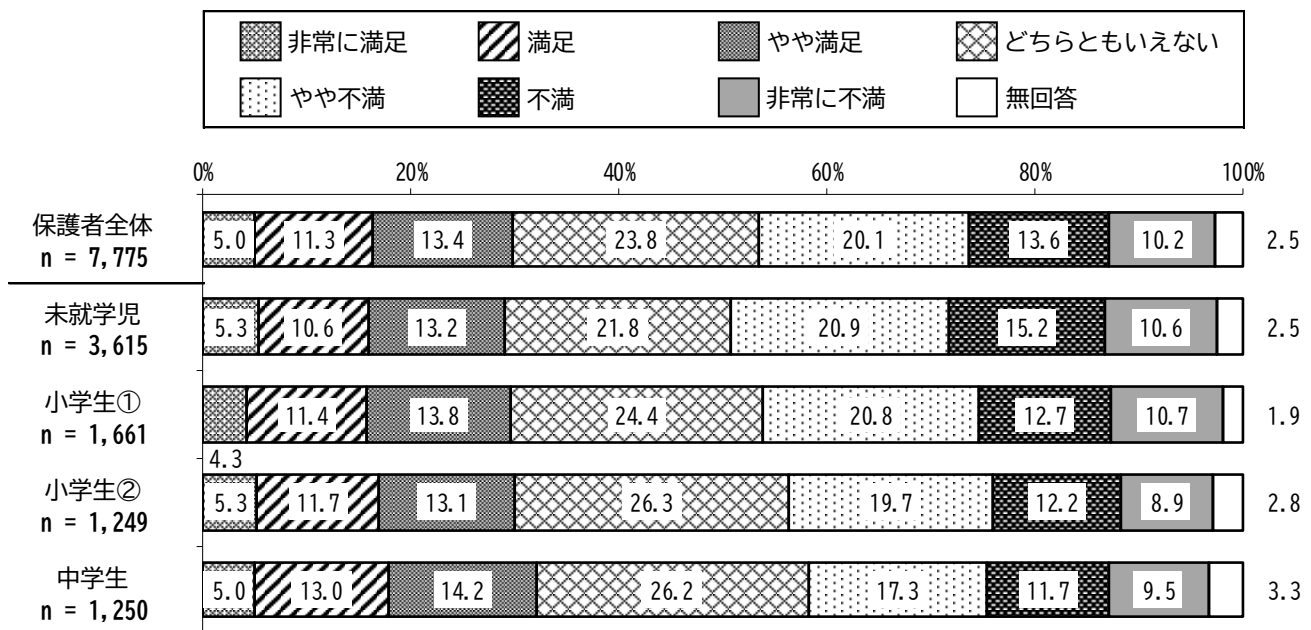
〔広さ〕について、保護者全体では『満足層』が 42.1%、『不満層』が 41.1%となっている。子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者> 広さ【子どもの年齢層別】



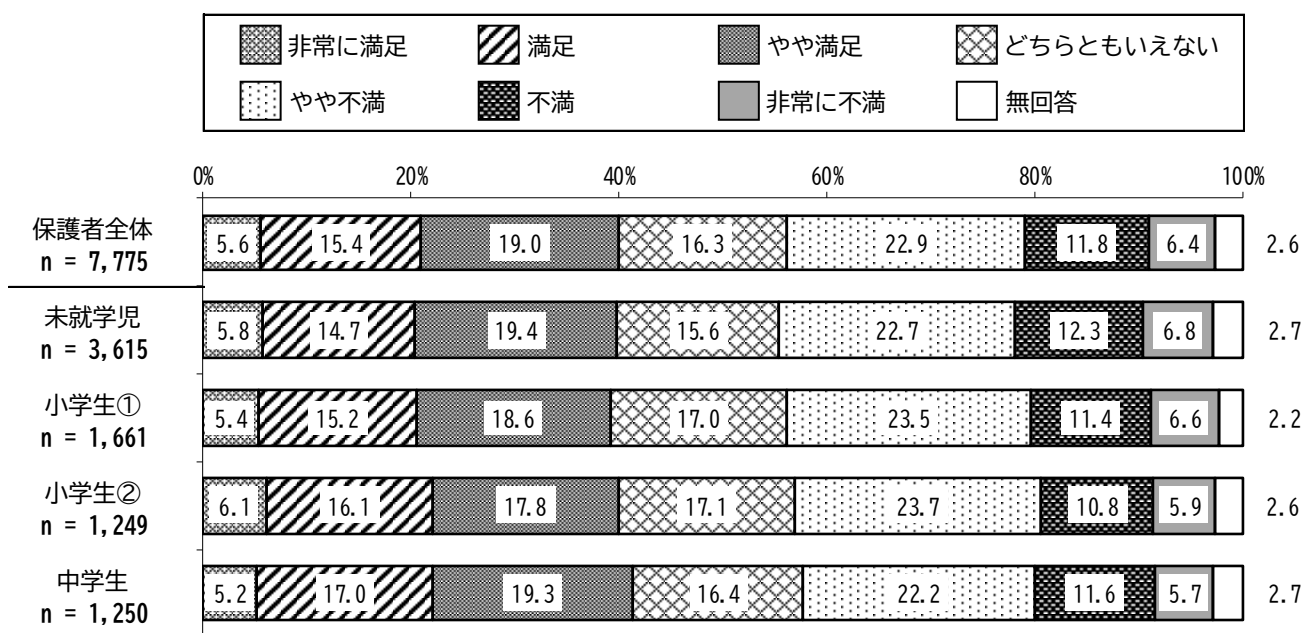
〔販売価格・家賃〕について、保護者全体では『満足層』が29.7%、『不満層』が43.9%となっている。子どもの年齢層が低くなるほど、『不満層』の割合が高くなり【未就学児】が46.7%となっている。

<保護者>販売価格・家賃【子どもの年齢層別】



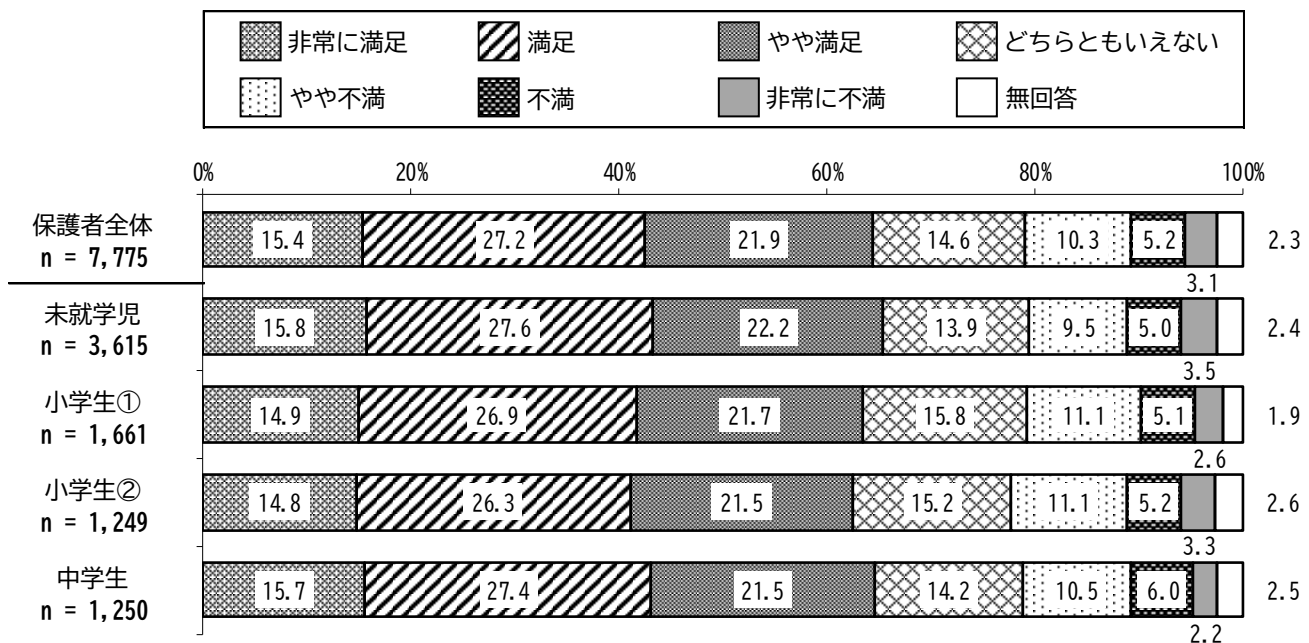
〔間取り〕について、保護者全体では『満足層』が40.0%、『不満層』が41.1%となっている。子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者>間取り【子どもの年齢層別】



「日当たりの良さ」について、保護者全体では『満足層』が64.5%、『不満層』が18.6%となっている。子どもの年齢層による大きな差はみられない。

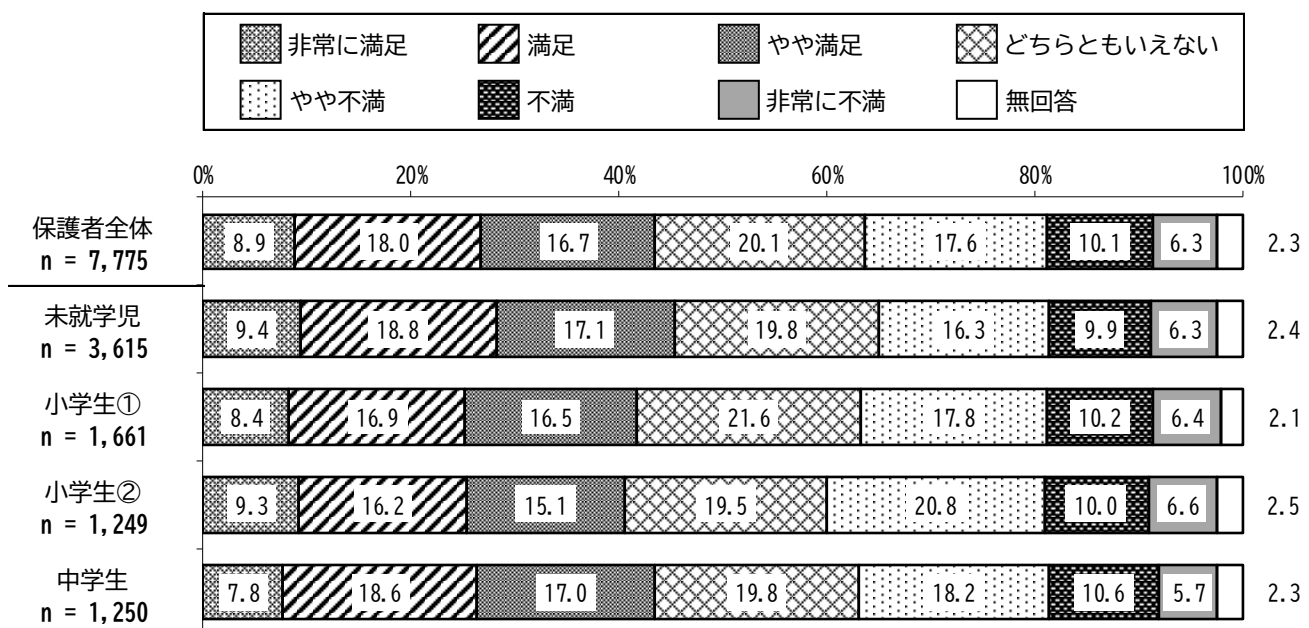
＜保護者＞日当たりの良さ【子どもの年齢層別】



「開放感（住宅と住宅の間隔など）」について、保護者全体では『満足層』が43.6%、『不満層』が34.0%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

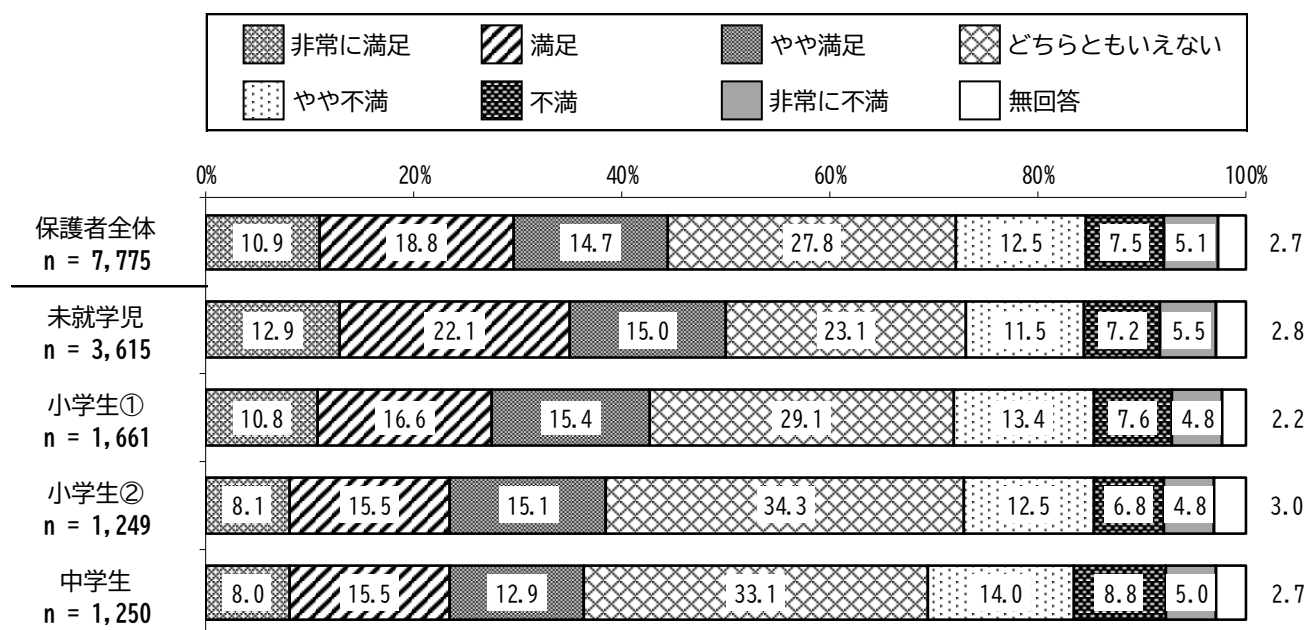
＜保護者＞開放感（住宅と住宅の間隔など）【子どもの年齢層別】



〔オートロック・宅配ボックスなどの附帯設備〕について、保護者全体では『満足層』が 44.4%、『不満層』が 25.1%となっている。

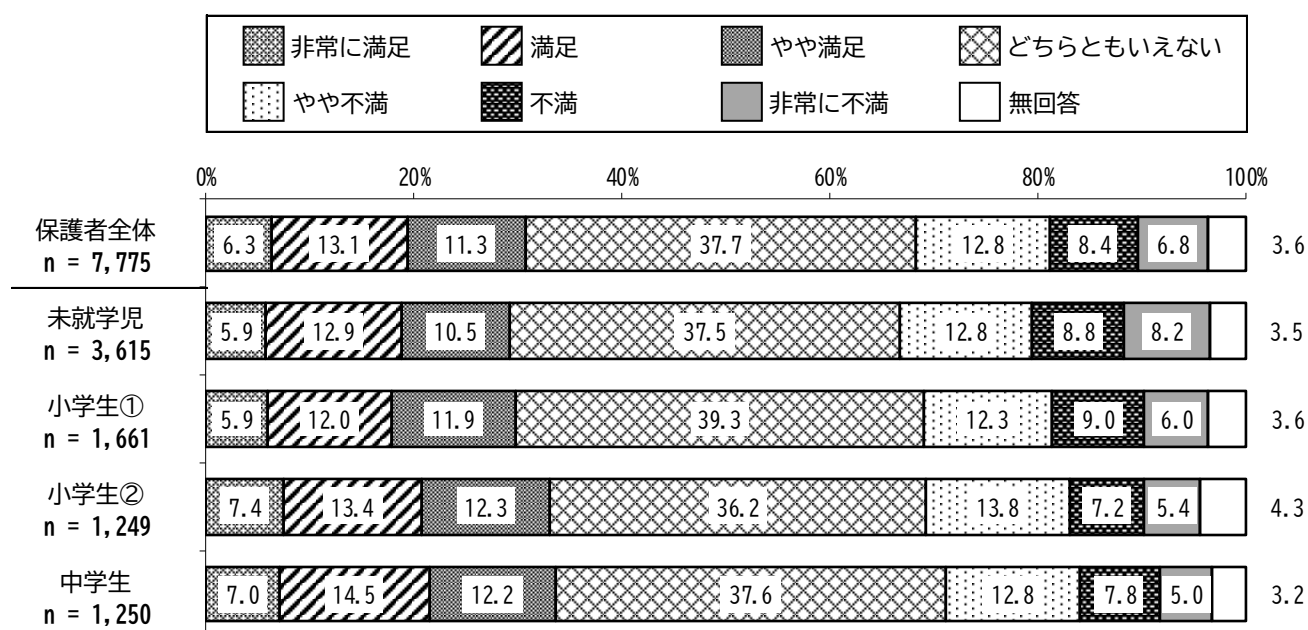
子どもの年齢層が低くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【未就学児】が 50.0%となっている。

<保護者>オートロック・宅配ボックスなどの附帯設備【子どもの年齢層別】



〔駐車場〕について、保護者全体では『満足層』が 30.7%、『不満層』が 28.0%となっている。
子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者>駐車場【子どもの年齢層別】

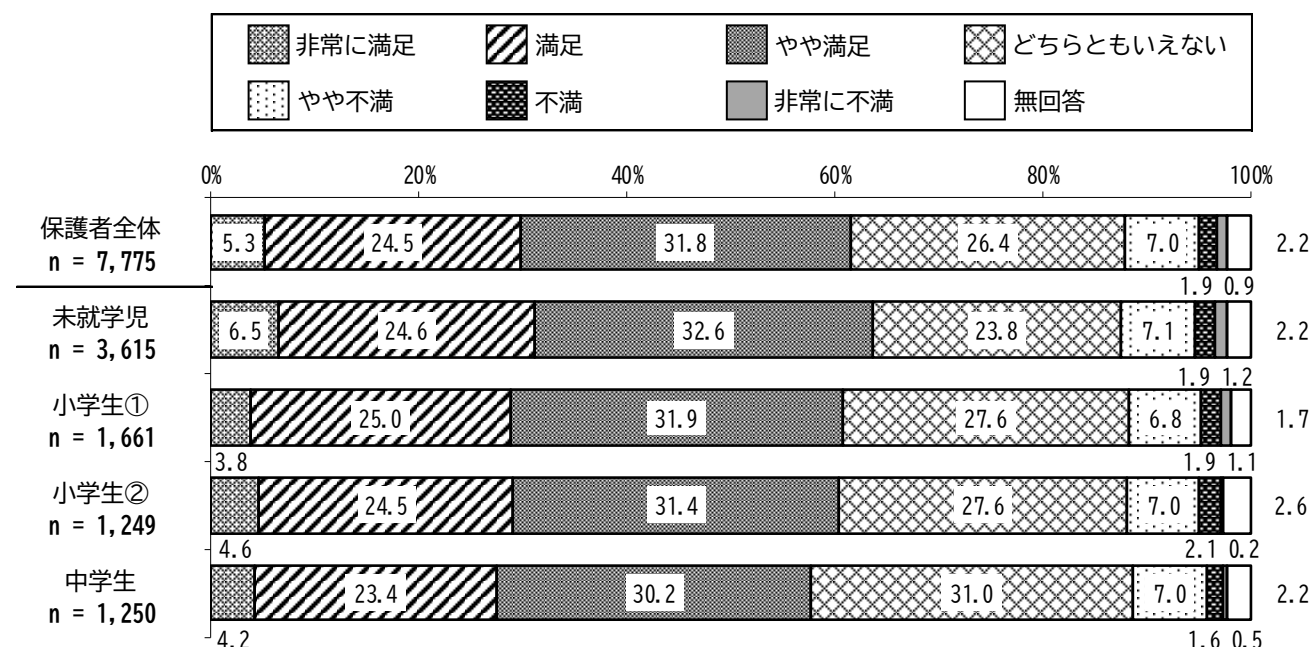


(3) 健康や医療環境について

〔健康や医療環境の総合的な満足度〕について、保護者全体では『満足層』が 61.6%、『不満層』が 9.8%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【未就学児】が 63.7%となっている。

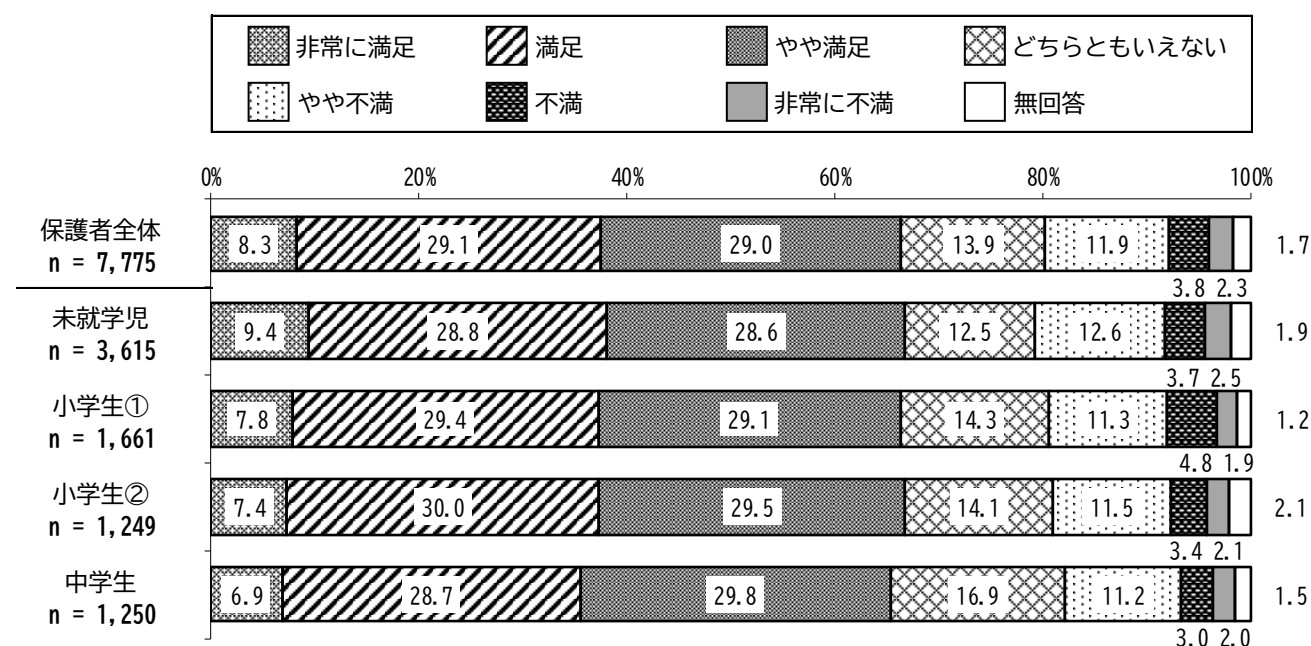
<保護者>健康や医療環境の総合的な満足度【子どもの年齢層別】



〔病院や診療所（小児科など）の数〕について、保護者全体では『満足層』が 66.4%、『不満層』が 18.0%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

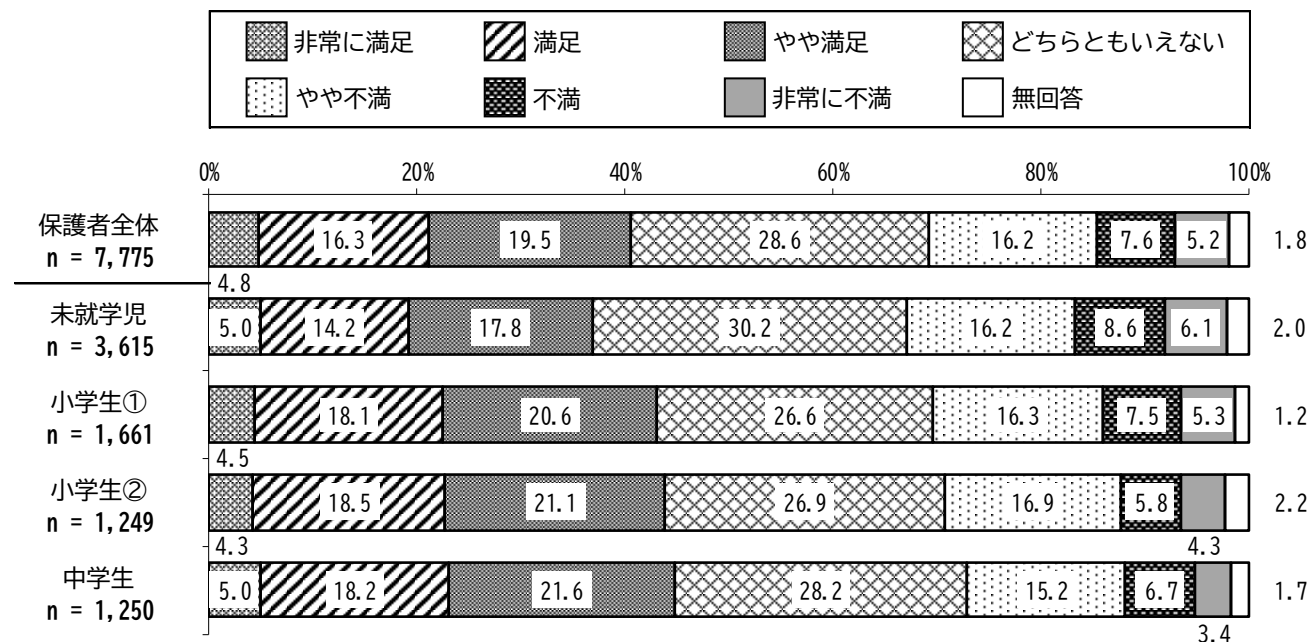
<保護者>病院や診療所（小児科など）の数【子どもの年齢層別】



「急病の場合の休日・夜間対応」について、保護者全体では『満足層』が40.6%、『不満層』が29.0%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

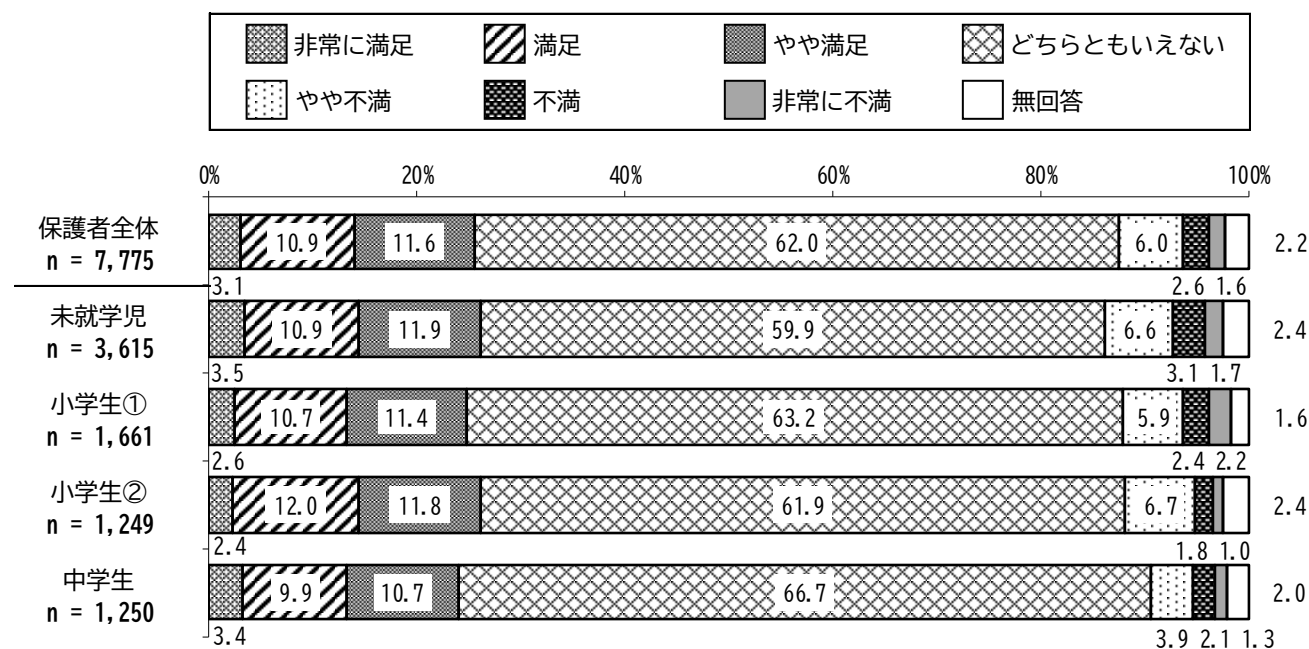
<保護者>急病の場合の休日・夜間対応【子どもの年齢層別】



「食育・健康づくり対策（子どもの食育や健康に関する講座など）」について、保護者全体では『満足層』が25.6%、『不満層』が10.2%となっている。

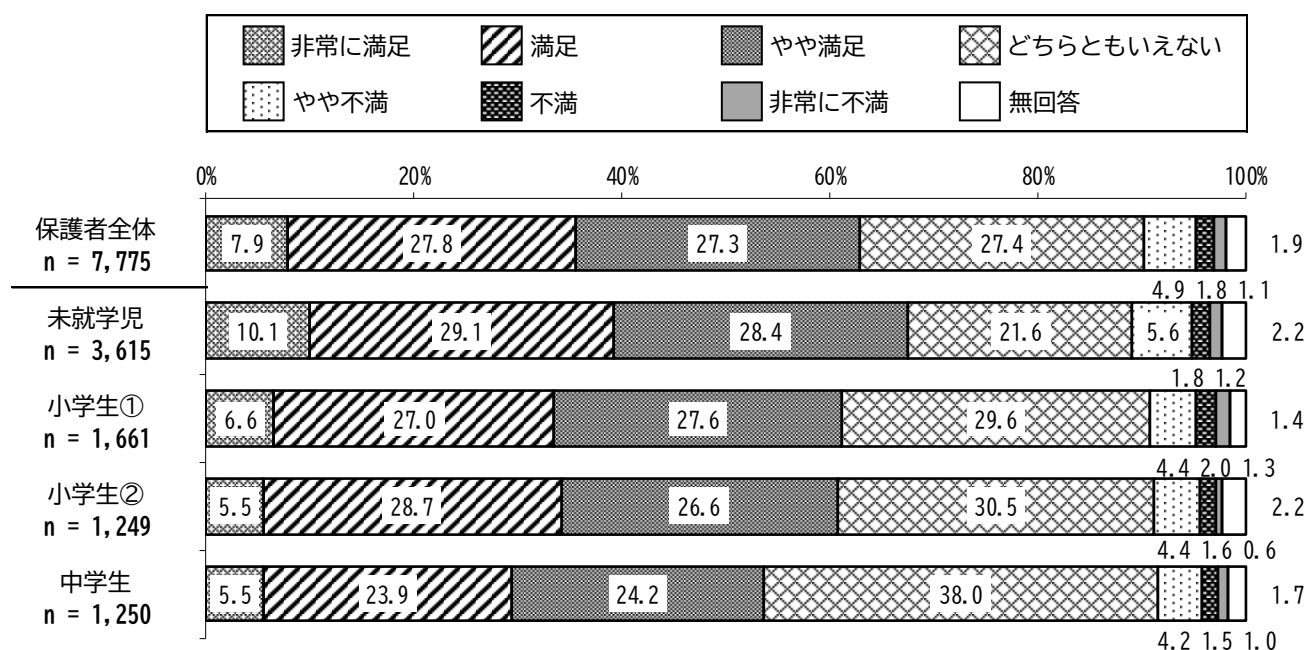
子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者>食育・健康づくり対策（子どもの食育や健康に関する講座など）【子どもの年齢層別】



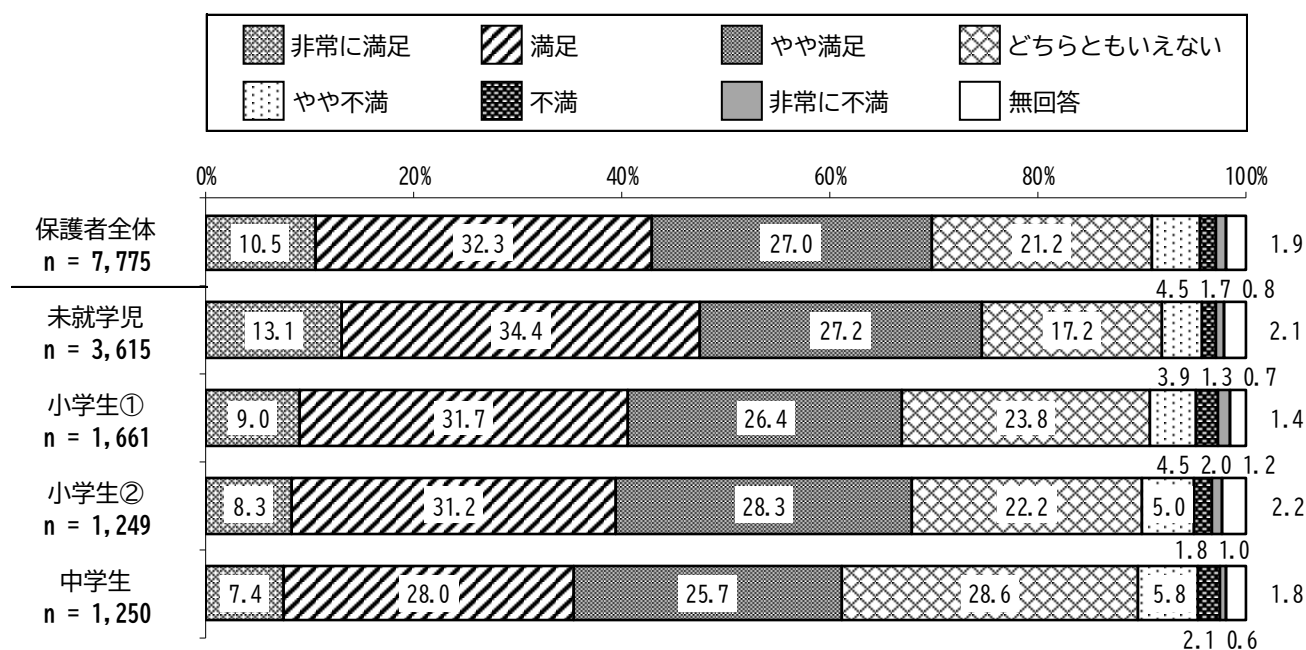
〔子どもの健康診断〕について、保護者全体では『満足層』が 63.0%、『不満層』が 7.8%となっている。子どもの年齢層が低くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【未就学児】が 67.6%となっている。

＜保護者＞子どもの健康診断【子どもの年齢層別】



〔子どもの予防接種〕について、保護者全体では『満足層』が 69.8%となっている。子どもの年齢層別にみると、『満足層』はおおむね子どもの年齢層が低くなるほど、その割合が高くなり【未就学児】が 74.7%となっている。

＜保護者＞子どもの予防接種【子どもの年齢層別】

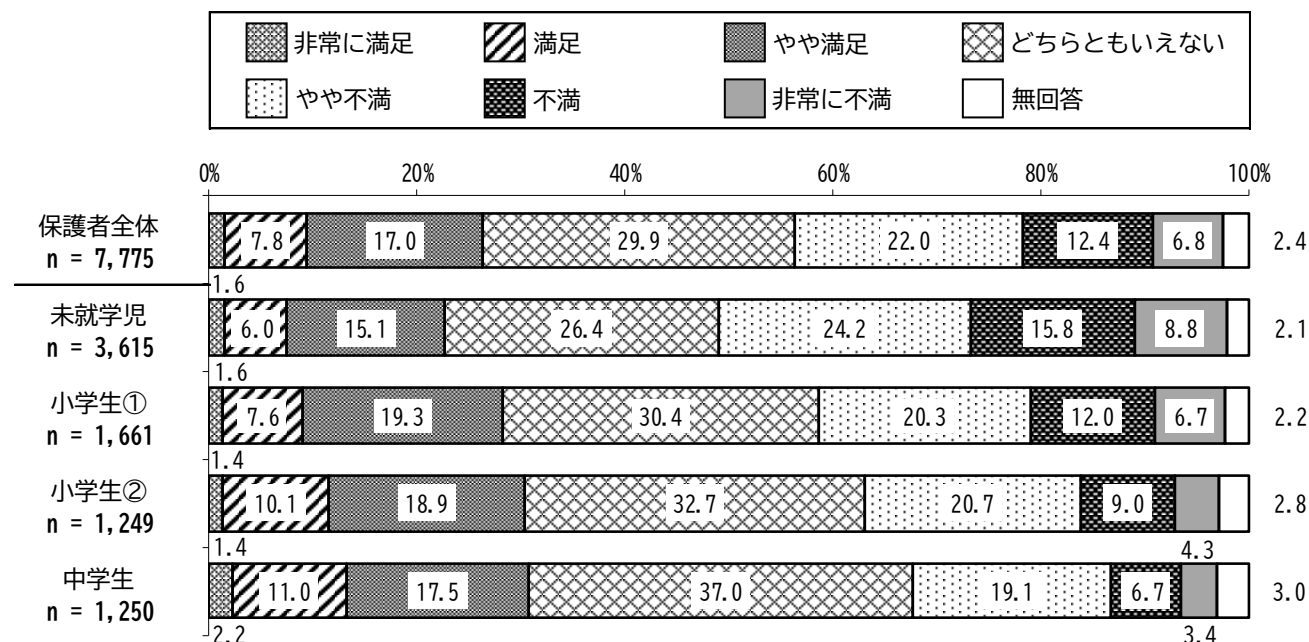


(4) 商業環境について

〔商業環境の総合的な満足度〕について、保護者全体では『満足層』が 26.4%、『不満層』が 41.2%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『不満層』の割合が高くなり【未就学児】が 48.8%となっている。

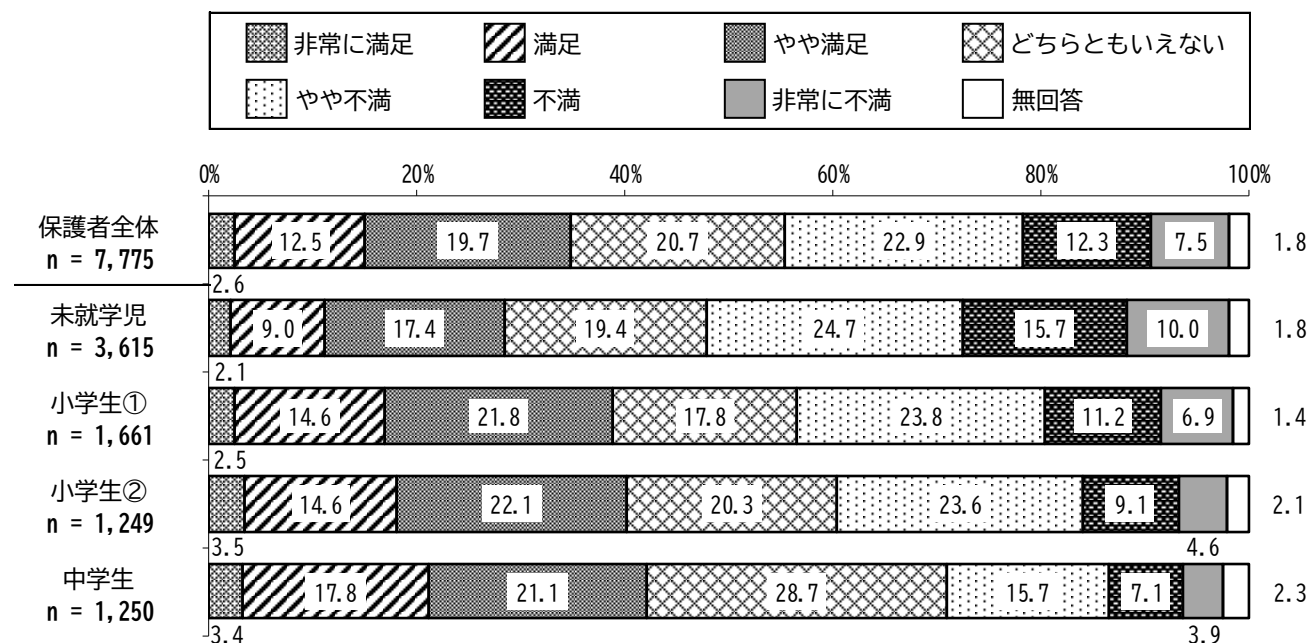
<保護者> 商業環境の総合的な満足度【子どもの年齢層別】



〔子連れで飲食できる店の数〕について、保護者全体では『満足層』が 34.8%、『不満層』が 42.7%となっている。

子どもの年齢層が高くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【中学生】が 42.3%となっている。

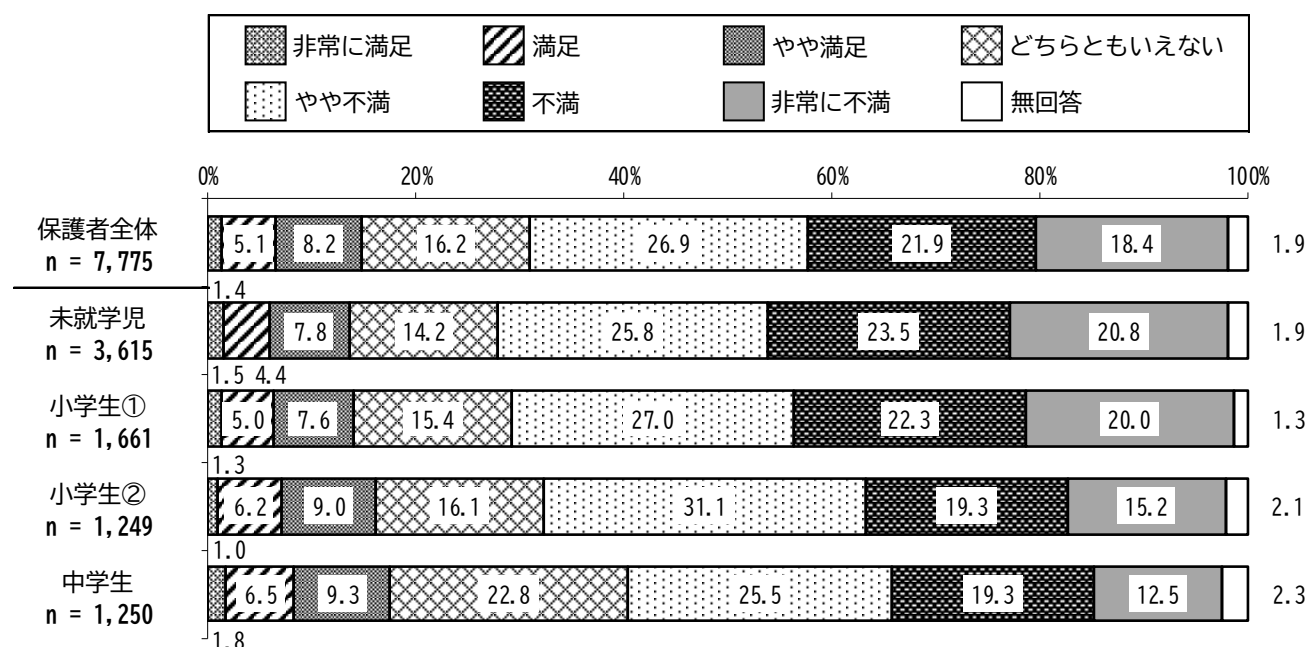
<保護者> 子連れで飲食できる店の数【子どもの年齢層別】



「おもちゃや子ども服、子ども靴を購入できる店の数」について、保護者全体では『不満層』が 67.2% となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『不満層』の割合が高くなり【未就学児】が 70.1% となっている。

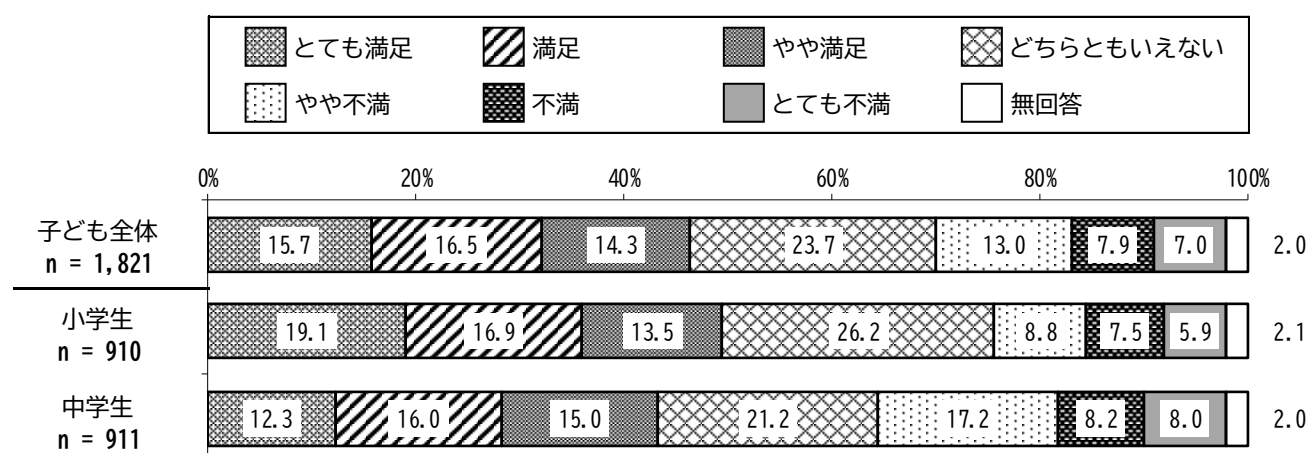
<保護者>おもちゃや子ども服、子ども靴を購入できる店の数【子どもの年齢層別】



「洋服やくつを買える店の数」について、子ども全体では『満足層』が 46.5%、『不満層』が 27.9% となっている。

小学生、中学生別にみると、『不満層』は【中学生】が 33.4% と、【小学生】(22.2%) に比べ、11.2 ポイント高くなっている。

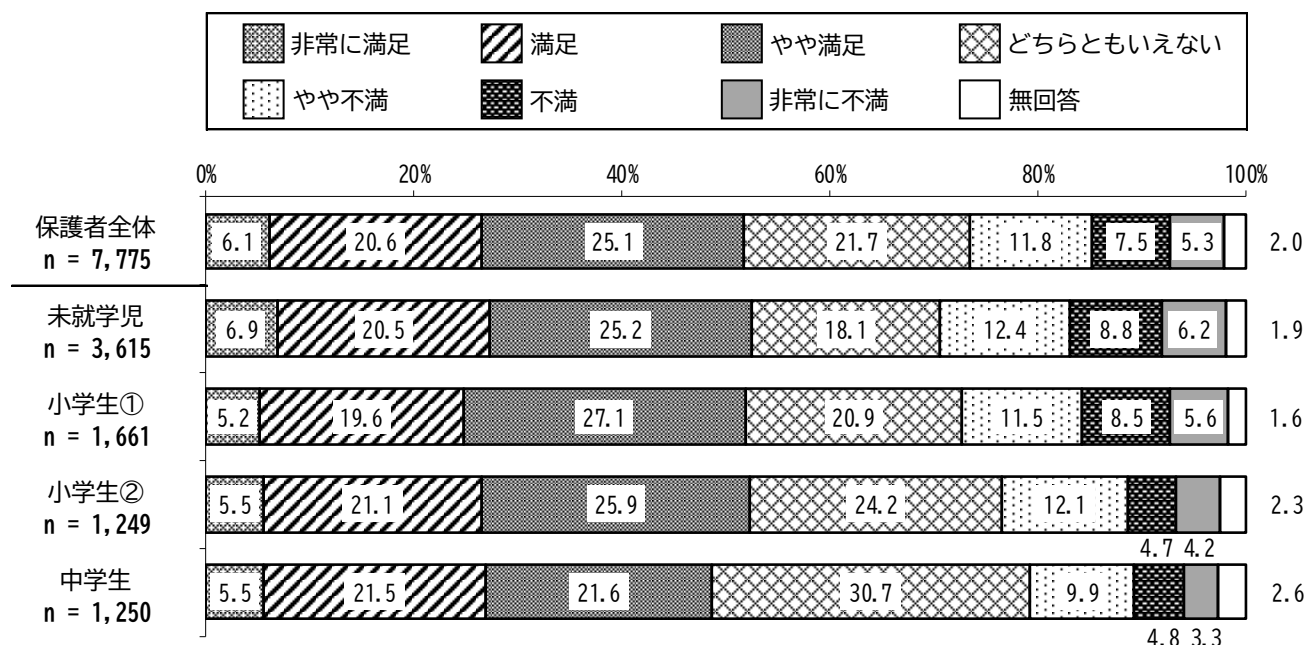
<子ども>洋服やくつを買える店の数



〔日用品（おむつなど）を購入できる店の数〕について、保護者全体では『満足層』が 51.8%、『不満層』が 24.6%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『不満層』の割合が高くなり【未就学児】が 27.4%となっている。

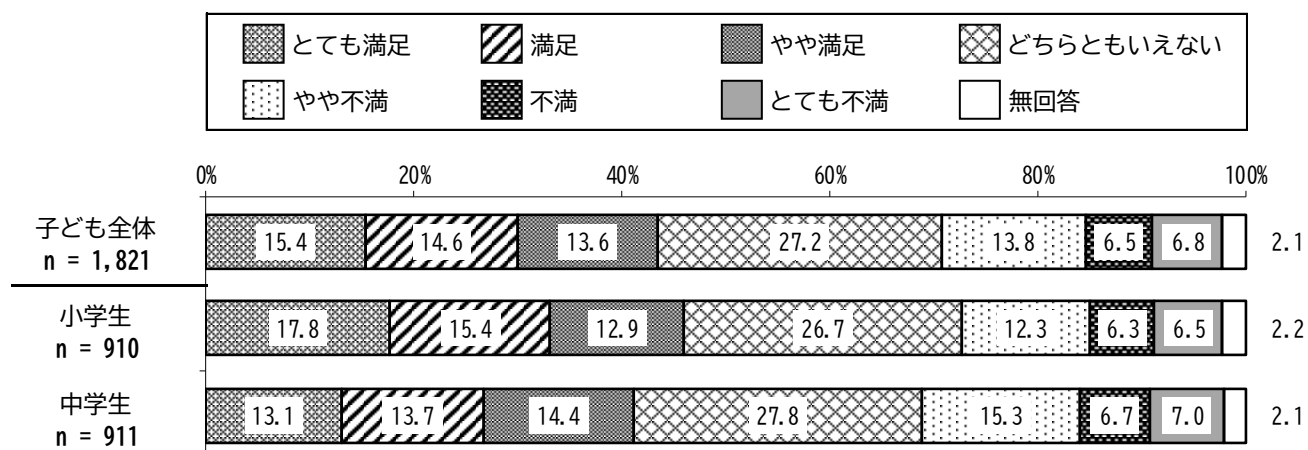
<保護者>日用品（おむつなど）を購入できる店の数【子どもの年齢層別】



〔おもちゃやゲームを買える店の数〕について、子ども全体では『満足層』が 43.6%、『不満層』が 27.1%となっている。

小学生、中学生別にみると、『満足層』は【小学生】が 46.1%と、【中学生】(41.2%) に比べ、4.9 ポイント高くなっている。

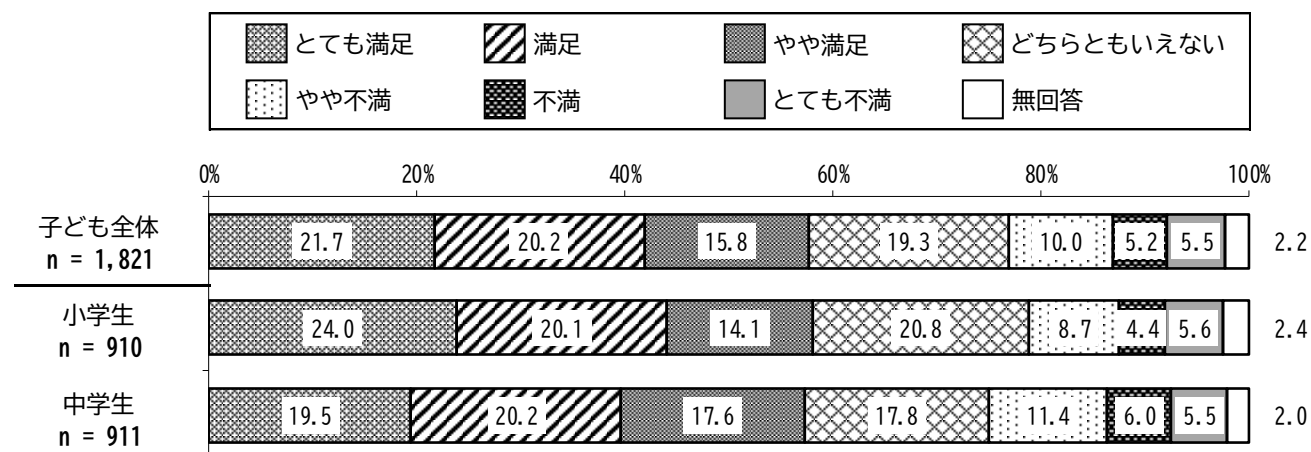
<子ども>おもちゃやゲームを買える店の数



〔本やマンガを買い求める店の数〕について、子ども全体では『満足層』が 57.7%、『不満層』が 20.7% となっている。

小学生、中学生別にみると、『不満層』は【中学生】が 22.9%と、【小学生】(18.7%)に比べ、4.2 ポイント高くなっている。

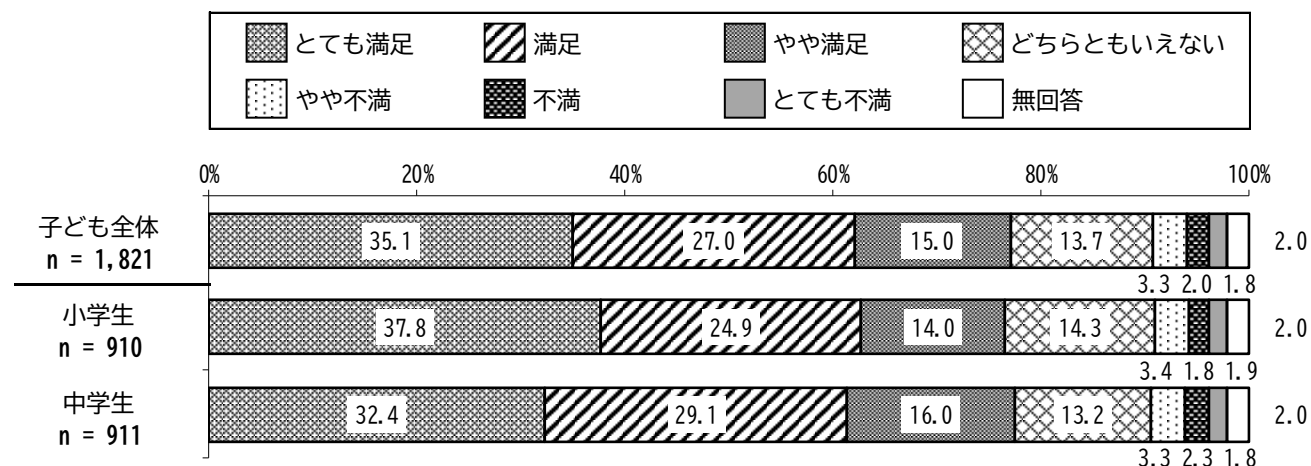
＜子ども＞本やマンガを買い求める店の数



〔ジュースやお菓子を買求める店の数〕について、子ども全体では『満足層』が 77.1%となっている。

小学生、中学生別にみると、「とても満足」は【小学生】が 37.8%と、【中学生】(32.4%)に比べ、5.4 ポイント高くなっている。

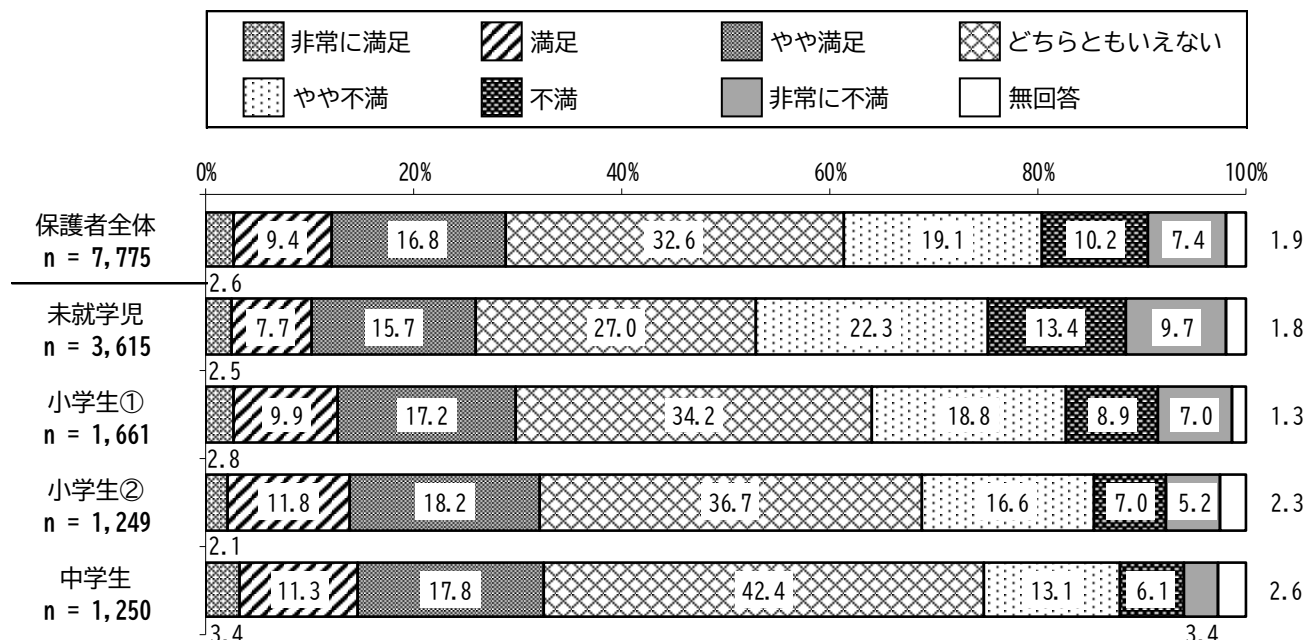
＜子ども＞ジュースやお菓子を買求める店の数



〔子育て家庭が利用しやすい（自動ドアや動線の工夫など）店の数〕について、保護者全体では『満足層』が28.8%、『不満層』が36.7%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『不満層』の割合が高くなり【未就学児】が45.4%となっている。

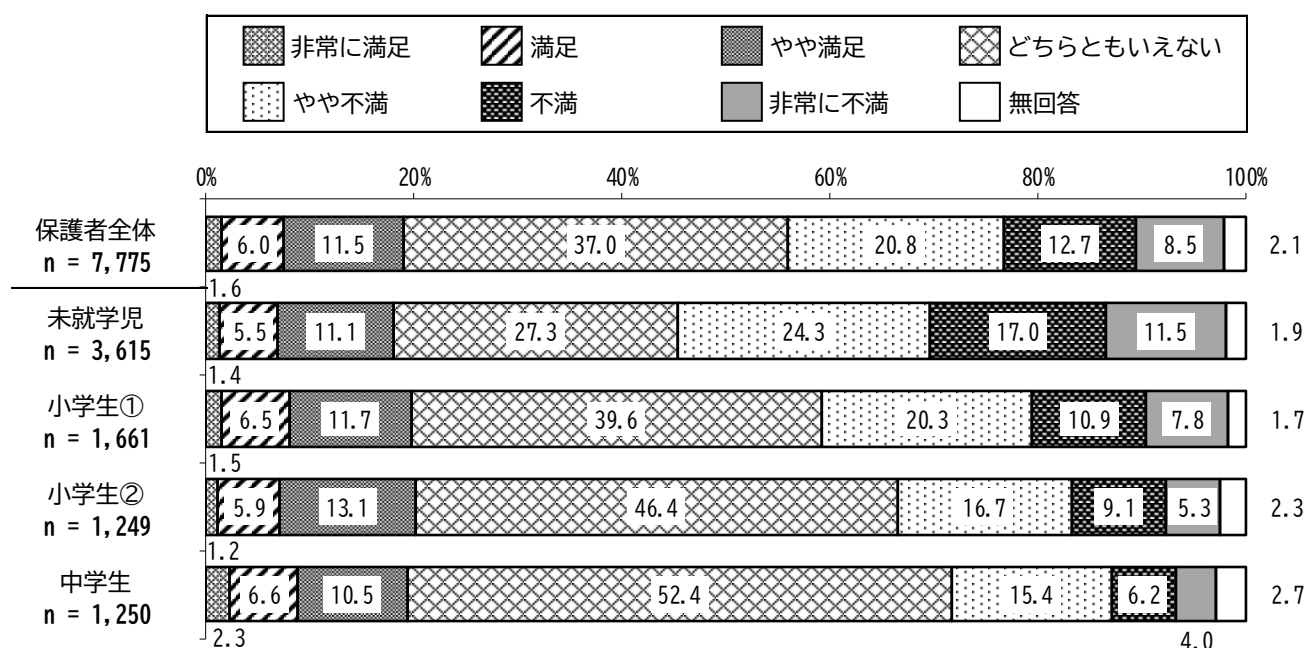
<保護者>子育て家庭が利用しやすい（自動ドアや動線の工夫など）店の数【子どもの年齢層別】



〔おむつ替えスペースやミルク用のお湯提供などのサービスがある店の数〕について、保護者全体では『満足層』が19.1%、『不満層』が42.0%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『不満層』の割合が高くなり【未就学児】が52.8%となっている。

<保護者>おむつ替えスペースやミルク用のお湯提供などのサービスがある店の数【子どもの年齢層別】

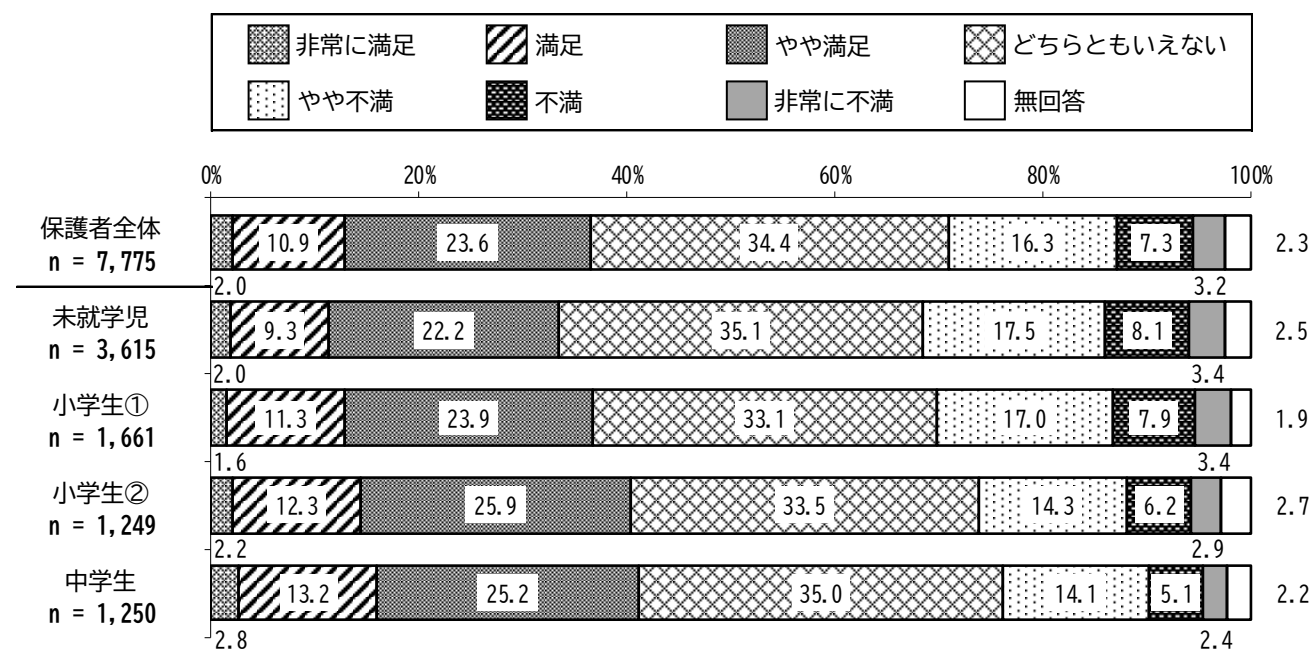


(5) 安全や安心について

〔安全や安心の総合的な満足度〕について、保護者全体では『満足層』が36.5%、『不満層』が26.8%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『不満層』の割合が高くなり【未就学児】が29.0%となっている。

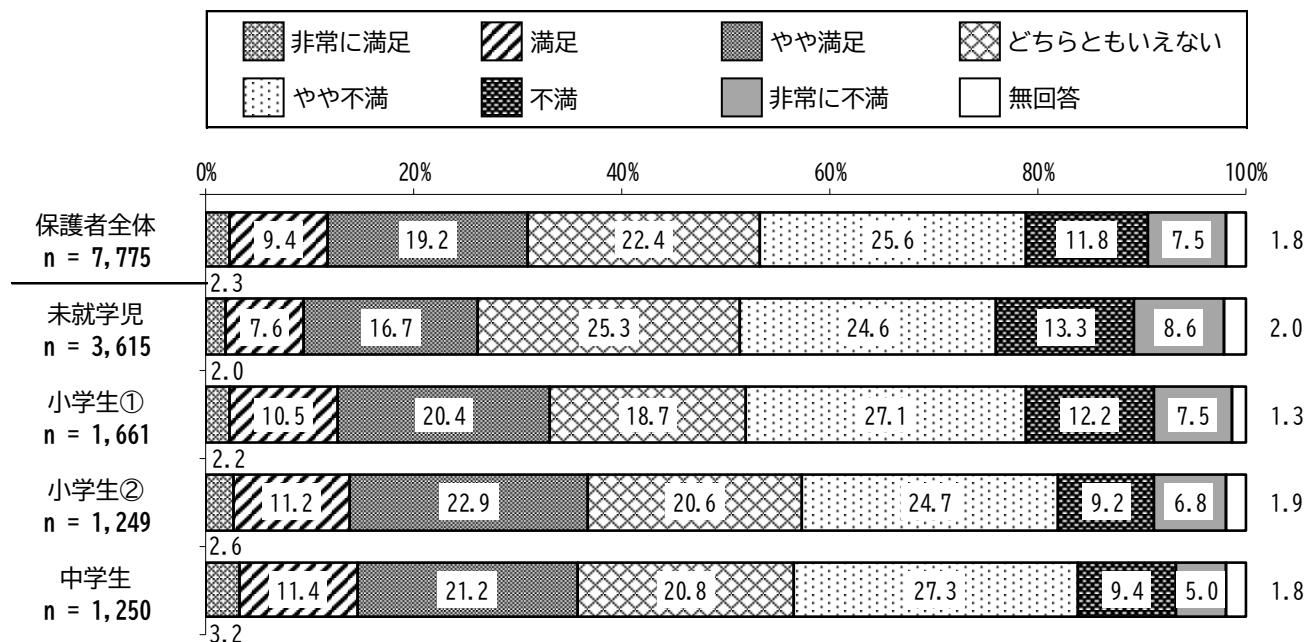
<保護者>安全や安心の総合的な満足度【子どもの年齢層別】



「通学路の安全性（交通量や見通しなど）」について、保護者全体では『満足層』が 30.9%、『不満層』が 44.9%となっている。

子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【小学生②】が 36.7%と他の区分に比べ、高くなっている。

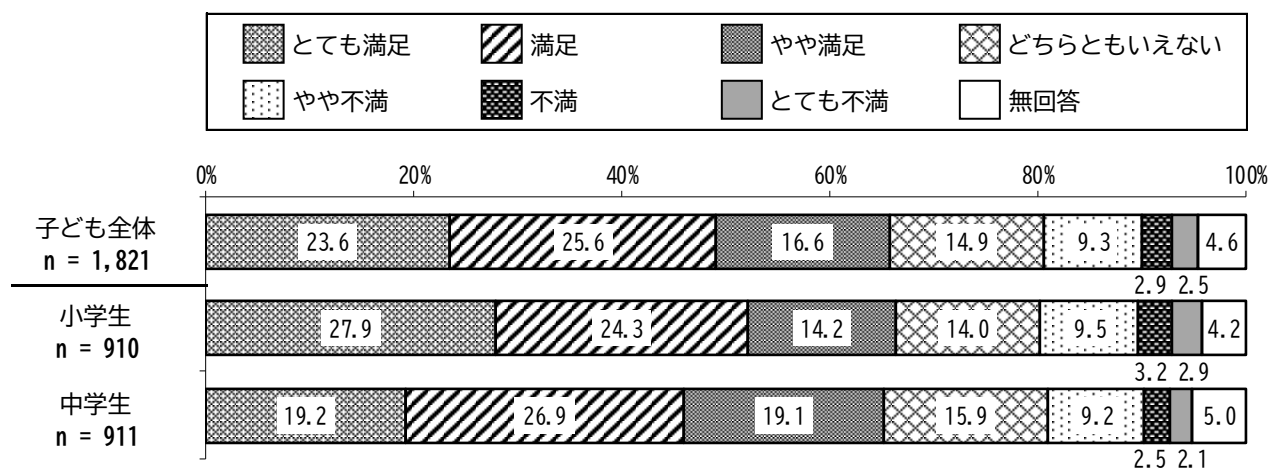
<保護者>通学路の安全性（交通量や見通しなど）【子どもの年齢層別】



「通学路の安全さ（自動車の量や道路の見通しなど）」について、子ども全体では『満足層』が 65.8%、『不満層』が 14.7%となっている。

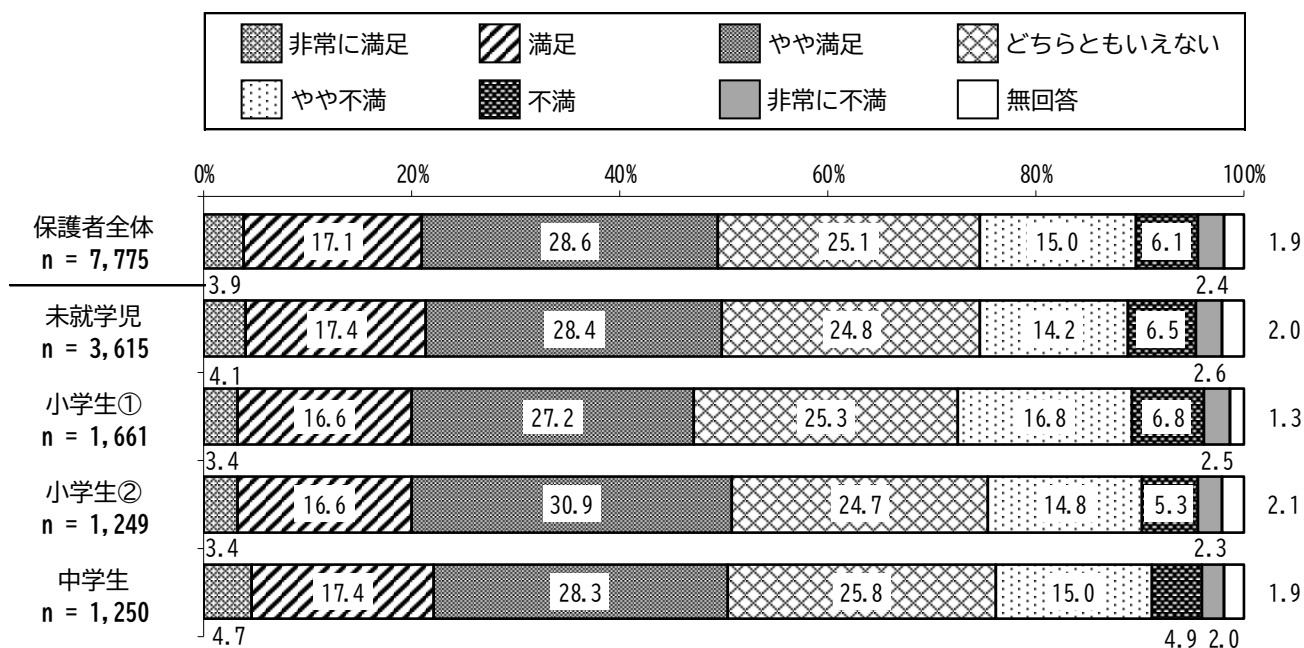
小学生、中学生別にみると、「とても満足」は【小学生】が 27.9%と、【中学生】（19.2%）に比べ、8.7ポイント高くなっている。

<子ども>通学路の安全さ（自動車の量や道路の見通しなど）



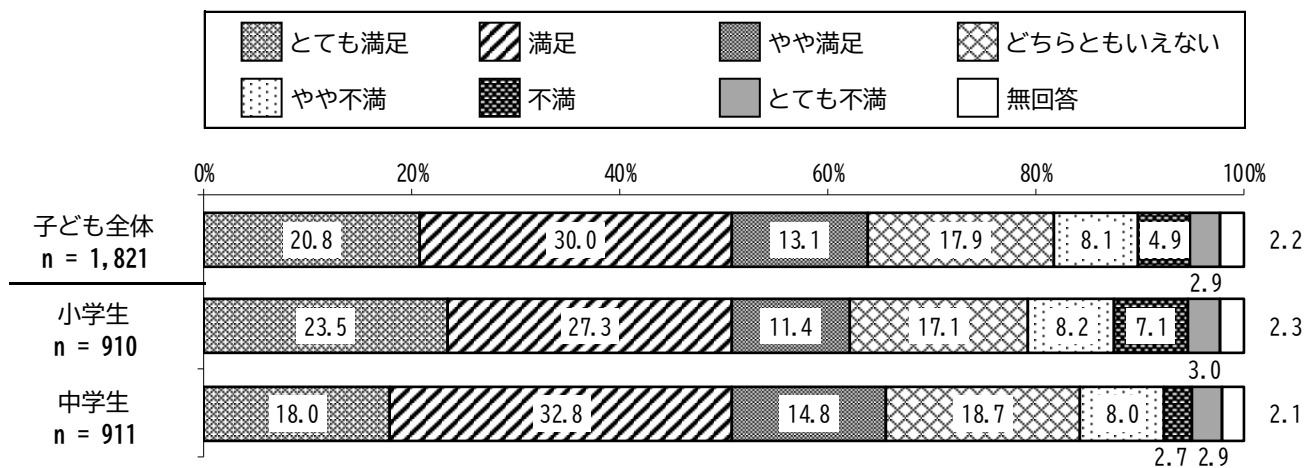
〔治安の良さ〕について、保護者全体では『満足層』が49.6%、『不満層』が23.5%となっている。
子どもの年齢層による大きな差はみられない。

＜保護者＞治安の良さ【子どもの年齢層別】



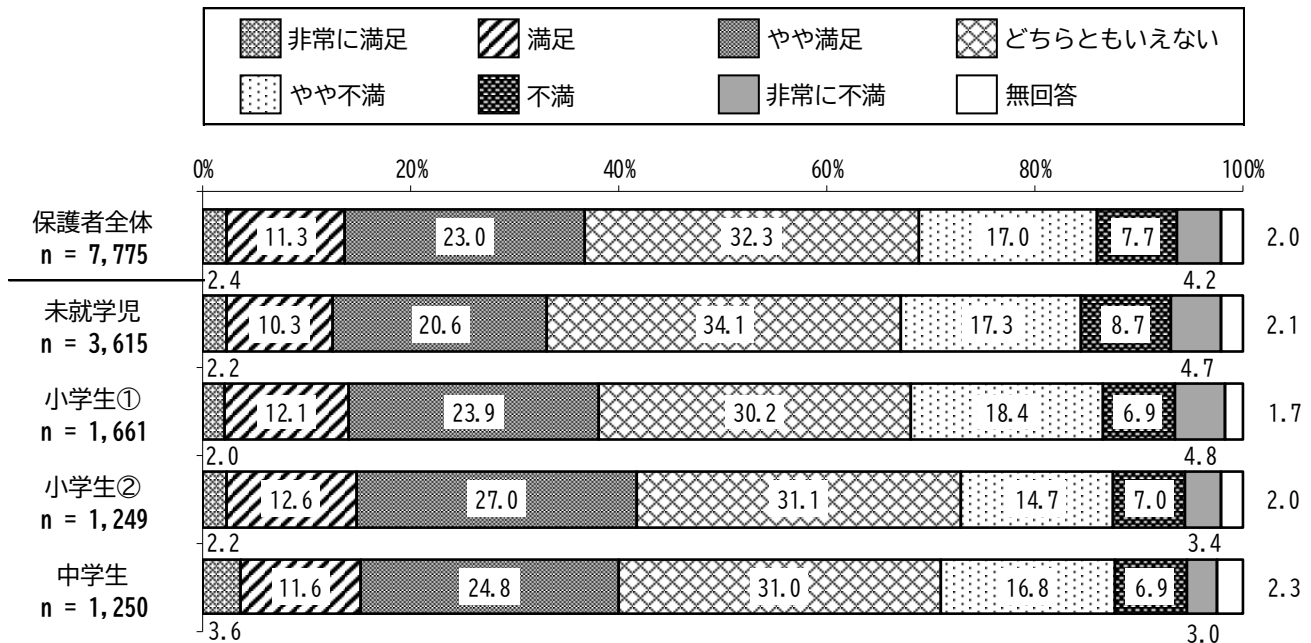
〔犯罪や危険の数〕について、子ども全体では『満足層』が63.9%、『不満層』が15.9%となっている。
小学生、中学生別にみると、『不満層』は【小学生】が18.3%と、【中学生】(13.6%)に比べ、4.7ポイント高くなっている。

＜子ども＞犯罪や危険の数



〔交通安全対策〕について、保護者全体では『満足層』が36.7%、『不満層』が28.9%となっている。
 子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【小学生②】が41.8%と他の区分に比べ、高くなっている。

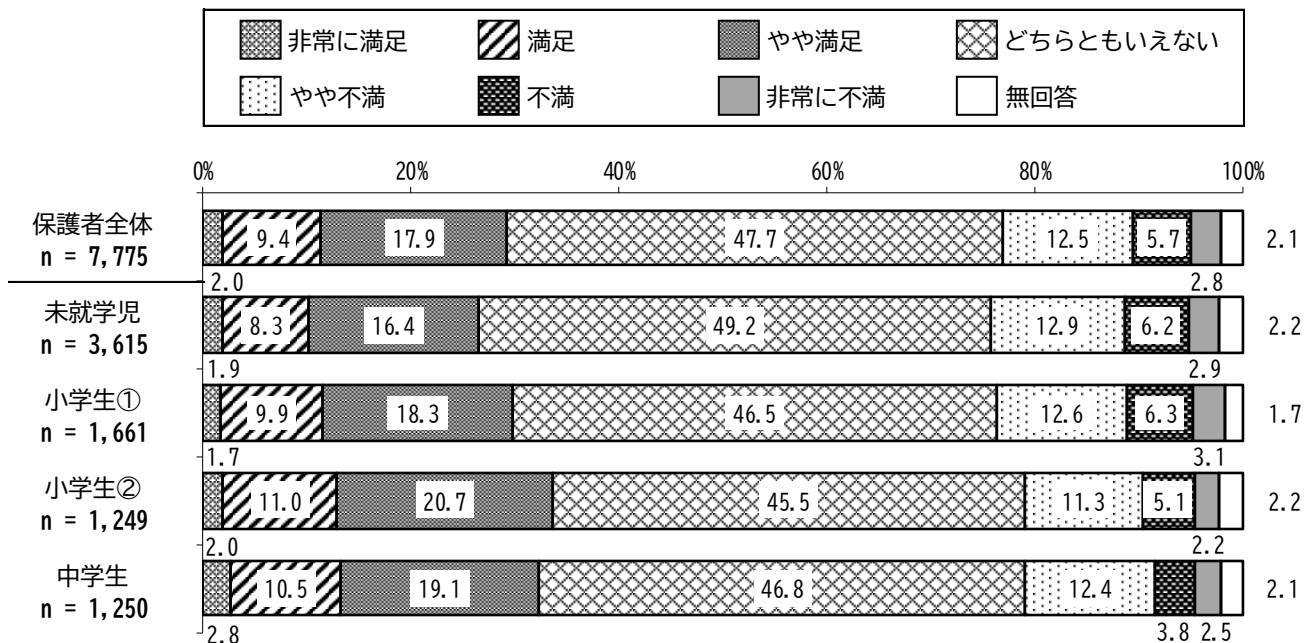
＜保護者＞交通安全対策【子どもの年齢層別】



〔セーフティネットの充実度〕について、保護者全体では『満足層』が29.3%、『不満層』が21.0%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

＜保護者＞セーフティネットの充実度【子どもの年齢層別】

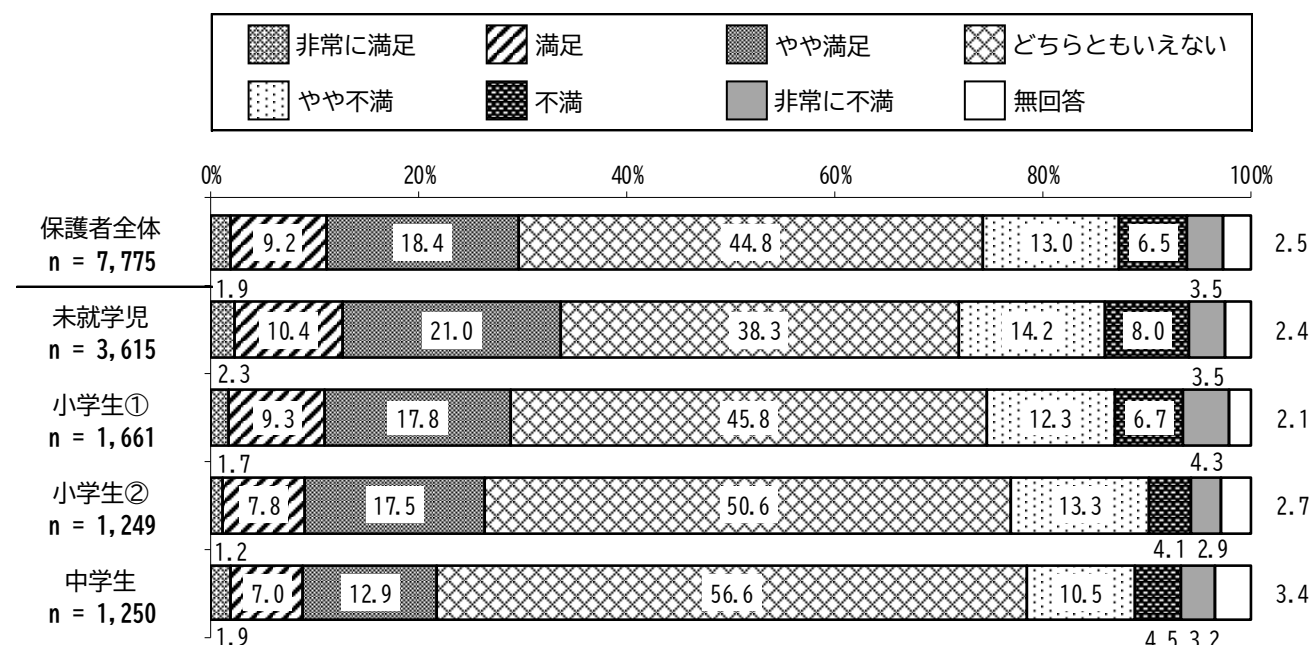


(6) 保育や子育てサービス環境について

〔保育や子育てサービス環境の総合的な満足度〕について、保護者全体では『満足層』が 29.5%、『不満層』が 23.0%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『満足層』及び『不満層』の割合が高くなっている。

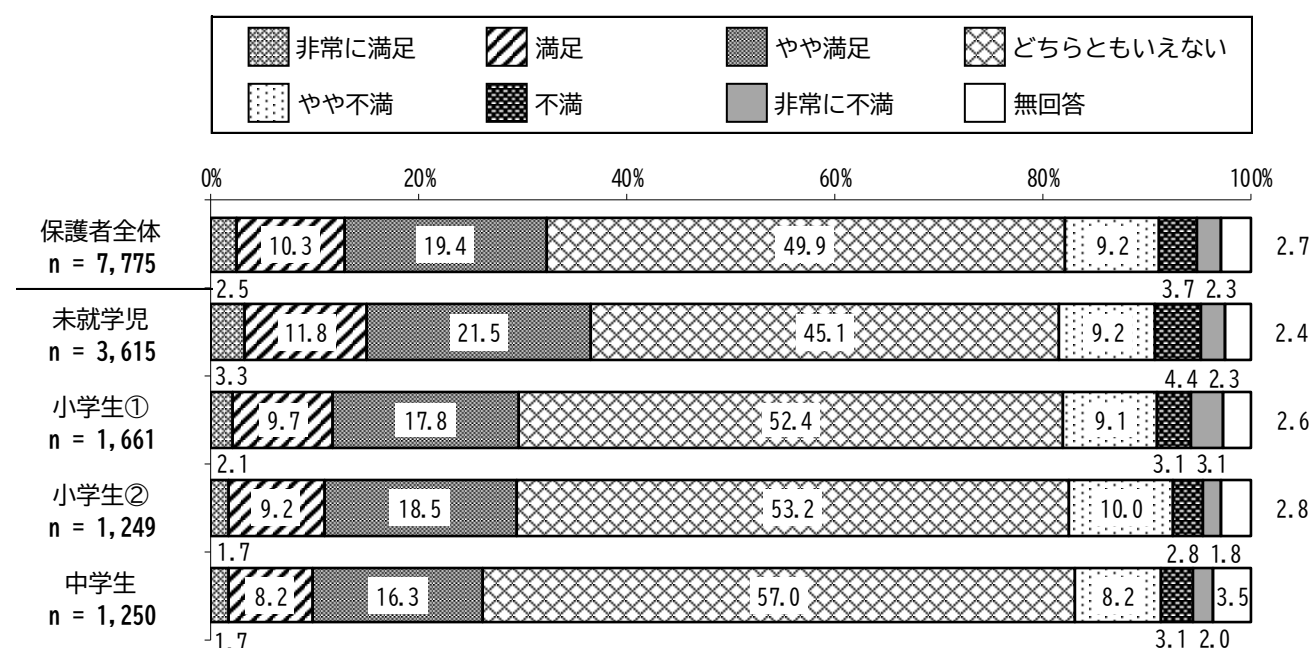
<保護者> 保育や子育てサービス環境の総合的な満足度【子どもの年齢層別】



〔子育ての悩みを相談する機会や場所〕について、保護者全体では『満足層』が 32.2%、『不満層』が 15.2%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【未就学児】が 36.6%となっている。

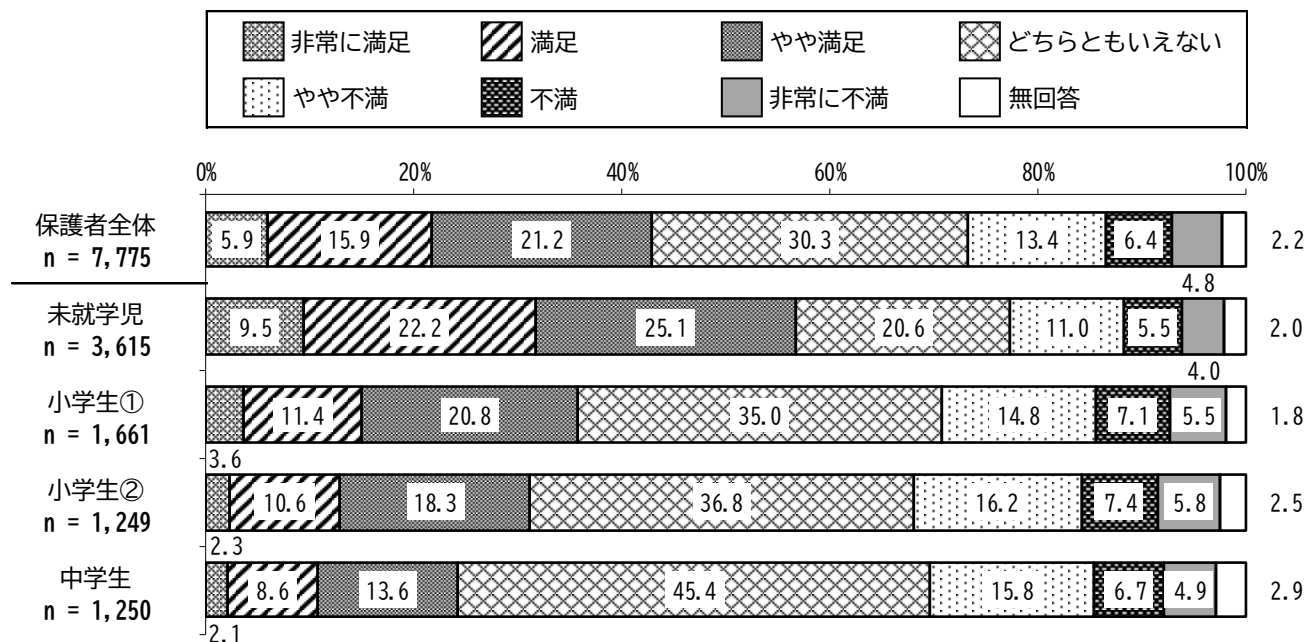
<保護者> 子育ての悩みを相談する機会や場所【子どもの年齢層別】



〔児童手当や妊娠・子育て応援ギフト券などの給付・手当〕について、保護者全体では『満足層』が43.0%、『不満層』が24.6%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【未就学児】が56.8%となっている。

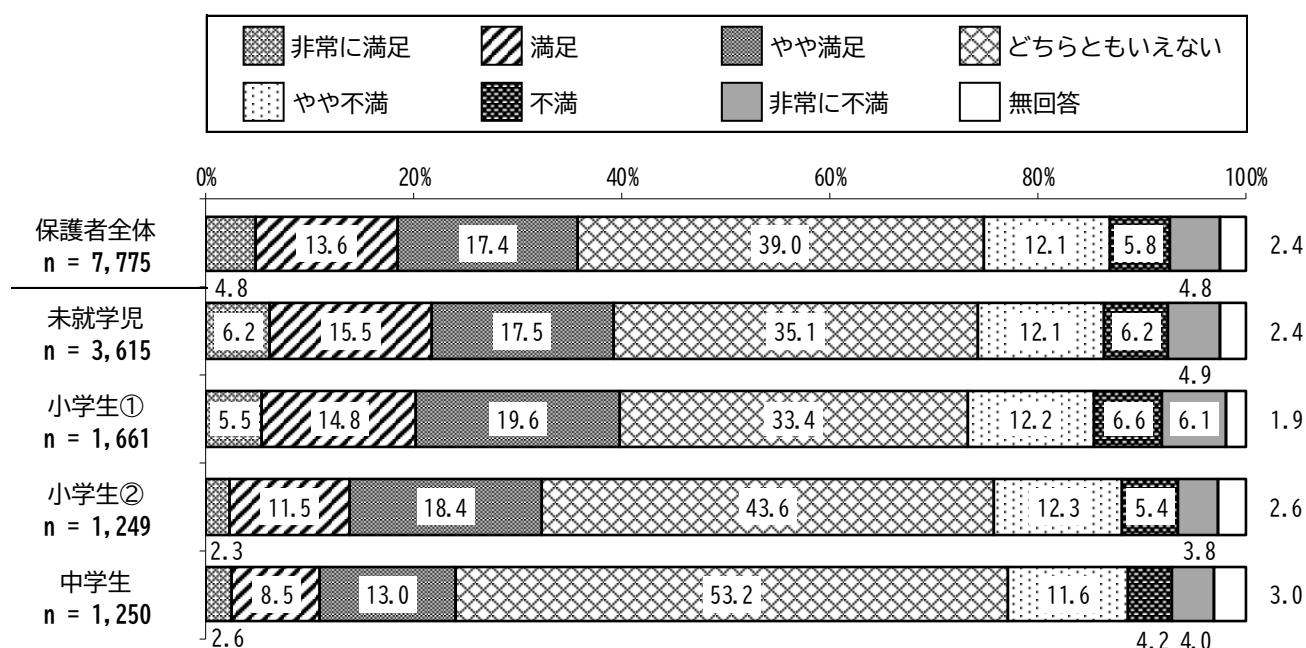
<保護者>児童手当や妊娠・子育て応援ギフト券などの給付・手当【子どもの年齢層別】



〔就業などのための定期的な子どもの預かり（保育園や学童クラブなど）〕について、保護者全体では『満足層』が35.8%、『不満層』が22.7%となっている。

子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【小学生①】が39.9%と他の区分に比べ、高くなっている。

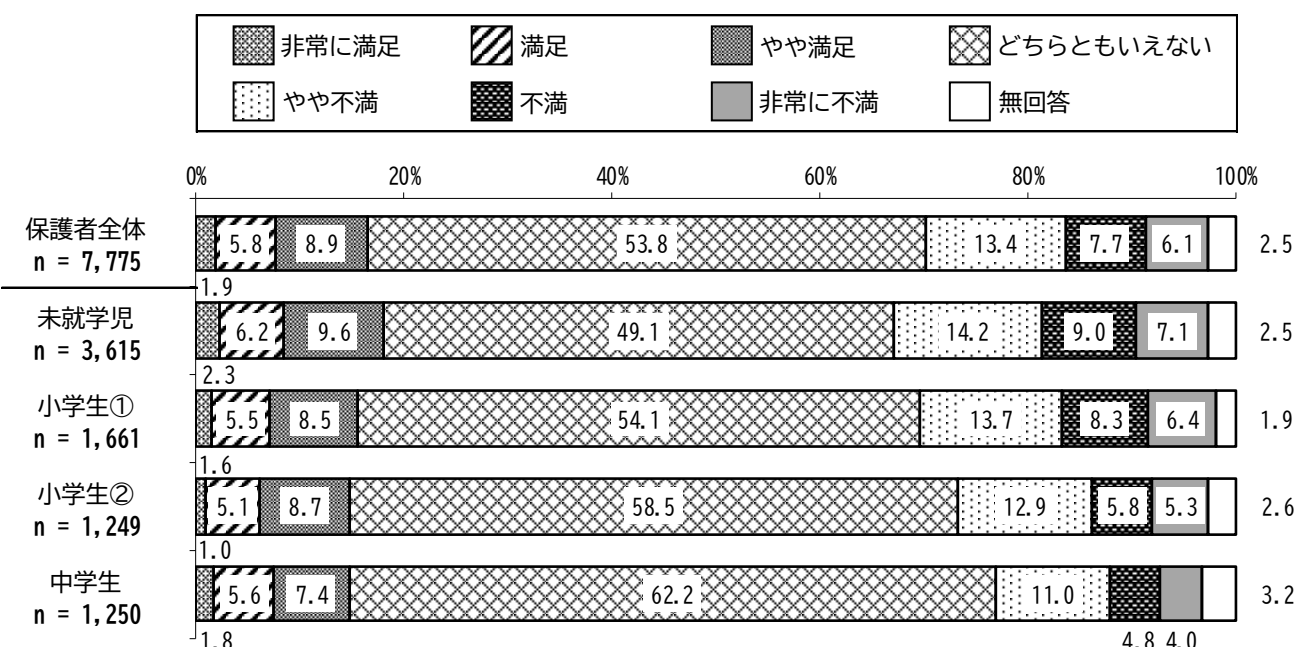
<保護者>就業などのための定期的な子どもの預かり（保育園や学童クラブなど）【子どもの年齢層別】



〔用途を定めない子どもの預かり（一時保育など）〕について、保護者全体では『満足層』が 16.6%、『不満層』が 27.2%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『不満層』の割合が高くなり【未就学児】が 30.3%となっている。

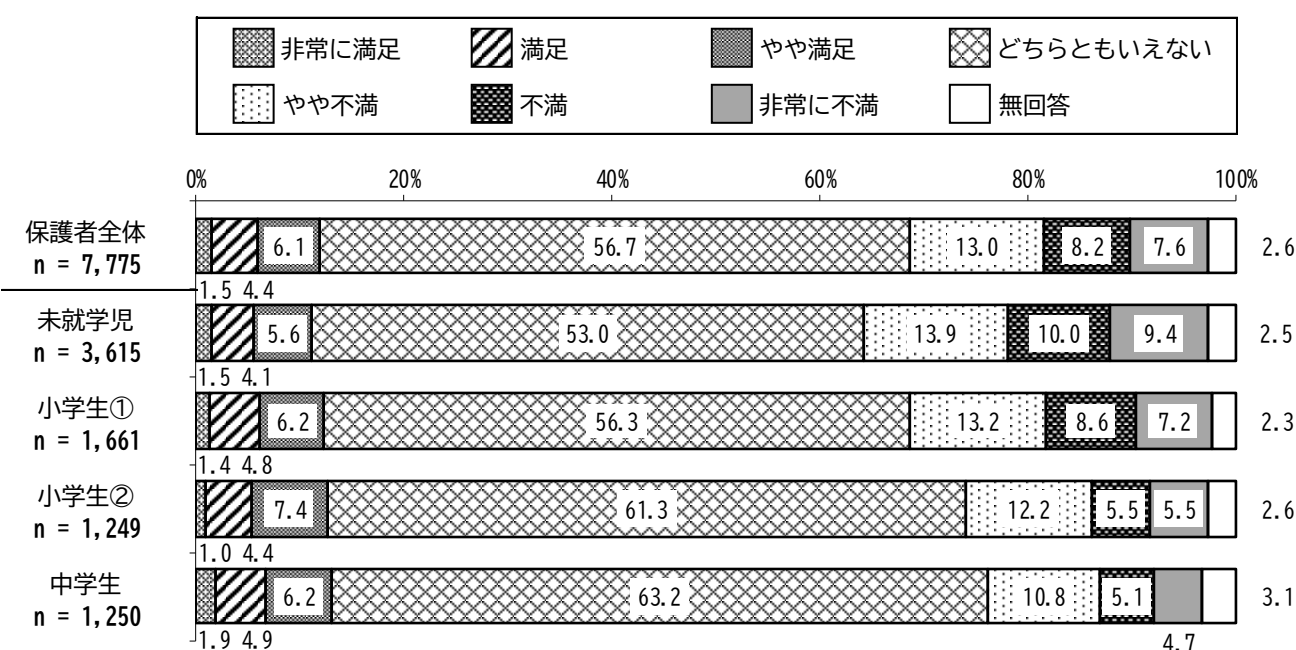
<保護者>用途を定めない子どもの預かり（一時保育など）【子どもの年齢層別】



〔病気の時の子どもの預かり（病児・病後児保育など）〕について、保護者全体では『満足層』が 12.0%、『不満層』が 28.8%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『不満層』の割合が高くなり【未就学児】が 33.3%となっている。

<保護者>病気の時の子どもの預かり（病児・病後児保育など）【子どもの年齢層別】

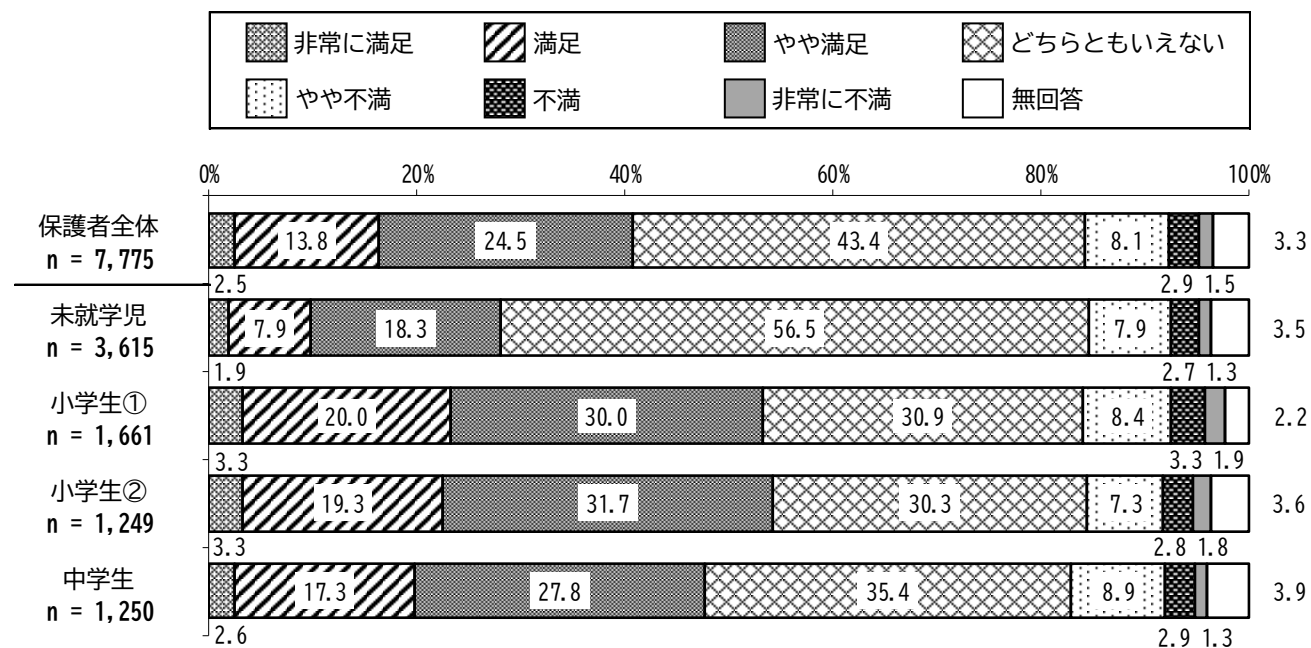


（７）教育・学習環境について

〔教育・学習環境の総合的な満足度〕について、保護者全体では『満足層』が 40.8%、『不満層』が 12.5%となっている。

子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【小学生①】が 53.3%、【小学生②】が 54.3%と他の区分に比べ、高くなっている。

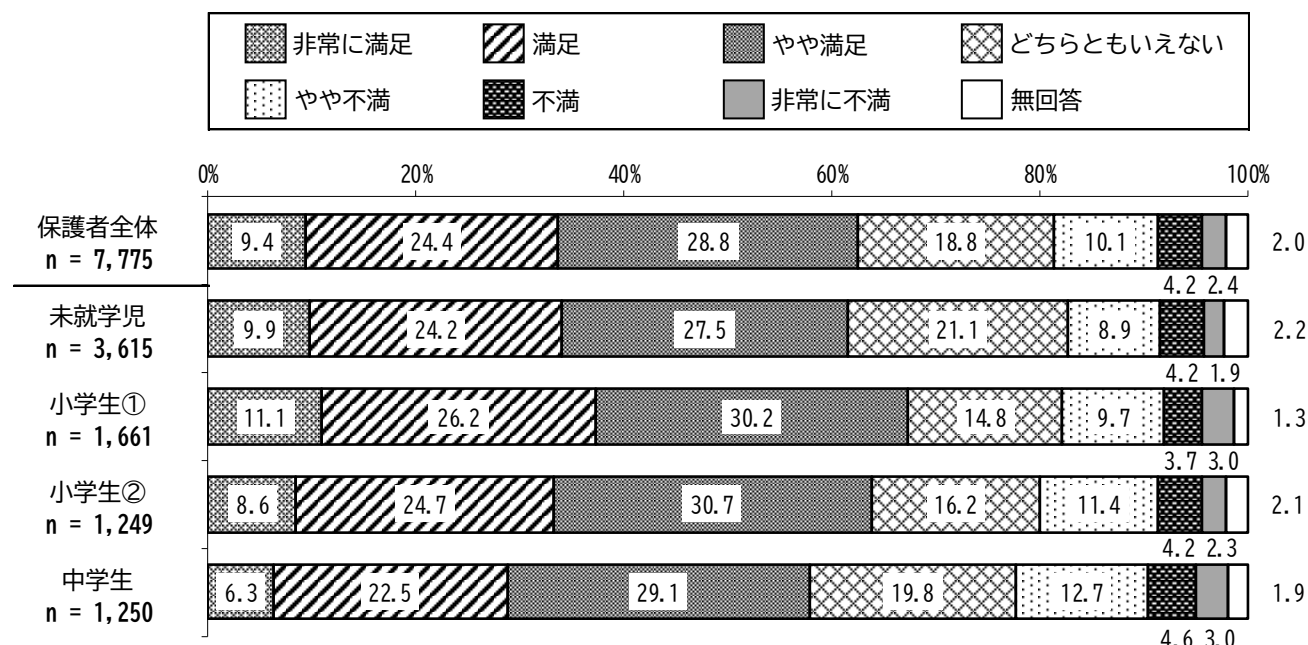
<保護者>教育・学習環境の総合的な満足度【子どもの年齢層別】



〔図書館など本に親しめる場所〕について、保護者全体では『満足層』が 62.6%、『不満層』が 16.7% となっている。

子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【小学生①】が 67.5% と他の区分に比べ、高くなっている。

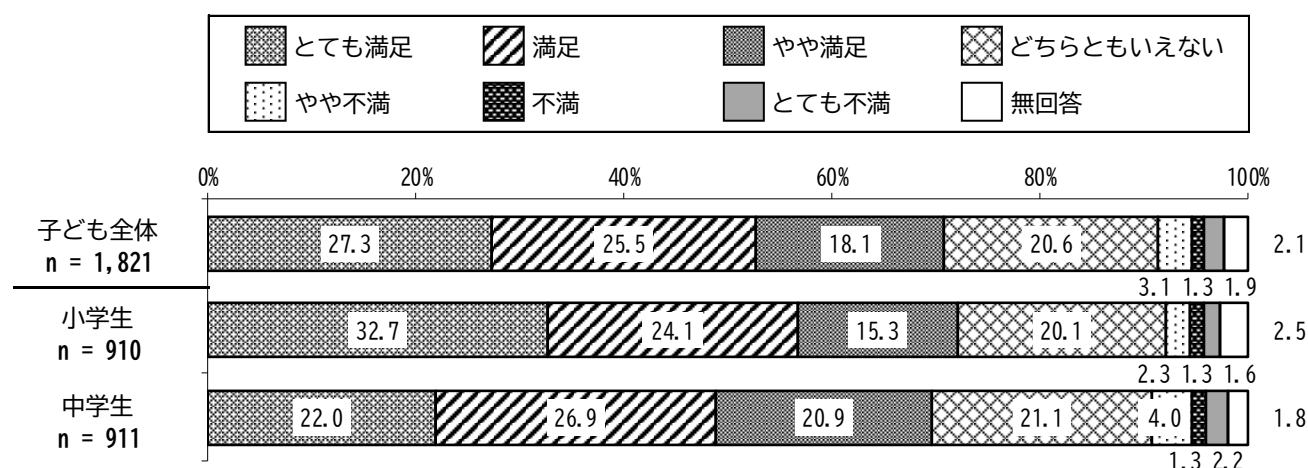
<保護者> 図書館など本に親しめる場所【子どもの年齢層別】



〔図書館など本に親しめる場所〕について、子ども全体では『満足層』が 70.9% となっている。

小学生、中学生別にみると、「とても満足」は【小学生】が 32.7% と、【中学生】(22.0%) に比べ、10.7 ポイント高くなっている。

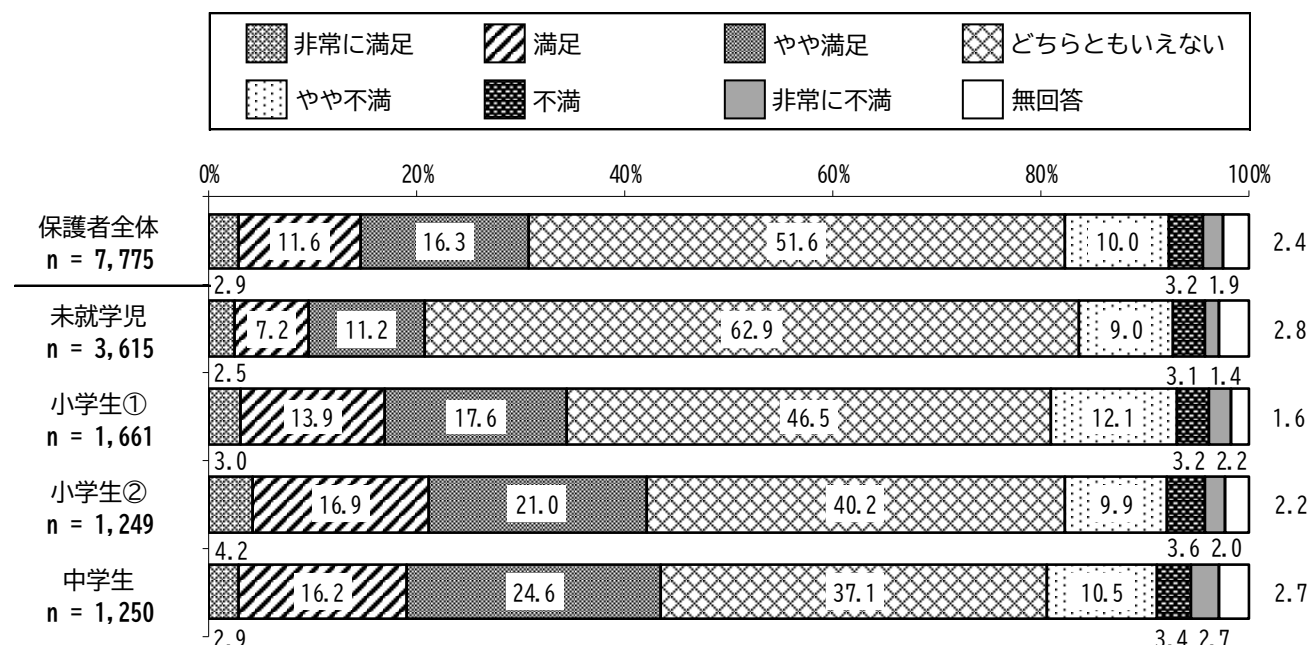
<子ども> 図書館など本に親しめる場所



〔学習塾（幼児教育・受験など）の数〕について、保護者全体では『満足層』が 30.8%、『不満層』が 15.1%となっている。

子どもの年齢層が高くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【中学生】が 43.7%となっている。

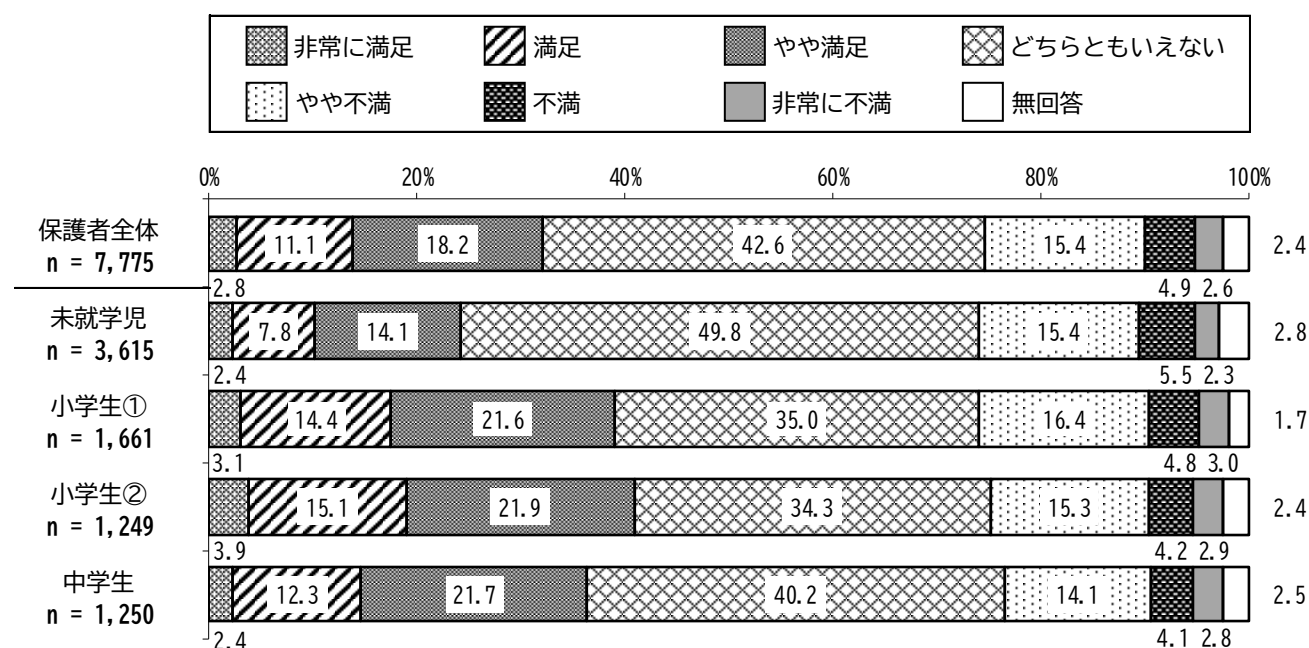
<保護者>学習塾（幼児教育・受験など）の数【子どもの年齢層別】



〔趣味等の習い事教室の数〕について、保護者全体では『満足層』が 32.1%、『不満層』が 22.9%となっている。

子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【小学生②】が 40.9%と他の区分に比べ、高くなっている。

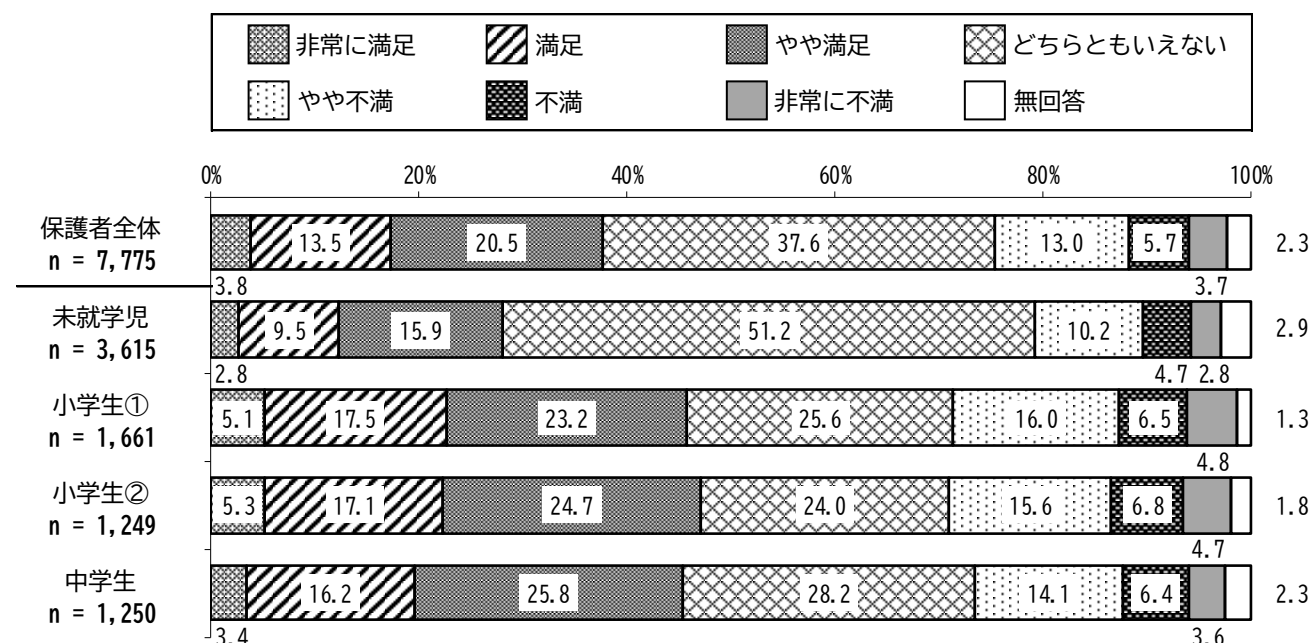
<保護者>趣味等の習い事教室の数【子どもの年齢層別】



〔中野区の公立学校の施設（校舎・体育館・プールなど）〕について、保護者全体では『満足層』が37.8%、『不満層』が22.4%となっている。

子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【小学生②】が47.1%と他の区分に比べ、高くなっている。

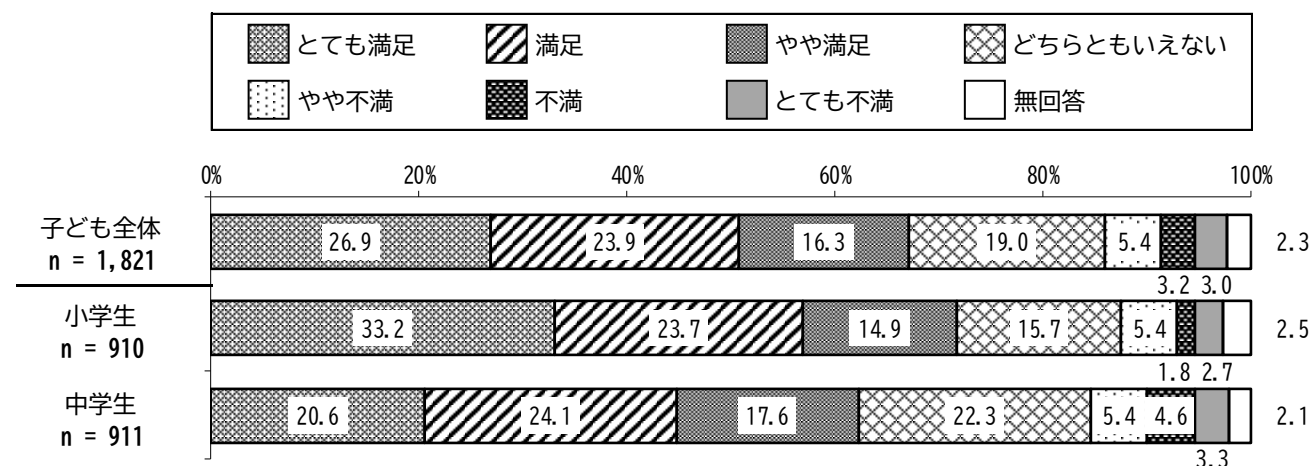
<保護者>中野区の公立学校の施設（校舎・体育館・プールなど）【子どもの年齢層別】



〔中野区の公立学校の施設（校舎・体育館・プールなど）〕について、子ども全体では『満足層』が67.1%となっている。

小学生、中学生別にみると、『満足層』は【小学生】が71.8%と、【中学生】(62.3%)に比べ、9.5ポイント高くなっている。

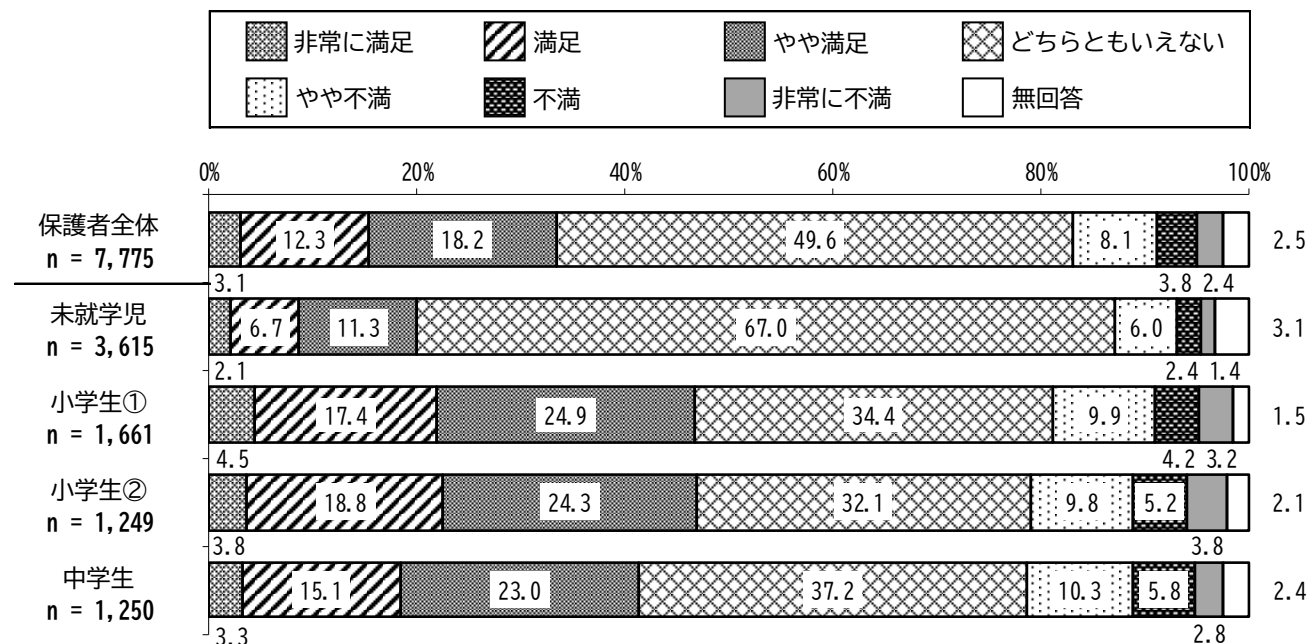
<子ども>中野区の公立学校の施設（校舎・体育館・プールなど）



〔中野区の公立学校の学校教育の内容〕について、保護者全体では『満足層』が 33.6%、『不満層』が 14.3%となっている。

子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【小学生①】が 46.8%、【小学生②】が 46.9%と他の区分に比べ、高くなっている。

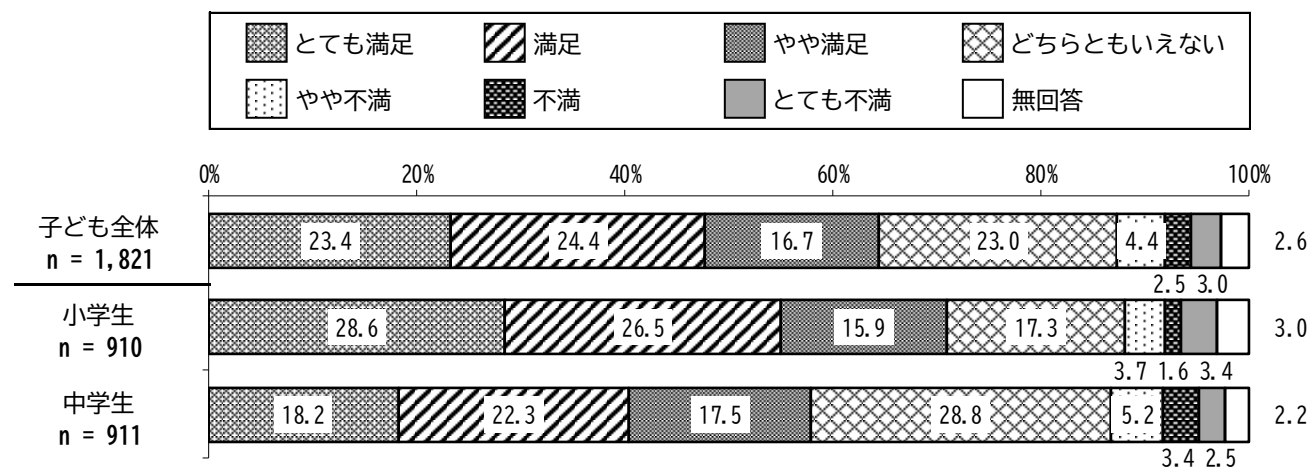
<保護者> 中野区の公立学校の学校教育の内容【子どもの年齢層別】



〔中野区の公立学校の授業〕について、子ども全体では『満足層』が 64.5%、『不満層』が 9.9%となっている。

小学生、中学生別にみると、『満足層』は【小学生】が71.0%と、【中学生】(58.0%)に比べ、13.0ポイント高くなっている。

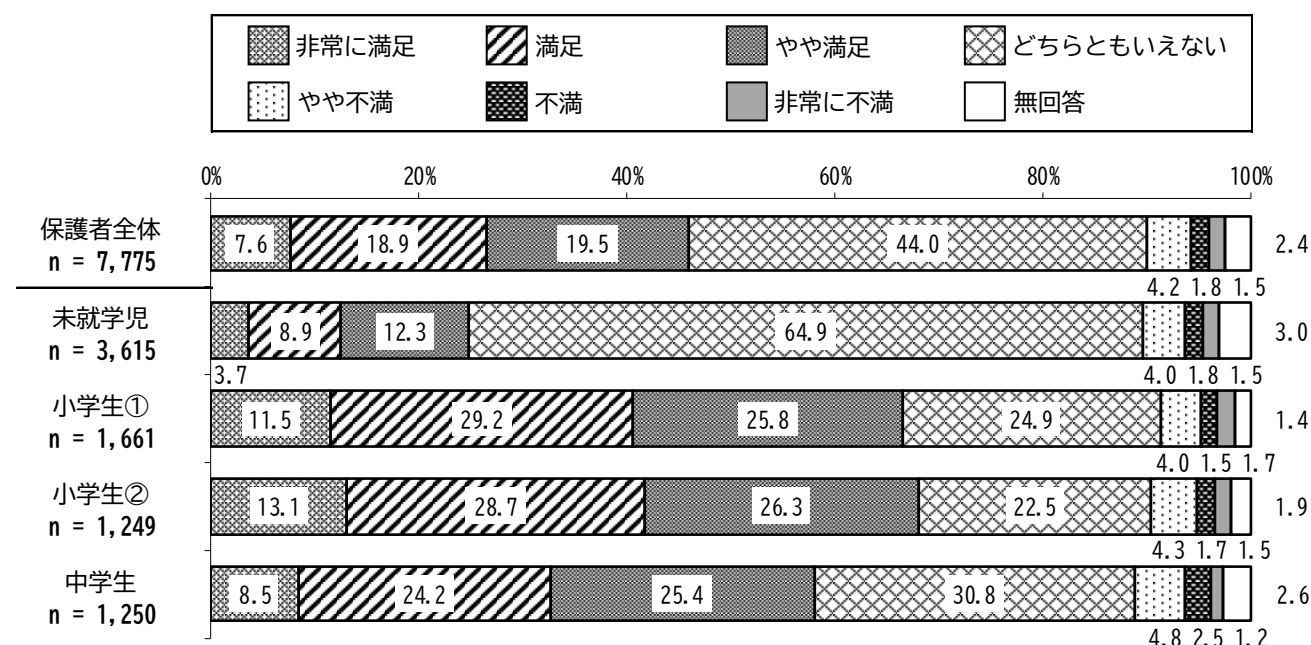
<子ども> 中野区の公立学校の授業



〔中野区の公立学校の学校給食への取組〕について、保護者全体では『満足層』が 46.0%、『不満層』が 7.5%となっている。

子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【小学生①】が 66.5%、【小学生②】が 68.1%と他の区分に比べ、高くなっている。

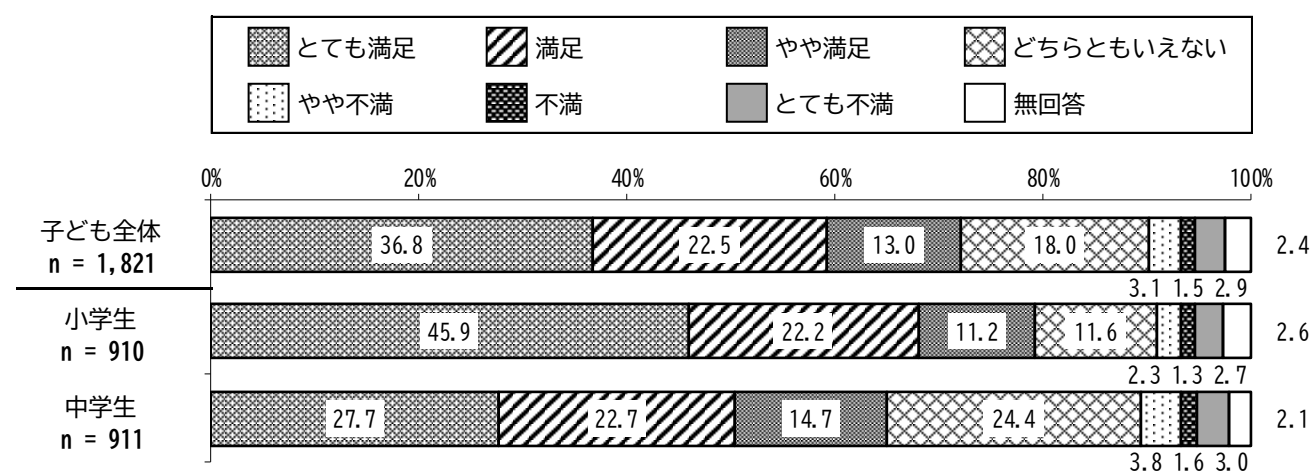
＜保護者＞中野区の公立学校の学校給食への取組【子どもの年齢層別】



〔中野区の公立学校の学校給食〕について、子ども全体では『満足層』が 72.3%となっている。

小学生、中学生別にみると、『満足層』は【小学生】が 79.3%と、【中学生】(65.1%) に比べ、14.2 ポイント高くなっている。

＜子ども＞中野区の公立学校の学校給食

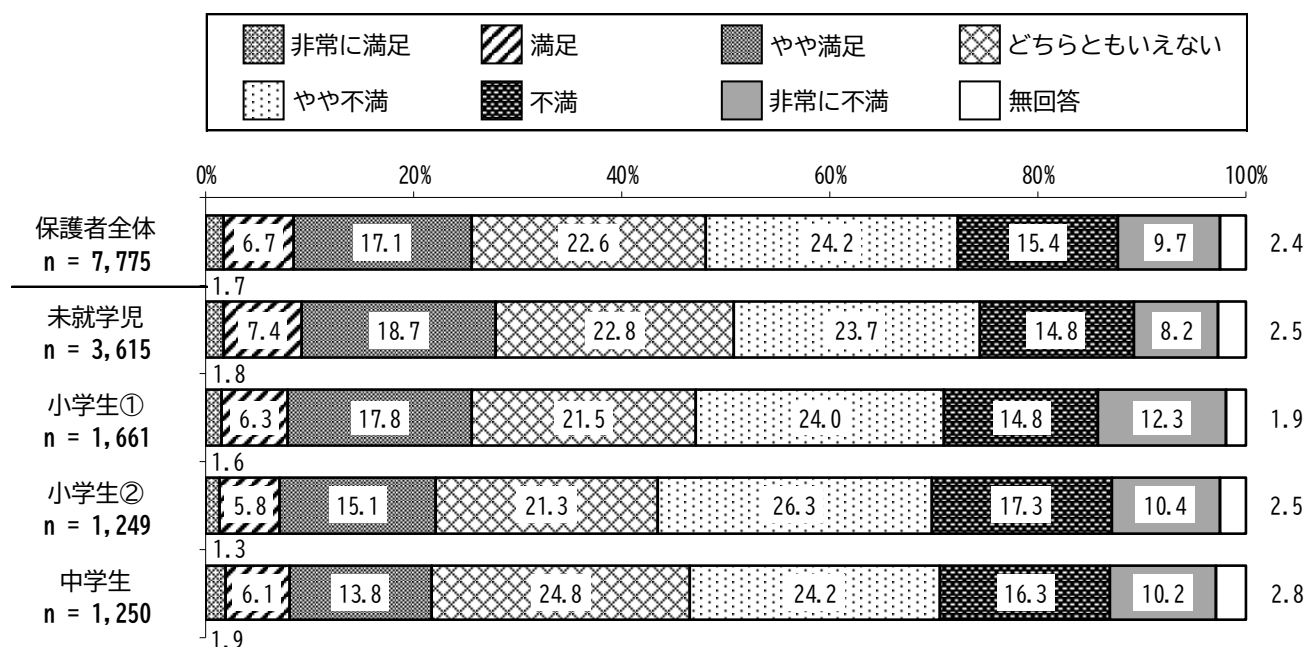


（８）遊び・憩いの環境について

〔遊び・憩いの環境の総合的な満足度〕について、保護者全体では『満足層』が 25.5%、『不満層』が 49.3%となっている。

子どもの年齢層別にみると、『不満層』は【小学生②】が 54.0%と他の区分に比べ、高くなっている。

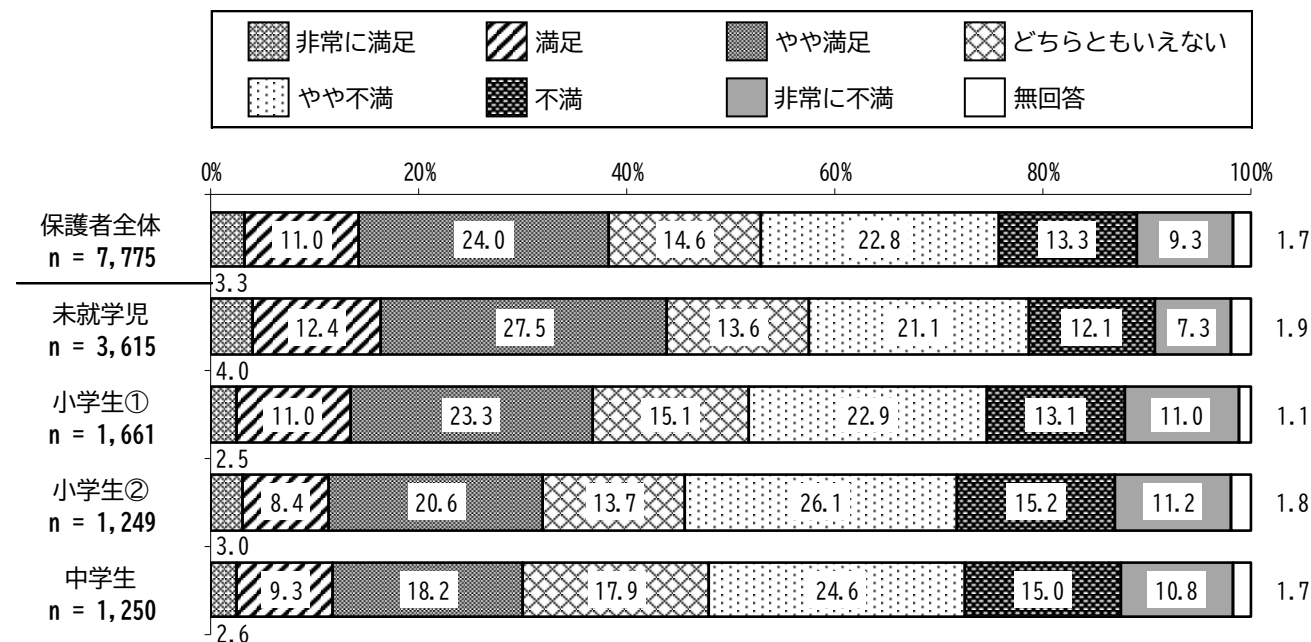
<保護者>遊び・憩いの環境の総合的な満足度【子どもの年齢層別】



〔子どもがのびのびと過ごせる自然〕について、保護者全体では『満足層』が 38.3%、『不満層』が 45.4%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【未就学児】が 43.9%となっている。

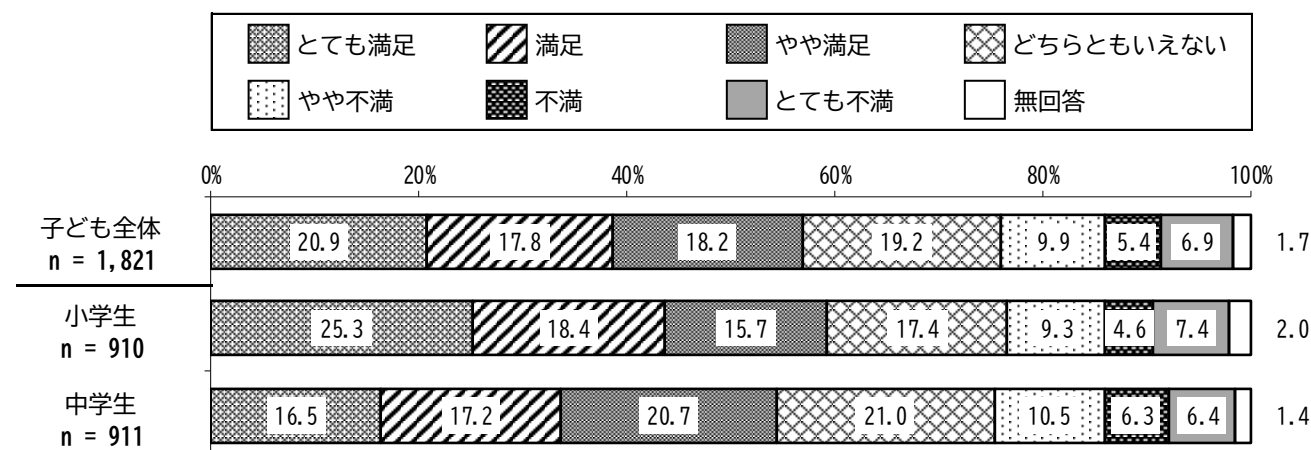
<保護者>子どもがのびのびと過ごせる自然【子どもの年齢層別】



〔のびのびと過ごせる自然〕について、子ども全体では『満足層』が 56.9%、『不満層』が 22.2%となっている。

小学生、中学生別にみると、『満足層』は【小学生】が 59.4%と、【中学生】(54.4%)に比べ、5.0 ポイント高くなっている。

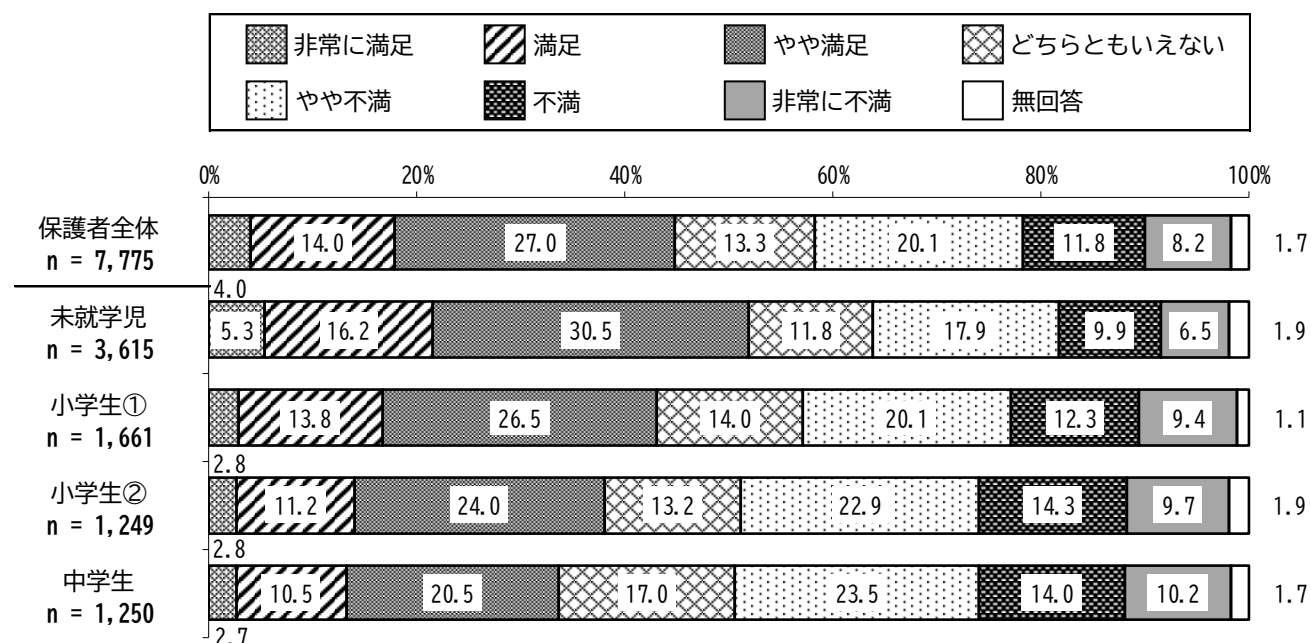
<子ども>のびのびと過ごせる自然



「子どもが遊べる公園の数」について、保護者全体では『満足層』が45.0%、『不満層』が40.1%となっている。

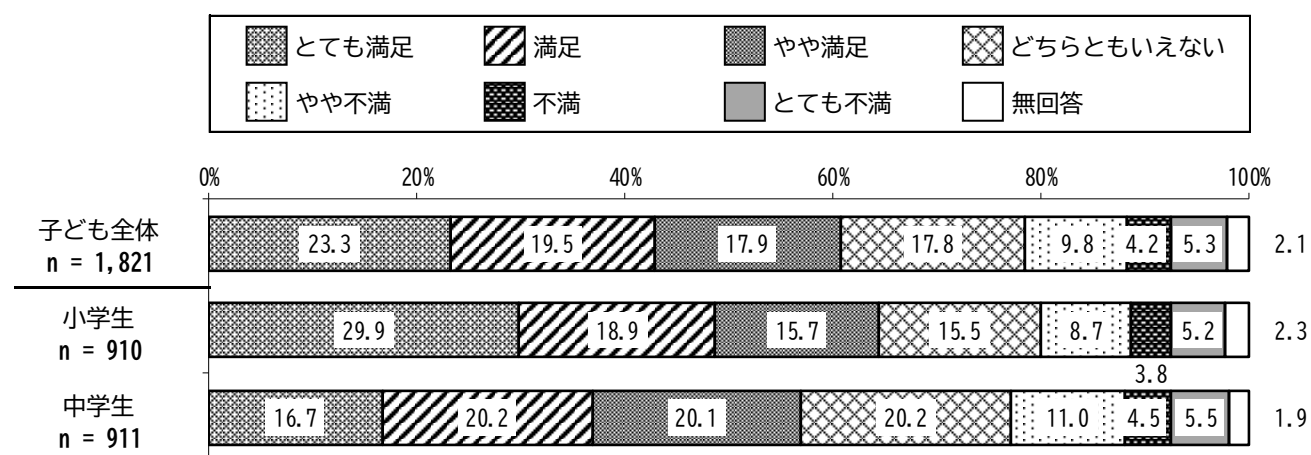
子どもの年齢層が低くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【未就学児】が52.0%となっている。

<保護者>子どもが遊べる公園の数【子どもの年齢層別】



「遊べる公園の数」について、子ども全体では『満足層』が60.7%、『不満層』が19.3%となっている。
小学生、中学生別にみると、『満足層』は【小学生】が64.5%と、【中学生】(57.0%)に比べ、7.5ポイント高くなっている。

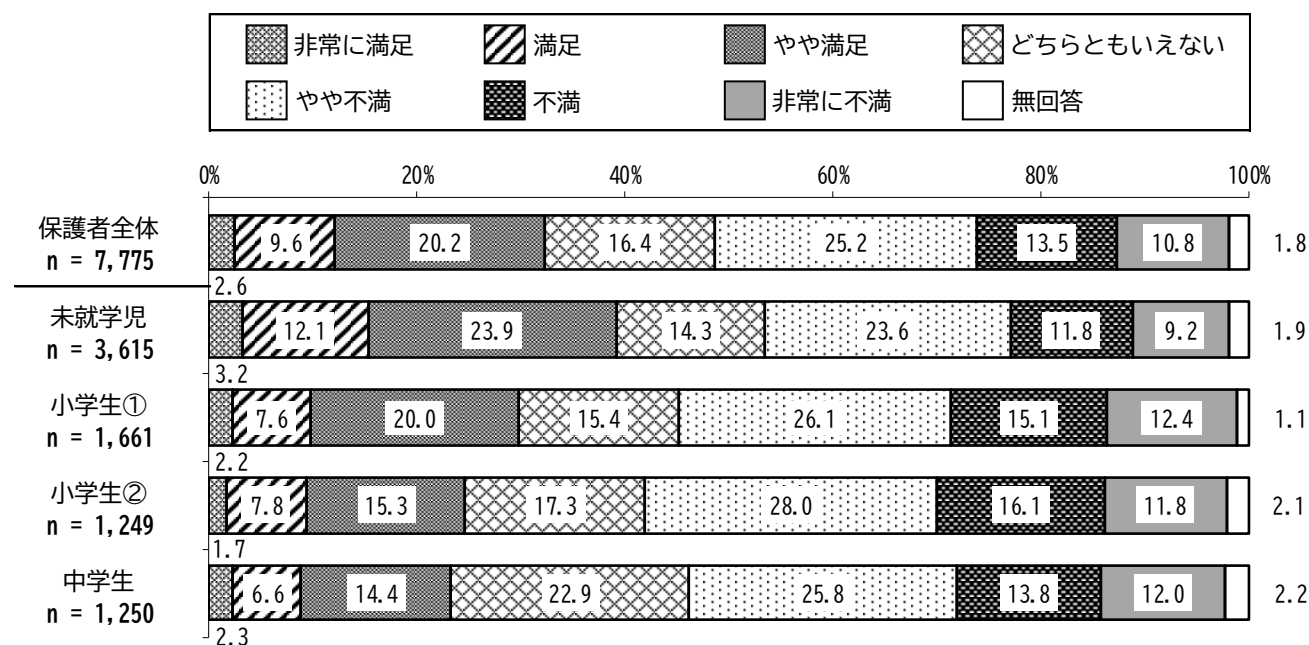
<子ども>遊べる公園の数



「子どもが遊べる公園の遊具」について、保護者全体では『満足層』が 32.4%、『不満層』が 49.5%となっている。

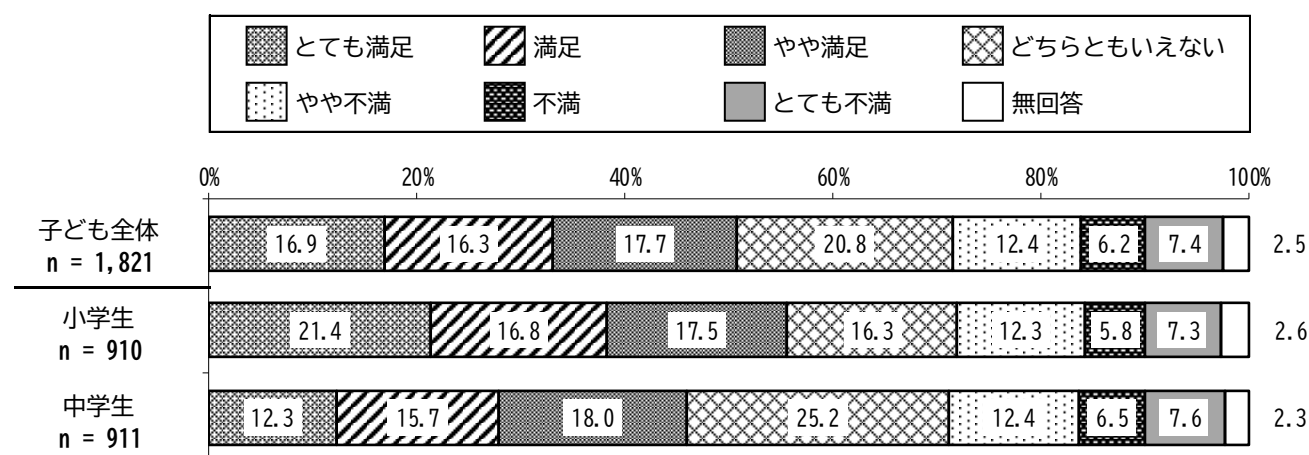
子どもの年齢層が低くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【未就学児】が 39.2%となっている。

<保護者>子どもが遊べる公園の遊具【子どもの年齢層別】



「遊べる公園の遊具」について、子ども全体では『満足層』が 50.9%、『不満層』が 26.0%となっている。小学生、中学生別にみると、『満足層』は【小学生】が 55.7%と、【中学生】(46.0%) に比べ、9.7 ポイント高くなっている。

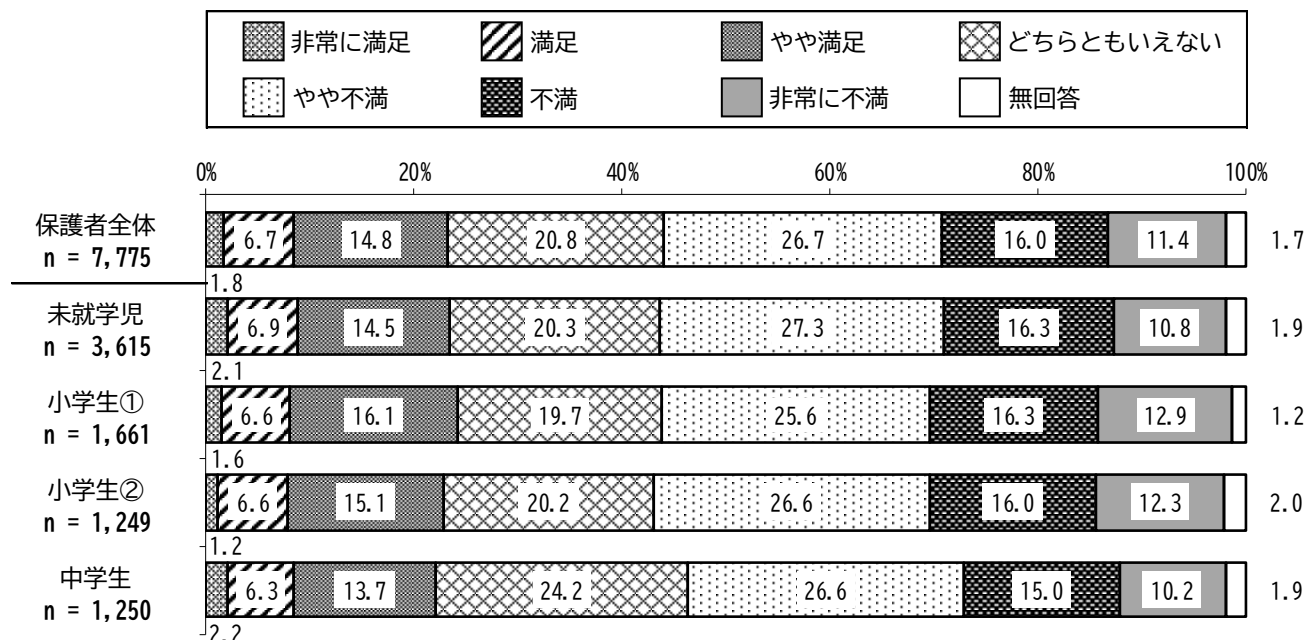
<子ども>遊べる公園の遊具



「子どもが利用しやすい公園の設備（トイレなど）」について、保護者全体では『満足層』が 23.3%、『不満層』が 54.1%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

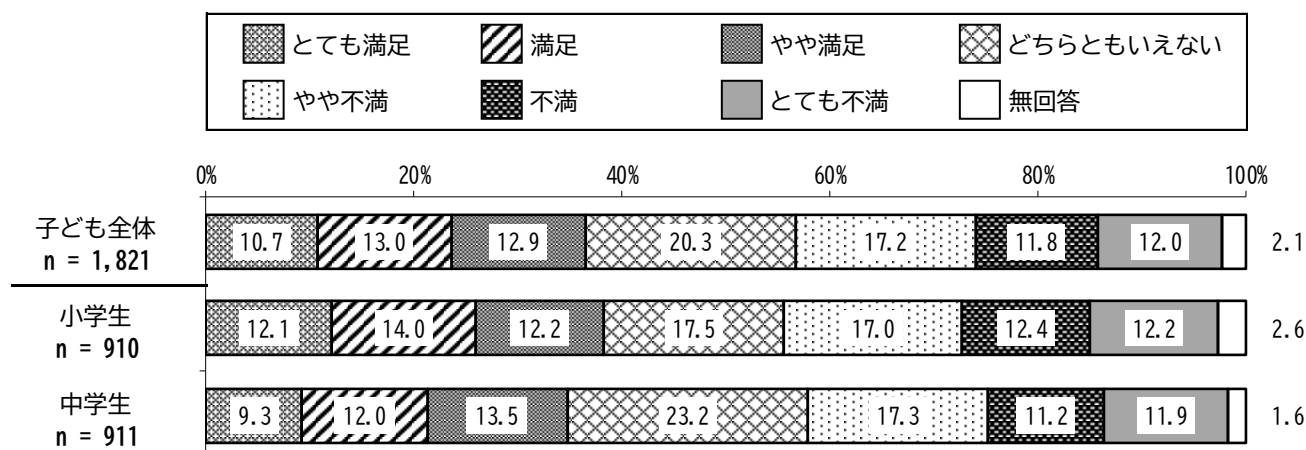
<保護者>子どもが利用しやすい公園の設備（トイレなど）【子どもの年齢層別】



「利用しやすい公園の設備（トイレなど）」について、子ども全体では『満足層』が 36.6%、『不満層』が 41.0%となっている。

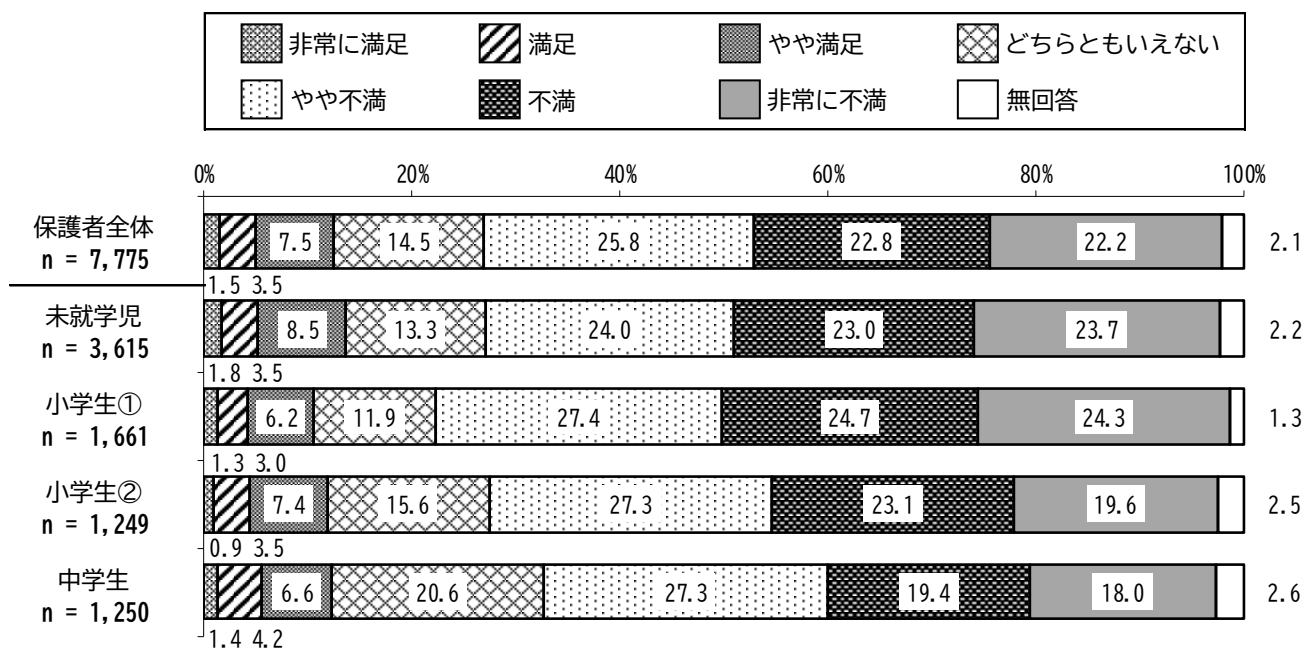
小学生、中学生別にみると、「どちらともいえない」は【中学生】が 23.2%と、【小学生】（17.5%）に比べ、5.7ポイント高くなっている。

<子ども>利用しやすい公園の設備（トイレなど）



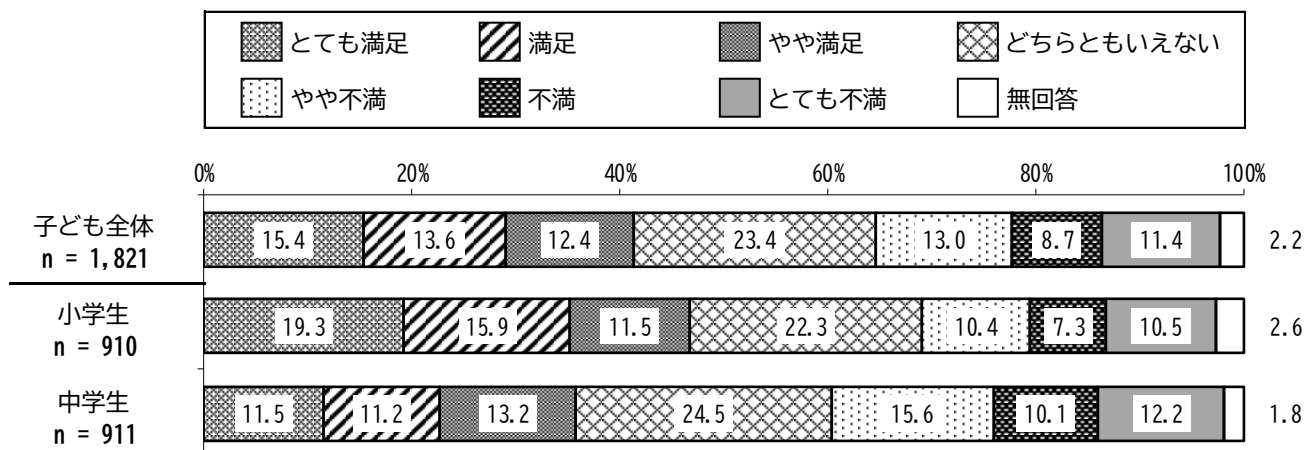
〔屋内で遊べる施設〕について、保護者全体では『不満層』が70.8%となっている。
 子どもの年齢層別にみると、『不満層』は【小学生①】が76.4%と他の区分に比べ、高くなっている。

<保護者>屋内で遊べる施設【子どもの年齢層別】



〔屋内で遊べる施設〕について、子ども全体では『満足層』が41.4%、『不満層』が33.1%となっている。
 小学生、中学生別にみると、『満足層』は【小学生】が46.7%と、【中学生】(35.9%)に比べ、10.8ポイント高くなっている。

<子ども>屋内で遊べる施設

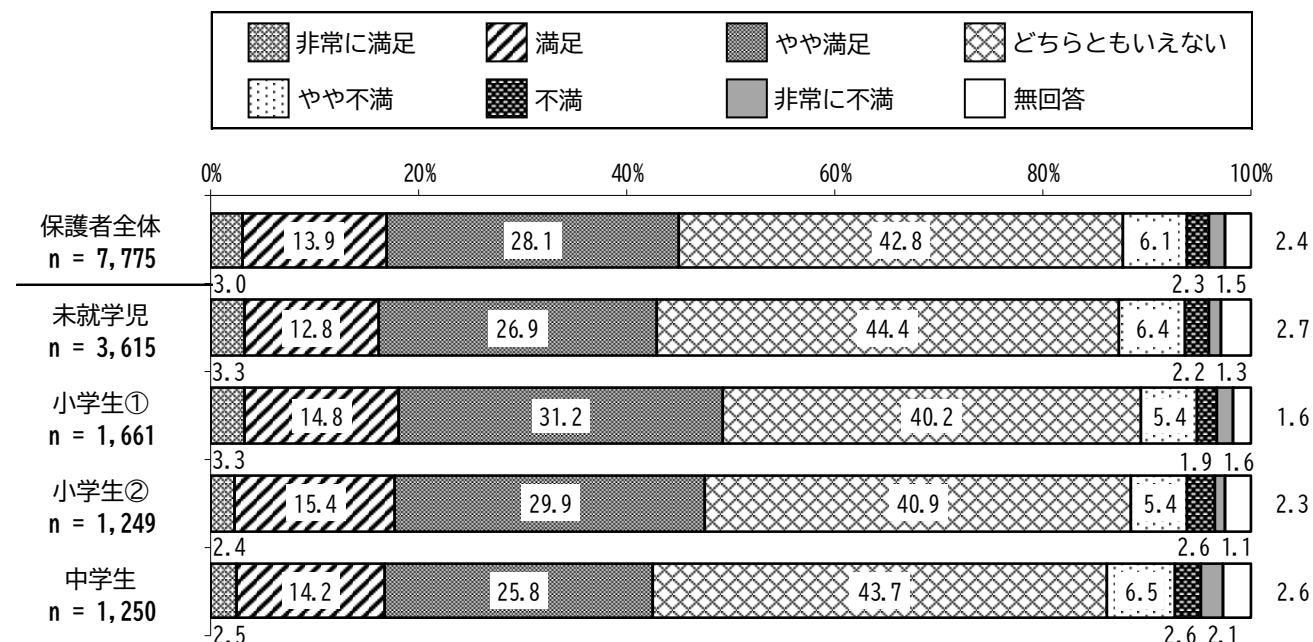


(9) 地域環境（コミュニティ）について

〔地域環境（コミュニティ）の総合的な満足度〕について、保護者全体では『満足層』が 45.0%、『不満層』が 9.9%となっている。

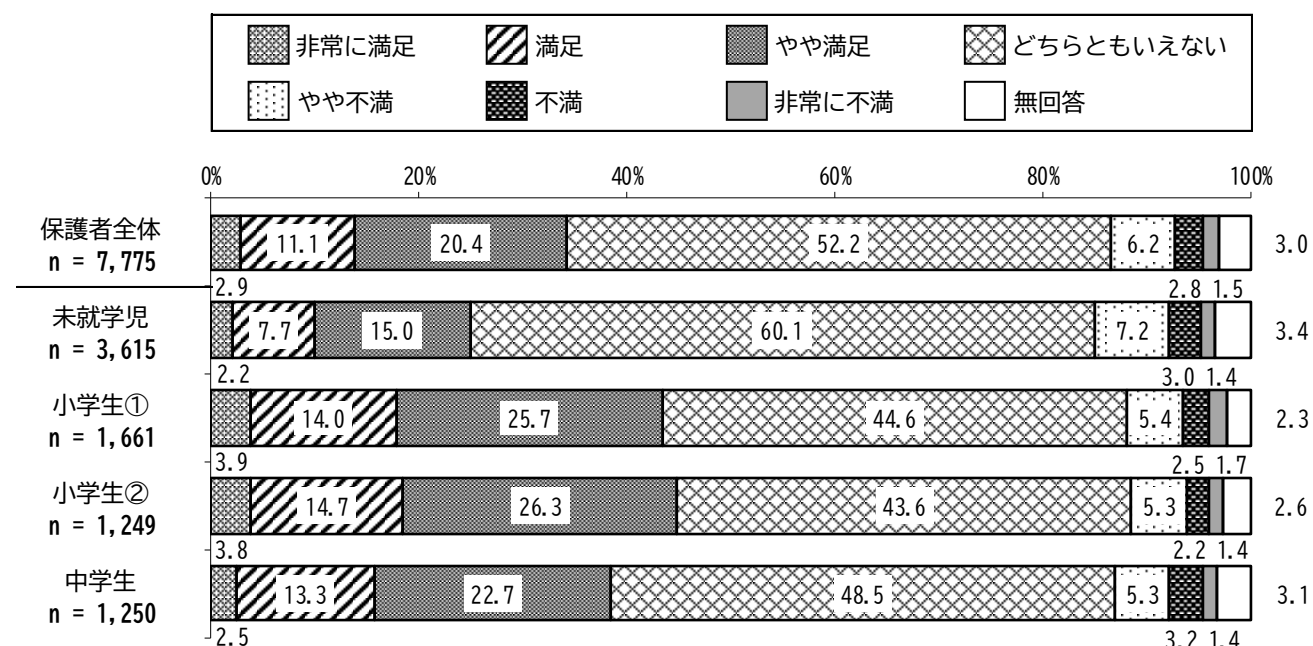
子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者>地域環境（コミュニティ）の総合的な満足度【子どもの年齢層別】



〔地域見守り活動〕について、保護者全体では『満足層』が 34.4%、『不満層』が 10.5%となっている。
 子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【小学生①】が 43.6%、【小学生②】が 44.8%と他の区分に比べ、高くなっている。

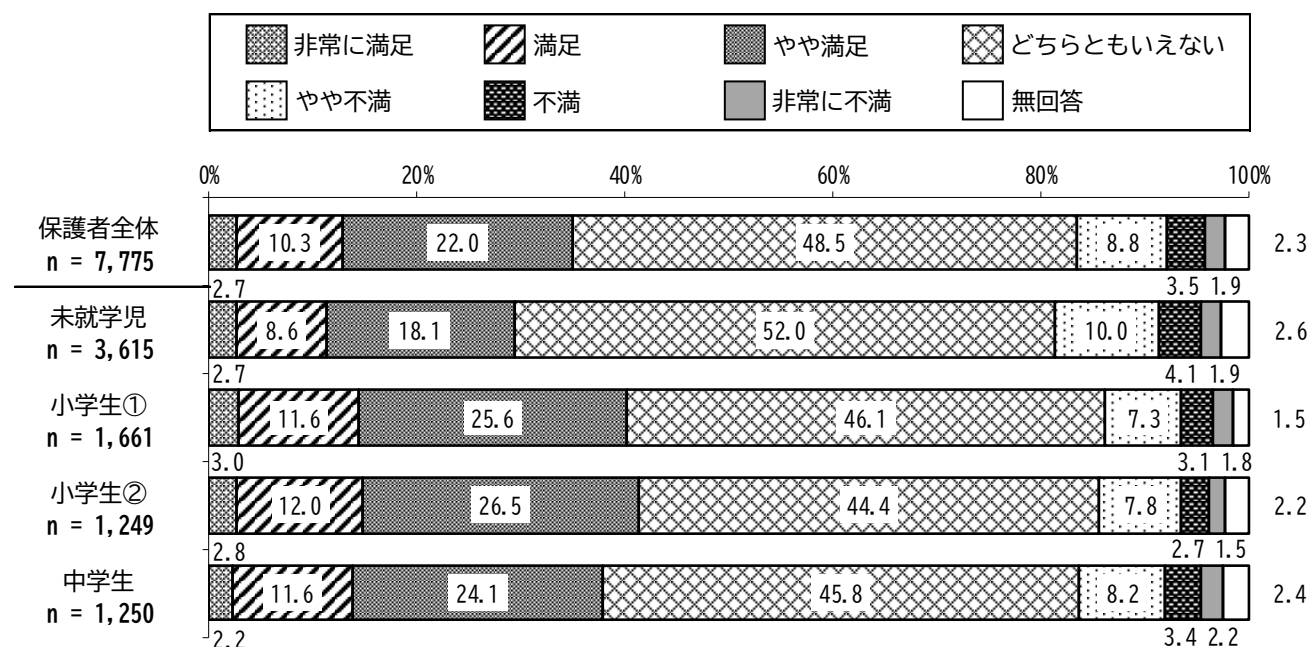
<保護者>地域見守り活動【子どもの年齢層別】



〔近隣との交流（顔の見えるつながり）〕について、保護者全体では『満足層』が 35.0%、『不満層』が 14.2%となっている。

子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【小学生①】が 40.2%、【小学生②】が 41.3%と他の区分に比べ、高くなっている。

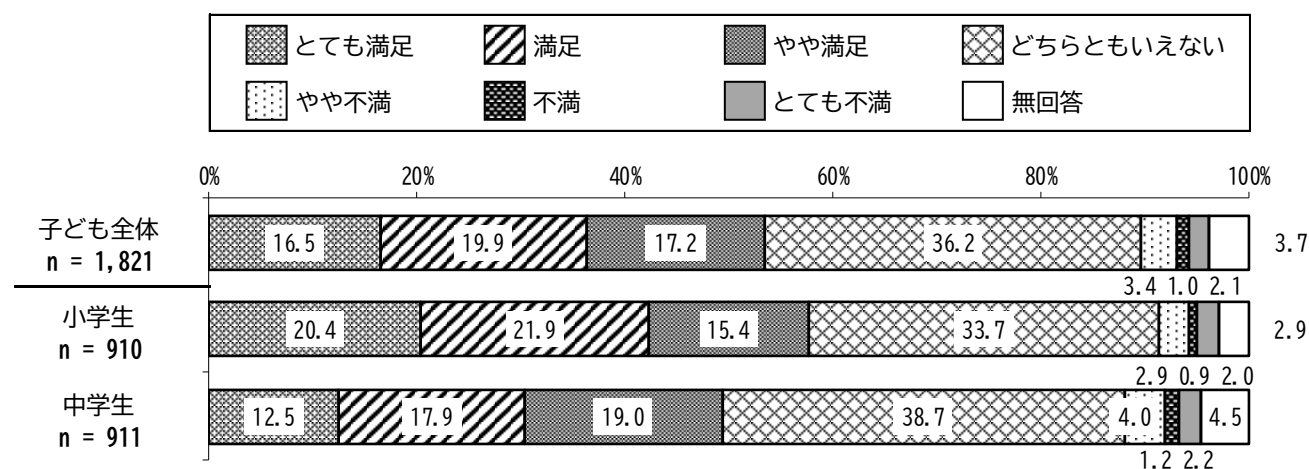
<保護者>近隣との交流（顔の見えるつながり）【子どもの年齢層別】



〔ご近所との交流（顔の見えるつながり）〕について、子ども全体では『満足層』が 53.6%、『不満層』が 6.5%となっている。

小学生、中学生別にみると、『満足層』は【小学生】が 57.7%と、【中学生】（49.4%）に比べ、8.3 ポイント高くなっている。

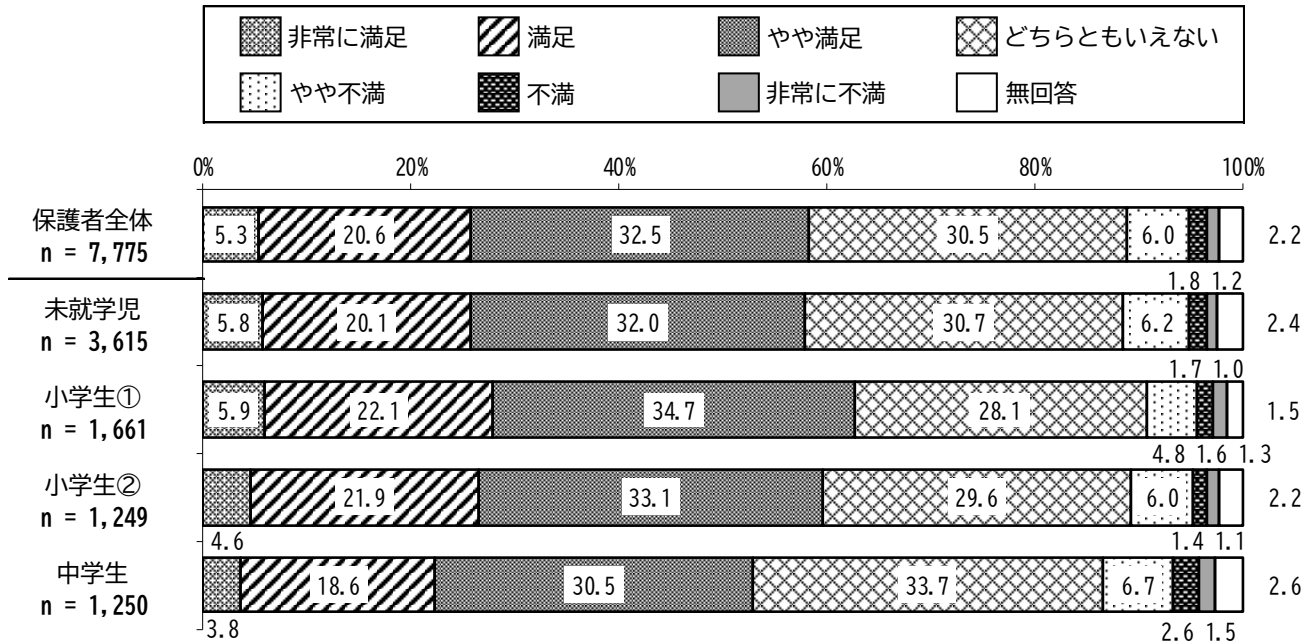
<子ども>ご近所との交流（顔の見えるつながり）



「町会・商店街の催しやお祭など」について、保護者全体では『満足層』が 58.4%、『不満層』が 9.0% となっている。

子どもの年齢層別にみると、『満足層』は【中学生】が 52.9% と他の区分に比べ、低くなっている。

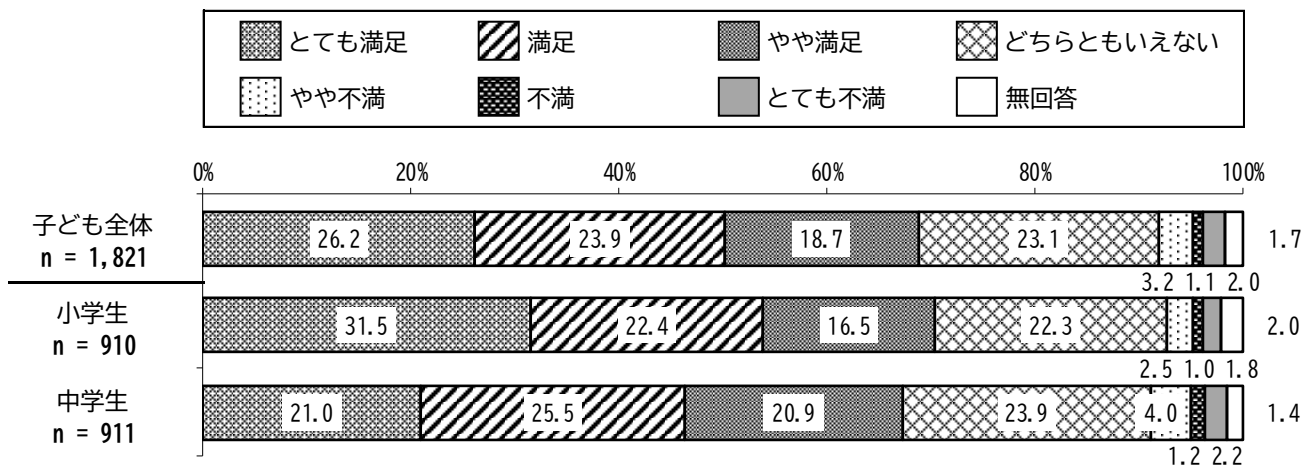
<保護者>町会・商店街の催しやお祭など【子どもの年齢層別】



「近所のお祭りや商店街のイベント」について、子ども全体では『満足層』が 68.8% となっている。

小学生、中学生別にみると、「とても満足」は【小学生】が 31.5% と、【中学生】(21.0%) に比べ、10.5 ポイント高くなっている。

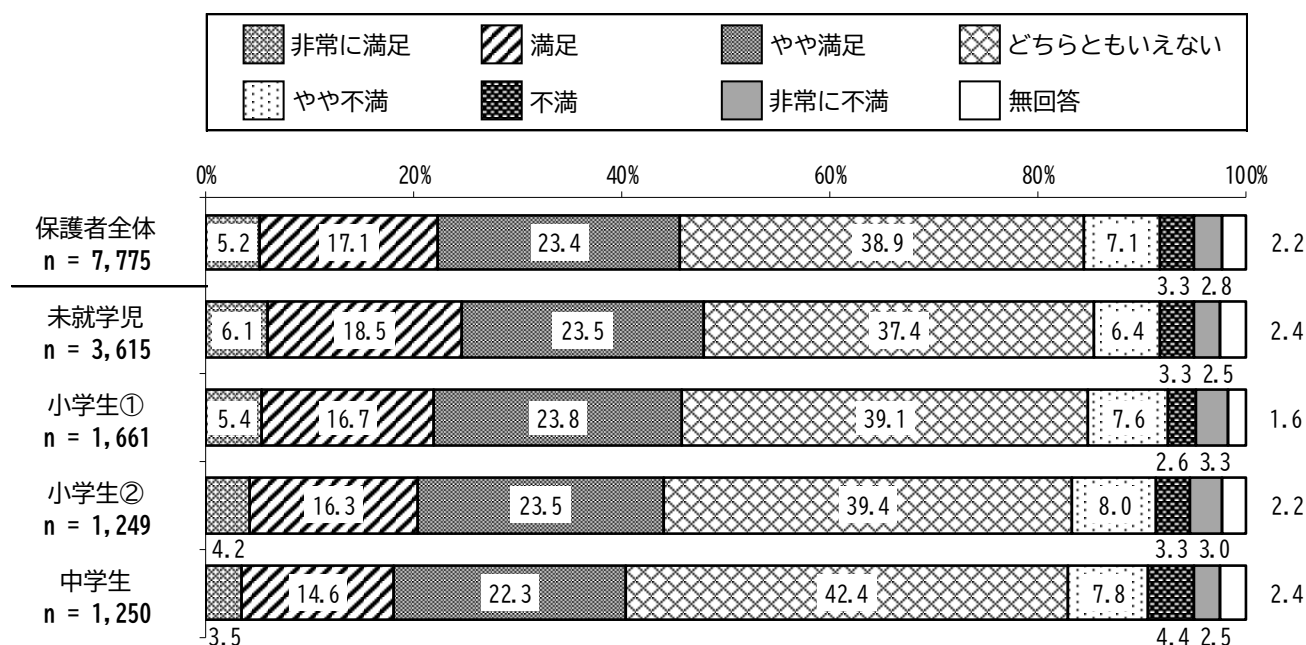
<子ども>近所のお祭りや商店街のイベント



〔近隣の子育て家庭への理解度（泣き声の受容など）〕について、保護者全体では『満足層』が45.7%、『不満層』が13.2%となっている。

子どもの年齢層が低くなるほど、『満足層』の割合が高くなり【未就学児】が48.1%となっている。

＜保護者＞近隣の子育て家庭への理解度（泣き声の受容など）【子どもの年齢層別】



2 中野区について

(1) 中野区への定住意向

※「ぜひ住みたい」と「できるなら住みたい」を合わせた値を『住みたい』、同様に、「ずっと住みたい」と「できるなら住みたい」を合わせた値を『住みたい』と表記する。

<保護者・子ども>あなたは、これからも中野区に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

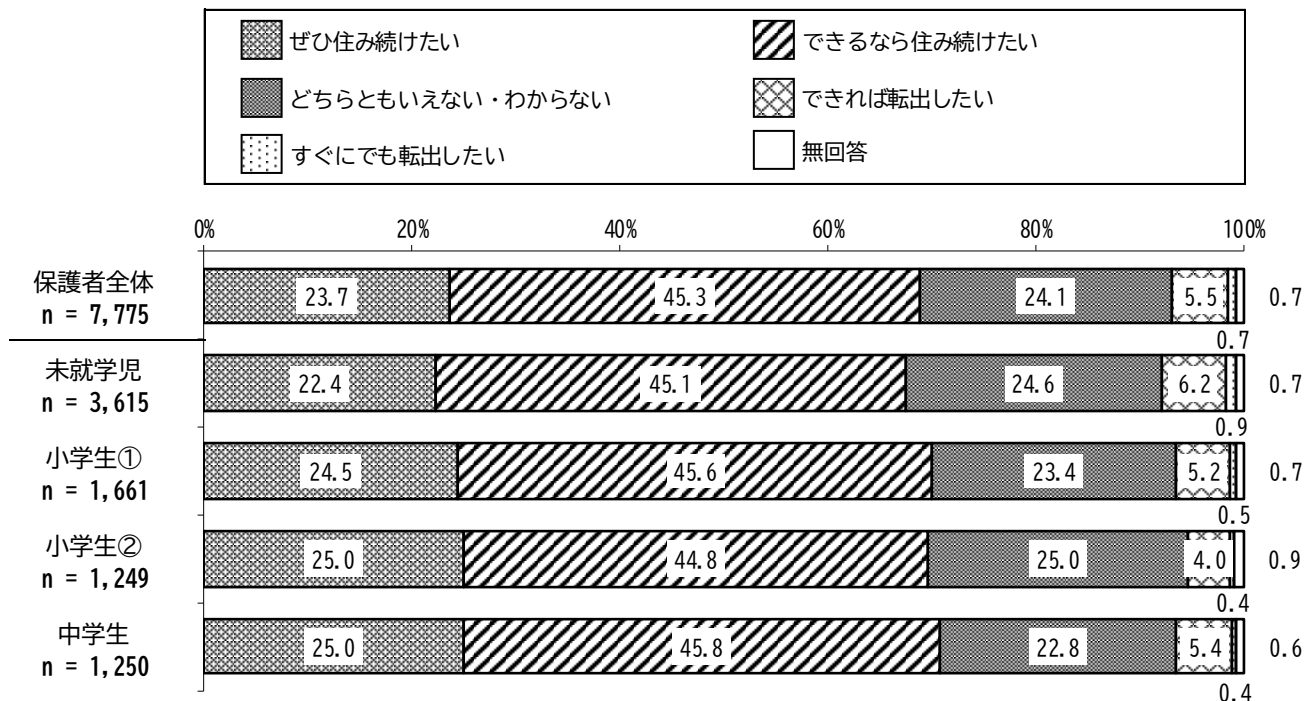
保護者全体では『住みたい』が69.0%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

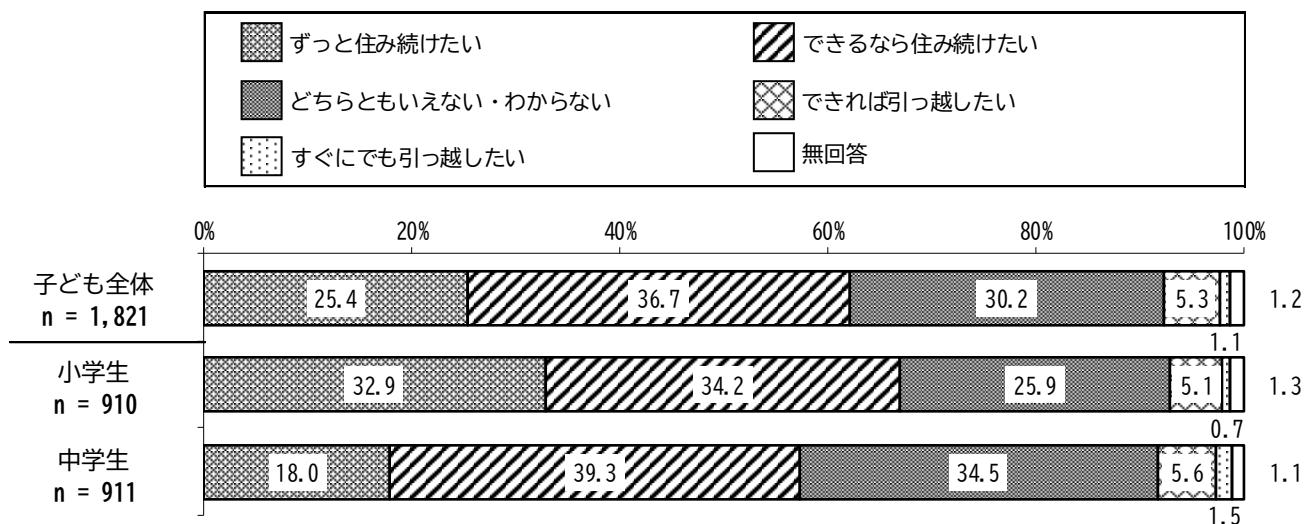
子ども全体では『住みたい』が62.1%、「どちらともいえない・わからない」が30.2%となっている。

小学生、中学生別にみると、『住みたい』は【小学生】が67.1%と、【中学生】(57.3%)に比べ、9.8ポイント高くなっている。

<保護者>中野区への定住意向【子どもの年齢層別】



<子ども>中野区への定住意向



(2) 他者への推奨度

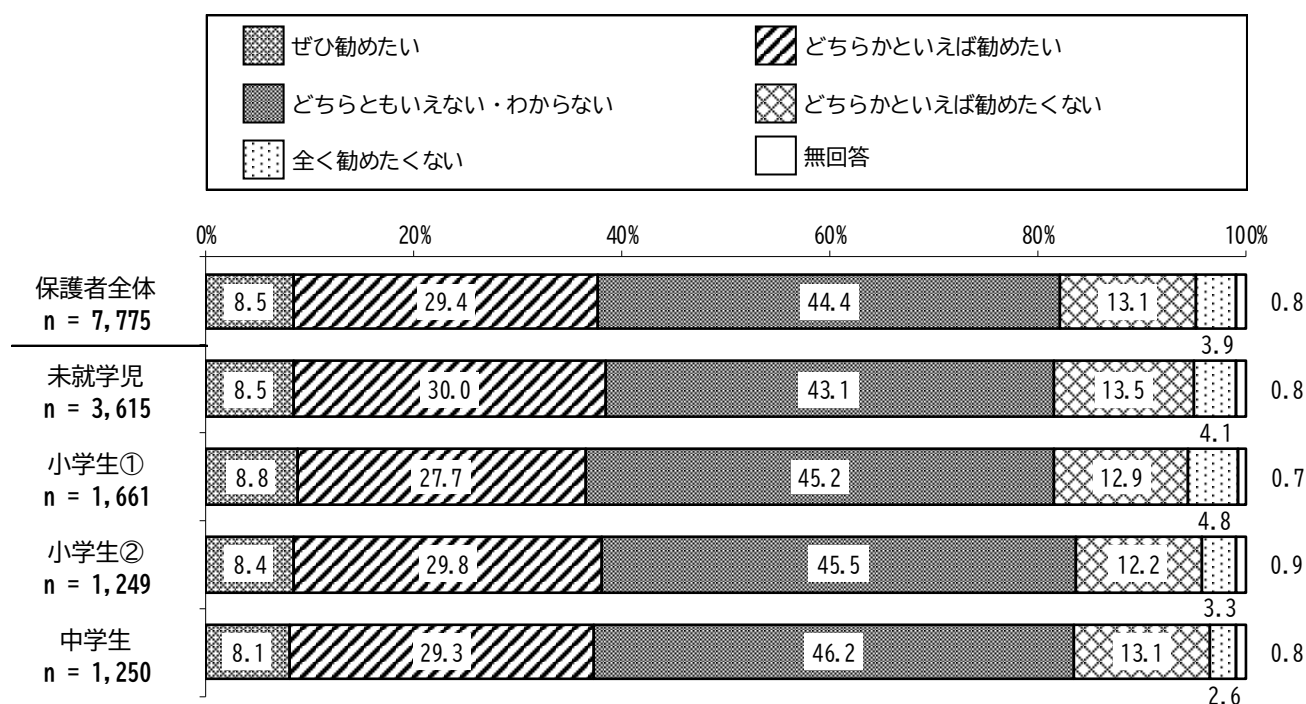
※「ぜひ勧めたい」と「どちらかといえば勧めたい」を合わせた値を『勧めたい』、「全く勧めたくない」と「どちらかといえば勧めたくない」を合わせた値を『勧めたくない』と表記する。

あなたは、これから子育てをする、もしくは現在子育てをしている友人や知人に、中野区に住むことや中野区で子育てをすることを勧めたいと思いますか。(1つに○)

保護者全体では『勧めたい』が 37.9%、「どちらともいえない・わからない」が 44.4%、『勧めたくない』が 17.0%となっている。

子どもの年齢層による大きな差はみられない。

<保護者> 他者への推奨度【子どもの年齢層別】



(3) 中野区への好感度

※「とても好き」と「好き」を合わせた値を『好き』、

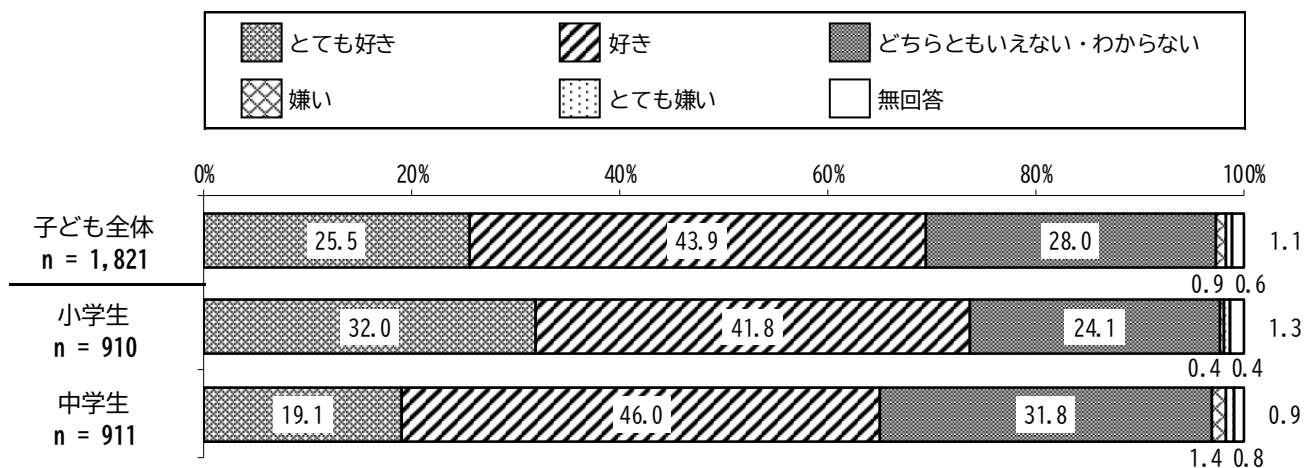
「とても嫌い」と「嫌い」を合わせた値を『嫌い』と表記する。

あなたは、中野区が好きですか。(1つに○)

子ども全体では『好き』69.4%となっている。

小学生、中学生別にみると、『好き』は【小学生】が73.8%と、【中学生】(65.1%)に比べ、8.7ポイント高くなっている。

<子ども>中野区への好感度



(4) 中学生・高校生のための居場所となる施設への興味

※「とても思う」と「そう思う」を合わせた値を『思う』、

「思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた値を『思わない』と表記する。

あなたは、中野区に中学生・高校生のための居場所となる施設がほしいと思いますか。(たとえば、放課後などに子どもが集まり、勉強やお話ししながらゆっくり過ごしたり、いろいろな活動を自発的に企画し、実施できる施設) (1つに○)

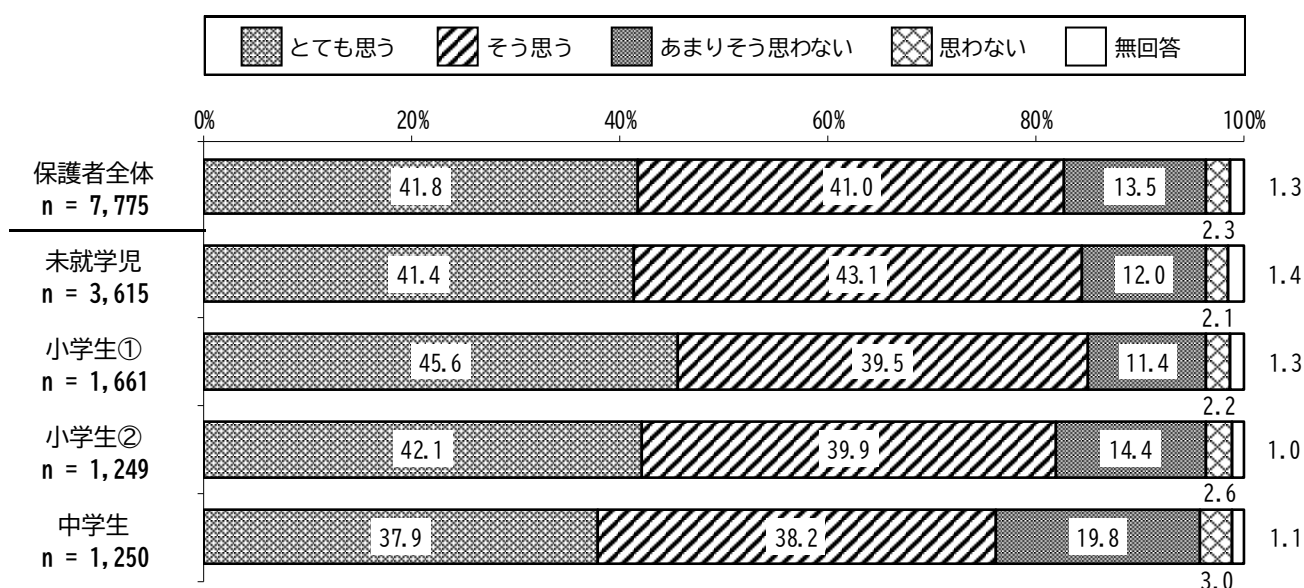
保護者全体では『思う』が82.8%となっている。

子どもの年齢別にみると、『思わない』は【中学生】が22.8%と他の区分に比べ、高くなっている。

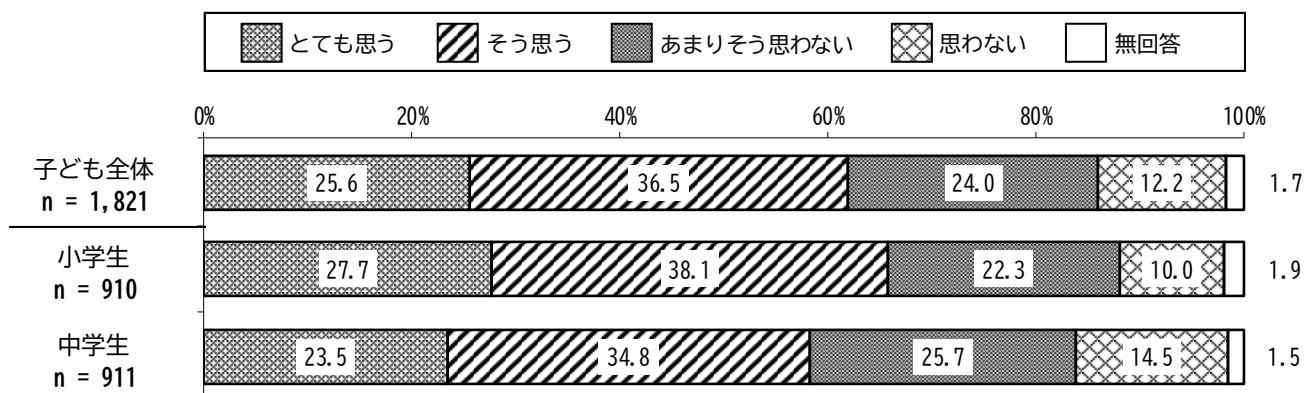
子ども全体では『思う』が62.1%、『思わない』が36.2%となっている。

小学生、中学生別にみると、『思う』は【小学生】が65.8%と、【中学生】(58.3%)に比べ、7.5ポイント高くなっている。

<保護者> 中学生・高校生のための居場所となる施設への興味【子どもの年齢層別】



<子ども> 中学生・高校生のための居場所となる施設への興味



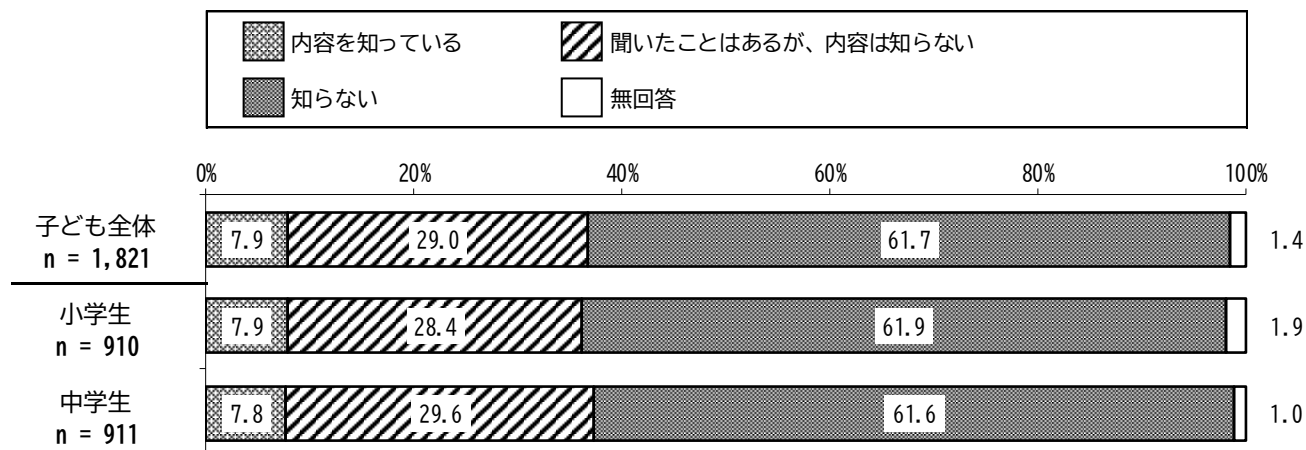
（５）「中野区子どもの権利に関する条例」の認知度

あなたは、子どもの権利を保障し、子どもにやさしいまちづくりを推進することを目的とした「中野区子どもの権利に関する条例」があることを知っていますか。（１つに○）

子ども全体では「知らない」が 61.7%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 29.0%、「内容を知っている」が 7.9%となっている。

小学生、中学生に大きな差はみられない。

<子ども>「中野区子どもの権利に関する条例」の認知度



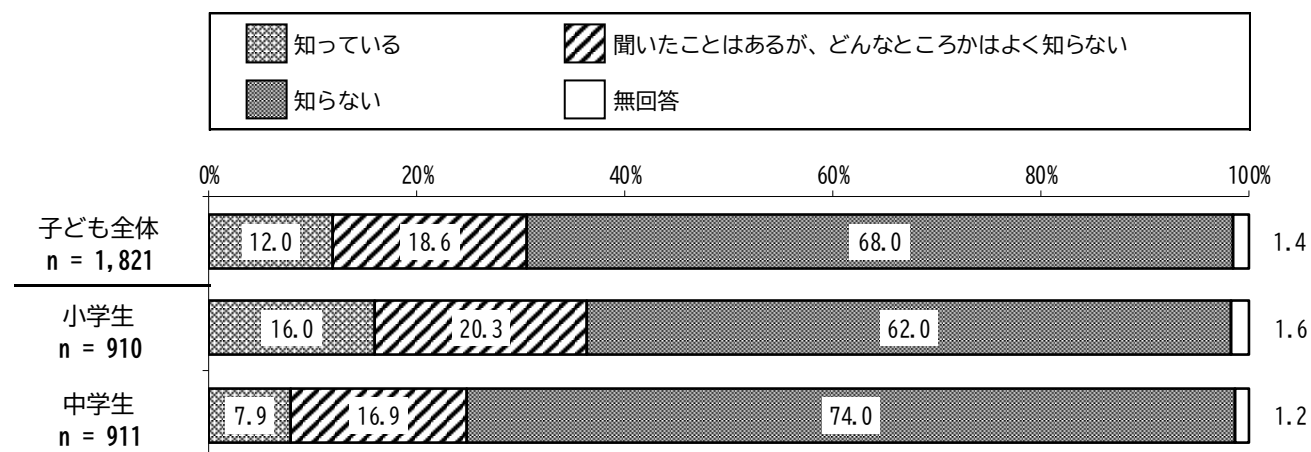
(6)「中野区子ども相談室（ポカコロ）」の認知度

あなたは、子どもの権利を守り、一緒に問題を解決する「子どもオンブズマン」に相談ができる「中野区子ども相談室（ポカコロ）」があることを知っていますか。（1つに○）

子ども全体では「知らない」が68.0%となっている。

小学生、中学生別にみると、「知っている」は【小学生】が16.0%と、【中学生】（7.9%）に比べ、8.1ポイント高くなっている。

<子ども>「中野区子ども相談室（ポカコロ）」の認知度



令和6年度中野区子どもと子育て家庭の実態調査

報 告 書

令和7年2月発行

中野区子ども教育部子ども・教育政策課

住 所：〒164-8501 中野区中野四丁目11番19号

TEL：03-3228-5605 FAX：03-3228-5679